公益財団法人鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（44）

東九州自動車道建設（志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間）に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

牧山（まきやま）遺跡３

（鹿屋市串良町）

縄文時代前期以降編

第１分冊

２０２２年３月

鹿児島県教育委員会
公益財団法人鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター



牧山遺跡から志布志湾を望む



環状に配置された掘立柱建物跡とピット群（C地点）



縄文時代前期　埋設土器１号出土土器



縄文時代後～晩期出土土器・石器

序　文

この報告書は,東九州自動車道（志布志 IC ～鹿屋串良 JCT）の建設に伴って,平成 20 年度及び平成 25 年度から平成 29 年度に実施した鹿屋市串良町細山田に所在する牧山遺跡の発掘調査の記録です。

牧山遺跡では，旧石器時代，縄文時代早期･前期･後期･晩期，弥生時代，古代，中世の遺構・遺物が大量に発見されました。Ａ地点の弥生時代以降編についてはすでに「牧山遺跡１」として刊行し，弥生時代中期の竪穴住居跡や掘立柱建物跡等の遺構や，遺構内から出土した銅鑿をはじめとする成果が注目されています。また，旧石器時代，縄文時代早期編を「牧山遺跡２」として刊行し，集石をはじめ多くの遺構とともに石坂式土器や平栫式土器などの遺物も多く出土しており，こちらも成果が注目されています。

本報告書では，縄文時代前期以降の調査成果を報告しています。特に縄文時代前期においては，轟Ｂ式土器が逆さまに埋設された状態で，ほぼ完形で出土したことが注目されます。また，縄文時代後期の掘立柱建物跡群が環状に配置され，環状の内側から石冠が出土しており，当時の人々の生活を解明する手がかりとなるものと期待されています。

最後に，発掘調査から報告書刊行まで御協力いただきました国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所，鹿児島県教育委員会，鹿児島県立埋蔵文化財センター，鹿屋市教育委員会等の関係機関並びに御指導いただきました先生方や，発掘調査・整理作業に従事された方々に対し，厚くお礼申し上げます。

令和４年３月

公益財団法人　鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター長　中村和美

報 告 書 抄 録

ふりがな	まきやまいせき　さん　じょうもんじだいぜんきいこうへん
書名	牧山遺跡３（縄文時代前期以降編）
副書名	東九州自動車道建設（志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書
シリーズ番号	第44集
編集者名	本髙謙治　松下寛正　堂込秀人　福地祥平　株式会社パスコ（関口真由美，関口昌和，翁長武司，飯野拓哉）
編集機関	公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター
所在地	〒899-4318　鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森２番１号　TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0576
発行年月	西暦2022年３月

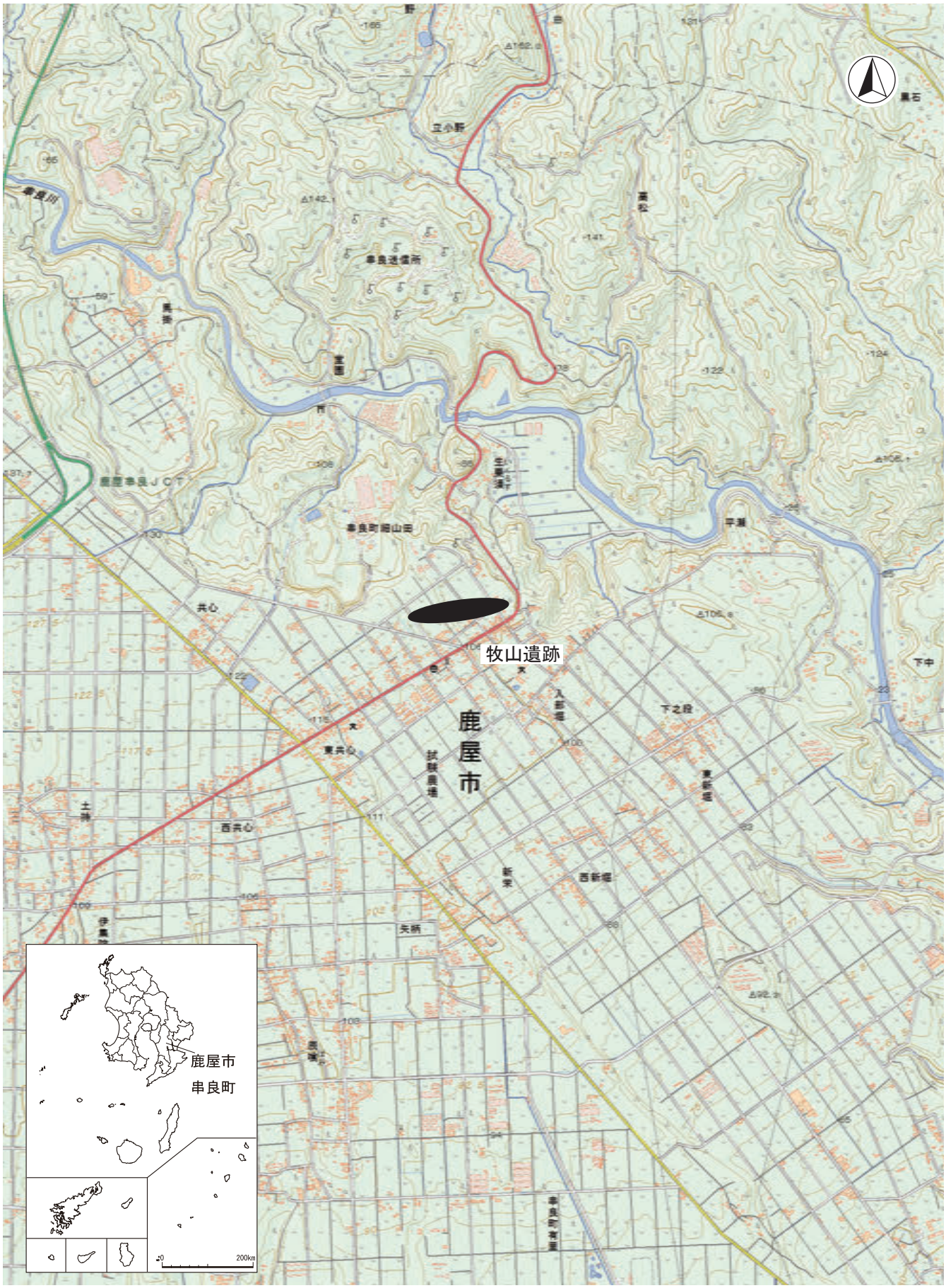
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積（㎡）	発掘原因
まきやまいせき 牧山遺跡	かごしまけん 鹿児島県 かのやし 鹿屋市 くしらちょう 串良町 ほそやまだ 細山田	46203	203-295	31° 26’ 45”	130° 55’ 18”	確認調査 2012.08.20～ 2012.12.14 本調査 ①2013.06.03 ～ 2014.02.12 ②2014.05.12 ～ 2015.01.27 ③2015.05.27 ～ 2016.01.27 ④2016.09.12 ～ 2017.01.27 ⑤2017.05.09 ～ 2018.01.26	30,054 （表面積） ①11,424 ②4,193 ③4,686 ④2,748 ⑤7,003 83,905 （延面積） ①27,749 ②15,482 ③13,500 ④7,274 ⑤19,900	東九州自動車道建設（志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間）に伴う記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
牧山遺跡	散布地	縄文時代 前期～中期	埋設土器　1基 土坑　1基	轟Ｂ式土器 深浦式土器，条痕文系土器	
		縄文時代 後期～晩期	掘立柱建物跡　21棟 貯蔵穴　1基 土坑　285基 落とし穴　13基 石器集積　2基 石器集中部　25か所 土器集中部　17か所 埋設土器　13基 埋納遺構　1基 ピット　2511基	市来式土器，丸尾式土器，納屋向式土器，納曽式土器，辛川Ⅱ式土器，西平式土器，太郎迫式土器，無文土器，中岳Ⅱ式土器，入佐式土器，黒川式土器，石鏃，石核，石匙，打製石斧，磨製石斧，磨石，磨敲石，石皿，垂飾，石冠	
		弥生時代 以降	土坑　2基 古道跡　7条 溝状遺構　1条 炭化物集中部　1か所	入来式土器，山ノ口式土器，成川式土器，石鏃，打製石斧，銅鑿（牧山１で報告），磨石，石皿，青磁，白磁，薩摩焼，鉄製品	

遺跡の概要

本遺跡は，標高約110ｍの笠野原台地の縁辺に位置し，串良川が北側と東側で蛇行する，旧石器時代から中世にかけての複合遺跡である。

本報告書では，縄文時代後期～晩期を中心に縄文時代前期以降の遺構および遺物を報告している。縄文時代後期～晩期の遺構として掘立柱建物跡，貯蔵穴，土坑，落とし穴，石器・土器集中部，石器集積，埋設土器，埋納遺構が検出されている。中でも，掘立柱建物跡は環状を形成するように配置され，西平系の土器も掘立柱建物跡を外側から囲むように出土している。また環状の内側からは石冠が出土しており，大隅半島中央部における当時の集落のあり方を知る上で貴重な資料である。



（S＝1/25,000）

第１図　牧山遺跡位置図

例　言

1　本編は，東九州自動車道建設（志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ）に伴う牧山遺跡発掘調査報告書「牧山遺跡３　縄文時代前期以降編」である。

2　本遺跡は鹿児島県鹿屋市串良町細山田に所在する。

3　発掘調査事業は，国土交通省九州地方整備局から鹿児島県が受託し，鹿児島県立埋蔵文化財センターと鹿児島県教育委員会の監理のもと公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターが実施した。

4　発掘調査事業は，確認調査を平成 24 年度に実施し，平成 20 年度に一部本調査，平成 25 年度から本調査を実施している。

5　発掘調査支援業務については，平成 25 年度・平成 26 年度・平成 28 年度に株式会社イビソクに，平成 27 年度は株式会社島田組に，平成 29 年度は国際文化財株式会社に委託した。

　整理・報告書作成支援業務については，平成 28 年度に株式会社島田組に委託し，「牧山遺跡１　Ａ地点弥生時代以降編」を刊行した。また，令和３年度は株式会社パスコに委託し，本報告書「牧山遺跡３　縄文時代前期以降編」を刊行した。

　令和元年度には直営の整理・報告書作成で「牧山遺跡２　旧石器時代・縄文時代早期編」を刊行した。

6　掲載した遺物番号は通し番号であり，本文・挿図・表・図版の遺物番号は一致する。

7　挿図の縮尺は挿図ごとに示した。また，一部の挿図に縮尺の異なるものがあるが，その際はグループ毎に縮尺を示している。

8　本書で用いたレベル数値は全て海抜絶対高である。

9　本書で使用した方位は全て磁北である。

10　遺物注記で用いた遺跡記号は「マキ」である。

11　本調査における実測図作成及び写真撮影は主として調査担当者が行った。また，空中写真の撮影は，株式会社ふじた，有限会社スカイサーベイ九州に再委託した。

12　本編に係る掲載遺構図の作成及びレイアウトは，本髙謙治が株式会社パスコの支援を得て行った。

13　本編に係る出土遺物の実測遺物のトレース・レイアウトは堂込秀人が整理作業員の支援を得て行った。

14　出土遺物の写真撮影は，県立埋蔵文化財センターの写場にて，公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターの宮﨑大和・福永修一，県立埋蔵文化財センター西園勝彦が行った。

15　本編に係る自然科学分析の年代測定は，株式会社パレオ・ラボ，パリノ・サーヴェイ株式会社，株式会社加速器分析研究所に委託した。土器圧痕資料の同定についてはパレオ・ラボに委託し，結果の分析・考察は真邉彩が行った。

16　本編の執筆は次のように分担した。

第Ⅰ章	発掘調査の経過		本髙
第Ⅱ章	遺跡の位置と環境		本髙・松下
第Ⅲ章	調査の方法と層序		本髙
第Ⅳ章	発掘調査の成果		
	概要・小結	（第１～２節）	本髙
		（第３節）	松下
	各遺構	（第１～２節）	本髙
			関口（真）
			翁長・飯野
	遺構内出土土器		
		（第１～２節）	本髙
	遺構内出土石器	（第２節）	関口（昌）
	包含層出土土器	（第２節）	堂込・本髙
			飯野
		（第３節）	松下・福地
			翁長
	包含層出土石器		
		（剥片石器）	堂込
		（打製石斧）	岩永
		（礫石器）	関口（昌）
第Ⅴ章	自然科学分析		各節に記載
第Ⅵ章	総　括		堂込・本髙
			岩永

17　本編に係る出土遺物及び実測図・写真等の記録は県立埋蔵文化財センターで保管し，展示・活用を図ることにしている。

凡　例

1　グリッドについて

グリッドは，センターライン上の「STA172 ＋ 80」と「STA173 ＋ 0」の延長線を基準に，１グリッド 10 m× 10 mの大きさで設定した。

2　遺構について

（1）掲載遺構の縮尺は，基本的には以下のとおりである。

ア　掘立柱建物跡　：1/60
イ　土坑・貯蔵穴　：1/30
ウ　石器集積　：1/20
エ　石器集中部　：1/20 または 1/30
オ　埋設土器・埋納遺構　：1/20
カ　落とし穴　：1/20 または 1/30
キ　土器集中部　：1/20
ク　ピット　：1/20

（2）遺構の名称及び番号は，遺構名＋遺構番号＋号とした。

例：埋設土器１号，落とし穴１号

（3）遺構番号は，各遺構ごとに通し番号を付した。

（4）遺構名については調査時に遺構名を付与後欠番にしたものがあり，報告書掲載のため便宜上新たな遺構名を付与し，掲載番号とした。第 57 表の遺構番号新旧対応表を参照にされたい。なお，原資料（図面・遺物・写真等）の注記には，調査時の旧遺構名で記載されている。

3　遺物について

（1）掲載遺物の縮尺は，基本的には以下のとおりである。ただし，大型の石器についてはレイアウト用紙に合わせて縮尺が異なる場合もあるので，各図に提示してある縮尺を参照していただきたい。

ア　土　器　：1/3
イ　石　器　：1/2 ～ 1/4
ウ　剥片石器　：4/5

（2）遺物番号は，通し番号を付した。

4　遺構配置図，遺物出土状況図等について

本報告書掲載の遺構配置図･遺物出土状況図等は，１グリッド（１マス）が 10 m四方であり，各図に縮尺を提示してある。

5　観察表について

遺物観察表中の土器の色調は，日本標準土色帖に基づく。

6　弥生土器の調整について

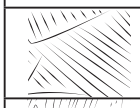
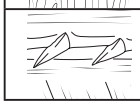
弥生時代以降　凡例	
	ハケ目
	ミガキ
	刻目突帯（古墳）



写真１　牧山遺跡から高隈山を望む

総目次

第１分冊
巻頭図版
序文
抄録
例言・凡例
目次
第Ⅰ章　発掘調査の経過
第１節　調査に至るまでの経緯
第２節　一部本調査
第３節　事前調査・本調査
第４節　本調査
第５節　整理作業・報告書作成業務
第６節　志布志 IC ～鹿屋串良 JCT 間の遺跡
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境
第１節　地理的環境
第２節　歴史的環境（周辺の遺跡を中心に）
第Ⅲ章　調査の方法と層序
第１節　発掘調査の方法
１　発掘調査の方法
２　遺構の認定・分類・時期判断と検出方法
３　整理・報告書作成作業の方法及び内容
４　出土遺物の分類について
第２節　層序
第Ⅳ章　発掘調査の成果
第１節　縄文時代前期～中期の調査成果
１　調査の概要
２　遺構
３　遺物
第２節　縄文時代後期～晩期の調査成果
１　調査の概要
２　遺構

第２分冊
第Ⅳ章　発掘調査の成果
第２節　縄文時代後期～晩期の調査成果
３　遺物
第３節　弥生時代以降の調査成果
１　調査の概要
２　遺構
３　遺物
第Ⅴ章　自然科学分析
第１節　自然科学分析の概要
第２節　牧山遺跡の放射性炭素年代測定１
第３節　牧山遺跡の放射性炭素年代測定２
第４節　牧山遺跡の炭化種実同定
第５節　牧山遺跡の炭素・窒素安定同位体比分析
第６節　牧山遺跡出土試料の自然科学分析
第７節　牧山遺跡における放射性炭素年代測定（AMS 測定）
および炭素・窒素安定同位体比分析
第８節　牧山遺跡出土遺物の蛍光Ｘ線分析
第９節　牧山遺跡における土器圧痕調査成果
第Ⅵ章　総括
第１節　縄文時代前期～中期
第２節　縄文時代後期～晩期
第３節　弥生時代以降
第４節　遺跡について

写真図版（遺構）
写真図版（遺物）
奥付

第１分冊本文目次

巻頭図版１
巻頭図版２
巻頭図版３
巻頭図版４
序文
抄録
例言・凡例
目次
第Ⅰ章　発掘調査の経過…… 1
第１節　調査に至るまでの経緯…… 1
第２節　一部本調査…… 1
第３節　事前調査…… 2
第４節　本調査…… 3
第５節　整理作業・報告書作成業務…… 7
第６節　志布志 IC ～鹿屋串良 JCT 間の遺跡 …… 11
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境…… 16
第１節　地理的環境…… 16
第２節　歴史的環境（周辺の遺跡を中心に）…… 16
第Ⅲ章　調査の方法と層序…… 22
第１節　発掘調査の方法…… 22
１　発掘調査の方法…… 22
２　遺構の認定・分類・時期判断と検出方法…… 22
３　整理・報告書作成作業の方法及び内容…… 22
４　出土遺物の分類について…… 26
第２節　層序…… 33
第Ⅳ章　発掘調査の成果…… 48
第１節　縄文時代前期～中期の調査成果…… 48
１　調査の概要…… 48
２　遺構…… 48
３　遺物…… 52
第２節　縄文時代後期～晩期の調査成果…… 55
１　調査の概要…… 55
２　遺構…… 66

挿図目次

第１図　牧山遺跡位置図
第２図　平成 20 年度一部本調査・平成 24 年度確認調査トレンチ配置図 …… ２
第３図　東九州自動車道関連（志布志 IC ～鹿屋串良 JCT 間）遺跡位置図 …… 15
第４図　周辺遺跡位置図 …… 21
第５図　牧山遺跡調査範囲図 …… 23
第６図　年度別調査範囲図１ …… 24
第７図　年度別調査範囲図２ …… 25
第８図　土器分類表（１） …… 26
第９図　土器分類表（２） …… 27
第 10 図　土器分類表（３） …… 28
第 11 図　土器分類表（４） …… 29
第 12 図　土器分類表（５） …… 30
第 13 図　土器分類表（６） …… 31
第 14 図　土層断面図①（Ｃ－２～Ｃ－４） …… 34
第 15 図　土層断面図②（Ｃ－５～Ｃ－６） …… 34
第 16 図　土層断面図②（Ｄ－６～Ｄ－ 11） …… 35
第 17 図　土層断面図②（Ｄ－ 12 ～Ｄ－ 13） …… 36
第 18 図　土層断面図③（Ｅ－ 13 ～Ｅ－ 16） …… 36
第 19 図　土層断面図③・④（Ｅ－ 16 ～Ｅ－ 21） …… 37
第 20 図　土層断面図⑤（Ｅ－ 22 ～Ｅ－ 25） …… 38
第 21 図　土層断面図⑥（Ｅ－ 26 ～Ｅ－ 27） …… 38
第 22 図　土層断面図⑥・⑦（Ｅ－ 27 ～Ｅ－ 33） …… 39
第 23 図　土層断面図⑦（Ｅ－ 33 ～Ｅ－ 35） …… 40
第 24 図　土層断面図⑧（Ｇ－ 37 ～Ｇ－ 39） …… 40
第 25 図　土層断面図⑧・⑨（Ｇ－ 39 ～Ｇ－ 44） …… 41
第 26 図　土層断面図⑩（Ｇ－ 44 ～Ｇ－ 47） …… 42
第 27 図　土層断面図⑪（Ｆ－４～Ｂ－４） …… 43
第 28 図　土層断面図⑫（Ｆ－８～Ｄ－８） …… 43
第 29 図　土層断面図⑫（Ｄ－８～Ｂ－８） …… 44
第 30 図　土層断面図⑬（Ｆ－ 15 ～Ｃ－ 15） …… 44
第 31 図　土層断面図⑬（Ｃ－ 15 ～Ｂ－ 15） …… 45
第 32 図　土層断面図⑭（Ｈ－ 30 ～Ｅ－ 30） …… 45
第 33 図　土層断面図⑭（Ｅ－ 30 ～Ｃ－ 30） …… 46
第 34 図　土層断面図⑮（Ｉ－ 41 ～Ｇ－ 41） …… 46
第 35 図　土層断面図⑮（Ｇ－ 41 ～Ｅ－ 41） …… 47
第 36 図　縄文時代前期～中期遺構配置図及び出土土器分布図 …… 48
第 37 図　埋設土器１号（１） …… 49
第 38 図　埋設土器１号（２） …… 50
第 39 図　土坑１号 …… 51
第 40 図　第Ⅰ類土器 …… 52
第 41 図　第Ⅱ類土器 …… 53
第 42 図　牧山遺跡　縄文時代後期～晩期の調査範囲（上Ｃ・Ｄ地点，下Ａ・Ｂ地点） …… 55
第 43 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（１） …… 56
第 44 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（２） …… 57
第 45 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（３） …… 58
第 46 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（４） …… 59
第 47 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（５） …… 60
第 48 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（６） …… 61
第 49 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（７） …… 62
第 50 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（８） …… 63
第 51 図　縄文時代後期～晩期遺構配置図（９） …… 64
第 52 図　掘立柱建物跡配置図 …… 65
第 53 図　掘立柱建物跡１号 …… 66
第 54 図　掘立柱建物跡２号 …… 67
第 55 図　掘立柱建物跡３号 …… 68
第 56 図　掘立柱建物跡４・５号 …… 69
第 57 図　掘立柱建物跡６・７号 …… 70
第 58 図　掘立柱建物跡８号 …… 71
第 59 図　掘立柱建物跡９号 …… 72
第 60 図　掘立柱建物跡 10 号 …… 73
第 61 図　掘立柱建物跡 11・12 号 …… 74
第 62 図　掘立柱建物跡 13 号 …… 75
第 63 図　掘立柱建物跡 14 号 …… 76
第 64 図　掘立柱建物跡 15 号 …… 77
第 65 図　掘立柱建物跡 16・17 号 …… 78
第 66 図　掘立柱建物跡 18 号 …… 79
第 67 図　掘立柱建物跡 19 号 …… 80
第 68 図　掘立柱建物跡 20 号 …… 81
第 69 図　掘立柱建物跡 21 号 …… 82
第 70 図　土坑・貯蔵穴配置図（１） …… 83
第 71 図　土坑・貯蔵穴配置図（２） …… 84
第 72 図　土坑・貯蔵穴配置図（３） …… 85
第 73 図　貯蔵穴１号 …… 86
第 74 図　土坑１～３号 …… 87
第 75 図　土坑４～６号 …… 88
第 76 図　土坑７～ 11 号 …… 89

第 77 図　土坑 12 ～ 14 号 …… 90
第 78 図　土坑 15 号 …… 91
第 79 図　土坑 16 号 …… 92
第 80 図　土坑 17 ～ 19 号 …… 93
第 81 図　土坑 20・21 号 …… 94
第 82 図　土坑 22 号（1）…… 95
第 83 図　土坑 22 号（2）…… 96
第 84 図　土坑 23・24 号 …… 97
第 85 図　土坑 25 号 …… 98
第 86 図　土坑 26 ～ 28 号 …… 99
第 87 図　土坑 29 ～ 31 号 …… 100
第 88 図　土坑 32 ～ 36 号 …… 101
第 89 図　土坑 37 号 …… 102
第 90 図　土坑 38 ～ 41 号 …… 103
第 91 図　土坑 42・43 号 …… 104
第 92 図　土坑 44 ～ 46 号 …… 105
第 93 図　土坑 47 号（1）…… 106
第 94 図　土坑 47 号（2）…… 107
第 95 図　土坑 47 号（3）…… 108
第 96 図　土坑 48 号 …… 110
第 97 図　土坑 49 ～ 56 号 …… 111
第 98 図　土坑 57 ～ 65 号 …… 112
第 99 図　土坑 66 ～ 71 号 …… 113
第 100 図　土坑 72 ～ 76 号 …… 114
第 101 図　土坑 77 ～ 85 号 …… 115
第 102 図　土坑 86 ～ 93 号 …… 116
第 103 図　土坑 94 ～ 102 号 …… 117
第 104 図　土坑 103 ～ 110 号 …… 118
第 105 図　土坑 111 ～ 119 号 …… 119
第 106 図　土坑 120 ～ 131 号 …… 120
第 107 図　土坑 132 ～ 142 号 …… 121
第 108 図　土坑 143 ～ 154 号 …… 122
第 109 図　土坑 155 ～ 161 号 …… 123
第 110 図　土坑 162 ～ 173 号 …… 124
第 111 図　土坑 174 ～ 181 号 …… 125
第 112 図　土坑 182 ～ 190 号 …… 126
第 113 図　土坑 191 ～ 199 号 …… 127
第 114 図　土坑 200 ～ 208 号 …… 128
第 115 図　土坑 209 ～ 218 号 …… 129
第 116 図　土坑 219 ～ 227 号 …… 130
第 117 図　土坑 228 ～ 238 号 …… 131
第 118 図　土坑 239 ～ 248 号 …… 132
第 119 図　土坑 249 ～ 257 号 …… 133
第 120 図　土坑 258 ～ 267 号 …… 134
第 121 図　土坑 268 ～ 276 号 …… 135
第 122 図　土坑 277 ～ 285 号 …… 136
第 123 図　石器集積・石器集中部配置図 …… 141
第 124 図　石器集積 1 号 …… 142
第 125 図　石器集積 2 号 …… 143
第 126 図　石器集中部 1 号 …… 144
第 127 図　石器集中部 2 号 …… 145
第 128 図　石器集中部 3 号 …… 145
第 129 図　石器集中部 4 号 …… 146
第 130 図　石器集中部 5 号 …… 147
第 131 図　石器集中部 6 号 …… 148
第 132 図　石器集中部 7 号 …… 149
第 133 図　石器集中部 8 号 …… 150
第 134 図　石器集中部 9 号 …… 151
第 135 図　石器集中部 10 号 …… 152
第 136 図　石器集中部 11 号（1）…… 153
第 137 図　石器集中部 11 号（2）…… 154
第 138 図　石器集中部 12 号（1）…… 155
第 139 図　石器集中部 12 号（2）…… 156
第 140 図　石器集中部 13 号（1）…… 156
第 141 図　石器集中部 13 号（2）…… 157
第 142 図　石器集中部 14 号 …… 158
第 143 図　石器集中部 15 号 …… 158
第 144 図　石器集中部 16 号 …… 159
第 145 図　石器集中部 17 号（1）…… 160
第 146 図　石器集中部 17 号（2）…… 161
第 147 図　石器集中部 18 号（1）…… 162
第 148 図　石器集中部 18 号（2）…… 163
第 149 図　石器集中部 19 号（1）…… 164
第 150 図　石器集中部 19 号（2）…… 165
第 151 図　石器集中部 20 号（1）…… 166
第 152 図　石器集中部 20 号（2）…… 167
第 153 図　石器集中部 21 号（1）…… 168
第 154 図　石器集中部 21 号（2）…… 169
第 155 図　石器集中部 22 号 …… 170
第 156 図　石器集中部 23 号 …… 171
第 157 図　石器集中部 24 号 …… 172
第 158 図　石器集中部 25 号 …… 173
第 159 図　埋設土器・埋納遺構配置図 …… 177
第 160 図　埋設土器 1 号 …… 178

第 161 図　埋設土器２号 …… 179
第 162 図　埋設土器３・４号 …… 180
第 163 図　埋設土器５号 …… 181
第 164 図　埋設土器６号 …… 182
第 165 図　埋設土器７号 …… 183
第 166 図　埋設土器８号 …… 184
第 167 図　埋設土器９号 …… 185
第 168 図　埋設土器 10 号 …… 186
第 169 図　埋設土器 11 号 …… 187
第 170 図　埋設土器 12 号 …… 188
第 171 図　埋設土器 13 号 …… 189
第 172 図　埋設土器 14 号（１）…… 189
第 173 図　埋設土器 14 号（２）…… 190
第 174 図　埋設土器 14 号（３）…… 191
第 175 図　埋設土器 15 号 …… 192
第 176 図　埋納遺構 …… 194
第 177 図　落とし穴配置図 …… 195
第 178 図　落とし穴１号 …… 196
第 179 図　落とし穴２号 …… 197
第 180 図　落とし穴３号（１）…… 198
第 181 図　落とし穴３号（２）…… 199
第 182 図　落とし穴４号 …… 199
第 183 図　落とし穴５号 …… 200
第 184 図　落とし穴６号（１）…… 201
第 185 図　落とし穴６号（２）…… 202
第 186 図　落とし穴７号（１）…… 202
第 187 図　落とし穴７号（２）…… 203
第 188 図　落とし穴７号（３）…… 204
第 189 図　落とし穴８号 …… 205
第 190 図　落とし穴９号（１）…… 206
第 191 図　落とし穴９号（２）…… 207
第 192 図　落とし穴 10 号 …… 208
第 193 図　落とし穴 11 号（１）…… 209
第 194 図　落とし穴 11 号（２）…… 210
第 195 図　落とし穴 12 号（１）…… 211
第 196 図　落とし穴 12 号（２）…… 212
第 197 図　落とし穴 13 号 …… 213
第 198 図　土器集中部配置図 …… 215
第 199 図　土器集中部１号 …… 216
第 200 図　土器集中部２号（１）…… 217
第 201 図　土器集中部２号（２）…… 218
第 202 図　土器集中部３号（１）…… 219
第 203 図　土器集中部３号（２）…… 220
第 204 図　土器集中部４号（１）…… 221
第 205 図　土器集中部４号（２）…… 222
第 206 図　土器集中部５号 …… 223
第 207 図　土器集中部６号 …… 224
第 208 図　土器集中部７号 …… 225
第 209 図　土器集中部８号（１）…… 226
第 210 図　土器集中部８号（２）…… 227
第 211 図　土器集中部９号（１）…… 228
第 212 図　土器集中部９号（２）…… 229
第 213 図　土器集中部 10 号 …… 230
第 214 図　土器集中部 11 号 …… 231
第 215 図　土器集中部 12 号 …… 232
第 216 図　土器集中部 13 号 …… 233
第 217 図　土器集中部 14 号 …… 234
第 218 図　土器集中部 15 号 …… 235
第 219 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（１）…… 237
第 220 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（２）…… 238
第 221 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（３）…… 239
第 222 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（４）…… 240
第 223 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（５）…… 241
第 224 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（６）…… 242
第 225 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（７）…… 243
第 226 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（８）…… 244
第 227 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（９）…… 245
第 228 図　グリット別ピット数 …… 246
第 229 図　Ｄ地点ピット１号 …… 246
第 230 図　Ｃ地点ピット２～ 11 号 …… 248
第 231 図　Ｃ地点ピット出土遺物 …… 249
第 232 図　Ｂ地点ピット 12 ～ 16 号 …… 250
第 233 図　Ｂ地点ピット 17 ～ 23 号 …… 251
第 234 図　Ｂ地点ピット 24 ～ 31 号 …… 252
第 235 図　Ｂ地点ピット 32 ～ 35 号 …… 253
第 236 図　Ｂ地点ピット出土遺物（１）…… 254
第 237 図　Ｂ地点ピット出土遺物（２）…… 255
第 238 図　Ｂ地点ピット出土遺物（３）…… 256
第 239 図　Ａ地点ピット 36 号 …… 257
第 240 図　ピット形状一覧 …… 260

表目次

第１表　志布志 IC ～鹿屋串良 JCT 間の遺跡 …… 11
第２表　周辺遺跡一覧表 …… 20
第３表　石材分類基準表 …… 32
第４表　牧山遺跡基本層序 …… 33
第５表　埋設土器１号出土土器観察表 …… 51
第６表　土坑１号出土土器観察表 …… 51
第７表　土坑１号観察表 …… 51
第８表　第Ⅰ類土器観察表 …… 54
第９表　第Ⅱ類土器観察表 …… 54
第 10 表　掘立柱建物跡出土土器観察表 …… 80
第 11 表　掘立柱建物跡出土石器観察表 …… 80
第 12 表　後期～晩期土坑出土土器観察表① …… 107
第 13 表　後期～晩期土坑出土土器観察表② …… 109
第 14 表　後期～晩期土坑出土石器観察表 …… 110
第 15 表　後期～晩期土坑観察表① …… 137
第 16 表　後期～晩期土坑観察表② …… 138
第 17 表　後期～晩期土坑観察表③ …… 139
第 18 表　後期～晩期土坑観察表④ …… 140
第 19 表　石器集積出土石器観察表 …… 143
第 20 表　石器集中部出土土器観察表 …… 174
第 21 表　石器集中部出土石器観察表① …… 174
第 22 表　石器集中部出土石器観察表② …… 175
第 23 表　石器集中部観察表① …… 175
第 24 表　石器集中部観察表② …… 176
第 25 表　埋設土器出土土器観察表 …… 193
第 26 表　埋設土器出土石器観察表 …… 193
第 27 表　埋納遺構出土石器観察表 …… 193
第 28 表　落とし穴出土石器観察表 …… 210
第 29 表　落とし穴出土土器観察表 …… 214
第 30 表　土器集中部出土石器観察表 …… 221
第 31 表　土器集中部出土土器観察表① …… 234
第 32 表　土器集中部出土土器観察表② …… 236
第 33 表　ピット出土土器観察表① …… 258
第 34 表　ピット出土土器観察表② …… 259
第 35 表　ピット出土石器観察表 …… 259
第 36 表　ピット観察表（Ｄ地点） …… 260
第 37 表　ピット観察表（Ｃ地点）① …… 260
第 38 表　ピット観察表（Ｃ地点）② …… 261
第 39 表　ピット観察表（Ｃ地点）③ …… 262
第 40 表　ピット観察表（Ｃ地点）④ …… 263
第 41 表　ピット観察表（Ｃ地点）⑤ …… 264
第 42 表　ピット観察表（Ｂ地点）① …… 264
第 43 表　ピット観察表（Ｂ地点）② …… 265
第 44 表　ピット観察表（Ｂ地点）③ …… 266
第 45 表　ピット観察表（Ｂ地点）④ …… 267
第 46 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑤ …… 268
第 47 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑥ …… 269
第 48 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑦ …… 270
第 49 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑧ …… 271
第 50 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑨ …… 272
第 51 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑩ …… 273
第 52 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑪ …… 274
第 53 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑫ …… 275
第 54 表　ピット観察表（Ｂ地点）⑬ …… 276
第 55 表　ピット観察表（Ａ地点）① …… 276
第 56 表　ピット観察表（Ａ地点）② …… 277
第 57 表　新旧遺構番号対応表 …… 278

図版目次

巻頭図版１
巻頭図版２
巻頭図版３
巻頭図版４

【本文中写真】
写真１　牧山遺跡から高隈山を望む
写真２　指導風景（水ノ江教授：同志社大学） …… 10
写真３　細分化したホルンフェルスと頁岩 …… 32
写真４　Ｃ地点土層断面⑬（Ｃ・Ｄ－ 15 区）
　Ⅰ～Ⅳ層上面 …… 33
写真５　Ｄ地点土層断面⑪（Ｃ－４区）
　Ⅰ～Ⅷ層上面 …… 33
写真６　石器集中部検出写真 …… 152
写真７　石器集中部 21 号検出 …… 169
写真８　埋設土器２・４・５号周辺 …… 184

第Ⅰ章　発掘調査の経過

第１節　調査に至るまでの経緯

鹿児島県教育委員会（以下「県教委」という。）は，文化財の保護・活用を図るため，各開発関係機関との間で，事業区内における文化財の有無及びその取り扱いについて協議し，諸開発との調整を図ってきた。

この事前協議制に基づき，日本道路公団九州支社鹿児島工事事務所（現西日本高速道路株式会社）は，東九州自動車道（志布志ＩＣ～末吉ＩＣ）建設を計画し，当該事業区間における埋蔵文化財の有無について県教委に照会を行った。

これを受けて，鹿児島県教育庁文化財課（以下「文化財課」という。）は平成 12 年２月，志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間の埋蔵文化財の分布調査を実施したところ，50 か所の遺跡が存在することが明らかとなった。この分布調査結果をもとに，事業区内の埋蔵文化財の取扱いについて，日本道路公団九州支社鹿児島工事事務所，鹿児島県土木部道路建設課高速道対策室，文化財課，県立埋蔵文化財センター（以下「埋文センター」）という。）の４者で協議を重ね対応を検討してきた。

その後，日本道路公団民営化の政府方針が提起され，事業計画の見直しと建設コストの削減も検討することとなった。このような社会情勢の変化や，道路建設工事計画に伴い，遺跡についてもより綿密な把握が求められることとなり，埋蔵文化財の詳細分布調査と試掘調査及び確認調査が実施されることとなった。なお，志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間については，平成 14 年４月に再度分布調査を実施した。

その後，日本道路公団民営化の閣議決定と新直轄方式に基づく道路建設の確定，平成 16 年３月に国土交通省九州地方整備局長，日本道路公団九州支社長，鹿児島県知事の間で新直轄方式施工に伴う確認書が締結された。工事は，日本道路公団が国土交通省から受託し，発掘調査は，日本道路公団が鹿児島県へ委託することになり，これまでの確認書，協定書は，そのまま生きることになった。また，日本道路公団からの委託による発掘調査は，曽於弥五郎ＩＣまでで終了し，曽於弥五郎ＩＣからの先線部は国土交通省からの受託事業となった。

なお，平成 21 年度までの当該区間の確認調査は，事業の円滑な推進を図る観点から本発掘調査の手順の中で国土交通省の事業費により行ってきたが，平成 23 年度からは文化庁の国庫補助事業を導入し，県内遺跡事前調査事業として県教委が実施することになった。これをふまえ，平成 23 年度は荒園遺跡・永吉天神段遺跡・堂園平遺跡，平成 24 年度は本遺跡・町田堀遺跡・京の塚遺跡・細山田段遺跡・宮脇遺跡，平成 25 年度は小牧遺跡・安良遺跡・木森遺跡，平成 26 年度は川久保遺跡・春日堀遺跡・小牧古墳群・安楽小牧Ｂ遺跡の確認調査を実施した。

この間，東九州自動車道建設事業等の増加に伴い，埋蔵文化財調査の事業量も増大することが見込まれ，その対応が困難な状況となりつつあった。そこで，公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター（以下「埋文調査センター」という。）を平成 25 年度に設立し，国関係の事業に係る発掘調査をより円滑かつ効率的に実施することとなった。

牧山遺跡については，平成 24 年度に埋文センターによる確認調査で縄文時代早期，縄文時代後期～晩期，弥生時代の遺物包含層が確認された。なお，本調査は，埋文調査センターが民間調査組織と支援業務委託を契約して実施することとした。また，遺跡が広範囲におよぶため，地形等を勘案し調査区をＡ～Ｄ地点に区分することとした。

牧山遺跡全体の調査経過は，次のとおりである。

発掘調査

発掘調査の履歴については，牧山遺跡Ａ～Ｄ地点のすべてについて記した。

（１）一部本調査
　平成 21 年１月～３月

（２）確認調査（県内遺跡事前調査事業）
　平成 24 年８月～ 12 月

（３）本調査
　第１回　平成 25 年６月～平成 26 年２月
　第２回　平成 26 年５月～平成 27 年１月
　第３回　平成 27 年５月～平成 28 年１月
　第４回　平成 28 年９月～平成 29 年１月
　第５回　平成 29 年５月～平成 30 年１月

なお，平成 29 年度が牧山遺跡の本調査最終年度である。

第２節　一部本調査

牧山遺跡の一部本調査を，埋文センターが平成 21 年１月 20 日から平成 21 年３月 19 日まで，遺跡西側の立小野堀遺跡と田原迫ノ上遺跡と併行し実施した（実働 34 日）。調査は，３ｍ×７ｍの先行トレンチを３か所（Ｌ・Ｍ・Ｎトレンチ）設定し，重機により表土剥ぎを行った後，人力にて掘り下げを行った。確認トレンチ設定箇所を図中（第２図）に示す。調査の結果，ＬトレンチではⅢ層まで削平を受けているもののⅢ層上面からピットが検出された。また，Ｍ・Ｎトレンチは，ゴボウトレンチャー等による攪乱がⅡｃ層まで達していたが，攪乱を免れた包含層から多くの土器・石器が出土した。

調査体制

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所

調査主体　鹿児島県教育委員会
企画・調整　鹿児島県教育庁文化財課
調査総括　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　所　長　宮原　景信
調査企画　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　次長兼総務課長　平山　章
　次長兼南の縄文室長　池畑　耕一
　調査第二課長　彌榮　久志
　調査第二課第一調査係長　中村　耕治
調査担当　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　文化財主事　髙岡　和也
事務担当　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　総務係長　紙屋　伸一
　主　査　五百路　真

第３節　事前調査

県内遺跡事前調査事業のうち，東九州自動車道建設に係る本遺跡の確認調査を下記の調査期間及び調査体制で実施した。

１　調査期間

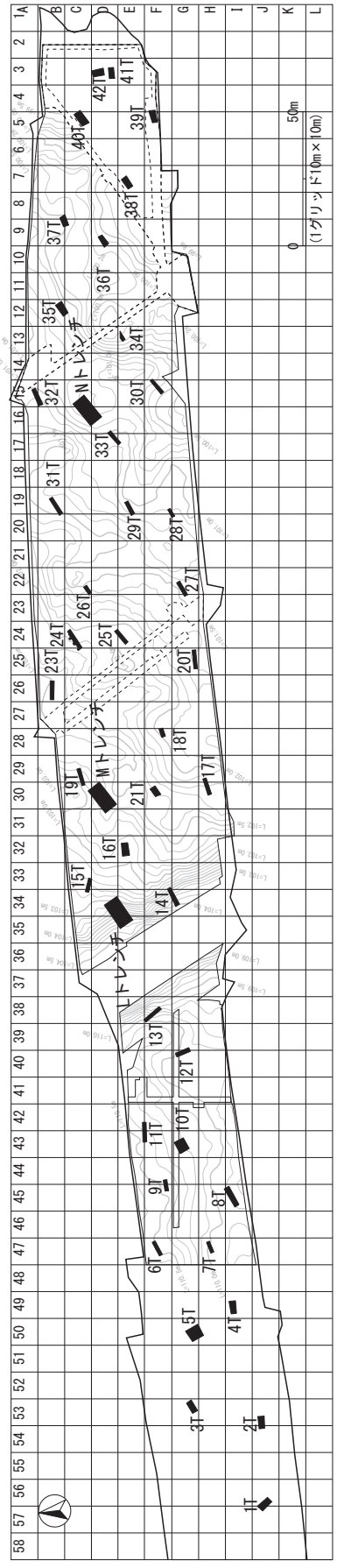
平成 24 年８月 20 日～平成 24 年 12 月 14 日

２　調査体制

調査主体　鹿児島県教育委員会
企画・調整　鹿児島県教育庁文化財課
調査総括　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　所　長　寺田　仁志
調査企画　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　次長兼総務課長　新小田　譲
　次　長　井ノ上　秀文
　調査第一課長　堂込　秀人
　調査第一課第二調査係長　大久保　浩二
調査担当　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　文化財主事　吉岡　康弘
　文化財研究員　今村　結記
事務担当　鹿児島県立埋蔵文化財センター
　主　査　下堂薗　晴美

３　調査経過

牧山遺跡の確認調査は，町田堀遺跡・京の塚遺跡（細山田段遺跡）・宮脇遺跡と併行し実施した（実働 91 日）。調査は，６ｍ×２ｍを基本とするトレンチを設定し，重機で表土を剥いだ後，重機により徐々に包含層を掘り下げる方法により行った。遺物・遺構を発見した場合には重機による掘り下げを即座に中止し，山鍬・鋤簾等による人力掘削で遺物・遺構の検出を行い，必要に応じて拡張を行った。また，トレンチは基本的に公共座標に沿い，地形的状況や調査区内の削平状況を考慮に入れながら 42 本設定し，その設定順に１トレンチから 42 トレンチまでの番号を付けた。トレンチ設定箇所を図中（第２



第２図　平成 20 年度一部本調査・平成 24 年度確認調査トレンチ配置図

図）に示す。

確認調査の結果，１～７，35～40トレンチからは遺構・遺物とも確認されなかった。18，31トレンチからは古墳～縄文時代後晩期と想定される遺物が出土し，８，９，16～21，24，26～29，31トレンチからは弥生～縄文時代後晩期と想定される遺物が出土した。34トレンチからは縄文時代前期と想定される遺物が出土し，41，42トレンチからは縄文時代早期と想定される遺物が出土した。10～15，23，25，30，32，33のトレンチからは遺物は出土していないが，遺構・遺物が検出される可能性が高いと判断した。また，７，９，12，16，18，19，21，26，28，34トレンチはアカホヤ火山灰堆積層であるＶａ層の上面で調査を終了した。

調査の結果，８トレンチから42トレンチ周辺を中心に弥生～縄文時代早期の遺構・遺物があることが想定されたため，この区域を中心に本調査を実施することとなった。

第４節　本調査

本調査を平成25～29年度の５か年にわたり実施した。各年度の調査期間は次のとおりである。

第１回　平成25年６月３日～平成26年２月12日
（支援業務委託）
第２回　平成26年５月12日～平成27年１月28日
（支援業務委託）
第３回　平成27年５月11日～平成28年１月27日
（支援業務委託）
第４回　平成28年９月12日～平成29年１月27日
（支援業務委託）
第５回　平成29年５月９日～平成30年１月26日
（支援業務委託）

また，各年度の調査体制及び調査の詳細（日誌抄より）については次のとおりである。

調査体制（平成25年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　センター長　冨田　逸郎
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　総務課長兼係長　山方　直幸
　調査課長　鶴田　静彦
　調査第一係長　八木澤　一郎
調査担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　文化財専門員　岩永　勇亮
　文化財専門員　宗岡　克英
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　主　査　岡村　信吾
調査の委託
　委託先　株式会社イビソク
　主任技術者　屋比久　一雄
　主任調査支援員　柴田　剛
　調査支援員　吉田　朋史
　調査支援員　宮城　毅
　調査支援員　堤　正樹
　調査支援員　藤岡　怜史

調査の経過

調査を実施するにあたり，遺跡全体を道路などにより区分し，西からＡ地点・Ｂ地点・Ｃ地点・Ｄ地点とした。

【６月】

Ａ地点，表土剥ぎ・Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ層上面遺構検出，調査。土器集中・土坑・硬化面の検出，調査，写真撮影，遺構実測。

【７月】

Ａ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ層上面遺構検出，調査。竪穴建物跡・玉髄埋納遺構・土坑・古道跡の検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ｂ地点，表土剥ぎ。平成25年度出土遺物洗浄。

【８月】

Ａ地点，Ⅲ層・Ⅳ層の機械掘削後Ⅴ層上面遺構調査。掘立柱建物跡・土坑の調査。写真撮影，遺構実測。Ｂ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。平成25年度出土遺物洗浄。

【９月】

Ａ地点，Ⅴ層上面遺構検出，調査。先行トレンチのⅤ層を機械掘削後，Ⅵ～Ⅶ層まで掘り下げ及び遺物取り上げ。空中写真撮影（１回目）。Ｂ地点，Ⅱ層の掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ層上面遺構検出。石器集中・埋設土器の調査，写真撮影，遺構実測。Ｃ地点，表土剥ぎ。平成25年度出土遺物洗浄。

【10月】

Ａ地点，拡張部の表土除去後，Ⅱ層の掘り下げ及び遺物取り上げ。落とし穴・土坑・集石・ピットの検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ｂ地点，Ⅲ層上面遺構検出，調査後Ⅲ～Ⅳ層を機械掘削。埋設土器・土器集中・石器集中・土坑・ピットの調査，写真撮影，遺構実測。Ｃ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ層上面遺構検出，調査。平成25年度出土遺物洗浄・注記。

【11月】

Ａ地点，拡張部・農道部分をⅤ層まで調査。土坑・ピットの検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ａ地点調査終了。Ｂ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ層上面遺構検出。埋設土器の検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ｃ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ後，先行トレンチをⅦ層まで機械掘削。各遺構調査後，Ｃ地点調査終了。Ｄ地点，表土～Ⅴ層まで機械掘削。

【12 月】
Ａ地点，埋戻し。Ｂ地点，Ⅱ層掘り下げ及び遺物取り上げ。Ⅲ～Ⅳ層を機械掘削後，各遺構調査。先行トレンチの調査終了。埋設土器の調査，写真撮影，遺構実測。一部埋戻し。Ｃ地点，埋戻し。Ｄ地点，Ⅵ層の掘り下げ，調査。空中写真撮影（２回目）。平成 25 年度出土遺物洗浄・注記。
【１月】
Ｂ地点，Ⅲ～Ⅳ層を機械掘削後，Ⅴ層の掘り下げ，調査。埋戻し。Ｄ地点，Ⅵ～Ⅶ層の掘り下げ，Ⅷ層上面検出，調査。平成 25 年度出土遺物洗浄・注記・整理・収納。平成 25 年度の調査終了。

調査体制（平成 26 年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　センター長　　堂込　秀人
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　総務課長兼係長　　山方　直幸
　　調査課長　　八木澤　一郎
　　調査第二係長　　寺原　徹
調査担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　文化財専門員　　徳永　愛雄
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　主　　査　　岡村　信吾
調査の委託
委託先　　株式会社イビソク
　　主任技術者　　屋比久　一雄
　　主任調査支援員　　柴田　剛(5～8月)
　　主任調査支援員　　澤田　孝(9～1月)
　　測量主任技師　　川久保　亮
　　調査支援員　　星野　綾大
　　調査支援員　　澤田　孝(9～1月)
　　調査支援員　　菅井一希(9～1月)

調査の経過

Ｃ地点の調査を実施した。調査を実施するにあたり，平成 26 年度調査区をＣ１とした。
【５月】
表土掘削。Ｃ１区北側Ⅱａ層～Ⅱｃ層掘り下げ。検出，遺構調査，遺物取り上げ測量，実測図作成，基準点・水準点設置，グリッド杭設置。平成 25 年度出土遺物搬出（センター）。平成 25 年度出土遺物洗浄。
【６月】
Ｃ１区北側Ⅱａ層～Ⅱｃ層掘り下げ，Ｃ１区南側Ⅱａ層～Ⅱｃ層掘り下げ。検出，遺構調査，実測図作成，遺物取り上げ測量，グリッド杭設置。平成 25 年度出土遺物洗浄。
【７月】
Ｃ１区北側Ⅱｃ層～Ⅲ層上面掘り下げ，Ｃ１区南側Ⅱｂ層～Ⅲ層上面掘り下げ。検出，遺構調査，実測図作成，遺物取り上げ測量。縄文時代早期確認トレンチ掘り下げ。Ｃ１区北Ⅲ層上面にて空中写真撮影（１回目）。平成 25 年度出土遺物注記。
【８月】
Ｃ１区北側Ⅲ層上面～Ⅳ層無遺物層掘り下げ，Ｃ１区北側Ⅶａ層～Ⅷ層掘り下げ。Ｃ１区南側（８月調査範囲変更）表土掘削，Ⅱａ層掘り下げ，Ⅲ層上面～Ⅳ層無遺物層掘り下げ，Ⅶａ層掘り下げ。検出，遺構調査，遺物取り上げ測量，実測図作成。縄文時代早期確認トレンチ掘り下げ。Ｃ１区南側Ⅲ層上面にて空中写真撮影（２回目）。平成 25 年度出土遺物注記。
【９月】
Ｃ１区南側Ⅱａ層～Ⅲ層上面掘り下げ，検出。Ｃ１区北側Ⅶａ層～Ⅶｂ層上面掘り下げ，遺物取り上げ測量，遺構調査，実測図作成。平成 25 年度出土遺物注記。平成 26 年度出土遺物洗浄，注記。
【10 月】
Ｃ１区北側Ⅶｃ層～Ⅷ層無遺物層掘り下げ，Ⅷ層検出。Ｃ１区南側Ⅶａ層～Ⅶｂ層掘り下げ，遺物取り上げ測量，遺構調査，実測図作成。Ｃ１区北側Ⅷ層上面にて空中写真撮影（３回目）。平成 26 年度出土遺物洗浄，注記。
【11 月】
Ｃ１区北側旧石器時代先行トレンチ掘り下げ。Ｃ１区南側Ⅶｂ層～Ⅶｃ層掘り下げ，Ⅶｃ層～Ⅷ層無遺物層掘り下げ，検出，遺構調査，実測図作成，遺物取り上げ測量。営繕用地先行トレンチ掘り下げ。平成 26 年度出土遺物洗浄，注記。
【12 月】
営繕用地先行トレンチ掘り下げ。Ｃ１区南側Ⅶｃ層～Ⅷ層無遺物層掘り下げ，Ⅷ層上面検出，遺物取り上げ測量，遺構調査，実測図作成。平成 26 年度出土遺物洗浄，注記。
【１月】
Ｃ１区南側Ⅷ層上面検出，遺構調査，実測図作成，遺物取り上げ測量，旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅷ層上面にて空中写真撮影（４回目）。平成 26 年度出土遺物洗浄，注記，納品準備。
平成 26 年度の調査終了。

調査体制（平成 27 年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　センター長　　堂込　秀人

調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　総務課長兼係長　有村　貢
　　調査課長　八木澤　一郎
　　調査第二係長　寺原　徹
調査担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　文化財専門員　元田　順子
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　主　査　荒瀬　勝己
調査の委託
委託先　株式会社島田組九州営業所
　　主任技術者　平野　正和
　　主任調査支援員　三ツ股　正明
　　測量主任技師　足立　英彦
　　調査支援員　服部　真和
　　調査支援員　板倉　歓之

調査の経過

Ｂ地点とＣ地点の調査を実施した。Ｃ地点の調査区は前年度の区分を基にＣ２から東にＣ３・４・５を新たに設定した。また，それに際してＢ地点の調査区をＢ１とした。

【４月】

仮設事務所設営。Ｃ２区着手前測量。

【５月】

Ｃ２区の表土掘り下げ，Ⅱａ層掘り下げ。埋没土器，古道，土器集中の検出，調査，写真撮影，遺構実測。

【６月】

Ｃ２区のⅡａ・Ⅱｂ層掘り下げ。石器集中，古道，土器集中，埋没土器の検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄。

【７月】

Ｃ２区のⅡａ・Ⅱｂ層掘り下げ。Ｃ３・４・５区の着手前測量，表土掘り下げ，Ⅱａ層掘り下げ。石器集中，古道，土器集中，埋設土器の検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記。

【８月】

Ｃ２区のⅡｂ・Ⅱｃ層遺構調査。Ｃ３・４・５区のⅠ・Ⅱａ・Ⅱｂ層掘り下げ。土坑，土器集中，古道，集積の検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記。小林青樹氏（奈良大学教授）による調査指導。本田道輝氏（元鹿児島大学教授）による調査指導。

【９月】

Ｃ２区の遺構調査。Ｃ３・４・５区のⅡａ・Ⅱｂ・Ⅱｃ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅶａ層の掘り下げ。Ｂ１区の着手前測量。土坑，土器集中，集積，掘立柱建物跡の検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ｃ２区の空中写真撮影（１回目）。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記。

【10 月】

Ｃ２区の遺構調査。Ｃ３・４・５区のⅣ・Ⅶａ・Ⅶｂ層の掘り下げ。Ｂ１区の表土掘り下げ。土坑，埋設土器，土器集中，ピット，集石，掘立柱建物跡の検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記。栗畑光博氏（宮崎県都城市教育委員会）による調査指導。

【11 月】

Ｃ２区のⅥ・Ⅶａ・Ⅶｂ層遺構調査。Ｃ３・４・５区の遺構調査，旧石器時代先行トレンチの掘り下げ。Ｂ１区のⅥ・Ⅶａ・Ⅶｂ・Ⅷ層掘り下げ。Ｃ２区のⅢ・Ⅳ・Ⅴ層機械掘削。土坑，集石，竪穴住居，旧石器時代先行トレンチの検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記，廃棄礫選別，袋詰め，収納。成尾英仁氏（武岡台高等学校）による調査指導。

【12 月】

Ｃ２区のⅥ・Ⅶａ・Ⅶｂ・Ⅷ層の掘り下げ，Ｃ３・４・５区の遺構調査，旧石器時代先行トレンチ，Ｂ１区のⅥ・Ⅶａ・Ⅶｂ層の掘り下げ。土坑，竪穴住居，集石，旧石器時代先行トレンチの検出，調査，写真撮影，遺構実測。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記，台帳作成。

【１月】

Ｃ２区のⅧ層，Ｂ１区のⅦａ・Ⅶｂ層の掘り下げ。Ｂ１区の遺構調査。Ｃ２区旧石器時代先行トレンチ掘り下げ。土坑，竪穴住居，集石，旧石器時代先行トレンチの検出，調査，写真撮影，遺構実測。Ｃ２区空中写真撮影（２回目）。平成 27 年度出土遺物洗浄，注記，台帳作成，収納，梱包，納品準備。

平成 27 年度の調査終了。

調査体制（平成 28 年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　センター長　堂込　秀人
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　総務課長兼係長　有村　貢
　　調査課長　八木澤　一郎
　　調査第一係長　中村　和美
調査担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　文化財専門員　西園　勝彦
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　　主　査　荒瀬　勝己
調査の委託
委託先　株式会社イビソク鹿児島営業所
　　主任技術者　栃原　正美
　　主任調査支援員　澤田　孝
　　測量主任技師　澤田　恭一
　　調査支援員　香山　周亮
　　調査支援員　菅井　一希

調査の経過

平成 28 年度はＢ地点とＤ地点において調査を実施した。Ｄ区の北側を①区，南側を②区，さらにＢ区の南側を③区，北側を④区，西側を⑤区と設定した。

【10 月】

①区，表土剥ぎ，Ⅱ層・Ⅷ層掘削，東側Ⅴ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，遺構精査，遺物取り上げ測量，Ⅲ層地形測量。②区，Ⅱ層遺構精査，Ⅲ層地形測量，土層断面実測，完成写真撮影。③区，準備工測量，Ⅱ層掘削，集石実測，遺物取り上げ測量。

【11 月】

①区，Ⅵ層・Ⅶ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，集石実測，遺物取り上げ測量，Ⅷ層地形測量。調査終了のため引き渡し。②区，調査終了のため引き渡し。③区，過年度調査状況の把握，Ⅱ・Ⅵ・Ⅶ層掘り下げ，Ⅵ層上面遺構精査，Ⅱ層ピット実測，遺物取り上げ測量，グリッド設定。④区，Ⅱ層掘り下げ，遺物取り上げ測量，グリッド設定。データ整理，台帳作成。

【12 月】

②区，調査終了のため引き渡し。③区，Ⅶ層掘り下げ，Ⅶ層遺構精査，Ⅶ層遺構掘り下げ，埋設土器遺構実測，土坑実測，遺物取り上げ測量，Ⅷ層地形測量，空中写真撮影。④区，先行トレンチ表土剥ぎ，Ⅱ・Ⅵ・Ⅶ層掘り下げ，遺物取り上げ測量。データ整理，台帳作成。

【１月】

③区，Ⅱ層（拡張部分）・Ⅶ・Ⅸ層～（旧石器時代先行トレンチ）掘り下げ，遺物取り上げ測量，土層断面実測。④区，Ⅱ・Ⅵ・Ⅶ層掘り下げ，遺物取り上げ測量，土層断面実測。⑤区，調査区の設定，表土剥ぎ，Ⅱ層掘り下げ，ピット４基精査。Ⅱ層のみ調査のため，調査完了。⑥区，調査区設定，表土剥ぎ，Ⅵ・Ⅶ層掘り下げ，土坑実測，遺物取り上げ測量。データ整理，台帳作成。

【２月】

データ・図面整理，図面の点検修正，台帳作成，納品準備。

平成 28 年度の調査終了。

調査体制（平成 29 年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　センター長　前迫　亮一
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　総務課長兼係長　中村　伸一郎
　調査課長　中原　一成
　調査第一係長　今村　敏照
調査担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　文化財専門員　辻　明啓
　文化財専門員　徳永　智明
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　主　査　荒瀬　勝己
調査の委託
委託先　国際文化財株式会社鹿児島営業所
　主任技術者　平林　淳雄
　主任調査支援員　鳥越　道臣
　調査支援員　川田　秀治
　調査支援員　大塚　正樹
　調査支援員　新平　直彦
　調査支援員　宮田　慈
　調査支援員　加世田　悠仁

調査の経過

Ｂ地点とＤ地点において調査を実施した。

【５月】

Ｂ地点，Ⅵ～Ⅶ層掘り下げ，Ⅶ層遺構調査・実測，遺物取り上げ測量。遺物洗浄・注記・整理作業。

【６月】

Ｂ地点，Ⅵ～Ⅷ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅶ～Ⅷ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量，土層断面実測。遺物洗浄・注記・重量計測・整理作業。

【７月】

Ｂ地点，Ⅵ～Ⅷ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅶ～Ⅷ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量，土層断面実測。Ｄ地点，着工前測量。遺物洗浄・注記作業，測量データ作成。森脇広氏（鹿児島大学名誉教授）による現地指導。

【８月】

Ｂ地点，Ⅵ～Ⅷ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅶ～Ⅷ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量，土層断面実測。Ｄ地点，表土掘削，遺物洗浄・接合・重量計測作業。

【９月】

Ｂ地点，Ⅱ・Ⅶ～Ⅷ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅶ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量，土層断面実測。Ｄ地点，調査範囲設定，着工前測量，カクラン層・Ⅱ～Ⅲ層・Ⅵ層・先行トレンチ掘り下げ，Ⅱ層遺構調査。遺物洗浄・接合作業，礫分類。

【10 月】

Ｂ地点，Ⅱ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅱ～Ⅳ層遺構調査，地形測量。Ｄ地点，表土・Ⅱ～Ⅲ・Ⅵ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅵ～Ⅶ層遺構調査，遺物取り上げ測量，土層断面実測。遺物洗浄作業。

【11 月】

Ｂ地点，重機掘削，Ⅱ～Ⅲ・Ⅵ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅶ層遺構調査。Ｄ地点，Ⅱ～Ⅲ・Ⅵ～Ⅷ層・旧石器時代先行トレンチ掘り下げ，Ⅲ・Ⅶ層遺構調査，遺物取り上げ測

量，地形測量，土層断面実測。遺物洗浄・注記・整理作業，礫分類。調査現場見学（大隅教育事務所ほか）。

【12月】

Ｂ地点，部分拡張部表土掘削，Ⅶ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅱ層遺構調査。Ｄ地点，Ⅱ・Ⅵ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅱ～Ⅲ・Ⅶ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量，土層断面実測，空中写真撮影。遺物洗浄・注記作業，石材分類，図面・データ整理。アカホヤ火山灰サンプル採取（鹿児島大学小林哲夫教授他３名）。

【１月】

Ｄ地点，Ⅶ～Ⅷ層掘り下げ，Ⅶ層遺構調査，遺物取り上げ測量，地形測量。遺物洗浄・梱包・収納作業，ウォーターセパレーション，図面・データ整理。

【２月】

データ整理。

平成29年度調査終了。

第５節　整理作業・報告書作成業務

本報告書作成に伴う整理・報告書作成作業は，県から委託を受けた埋文調査センターが平成27年度から実施しており，平成27年度と平成28年度は発掘調査と並行して実施した。

平成28年度は株式会社島田組へ整理作業・報告書作成の支援業務を委託し，牧山遺跡１（Ａ地点　弥生時代以降編）を刊行した。

作業内容は，次のとおりである。

調査体制（平成27年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　センター長　堂込　秀人
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　総務課長兼係長　有村　貢
　調査課長　八木澤　一郎
　調査第二係長　寺原　徹
整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　調査第二係長　寺原　徹
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　主　査　荒瀬　勝己

整理・報告書作成作業の経過

【４月】

遺物水洗，遺物選別・分類・遺物注記

【５月】

遺物水洗，遺物選別・分類・遺物注記

【６月】

遺物選別・分類・遺物注記

【７月】

遺物選別・分類・遺物注記

【８月】

遺物選別・分類・遺物注記

【９月】

遺物選別・分類・遺物注記

【10月】

遺物選別・分類・遺物注記・土器接合

【11月】

遺物選別・分類・遺物注記

【12月】

遺物選別・分類・遺物注記

【１月】

遺物選別・分類・石器実測遺物分類

【２月】

遺物選別・分類・石器実測遺物分類・台帳整理・遺物整理

【３月】

遺物整理・収納

調査体制（平成28年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　センター長　堂込　秀人
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　総務課長兼係長　有村　貢
　調査課長　八木澤　一郎
　調査第二係長　宗岡　克英
整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　文化財専門員　元田　順子
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　主　査　荒瀬　勝己
整理の委託
委託先　株式会社島田組
　主任調査支援員　三ツ股　正明
　調査支援員　井上　索裕
　調査支援員　河野　真幸

整理・報告書作成作業の経過

【５月】

Ａ地点出土弥生土器の分類・選別・接合・遺構デジタルトレースの調整・修正

【６月】

Ａ地点出土弥生土器の接合・復元・完形土器（縄文）の接合・土器（弥生）実測・石器実測・遺構デジタルトレースの調整・修正・原稿執筆

【７月】

Ａ地点出土弥生土器の復元・完形土器（縄文）の接合・復元・土器（弥生）実測・石器実測・遺構デジタルトレースの調整・修正・自然科学分析・原稿執筆

【８月】

Ａ地点出土弥生土器の復元・完形土器（縄文）の接合・復元・土器（弥生・陶磁器・縄文完形）実測・拓本・石器実測・トレース・現場写真選別・自然科学分析・原稿執筆

【９月】

Ｂ地点出土土器（縄文・弥生）の分類・接合・完形土器（縄文）の復元・土器（弥生・陶磁器・縄文完形）実測・トレース・石器実測・トレース・遺構図版データ編集・自然科学分析・原稿執筆

【10 月】

Ｂ地点出土土器（縄文）の接合・遺構図版レイアウト・データ編集・遺物図版レイアウト・データ編集・遺物観察表作成・遺物写真撮影・原稿執筆

【11 月】

Ｃ地点出土土器（縄文）の分類・接合・遺物注記・遺構・遺物データ編集・最終編集及び目次の確認

【12 月】

Ｃ地点出土土器（縄文）の分類・接合・遺物注記・原稿入稿・校正

【１月】

校正・遺物収納準備

【２月】

校正・成果物収納・支援業務委託作業終了・検査準備

【３月】

成果物提出・完成検査・支援業務委託終了

報告書刊行（牧山遺跡１）

調査体制（平成 30 年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所

調査主体　鹿児島県教育委員会

調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター

センター長　前迫　亮一

調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター

総務課長兼係長　中村　伸一郎

調査課長　中原　一成

調査第二係長　福永　修一

整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター

調査第二係長　福永　修一

文化財専門員　本髙　謙治

文化財専門員　徳永　智明

文化財専門員　髙吉　伸弥

文化財調査員　福地　祥平

文化財調査員　郷原　麻鈴

事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター

主　査　小牧　智子

整理・報告書作成作業の経過

【４月】

概要把握・礫洗い（H29 年度分）・遺物注記・重量計測・遺物台帳照合（早期）

【５月】

土器注記・遺構数把握（早期）・図面チェック（早期）・遺物の仕分け（石器，礫）

【６月】

石器（剥片・フレーク）分類・礫重量計測・データ入力

【７月】

土器接合（早期）・ウォーターセパレーション・炭化物の集約・遺構配置図完成（早期）

【８月】

土器接合（早期）・ウォーターセパレーション後の炭化物抜き出し

【９月】

石器実測遺物点数把握（早期）・土器接合（早期）・遺物チェック（後期～晩期）・自然科学分析委託

【10 月】

石器分類（後晩期）・集石図面チェック・遺構デジタルトレース開始（集石）

【11 月】

土層断面チェックと統合（Ａ～Ｄ地点）・遺構デジタルトレース（集石）・石器分類（後晩期）

【12 月】

Ｄ地点礫接合・土器接合（早期）・遺構デジタルトレース（集石）・石器実測委託（早期）・自然科学分析委託納品

【１月】

Ｄ地点礫接合・土器接合（早期）・遺構デジタルトレース（集石）

【２月】

土器接合（早期）・遺構デジタルトレース（集石）・原稿執筆（集石）・遺物収納準備

【３月】

石器実測委託納品・原稿執筆（集石）・遺物整理・収納

調査体制（令和元年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所

調査主体　鹿児島県教育委員会

調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター

センター長　中原　一成

調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター

総務課長兼係長　中島　治

調査課長　寺原　徹

調査第二係長　有馬　孝一

整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター

調査第二係長　有馬　孝一
文化財専門員　堂込　秀人
文化財専門員　本髙　謙治
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
主　　査　有川　剛弘

報告書作成指導委員会
６月２日・８月３日・10月２日・11月７日
調査課長ほか７人
報告書作成検討委員会
11月27日
センター長ほか５人

整理・報告書作成作業の経過
【４月】
概要把握，拓本（早期土器），遺構図面チェック
【５月】
石器実測委託（早期・後晩期），拓本（早期土器），
石器実測，石器分類（後晩期），原稿執筆
【６月】
土器実測（早期土器），石器実測，デジタルトレース（土層断面図）作成・調整・修正，原稿執筆
【７月】
土器実測（早期土器），石器実測，デジタルトレース（集石）作成・調整・修正，土器分類・接合（後晩期），原稿執筆
【８月】
トレース（早期土器），石器実測，土器分類･接合（後晩期），原稿執筆
【９月】
トレース（早期土器），石器実測，土器分類・接合・実測遺物選別（後晩期），現場写真選別，石器実測，委託納品（早期・後晩期），レイアウト（石器），原稿執筆
【10月】
トレース（早期土器），レイアウト（遺構･土器･石器），土器拓本（Ｂ地点，後晩期），石器トレース（早期），データ編集，遺物観察表作成，原稿執筆
【11月】
レイアウト，遺物観察表作成，遺物写真撮影，土器拓本（B地点，後晩期），石器実測，原稿執筆
【12月】
最終編集及び目次の確認，原稿入稿，校正，土器実測（後晩期），石器分類（Ｂ地点，後晩期）
【１月】
校正，土器実測（後晩期），デジタルデータの確認・修正（Ａ～Ｄ地点の後晩期，遺構・遺物）
【２月】
校正，土器実測（後晩期），遺物収納準備
【３月】
遺物整理，収納，遺構図面チェック，報告書納品

調査体制（令和２年度）
事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
センター長　中原　一成
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
総務課長兼係長　中島　治
調査課長　寺原　徹
調査第一係長　福永　修一
整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
文化財専門員　堂込　秀人
文化財専門員　本髙　謙治
文化財専門員　松下　寛正
文化財調査員　福地　祥平
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
主　　査　有川　剛弘

整理・報告書作成作業の経過
【４月】
拓本（後晩期土器），土器分類（後晩期），石器実測委託（後晩期），遺構図面チェック，石器実測
【５月】
拓本（後晩期土器），土器分類（後晩期），委託図面チェック（石器），遺構内石器分類，遺構図面チェック，石器実測，データ入力作業
【６月】
拓本（後晩期土器），土器分類（後晩期），実測遺物選別，委託図面チェック（石器），遺構内石器分類，遺構図面チェック，石器実測，遺構配置図作成
【７月】
拓本（後晩期土器），委託図面チェック（石器），実測遺物選別（遺構内石器），遺構図面チェック，石器実測，自然科学分析委託，デジタルデータチェック
【８月】
拓本（後晩期土器），土器実測（後晩期土器），土器復元，データ入力作業，石器実測，台帳整理（遺構内石器），石器実測委託品納品
【９月】
土器実測（後晩期土器），土器復元，データ入力作業，石器実測，土器分布状況図作成
【10月】
土器実測（後晩期）終了，拓貼り，土器トレース，土器補強・復元，土器実測（弥生），石器実測，自然科学分析（年代測定）納品，整理指導（線刻礫：小林青樹氏・奈良大学教授），資料調査（福岡市・久留米市・益城町）

【11 月】
　拓貼り，土器トレース，土器実測（弥生），石器実測（礫石器），整理指導（西平式系土器，環状集落：水ノ江和同氏・同志社大学教授）
【12 月】
　拓貼り，土器（弥生）トレース，石器実測（礫石器），土器（縄文）仮レイアウト，資料調査（都城市･宮崎市）
【１月】
　土器（弥生）トレース，遺構配置図作成準備，土器（縄文）仮レイアウト，石器（包含層）仮レイアウト
【２月】
　石器（礫石器）トレース，石器実測，土器補強，土器（弥生）仮レイアウト，原稿執筆（弥生土器）
【３月】
　遺構仮レイアウト，石器（礫石器）トレース，原稿執筆（包含層土器・石器）



写真２　指導風景（水ノ江教授：同志社大学）

調査体制（令和３年度）

事業主体　国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所
調査主体　鹿児島県教育委員会
調査総括　（公財）埋蔵文化財調査センター
　センター長　中村　和美
調査企画　（公財）埋蔵文化財調査センター
　総務課長兼係長　中島　治
　調査課長　福永　修一
　調査第一係長　永濵　功治
整理担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　文化財専門員　本髙　謙治
　文化財専門員　松下　寛正
事務担当　（公財）埋蔵文化財調査センター
　主　査　有川　剛弘
調査の委託
委託先　株式会社パスコ
　主任調査支援員　関口　真由美
　調査支援員　関口　昌和
　調査支援員　翁長　武司
　調査支援員　飯野　拓哉

報告書作成指導委員会
６月２日・８月６日・10 月５日・11 月４日・11 月 24 日
　調査課長ほか７人
報告書作成検討委員会
11 月 26 日
　センター長ほか５人

整理・報告書作成作業の経過

【４月】
　概要把握，遺構図面チェック，仮レイアウト
【５月】
　自然科学分析委託（年代測定，土器圧痕の電子顕微鏡観察），土器分類，デジタルトレース（土坑）作成・調整・修正，原稿執筆
【６月】
　土器分類，デジタルトレース（土坑）作成・調整・修正，原稿執筆
【７月】
　遺物写真撮影，石器実測（石器集中部），石器仮レイアウト（礫石器），デジタルトレース（土坑･石器集中等）作成・調整・修正，土器分類，自然科学分析納品（土器の圧痕の電子顕微鏡観察），原稿執筆
【８月】
　遺物写真撮影，分布図作成準備，デジタルトレース（土坑等）作成・調整・修正，現場写真選別，観察表作成準備，原稿執筆
【９月】
　遺物写真撮影，現場写真選別，自然科学分析委託納品（年代測定），レイアウト（土器），分布図作成，原稿執筆
【10 月】
　レイアウト（遺構），データ編集，遺物観察表作成，土器実測・トレース（関連遺跡），原稿執筆
【11 月】
　遺物観察表作成，データ編集，土器実測（関連遺跡），原稿執筆
【12 月】
　最終編集及び目次の確認，原稿入稿，校正，土器・石器実測（関連遺跡）
【１月】
　校正，土器・石器実測・トレース（関連遺跡），遺物収納準備
【２月】
　校正，土器・石器トレース（関連遺跡），遺物収納準備・移動（センターへ）・収納
【３月】
　図面整理，収納，報告書納品

第６節　志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間の遺跡

東九州自動車道の志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間には，第１表に示すとおり 23 か所の遺跡が存在する。ここでは調査済みおよび調査中の遺跡の概要を記載する。詳細については各報告書等を参照していただきたい。

第１表　志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間の遺跡

番号	遺跡名	所在地・立地	発掘調査	整理・報告書作成作業	遺跡の概要		
					時代・時期	主な遺構	主な遺物
1	見帰	志布志市 志布志町 志布志 台地上 標高約 70 m	H 28 年度 終了 ※H 25・30 年度に埋文センター調査（隣接地）	H 30 年度 刊行 R２年度 隣接地刊行	旧石器	—	ナイフ形石器，細石刃，使用痕剥片，磨石，叩石，台石
					縄文早期	土坑，集石	吉田式，石坂式，押型文，下剥峯式，縄文系土器，石鏃，磨石，叩石，石核
					縄文中期	落とし穴，土坑	石鏃，石皿
					縄文後期	溝状遺構	岩崎上層式，丸尾式，辛川式，納屋向タイプ，西平式，中岳Ⅱ式，石匙，石錐，打製石斧，磨石，敲石，石錘
					弥生	—	突帯文，高付式
					その他の時代	土坑，溝状遺構	薩摩焼，染付
		旧石器時代から近世までの複合遺跡であり，主体となるのは縄文時代後期である。赤色顔料を塗布した台付皿形土器が出土し，溝状遺構から出土した丸尾式土器・西平式土器などの一括資料は後期後半の共伴関係をみるうえで貴重である。					
2	宮ノ上	志布志市 志布志町 安楽 台地上 標高約 45 m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
3	安良	志布志市 志布志町 安楽 台地上 標高約 30 m	H 28 年度 H 29 年度 終了	H 30 年度 R 元年度 刊行	縄文早期	集石	前平式，小牧３Ａタイプ，轟Ａ式
					縄文中期	—	大平式，阿高式
					縄文後期～晩期	土坑	丸尾式，西平式系，組織痕土器，石鏃，スクレイパー，打製石斧，磨石，石錘，丸玉
					弥生中期	土坑	入来Ⅱ式，山ノ口Ⅱ式，磨製石鏃
					古墳時代	地下式横穴墓，溝状遺構	笹貫式，須恵器，鉄鏃，鉄鐸，
					古代～中世	掘立柱建物跡，竪穴建物跡，土坑，溝状遺構，帯状硬化面，礫集積遺構	土師器，須恵器，国産陶器，カムィヤキ，瓦器，輸入陶磁器，滑石製石鍋，鉄関連遺物，銭貨，炭化米塊
					近世	土坑，帯状硬化面	薩摩焼，肥前系陶器，瀬戸系陶器，銭貨，鉄製品
		縄文時代から近世までの複合遺跡であり，中世前半の炭化米塊は県内最古の事例として注目される。					
4	水神松	志布志市 志布志町 安楽 安楽川左岸 標高約３m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
5	安楽小牧Ｂ	志布志市 志布志町 安楽 台地上 標高約 50 m	H 27 年度 H 28 年度 終了	H 30 年度 R 元年度 刊行	旧石器	—	ナイフ形石器，細石刃核，細石刃
					縄文草創期	集石	土器片，黒曜石剥片，磨石，敲石，石皿
					縄文早期	集石	加栗山式，札ノ元Ⅶ類，倉園Ｂ式，石坂式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，平栫式，塞ノ神式，耳栓，石鏃，石匙，石錐，石核，磨製石斧，礫石器，異形石器
					弥生	—	入来Ⅱ式
					古代～近世	溝状遺構，帯状硬化面	土師器，須恵器，青磁，薩摩焼，染付，土製品，鉄製品，寛永通宝
		起伏のある地形に立地し，縄文時代早期を中心に旧石器時代，縄文時代草創期も出土した複合遺跡である。古墳群として遺跡登録されているが，これまでの調査では痕跡を含め古墳は確認されていない。					
6	次五	志布志市 有明町 野井倉 台地縁辺部 標高約 50 m	H 26 年度 H 27 年度 終了 ※志布志市教育委員会調査	H 29 年度 刊行 ※志布志市教育委員会刊行	旧石器	—	畦原型細石刃核，細石刃，剥片
					縄文早期	落とし穴，連穴土坑，土坑，集石，磨石集積，配石遺構，石器製作跡，	岩本式，前平式，志風頭式，東九州系無文土器，加栗山式，小牧３Ａタイプ，吉田式，岩ノ上タイプ，札ノ元Ⅶ類，倉園Ｂ式，石坂式，中原式，下剥峯式，桑ノ丸式，辻タイプ，押型文，手向山式，塞ノ神式，石鏃，スクレイパー，石核，磨製石斧，石錘，磨石・敲石類，石皿，トロトロ石器，異形石器
					縄文前期以降	落とし穴	
		旧石器時代から縄文時代早期を中心とする遺跡である。旧石器時代は，細石刃文化期の遺物が出土している。縄文時代早期前葉に該当する遺構や遺物が多く確認された。特に注目されるのは被熱破砕礫が多量に出土した点である。					
7	大代	志布志市 有明町 野井倉 台地縁辺部 標高約 40 m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
8	木森	志布志市 有明町 野井倉 河岸段丘 標高約 30 m	H 26 年度 H 30 年度 終了	R３年度 刊行予定	縄文早期	連穴土坑，土坑，集石，土器集中	前平式，加栗山式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，石鏃，石匙，楔形石器，打製・磨製石斧，磨・敲石
					縄文中期	—	春日式，磨製石斧
					古代	—	須恵器
					中世	掘立柱建物跡，ピット列，ピット	土師器，青磁，白磁，滑石製石鍋片，常滑焼，備前焼，中国陶器
					時期不詳	土坑，不明遺構，溝状遺構	—
		縄文時代早期と中世を中心とする遺跡である。遺構では縄文時代早期の連穴土坑，土坑，集石，中世の掘立柱建物跡等が発見された。遺物は縄文時代早期の土器や石器を中心に，縄文時代中期から中世の遺物が出土している。また，鬼界カルデラ噴火による液状化現象（噴砂跡）が確認されている。					

番号	遺跡名	所在地・立地	発掘調査	整理・報告書作成作業	遺跡の概要		
					時代・時期	主な遺構	主な遺物
9	田尾下	志布志市 有明町 野井倉 菱田川右岸 標高約５m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
10	春日堀	志布志市 有明町 蓬原 河岸段丘 標高約 30 m	H 26 年度 H 27 年度 H 28 年度 H 29 年度 H 30 年度 終了	H 30 年度 R 元年度 (1) 刊行 R 2 年度 R 3 年度 (2) 刊行予定	縄文早期	竪穴建物跡，連穴土坑，集石，土坑，土器集中，炭化物集中，落とし穴	前平式，加栗山式，石坂式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，塞ノ神式，石鏃，削器，掻器，環状石斧，磨石・敲石類，台石・石皿類，石製品，異形石器
					縄文後期	落とし穴，土坑	丸尾式，石器
					弥　生	竪穴建物跡	山ノ口Ⅰ式
					弥生終末期～古墳前期	竪穴建物跡，土坑，遺物集中区	弥生終末期～古墳前期の土器，鉄鏃，敲石，磨敲石，砥石，台石，磨製石剣
					古墳終末期	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，溝跡，遺物溜まり，地下式横穴墓，遺物集中区	笹貫式新段階，甕，須恵器，鉄鏃，青銅製品，敲石，磨敲石，砥石，軽石製品，棒状石器
					古　代	掘立柱建物跡，ピット列，焼土跡	土師器，須恵器，軽石製品，土製品
					中　世	堀跡，道跡，ピット列，竪穴建物跡，土坑墓	土師器，常滑焼，白磁，青磁
					近　世	溝跡，道跡，貝溜まり	
		縄文早期から中世を中心とする遺跡である。遺構は縄文時代早期の竪穴建物跡，連穴土坑，集石，落とし穴，弥生時代の竪穴建物跡，古墳～飛鳥時代の竪穴建物跡（焼失住居跡含む），掘立柱建物跡，溝状遺構，中世の掘立柱建物跡，堀跡が検出された。遺物は縄文時代早期の土器，石器等をはじめ，弥生時代から中・近世の遺物が出土している。また，鬼界カルデラ噴火に伴う液状化現象（噴砂跡）の痕跡も確認されている。					
11	牧ノ上B	志布志市 有明町 野井倉 台地上 標高約 47 m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
12	稲荷堀	曽於郡 大崎町 菱田 台地上 標高約 50m	文化財課の試掘調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
13	平良上C	曽於郡 大崎町 井俣 台地上 標高約 40 m	H 26 年度 H 27 年度 終了	H 27 年度 H 28 年度 刊行	縄文早期	竪穴住居跡，竪穴遺構，連穴土坑，土坑，集石，土器集中，チップ集中	岩本式，加栗山式，吉田式，石坂式，中原式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，平栫式，塞ノ神式，苦浜式，石鏃，石匙，石錐，削器，掻器，楔形石器，打製・磨製石斧，磨石，敲石，凹石，砥石，石錘，石核，線刻礫
		縄文時代早期を中心とする遺跡である。遺構は竪穴建物跡，連穴土坑，集石，土坑が検出されている。遺物は，縄文時代早期の土器，石鏃，石匙，打製石斧，磨製石斧等が出土している。また，鬼界カルデラ噴火に伴う液状化現象（噴砂跡）も確認されている。					
14	宮脇	曽於郡 大崎町 井俣 台地上 標高約 40 m	H 27 年度 H 28 年度 終了	H 30 年度 R 元年度 刊行	旧石器	礫群	ナイフ形石器，三稜尖頭器，台形石器，細石刃，細石刃核，スクレイパー，掻器，使用痕剥片，磨石，叩石
					縄文早期	集石，土坑	志風頭式，加栗山式，札ノ元Ⅶ類，小牧３Ａタイプ，倉園Ｂ式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，手向山式，平栫式，塞ノ神式，打製石鏃，石匙，石錐，磨製石斧，磨石，叩石，石皿，軽石製品
					中世～近世	井戸状遺構	青磁，薩摩焼，寛永通宝
		旧石器時代・縄文時代早期を中心とする遺跡である。旧石器時代では，石器製作に関連すると考えられる石核，フレーク，チップ等が出土している。縄文時代早期では，集石，土坑，土器集中，ピットと土器，石器等が出土している。鬼界カルデラ噴火に伴う液状化現象の噴砂跡も確認されている。					
15	堂園堀	曽於郡 大崎町 井俣 台地上 標高約 45 m	文化財課の試掘調査及び埋文センターの確認調査により，本路線上には遺構・遺物がないことが確認されたため，本調査を実施せず。				
16	荒園	曽於郡 大崎町 仮宿 台地縁辺部 標高約 50 m	H 24 年度 H 25 年度 H 26 年度 H 30 年度 終了 ※H 24 年度は埋文センター調査	H 28 年度 (1) 刊行 H 30 年度 R 元年度 R 2 年度 R 3 年度 (2) 刊行予定	旧石器	—	ナイフ形石器，三稜尖頭器，細石刃，細石刃核，チップ
					縄文早期	集石，土坑，剥片・チップ集中	前平式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，手向山式，平栫式，塞ノ神式，苦浜式，無文，轟Ａ式，石鏃，スクレイパー，石匙，耳栓，打製・磨製石斧，磨石，石皿
					縄文前期～晩期	—	轟Ｂ式，入佐式，石鏃，打製石斧，磨石，石皿
					弥　生	竪穴建物跡，土坑	吉ヶ崎式，山ノ口式，磨製石鏃未製品，砥石
					古　墳	竪穴建物跡	布留系土器，砥石，軽石製品
					古代以前	片薬研堀	—
					中世以降	掘立柱建物跡，土坑，溝状遺構，帯状硬化面	土師器，東播系須恵器，備前焼，陶器，青磁，華南三彩，薩摩焼
		縄文時代早期から古墳時代を中心とする遺跡である。遺構は，縄文時代早期の集石，弥生時代・古墳時代の竪穴建物跡，古代以前の片薬研堀，中世の掘立柱建物跡等が検出され，遺物は縄文時代早期の土器，石器，弥生時代・古墳時代の土器，土師器，陶器，磁器等が出土している。また，鬼界カルデラ噴火に伴う液状化現象（噴砂跡）も確認されている。					

番号	遺跡名	所在地・立地	発掘調査	整理・報告書作成作業	遺跡の概要		
					時代・時期	主な遺構	主な遺物
17	永吉天神段	曽於郡 大崎町 永吉 台地縁辺及び河岸段丘 標高 30 ～ 50m	H 24 年度 H 25 年度 H 26 年度 H 27 年度 終了 ※H 24 年度は埋文センター調査	H 27 年度 (1・第 1 地点) 刊行 H 28 年度 (2・第 2 地点 1) 刊行 H 29 年度 (3・第 2 地点 2) 刊行 H 30 年度 (4・第 3 地点) 刊行 R 元年度 (5・第 2 地点 3) 刊行	旧石器	礫群，ブロック	尖頭器，ナイフ形石器，台形石器，剥片
					縄文早期	集石，土器埋設遺構	前平式，加栗山式，吉田式，手向山式，下剥峯式，押型文，平栫式，塞ノ神式，苦浜式，条痕文，石鏃，石匙，石斧，磨石，敲石，石皿
					縄文前期	—	曽畑式
					縄文後期	—	岩崎上層式，北久根山式，中岳Ⅱ式
					縄文晩期	竪穴建物跡，落とし穴，土坑	入佐式，黒川式，刻目突帯文，管玉，打製石斧
					弥生	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，円形周溝墓，土坑墓群，土坑	入来式，山ノ口式，黒髪式，鉄鏃，磨製石鏃，管玉
					古墳	竪穴建物跡，土坑	成川式，須恵器
					古代	掘立柱建物跡，土坑	須恵器，土師器
					中世	掘立柱建物跡，土坑墓，地下式坑，火葬土坑，土坑	白磁，青磁，土師器，瓦質土器，東播系須恵器，備前焼，常滑焼，湖州六花鏡，滑石製石鍋，砥石，石塔，古銭
					近世	近世墓	薩摩焼，染付，寛永通宝，石臼
					時期不明	掘立柱建物跡	—
		旧石器時代から近世までの遺跡である。弥生時代中期の円形周溝墓を頂点とする土坑墓群から，国内では最古級となる鉄鏃が出土した。中世では白磁，青磁，瓦質土器，東播系須恵器等が多量に出土した。また，地下式坑と呼ばれる中～近世の大型土坑も発見された。					
18	細山田段	鹿屋市 串良町 細山田 曽於郡 大崎町 細山田 台地上 標高約 95 m	H 25 年度 H 26 年度 H 27 年度 終了	H 26 年度 H 28 年度 H 30 年度 R 元年度 (1) 刊行 R 2 年度 (2) 刊行	縄文早期	集石，埋設土器	吉田式，石坂式，下剥峯式，桑ノ丸式，中原式，押型文，平栫式，塞ノ神式，苦浜式，右京西式，石鏃，石匙，磨・敲石，石核
					縄文前・中期	土坑，土器集中	曽畑式，深浦式，大歳山式，鷹島式，船元式，石鏃，石匙，石錐，スクレイパー，二次加工剥片，磨石，敲石，石皿，石核，炭化種実
					縄文後期	土坑	辛川式，丸尾式，西平式，中岳Ⅱ式，石鏃，石匙，石錐，スクレイパー，磨・敲石，打製石斧，磨製石斧，石皿
					縄文晩期	—	入佐式，黒川式
					弥生前期	—	高橋式
					古墳	—	成川式
					時期不明	溝状遺構・古道	—
		縄文時代前期から中期初頭を中心に，縄文時代早期から近世までを含む遺跡である。縄文中期では 170 基を超える土坑が検出されたほか，在地系土器の深浦式土器，近畿地方の大歳山式土器や鷹島式土器，瀬戸内地方の船元式土器などが出土し，当時の遠隔地交流の一端が明らかとなった。					
19	小牧	鹿屋市 串良町 細山田 台地上 標高約 60 m	H 27 年度 H 28 年度 H 29 年度 終了	H 30 年度 R 元年度 (1) 刊行 R 2 年度 (2) 刊行 R 3 年度 (3) 刊行予定 作業中	旧石器	—	槍先形尖頭器，ナイフ形石器，三稜尖頭器，細石刃
					縄文早期	竪穴建物跡，連穴土坑，土坑，集石	前平式，吉田式，石坂式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，平栫式，塞ノ神式，苦浜式，条痕文，石鏃，石匙，石斧，磨敲石，石皿
					縄文前期	—	曽畑式，深浦式，磨石
					縄文後期	竪穴建物跡，石皿立石遺構，伏甕，石斧集積遺構，集石，土坑	阿高式系，岩崎上層式，指宿式，市来式，石鏃，横刃型石器，打製石斧，磨石，石皿，大珠
					縄文晩期	—	入佐式，黒川式，刻目突帯文
					弥生	—	入来式，山ノ口式，高付式，須久式系統，砥石
					古墳	竪穴建物跡，礫集積，土器溜，土坑	東原式，辻堂原式，笹貫式，布留系土器，須恵器，鉄鏃，鉄製品，敲石，勾玉，臼玉，管玉，軽石加工品
					古代	掘立柱建物跡，焼土跡，溝状遺構，土坑	土師器，須恵器，墨書土器，鉄器，土錘，焼塩土器，土製紡錘車
					中世以降	掘立柱建物跡，土坑，石組遺構，溝状遺構，杭列	土師器，東播系須恵器，白磁，青磁，墨書土器，石鍋，合子，鞴羽口，刀子，鉄製紡錘車，焙烙，古銭，薩摩焼
		旧石器時代から近世までの遺跡である。縄文時代早期前半から中葉の集落，後期の石皿遺構を伴う環状構造の集落とこれらに伴う遺物が特筆される。この他，古墳時代の花弁形住居跡を伴う集落や古代・中世の掘立柱建物跡群も発見されている。周辺の遺跡を含めて串良川沿岸における人間活動の変遷を追うことができる遺跡である。					
20	川久保	鹿屋市 串良町 細山田 河岸段丘 標高 30 ～ 50m	H 26 年度 H 27 年度 H 28 年度 H 29 年度 H 30 年度 終了	H 27 年度 H 29 年度 H 30 年度 (1・C 地点) 刊行 R 元年度 (2・B・D 地点) 刊行 R 2 年度 (3・A 地点) (4・A 地点) 刊行 R 3 年度 作業中	旧石器	礫群	剥片尖頭器，ナイフ形石器，畝原型細石刃核
					縄文早期	竪穴建物跡，集石，土坑	岩本式，前平式，志風頭式，加栗山式，吉田式，倉園Ｂ式，石坂式，下剥峯式，押型文，塞ノ神式，苦浜式，轟Ａ式，石鏃，打製石斧，石皿
					縄文前期	集石	曽畑式，磨製石斧
					縄文後期	—	中岳式
					縄文晩期	集石	入佐式，黒川式，刻目突帯文
					弥生前期	—	高橋式
					弥生中期	竪穴建物跡	下条式，山ノ口式
					古墳	竪穴建物跡，鍛冶関連建物跡，竪穴遺構，溝状遺構，道跡	成川式，鞴羽口，高坏脚転用鞴羽口，鉄鏃，鉄滓，勾玉，管玉
					古代	掘立柱建物跡	須恵器，土師器
					中世	掘立柱建物跡，溝状遺構，道跡	青磁，白磁，瓦器椀
		旧石器時代から中世までの遺跡である。特に古墳時代では，集落を構成する多数の竪穴建物跡や鍛冶関連遺物を伴う遺構が発見されているほか，専用の鞴の羽口も出土している。古墳時代の鉄製品の生産過程を明らかにする良好な資料である。					

番号	遺跡名	所在地・立地	発掘調査	整理・報告書作成作業	遺跡の概要		
					時代・時期	主な遺構	主な遺物
21	町田堀	鹿屋市 串良町 細山田 台地縁辺部 標高約 90 m	H 25 年度 H 26 年度 H 27 年度 H 28 年度 終了	H 27 年度 (1) 刊行 H 29 年度 (2) 刊行	縄文早期	集石	下剥峯式，平栫式
					縄文後期	竪穴建物跡，埋設土器，落とし穴，土坑，石斧集積遺構	中岳Ⅱ式，石刀，石鏃，打製・磨製石斧，ヒスイ製垂飾，小玉，勾玉，管玉
					縄文晩期	—	黒川式，刻目突帯文
					弥生中期	竪穴建物跡	入佐式，山ノ口式，土製勾玉
					古　墳	竪穴建物跡，地下式横穴墓，円形周溝墓，溝状遺構	成川式，人骨，鉄剣，鉄鏃，刀子，ヤリ鉋，異形石器
					古　代	焼土跡，道跡	土師器，須恵器
		縄文時代早期から古代までの遺跡である。古墳時代の地下式横穴墓が 92 基発見され，円形周溝を伴う例も初めて確認されている。立小野堀遺跡や下堀遺跡等と類似性が想定され，高塚墳と共存する志布志湾沿岸部の地下式横穴墓との比較が可能になり，大隅半島の古墳時代像解明に必須の遺跡である。このほか，縄文時代後期の竪穴建物跡から，橿原文を施す完全な石刀が出土している。					
22	牧山（本報告書）	鹿屋市 串良町 細山田 台地縁辺部 標高約 110m	H 25 年度 H 26 年度 H 27 年度 H 28 年度 H 29 年度 終了	H 28 年度 (1) 刊行 H 30 年度 R 元年度 (2) 刊行 R 2 年度 R 3 年度 (3) 刊行予定	旧石器	—	剥片
					縄文早期	竪穴建物跡，連穴土坑，土坑，集石，石器製作跡	吉田式，石坂式，下剥峯式，桑ノ丸式，押型文，石鏃，石匙，スクレイパー，磨石
					縄文前期	埋設土器（轟式）	轟Ｂ式，条痕文
					縄文後期	土坑，落とし穴状遺構，掘立柱建物跡，ピット，埋設土器，石器集中部	市来式，丸尾式，納屋向式，納曽式，西平式，辛川Ⅱ式，太郎迫式，中岳Ⅱ式，打製・磨製石斧，磨敲石，剥片，石核，石皿，石冠
					縄文晩期	—	入佐式，黒川式，刻目突帯文
					弥生中期	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，土坑	入来式，山ノ口式，打製・磨製石斧，磨製・打製石鏃，磨石，敲石，石皿，青銅鑿
					中・近世	古道跡	青磁，白磁，薩摩焼
		旧石器時代から中世にかけての遺跡である。特に，縄文時代後期の建物跡を構成していた柱穴群が環状に発見されており注目される。また，同時期のものと考えられる複数の埋設土器と石冠が１点出土している。弥生時代中期の青銅製鑿の出土も特筆される。					
23	田原迫ノ上	鹿屋市 串良町 細山田 台地縁辺部 標高約 120m	H 22 年度 H 23 年度 H 24 年度 H 25 年度 H 26 年度 H 28 年度 H 30 年度 終了 ※H 22 ～ 24 は埋文センター調査	H 26 年度 (1) 刊行 H 27 年度 H 28 年度 (2) 刊行 R 元年度 R 3 年度 (3) 刊行予定 ※H 23 ～ 24 は埋文センター作業	縄文早期	竪穴建物跡，連穴土坑，集石，落とし穴，土坑，石器製作跡	前平式，吉田式，倉園Ｂ式，石坂式，下剥峯式，辻タイプ，桑ノ丸式，中原式，押型文，手向山式，平栫式，塞ノ神式，石槍，石鏃，石匙，磨石，敲石，石皿，打製石斧
					縄文後期	落とし穴，礫集積	指宿式，市来式，石鏃，磨石
					縄文晩期	—	黒川式
					弥生中期	竪穴建物跡，大型建物跡，掘立柱建物跡，円形・方形周溝，	山ノ口式・中溝式，擬凹線文系壺，土製勾玉，鉄器，磨製石鏃，石匙，砥石，敲石，台石
					古墳時代以降	溝状遺構，畝状遺構	土師器碗，薩摩焼
		縄文時代早期から弥生時代中期を中心とした遺跡である。弥生時代中期では，ベッド状遺構を伴う方形・円形の大型竪穴住居跡，棟持柱をもつ掘立柱建物跡２棟を含む建物跡群，柱穴列や円形・方形の周溝などが検出されており，大隅半島中央部における当該期の集落の様相を知る上で貴重な遺跡である。このほか，縄文時代早期の竪穴住居跡，連穴土坑などの遺構が多数発見されていることも注目される。					
24	立小野堀	鹿屋市 串良町 細山田 台地縁辺部 標高約 125m	H 22 年度 H 23 年度 H 24 年度 H 26 年度 H 30 年度 終了 ※H 22 ～ 24 は埋文センター調査	H 24 ～ 27 年度 H 28 年度 (1) 刊行 R 3 年度 (2) 刊行予定 ※H 24 は埋文センター作業	縄文前・中期	—	深浦式
					縄文後期	—	指宿式，市来式，西平式
					弥生中期	—	山ノ口式
					古　墳	地下式横穴墓，土坑墓，溝状遺構	成川式，須恵器，鉄器（刀・剣・槍・鉾・刀子・鏃等），青銅鈴，人骨
					時期不詳	溝状遺構	—
		縄文時代前期から古墳時代までの遺跡である。特筆すべきは，古墳時代の地下式横穴墓が約 200 基発見されたことである。玄室内には鉄鏃や鉄剣等の鉄器，青銅製鈴等の副葬品と人骨が多数残っていたほか，墓周辺から多量の土器や須恵器が出土した。青銅製鈴をはじめ，多種多様な副葬品を伴った地下式横穴墓群の発見は，南九州の古墳時代墓制の様相全体を解明していく上で貴重な資料である。					
25	十三塚	鹿屋市 串良町 細山田 台地上 標高約 140m	H 20 年度 H 21 年度 終了 ※埋文センター調査	H 22 年度 刊行 ※埋文センター作業	縄文早期	—	石坂式
					縄文後期	—	凹線文，市来式，
					縄文晩期	—	黒川式，三万田式
					弥生中期	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，土坑	山ノ口式，土製勾玉，打製･磨製石鏃，磨石，敲石，砥石，棒状敲具，鉄鏃
					古　墳	—	成川式
					中世～近世	道路状遺構	加治木銭
		弥生時代中期を中心とする遺跡である。花弁形・方形・円形を呈する竪穴建物跡が発見された。出土遺物等から，王子遺跡や前畑遺跡等と同時期の集落跡と考えられる。また，集石が竪穴建物跡内から発見されている。７号住居跡の埋土内から，松木薗遺跡や永吉天神段遺跡から出土した鉄鏃と類似する無茎の鉄鏃が出土した。					
26	石縊	鹿屋市 串良町 細山田 台地上 標高約 140m	H 20 年度 H 21 年度 終了 ※埋文センター調査	H 22 年度 刊行 ※埋文センター作業	縄文早期	集石，土坑	岩本式，前平式，志風頭式，石坂式，平栫式，貝殻条痕文土器，打製石鏃，磨石，敲石
					弥生中期	—	山ノ口式，須玖式
		縄文時代早期前半から早期末を中心とする遺跡である。鎌石橋式土器１個体と轟Ａ式土器が２個体出土し，両型式が同時期に存在した可能性を示唆する遺跡である。					



第３図　東九州自動車道関連（志布志ＩＣ～鹿屋串良ＪＣＴ間）遺跡位置図(1:80,000)※本発掘調査を実施した遺跡のみ記載。

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

第１節　地理的環境

鹿屋市串良町は,大隅半島東南部のほぼ中央に位置し,東には東串良町，南には肝属川を隔てて肝付町，西には鹿屋市東原町，旭原町，笠之原町，北東は立小野台地を隔てて曽於郡大崎町と接している。平成 18 年１月１日に旧鹿屋市と合併するまでは広大な笠野原台地を旧鹿屋市と旧串良町で二分していた。

串良町が位置する大隅半島は，九州山地の延長をなす東西の山地，その間の丘陵，台地及び低地等の低地帯から構成され，地質は大部分がシラス，ボラ等の火山灰土壌となっている。

東側の山地は，志布志湾北部から宮崎県に突出した形で北から南へ延びている鰐塚山地である。主峰は宮崎県内の鰐塚山（1,119 m）で中生層の地質からなっている。

西側の山地は北部の霧島火山の分脈から湾奥に形成された姶良カルデラのカルデラ壁を含み南部の高隈連山へと連なっている。高隈山地は，北部の白鹿岳・荒磯岳等 500 ～ 600 m級の山々と，南部の大篦柄岳（1,236.8 m）を主峰に横岳・御岳等 1,000 m級の山から成る山地で山容は急峻で深い森に覆われている。

東西の山地は，ともに九州山地の延長をなし，それらの間は低地帯となり丘陵や台地及び低地となっている。これらの山地間を埋めるような形で，洪積世の火山活動による火砕流が堆積し，丘陵や台地が広く分布したシラス地形となっている。この火砕流は南西部の鹿児島湾口に形成された阿多カルデラの火砕流や湾奥に形成された姶良カルデラの入戸火砕流である。これらの火砕流をはじめとする噴出物が堆積後から現在に至るまで大小多くの河川で開析され，断片的な台地を残すだけの丘陵状地形や原面はほとんど浸食されず残った広大な台地となっている。

一方，低地は高隈山地や鰐塚山地等を水源とする大小の河川が走り，志布志湾，鹿児島湾等に注いでいる。この河川は，上・中流域で狭い谷底平野を形成し，また，何段かの河岸段丘も認められる。

この大隅半島に位置する串良町の地形は，東西に 6.5 ㎞，南北に 13 ㎞の狭長で北部の山地中央部の台地，南部の低地に大別されるが,大部分において山地は少なく,笠野原台地と呼ばれる平坦なシラス台地から成っている。台地は「クロボク」と呼ばれる黒色火山灰土壌に覆われており，広大な畑地帯が形成されている。南部及び東部は肝属川とその支流の串良川が流れ，それによる沖積地が広がり，約 695ha の水田地帯を形成している。また，北部には低い丘陵性の山地が存在するが，町域に占める割合は少ない。

第２節　歴史的環境（周辺の遺跡を中心に）

牧山遺跡周辺の主要な遺跡について時代別に紹介する。なお，東九州自動車道関連遺跡については，第Ⅰ章第６節で遺跡の概要を述べている。ここでは，本遺跡に関連，もしくは特筆すべき成果を紹介する。

旧石器時代

本遺跡では旧石器時代の遺構は検出されておらず，加工痕剥片や石核が出土している。川久保遺跡では，遺構としては,礫群 28 基を検出した。遺物は,ナイフ形石器,台形石器，角錐状石器，尖頭器，細石刃，細石刃核，削器，磨石，敲石，礫器などが出土している。小牧遺跡では，ブロックが３か所検出されており，うち２か所は，数個の原石を持ち込み，石器を製作した時に破損したものや石器に不向きなものを破棄した場所であると考えられる。天神段遺跡では,礫群やナイフ形石器,台形石器,細石刃核，細石刃，敲打具などの遺物が多数発見されており，特筆すべきは，石器の製作工程を示す接合資料が豊富に得られている点で，特に細石刃文化期の接合資料からは，母岩から石器へ加工する工程が把握でき，効率的な石材利用をしていることが確認されている。西丸尾遺跡・榎崎Ａ遺跡・榎崎Ｂ遺跡においては，ナイフ形石器文化期～細石刃文化期の遺構･遺物が確認されている。

縄文時代

縄文時代草創期の遺跡として，川久保遺跡からは，礫群４基を検出した。遺物は，隆線文土器と石鏃，磨石，敲石などの石器が出土した。細石刃核は，畦原型が多く出土している。安楽小牧Ｂ遺跡からは，様々なバリエーションの爪型文や爪の圧痕が付く土器群が，１つの遺跡で出土した県内初の例であり，この状況は長崎県福井洞窟２層や出水市上場遺跡と類似しており，九州西北部とのつながりを窺わせる。

縄文時代早期の時期に本遺跡では，遺構として竪穴建物跡，連穴土坑，落とし穴，土坑，集石遺構が検出されている。114 基も検出された集石遺構の中には，軽石が重ねられた状態で検出された例や，少数の礫で構成された磨石・磨敲石と石皿がセットで検出された例など，特殊な事例も見られる。遺物は，石坂式土器・平栫式土器が多く出土しているが，その他の土器型式においても多くバリエーションが確認されている。主にキャンプサイトとして活用されていたのではないかと考えられる。また，本遺跡より東に約３㎞の地点に位置する益畑遺跡では早期の建物跡２軒，連穴土坑 16 基，集石遺構 85 基，土坑 160 基が検出されている。建物埋土に桜島起源の軽石（P13）がレンズ状に堆積していることから霧島市上野原遺跡とほぼ同様の状況が窺える。下堀遺跡では集石遺構 13 基が検出され，前平式土器・手向山式土器・塞

ノ神式土器等が出土している。石綴遺跡では，遺構は縄文時代早期の集石遺構・土坑が検出された。また，隣接する十三塚遺跡では，縄文時代早期の石坂式土器等が出土している。田原迫ノ上遺跡からは，竪穴建物跡 21 軒，落とし穴 9 基，連穴土坑 40 基など多くの遺構が検出され，連穴土坑からは石坂式土器が出土している。石器も多く出土しており，その石材の分析結果については，西北九州産の黒曜石，安山岩に加えて，香川県金山東産の安山岩，姫島産黒曜石，ガラス質安山岩と外来系の石材が多く用いられており，当時の交易の範囲を窺うことができる。川久保遺跡からは，集石遺構 276 基，連穴土坑 12 基などが検出された。また，早期の土器はほぼすべての型式が出土しており，綿々と生活が営まれていたことが分かる。細山田段遺跡からは，18 基の集石遺構や，食品加工等のための石匙，狩猟具である多数の石鏃が出土しており，キャンプサイト的な役割を担っていたと考えられる。また，山形押型文土器と無文の塞ノ神式土器の埋設遺構が検出されており，当時の精神文化を考える上で貴重な資料である。宮脇遺跡からは，集石遺構 45 基，土坑 21 基などが検出された。遺物は，加栗山式土器をはじめとする貝殻文円筒土器や，押型文土器などが出土している。建物跡は検出されなかったが，台地の縁辺部に位置し，湧き水も得やすいため，キャンプサイト的な場所として使われていたと考えられる。神野牧遺跡からは，古い段階から新しい段階まで一連の曽畑式土器が出土している。また，他型式の土器も大量に出土しており，その中にはシダ葉痕のついた焼成粘土塊なども見られることから，土器製作も行われていたと思われる。石器についても，前期に見られる定型的な石器はほとんど出土しており，剥片石器については，原石の保有から剥片の生産・加工・使用・破棄にわたる一連の活動が認められる。これらのことから，建物跡は検出されていないが，狩猟サイトとしての短期的滞在地に限定されず，生活拠点としての役割を持っていたものと考えられる。

縄文時代中期の遺跡として，細山田段遺跡からは，170 を超える土坑が検出され，大量の深浦式土器が出土するなど，この時期の遺構・遺物が充実している。また，近畿地方の大歳山式土器や鷹島式土器，瀬戸内地方の船元式土器などが出土するなど，当時の遠隔地交流の一端が明らかになった。

縄文時代後期の遺跡として，十三塚遺跡からは，丸尾式土器，西平式土器，三万田式土器，中岳Ⅱ式土器，入佐式土器などが出土しており，出土点数は少ないが，後期から晩期の土器がほぼ連続した形で出土しており，当時の人々が継続して活動の場として使用していたことがわかる。町田堀遺跡からは，竪穴建物跡，埋設土器，落とし穴，土坑，石斧集中遺構が検出され，指宿式土器，中岳Ⅱ式土器，石鏃，打製石斧，磨製石斧，磨石，石皿，管玉，勾玉，小玉，糸魚川産の翡翠で作られた棒状装飾，中岳Ⅱ式土器に伴う完形の砂岩製の天附型石刀が出土している。この石刀は両端に赤色漆の橿原文様の線刻が見られ，当時の精神文化を窺える貴重な資料である。川久保遺跡からは，石器集積遺構が検出されている。これに似た石器集積遺構は町田掘遺跡からも検出されている。遺物は，指宿式土器，丸尾式土器，御領式土器，中岳Ⅱ式土器，磨製石斧，打製石斧，スクレイパーが出土しており，ホルンフェルス製スクレイパーは横刃形刃器と呼ばれ，農耕の道具として使用されていた可能性がある。小牧遺跡からは，竪穴建物跡，伏甕，集積，土坑，石斧集積遺構などが検出され，阿高式土器，岩崎上層土器，指宿式土器，市来式土器，石匙，磨石，軽石加工品，横刃型石器，石鏃，打製石斧，石皿，大珠などが出土している。特に石皿を割ったあと埋めた土坑（石皿立石遺構）を伴う環状構造の集落は注目される。細山田段遺跡からは，市来式土器，丸尾式土器，西平式土器，辛川式土器，中岳Ⅱ式土器，打製石鏃，石匙，石錘，楔形石器，スクレイパー，二次加工剝片，異形石器，石核，磨製石斧，打製石斧，砥石，磨敲石，ハンマーストーン，石皿などが出土しており，剥片，ハンマーストーン，台石が集中して出土した地点では石器製作を行っていた可能性がある。春日堀遺跡からは，上野原遺跡，町田堀遺跡と類似した円形プランの落とし穴３基が検出され，遺物は春日式土器，丸尾式土器，五角形鏃が出土している。安良遺跡では，土坑１基が検出され，ここから丸尾式土器・西平式系土器に伴う可能性がある翡翠製と思われる石製垂飾品（丸玉）が出土している。他にも，打製石斧の調整・加工に係る剥片が出土しており，打製石斧の再加工が行われた可能性がある。見帰遺跡では，溝状遺構が検出されており，納曽式土器，辛川式土器，西平式土器，丸尾式土器が出土し，それらとともに，磨石，叩石，石錘などが出土した。中でも，貝殻で文様を施し，赤色顔料を塗布した台付皿形土器は，１破片の出土ではあるが，出土例の少ないものである。

縄文時代晩期の遺跡として，川久保遺跡からは，土坑と集石が検出され，遺物は組織痕土器，入佐式土器，黒川式土器，刻目突帯文土器，御領式土器が出土している。永吉天神段遺跡からは，土坑，落とし穴，入佐式土器共伴の竪穴建物跡が検出されている。また，丹塗りの土器・壺など特殊なものや，組織痕土器の完形が３個体，韓半島と関連が考えられる壺が出土しており，活発な交易があったことを窺わせる。榎木原遺跡からは，建物跡から入佐式土器が，土坑からは黒川式土器が出土し，入佐式→黒川式の編年を補強する資料となっている。石器は石鏃，打製石斧，敲石，石皿などが出土している。特に扁平打製石斧と呼ばれるものが，面積の割に多く出土しており，刃部に粗い擦痕を残すものもあり，土掘り具と

考えられ，縄文農耕を考える上で興味深い資料である。榎崎Ｂ遺跡からは，各種石器が出土しているが，その４分の１を打製石斧が占めており，扁平で幅広の刃部，比較的軟質の石材を使用，基部近くの両側縁に着柄を意識した抉り状の加工が施されているという共通性がみられ，土掘り具として使用されていたと思われる。また，土器片の胎土を分析した結果，キビ族が検出され，晩期の農耕の様子を窺い知る貴重な遺跡である。

弥生時代

弥生時代前期の遺跡は，本遺跡から東に約 12 ㎞の地点に位置する大崎町沢目遺跡や天神段遺跡等が挙げられる他，僅かしか確認されていない。

弥生時代中期の時期に本遺跡では，遺構として竪穴建物跡３軒，掘立柱建物跡４棟，土坑５基，土器集中部１か所が確認されている。特に竪穴建物跡２号からは銅鑿が出土している。これは全国で５例目，鋳造物として２例目である。中期以降の遺跡は吉ヶ崎遺跡・西ノ丸遺跡・下堀遺跡・王子遺跡・十三塚遺跡・益畑遺跡・田原迫ノ上遺跡･春日堀遺跡等が挙げられる。吉ヶ崎遺跡では，中期の竪穴建物跡が３軒確認されている。特に，１号建物跡はベッド状遺構を有し，床面には焼土や炭化物が多く見られ，焼失家屋と思われる。そのためか，甕形土器・壺形土器の完形品が各４点と磨製石鏃・磨製石斧等が建物跡の床面から出土している。下堀遺跡では，竪穴建物跡が７軒検出され，土製勾玉も出土している。石綴遺跡では，弥生時代の遺構は確認されていないが，山ノ口式土器等が出土している。十三塚遺跡では，弥生時代中期の竪穴建物跡が８軒検出されており，方形・花弁形等に分類されている。遺物は弥生時代前期末～中期の土器・石器の他，土製勾玉や鉄鏃等も出土している。永吉天神段遺跡では，竪穴建物跡 45 軒，土坑 50 基，周溝墓５基，土坑墓 20 基が検出されており，集落域と墓域が分離された形で検出された。当該時期の南九州における墓制・葬制を知る重要な遺跡である。春日堀遺跡では，中期の竪穴建物跡が１軒確認されており，小規模集落が営まれていた。弥生時代終末期から古墳時代前期にかけて，10 軒の竪穴建物跡が確認された。７軒は焼失建物跡で，検出数は県内最多である。焼失建物跡では，建物移転に伴う廃屋儀礼が行われている。

古墳時代

大隅半島，特に志布志湾沿岸部には以前から唐仁古墳群・塚崎古墳群・横瀬古墳をはじめとする多くの古墳が存在することが知られている。また，南九州特有の地下式横穴墓も多く分布する地域である。

牧山遺跡の周辺には，立小野堀遺跡・町田堀遺跡・川久保遺跡・春日堀遺跡・上小原古墳群・下堀遺跡・岡崎古墳群等が存在する。立小野堀遺跡では，笠野原台地辺縁の東西 230 ｍに地下式横穴墓群が広がり，195 基の調査を行った結果，玄室内からは鉄鏃・鉄剣を中心とした約 400 点以上の鉄器が，竪坑上部やその周辺からは多量の土器・須恵器が発見された。これだけの規模の地下式横穴墓の調査は県内では初めてのことである。町田堀遺跡では，92 基の地下式横穴墓が発見され，南九州では初めて円形周溝を伴う例が確認されている。また，石製加工品と報告している石器は，石冠に類似する特徴を持ち，牧山遺跡・干迫遺跡をはじめ，県内での出土数は少ない。春日堀遺跡では竪穴建物跡と掘立建物跡が溝によって区画され，地下式横穴墓も検出された。古墳時代終末期の集落構造が分かる重要な遺跡である。川久保遺跡では鍛冶工房跡が発見され，製品も出土している。上小原古墳群では，前方後円墳１基，円墳 20 基及び地下式横穴墓が確認されている。地下式横穴墓では赤彩された軽石製石棺をもつものや，大型で玄室床面に粘土床をもつものが確認されている。岡崎古墳群は，18 基の高塚墳と数基の地下式横穴墓が確認されている。また，同じ台地に高塚墳と地下式横穴墓が存在し，４号墳・16 号墳・17 号墳・18 号墳では高塚墳の周溝内に竪坑を掘って造られた地下式横穴墓が複数基確認されている。岡崎 18 号墳の２号地下式横穴墓で確認された須恵器は，愛媛県伊予市の市場南組窯産と考えられるものである。また，鉄鋌・Ｕ字型鍬鋤先・鑷子状鉄製品等の朝鮮半島系遺物，琉球列島産イモガイ製貝釧等により広域交流を積極的に行っていたと考えられている。下堀遺跡では須恵器が出土した竪穴建物や溝状遺構等の他，地下式横穴墓５基が確認されており，地下式横穴墓２号からは大隅半島では初見となる異形鉄器が出土している。また，地下式横穴墓周辺で高坏や坩が意図的に置かれたような状態で発見され，祭祀遺構の可能性が考えられる。

古代・中世以降

稲村城跡・下堀遺跡・十三塚遺跡・永吉天神段遺跡・安良遺跡が挙げられる。岡崎古墳群と甫木川を挟んだ西側の丘陵上に位置する稲村城跡は，16 基の近世墓のほか，土師器・青磁・白磁・染付・備前焼等が確認されている。下堀遺跡では，土坑墓・畝跡・溝状遺構の他，多くの柱穴・土坑や近世の可能性が高い炉跡も検出されている。十三塚遺跡では，古道跡が８条検出されており，陶磁器片の出土から近世以降の可能性が考えられている。永吉天神段遺跡では中世の土坑墓が検出され銅鏡や滑石製石鍋も出土している。安良遺跡では，12 世紀から 13 世紀後半頃の遺物（白磁玉縁碗，竜泉窯系青磁鎬連弁文碗，東播系須恵器，常滑焼など）が多く出土している。この中で，瓦器，関西系土製煮炊具などは広域流通品ではないため，安良遺跡が当該時期において拠点遺跡の一部であった可能性がある。また，炭化米塊は，中世前半期のものであり，県内最古の出土例である。小牧遺跡，川久保遺跡では古代・中世の掘立柱建物跡が検出

されている。

参考文献

鹿児島県教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書（６）鹿児島県教育委員会　1978「大隅地区埋蔵文化財分布調査概報」

鹿児島県教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書（９）鹿児島県教育委員会　1983「大隅地区埋蔵文化財分布調査概報」

鹿児島県教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書（25）鹿児島県教育委員会　1985「王子遺跡」 鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（34）

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（136）鹿児島県立埋蔵文化財センター　2011「石綴遺跡・十三 塚遺跡」

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（164）串良町教育委員会　2005「益畑遺跡」 串良町埋蔵文化財発掘調査報告書（11）

大崎町教育委員会　2005「下堀遺跡・大崎細山田段遺跡」大崎町埋蔵文化財発掘調査報告書（５）大崎町教育委員会　2000「沢目遺跡」大崎町埋蔵文化財発掘調査報告書

串良町教育委員会　1990「岡崎古墳群」串良町埋蔵文化財発掘調査報告書（３）

串良町教育委員会　1994「稲村城跡」串良町埋蔵文化財発掘調査報告書（4）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2015「天神段遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（３）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2016「町田堀遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（７）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2016「永吉天神段遺跡第１地点」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（８）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2016「田原迫之上遺跡２」公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（15）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2016「立小野堀遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（16）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2017「天神段遺跡４」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（19）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2018「町田掘遺跡２」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（20）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2018「見帰遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(23)

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「細山田段遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（25）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「永吉天神段遺跡５　第２地点－３」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（27）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「宮脇遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(28)

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「春日堀遺跡１」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（32）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「安楽小牧Ｂ遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（33）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2019「安良遺跡」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(34)

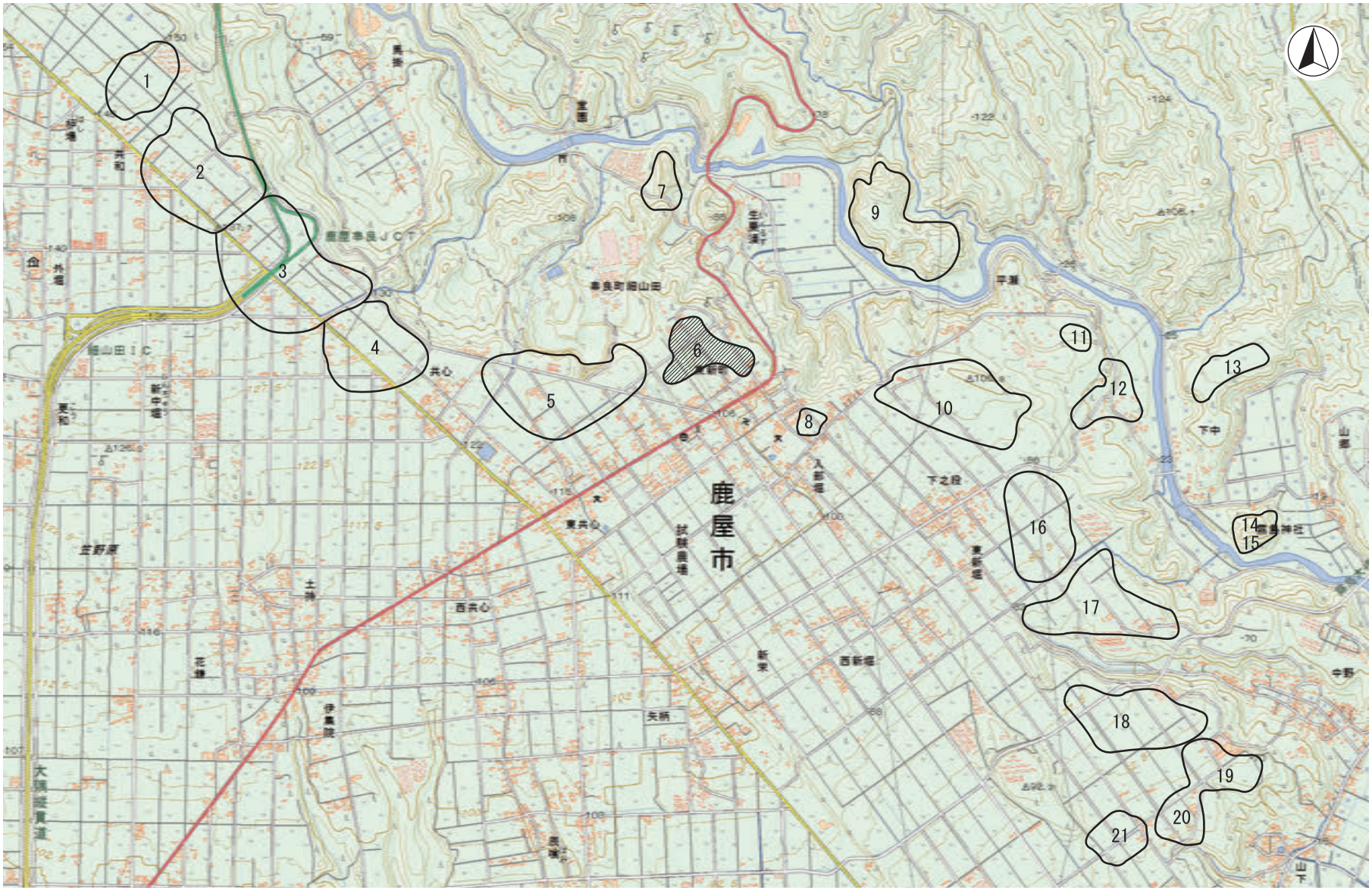
公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2020「細山田段遺跡２」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（35）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2020「川久保遺跡３・Ａ地点」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（37）

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター　2020「小牧遺跡２」 公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（39）

第２表　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡台帳番号		遺　跡　名	所　在　地	種類	現状	時　代	地形	遺構・遺物等	備　考
1	203	383	牧　原	鹿屋市串良町細山田	散布地	畑地	弥生，古墳，古代	台地		
2	203	380	石　縊	鹿屋市串良町細山田	散布地	畑地	縄文，弥生	台地	集石遺構，土坑	H20・21 年度本調査 埋文セ報告書（164）
3	203	379	十三塚	鹿屋市串良町細山田	散布地	畑地	縄文，弥生，古墳，中近世	台地	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，土坑，道路状遺構	H20・21 年度本調査 埋文セ報告書（164）
4	203	384	立小野堀	鹿屋市串良町細山田立小野	散布地	畑地	縄文，弥生，古墳	台地	落とし穴，地下式横穴墓，土坑墓，溝状遺構	H22 ～ 24・26・30 年度本調査 埋文調査セ報告書（16）
5	203	385	田原迫ノ上	鹿屋市串良町細山田	散布地 集落跡	畑地	縄文，弥生，古墳以降	台地	竪穴建物跡，落とし穴，連穴土坑，土坑，集石遺構，掘立柱建物跡，周溝	H22 ～ 26・28・30 年度本調査 埋文調査セ報告書（５）(15)
6	203	295	牧　山	鹿屋市串良町細山田牧山	散布地	畑地	旧石器，縄文，弥生，古墳	台地	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，連穴土坑，土坑，落とし穴，埋設土器，集石，土器集中部，石器集中部，石冠，銅鑿	H25 ～ 29 年度本調査 本報告書
7	203	335	細山田城跡	鹿屋市串良町細山田生栗須	城館跡	山林	中世	丘陵		
8	203	346	入部堀	鹿屋市串良町細山田入部堀	散布地	畑地	弥生，古墳	台地		
9	203	329	北原城跡	鹿屋市串良町細山田生栗須	城館跡	山林	中世	丘陵		
10	203	300	町田堀	鹿屋市串良町細山田アタゴ山	集落跡 散布地	畑地	縄文，弥生，古墳，古代以降	台地	竪穴建物跡，掘立柱建物跡，埋設土器，落とし穴，土坑，地下式横穴墓，円形周溝墓，土坑墓	H25 ～ 28 年度本調査 埋文調査セ報告書 （７）(20)
11	203	352	北原古墳群	鹿屋市串良町細山田北原	古墳	畑地	古墳	台地		H27 年本調査
12	203	349	川久保	鹿屋市串良町細山田川久保	散布地	畑地	旧石器，縄文，弥生，古墳，古代，中世	台地	礫群，竪穴建物跡，集石，土坑，掘立柱建物跡，鍛冶関連遺構	H26 ～ 30 年度本調査 埋文調査セ報告書 (24)(37)(38)
13	203	350	小　牧	鹿屋市串良町細山田小牧	散布地 集落跡	畑地	旧石器，縄文，弥生，古墳，古代，中世，近世	台地	竪穴建物跡，土坑，連穴土坑，集石，掘立柱建物跡，溝状遺構	H27 ～ 29 年度本調査 埋文調査セ報告書 (26)（39）
14	203	334	霧島城跡	鹿屋市串良町細山田下中	城館跡	山林	中世	丘陵		
15	203	292	ホンドンガマ	鹿屋市串良町細山田下中	洞窟	山林	縄文	台地		
16	203	347	新　堀	鹿屋市串良町細山田新堀	散布地	畑地	縄文	台地		
17	203	348	是ヶ迫	鹿屋市串良町細山田是ヶ迫	散布地	畑地	縄文，弥生	台地		
18	203	354	瓜々良蒔	鹿屋市串良町有里瓜々良蒔	散布地	畑地	弥生	台地	土器，落とし穴	H12 年本調査
19	203	355	永田堀	鹿屋市串良町有里永田堀	散布地	畑地	弥生，古墳	台地		
20	203	356	枦　場	鹿屋市串良町有里	散布地	畑地	弥生	台地		
21	203	357	熊ヶ鼻	鹿屋市串良町有里熊ヶ鼻	散布地	畑地	縄文，弥生	台地	石鏃	



第４図　周辺遺跡位置図

（Ｓ＝1/25,000）

第Ⅲ章　調査の方法と層序

第１節　発掘調査の方法

本節では，発掘調査の方法，遺構の認定と検出方法等，整理・報告書作成作業の方法について簡潔に述べる。

１　発掘調査の方法

牧山遺跡の発掘調査は，平成 25 年度から平成 29 年度まで５年にわたり実施した。調査対象表面積は 30,054 ㎡，調査対象延面積は 83,905 ㎡である。調査区は道路等により調査区Ａ～調査区Ｄに区分した。

調査区割り（グリッド）は，センターライン上の「STA172+80」と「STA173+0」の延長線を基準に，10 m 間隔に，北側から南側に向かってＡ・Ｂ・Ｃ ‥‥，東側から西側に向かって１・２・３‥‥と設定した。

発掘調査は，重機で表土を除去した後，確認調査の結果に基づき，遺物包含層については人力で掘り下げを行った。無遺物層，火山灰の硬化層については，一部重機を用いて慎重に掘り下げた。遺構については，移植ごて等の遺構調査に適した道具を用いて慎重に調査し，実測，写真撮影等を行った。遺物については，平板実測やトータルステーションを用いて取り上げを行った。遺構やまとまった遺物は，手測り実測を行った。地形測量はⅢ層（池田降下軽石層）上面で精査を行い実施した。

２　遺構の認定・分類・時期判断と検出方法

牧山遺跡で検出された遺構の認定と検出方法については，次のとおりである。

本編掲載の遺構は，検出面・埋土状況や色調・規模等を基に発掘調査担当間で検討し，遺構の認定及び時期判断が行われたものを掲載した。主な遺構の認定及び時期判断については，次のとおりである。

落とし穴・土坑・ピットについては，埋土や形状，遺物の出土など総合的に検討し，分類・認定・時期判断を行った。ただし，落とし穴・土坑・ピットの中には，検出面が該当時期の地層よりもかなり下位層で検出されたものもあるが，埋土の堆積状況や色調・遺構内（埋土中のものも含む。）遺物等から総合的に検討し，時期判断を行った。

石器集積遺構については，石器が重なった状態で検出されたもの，石器集中部については同じ又は複数の器種の石器が比較的集まった状況で検出されたものとしてそれぞれの遺構認定を行った。時期については，検出面や集石遺構内外の出土遺物の種類等で検討し，判断した。

３　整理・報告書作成作業の方法及び内容

整理作業は，平成 25 年度に発掘調査と並行して現場で水洗い，注記，接合，分類まで行った。また，遺構についてもデジタルトレースを行った。

平成 26 年度は整理作業を行っていないが，平成 27 年度から整理作業を再開し，埋文調査センターが遺物の選別・分類・注記・石器実測遺物の選別・台帳整理・遺物の整理・収納を行った。

平成 28 年度は，株式会社島田組に整理・報告書作成作業支援業務を委託した。接合・復元作業を行った後に土器・石器の実測・拓本・トレース作業を行い，随時，図版組，レイアウト，遺物写真撮影，原稿執筆を行った。また，炭化材についての放射性炭素年代測定及び種実同定，樹種同定，炭素・窒素安定同位体測定等の自然科学分析を株式会社パレオ・ラボに委託した。

平成 29 年度は，発掘調査と並行して現場で水洗い，注記，接合，分類まで行った。

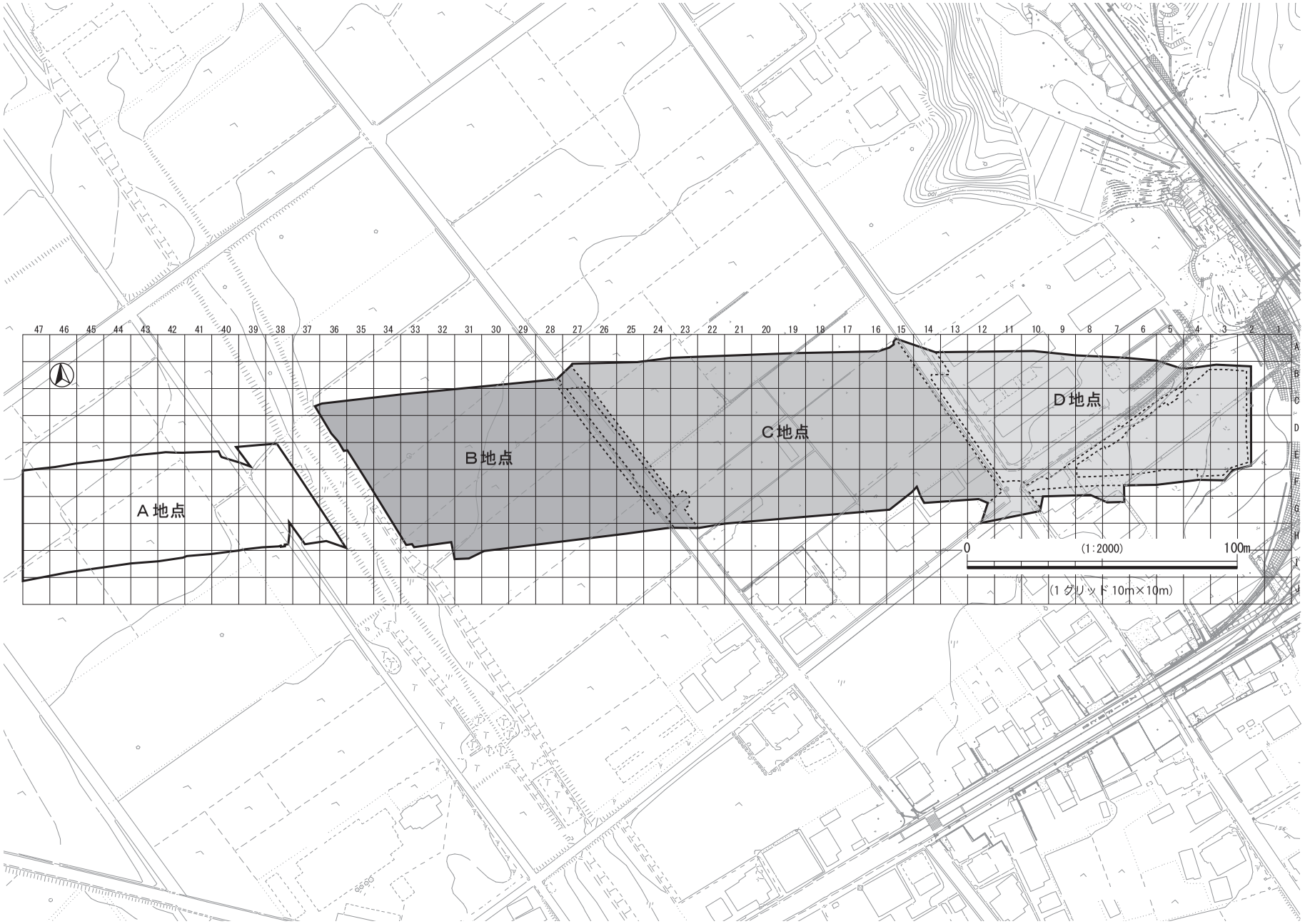
平成 30 年度は，発掘調査成果品の整理から行った。図面整理は，遺構実測図，遺物出土分布図，土層断面図等に仕分け，台帳と遺物の照合を行った。分類・接合は，遺構内遺物と包含層遺物に分けた後，包含層出土土器については，土器の胎土や文様等で分類し，さらにグリッドごとに分けて接合を行い，その後エリアを広げて接合する方法をとった。石器については，剥片石器と礫石器に分けた後，器種及び石材別に分類した。また，一部の石器については株式会社島田組に石器実測委託を行った。

令和元年度は，報告書刊行に向けて作業を行った。土器は，前年度までの実施分と併せて接合・実測・拓本・トレースを行った。これを文様・胎土・器形等を基準に編年分類を行い，文章・観察表・図版により特徴を記録した。石器は，時期別・器種別に分類し，株式会社九州文化財研究所に石器実測委託を行った。遺構は，前年度までに認定・分類したものを実測図や写真等を用いて検出面・埋土の状況等から再度検討・認定した後，デジタルトレースした。

令和２年度は，土器分類・接合から行い，実測・拓本・トレースを行った。石器は，作業の効率化を図るために株式会社九州文化財研究所に石器実測委託を行った。

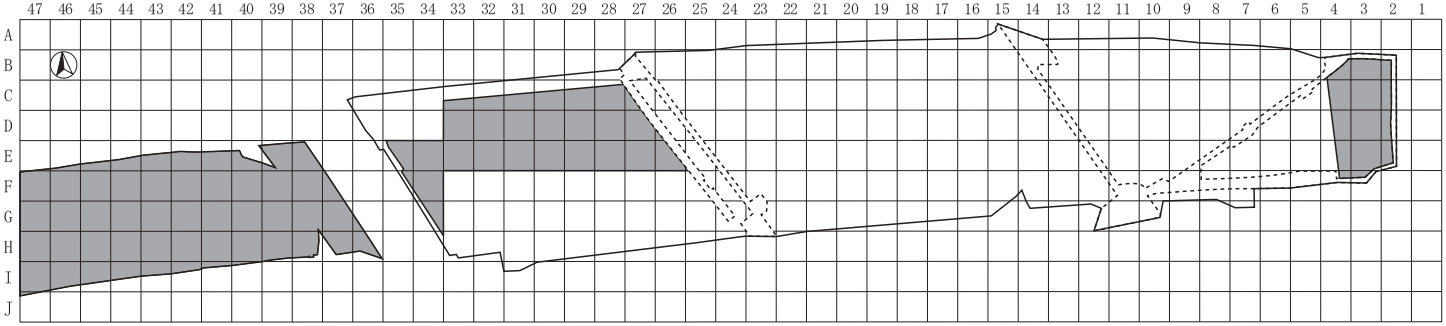
令和３年度は，株式会社パスコに整理・報告書作成作業支援業務を委託した。土器は文様・胎土・器形等を基準に編年分類を行い，文章・観察表・図版により特徴を記録した。石器は，時期別・器種別に分類し，文章・観察表・図版により特徴を記録した。遺構は，前年度までに認定・分類したものを実測図や写真等を用いて検出面・埋土の状況等から再度検討・認定した後，デジタルトレースを行った。また，圧痕レプリカの採取と同定は真邉彩が行い，圧痕同定の一部を株式会社パレオ・ラボに委託した。圧痕同定に係る顕微鏡撮影は令和２年度から鹿児島大学で行った。

これらを調査図面の所見を参考にして，時期ごとに文章・観察表・図版にまとめて特徴を記録した。

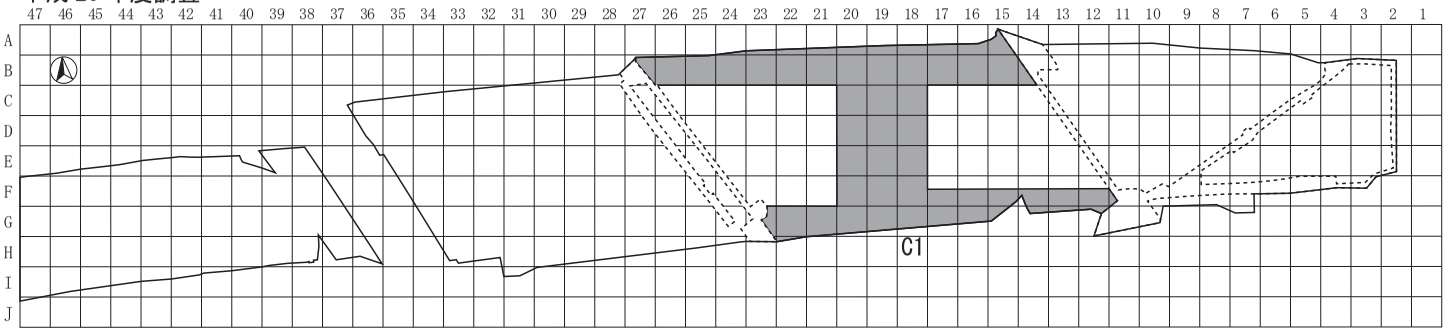


第５図　牧山遺跡調査範囲図

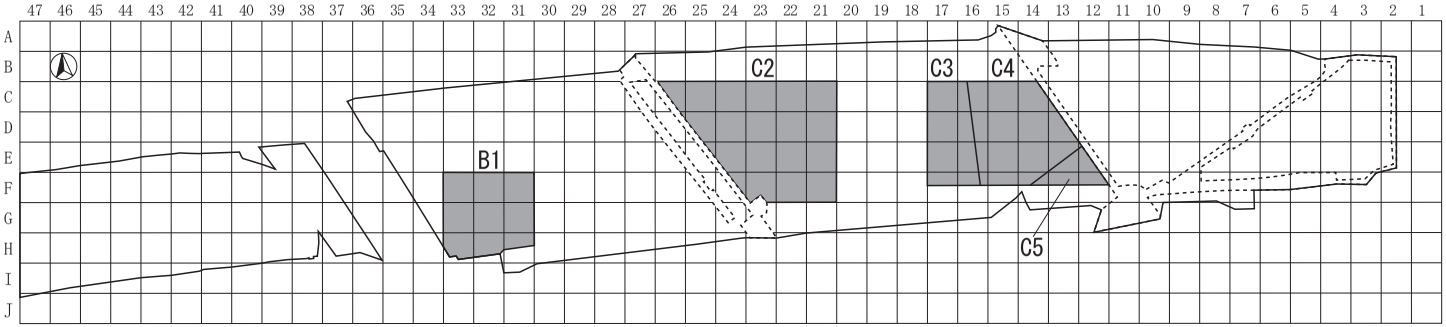
平成 25 年度調査



平成 26 年度調査



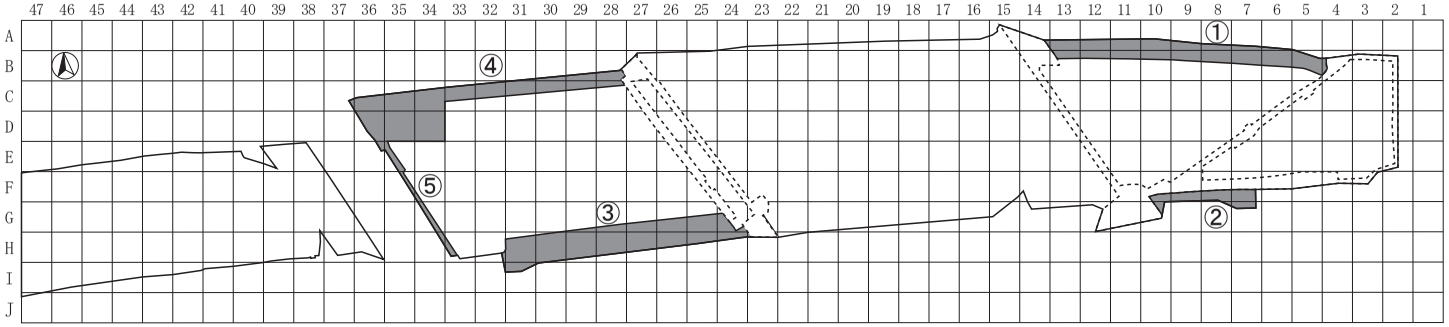
平成 27 年度調査



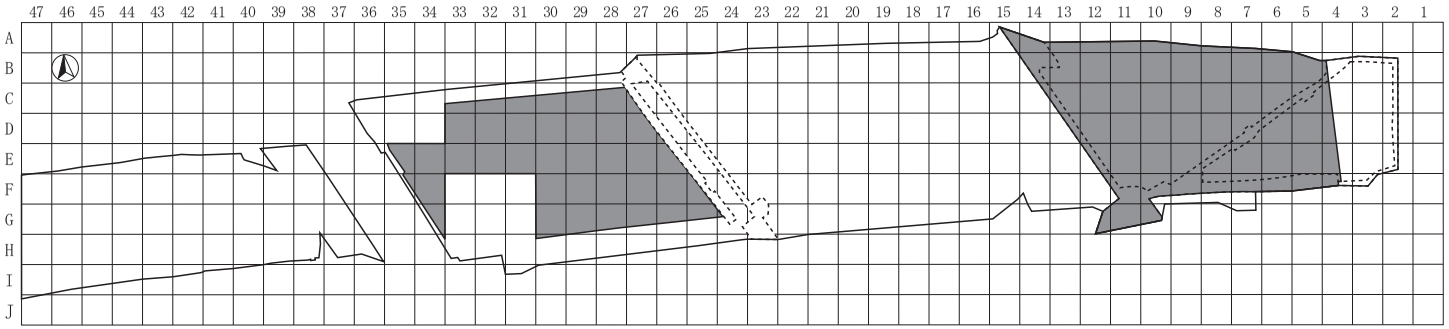
第６図　年度別調査範囲図１

0　50m
（1 グリッド 10m×10m）

平成 28 年度調査



平成 29 年度調査



0 50m

（1 グリッド 10m×10m）

第７図　年度別調査範囲図２

4　出土遺物の分類について

牧山遺跡で出土した，縄文時代前期～晩期に比定されるⅡａ～Ⅱｃ層及びⅤ層出土の土器を，遺構内遺物も含めて第Ⅰ類～第Ⅻ類に分類して表記することとしたが，型式不明の土器や一括遺物はこの分類には含めていない。また，黒川式土器など縄文時代晩期土器をⅫ類にまとめたが，出土数も少量ということもあって分類表には掲載していない。

石器については，Ⅱａ～Ⅱｃ層出土の石器を分類し，掲載した。Ⅱａ層は弥生時代の包含層ではあるが，地点によって層厚も薄く，土器の出土状況を見ても縄文時代後期～晩期の遺物も一定数出土していることから，時代毎や層毎の分類は行っていない。

石英	結晶として水晶になると，透明で錘形と柱面が発達した六角形状をなすが，柱面がみられないソロバン玉状のものがある。これらは堆積作用により角が取れ，白濁したコロコロした印象となる。
長石	乳白色ないしは白っぽい色調をなし，劈開面が同心円状や葉片状を呈する。
角閃石	茶褐色～黒褐色を呈し，長柱状の結晶をなす。火成岩・変成岩に含まれ花崗岩に含まれることは少ない。
雲母	金色～銀色の薄片状で，花崗岩中に含まれる。

（1）　土器の分類

土器の出土量は第Ⅹ類土器が最も多く，次に第Ⅵ～第Ⅸ類土器（西平式系土器）が続く。さらに第Ⅻ類土器が次に続く。第Ⅳ類土器・第Ⅴ類土器はやや少なく，第Ⅰ類土器・第Ⅱ類土器・第Ⅲ類土器はわずかである。数については，分類数を総括に記す。分類表の通りである。

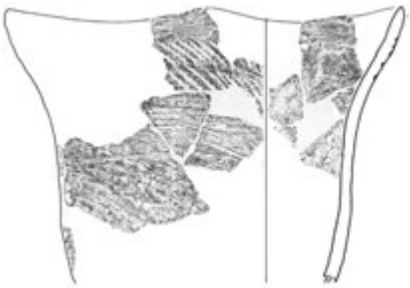
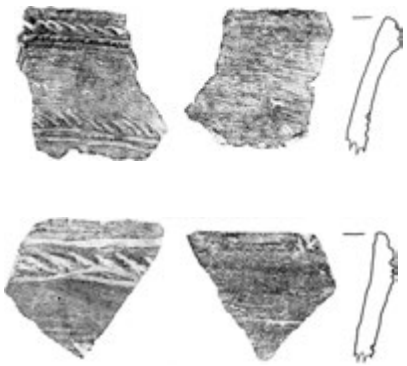
胎土については，実体顕微鏡・ルーペを用いて，それぞれ含まれる鉱物の量により多い→少ないを◎→○→△で表す。代表的な鉱物は以下の４種とした。

この他に茶褐色～黒褐色を呈し，短柱状または粒状の角閃石に似た輝石，泥岩質の礫など沖積作用による円礫類や火山ガラスなどが含まれている。焼成はほとんど良好であり，不良のものや特に注意を要することは，土器観察表の備考欄に記入する。

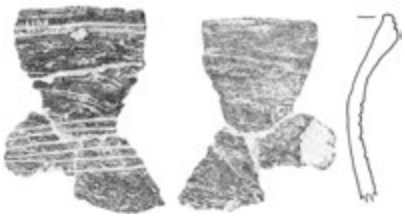
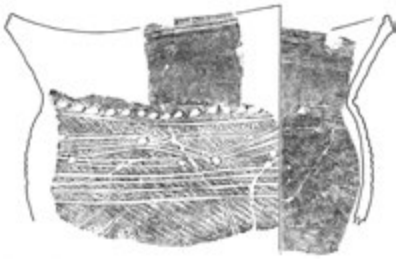
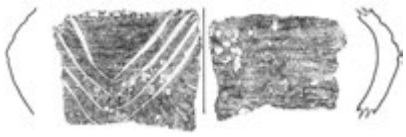
ナデ，工具ナデ，ミガキ，ケズリ，カキアゲなど土器の調整・製作技術についての名称は固有名詞として，カタカナ書きするものとする。

第Ⅰ類土器		【第Ⅰ類土器】 口縁が外開きの器形で，胴部下位が緩く屈曲して丸底の底部に至る。内外に貝殻条痕を地紋として，沈線・刺突・微隆起突帯上の連続刺突・円形浮文などで施文するものである。器壁は薄い。
第Ⅱ類土器		【第Ⅱ類土器】 貝殻条痕を地紋として，貝殻腹縁の連続刺突や，ロッキング技法による相交弧文などの文様を施文する。第Ⅰ類と比べると，硬緻に焼成される。

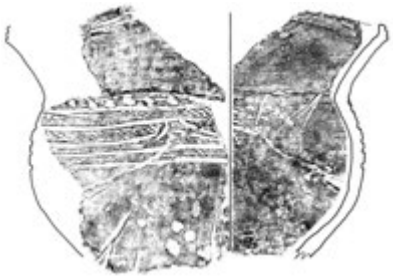
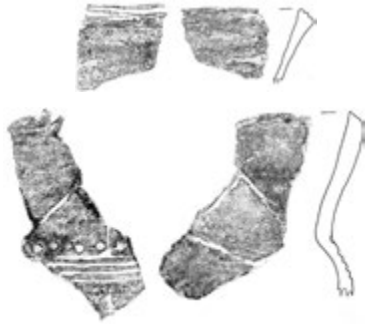
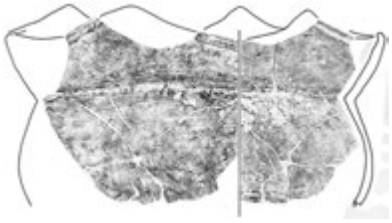
第８図　土器分類表（１）

第Ⅲ類土器		【第Ⅲ類土器】 口縁部が屈曲して立ち上がり，口縁部に幅広の文様帯を形成する。屈曲部が三角形状に肥厚する。凹線やヘラ状工具による連続刺突文，貝殻腹縁による刺突文が施される。調整は貝殻条痕で，口縁部などはナデ消されるが器面に貝殻条痕がよく残る。
第Ⅳ類土器		【第Ⅳ類土器】 第Ⅳ-a 類 第Ⅲ類に比べると口縁部の立ち上がりが緩く，内湾気味に外反し，肥厚も薄くなる。貝殻条痕を地紋として，口縁部屈曲部の上下に，貝殻腹縁による連続刺突を２段～３段施すものが多いが，短沈線と刺突を施すものもある。
		第Ⅳ-b 類 口縁部の肥厚がなくなり，口縁が内湾せずに外反する。文様帯はやや狭くなる傾向にある。横方向の連続刺突や，短沈線を横方向に繋いだものがみられるようになる。
		第Ⅳ-c 類 口縁部の内湾が強く，口縁部が立ち上がるものである。貝殻腹縁による連続刺突に短沈線や刺突文が施される。文様帯が幅広くなったり，口縁部と胴部で二文様帯をもつようになる。
第Ⅴ類土器		【第Ⅴ類土器】 第Ⅴ-a 類 口縁部が内湾気味に立ち上がり，口縁部の文様帯と肩部の文様帯に二分されて施文される。口縁端部は丸く仕上げられるが，やや肥厚する。やや胴部で膨らんで平底の底部に至る。貝殻条痕を地紋とするが文様帯はナデられている。文様は貝殻腹縁刺突・短沈線が施される。

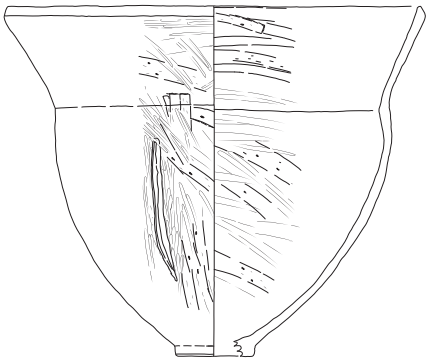
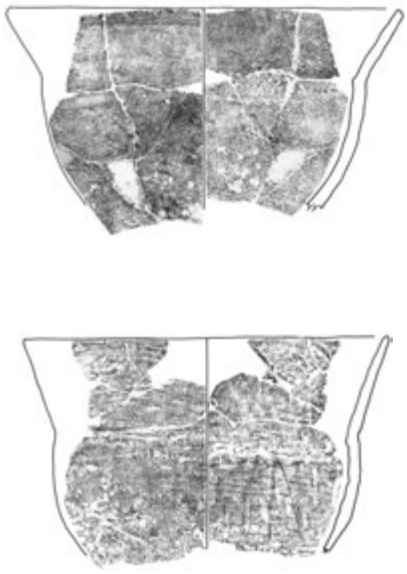
第９図　土器分類表（２）

第Ⅴ類土器		第Ⅴ-b 類 口縁部が外反し,肥厚してくるようになる。文様は沈線を中心になされるようになる。平行線文だけでなく,乱れた曲線が施されるようになる。三角形状やS字状の沈線がみられるようになる。貝殻条痕ではなく工具により調整された後にナデであるが,特に外面がナデられる。 平行沈線が主体であるが,辛川式の影響を受け,三角形状や曲線文様が施されるようになる。細分が可能と思われるが,ここでは一括した。
		第Ⅴ-c 類 口縁部は外反し,口縁部の文様帯は広くなる。沈線文は平行線ではなく,斜行したりする。頸部の屈曲が強くなり,胴部が丸く張り出してくる。胴部上半の文様構成が,屈曲部に刺突文,下位に沈線文にパターン化する。外面はナデ調整され,ヘラミガキがみられるものもある。
第Ⅵ類土器	   	【第Ⅵ類土器】 内湾して立ち上がる口縁部に,広い文様帯をつくり,やや外に張り出す胴部の深鉢を中心とする。頸部が緩やかに外反して内側に稜をなさないものから,次第に屈曲が強まり,稜を形成するようになる。口縁部と胴部上半に三角形や流水文様の文様を施す。磨消縄文を施すものが多いが,沈線や刺突文などを施す。沈線で三角形などを描くものが古く,磨消縄文を施すものが新しい傾向があると言われている。台付皿形土器や浅鉢がある。

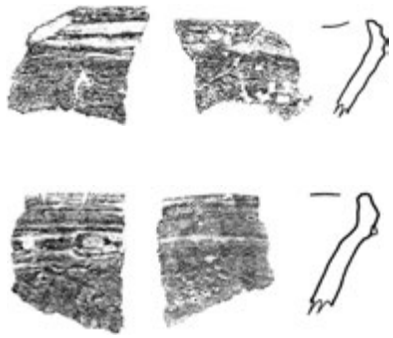
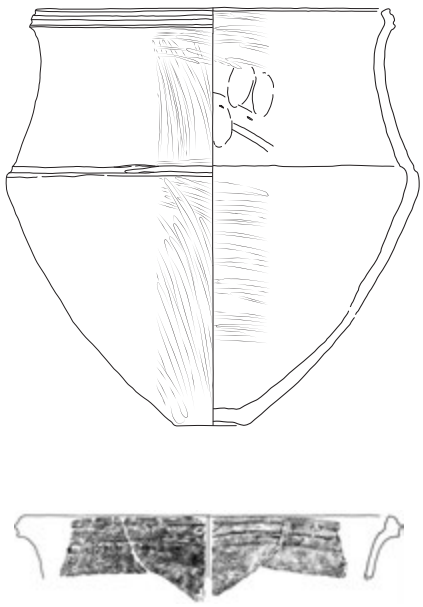
第10図　土器分類表（３）

第Ⅶ類土器		【第Ⅶ類土器】 口縁部が大きく外反して，頚部に明確な稜がある。口縁部は「く」の字状に立ち上がり，波状をなす。口縁部立ち上がりの屈曲部内側に線状の凹みがあるものが多い。磨消縄文が施される。口縁部外面は文様帯として，３本沈線を引く。波頂部以外の文様帯の狭いところは２本沈線となる。頚部に刺突文を施すが，連続して施すことが多い。胴部上半は円形や涙滴形の凹点文を基準とした対向弧文の沈線が施される。全体の内外面ともにヘラミガキにより丁寧に調整される。底部は高台状に立ち上がり，あげ底で内部まで丁寧にヘラミガキされている。
第Ⅷ類土器		【第Ⅷ類土器】 口縁部が折り曲がって立ち上がるのではなく，肥厚して外面の文様帯部分となってくる。胴部最大径が上がる。口縁部内側の凹状のくぼみがなくなり，調整はヘラミガキが粗くなる傾向がある。 口縁部の文様帯の幅が縮まり，口縁部には２本沈線文が，胴部文様は西平式の簡略化として「χ」と横位直線文による横形流水文に変化する。文様は磨消縄文が施される。
第Ⅸ類土器		【第Ⅸ類土器】 口縁部あるいは胴部に沈線を施すものである。口縁部が屈曲して立ち上がらずに，口縁端部の平坦面に沈線が施される。一部に内側に凹線のあるものもあるが，口縁部が無文でも胴部に沈線を巡らせるものもある。器面がヘラミガキされるが，第Ⅶ類・第Ⅷ類と比べると粗い調整である。
第Ⅹ－ａ類　無文土器	 	【第Ⅹ類土器】 無文土器の一群である。 第Ⅹ－ａ類 内外面共に丁寧にヘラミガキされ，口縁端が立ち上がり，口縁の立ち上がりの内面に凹線が巡るものである。頚部のヘラミガキ方向は縦方向が多い。

第11図　土器分類表（４）

第X－b類　無文土器		第X－b類土器 口縁端部は丸く，口縁部内側に沈線が引かれる。内外面共に丁寧にヘラミガキされる。口縁部から頚部がやや短くなり，胴径がやや上位に来て肩が張る器形である。頚部のヘラミガキ方向が横方向のものが多く，三万田式土器に伴う浅鉢に特徴が似ている。底部は胴部からすんなり収まりあげ底である。
第X－c類　無文土器		第X－c類土器 口縁部形状が第Ⅸ類土器と同様の形状で，器面調整もやや粗いヘラミガキである。頚部から口縁部のヘラミガキが，調整原体が幅広になったりしてヘラナデみたいなものもある。
第X－d類　無文土器		第X－d類土器 口縁端部に面をもたずに，口縁部が真っ直ぐ外反する器形である。これもヘラミガキがやや粗く，横方向の調整が卓越して，調整原体が幅広になったりしてヘラナデみたいなものもある。

第12図　土器分類表（５）

第XI類土器		【第XI類土器】 口縁部が内傾または直口し，２条の凹線が巡る。 凹線文の幅が広いものもあり，凹線と凹線で蛇腹状の形状のものもみられる。沈線のものも含む。調整は内外面ともに丁寧にヘラミガキが施される。第XII－a 類と比較すると頚部はほぼ屈曲しない。
第XII類土器		【第XII類土器】 第XII -a 類 口縁部が内傾または直口し，２条の凹線が巡る。頚部はやや屈曲する。胴部は口径より張り出して，屈曲して底部に至る。頚部や屈曲部に凹線や半月状の凹点などを施す。調整は内外面共に丁寧にヘラミガキが施される。 b類と比較すると器壁が薄く，肩部の張り出しが強い。
		第XII-b 類土器 肥厚した口縁部が外反し２条の凹線が巡る。胴部に段を作って，丸い肩から直線的にすぼまり小さな底部に至る。肥厚した口縁部の外面とやや膨らんだ胴部に沈線文や凹点を施す。内外面は丁寧にヘラミガキが施される。器壁は厚い。

第13図　土器分類表（６）

（２） 石器の分類

石器は安山岩製の磨敲石の出土が最も多く，次に剥片，チップが続く。剥片についてはホルンフェルス製と頁岩製の比率が高い。数については，組成表を最後に記す。分類表のとおりである。

器種ごとに細分が可能なものについては細分を行い，剥片・チップ類は石材分類を行ったが細分は行っていない。

石材については，肉眼観察による石材産地分類がある程度推定できる黒曜石４つについては細分化を試みたが，産地同定等は行っていない。また，安山岩は２つ，ホルンフェルスは５つ，頁岩は８つに分類した。その他の石材についても，産地同定等を行っていない。牧山遺跡の石材分類基準は右の第３表の通りである。

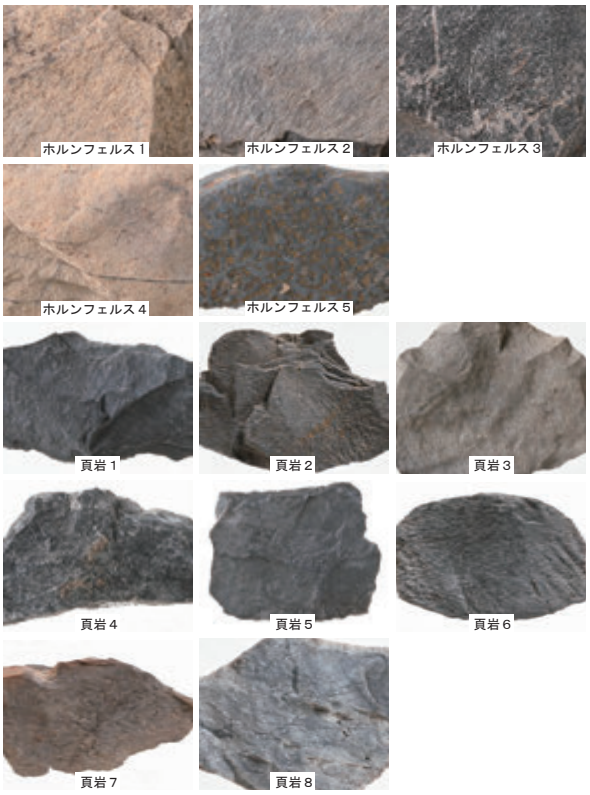


写真３　細分化したホルンフェルスと頁岩

第３表　石材分類基準表

類	特徴
黒曜石Ａ類	日東，三船，五女木，長谷
黒曜石Ｂ類	針尾
黒曜石Ｃ類	姫島
黒曜石Ｄ類	上牛鼻，腰岳，桑ノ木津留
頁岩１	節理はほとんどなく，基質は黒色。風化色は青みがかった黒色。粒子が小さい。
頁岩２	砂質で節理が多い。風化色は青灰色。
頁岩３	節理はほとんどなく，基質は緑色系。風化色は青みがかった灰色。
頁岩４	節理がわずかにみられる。基質は灰色～紫色。風化色は青みがかった暗灰色。粒子が小さいが層状の岩質。
頁岩５	節理はほとんどない。青色で泥岩質。
頁岩６	風化色は灰色。板状剥離のみられるものもある。
頁岩７	風化色は青灰色で，泥岩質ではない。板状剥離がみられ，ホルンフェルス化したもの。
頁岩８	風化色が青灰色～灰色で，節理が多く珪質分が多いもの。
安山岩Ａ	礫石器に使われる多孔質のもの。
安山岩Ｂ	不純物をわずかに含み，基質はざらついた質感を呈し，黒灰色～明灰色を呈するもの。
ホルンフェルス１	節理がほとんどみられず，風化色が黄灰色，基質が暗灰色～緑がかった灰色
ホルンフェルス２	節理がほとんどみられず，風化色が青灰色。基質は黒色～暗灰色。硬質だが層状の剥離が１よりある。
ホルンフェルス３	節理がほとんどみられず，風化色が暗灰色。基質は暗灰色。
ホルンフェルス４	節理が発達。風化色が黄灰色。基質が緑がかった灰色。
ホルンフェルス５	粒子が比較的細かく，やや緻密。
玉髄	基質が比較的珪質分に富み，白色系・赤色系の色調を基調とするもの。
チャート	油脂光沢に富むもの。青灰色，灰色など色調は違うが一括した。
砂岩	細粒砂岩と硬質砂岩。
花崗岩	石英，長石，雲母の細粒結晶の集合体。
凝灰岩	軟質のピンク色を呈するものが多い。異質岩片が含まれる粒子の大きいものもある。
軽石	白色・灰色・黄色を呈した多孔質の火山砕屑物。
水晶	透明で柱面と錘面が発達し，結晶化したものもある。
石英	乳白色を呈し，円礫化したものが多い。

第２節　層序

牧山遺跡Ａ地点は起伏が少なく，傾斜も緩いものであるが，調査区東端部から道路を挟んでＢ地点西端部にかけて急傾斜で下がっていく。以下Ｂ地点からＤ地点まではほぼ同様の緩やかな傾斜が北西方向から南東方向に展開する地形となっている。調査地点により若干の差異が認められるものの，遺跡全体ではほぼ同様の層位である。

第４表　牧山遺跡　基本層序

層位	色調等	平均厚（cm）
Ⅰａ層	表土	35
Ⅰｂ層	旧耕作土	
Ⅱａ層	暗褐色土	10
Ⅱｂ層	黒褐色土	20
Ⅱｃ層	黒色土	20
Ⅲ層	褐色土	5
Ⅳ層	暗茶褐色土	10
Ⅴａ層	アカホヤ火山灰層	30
Ⅴｂ層	アカホヤ軽石層	5
Ⅵａ層	明褐色土	5
Ⅵｂ層	黒色土	15
Ⅶａ層	暗茶褐色土	20
Ⅶｂ層	暗茶褐色土	20
Ⅶｃ層	暗茶褐色土	10
Ⅷａ層	サツマ火山灰層	15
Ⅷｂ・ｃ層	サツマ軽石層	10
Ⅸａ層	褐色土	15
Ⅸｂ層	黒褐色土	
Ⅸｃ層	灰褐色土	
Ⅹ層	茶褐色土	10
ⅩⅠ層	黒褐色土	10
ⅩⅡ層	褐色土	10
ⅩⅢ層	にぶい黄色土	15
ⅩⅣ層	にぶい黄色土	15
ⅩⅤ層	砂質土	－

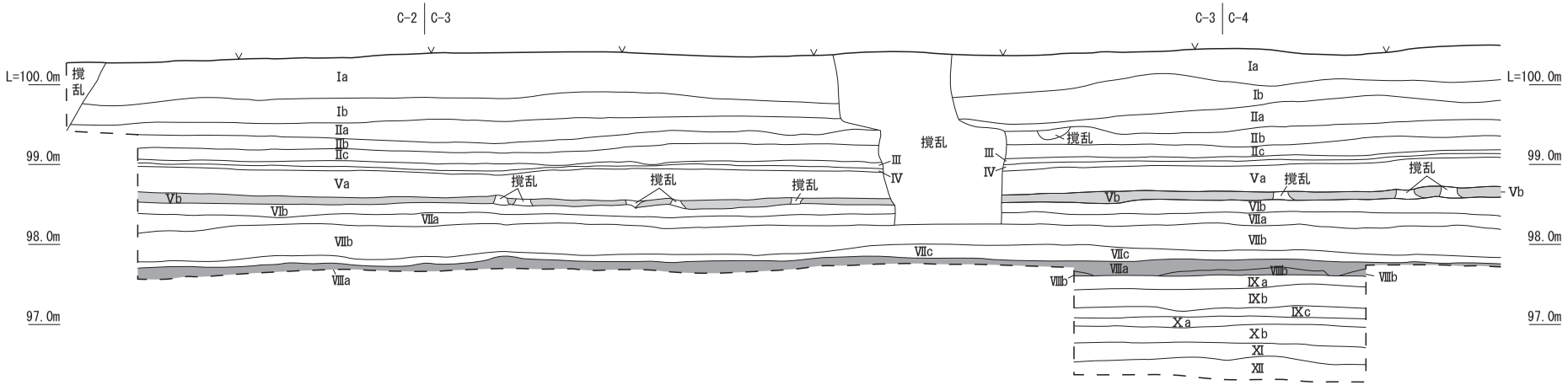
Ⅰ　層：表土と旧耕作土で２層に分けた。
Ⅱａ層：暗褐色土で，弥生時代の包含層である。
Ⅱｂ層：黒褐色土で，縄文晩期・弥生時代の包含層である。
Ⅱｃ層：黒色土で，縄文時代後期～晩期の包含層である。Ⅲ層上面で遺構の検出と地形測量を実施した。
Ⅲ　層：褐色土で，縄文時代晩期～後期の包含層である。池田降下軽石（約 6,400 年前）を含む。
Ⅳ　層：暗茶褐色土で，池田降下軽石層とアカホヤ火山灰層に挟まれた無遺物層である。
Ⅴａ層：黄橙色火山灰で，アカホヤ火山灰の二次堆積である。
Ⅴｂ層：黄橙色火山灰で，アカホヤ火山灰（約 7,400 年前）の一次軽石層である。
Ⅵａ層：明褐色土で，縄文時代早期の包含層である。
Ⅵｂ層：黒色土で，縄文時代早期の包含層である。
Ⅶａ層：暗茶褐色土で，縄文時代早期の包含層である。黄橙色パミスが混在する。
Ⅶｂ層：暗茶褐色土で，縄文時代早期の包含層である。Ⅶａ層及びⅦｃ層に比べ黄橙色パミスが多く混在する。
Ⅶｃ層：暗茶褐色土で，縄文時代早期の包含層である。黄橙色パミスが混在している。Ⅷ層上面で縄文時代早期の遺構の検出と地形測量を実施した。
Ⅷ　層：黄白色火山灰（約 12,800 年前の桜島起源の薩摩火山灰層）で，基本は火山灰層と軽石層である。地点によって軽石の量でｂとｃに分層している。
Ⅸ　層：黒褐色で，粘質のやや弱いチョコ層である。地点でａ～ｃの３層に分けた。
Ⅹ　層：茶褐色で，粘質の強いチョコ層。
ⅩⅠ層：黒褐色土
ⅩⅡ層：褐色土
ⅩⅢ層：にぶい黄色土で，少量の礫を含む。
ⅩⅣ層：にぶい黄色土で，多量の礫を含む。
ⅩⅤ層：二次シラス
※火山灰等の年代については，『新編火山灰アトラス－日本列島とその周辺－』町田洋　新井房夫　2003　東京大学出版会を参考にした。

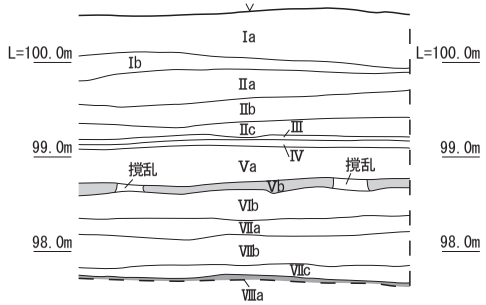


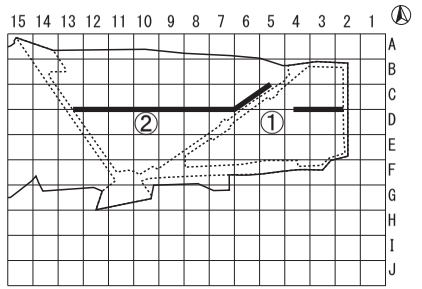
写真４　Ｃ地点土層断面⑬（Ｃ・Ｄ－15 区）　Ⅰ～Ⅳ層上面



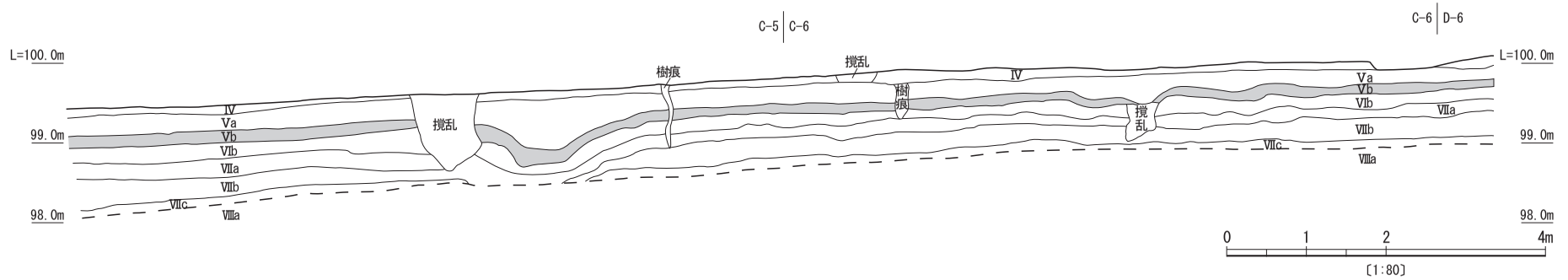
写真５　Ｄ地点土層断面⑪（Ｃ－４区）　Ⅰ～Ⅷ層上面



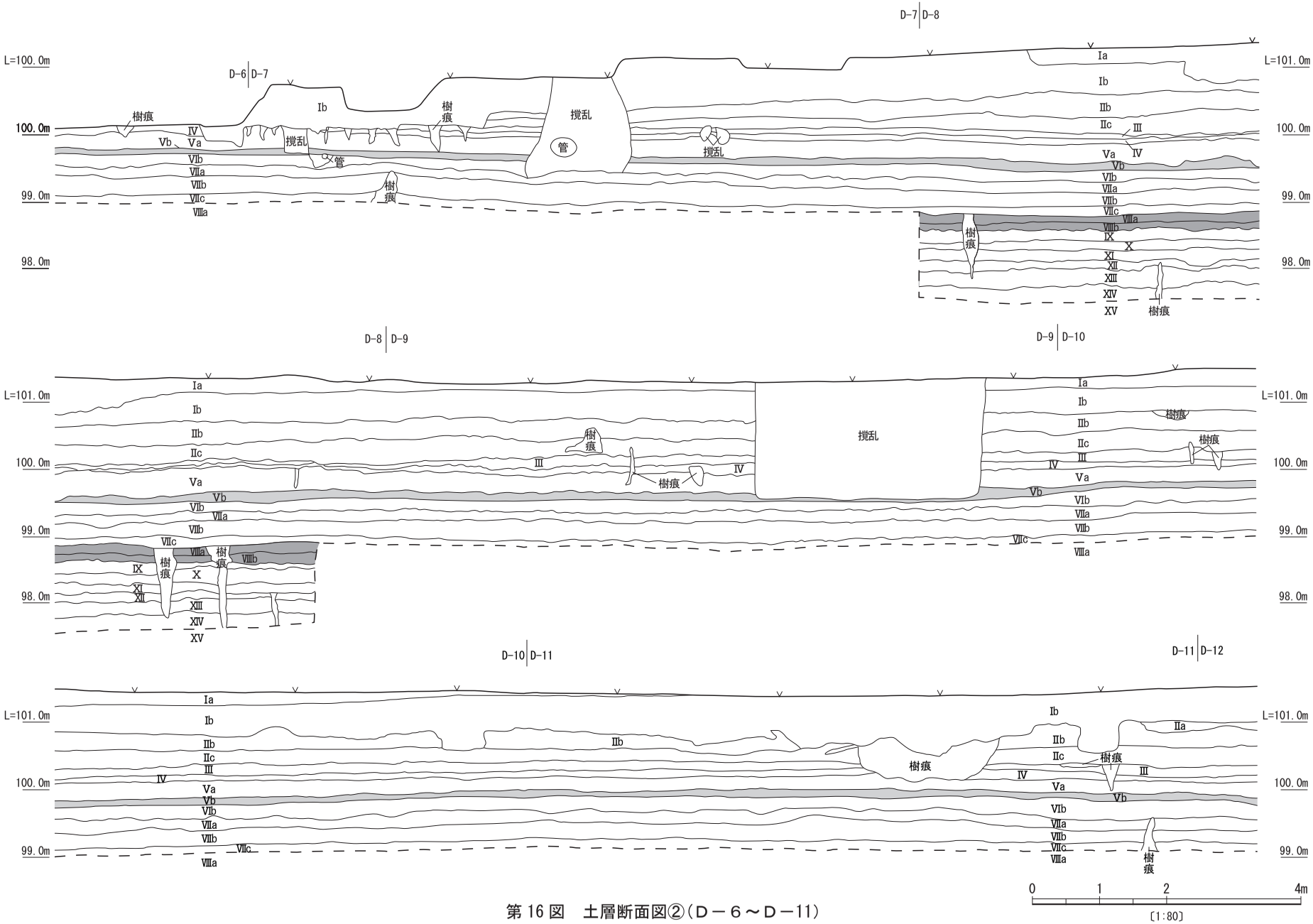




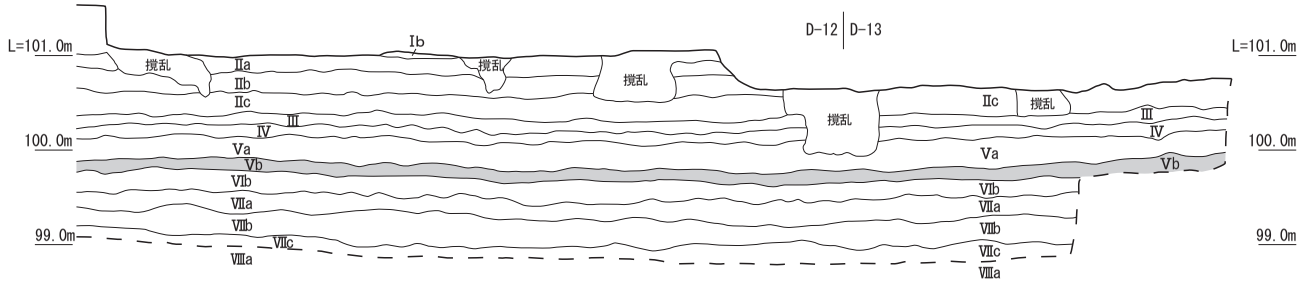
第 14 図　土層断面図①（Ｃ－２～Ｃ－４）

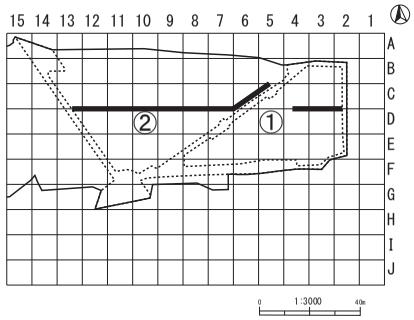


第 15 図　土層断面図②（Ｃ－５～Ｃ－６）

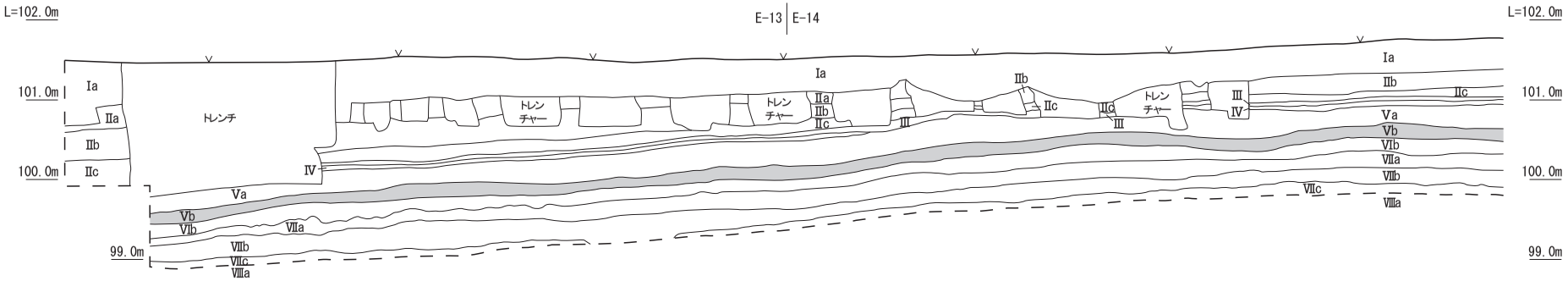


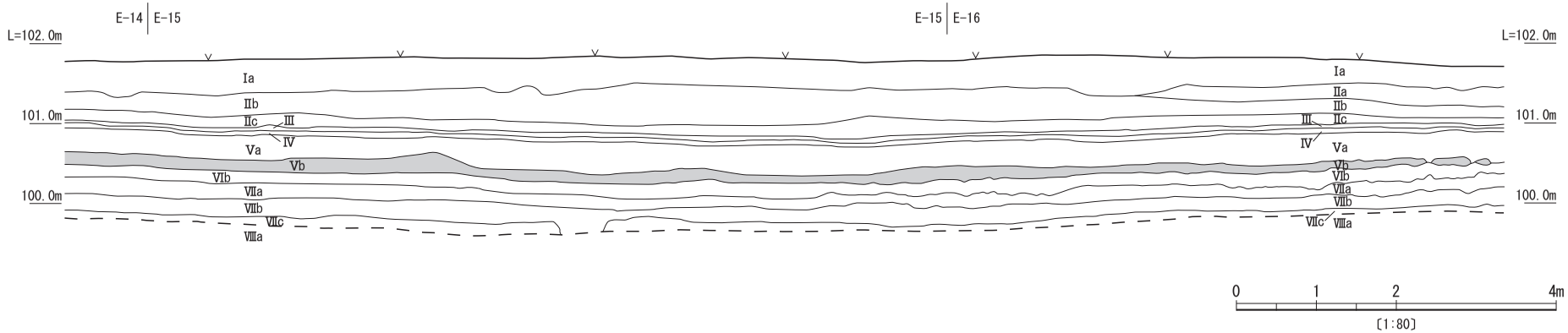
第 16 図　土層断面図②（Ｄ－６～Ｄ－11）



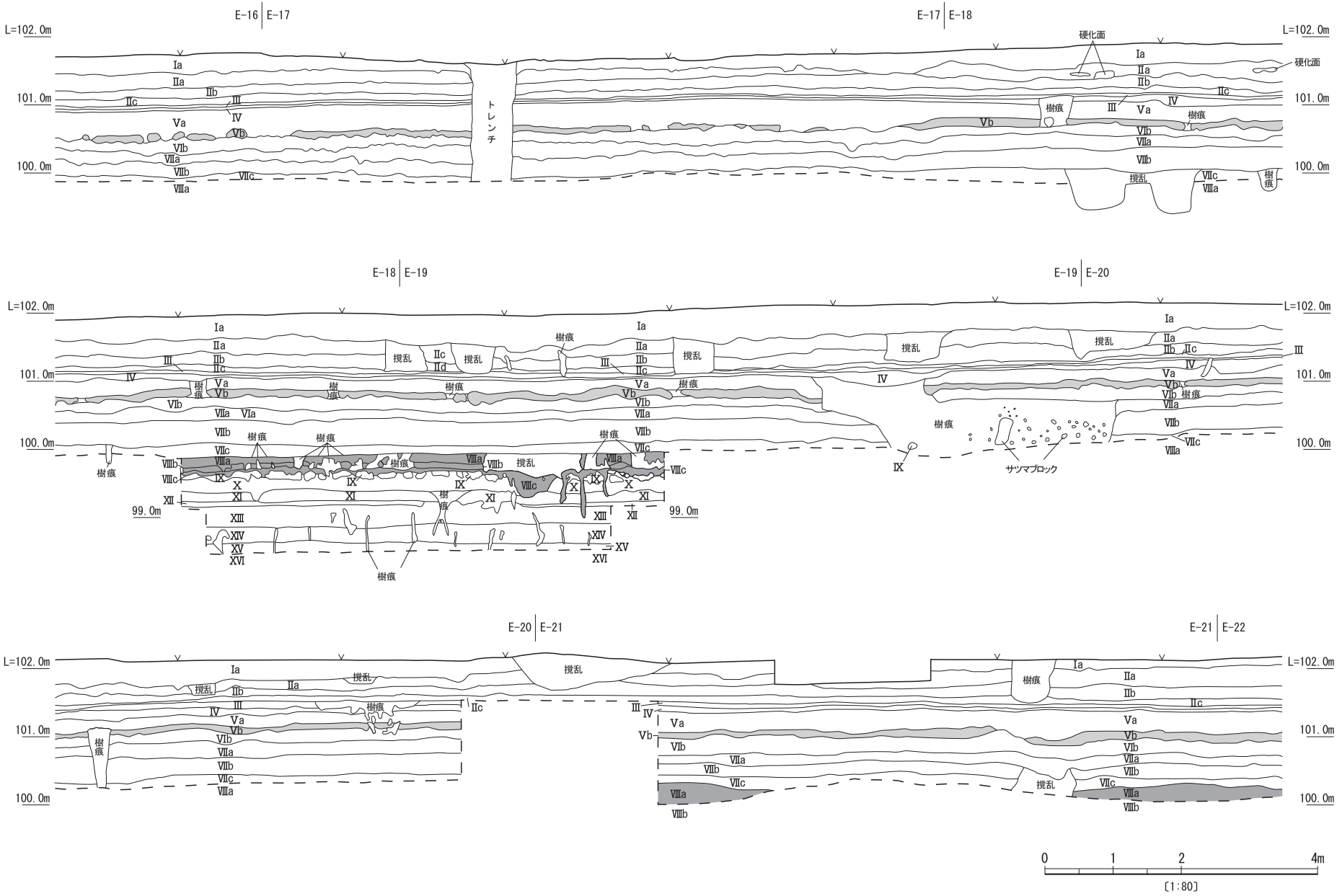


第 17 図　土層断面図②（Ｄ－12 ～Ｄ－13）

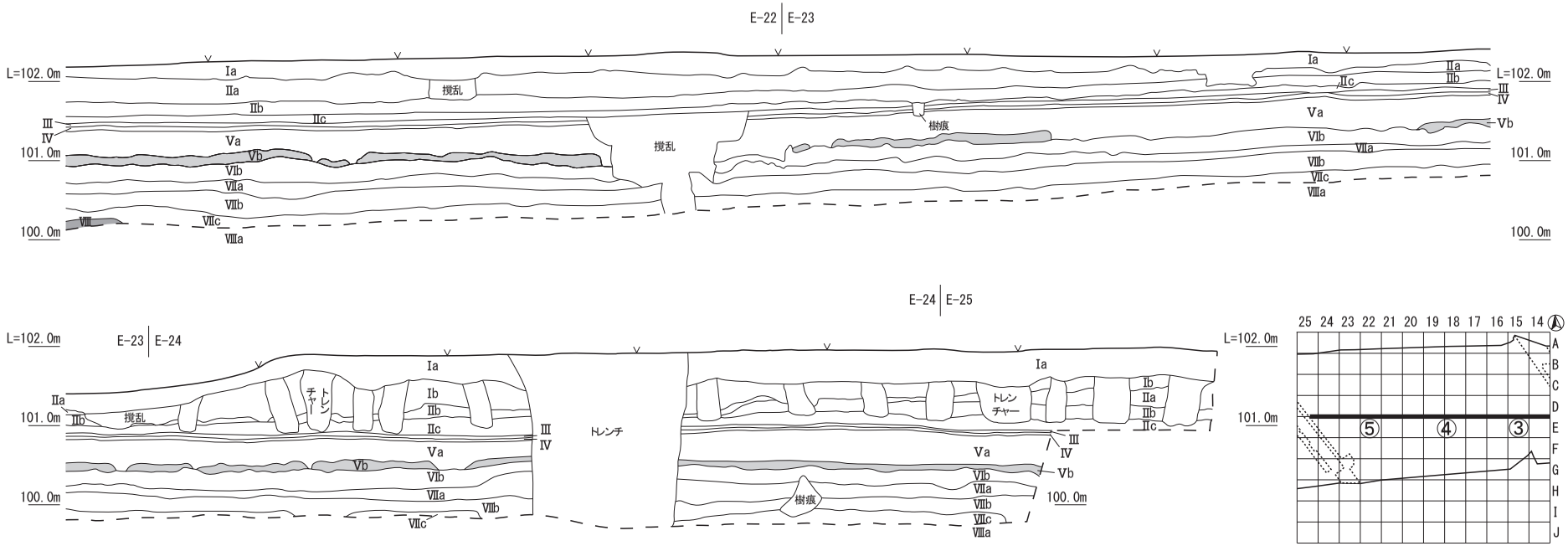




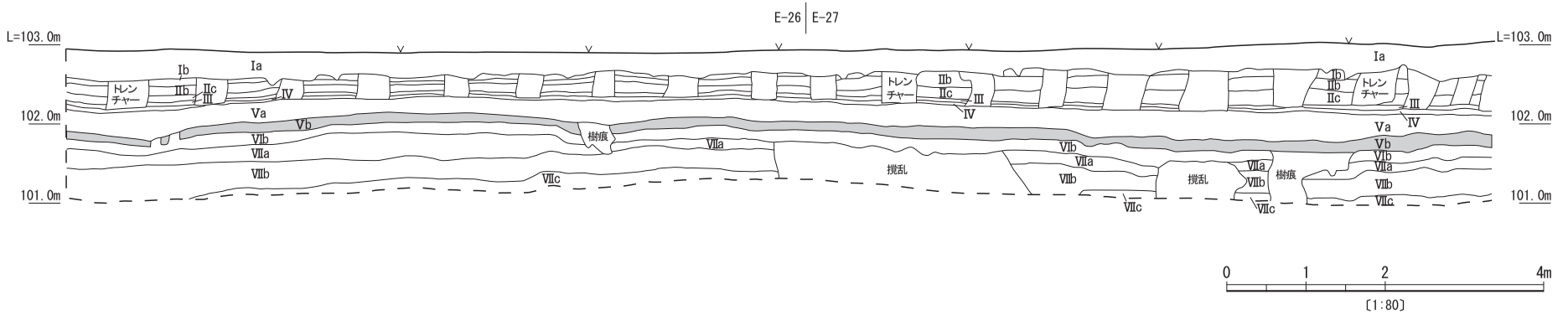
第 18 図　土層断面図③（Ｅ－13 ～Ｅ－16）



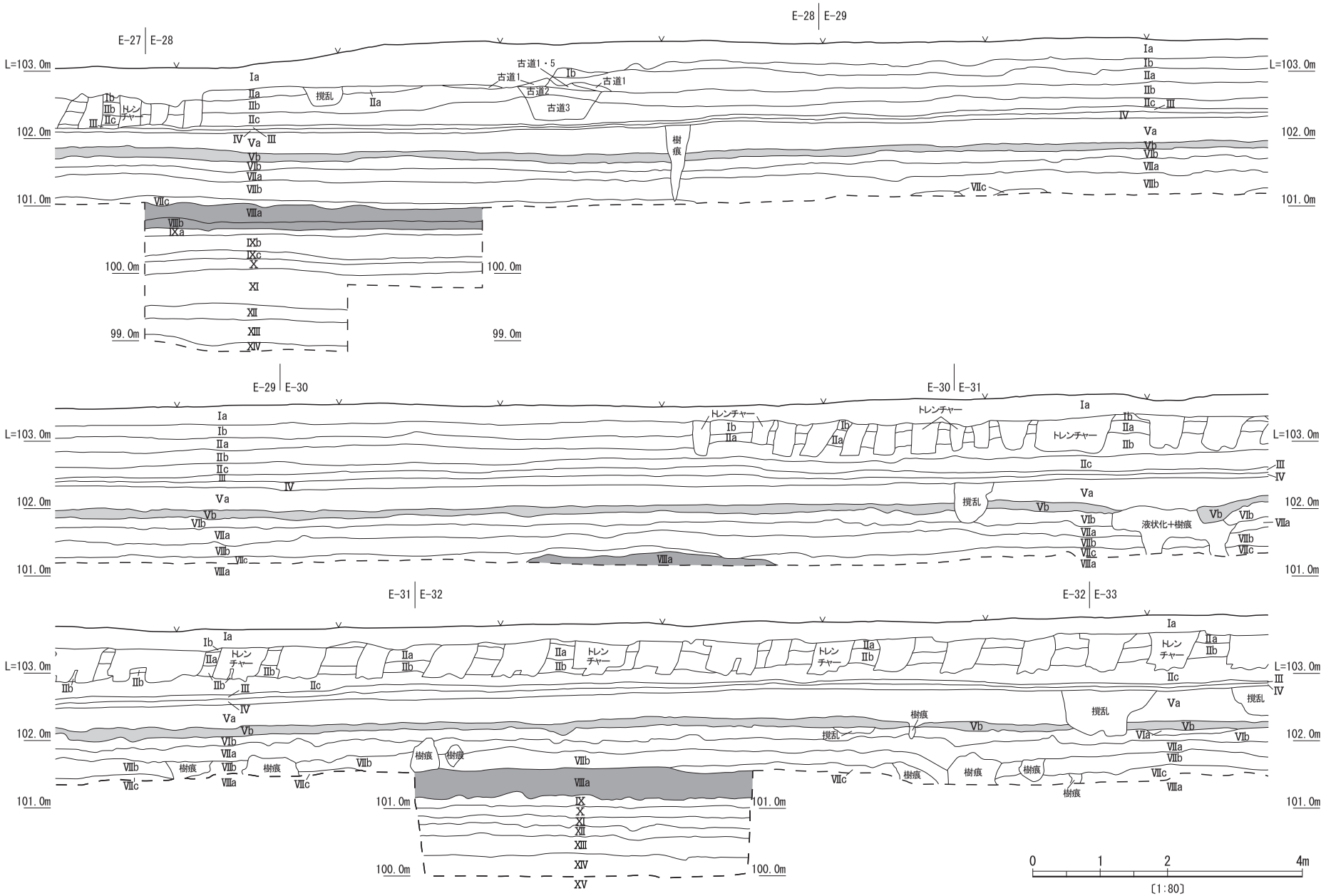
第 19 図　土層断面図③･④（Ｅ－16 ～Ｅ－21）



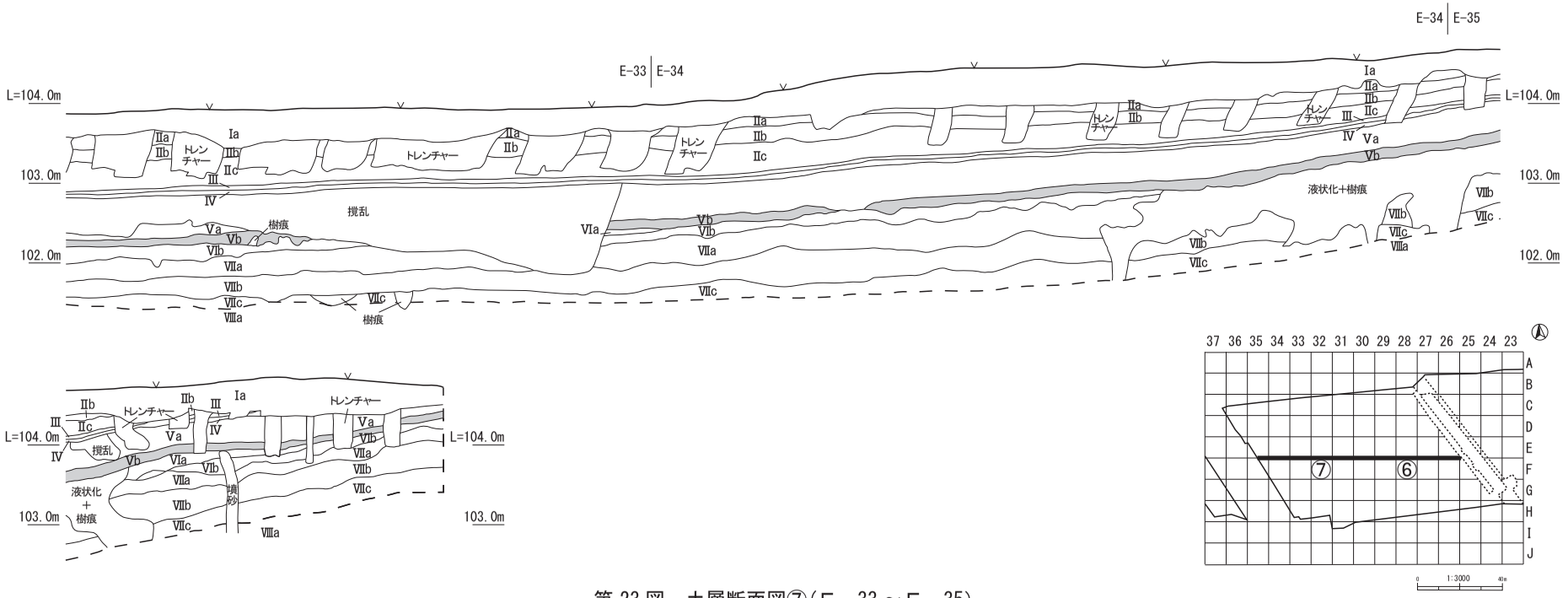
第 20 図　土層断面図⑤（Ｅ－22 ～Ｅ－ 25）



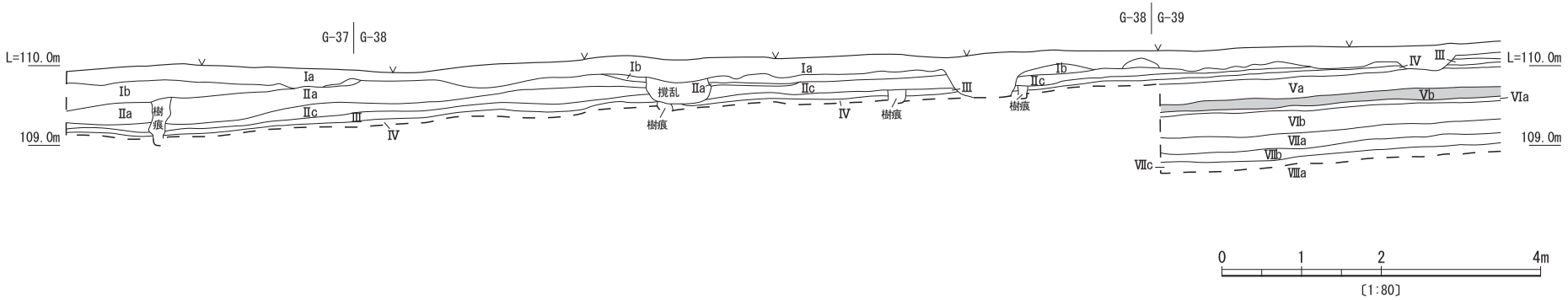
第 21 図　土層断面図⑥（Ｅ－26 ～Ｅ－27）



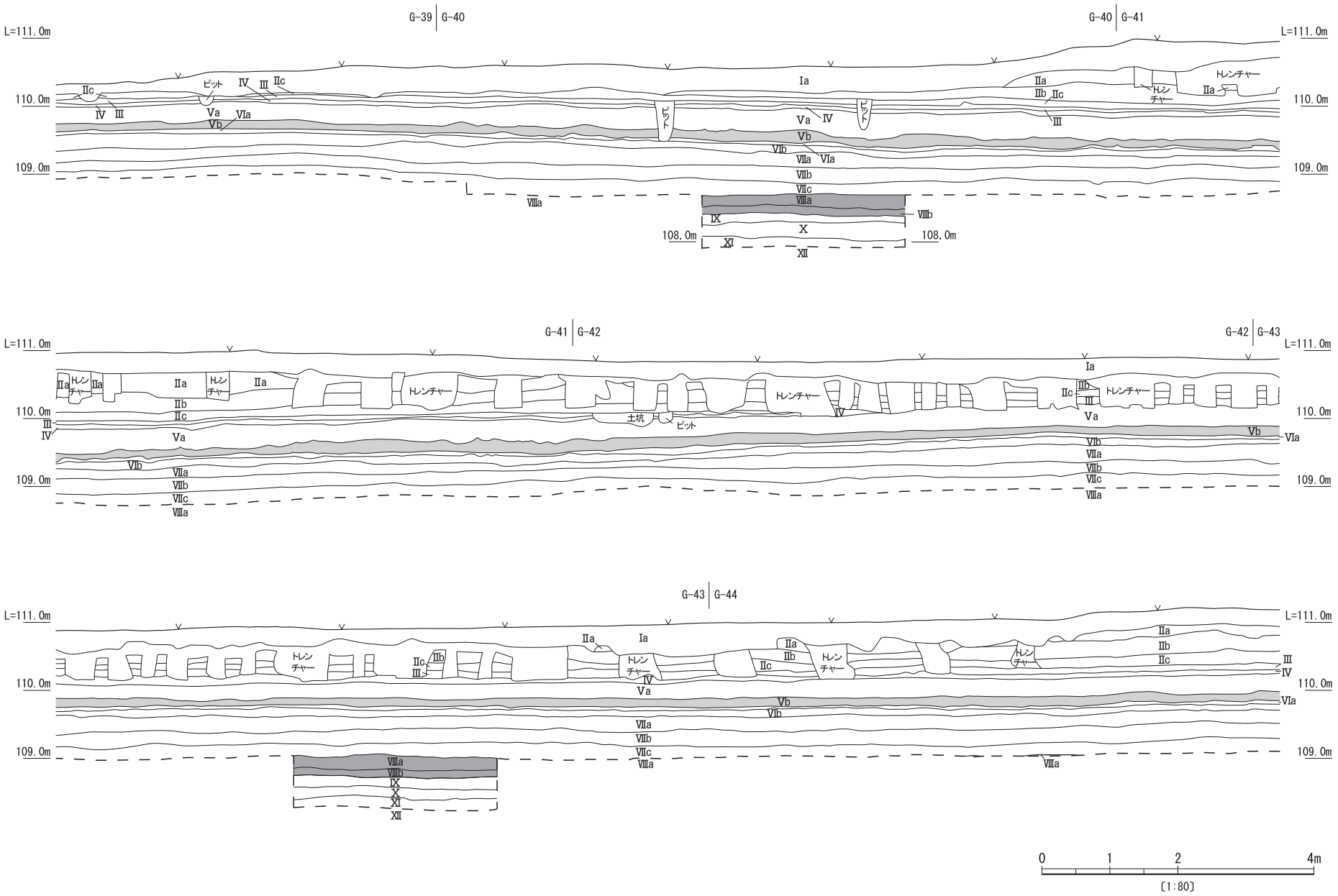
第 22 図　土層断面図⑥･⑦（Ｅ－27 ～Ｅ－33）



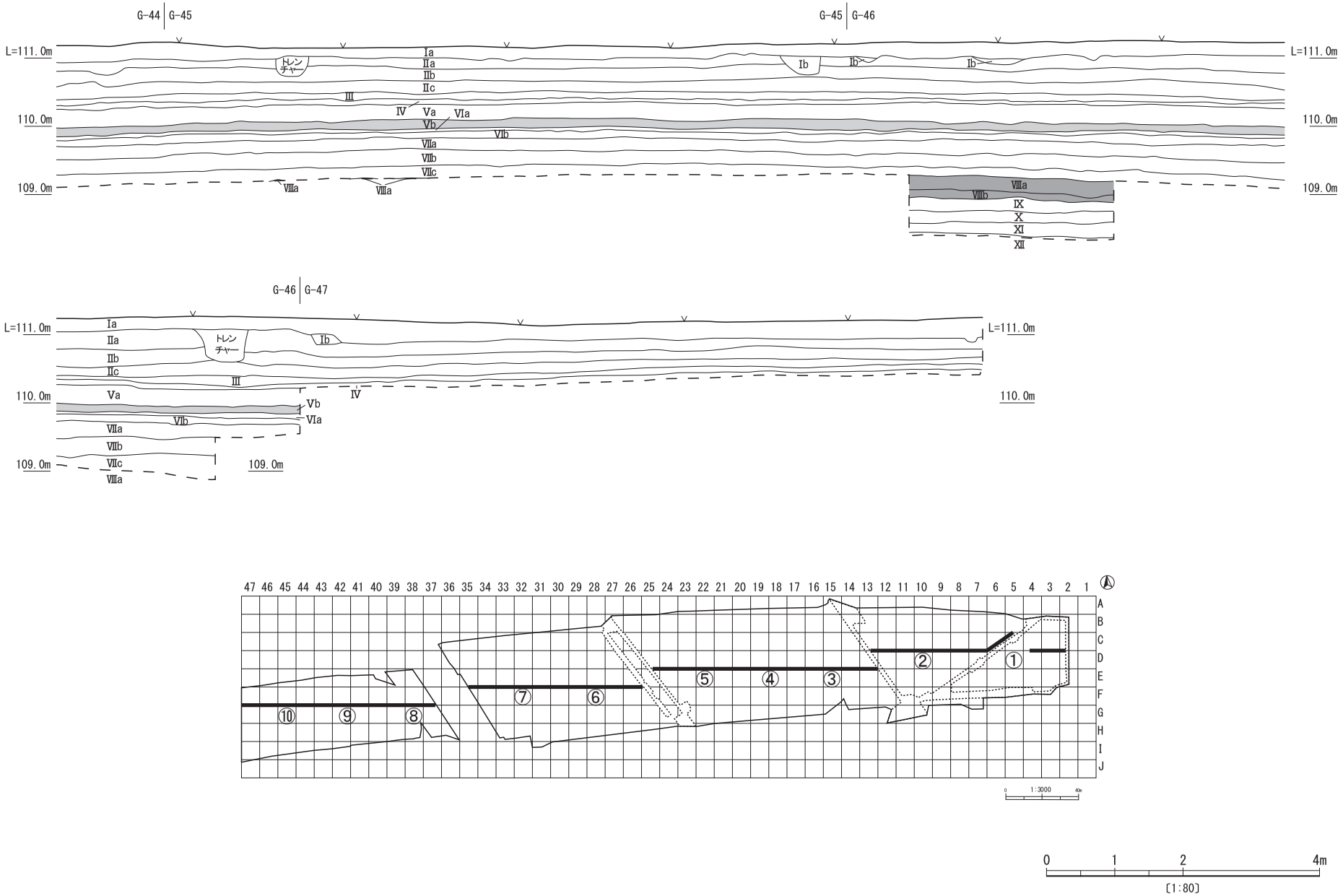
第 23 図　土層断面図⑦（Ｅ－33 ～Ｅ－35）



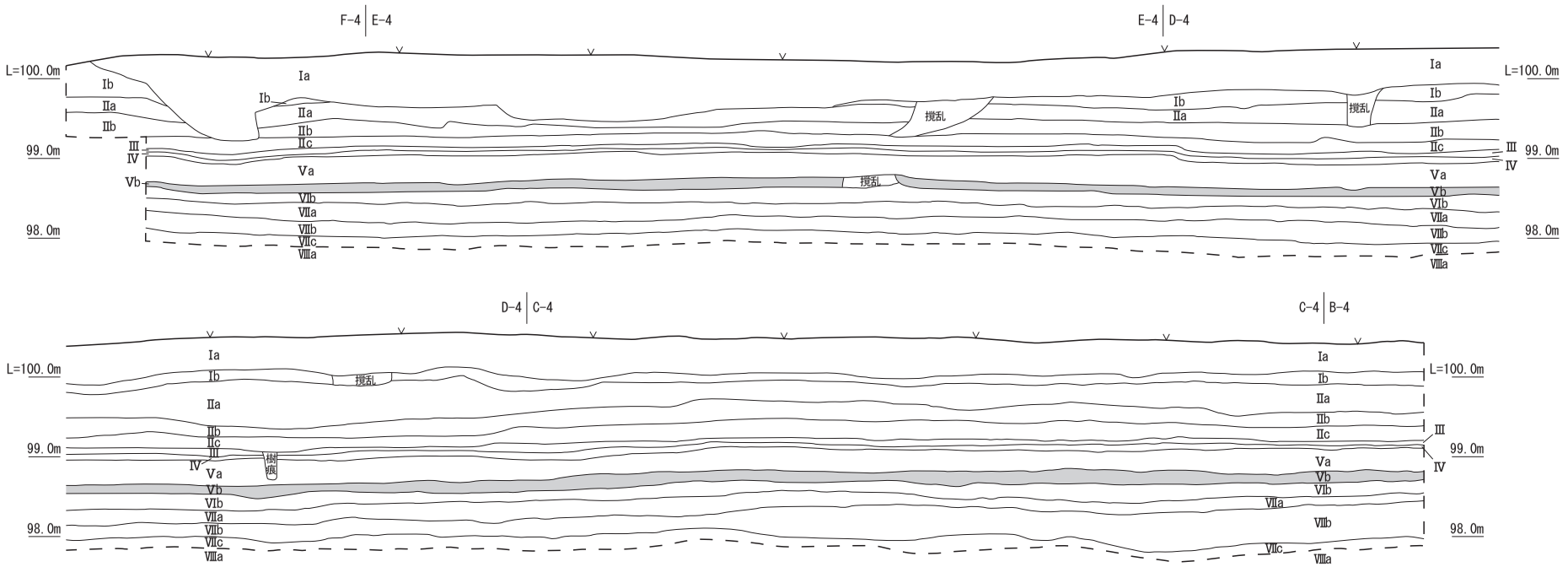
第 24 図　土層断面図⑧（Ｇ－37 ～Ｇ－39）



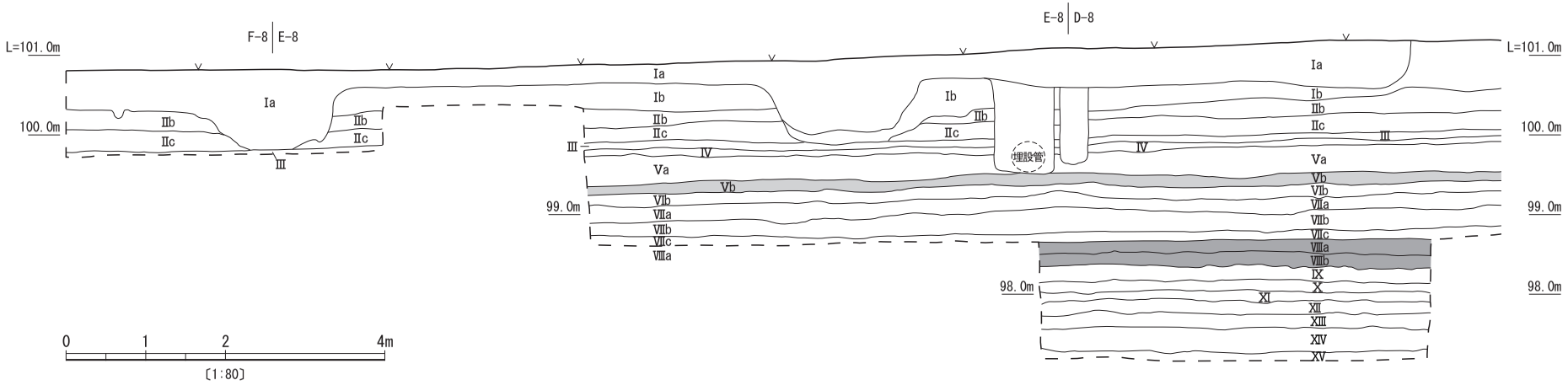
第 25 図　土層断面図⑧･⑨（Ｇ－39 ～Ｇ－44）



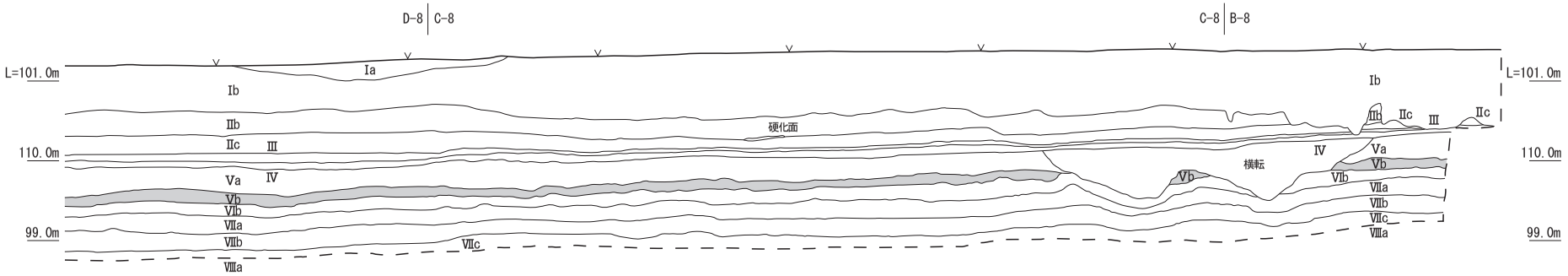
第 26 図　土層断面図⑩（G－44 ～G－47）



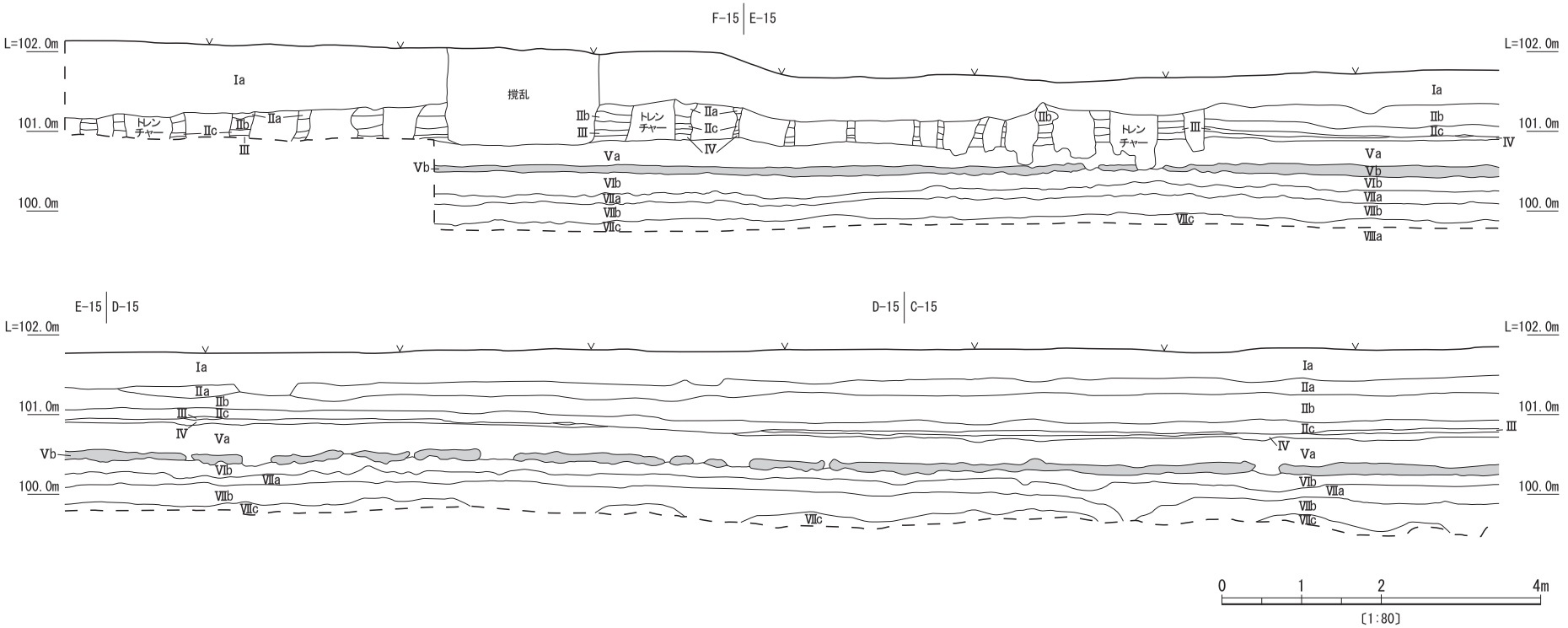
第 27 図　土層断面図⑪（Ｆ－４～Ｂ－４）



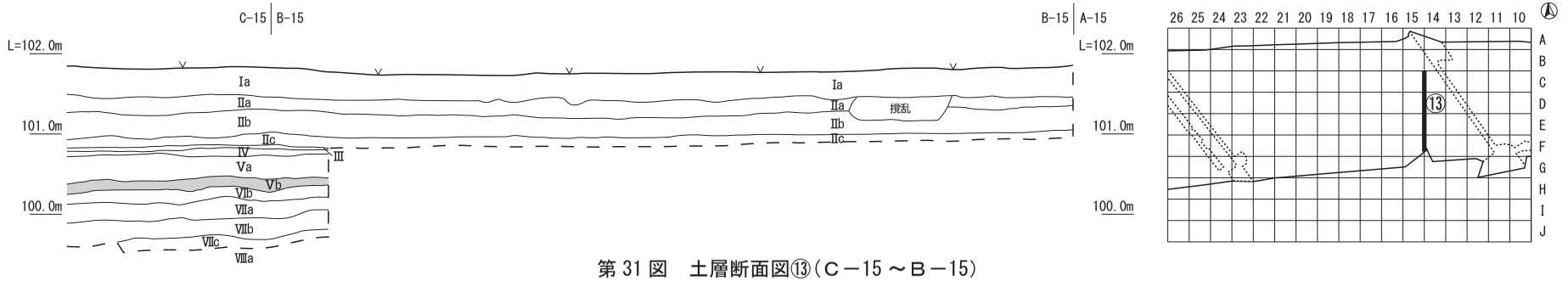
第 28 図　土層断面図⑫（Ｆ－８～Ｄ－８）



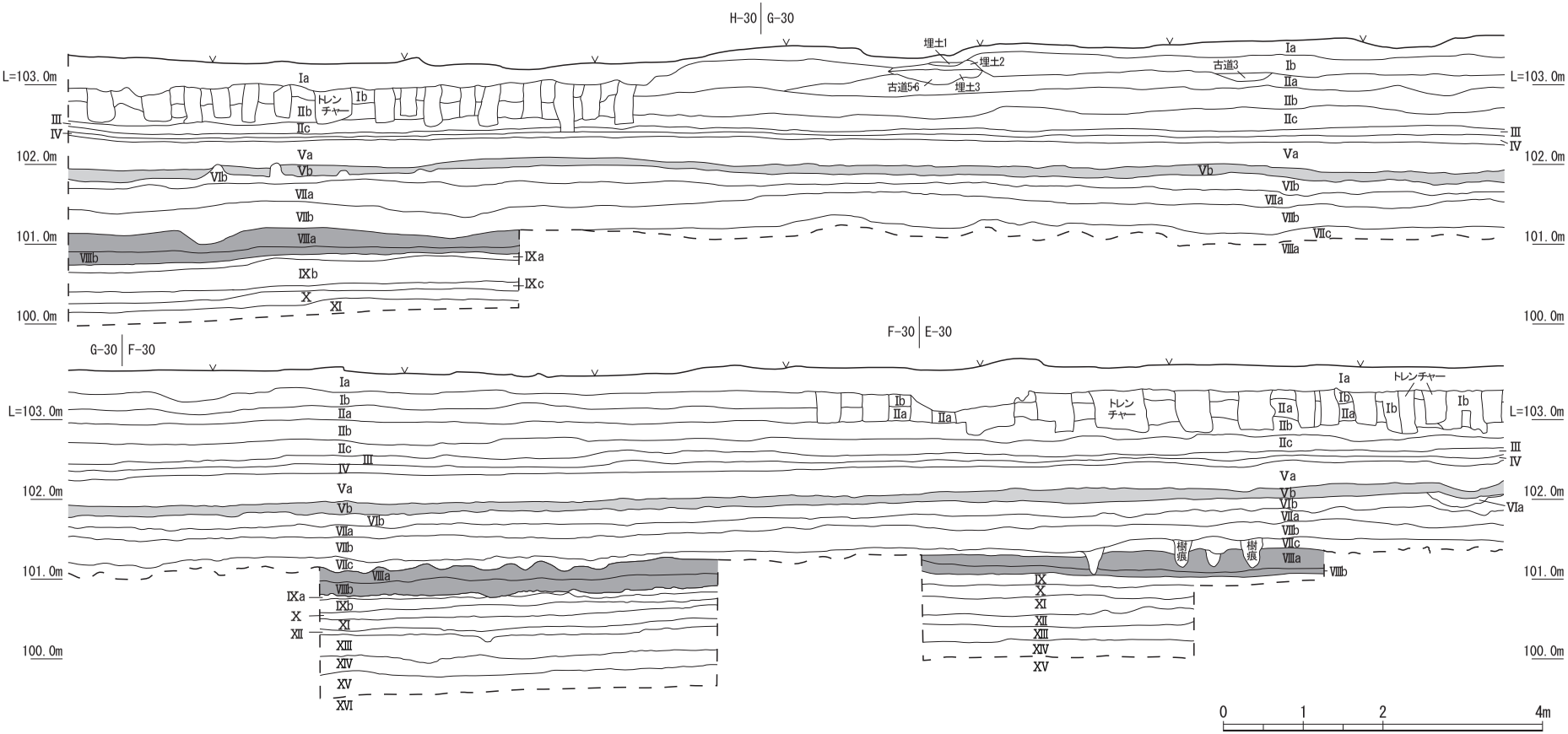
第 29 図　土層断面図⑫（Ｄ－８～Ｂ－８）



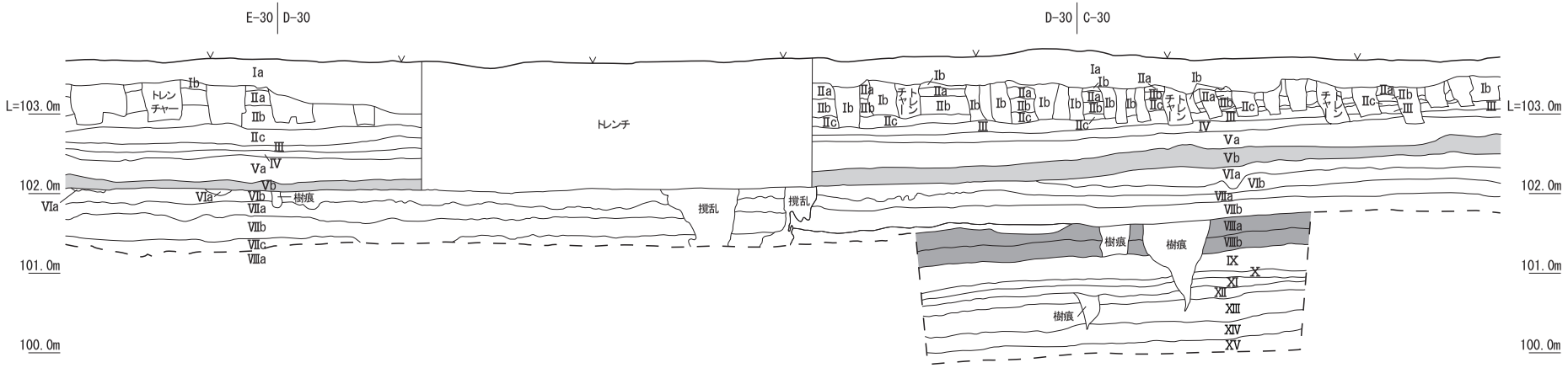
第 30 図　土層断面図⑬（Ｆ－15 ～Ｃ－15）

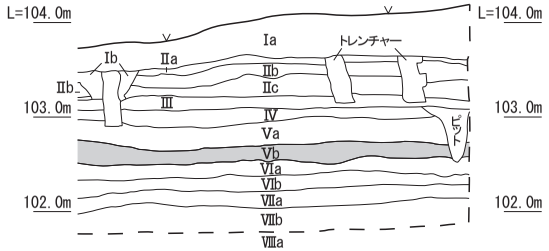


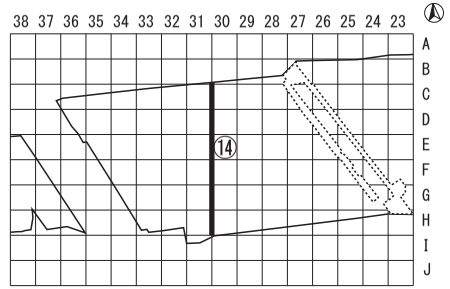
第 31 図　土層断面図⑬（Ｃ－15 ～Ｂ－15）



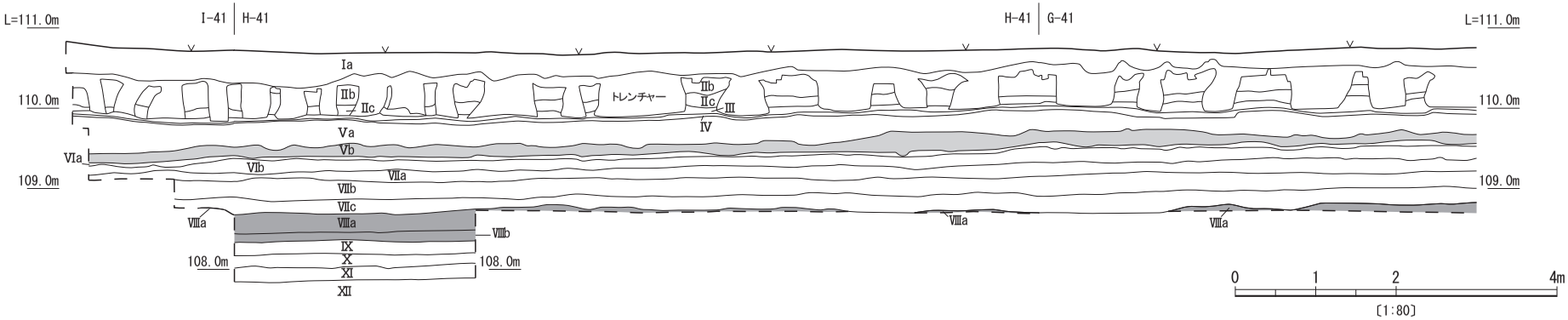
第 32 図　土層断面図⑭（Ｈ－30 ～Ｅ－30）



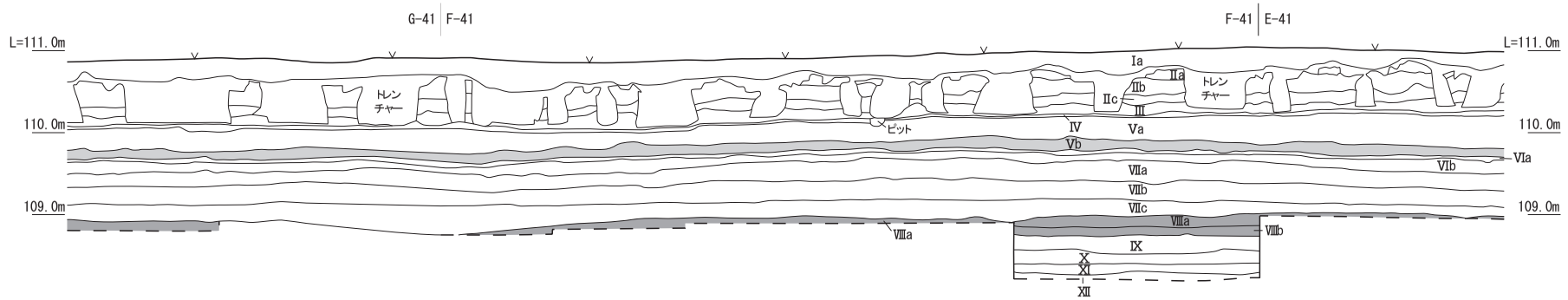


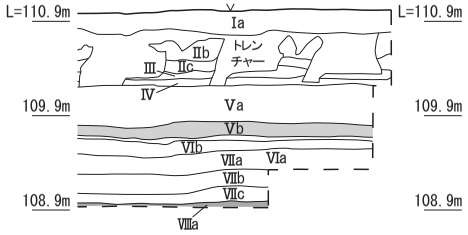


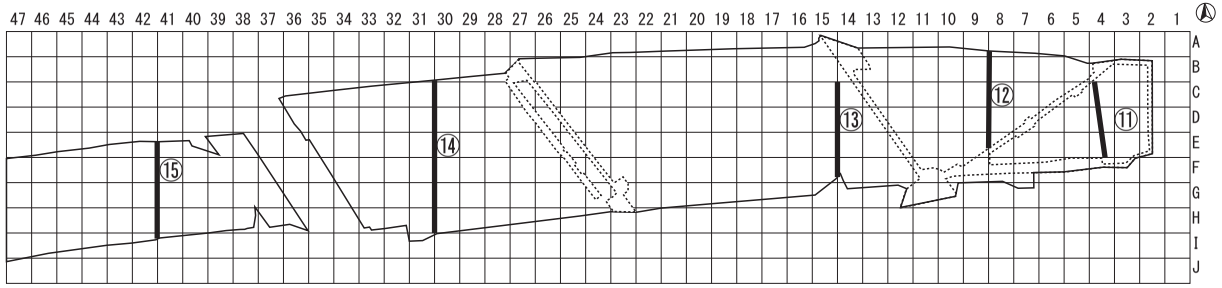
第 33 図　土層断面図⑭（Ｅ－30 ～Ｃ－30）

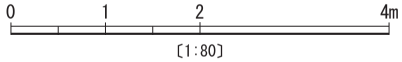


第 34 図　土層断面図⑮（Ｉ－41 ～Ｇ－41）









第 35 図　土層断面図⑮（Ｇ－41 ～Ｅ－41）

第Ⅳ章　発掘調査の成果

第１節　縄文時代前期～中期の調査成果

１　調査の概要

縄文時代の調査はＡ～Ｄ地点の全てで行った。しかし，調査区内に埋設されていた畑かんのパイプラインや用地境界等で安全上の措置として数ｍ内側に控えて調査を行ったため，未調査の範囲や調査不可能の範囲が生じた。第６・７図の年度別調査範囲図の点線で表している。また，Ｂ・Ｃ地点間の道路とＣ・Ｄ地点間の道路は，道路工事の影響を大きく受けていた。第 42 図は縄文時代前期～中期の調査範囲で，縄文時代後期～晩期の調査範囲と同一のため，まとめて縄文時代後期～晩期の調査成果の中に掲載している。

縄文時代前期～中期の調査対象となる層位はⅢ層である。縄文時代前期の遺物はⅢ層中から第Ⅰ類土器が 15 点出土しており，分布状況も一定ではなく，全体の出土数としても一番少ない。遺構は埋設土器１基のみで，第Ⅰ類土器がほぼ完形で埋設された状態で検出された。遺構の検出はⅤ層上面で行った。

縄文時代中期の遺物としては第Ⅱ類土器が 27 点出土しているが，全体の総数に対してかなり少ない。Ａ～Ｃ地点から出土しており，Ｂ地点の一部に集中域がみられる。遺構は土坑１基のみで，遺構内から第Ⅱ類土器が１点出土した。

遺構の配置状況と遺物出土状況は第 36 図のとおりである。遺物の出土はＡ～Ｃ地点で，遺構検出もＢ地点のみの検出であったため，Ａ～Ｃ地点のみの状況図を掲載している。

遺構に関しては前期が埋設土器１基，中期が土坑１基のみの報告となるが，後述する土坑などの遺構は時期不明の遺構も多く，中には縄文時代前期や中期の遺構も含まれている可能性も考えられる。

２　遺構

（１）埋設土器

ア　検出状況

牧山遺跡の埋設土器はＢ地点から１基のみ検出された。遺構からの土器の検出状況や周辺の遺物出土状況等から判断し，縄文時代前期該当の埋設土器として報告する。

イ　埋設土器の状況

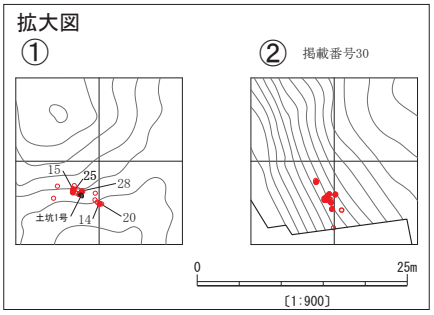
埋設土器１号（第 37・38 図）

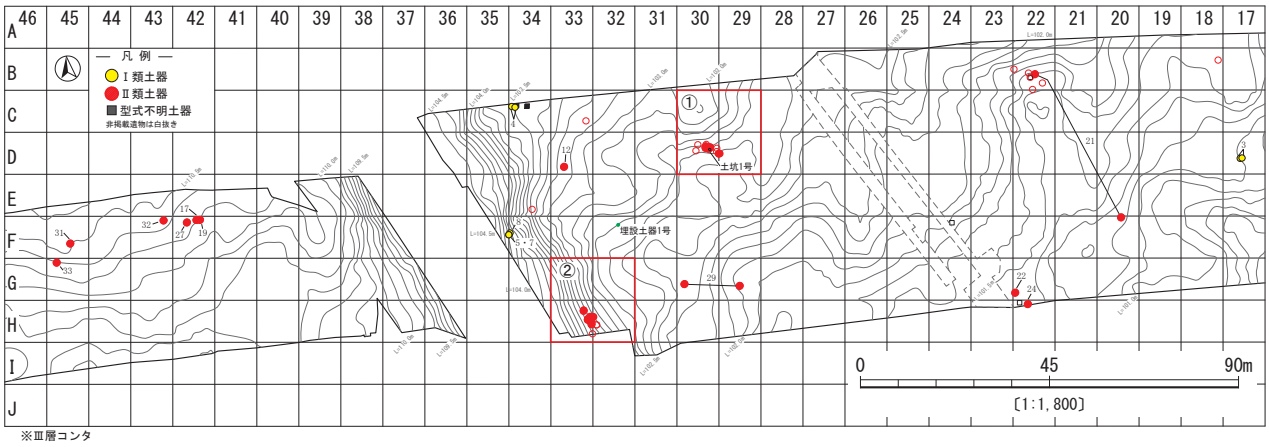
Ｂ地点，Ｆ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。検出はⅡ層掘削時に土器底部を発見したことによる。明瞭な掘り方を検出するために一部断割りを行い，遺構の立ち上がりを確認した。

平面形状は円形を呈し，遺構底面は比較的平坦である。長軸 44cm，短軸 42cm，検出面からの深さは 36 ㎝で，深鉢形土器を逆さまにして土坑内に埋められた状態で出土した。

埋土は２層で１層目に比べ２層目にアカホヤブロックなどの混入物が多い。図上での遺構の立ち上がりが土器底部より下位となっているが，本来はⅡ層中に確認面が存在していたと考えられる。

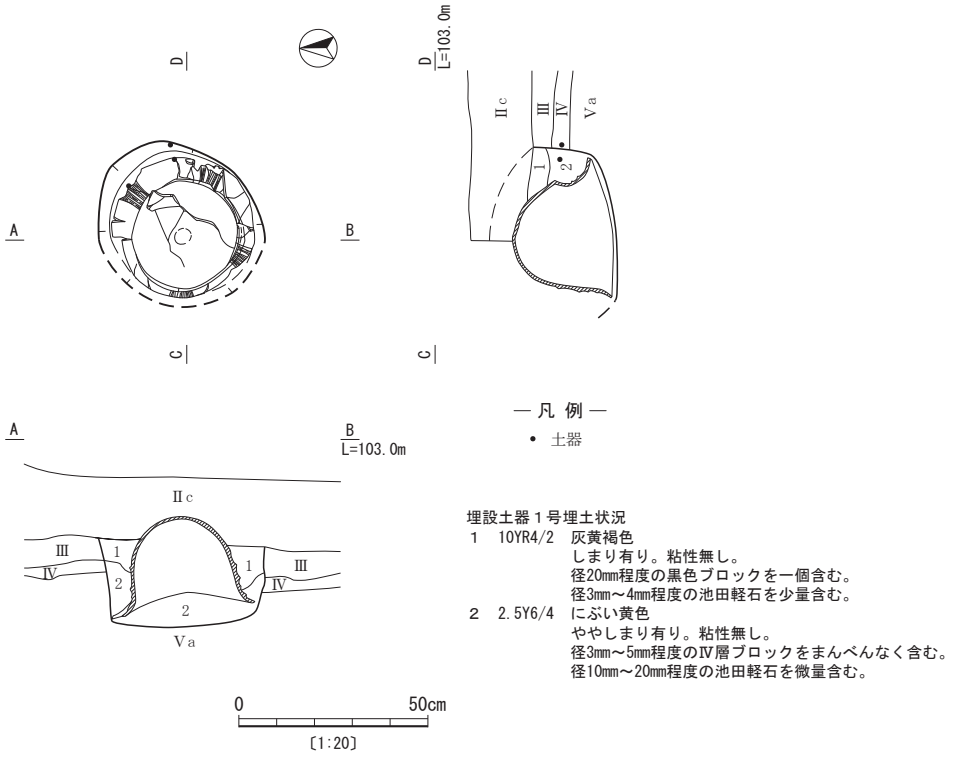
１は第Ⅰ類土器の完形品で，丸底のいわゆる砲弾型の器形を呈す。口縁が外開き気味に真っ直ぐ立ち上が





※Ⅲ層コンタ

第 36 図　縄文時代前期～中期遺構配置図及び出土土器分布図





第 37 図　埋設土器 1 号（1）



第 38 図　埋設土器 1 号（2）

り，胴部で屈曲する。器壁が薄手の土器で，貝殻条痕による器面調整が内外とも丁寧に行われている。貝殻条痕は土器上部と下部にあるが，胴部中位の施文は棒状工具による施文が施されている。また，口縁部から胴部中位にかけて断面が三角形を呈する縦位の微隆突帯が施されている。この微隆突帯は上部５本と下部２本を１単位としたものが４つ，最後に上部３本と下部２本を１単位としたものが１つ，全体に均等にみられる。最後の３本２本を１単位とした突帯は，作成時の調整で上部の突帯が２本が少なくなったものと推測される。この土器の施文の順序については，条痕→縦位突帯→連続刺突の順序が観察できる。連続刺突は全体で４列あり，上から３列の刺突文は壁面に対して直角に押し当て，一番下の刺突文は工具を斜めに支持して壁面に押し当てて施文されており，工具も異なる。なお，土器付着炭化物で年代測定を行ったところ，4485calBC-4459calBC（第Ⅴ章第３節 PLD32296）の値を得た。また同遺構から出土した炭化材で年代測定を行ったところ 5009calBC-1844calBC（第Ⅴ章第６節）の値を得た。

ウ　小結

Ｃ－34 区，Ｆ－34 区，Ｄ－17 区の３ヶ所に第Ⅰ類土器のまとまりがみられる。旧地形を考慮するとＦ－34 区は流れ込みと考えられ，Ｃ－34 区より北側に第Ⅰ類土器の集中域がある可能性が考えられる。

（２）土坑

ア　検出状況

土坑はＢ地点から１基のみ検出された。検出された遺構内遺物等から判断して縄文時代中期該当の土坑として報告する。

イ　土坑の状況

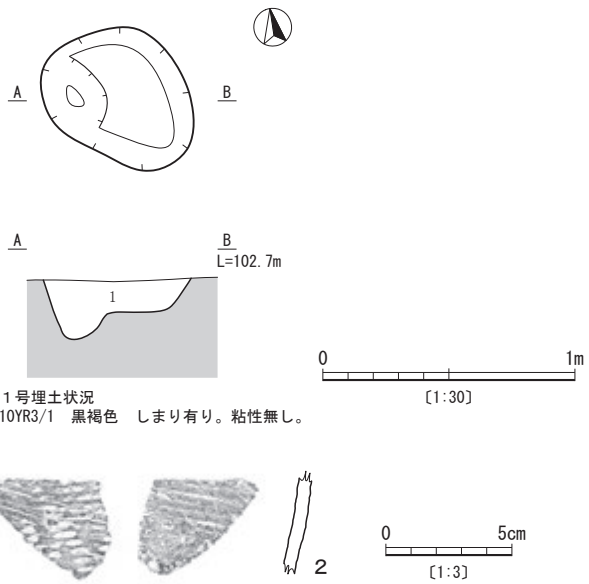
土坑１号（第 39 図）

Ｂ地点，Ｄ－30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 65cm，短径 50cm で，深さは 23cm である。西端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。土坑内より縄文時代中期と思われる土器片が９点出土している。

２は内外面とも貝殻条痕で調整され，ナデ消されている。全体的に摩滅しており調整は不明瞭である。第Ⅱ類土器と考えられる。

ウ　小結

今回，縄文時代中期該当の土坑は１基のみの報告であるが，Ｂ－22 区とＤ－30 区にⅡ類土器のまとまりがみられ，周辺に縄文時代中期該当の土坑が存在していた可能性もある。



第 39 図　土坑１号

第５表　埋設土器１号出土土器観察表

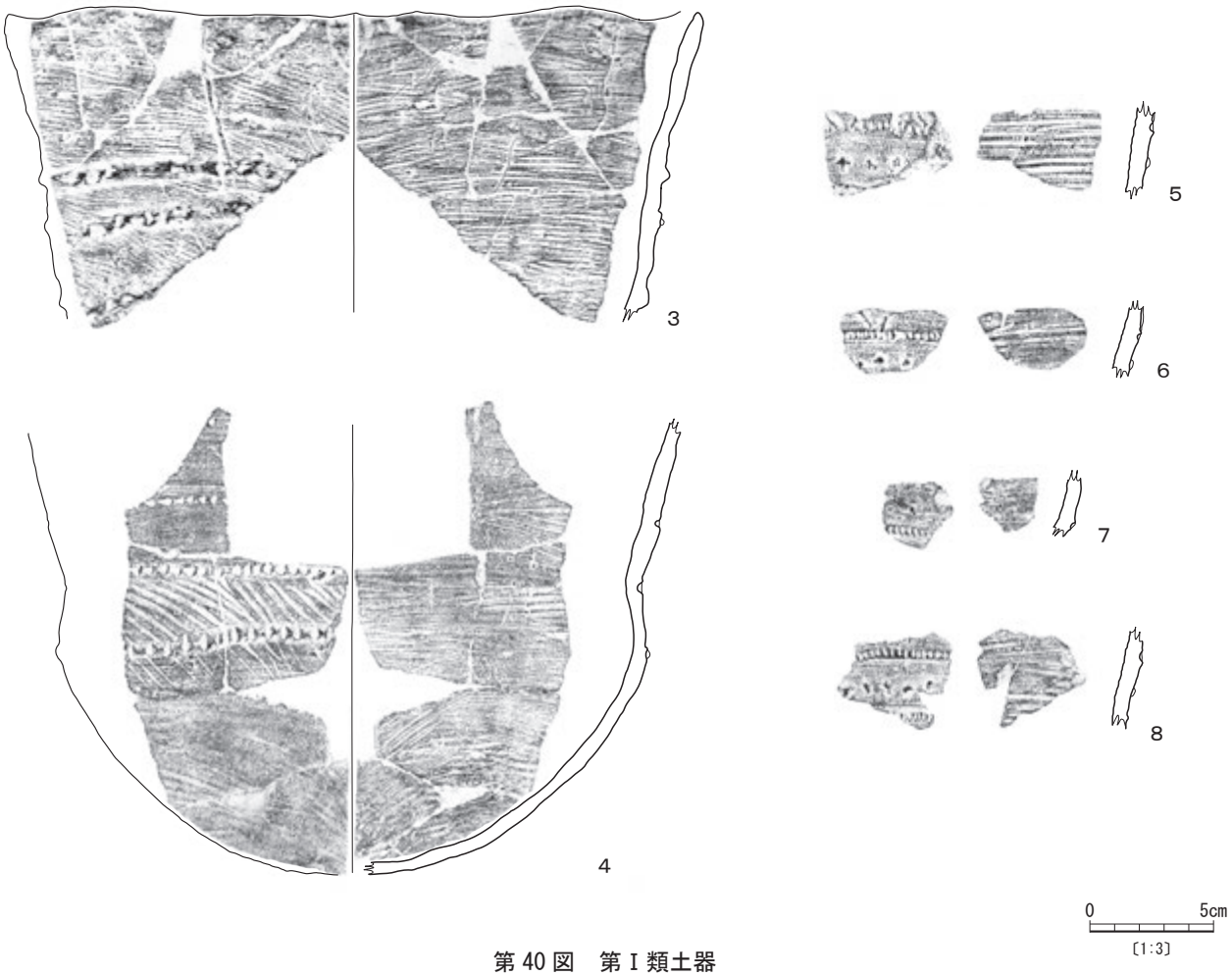
挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	層位	部位	法量			主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
								口径	底径	器高	外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
37	1	前期１	Ⅰ	深鉢	F32	Ⅲ	完形	33.2	－	25.5	刺突微隆突帯・沈線・貝殻条痕	貝殻条痕	○	◎		△	○			5YR5/6	明赤褐	7.5YR5/3	にぶい褐		－

第６表　土坑１号出土土器観察表

挿図番号	掲載番号	分類	器種	区	埋土	部位	主文様・調整		胎土						色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
39	2	Ⅱ	深鉢	D30	1	胴	刺突・貝殻条痕	貝殻条痕	△		△		△			2.5YR5/3	にぶい赤褐	2.5YR7/4	淡赤橙		－

第７表　土坑１号観察表

挿図番号	遺構番号	旧遺構番号	区	検出面	計測値（cm）			出土遺物	備考
					長径	短径	深さ		
39	前期１	P262	D30	Ⅲ	65	50	23	2	土器片９点出土



第 40 図　第Ⅰ類土器

3　遺物

第Ⅰ類・第Ⅱ類の包含層出土遺物の土器については，第８図～第 13 図の土器分類にしたがって記述する。既往の土器型式については一応当てているが，型式と必ずしも一致しないところもあり，そこは総括で述べている。土器の取上点数に関しても総括で記載している。前期～中期として分類した遺物は総数 59 点，掲載点数は 35 点である。

第Ⅰ類土器（第 40 図）

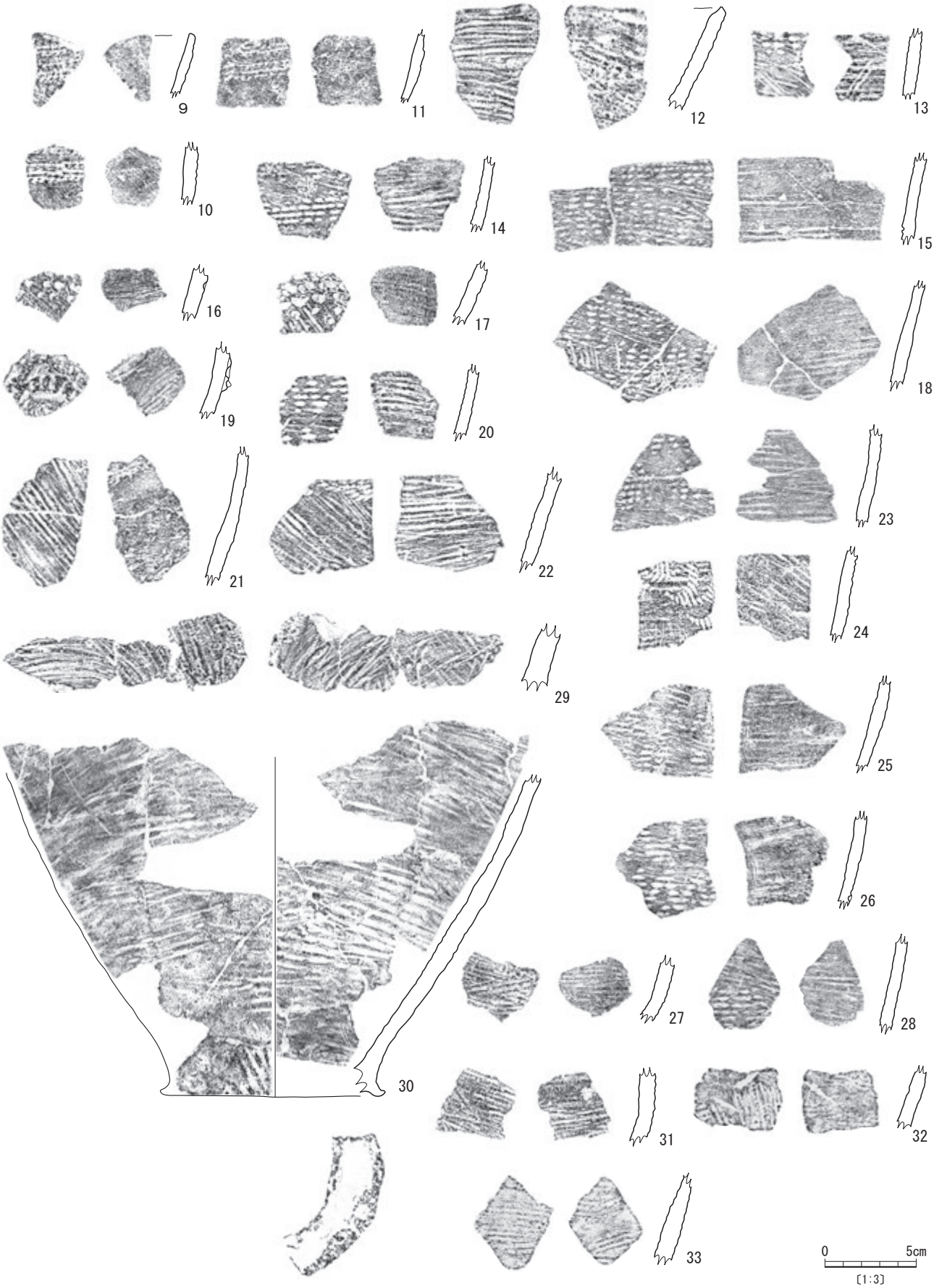
口縁が外開き気味に真っ直ぐ立ち上がり，胴部で屈曲する。器壁が薄手の土器で，内外に貝殻条痕を残して，微隆の貼付刻目突帯や連続刺突文や円形貼付文を横位に施す。埋設土器１号と同型式の一群である。

３は不安定な口縁で刻目突帯が３条確認できる。４は口縁部を欠くが，口縁部が外開きに立ち上がり，胴部が膨らみ丸底の底部へ至る器形である。連続刺突文と胴部に沈線文が施されている。５～８は同一個体と考えられるが，微隆突帯の上に連続刺突を施し，その間に円形の微隆起の貼付けを横位に行っている。

第Ⅱ類土器（第 41 図）

口縁部が外開きに立ち上がり，胴部でやや膨らみながら平底の底部に至る器形で，内外ともに貝殻条痕で調整され，貝殻腹縁の連続刺突文や相交孤文を施す。全体に薄く堅緻な土器である。

９は口縁部で，外面の横方向に連続刺突文が施される。10 と 11 は同一個体と考えられ，連続刺突文が施される。12 は口縁部で，内外面ともに貝殻条痕で調整され，外面に刺突文がみられる。13 ～ 16 は，横方向に平行に貝殻腹縁による連続刺突文を施す。胴部の上半部分と考えられる。17 は，貝殻条痕地に微隆の刻目突帯が施されている。18 ～ 24・26・27 は貝殻条痕地に相交孤文が施されるものである。25 は貝殻条痕による調整方向が乱れているが，胴部の中央部付近と考えられる。28 は胴部下半の大きな破片である。条痕が所々ナデで消えている。30 は外面にわずかに貝殻腹縁による刺突がうかがわれる。29･31 ～ 33 は内外面が貝殻条痕による調整のみのものである。


9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
0
5cm
[1:3]

第 41 図　第Ⅱ類土器

第８表　第Ⅰ類土器観察表

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	器種	区	層位	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
						外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
40	3	深鉢	D17	Ⅲ	口縁～胴	刻目突帯・貝殻条痕・	貝殻条痕	△		△		△			7.5YR5/3	にぶい褐	10YR7/4	にぶい黄橙	底径：(28.1)	30256他
	4	深鉢	C34	Ⅱc	頚～胴	刻目微隆突帯・沈線・連続刺突文・貝殻条痕・横ナデ	貝殻条痕	△		△		△	△		7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙		39577他
	5	深鉢	F34	Ⅱc	胴	刻目微隆突帯・円形浮文・横ナデ	貝殻条痕	△	△		◎	△			10YR4/2	灰黄褐	7.5YR4/3	褐		11207
	6	深鉢	F33	Ⅱb	胴	微隆突帯・刻目・円形浮文・横ナデ	貝殻条痕	△	△		◎	△			7.5YR4/2	灰褐	7.5YR5/3	にぶい褐	5～8は同一個体	一括
	7	深鉢	F34	Ⅱc	胴	刻目微隆突帯・円形浮文・横ナデ	横ナデ	△			○	○			7.5YR5/4	にぶい褐	5YR5/4	にぶい赤褐		11207
	8	深鉢	F34	Ⅱc	胴	刻目微隆突帯・円形浮文・横ナデ	貝殻条痕	○			◎	○	△		2.5YR4/2	灰赤	2.5YR4/3	にぶい赤褐		11206他

第９表　第Ⅱ類土器観察表

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	器種	区	層位	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
						外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
41	9	深鉢	C32	Ⅱa	口縁	摩滅（連続刺突文）	摩滅	○					△	褐色砂粒△	2.5Y8/3	淡黄	2.5Y8/3	淡黄		一括
	10	深鉢	C32	Ⅱa	胴	連続刺突文・縦ナデ	斜工具ナデ	○		△				褐色砂粒△	10YR8/4	浅黄橙	10YR8/4	浅黄橙	10・11は同一個体	一括
	11	深鉢	G33	撹乱	胴	摩滅（連続刺突文）	摩滅	○		△			△		10YR8/3	浅黄橙	10YR8/3	浅黄橙		一括
	12	深鉢	D33	Ⅱc	口縁～胴	刺突文・貝殻条痕	貝殻条痕	○			○	○			5YR4/2	灰褐	5YR5/4	にぶい赤褐		8244他
	13	深鉢	E30	Ⅱb	胴	貝殻連続刺突文・横ナデ・貝殻条痕	貝殻条痕	△		△					7.5YR4/2	灰褐	7.5YR5/4	にぶい褐		一括
	14	深鉢	D30	Ⅱc	胴	貝殻連続刺突文・貝殻条痕	貝殻条痕		△	△		△			5YR5/3	にぶい赤褐	7.5YR6/3	にぶい褐		6044
	15	深鉢	D30	Ⅱb・Ⅱc	胴	貝殻連続刺突文・貝殻条痕	貝殻条痕	△		△			△		5YR5/4	にぶい赤褐	5YR5/4	にぶい赤褐		6047他
	16	深鉢	F42	Ⅱb	胴	貝殻連続刺突文・貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕	△					△	褐色砂粒△	7.5YR5/4	にぶい褐	5YR5/6	明赤褐		一括
	17	深鉢	F42	Ⅱc	胴	相交弧文・刻目微隆突帯・貝殻連続刺突文・貝殻条痕	貝殻条痕	△	△			△	△	褐色砂粒○	2.5YR4/2	灰赤	2.5YR4/4	にぶい赤褐		2014
	18	深鉢	E30	Ⅱb	胴	相交弧文・貝殻連続刺突文・貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕	○	△	△				砂礫△	5YR5/4	にぶい赤褐	7.5YR6/3	にぶい褐		一括
	19	深鉢	F42	Ⅱc	口縁	相交弧文・刻目微隆突帯・斜ナデ	横ナデ・貝殻条痕	○	△	△			△	砂礫△	5YR4/4	にぶい赤褐	5YR4/6	赤褐		2013
	20	深鉢	D30	Ⅱc	胴	相交弧文・貝殻連続刺突文・貝殻条痕	貝殻条痕	△					△		5YR5/3	にぶい赤褐	7.5YR6/3	にぶい褐		4470
	21	深鉢	B22	Ⅱa・Ⅱb	胴	相交弧文・貝殻条痕・横ナデ	横ナデ	○		△			△		7.5YR3/3	暗褐	7.5YR4/6	褐		19295他
	22	深鉢	G22	Ⅱb	胴	相交弧文・押引文・貝殻条痕	貝殻条痕	△	△	△			△		7.5YR4/6	褐	7.5YR4/4	褐		2256
	23	深鉢	E30	Ⅱb	胴	相交弧文・貝殻連続刺突文・貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕						△		10YR4/2	灰黄褐	7.5YR5/4	にぶい褐		一括
	24	深鉢	H22	Ⅱb	胴	相交弧文・押引文・斜ナデ・貝殻条痕	斜ナデ・貝殻条痕	△		△			△		5YR5/6	明赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐		22564
	25	深鉢	D30	Ⅱc	胴	貝殻連続刺突文・貝殻条痕	横ナデ	△					△		5YR5/2	灰褐	7.5YR6/4	にぶい橙		6046
	26	深鉢	C34	撹乱	胴	相交弧文・貝殻連続刺突文・横ナデ・貝殻条痕	横ナデ	△		△			△		2.5YR5/3	にぶい赤褐	2.5YR5/3	にぶい赤褐		一括
	27	深鉢	F42	Ⅱb	胴	相交弧文・貝殻条痕	貝殻条痕	△					△	褐色砂粒△	5YR4/6	赤褐	5YR4/6	赤褐		2665
	28	深鉢	D30	Ⅱc	胴	貝殻連続刺突文・貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕	△					△	黒色砂粒△	7.5YR5/4	にぶい褐	7.5YR5/4	にぶい褐		4478
	29	深鉢	G30.29	Ⅱb	胴	貝殻条痕	貝殻条痕	○	△			△	△		5YR5/8	明赤褐	5YR5/6	明赤褐		10899他
	30	深鉢	H32.33	Ⅱb	胴～底	刺突・貝殻条痕・縦ナデ	横ナデ・貝殻条痕						△		5YR3/3	暗赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐	底径：(11.8)	9415他
	31	深鉢	F45	Ⅱb	胴	貝殻条痕	貝殻条痕	○	△		○				5YR3/1	黒褐	5YR4/3	にぶい赤褐		1726
	32	深鉢	F43	Ⅱb	胴	貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕	△					△	褐色砂粒○	5YR6/6	橙	10YR7/4	にぶい黄橙		1215
	33	深鉢	G45	Ⅱb	胴	貝殻条痕	横ナデ・貝殻条痕	△					△	褐色砂粒○	5YR6/3	にぶい橙	5YR6/4	にぶい橙		3935

第２節　縄文時代後期～晩期の調査成果

１　調査の概要

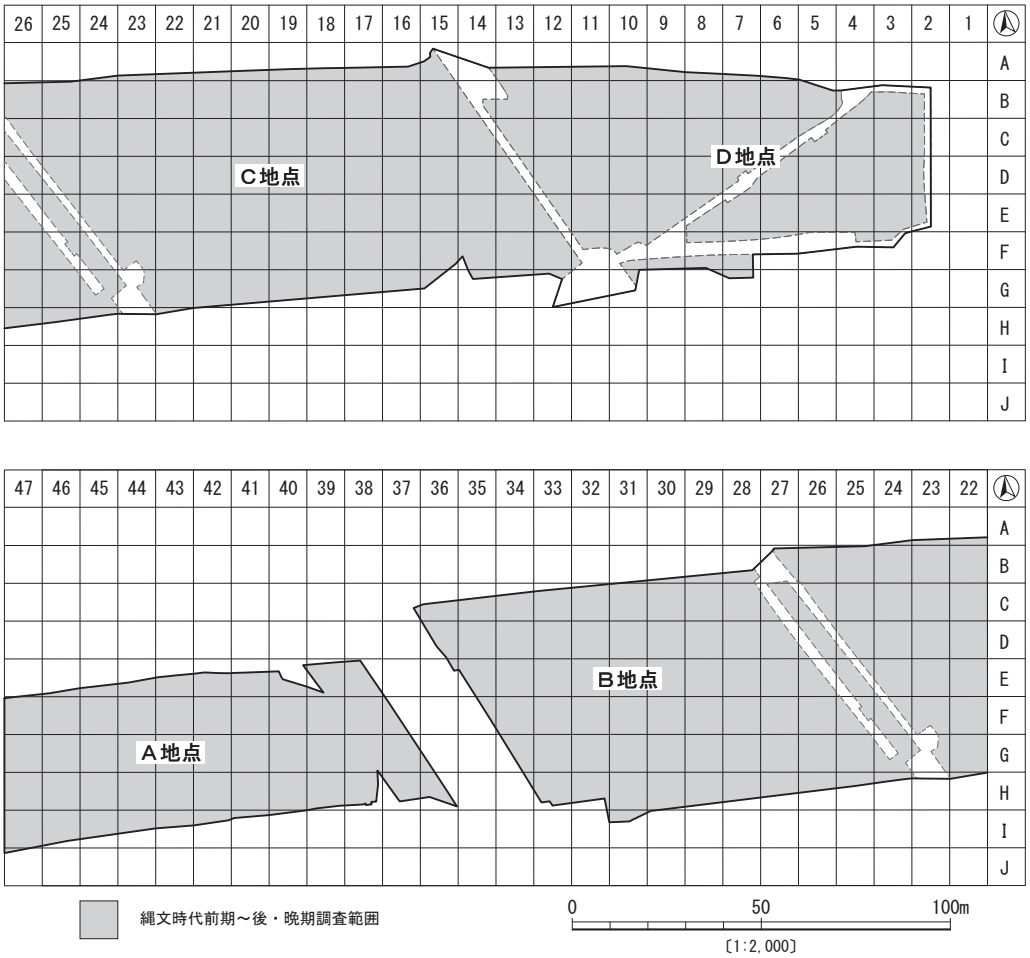
縄文時代後期～晩期の調査対象となる層はⅡ（ａ～ｃ）層である。Ⅱ層はａ～ｃの３つに分層され，当初Ⅱａ層は弥生時代に該当する層と認識していたが，整理作業を行うにあたりⅡａ層検出であっても縄文時代後期～晩期に相当する遺構が多数存在することから，Ⅱａ層は縄文時代後期～晩期と弥生時代の混在する層であることが明らかになった。

遺構の検出は主にⅢ層上面で行い，その結果，掘立柱建物跡 21 棟，貯蔵穴１基，土坑 285 基，石器集積２基，石器集中部 25 か所，土器集中部 15 か所，落とし穴 13 基，埋設土器 12 基，埋納遺構１基，ピットが 2511 基検出された。

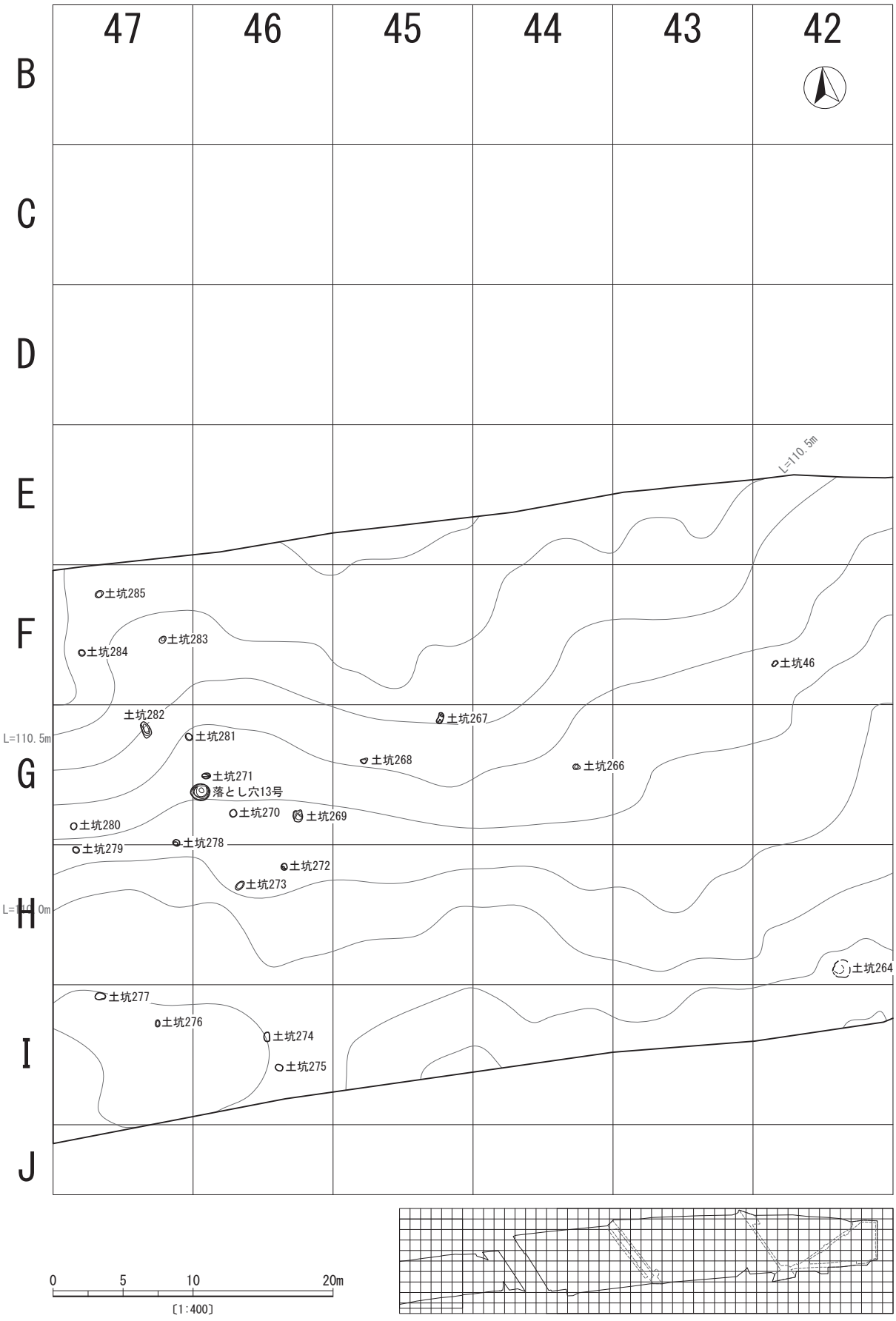
土坑に関しては，Ⅱａ～ｃ，Ⅲ層それぞれで検出されており，遺物出土のない土坑は検出層だけでは時期を判断できず，遺物が出土している土坑を中心に縄文時代後期～晩期該当の土坑として報告する。これ以外は時期不明の土坑としてまとめて報告する。ただし，すべての土坑について記載していない。個別の第 15 ～ 18 表の計測表を参照していただきたい。

次にピットに関しては，土坑と同様，検出層や遺物の出土状況等を考慮し時期認定ができたもの，もしくは可能性があるものだけを縄文時代後期～晩期該当のピットとして報告する。これ以外のピットは個別図を掲載せず，表で報告する。掲載ピットの旧番号は第 57 表の遺構新旧対応表を参照していただきたい。さらに，個別のピットについては第 36 ～ 56 表のピット計測表を参照していただきたい。

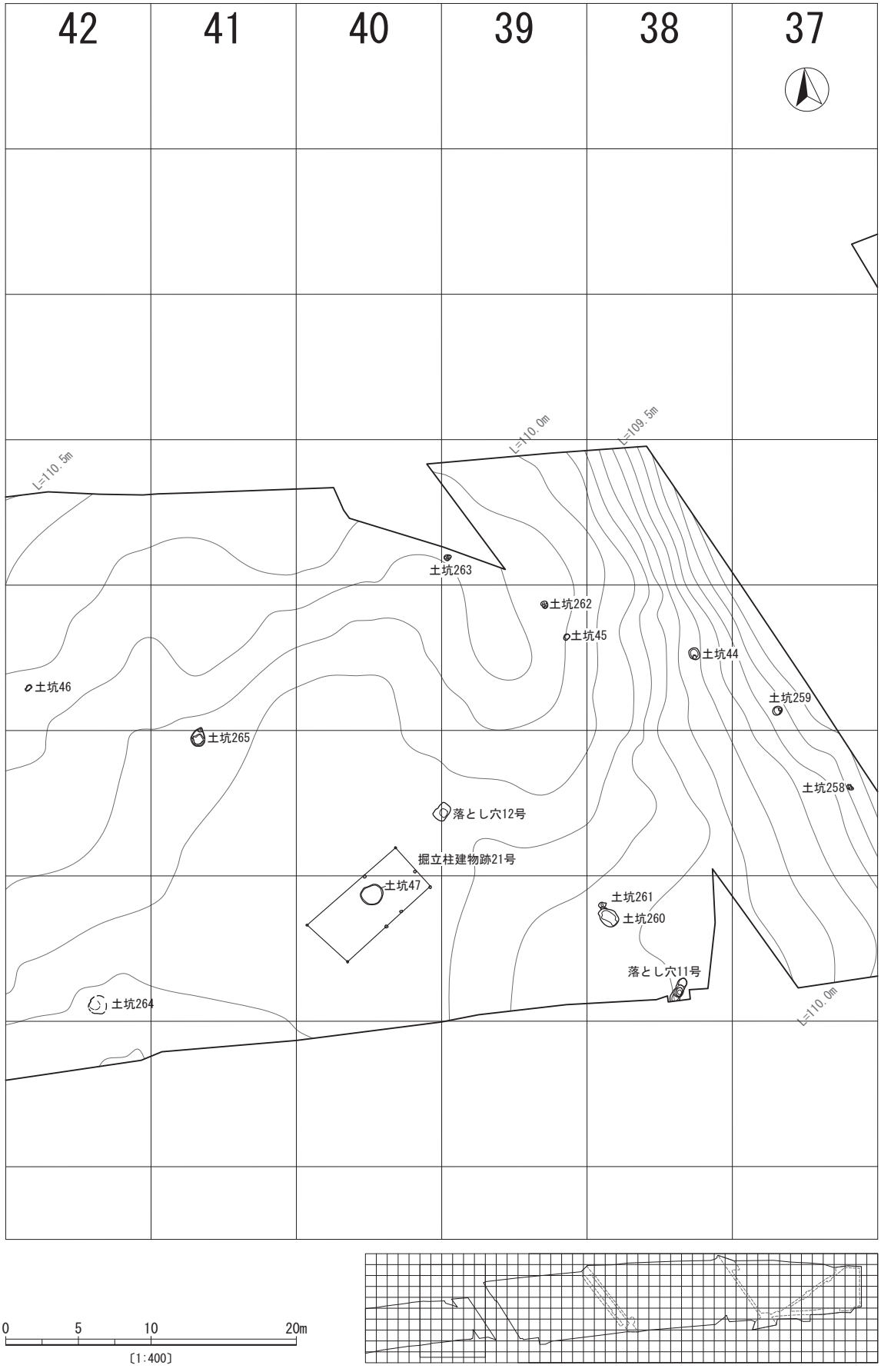
土器は西平式系土器を主体に，第Ⅳ類土器，第Ⅴ類土器，第Ⅻ類土器，そして多くの第Ⅹ類土器が出土した。また石器は剥片，打製石斧，磨石，磨敲石，石皿が多量に出土した。ただし，石器は時代毎や層毎の分類は行っていない。（第Ⅲ章第４節出土遺物の分類について参照）



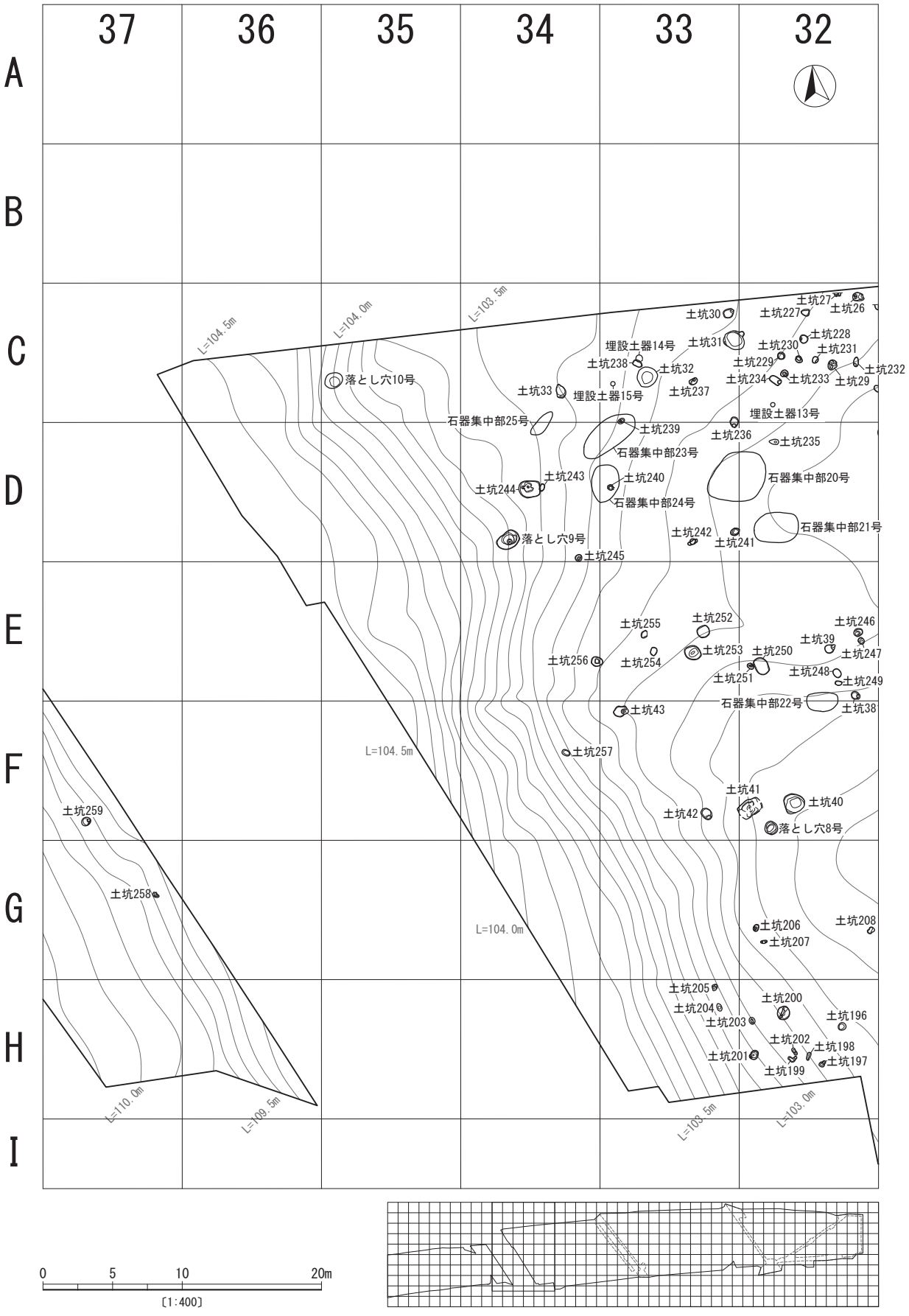
第42図　牧山遺跡　縄文時代後期～晩期の調査範囲（上Ｃ・Ｄ地点，下Ａ・Ｂ地点）



第 43 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（１）



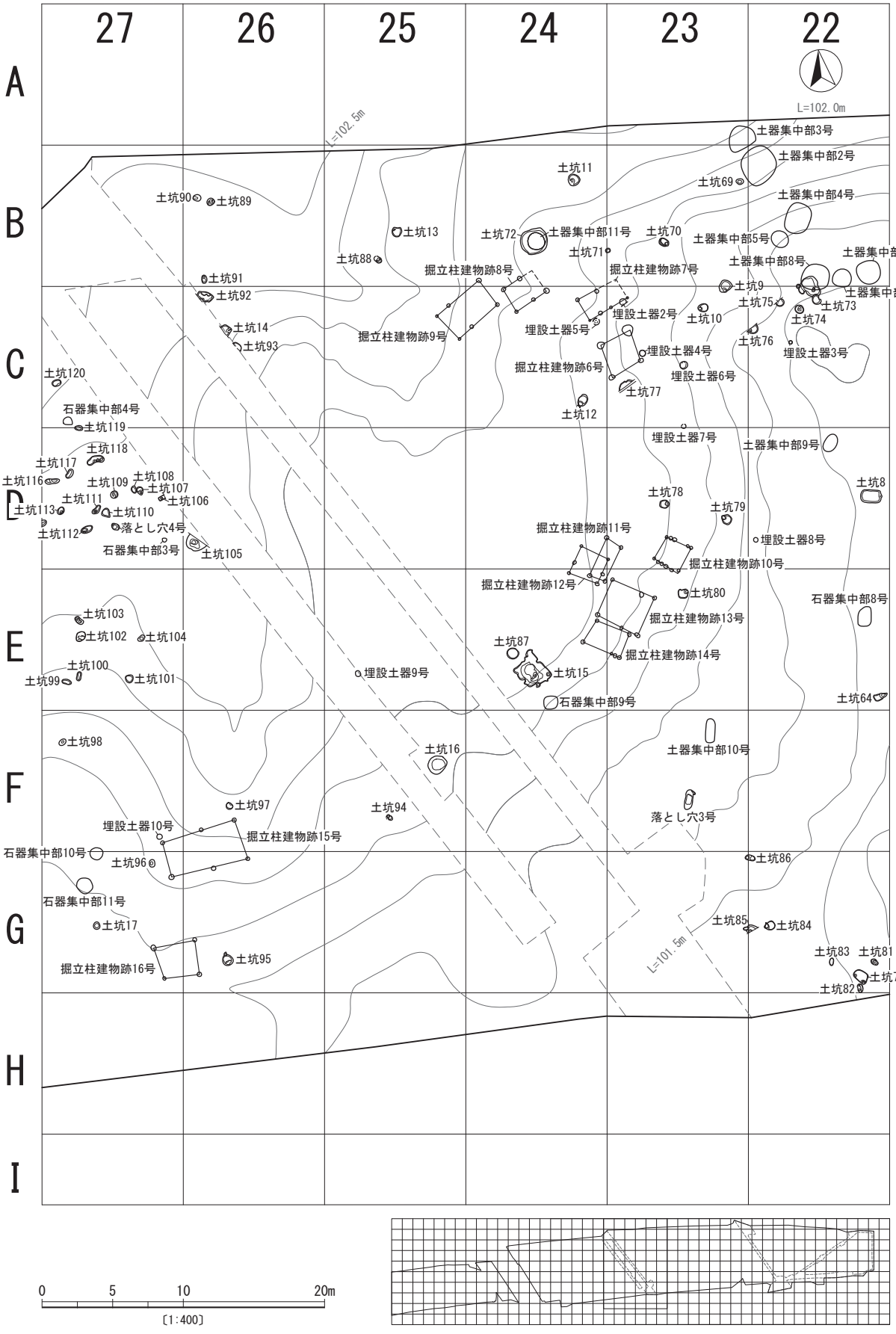
第 44 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（２）



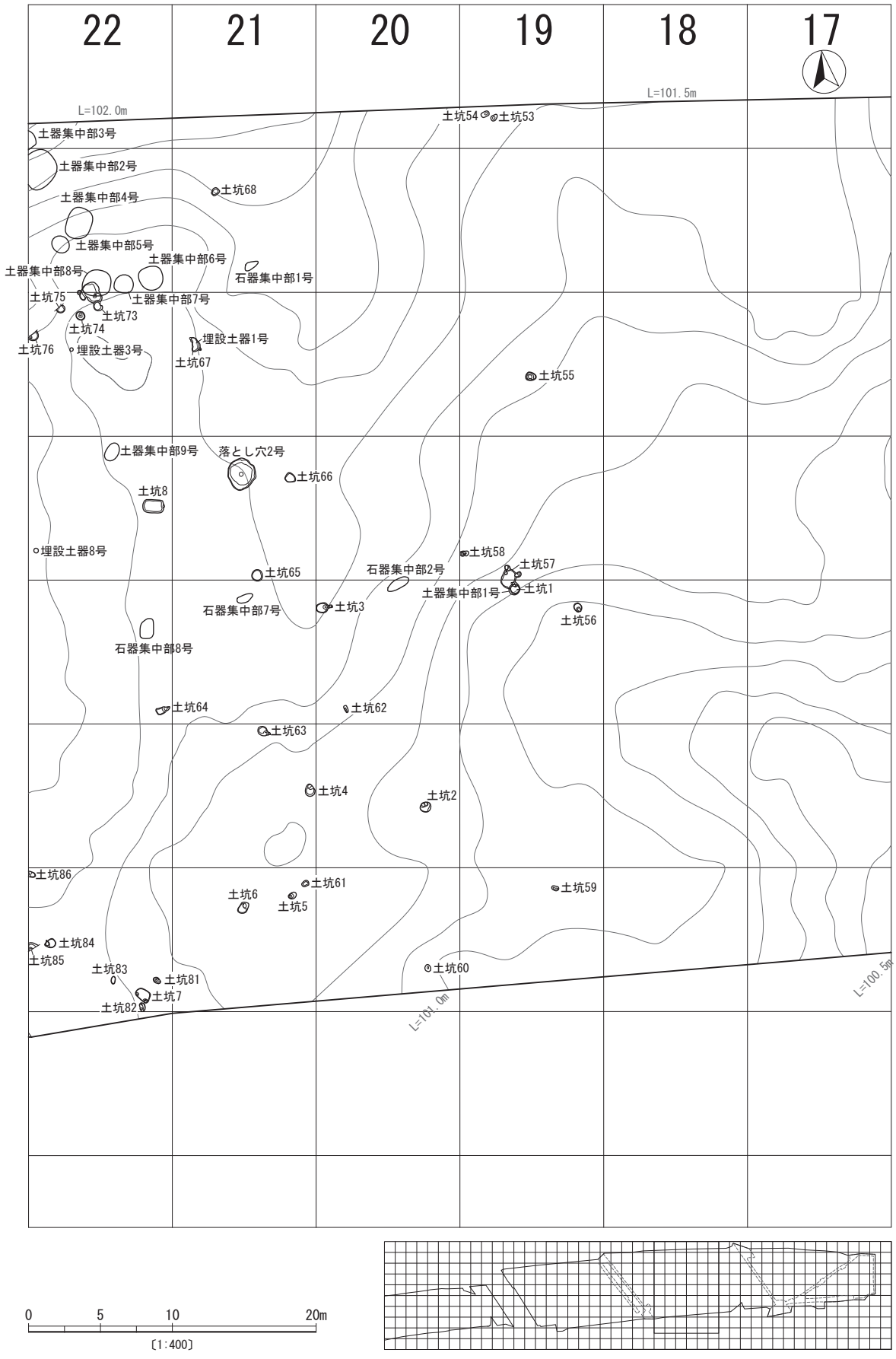
第 45 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（３）



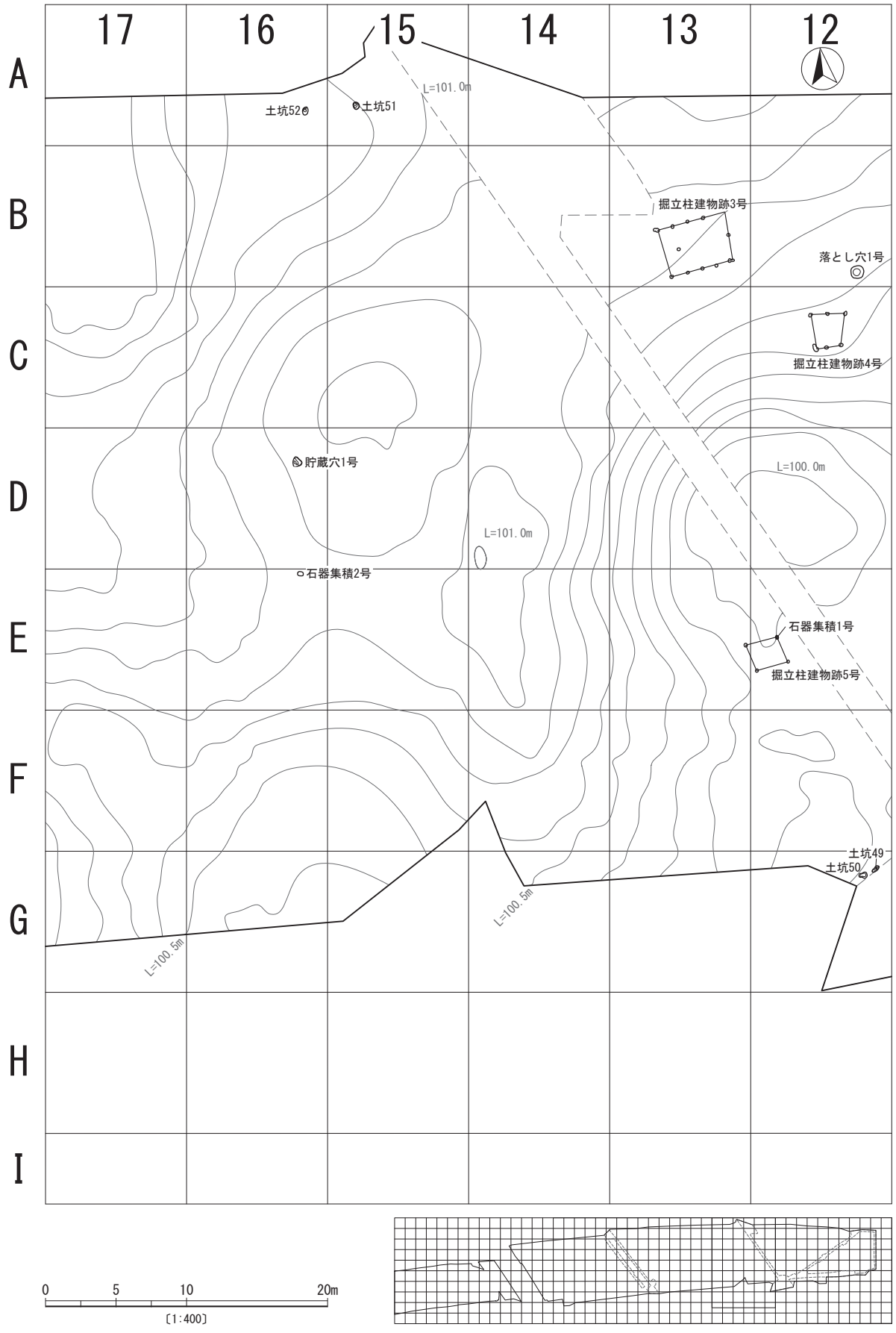
第 46 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（４）



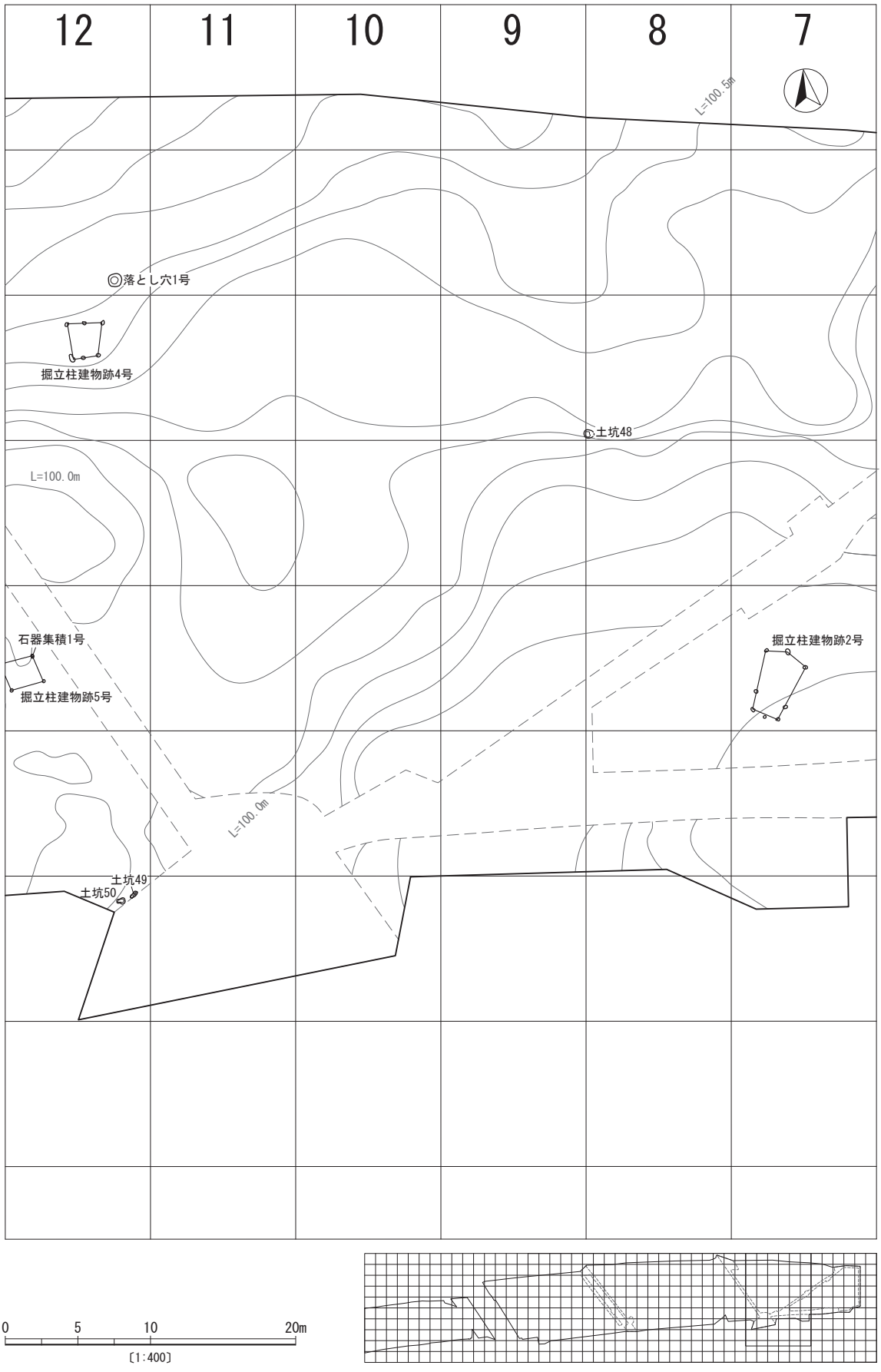
第 47 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（５）



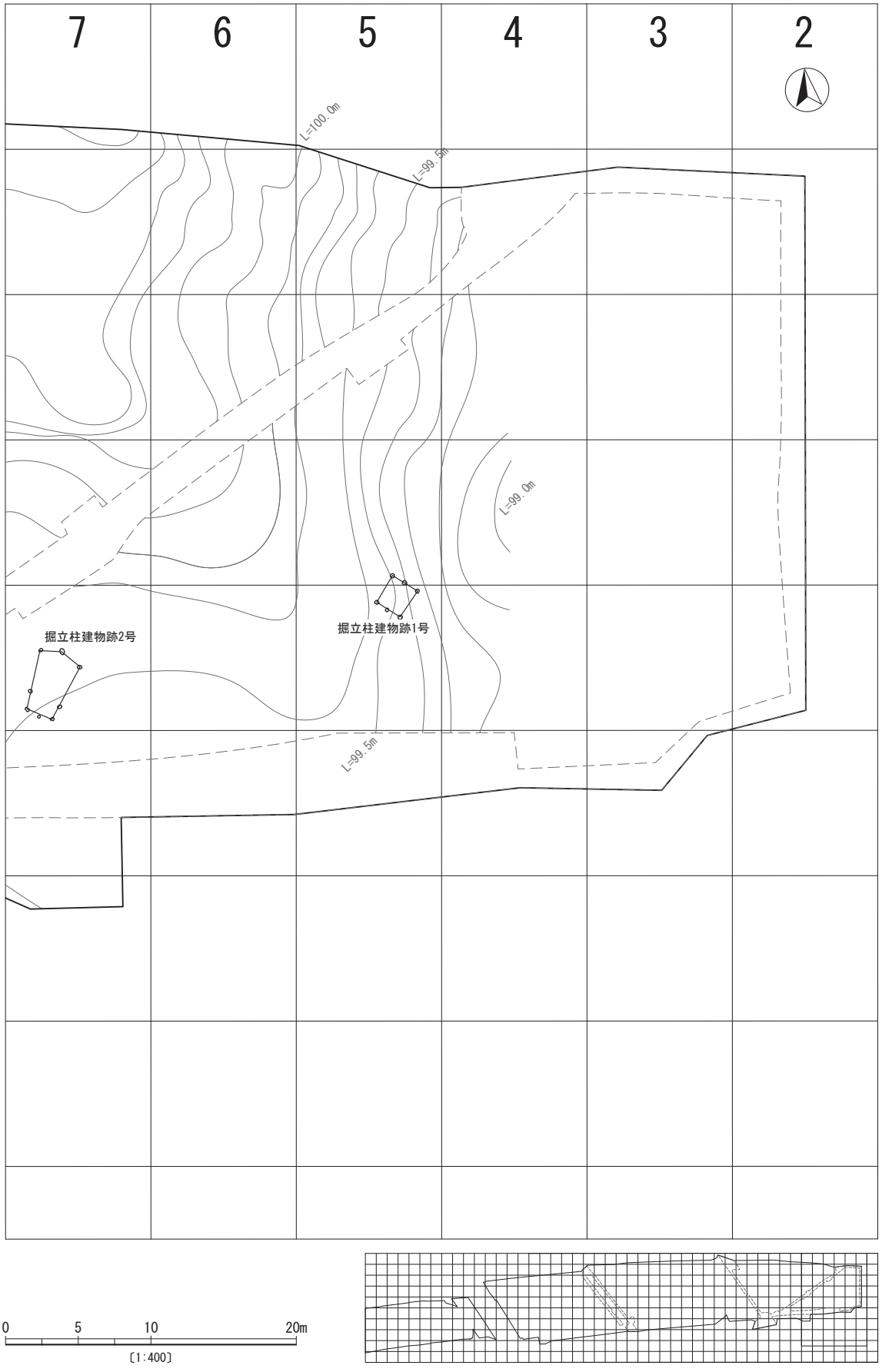
第 48 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（６）



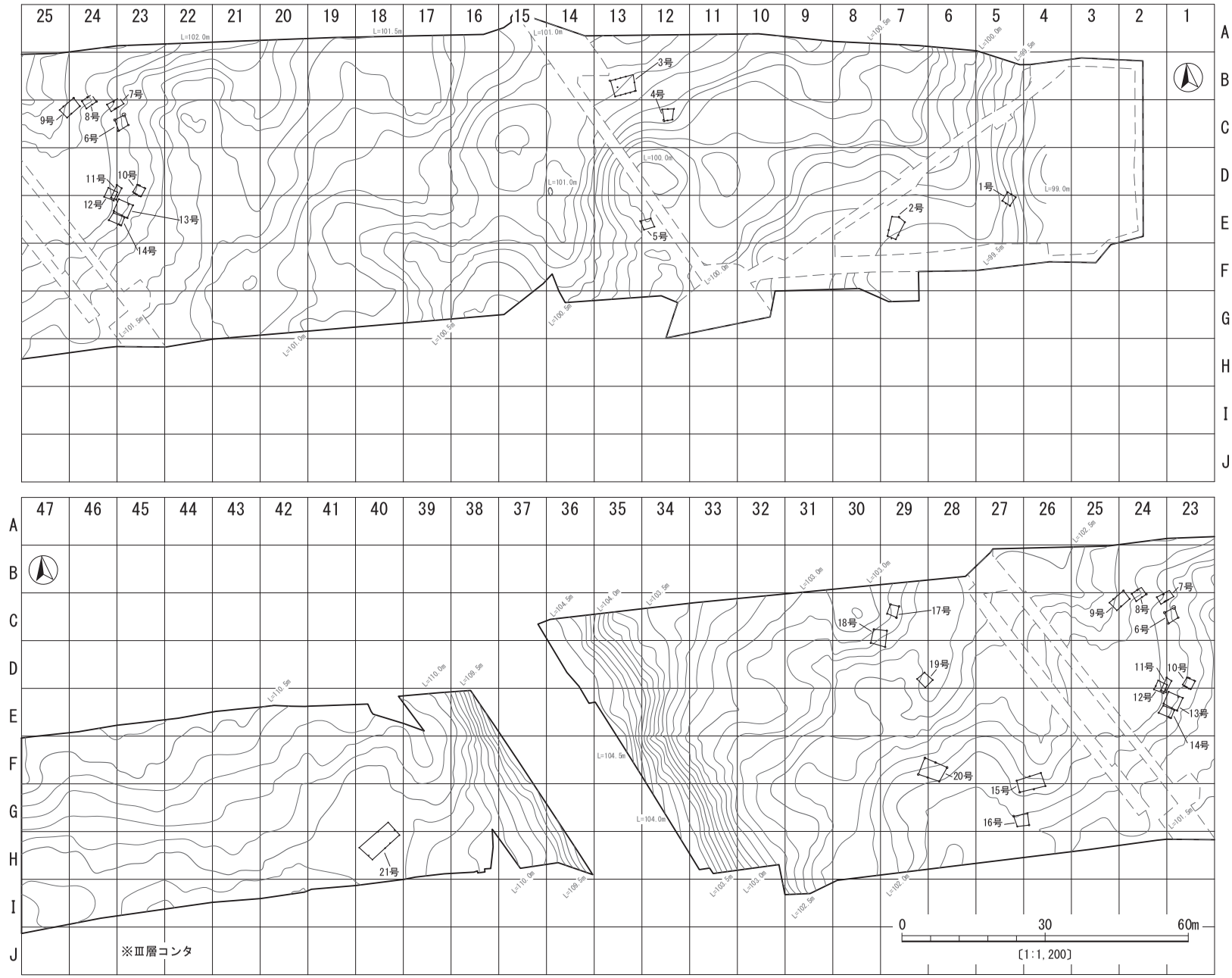
第 49 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（７）



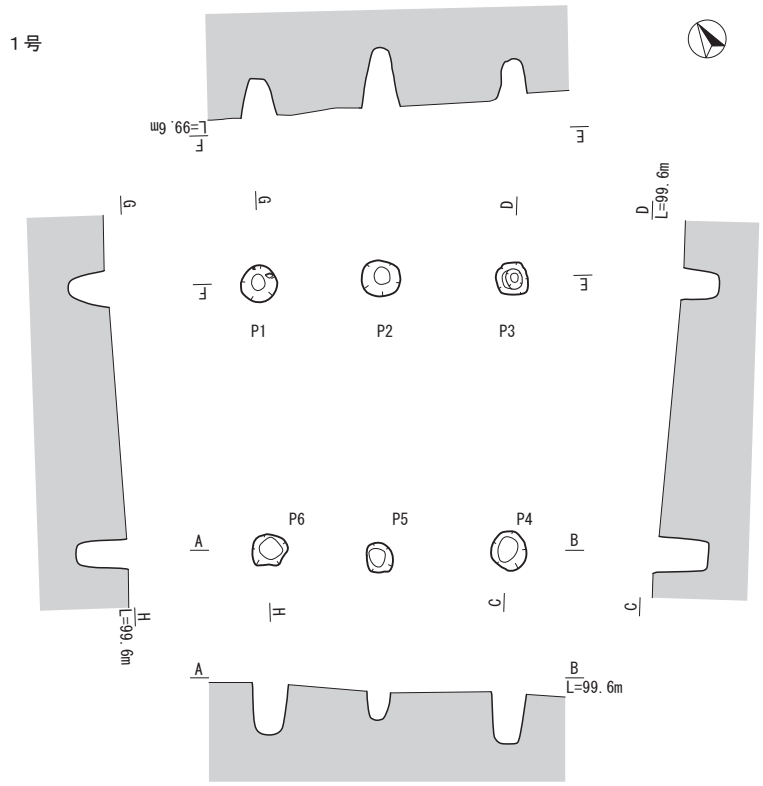
第 50 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（８）



第 51 図　縄文時代後期～晩期　遺構配置図（９）

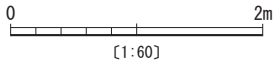


第52図　掘立柱建物跡配置図



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	29	29	30	P1-3	203
P2	31	29	47	P1-2	99
P3	28	21	29	P2-3	104
P4	31	28	42	P3-4	217
P5	26	22	23	P4-6	189
P6	28	26	40	P4-5	102
				P5-6	87
				P6-1	212

掘立柱建物跡１号埋土状況
P1～P6　7.5YR1.7/1　黒色　しまり有り。粘性やや有り。
径1～3㎜大のアカホヤを少量含む。



第 53 図　掘立柱建物跡１号

２　遺構

（１）掘立柱建物跡（第 52 図～第 69 図）

ア　検出状況

掘立柱建物跡はＡ地点１棟，Ｂ地点６棟，Ｃ地点 10 棟，Ｄ地点４棟の合計 21 棟検出された。遺構からの土器の出土状況や周辺の遺物出土状況，遺構配置状況等から判断し，縄文時代後期～晩期該当の掘立柱建物跡として報告する。

イ　各掘立柱建物跡の状況

掘立柱建物跡１号（第 53 図）

Ｄ地点，Ｄ・Ｅ－５区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２間×１間で，桁行が 215cm，梁行が 195cm である。平面形は東西にやや長いほぼ正方形を呈し，柱穴は整然と並んでいる。主軸方向はＮ－ 32°－Ｅである。柱穴は楕円形及び不定形で，径は 30cm 前後，深さは 17 ～ 47cm と一定ではない。埋土はすべて黒色土である。Ｐ１から型式不明の無文の胴部片が２点出土している。

掘立柱建物跡２号（第 54 図）

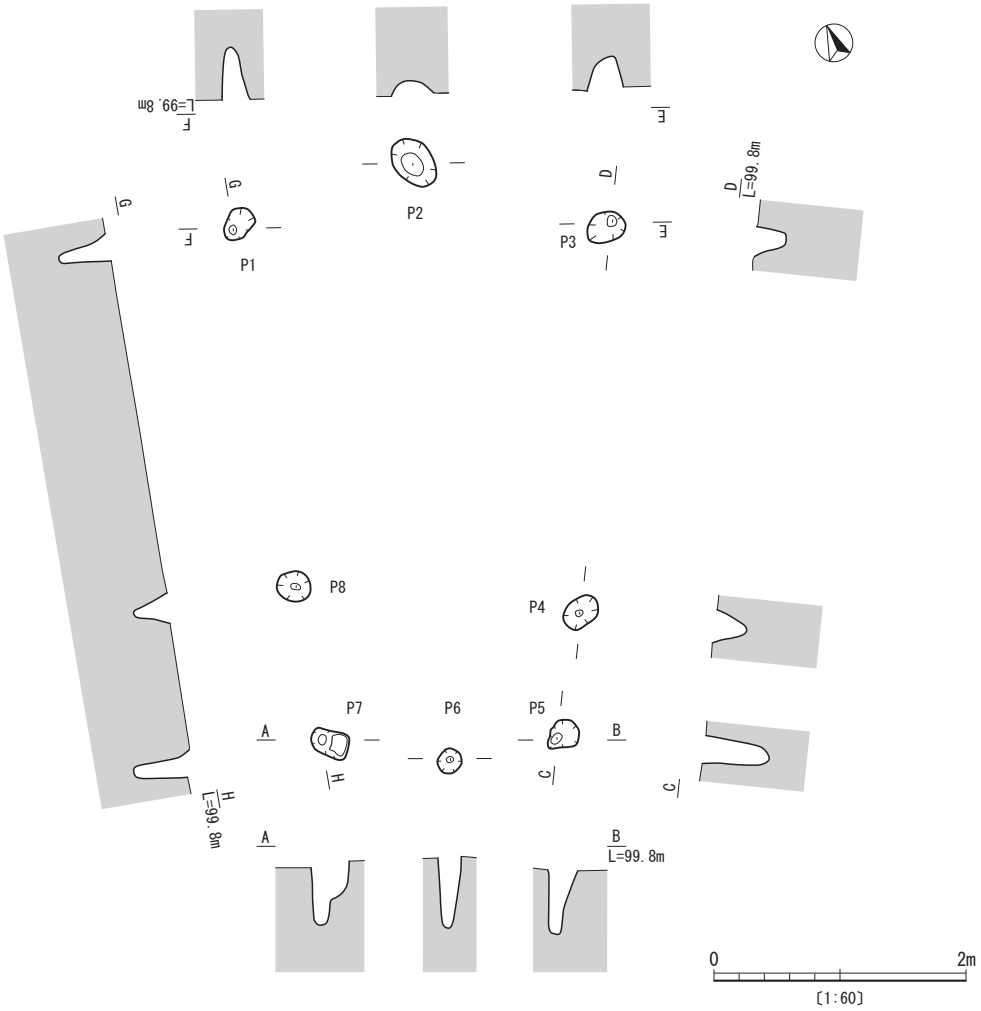
Ｄ地点，Ｅ－７区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２間×２間で，桁行は 412 ㎝，梁行は北側が 299 ㎝，南側が 187 ㎝と，南側が窄まる亀甲状を呈している。柱穴は比較的整然と並んでおり，桁行の柱穴はほぼ左右対称となっている。主軸方向はＮ－ 19°－Ｅである。柱穴は楕円形及び不定形で，径は 20 ～ 40cm，深さは 10 ～ 50 ㎝と一定ではない。埋土はすべてしまりの弱い黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡３号（第 55 図）

Ｄ地点，Ｂ－ 13 区，Ⅲ層で検出された。北東側は側溝により調査できず不明であるが，建物規模は４間×２～３間で，桁行 450cm，梁行 340 ㎝の長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 75°－Ｅである。桁行の柱穴は整然と並んでおり，柱穴間の距離は 110cm 前後である。柱穴は円形及び楕円形で，径 22 ～ 28cm，深さ６～ 30cm となっており，埋土はしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡４号（第 56 図）

Ｄ地点，Ｃ－ 12 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２間×１間で，南側のＰ４－Ｐ６間が 174cm と短い他は，一辺が 240cm 前後で歪な台形状を呈している。主軸方向



掘立柱建物跡２号埋土状況

P1・P3・P4・P6～P8	10YR1.7/1	黒色	しまり弱い。粘性無し。 径1～3mm大のアカホヤを少量含む。
P2・P5	10YR1.7/1	黒色	しまり弱い。粘性無し。 池田降下軽石を少量含む。

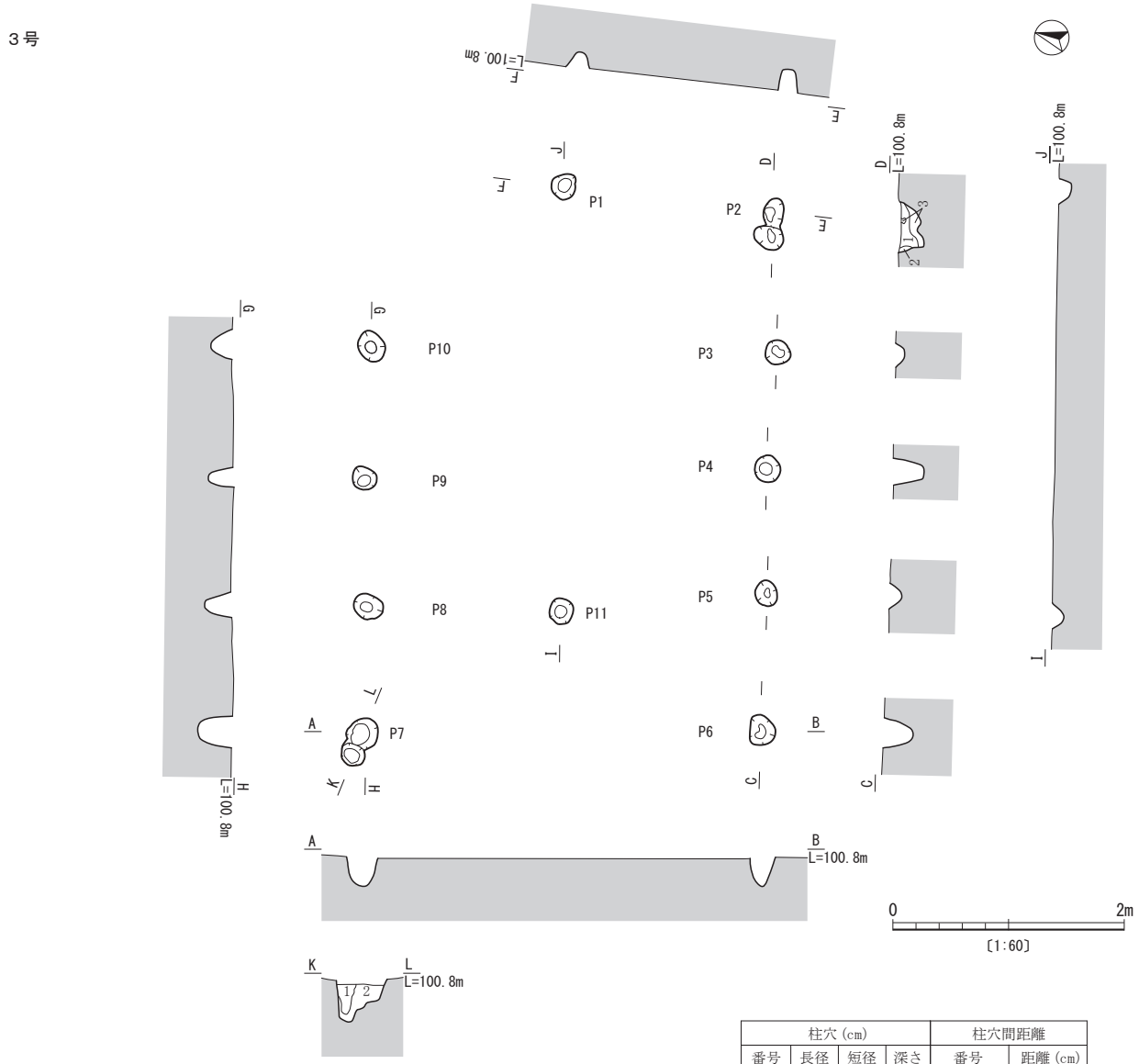
柱穴（cm）				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離（cm）
P1	26	18	42	P1-3	299
P2	42	30	10	P1-2	152
P3	32	28	24	P2-3	165
P4	28	22	25	P3-5	412
P5	28	24	52	P3-4	312
P6	20	18	56	P4-5	101
P7	30	18	44	P5-7	187
P8	26	24	28	P5-6	86
				P6-7	103
				P7-1	412
				P7-8	123
				P8-1	287

第 54 図　掘立柱建物跡２号

はＮ－２°－Ｗである。柱穴は，長楕円形に近い不定形で，径は 30cm 前後，深さは 30 ～ 60cm 程と一定ではないが，比較的深い柱穴で構成されている。埋土はすべてしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡５号（第 56 図）

Ｃ地点，Ｅ－ 12・13 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，桁行が 230cm，梁行が 190cm と東西にやや長い長方形を呈している。主軸方向はＮ－



掘立柱建物跡３号埋土状況
P1・P3～P6・P8～P11
10YR1.7/1　黒色　しまり弱い。粘性無し。径1～3㎜大のアカホヤを少量含む。
P2　1　10YR1.7/1　黒色　しまり弱い。粘性無し。径1～3㎜大のアカホヤを少量含む。
2　10YR1.7/1　黒色　しまり弱い。粘性無し。径2～3㎜大のアカホヤを多量含む。
3　10YR1.4/3　にぶい黄褐色　しまり弱い。粘性無し。径1～3㎜大のアカホヤを少量含む。
P7　1　10YR1.7/1　黒色　しまり弱い。粘性無し。径1～3㎜大のアカホヤを少量含む。
2　10YR1.7/1　黒色　しまり弱い。粘性無し。径1～30㎜大のアカホヤブロックを多量含む。

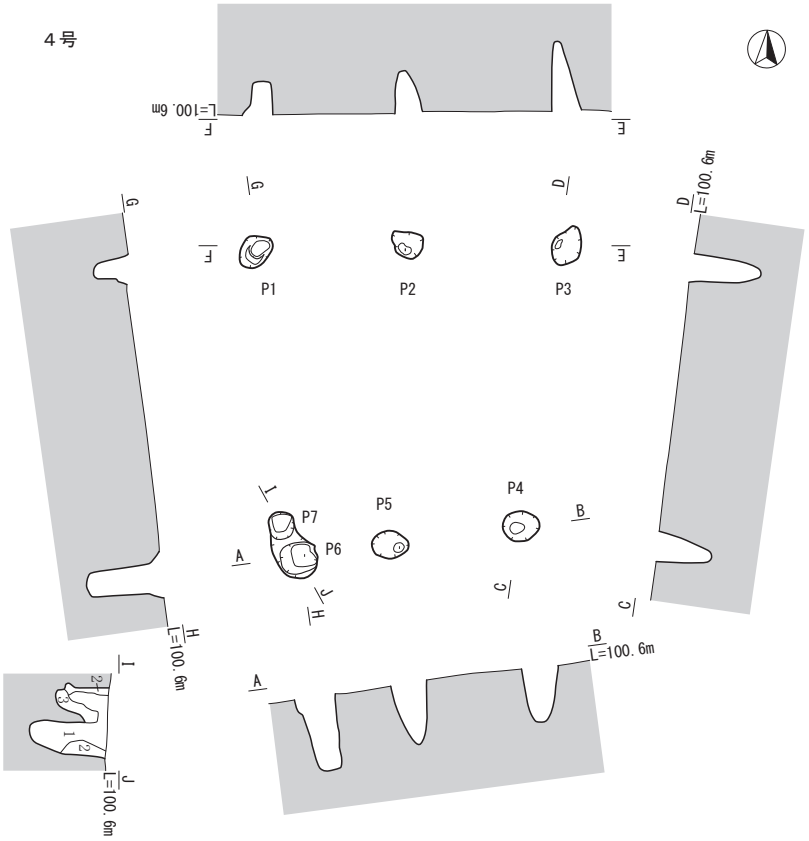
柱穴（cm）				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離（cm）
P1	24	22	10	P1-2	182
P2	24	18	16	P2-6	450
P3	22	22	6	P2-3	119
P4	22	22	26	P3-4	101
P5	22	20	12	P4-5	108
P6	28	26	24	P5-6	120
P7	26	20	30	P6-7	341
P8	26	22	22	P7-10	333
P9	24	22	22	P7-8	110
P10	28	26	20	P8-9	109
P11	22	22	10	P9-10	116
				P1-11	368

第 55 図　掘立柱建物跡３号

90°－Ｅである。柱穴は楕円形で，径は 25cm 前後と均一であり，深さは北側の柱穴が 34cm，58cm とやや深く南側が約 10cm と浅い。埋土はしまりのある黒褐色土でアカホヤブロック混じりである。Ｐ３から礫が１点，Ｐ４から 34 が出土している。

34 は口縁部が屈曲して立ち上がらず，口縁端部に狭い平坦面をもつ。沈線や刺突はみられない。口縁部の外反は緩いと思われる。胎土に金雲母を多く含み，滑石も含む。摩滅もあり不明瞭なところも多いが，ヘラミガキされているもののやや粗い調整である。無文土器第Ｘ-c 類と考えられる。

４号

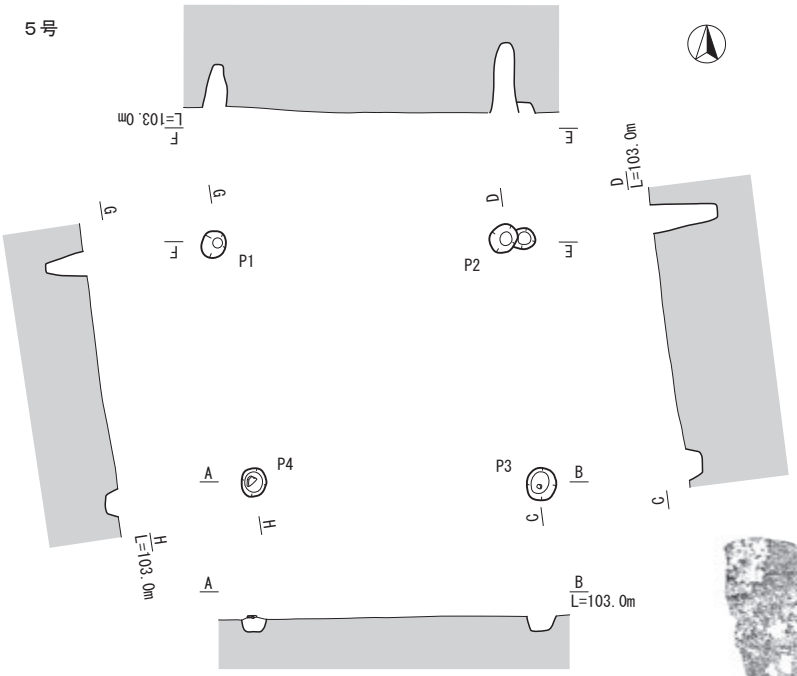


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	30	22	26	P1-3	240
P2	28	22	32	P1-2	115
P3	34	24	56	P2-3	122
P4	28	24	44	P3-4	226
P5	30	22	50	P4-6	174
P6	32	32	62	P4-5	95
P7	22	20	42	P5-6	76
				P6-1	249

掘立柱建物跡４号埋土状況
P1～P6　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
径2～20㎜大のアカホヤを少量含む。
P7　1　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
径2～30㎜大のアカホヤを少量含む。
2　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
径2～20㎜大のアカホヤを多量含む。
3　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
径5～50㎜大の橙色ブロックを多量含む。

0　2m
〔1:60〕

５号



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	22	20	34	P1-2	230
P2	24	20	58	P2-3	192
P3	26	26	12	P3-4	225
P4	22	20	10	P4-1	193

掘立柱建物跡５号埋土状況
P1～P3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。やや粘性有り。
アカホヤブロック混じり。
P4　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。やや粘性有り。
池田軽石・アカホヤブロック混じり。

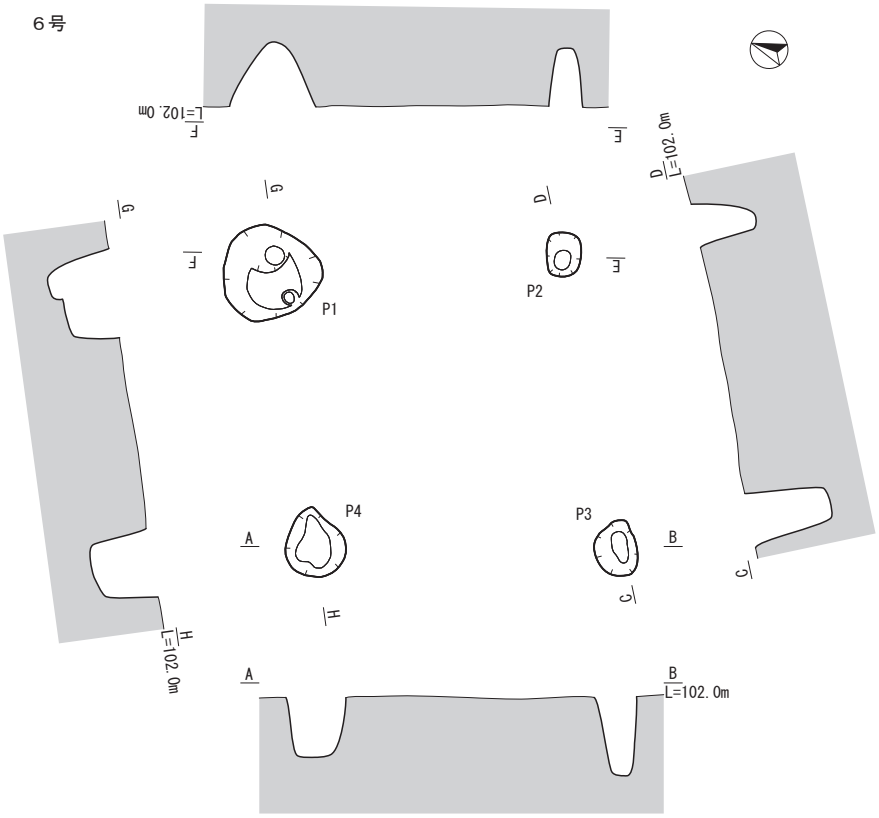


0　2m
〔1:60〕

0　5cm
〔1:3〕

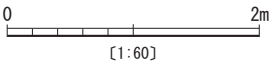
第 56 図　掘立柱建物跡４・５号

６号

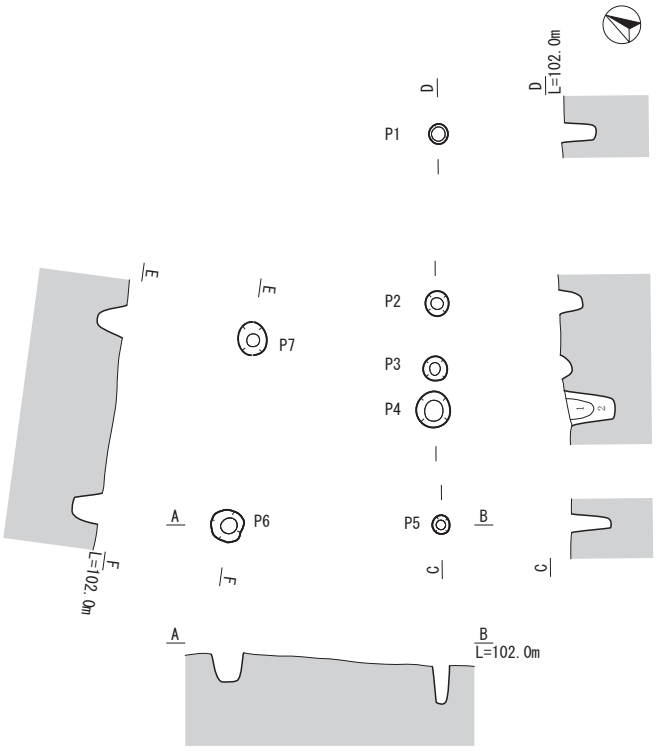


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	81	80	51	P1-2	228
P2	36	28	48	P2-3	235
P3	44	36	65	P3-4	245
P4	56	48	46	P4-1	235

掘立柱建物跡６号埋土状況
P1　　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
　　径1～2mm大のアカホヤを少量含む。
P2～4　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

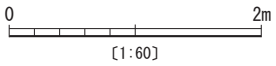


７号

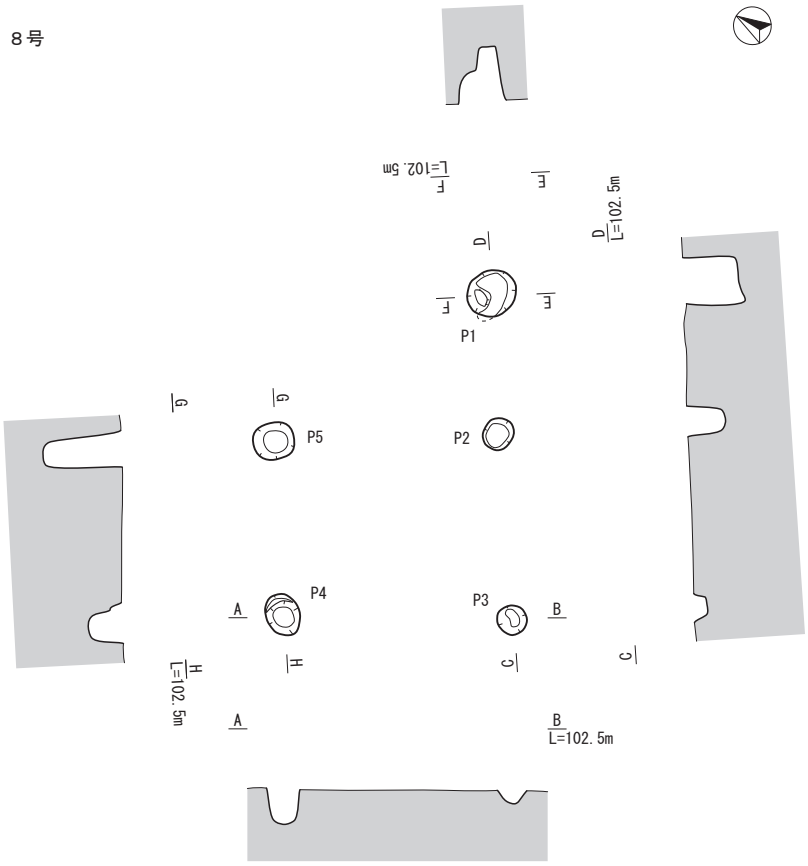


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	16	16	26	P1-5	311
P2	20	18	18	P1-2	135
P3	20	20	8	P2-3	51
P4	28	26	38	P3-4	35
P5	14	14	30	P4-5	91
P6	26	26	22	P5-6	170
P7	24	24	22	P6-7	147

掘立柱建物跡７号埋土状況
P1・P5・P6　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性無し。
P2・P3・P7　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
P4　1　　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性無し。柱痕か。
　　2　　1層にアカホヤが多く混入する。しまり弱い。



第 57 図　掘立柱建物跡６・７号



柱穴（cm）				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	
P1	42	36	46	P1-3	256
P2	28	24	30	P1-2	114
P3	24	22	12	P2-3	146
P4	36	26	28	P3-4	182
P5	31	29	61	P4-5	140

掘立柱建物跡８号埋土状況
P1～P5　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
P6　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

0　2m
〔1:60〕

第 58 図　掘立柱建物跡８号

掘立柱建物跡６号（第 57 図）

Ｃ地点，Ｃ－ 23・24 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，一辺が 240cm の歪な正方形を呈する。主軸方向はＮ－ 62°－Ｅである。柱穴は不定形で，径は 36 ～ 81cm，深さ 46 ～ 65cm と様々であるが，比較的深い柱穴で構成されている。Ｐ１は，円形の大きな土坑の東側に径 40cm 程の柱穴があるが，他遺構との重複か不明である。埋土はしまりのない黒色土である。Ｐ１から西平式系の無文の胴部が出土している。

掘立柱建物跡７号（第 57 図）

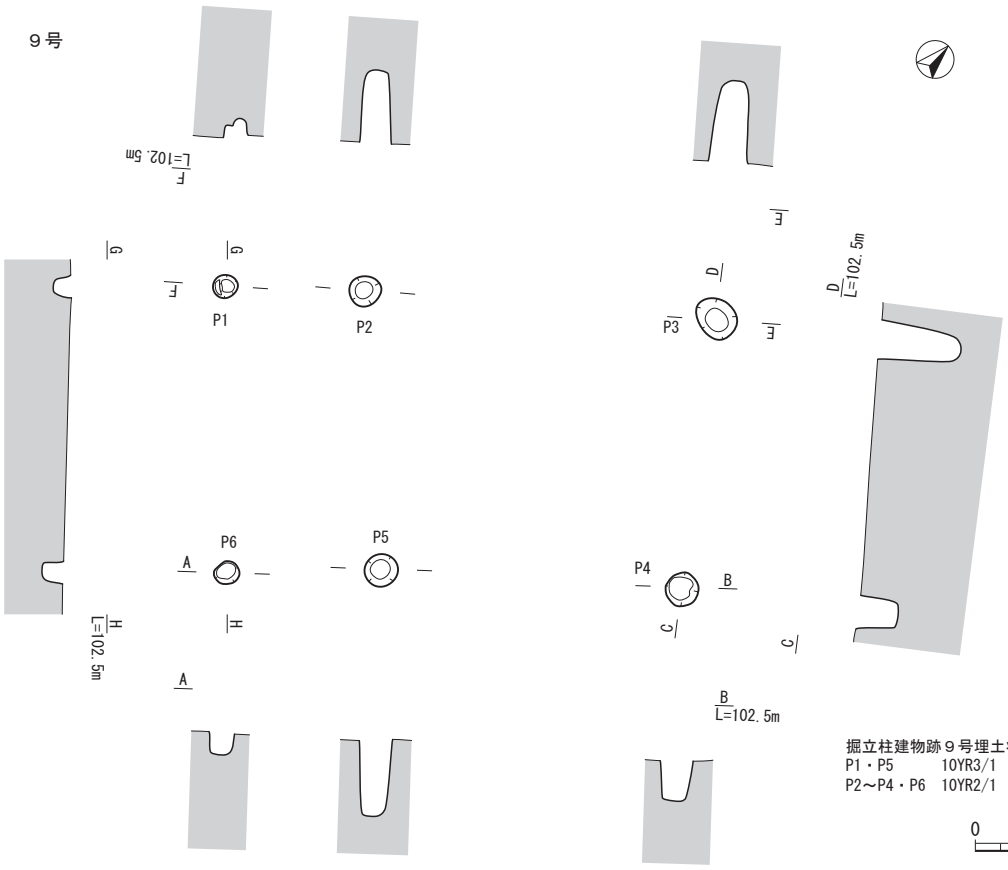
Ｃ地点，Ｂ・Ｃ－ 23・24 区，Ⅲ層で検出された。北東側は，柱穴が元々存在しないのか，削平等により消失したのかは不明であるが，建物規模はおそらく２～４間×１間で，桁行が 310cm，梁行が 170cm の東西に長い長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 61°－Ｅである。柱穴はほぼ円形で，径は 14 ～ 28cm，深さはＰ８が８cm と浅い他は，18 ～ 38cm である。埋土は，しまりのない黒色土と，しまりのある黒褐色土が半々である。また，Ｐ４の１層は柱痕の可能性がある。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡８号（第 58 図）

Ｃ地点，Ｂ・Ｃ－ 24 区，Ⅲ層で検出された。東側１ｍに主軸方向がほぼ同一の掘立柱建物跡９号が位置している。北東側柱穴は元々存在しなかったか，削平等による消失かは不明であるが，建物規模はおそらく２間×１間で，桁行 250 ㎝，梁行 180 ㎝の長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 55°－Ｅである。柱穴は楕円形で，径 24 ～ 42 ㎝，深さ 12 ～ 61 ㎝と一様ではないが，東に行くほど径が大きく，深さが増す傾向にある。埋土はすべてしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡９号（第 59 図）

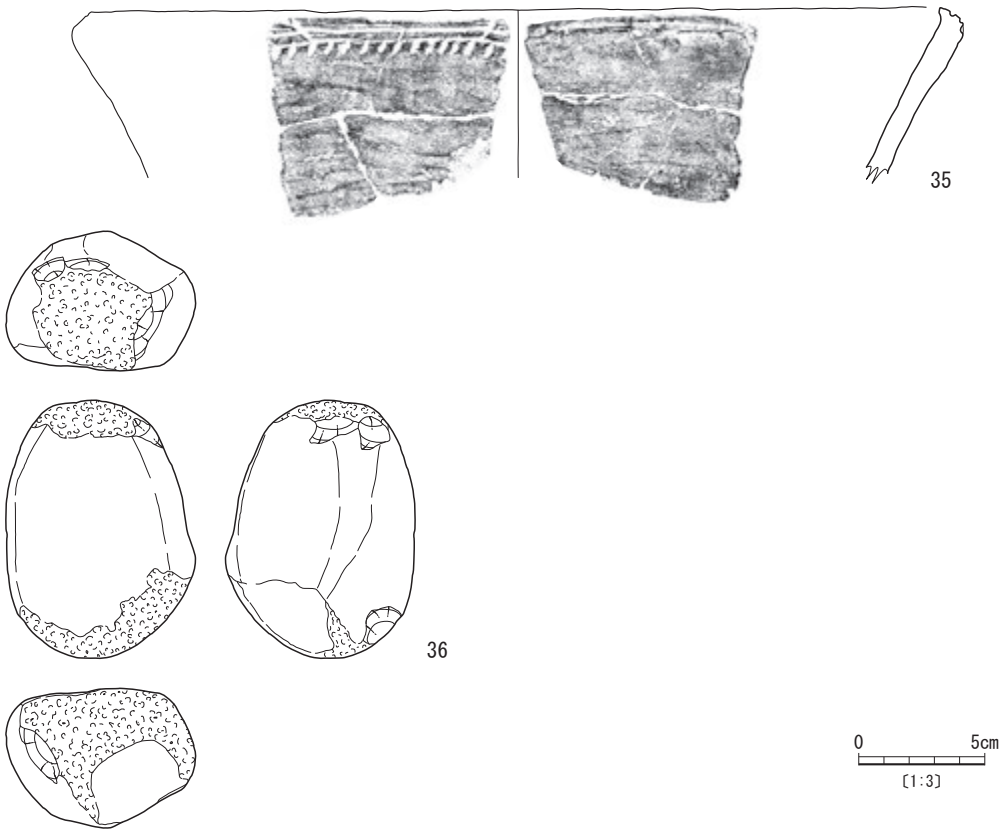
Ｃ地点，Ｃ－ 24・25 区，Ⅲ層で検出された。西側の柱穴２本が小さく浅いことや，柱穴間の距離が，東側（Ｐ１－６・Ｐ２－３間）に比べ西側（Ｐ５－６・Ｐ３－４間）が半分以下であることから，西側の２本は庇などの付帯施設の柱穴で，建物は１間×１間であったと考えられる。規模は，一辺が 210 ～ 280cm の東西にやや長い台形状を呈し，主軸方向はＮ－ 49°－Ｅである。柱穴は円形及び楕円形で，径は 26 ～ 35cm，深さは 30 ～ 63cm で，付帯施設と考えられるＰ４・５は径約 20cm，深さ約 18cm



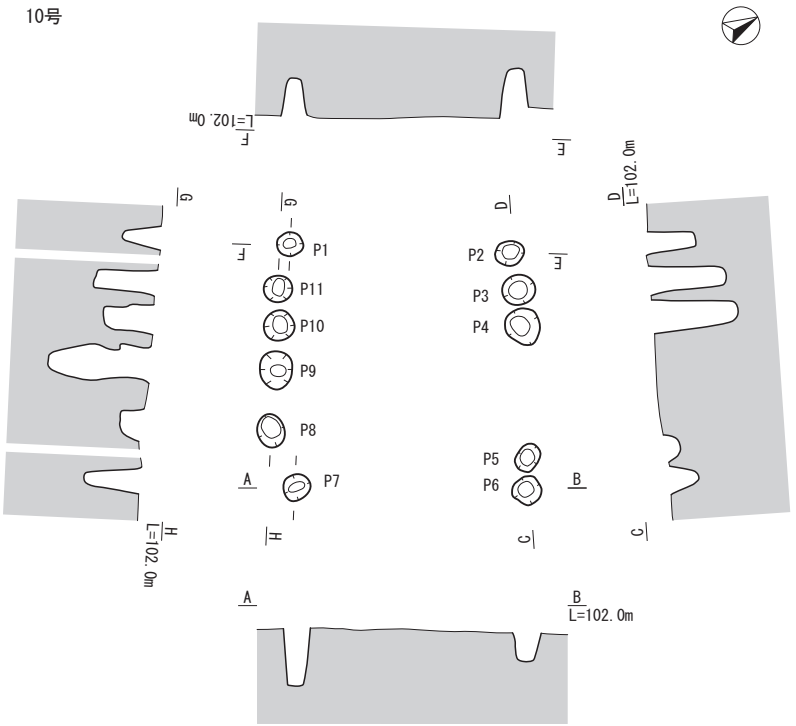
柱穴 (cm)			
番号	長径	短径	深さ
P1	21	20	16
P2	26	24	56
P3	35	29	63
P4	27	26	30
P5	26	24	60
P6	20	18	18

柱穴間距離	
番号	距離 (cm)
P1-3	388
P1-2	108
P2-3	282
P3-4	214
P4-6	361
P4-5	239
P5-6	122
P6-1	228

掘立柱建物跡９号埋土状況
P1・P5　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
P2～P4・P6　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。



第 59 図　掘立柱建物跡９号



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	22	20	32	P1-2	176
P2	22	20	38	P2-6	189
P3	26	26	56	P2-3	31
P4	30	28	66	P3-4	28
P5	24	16	12	P4-5	105
P6	22	22	24	P5-6	25
P7	22	20	46	P6-7	187
P8	28	20	18	P7-1	193
P9	30	26	80	P7-8	52
P10	26	24	40	P8-9	45
P11	24	20	50	P9-10	37
				P10-11	28
				P11-1	38

掘立柱建物跡10号埋土状況

P1	10YR2/1	黒色 しまり無し。粘性有り。
P2・P5・P7・P11	10YR3/1	黒褐色 しまり有り。粘性やや有り。
P3・P4・P6・P8～P10	10YR2/1	黒色 しまり無し。粘性やや有り。





第 60 図　掘立柱建物跡 10 号

である。埋土は，Ｐ１・５がしまりのある黒褐色土で，その他はしまりのない黒色土である。Ｐ４から 35 と 36 が出土している。

35 は口縁部に平坦面をもち，そこに２条の沈線と刺突文を施す。刺突文はヘラ状工具を斜めにして連続して押し当ててある。外面調整は横方向にヘラミガキされているがやや粗い調整である。口縁部は無文である。第Ⅸ類土器と考えられる。36 は歪な楕円形の亜円礫を素材とした敲石で，上下端に幅広く敲打痕が顕著である。

掘立柱建物跡 10 号（第 60 図）

Ｃ地点，Ｄ・Ｅ－ 23 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は，一辺が 176 ～ 193cm の歪な台形状を呈している。主軸方向はＮ－ 65° －Ｗである。柱穴はほぼ楕円形で，径は 22 ～ 30cm と比較的均一で，深さは 12 ～ 66cm と様々である。Ｐ２～６とＰ７～ 11 の列は５本，６本と柱穴が並んでいるが，柱穴間の距離が 25 ～ 105cm とまちまちであり，同時に存在したのか建て替え等が行われたのかは不明である。埋土はＰ２・５・７はしまりのある黒褐色土で，その他はしまりのない黒色土である。Ｐ３から 37 が出土している。

37 は口縁端部が丸く，口縁内部に沈線がみられる。調整は外面が横方向にヘラミガキされているものの，内面はやや粗い調整である。無文土器第Ｘ -b 類の特徴をもつ口縁部である。

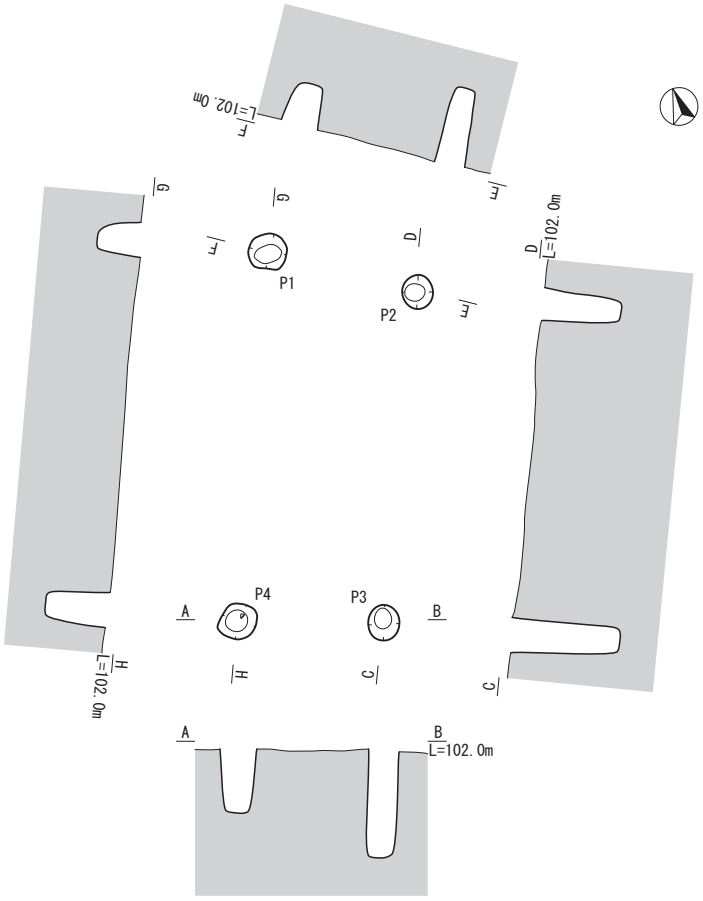
掘立柱建物跡 11 号（第 61 図）

Ｃ地点，Ｄ・Ｅ－ 24 区，Ⅲ層で検出された。掘立柱建物跡 12 号と西側が重複するが新旧関係は不明である。建物規模は，１間×１間で，桁行 290cm，梁行 115cm の歪な長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 24° －Ｅである。平面形は，楕円形あるいは不定形で，径は 28 ～ 33cm，深さは 36 ～ 88cm で西側がやや浅く東側が深い。埋土はすべてしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 12 号（第 61 図）

Ｃ地点，Ｄ・Ｅ－ 24 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２間×１間で，一辺が 188 ～ 217cm のやや歪な正方形を呈する。主軸方向は，11 号と同方向もしくは直交する。柱穴は楕円形あるいは不定形で，径は 18 ～ 30cm，深さは 12 ～ 42cm となっており，南側の２本（Ｐ４・５）が 42cm とやや深く，その他は 15cm と浅い。埋土は北側の２本がしまりのある黒褐色土で，その他はしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

11号

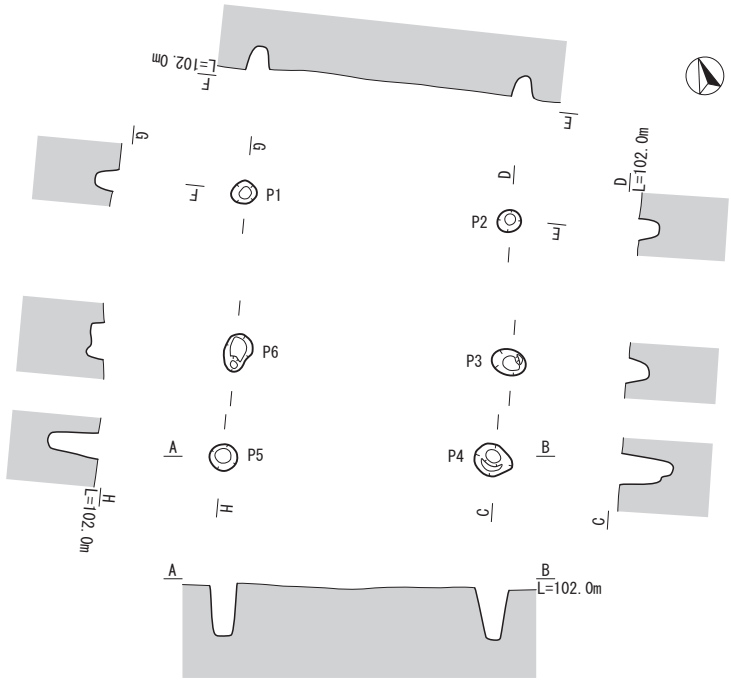


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	32	32	36	P1-2	118
P2	28	24	62	P2-3	264
P3	28	26	88	P3-4	115
P4	33	29	50	P4-1	293

掘立柱建物跡11号埋土状況
P1～P4　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

0　2m
〔1:60〕

12号

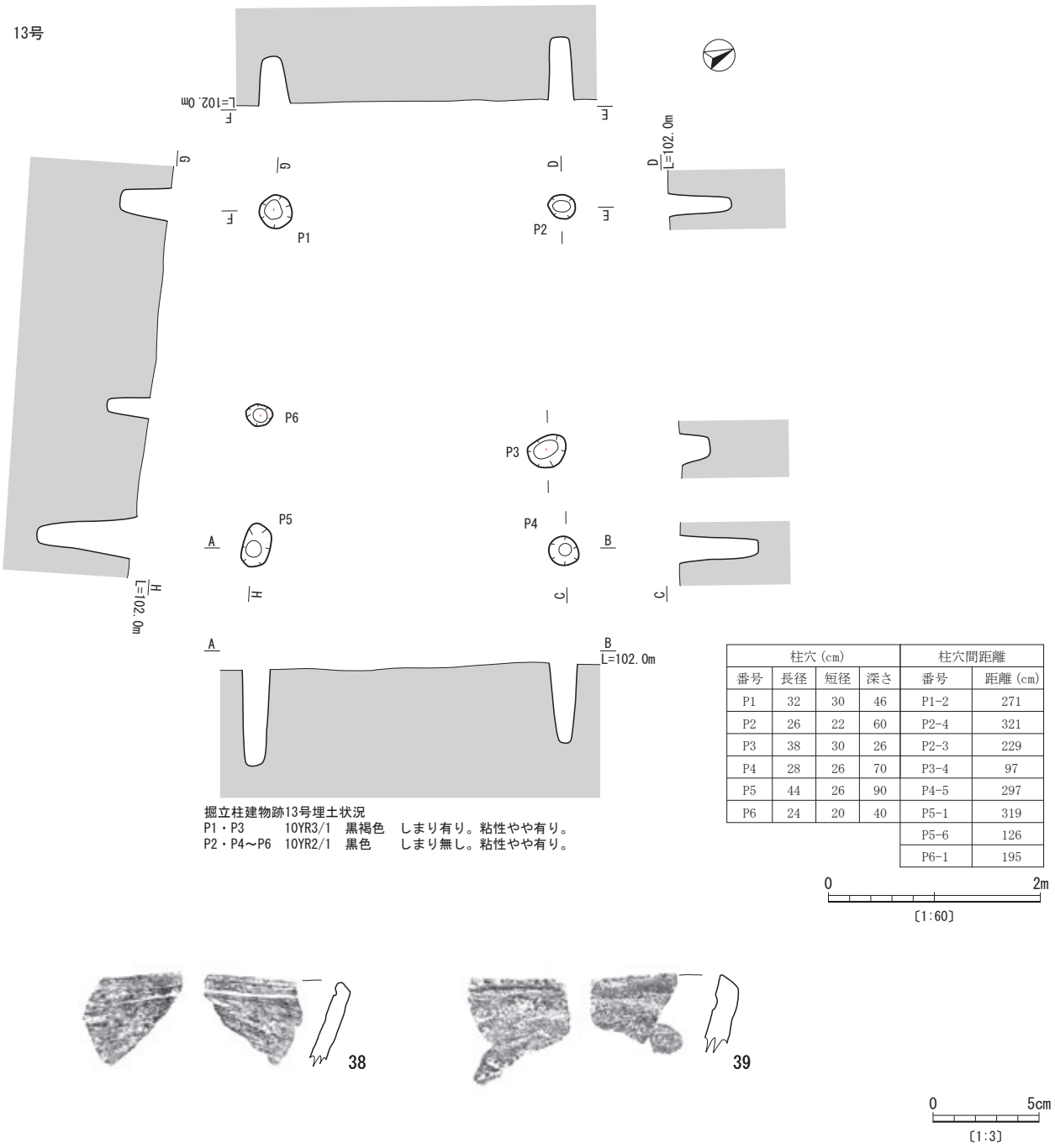


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	18	18	18	P1-2	211
P2	18	18	16	P2-4	188
P3	28	20	18	P2-3	114
P4	30	26	42	P3-4	75
P5	22	22	42	P4-5	217
P6	30	20	12	P5-1	211
				P5-6	87
				P6-1	123

掘立柱建物跡12号埋土状況
P1・P2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
P3～P6　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

0　2m
〔1:60〕

第 61 図　掘立柱建物跡 11・12 号



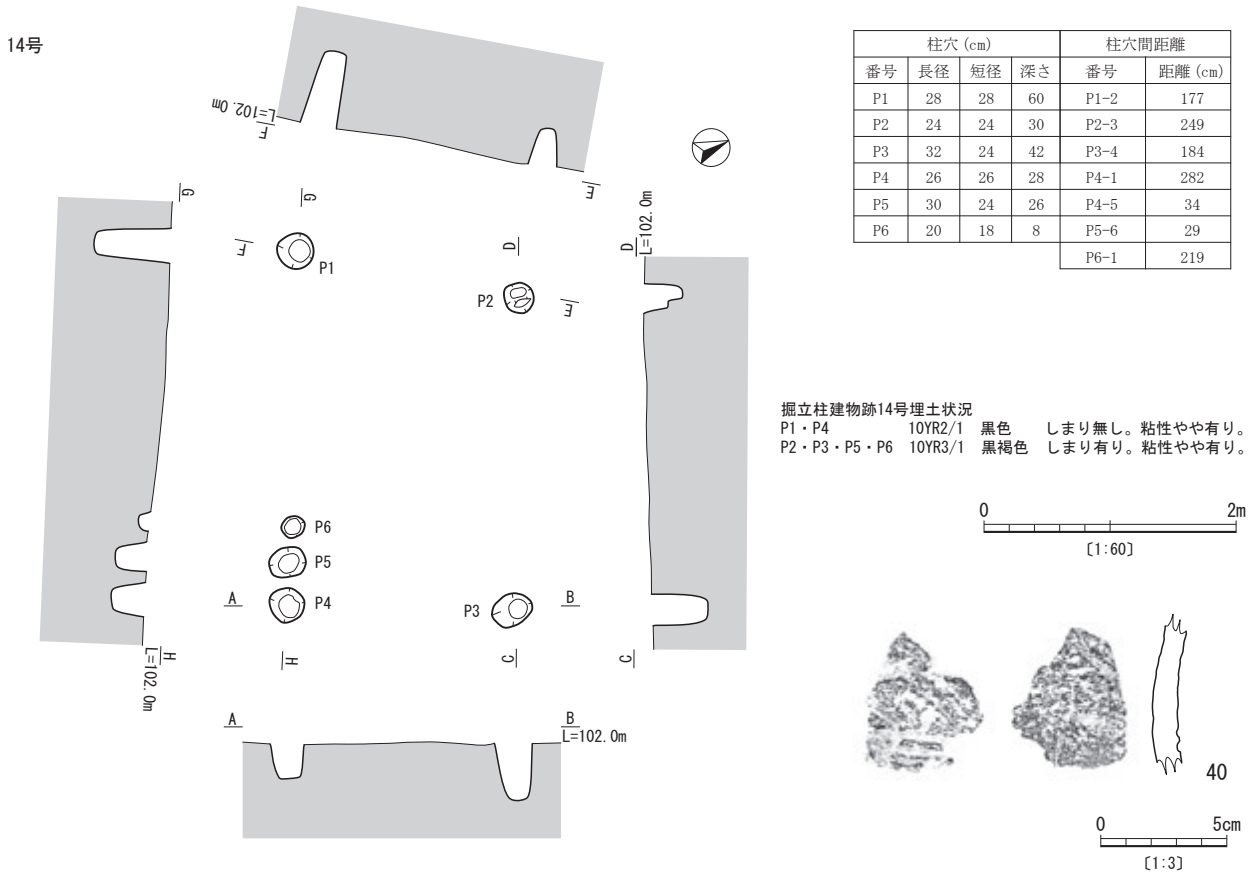
柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	32	30	46	P1-2	271
P2	26	22	60	P2-4	321
P3	38	30	26	P2-3	229
P4	28	26	70	P3-4	97
P5	44	26	90	P4-5	297
P6	24	20	40	P5-1	319
				P5-6	126
				P6-1	195

第 62 図　掘立柱建物跡 13 号

掘立柱建物跡 13 号（第 62 図）

Ｃ地点，Ｅ－ 23・24 区，Ⅲ層で検出された。掘立柱建物跡 14 号に隣接する。建物規模は２間×１間で，桁行 320cm，梁行 290cm のやや歪な長方形を呈している。主軸方向はＥ－ 65°－Ｗである。柱穴は楕円形あるいは不定形で，大きさも一様ではなく 24 ～ 44cm，深さは 26 ～ 90cm で，桁行の中央に位置するＰ３・６がやや浅く，四隅の柱穴は深い。埋土は，Ｐ１・３がしまりのある黒褐色土，その他はしまりのない黒色土である。Ｐ４から土器が出土している。

38 は口縁内部に沈線がみられる。口縁端部には狭い平坦面がみられる。内外面共に横方向に丁寧にヘラミガキされている。無文土器第Ⅹ -b 類の特徴をもつ小片である。39 は粗製土器の口縁部である。口縁端部に狭い平坦面をもつ。内外面とも横方向にヘラミガキされているが，やや粗い。無文土器第Ⅹ -c 類の可能性が高い。



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	28	28	60	P1-2	177
P2	24	24	30	P2-3	249
P3	32	24	42	P3-4	184
P4	26	26	28	P4-1	282
P5	30	24	26	P4-5	34
P6	20	18	8	P5-6	29
				P6-1	219

掘立柱建物跡14号埋土状況
P1・P4　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
P2・P3・P5・P6　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。

第 63 図　掘立柱建物跡 14 号

掘立柱建物跡 14 号（第 63 図）

Ｃ地点，Ｅ－ 23・24 区，Ⅲ層で検出された。掘立柱建物跡 13 号に隣接する。南東側に柱穴が３本並んでいるが，建物規模は基本的に１間×１間で，桁行 230cm，梁行 180cm の歪な長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 68° －Ｗで，隣接する 13 号とほぼ同方向である。柱穴は楕円形で，径は 24 ～ 32cm，深さは８～ 60 ㎝と様々である。埋土は南側隅のＰ１・４がしまりのない黒色土で，その他はしまりのある黒褐色土である。Ｐ１・４から土器の頚部が出土している。

40 は平行沈線を２条もつ。内外面とも貝殻条痕による調整はみられない。口縁部が残っておらず貝殻腹縁の刺突文も確認できないが，胎土には金雲母を多く含み，第Ⅴ類土器の胎土と近似していることから第Ⅴ類土器と考えられる。細分はできなかった。

掘立柱建物跡 15 号（第 64 図）

Ｂ地点，Ｆ・Ｇ－ 26・27 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２間×１間で，桁行 540cm，梁行き 270 ㎝のやや台形に近い長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 75° －Ｅである。柱穴は円形及び楕円形で，径は 27 ～ 37cm，深さは 42 ～ 79cm，南東隅のＰ２が 42cm とやや浅く，対角線上の北西隅Ｐ５が 79cm と深い他は約 65cm と一定である。埋土は南東側３本がしまりのある黒褐色土で，北西側３本がしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。

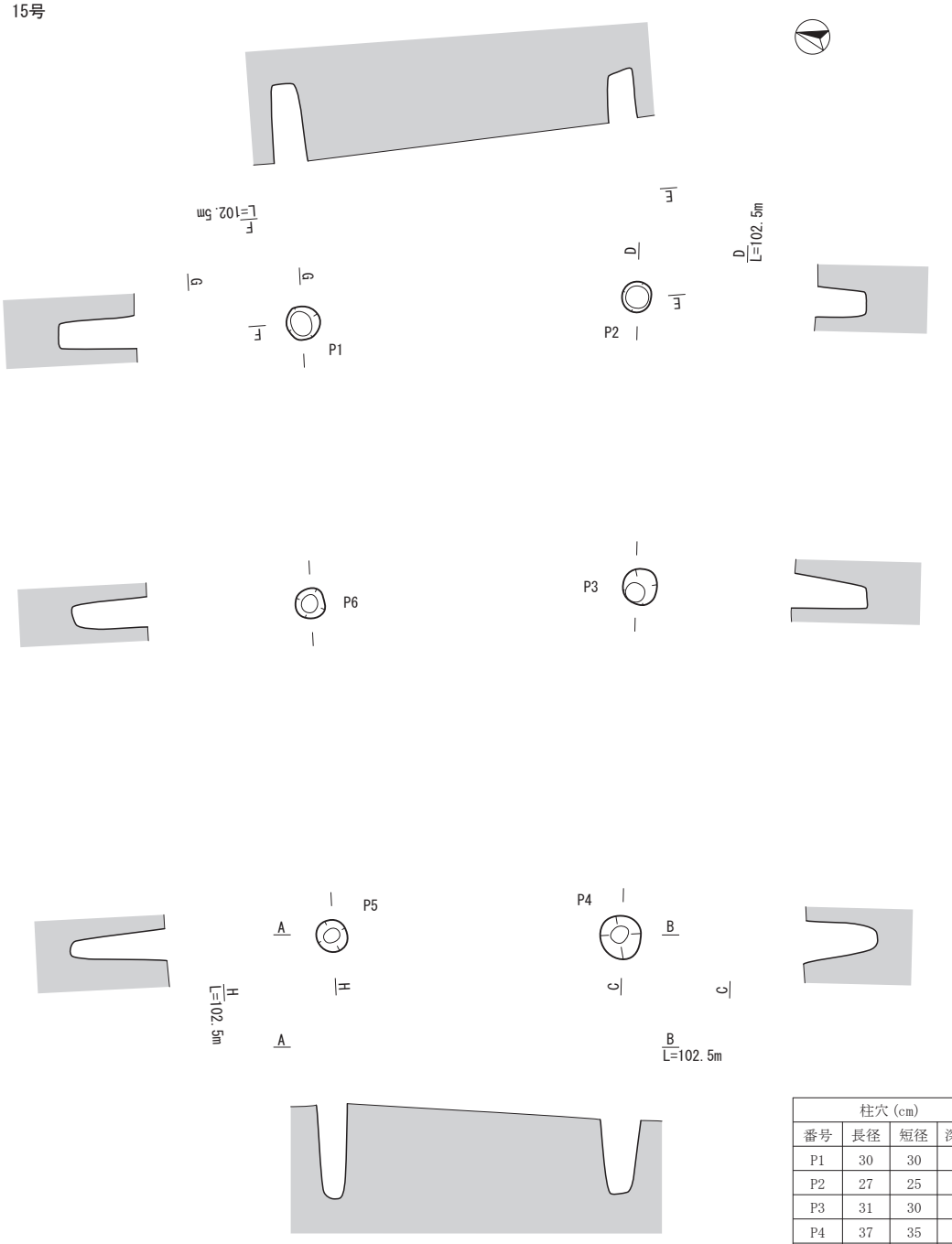
掘立柱建物跡 16 号（第 65 図）

Ｂ地点，Ｇ－ 26・27 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，一辺が 227 ～ 294 ㎝の歪な台形状を呈している。主軸方向はＮ－ 81° －Ｅである。柱穴は楕円形で，径は 25 ～ 43cm，深さ 10 ～ 64cm と様々である。埋土はＰ１・３・４が黒色土で，Ｐ２が黒褐色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 17 号（第 65 図）

Ｂ地点，Ｃ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，一辺が 182 ～ 240cm の南北にやや長い歪な台形状を呈している。主軸方向はＮ－ 16° －Ｅである。柱穴は楕円形で，径はＰ４が径 24cm とやや小さく，その他は径約 40cm で，深さは 45 ～ 79cm と一見様々だが，Ｐ１を除き坑底の標高はほぼ一緒である。埋土は北側２本がしまりのない黒色土で，南側２本がしまりのある黒褐色土である。Ｐ１・４から西平式系の無文の胴部片と，Ｐ４から口縁部が１点出土している。

15号



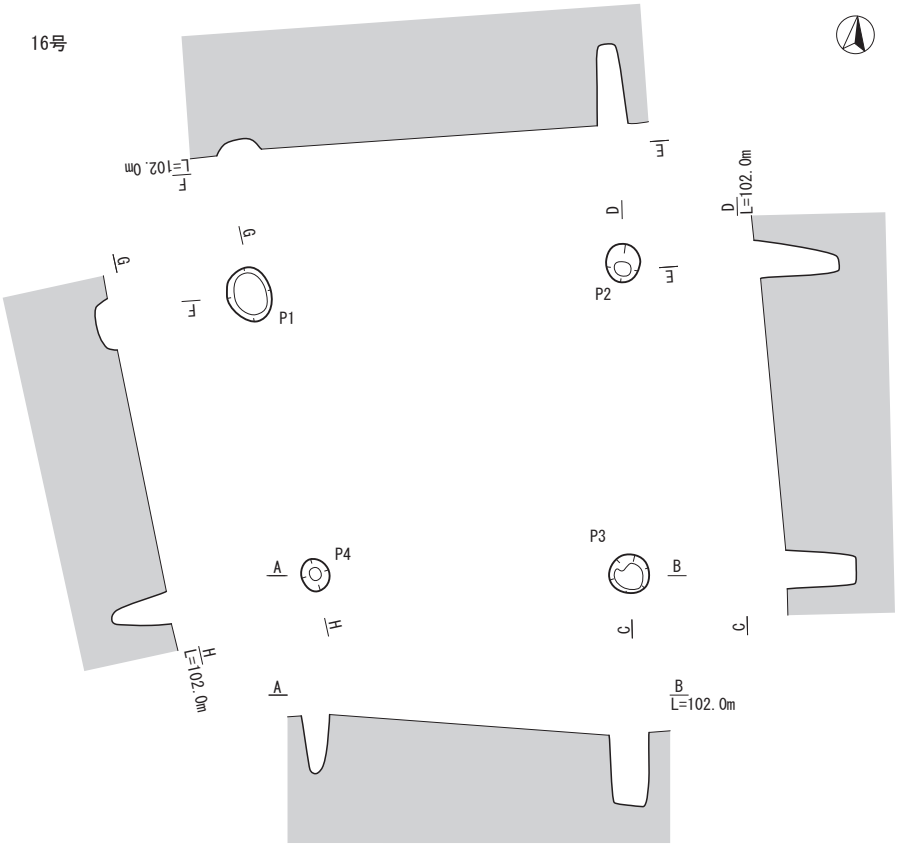
柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	30	30	66	P1-2	292
P2	27	25	42	P2-4	552
P3	31	30	64	P2-3	258
P4	37	35	65	P3-4	297
P5	28	27	79	P4-5	251
P6	27	25	65	P5-1	531
				P5-6	290
				P6-1	242

掘立柱建物跡15号埋土状況
P1～P3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
P4～P6　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性有り。

0　2m
〔1:60〕

第 64 図　掘立柱建物跡 15 号

16号

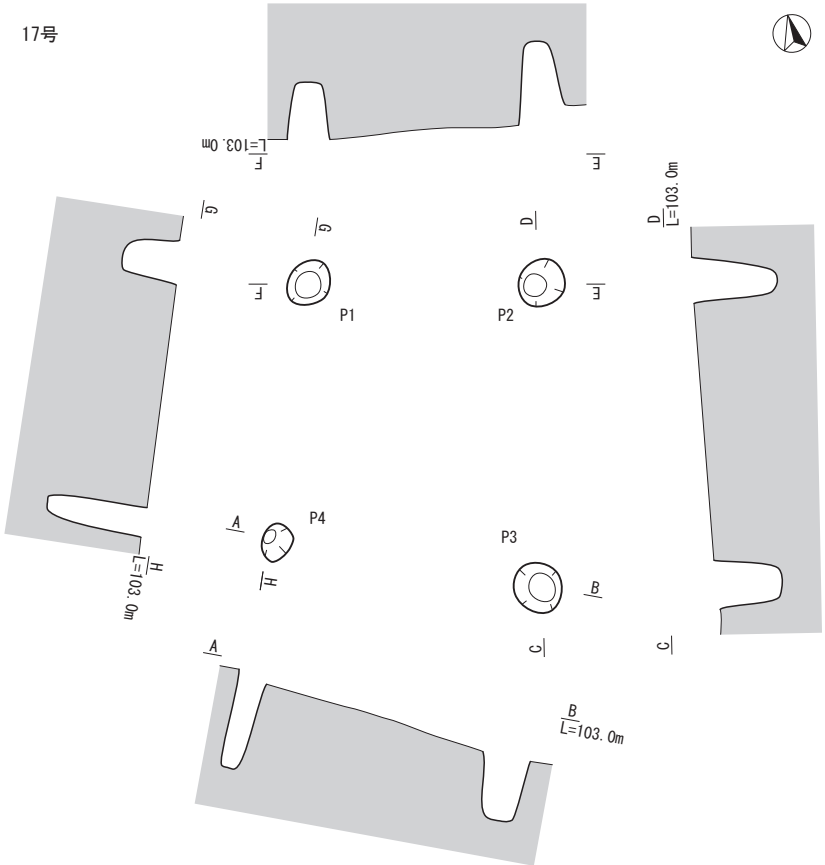


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	43	35	10	P1-2	294
P2	30	27	64	P2-3	242
P3	32	30	57	P3-4	250
P4	25	23	46	P4-1	227

掘立柱建物跡16号埋土状況
P1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。
P2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
P3・P4　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

0　2m
〔1:60〕

17号

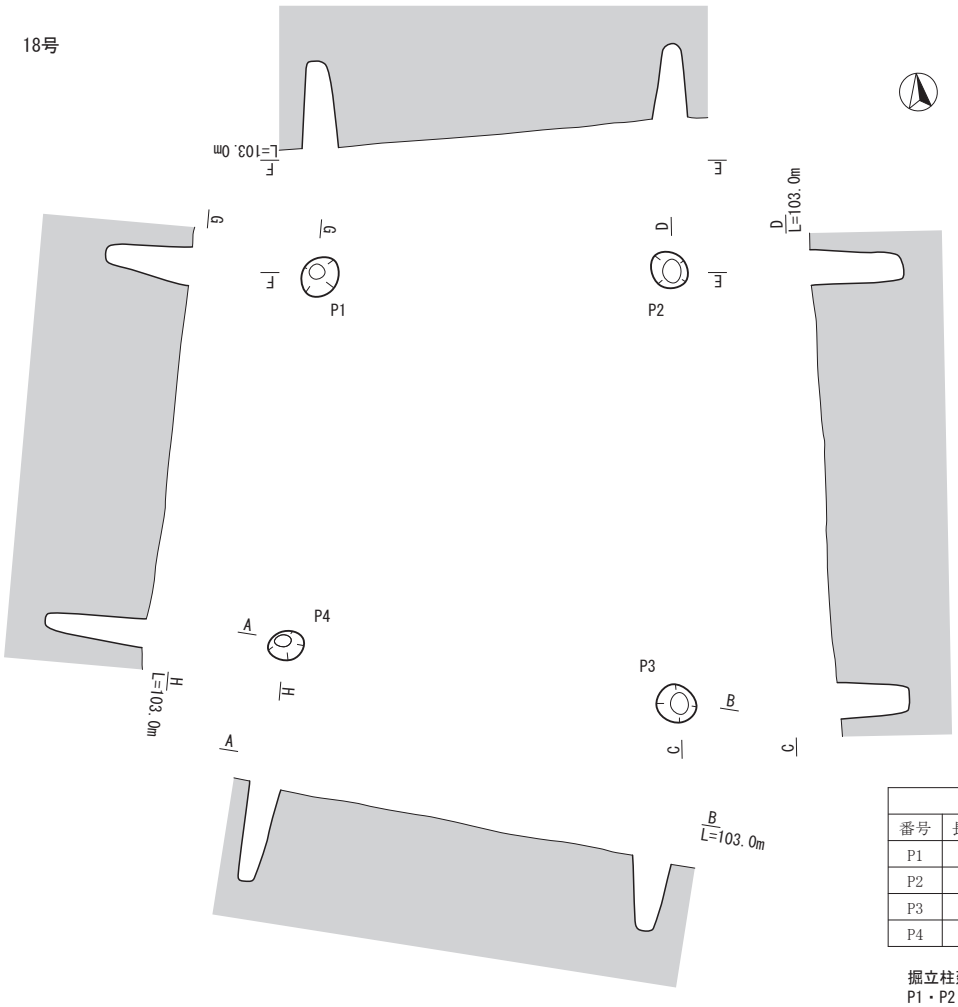


柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	39	33	45	P1-2	182
P2	40	36	65	P2-3	240
P3	41	37	52	P3-4	221
P4	24	23	79	P4-1	203

掘立柱建物跡17号埋土状況
P1・P2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。
P3・P4　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

0　2m
〔1:60〕

第 65 図　掘立柱建物跡 16・17 号



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	33	28	70	P1-2	282
P2	32	26	73	P2-3	341
P3	32	29	60	P3-4	318
P4	29	23	82	P4-1	292

掘立柱建物跡18号埋土状況
P1・P2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
P3・P4　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性有り。

0　2m
〔1:60〕

第 66 図　掘立柱建物跡 18 号

掘立柱建物跡 18 号（第 66 図）

Ｂ地点，Ｃ・Ｄ－ 29・30 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，一辺が 282 ～ 341 ㎝の歪な台形状を呈している。主軸方向はＮ－９°－Ｅである。柱穴は楕円形で，径は 30㎝前後，深さは 60 ～ 82㎝と総じて深い。埋土は北側２本がしまりのある黒褐色土，南側２本がしまりのない黒色土である。Ｐ２・３から西平式系の無文の胴部片が出土している。

掘立柱建物跡 19 号（第 67 図）

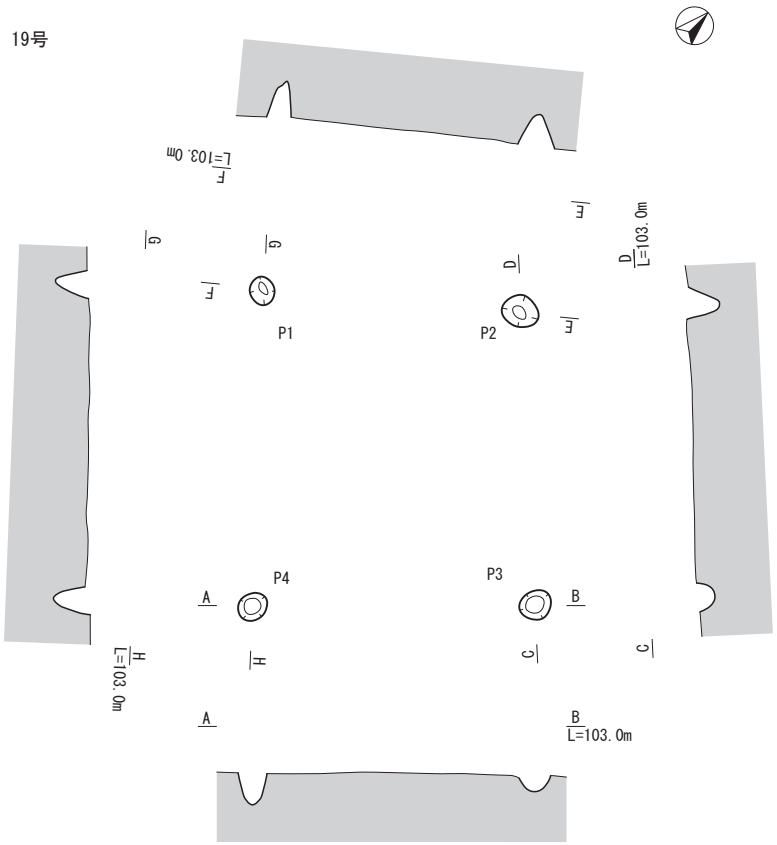
Ｂ地点，Ｄ－ 28・29 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，一辺が 205 ～ 252㎝の台形状を呈している。主軸方向はＮ－ 46°－Ｗである。柱穴は楕円形で，径は 23 ～ 30㎝，深さは 13 ～ 25㎝である。埋土は４本ともしまりがあり，Ｐ３は黒褐色土で，その他は黒色土である。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 20 号（第 68 図）

Ｂ地点，Ｆ－ 28・29 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は１間×１間で，桁行 480㎝，梁行 350㎝の長方形を呈している。桁行の柱穴間は，Ｐ３－Ｐ４間が 206 ㎝とやや短い他は，約 250 ㎝である。主軸方向はＮ－ 69°－Ｅである。柱穴は円形もしくは楕円形で，径は 33 ～ 46㎝，深さは 44 ～ 115 ㎝と差が大きく，北側が深く南側が浅い。埋土はＰ３・４はしまりのある黒褐色土，その他はしまりのない黒色土である。遺物は出土していない。なお，同時期か不明だが，土坑 161 号が本建物跡内の中央北寄に位置している。遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 21 号（第 69 図）

Ａ地点，Ｇ・Ｈ－ 40 区，Ⅲ層で検出された。建物規模は２～３間×２間で，桁行 790㎝，梁行 360㎝の長方形を呈している。主軸方向はＮ－ 48°－Ｅである。柱穴は不定形で，径は 10 ～ 20㎝と小さく，深さは５～ 59㎝でＰ２・９を除き 28㎝以下と浅い。埋土はＰ７が褐灰色土，その他は黒色土である。遺物は出土していない。



柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	23	19	26	P1-2	205
P2	30	25	25	P2-3	232
P3	26	23	13	P3-4	224
P4	24	21	24	P4-1	252

掘立柱建物跡19号埋土状況
P1・P2・P4　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性有り。
P3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

0　2m
〔1:60〕

第 67 図　掘立柱建物跡 19 号

第10表　掘立柱建物跡出土土器観察表

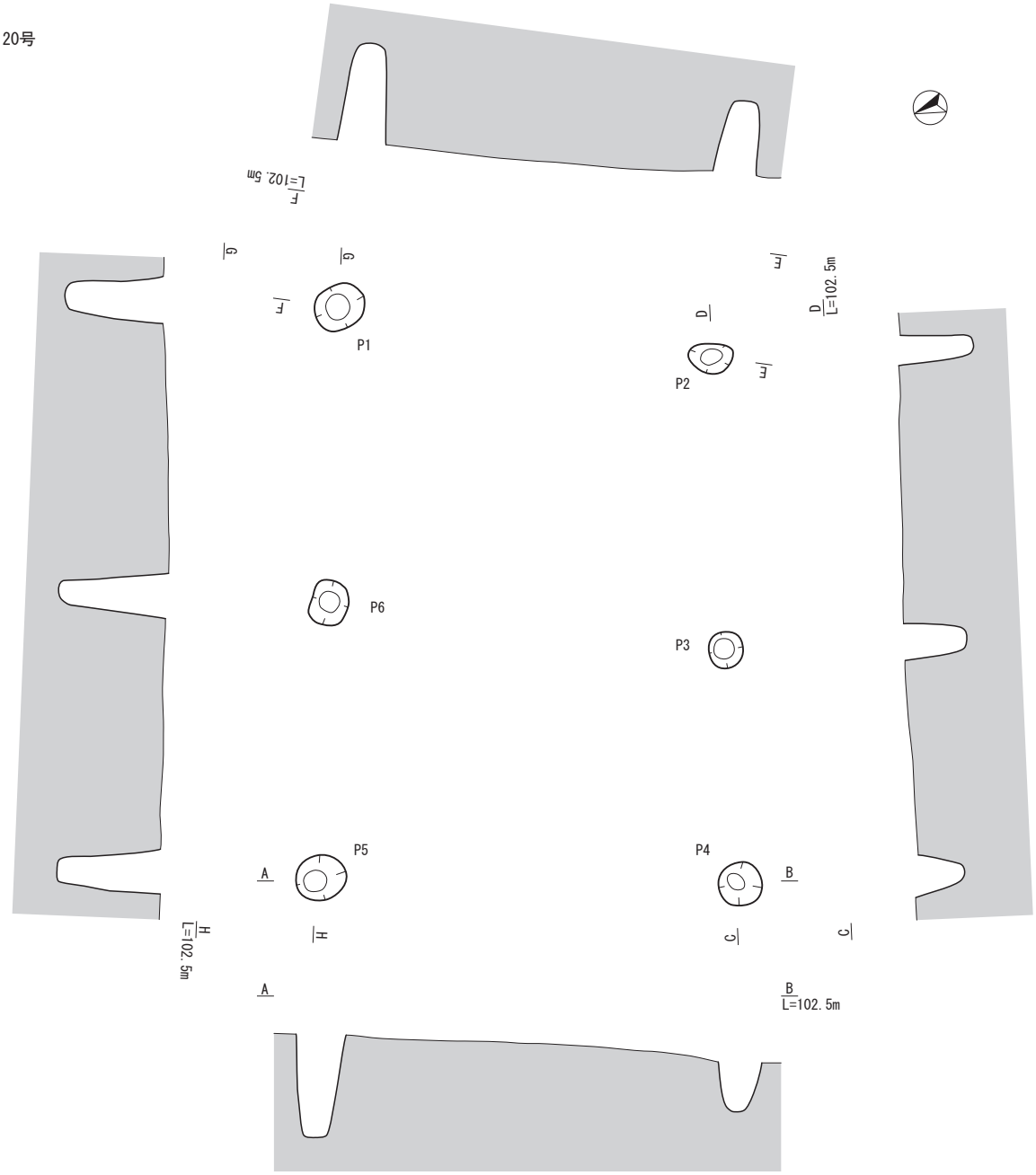
備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	層	部位	主文様 外面	主文様 内面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 角閃石	胎土 雲母	胎土 白色砂粒	胎土 黒色砂粒	胎土 他	色調 外面		色調 内面		備考	取上番号
56	34	5(P4)	X c	深鉢	E12	1	口縁	縦ナデ	剥落（横ナデ）	○	○		◎	○			2.5YR4/2	灰赤	5YR4/3	にぶい赤褐		30306
59	35	9(P3)	IX	深鉢	C24	1	口縁	刻目・横ナデ・粗い横ミガキ	横ミガキ	◎	△			△	○		10YR3/2	黒褐	7.5YR6/6	橙	口唇：沈線 口径：(35.0)	30261 他
60	37	10(P3)	X b	深鉢	D23	1	口縁	横ミガキ	摩滅（凹線・横ナデ）	○	△			○			5YR3/1	黒褐	5YR3/1	黒褐		P2585
62	38	13(P4)	X b	深鉢	E23	1	口縁	横ミガキ	沈線・横ミガキ	○	△			△		赤色砂粒△	5YR3/1	黒褐	10YR3/1	黒褐		P2718
	39	13(P4)	X c	深鉢	E23	1	口縁	摩滅（横ミガキ）	横ナデ・ミガキ	○		△		△	△		5YR7/6	橙	7.5YR5/4	にぶい褐		2718
63	40	14(P4)	V	深鉢	E23	1	胴	摩滅（沈線・横ナデ）	摩滅（ナデ）	○	○		◎	◎			7.5YR4/2	灰褐	7.5YR3/4	暗褐		2812

第11表　掘立柱建物跡出土石器観察表

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号
59	36	9(P4)	C24	Ⅲ	敲石	ホルンフェルス 5	10.30	7.60	5.50	599.00	-

20号



掘立柱建物跡20号埋土状況
P1・P2・P5・P6　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。
P3・P4　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

柱穴 (cm)				柱穴間距離	
番号	長径	短径	深さ	番号	距離 (cm)
P1	46	39	87	P1-2	332
P2	39	27	65	P2-4	463
P3	33	29	54	P2-3	258
P4	39	39	44	P3-4	206
P5	44	40	92	P4-5	371
P6	40	34	92	P5-1	507
				P5-6	247
				P6-1	263

0　2m
〔1:60〕

第 68 図　掘立柱建物跡 20 号



柱穴 (cm)			
番号	長径	短径	深さ
P1	14	12	5
P2	17	16	59
P3	19	16	14
P4	20	13	28
P5	20	20	15
P6	15	12	20
P7	10	7	7
P8	15	12	7
P9	20	19	45

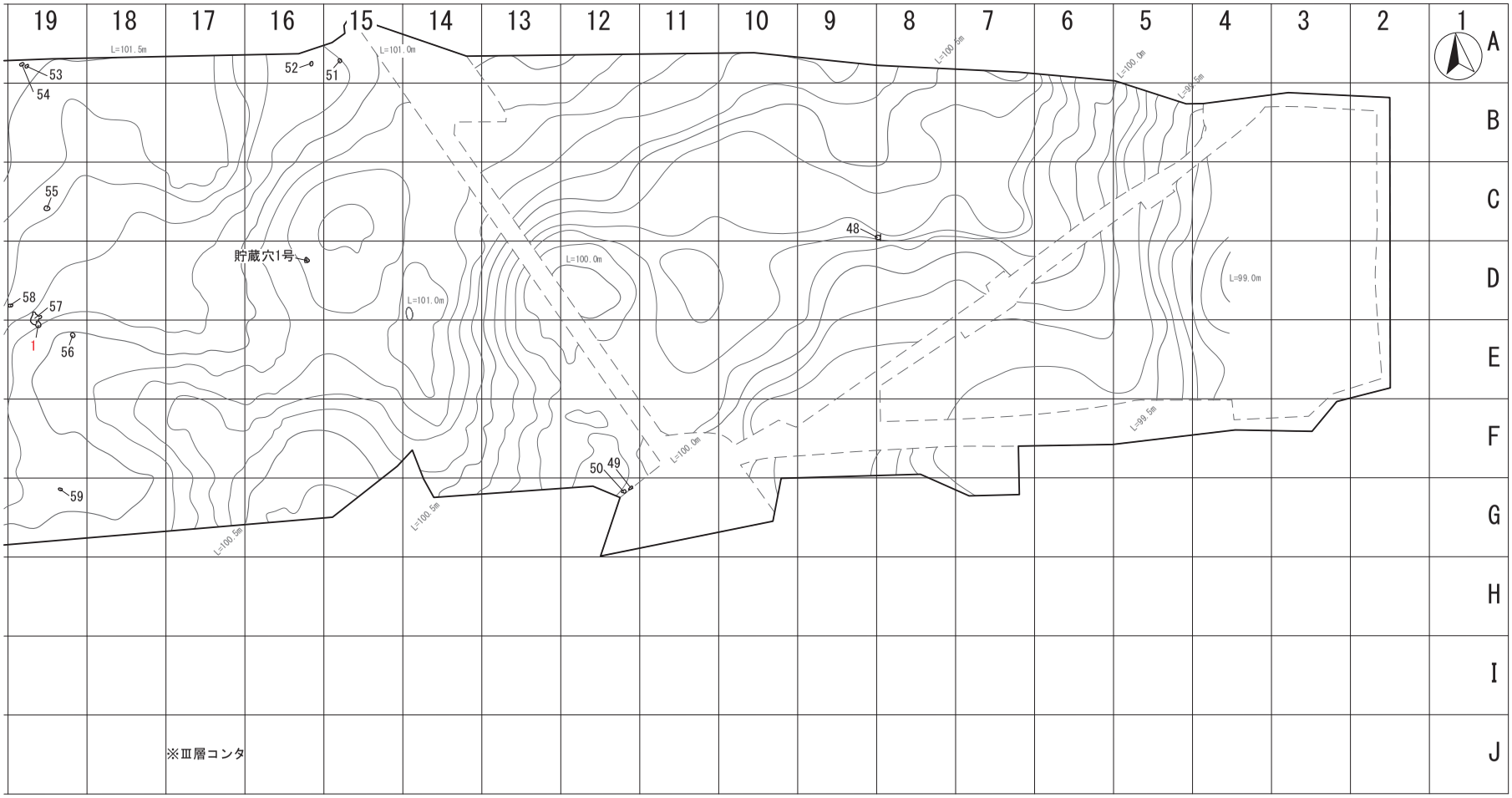
柱穴間距離	
番号	距離 (cm)
P1-3	356
P1-2	211
P2-3	145
P3-6	770
P3-4	264
P4-5	145
P5-6	361
P6-8	376
P6-7	115
P7-8	262
P8-1	808
P8-9	517
P9-1	291

P1・P8　10YR2/1　黒色　しまり弱い。粘性有り。黄色ブロックを少量、黄色パミスをまんべんなく含む。
P2～6・P9　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性有り。黄色パミスをまんべんなく含む。
P7　10YR4/1　褐灰色　しまりやや有り。粘性やや有り。黄色パミスをまんべんなく含む。

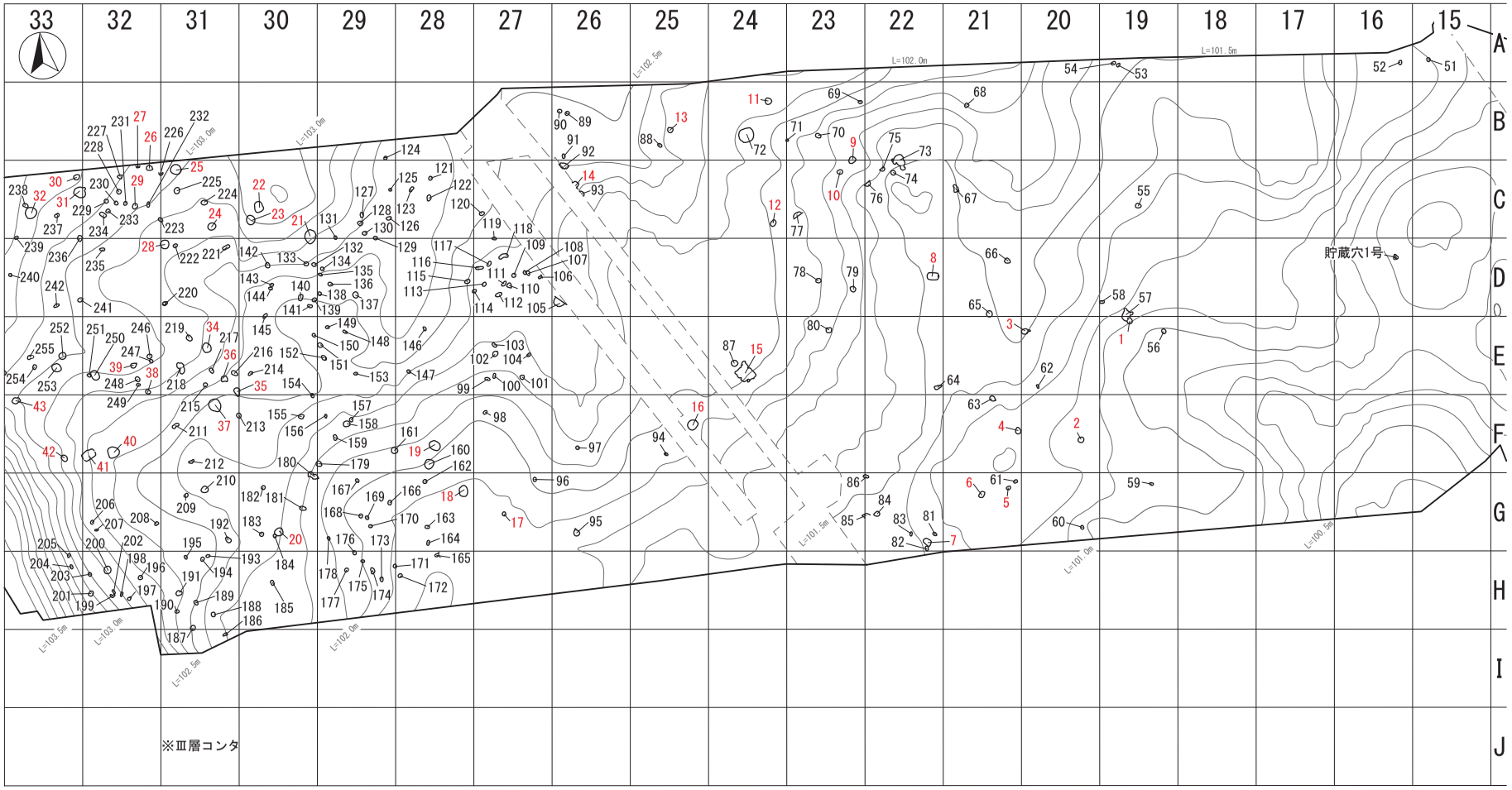
第 69 図　掘立柱建物跡 21 号

ウ　小結

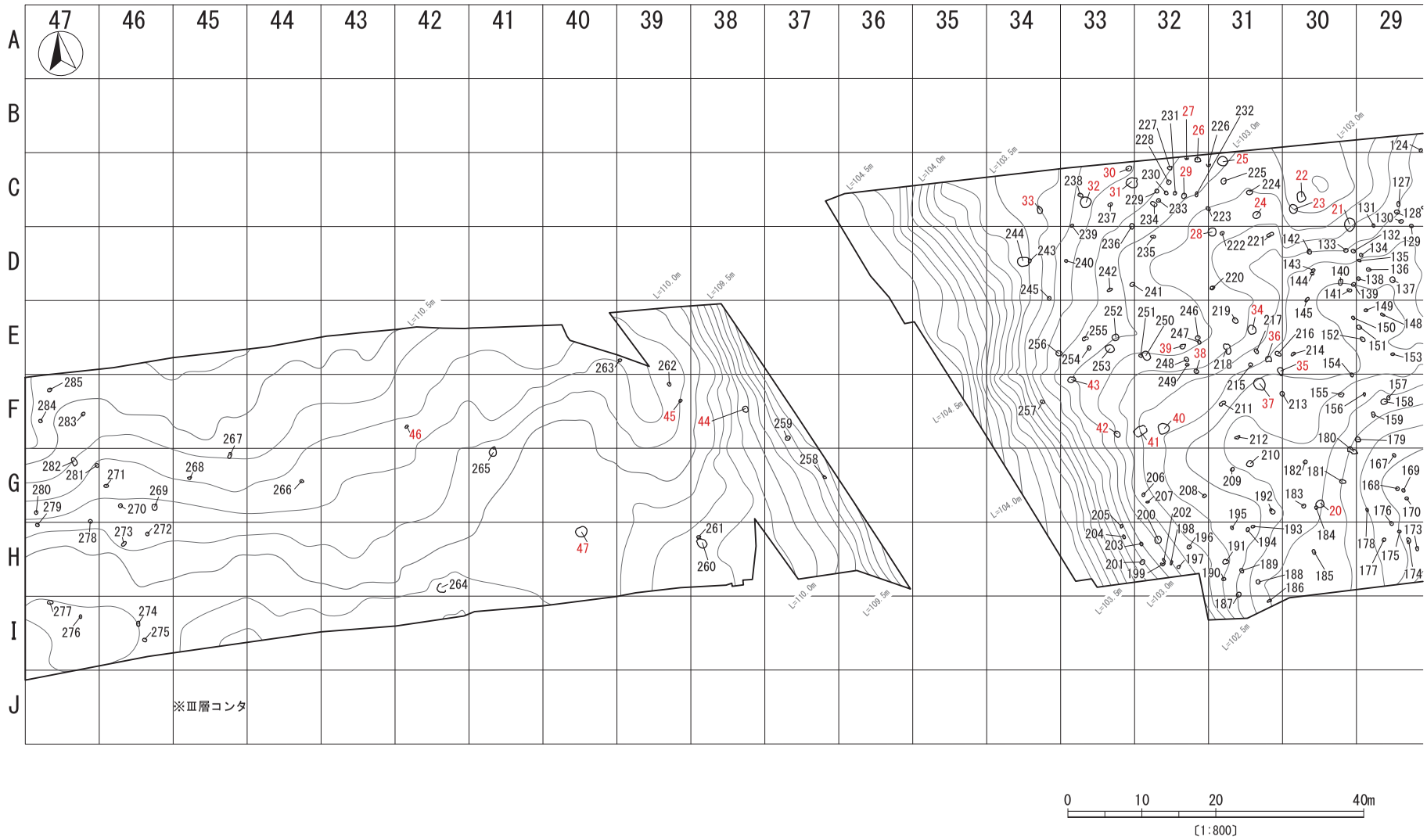
本遺跡の掘立柱建物跡は，全 21 棟中，１間×１間が 10 棟と最も多く，次に２間×１間が６棟と続く。Ｂ・Ｃ地点に掘立柱建物跡が集中し，環状に配置されていることが分かる。遺物分布状況でみると，第Ⅳ類・第Ⅴ類土器は薄い密度で環状に分布し，西平式系土器（有文・無文）は環状に，そして密度も濃く分布している。本遺跡の掘立柱建物跡は西平式系土器の時期に集中していた可能性が高いと考えられる。切り合っている掘立柱建物跡がみられることなどからも時期差があると考えられ，詳細は総括で述べている。



第70図　土坑・貯蔵穴配置図（１）



第71図　土坑・貯蔵穴配置図（２）



第72図　土坑・貯蔵穴配置図（３）

（２）貯蔵穴（第 70・71・73 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の貯蔵穴はＣ地点から１基検出された。

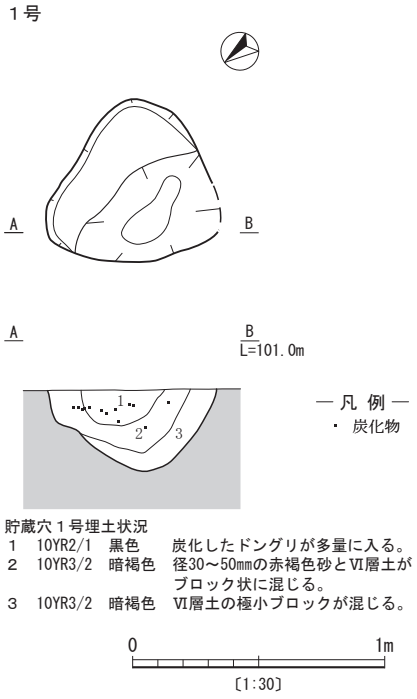
他遺構の断ち割りで検出され，断面から部分的な横転があることが分かった。本遺構からは炭化したドングリを多数検出した。

イ　貯蔵穴の状況

貯蔵穴１号（第 73 図）

Ｃ地点，Ｄ－ 16 区のＶａ層で検出された。平面形は隅丸の三角形で，掘り方は東から西方向へ段状に形成される。長径は 104 ㎝，短径は 96 ㎝，深さは 30 ㎝である。埋土は３層で，検出面から約 10 ㎝の深さ付近で炭化物が検出された。土坑の底面の中心は北西側にずれており，またドングリが出土した集中域も北西側にずれていた。

炭化物は年代測定の結果，1611 － 1496calBC の値を得ており，（第Ⅴ章第２節№４）本遺構周辺で出土している土器群の年代観に近い。



第 73 図　貯蔵穴１号

ウ　小結

本遺構からは３種類以上（コナラ属クヌギ節，イチイガシ，ウラジロガシなど）のドングリ類が出土しており，中でもイチイガシが大量に出土している。生食可能なイチイガシを選択的に採取していた可能性も考えられる。

（３）土坑（第 70 ～ 72 図・第 74 ～ 122 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の土坑はＡ地点から 32 基，Ｂ地点から 192 基，Ｃ地点から 60 基，Ｄ地点から１基，合計 285 基検出された。

土坑の検出層はⅡｂ層２基，Ⅱｃ層６基，Ⅲ層 258 基，Ⅴ層２基，Ⅴａ層 17 基である。本遺跡は，検出層のみでその遺構の帰属する時期を特定することはできない。遺物の出土が伴わない土坑も多く，時期判断が困難な土坑が多数あり，それらの土坑は基本的に時期不明として報告する。

縄文時代後期～晩期該当として報告する土坑は遺構内出土土器や遺構出土状況等などから総合的に判断し掲載した。遺構実測図の中には遺物出土状況が記載されていないものもある。また，ピットの中で断面形状及び平面の長径が概ね 50 ㎝以上のものは土坑へと変更した。

縄文時代後期～晩期該当の土坑は 47 基で，第 70 ～ 72 図の配置図上には赤字で遺構名と番号を記載している。一方，時期不明の土坑は黒字で記載してある（土坑 48 号から）。時期不明の中には縄文時代前期，中期，弥生以降のものが含まれている可能性はある。

本遺跡の土坑は，平面形状から Type １：「円・楕円形」，Type ２：「隅丸方形・長方形」，Type ３：「不定形」の３つのタイプとその他として Type ４：「ピット状の掘り込みを伴う（平面形状は不問）」の合計４タイプに大別した。Type １に属する土坑は 146 基，Type ２に属する土坑は５基，Type ３に属する土坑は 15 基，Type ４に属する土坑は 119 基であった。

イ　縄文時代後～晩期の土坑の状況

土坑１号（第 74 図）Type ４

Ｅ－ 19 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 66cm，短径 64cm で，深さは 18cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層で粘性のある黒褐色土が主体である。西平式系の土器片が３点出土している。

土坑２号（第 74 図）Type ４

Ｆ－ 20 区，Ⅱｃ層で検出された。平面形状は円形，長径 77cm，短径 70cm で，深さは 92cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。西平式系の土器片が１点出土している。

土坑３号（第 74 図）Type ４

Ｅ－ 20 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 86cm，短径 69cm で，深さは 85cm である。東端にピット状の掘り込みを伴う。また東側に隣接してピットが検出されている。埋土は３層で２層と３層にアカホヤブロックを含む。西平式系の土器片が１点出土している。

土坑４号（第 75 図）Type ４

Ｆ－ 21 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 85cm，短径 67cm で，深さ 86cm である。北端にピッ

ト状の掘り込みを伴う。埋土は３層で２層と３層にアカホヤ土を含むが３層に顕著に含まれる。縄文時代後期と思われる土器片が２点出土している。

土坑５号（第 75 図）Type ４

Ｇ－ 21 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 58cm，短径 42cm で，深さは 46cm である。西端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

41 は内外面とも丁寧にヘラミガキされている。外面はヘラミガキ後，沈線が薄く施されている。貝殻条痕の調整はみられない。胎土に金雲母を多く含む。第Ⅴ類土器の胴部片の可能性がある。42 は円形で，半円に欠損した磨敲石である。表裏面に平滑な擦り面がみられ，周縁に顕著な敲打痕を残す。

土坑６号（第 75 図）Type ４

Ｇ－ 21 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は隅丸長方形，長径 85cm，短径 60cm で，深さは 32cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。明瞭な掘り方を検出するために，一部断割り・掘り下げを実施し遺構の立ち上がりを確認した。そのため本来は上位に遺構の掘り込み面が存在していたと考えられる。埋土は２層で両層とも粘性がある。

43 は西平式系土器で，外面調整が縦方向に丁寧にヘラミガキされている。西平式系土器の有文・無文，どちらの可能性も考えられる胴部片である。44 は頚～胴部の外面調整が横方向にヘラミガキされている。43・44 は接合しなかったが，胎土，焼成等が類似することから同一個体の可能性が高い。その他縄文時代後期と思われる土器片が６点出土している。

土坑７号（第 76 図）Type ４

Ｇ－ 22 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は隅丸方形，長径 111cm，短径 74cm で，深さは 14cm である。西端と南端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でしまりある暗褐色土が主体である。

45 は西平式系の粗製土器の胴部である。一部にススの付着がみられる。胎土は赤褐色で，無文土器第Ⅹ -c 類か有文の第Ⅸ類に胎土が似ている。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点と炭化物が出土している。炭化物は年代測定結果，1633-1517calBC の値を得た。（第Ⅴ章第２節№１）

土坑８号（第 76 図）Type ２

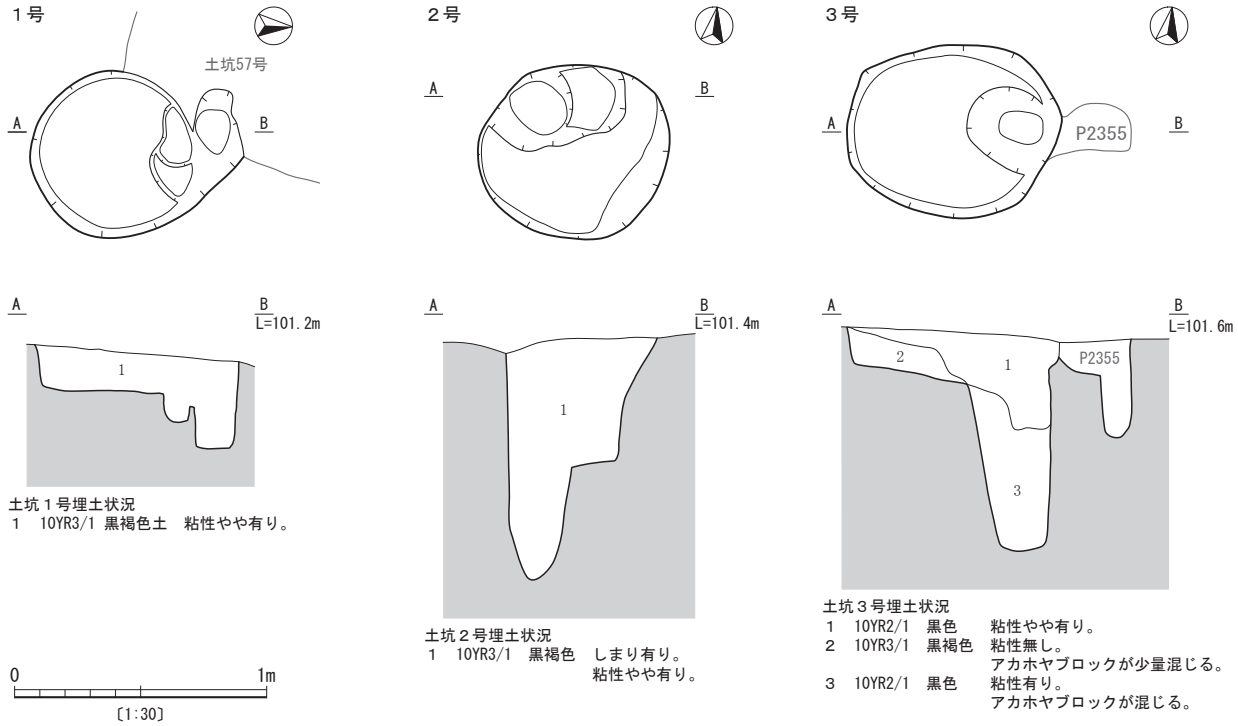
Ｄ－ 22 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は隅丸長方形，長径 144cm，短径 91cm で，深さは 30cm である。埋土は２層で南西方向から堆積している。両層ともアカホヤを含む。西平式系の土器片１点と磨石が１点出土している。

土坑９号（第 76 図）Type ４

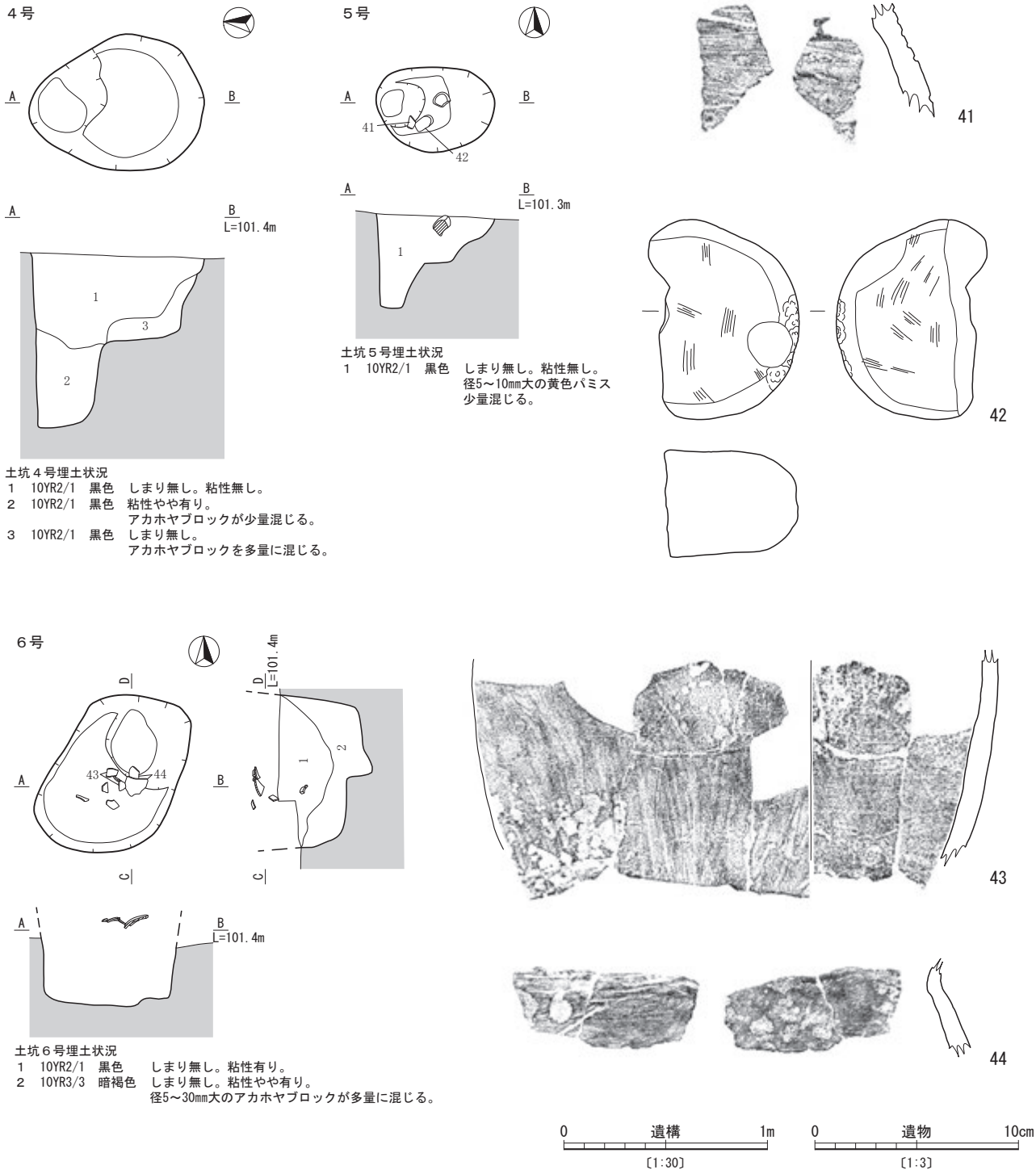
Ｃ－ 23 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 88cm，短径 86cm で，深さは 48cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で黒色土が主体である。西平式系の土器片が５点出土している。

土坑 10 号（第 76 図）Type ４

Ｃ－ 23 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 72cm，短径 57cm で，深さは 50cm である西端にピッ



第 74 図　土坑１～３号



第 75 図　土坑４～６号

ト状の掘り込みを伴う。埋土は２層で２層は東端に堆積し，アカホヤブロックを少量含む。第Ⅳ類土器が１点出土している。

土坑 11 号（第 76 図）Type 4

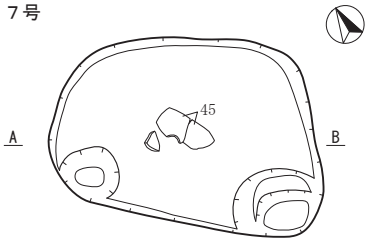
Ｂ－24 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 84cm，短径 80cm で，深さは 54cm である。北東端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でしまりがあり，アカホヤを少量含む。

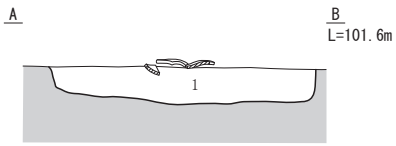
46 は磨消縄文と横位直線文が施される。胴部小片ではあるが，第Ⅵ類土器か第Ⅶ類土器のどちらかと考えられる。その他西平式系の土器片が３点出土している。

土坑 12 号（第 77 図）Type 1

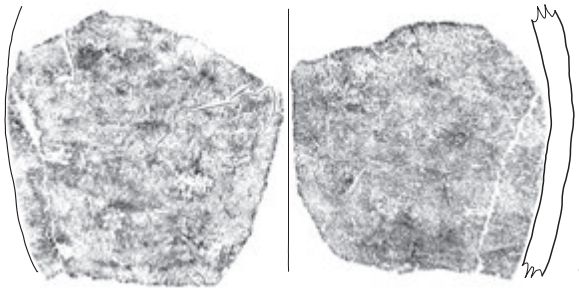
Ｃ－24 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 84cm，短径 63cm で，深さは 52cm である。埋土は２層で１層が２層を掘り込むように堆積している。両層ともアカホヤを含むが１層の方が多く含まれる。

７号

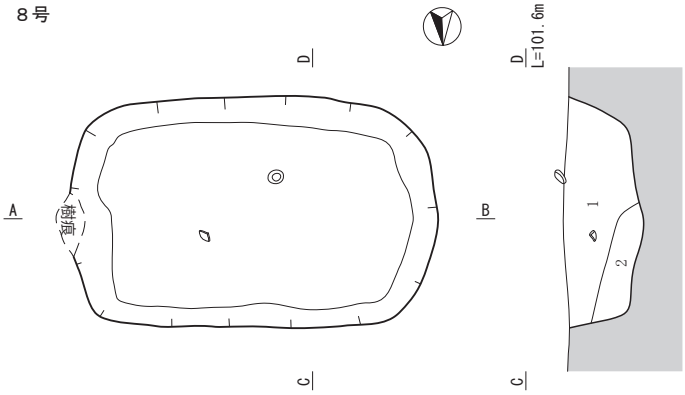


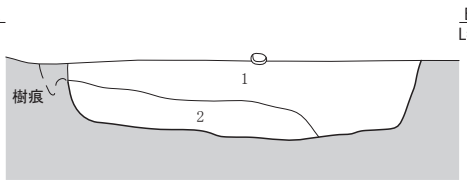


土坑７号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性やや有り。



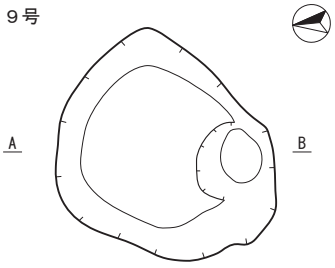
８号

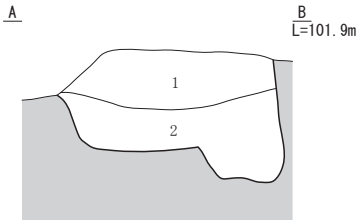




土坑８号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。径1～3㎜大のアカホヤ粒が混じる。
　　径3～50㎜大のアカホヤブロックを少量含む。
2　10YR2/1　黒色　径2～50㎜大のアカホヤブロックを多量に含む。

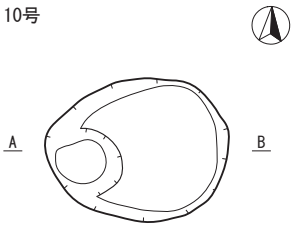
９号

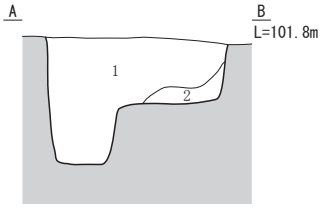




土坑９号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
2　10YR2/1　黒色　アカホヤブロックが少量混じる。

10号

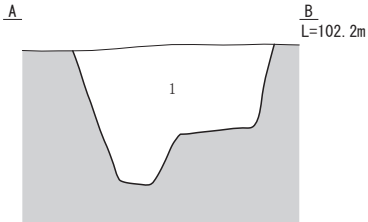




土坑10号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
2　10YR3/1　黒褐色　しまりやや有り。
　　アカホヤブロックが少量混じる。

11号





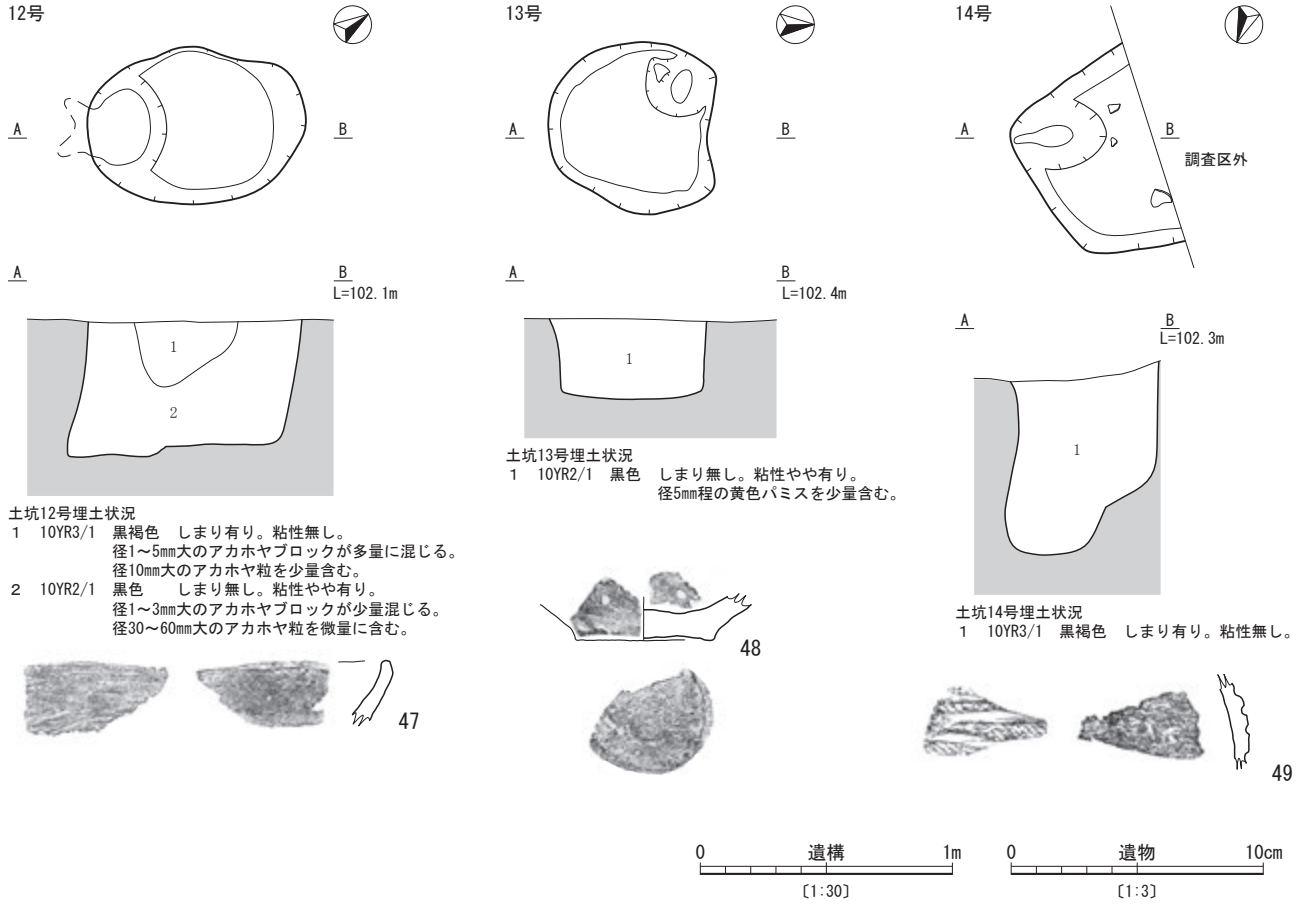
土坑11号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
　　径5～10㎜のアカホヤブロックが少量混じる。



0　遺構　1m
〔1:30〕

0　遺物　10cm
〔1:3〕

第 76 図　土坑７～ 11 号



第 77 図　土坑 12 ～ 14 号

47 は口縁端部に丸みをもち，少し内湾する。内外面ともに丁寧な横方向にヘラミガキされている。無文土器第Ⅹ -d 類と考えられる。

土坑 13 号（第 77 図）Type 4

Ｂ－ 25 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 67cm，短径 62cm で，深さは 32cm である。北西端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層で黄色パミスを少量含む黒色土が主体である。

48 はわずかに上げ底の底部である。底部から胴部に向かって外に開きながら立ち上がる。内外ともに横ナデで内面は一部剥落している。その他縄文時代後期と思われる土器片が 6 点出土している。

土坑 14 号（第 77 図）Type 4

Ｃ－ 26 区，Ⅲ層で検出された。調査外区との境で検出されたため平面形状は完全に検出できていないが，残存部から隅丸長方形を呈すると推察される。Ⅲ層で検出されたが，壁面観察から少なくともⅡｂ層に掘り込み面が存在したと考えられる。残存箇所で長径 42cm，短径 79cm，深さは 69cm である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

49 は磨消縄文と流水文様が施される胴部小片である。胎土・文様から第Ⅵ類土器の可能性が高い。その他縄文時代後期と思われる土器片が 5 点出土している。

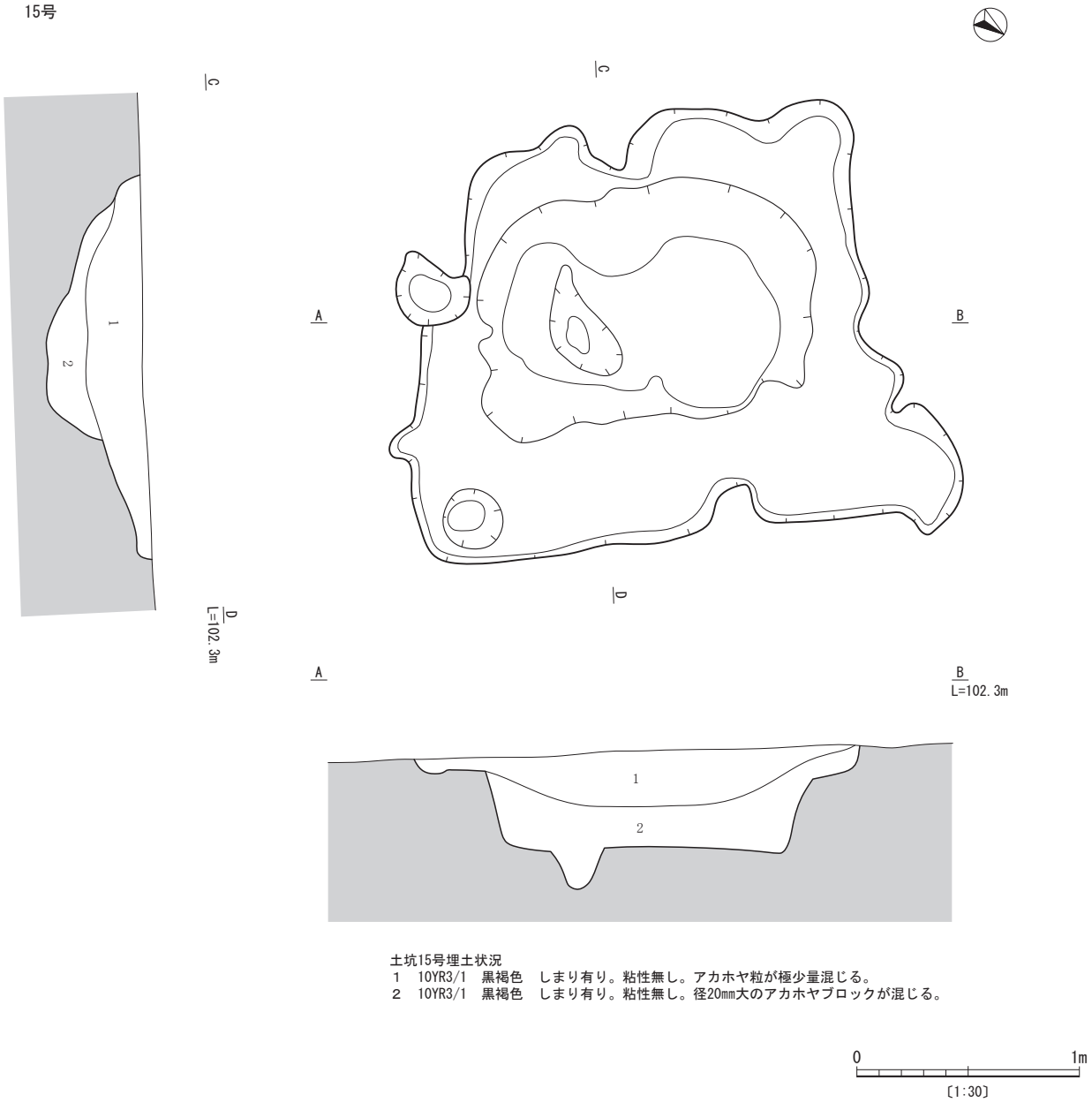
土坑 15 号（第 78 図）Type 4

Ｅ－ 24 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 197cm，短径 192cm で，深さは 64cm である。中央南側にピット状の掘り込みを伴う。埋土は 2 層で両層ともアカホヤを含む黒褐色土である。西平式系の土器片が 3 点出土している。

土坑 16 号（第 79 図）Type 1

Ｆ－ 25 区，Ⅱｃ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 132cm，短径 121cm で，深さは 55cm と大型の土坑である。北東端が削平を受けている。埋土は計 6 層でレンズ状に堆積する。１～５層からは炭化した堅果類が多く検出されており，ドングリの貯蔵穴の可能性も考えられる。年代測定の結果 1744calBC-1616calBC の測定値を得た。（第Ⅴ章第 6 節№ 31）

50 は平底の底部から胴部へと緩やかに湾曲し，胴部最大径から頚部へと緩やかに窄まり，口縁部の外反は緩い。胎土は小礫などの混和剤を多く含み，表面内面とも摩滅しており，調整は不明瞭であるが斜め方向への調整を行っている。無文土器第Ⅹ -c 類と考えられる。51 は西平式系土器の頚部である。内面は剥離があり調整は不明瞭である。外面調整は横方向にヘラミガキされている



第 78 図　土坑 15 号

が，やや粗い。52 は西平式系の粗製土器である。胴部に文様はなく，無文土器第Ⅹ -c 類か第Ⅸ類土器の可能性が考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片 20 点，剥片 1 点，磨製石斧 1 点，石皿 1 点，礫が 1 点出土している。

土坑 17 号（第 80 図）Type 1

Ｇ－ 27 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 53cm，短径 48cm で，深さは 48cm である。埋土は単層でアカホヤブロックを多量に含む黒褐色土が主体である。

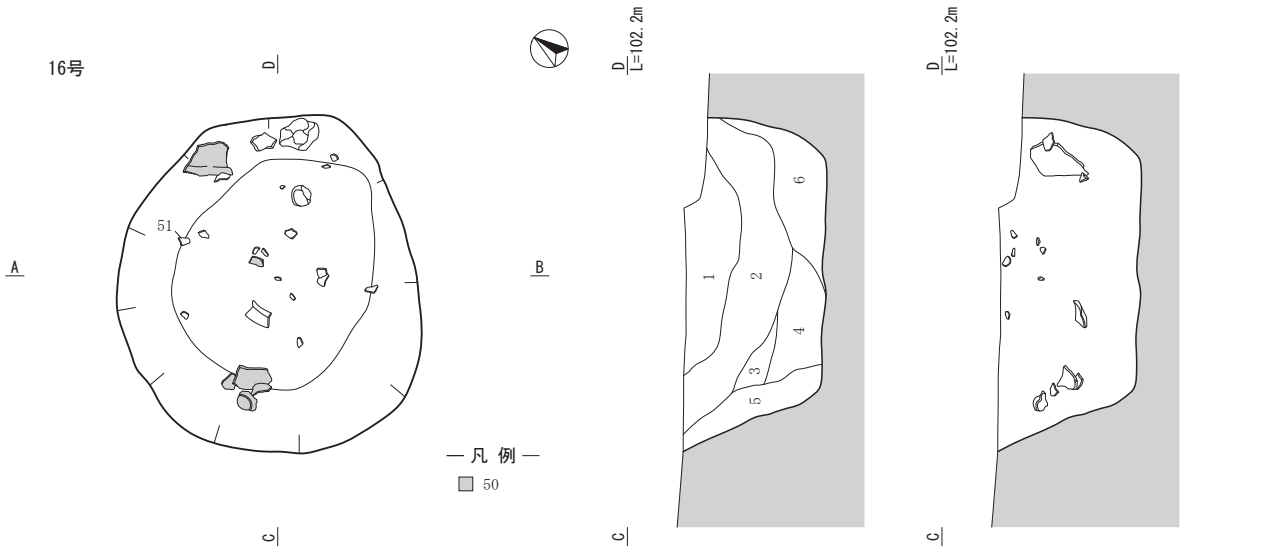
53 は磨消縄文と横位直線文を施す。第Ⅵ類土器とⅦ類土器のどちらの可能性も考えられるが，胎土は第Ⅵ類土器に近い。

土坑 18 号（第 80 図）Type 1

Ｇ－ 28 区，Ⅱｃ層中で検出された。平面形状は楕円形，長径 141cm，短径 106 ㎝で，深さは 43cm と大型の土坑である。直上からは石器集中部 13 号が検出されているが，石器は掘り込み上面で面的に出土しており，別遺構と判断した。埋土は２層でアカホヤブロックを多量に含む２層が主体である。

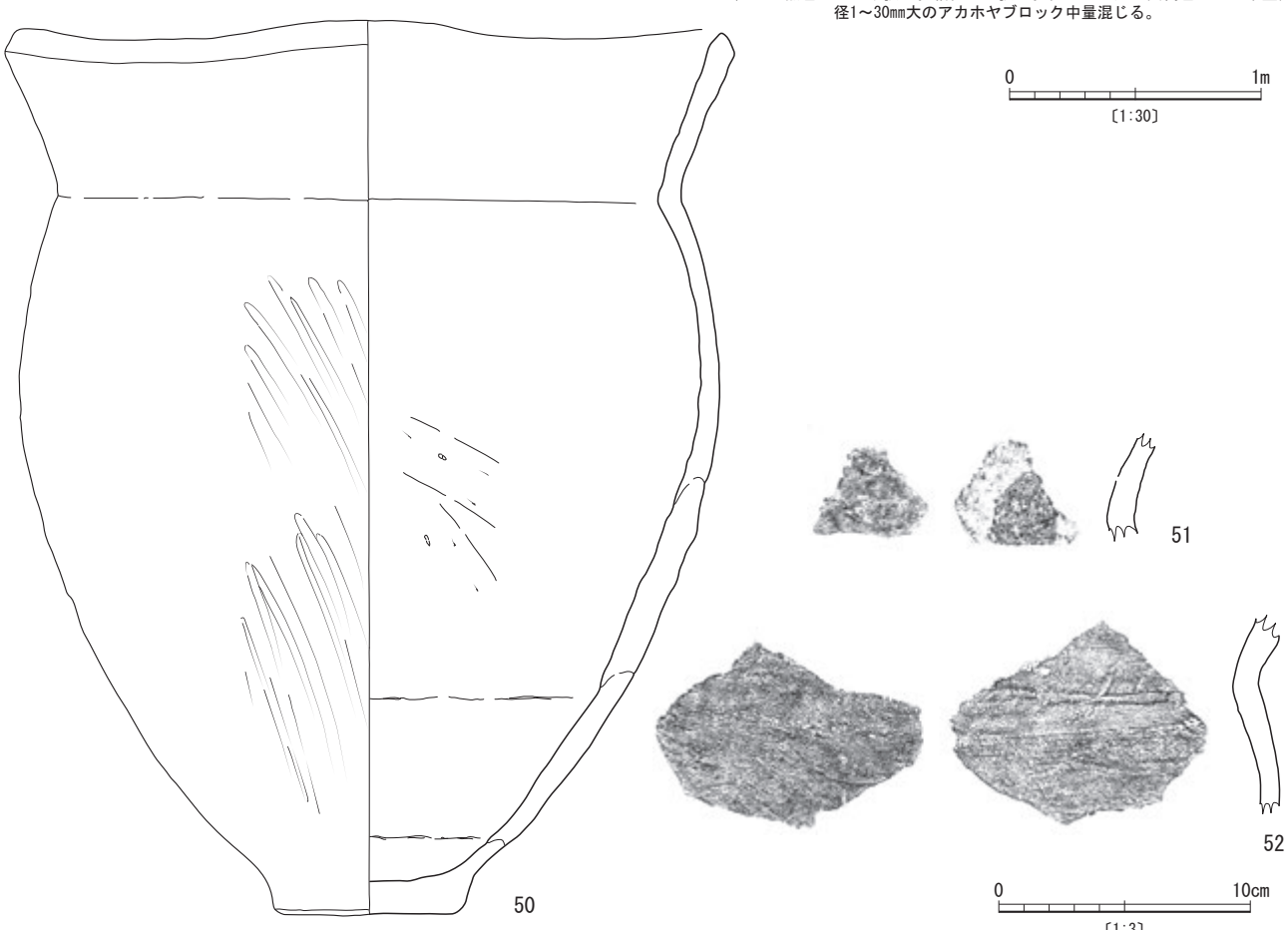
土坑 19 号（第 80 図）Type1

Ｆ－ 28 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，



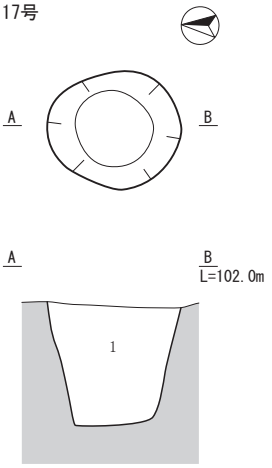
土坑16号埋土状況

1	10YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性有り。径1㎜大の白色パミス微量，径1㎜大の黄褐色パミス微量，径2～20㎜大の池田降下軽石微量に混じる。炭化した堅果実少量含む。
2	10YR2/1	黒色	しまり強い。粘性弱い。径1㎜大の黄褐色パミス少量，径1㎜大の白色パミス微量，径2～20㎜大の池田降下軽石微量，径1～40㎜大のアカホヤブロック少量混じる。炭化した堅果実少量含む。
3	7.5YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性弱い。径1㎜大の白色パミス微量。径1～5㎜大の黄褐色パミス少量。径10㎜大の池田降下軽石微量。径1～50㎜大のアカホヤブロック少量。炭化した堅果実少量含む。
4	10YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性弱い。径1～5㎜大の黄褐色パミス少量混じる。炭化した堅果実中量含む。
5	7.5YR2/1	黒色	しまりやや強い。粘性弱い。径1㎜大の白色パミス微量，径1～3㎜大の黄褐色パミス少量混じる。炭化した堅果実微量含む。
6	5YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性やや強い。径1～5㎜大の黄褐色パミス中量，径1～30㎜大のアカホヤブロック中量混じる。

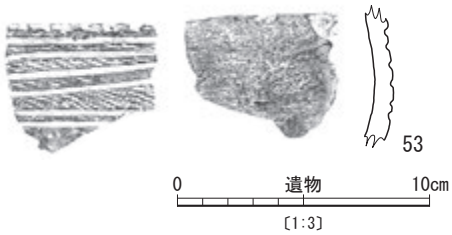


第 79 図　土坑 16 号

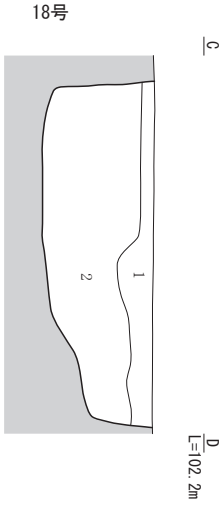
17号

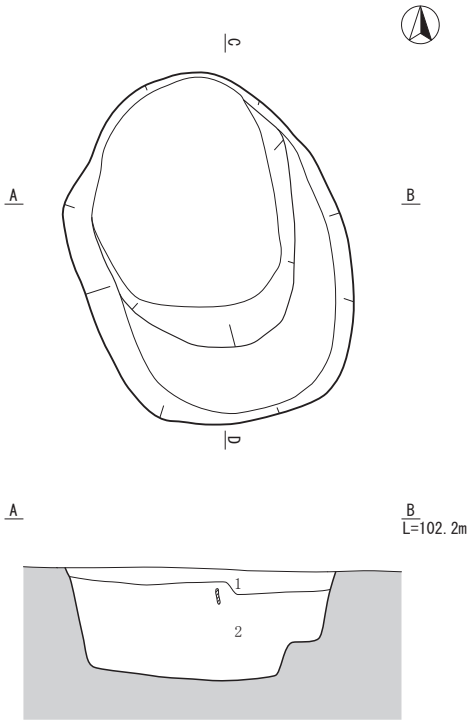


土坑17号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径5～10㎜の
アカホヤブロックが多量に混じる。



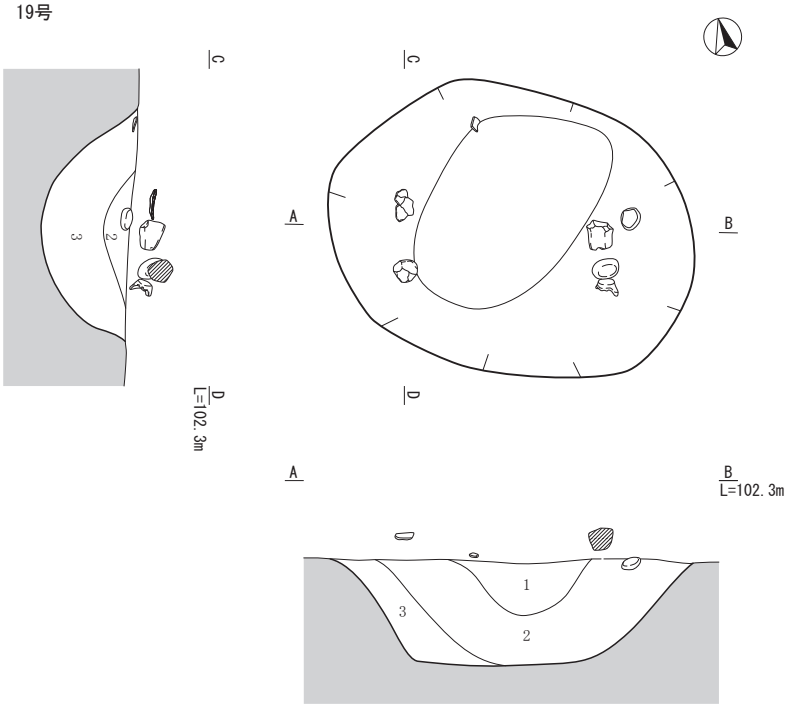
18号





土坑18号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。径10㎜のアカホヤブロックが微量に混じる。
2　10YR4/1　褐灰色　しまり無し。粘性有り。径2～50㎜程度のアカホヤブロックが多量に混じる。
径5㎜の池田降下軽石を少量含む。

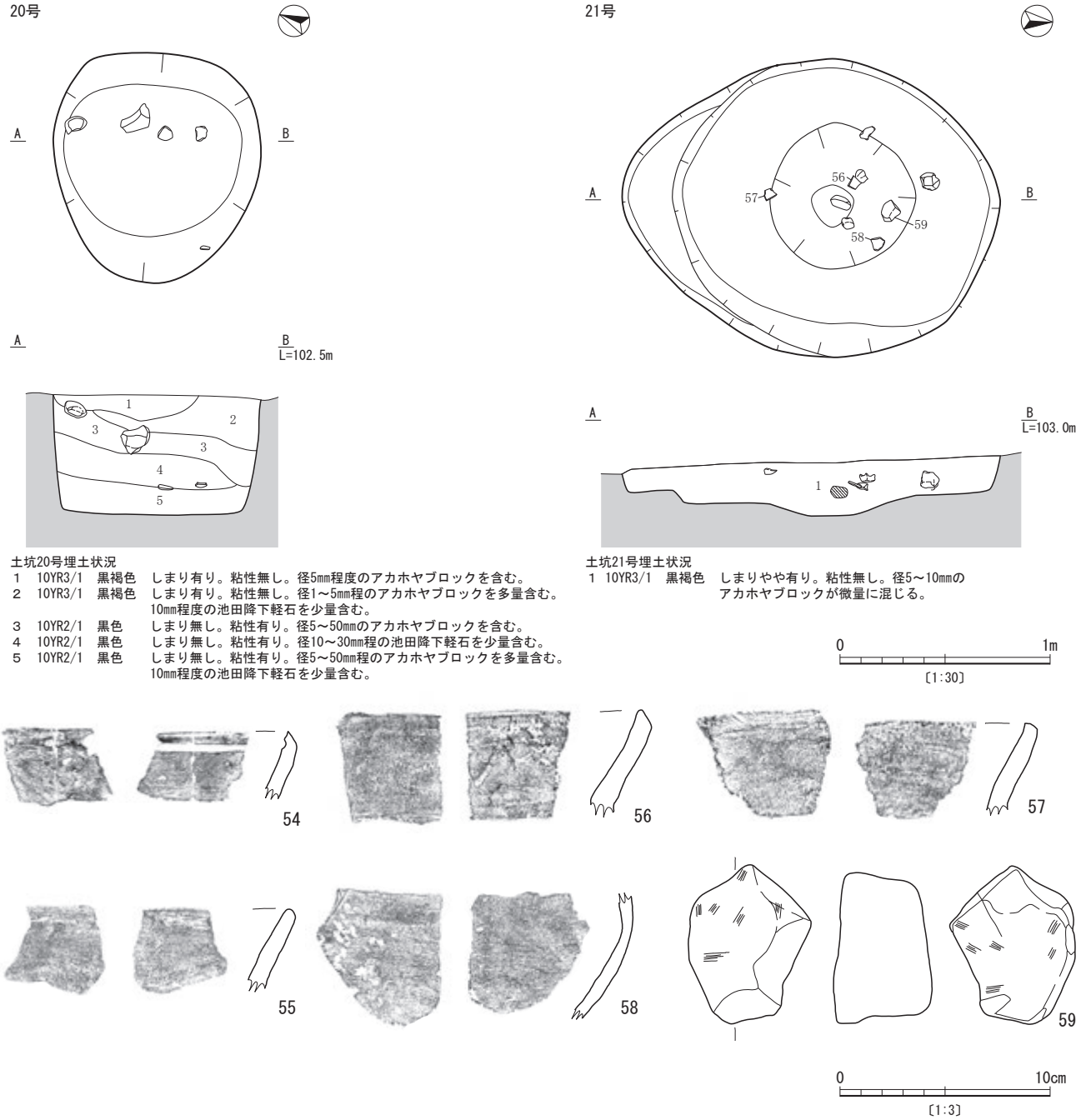
19号



土坑19号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
径1～5㎜の池田降下軽石を少量含む。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。径1～10㎜の池田降下軽石を
少量含む。径10～50㎜のアカホヤブロックを多量に含む。
3　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。径5～100㎜のアカホヤブロック
を多量に含む。径5～10㎜の池田降下軽石を少量含む。

0　遺構　1m
〔1:30〕

第 80 図　土坑 17 ～ 19 号



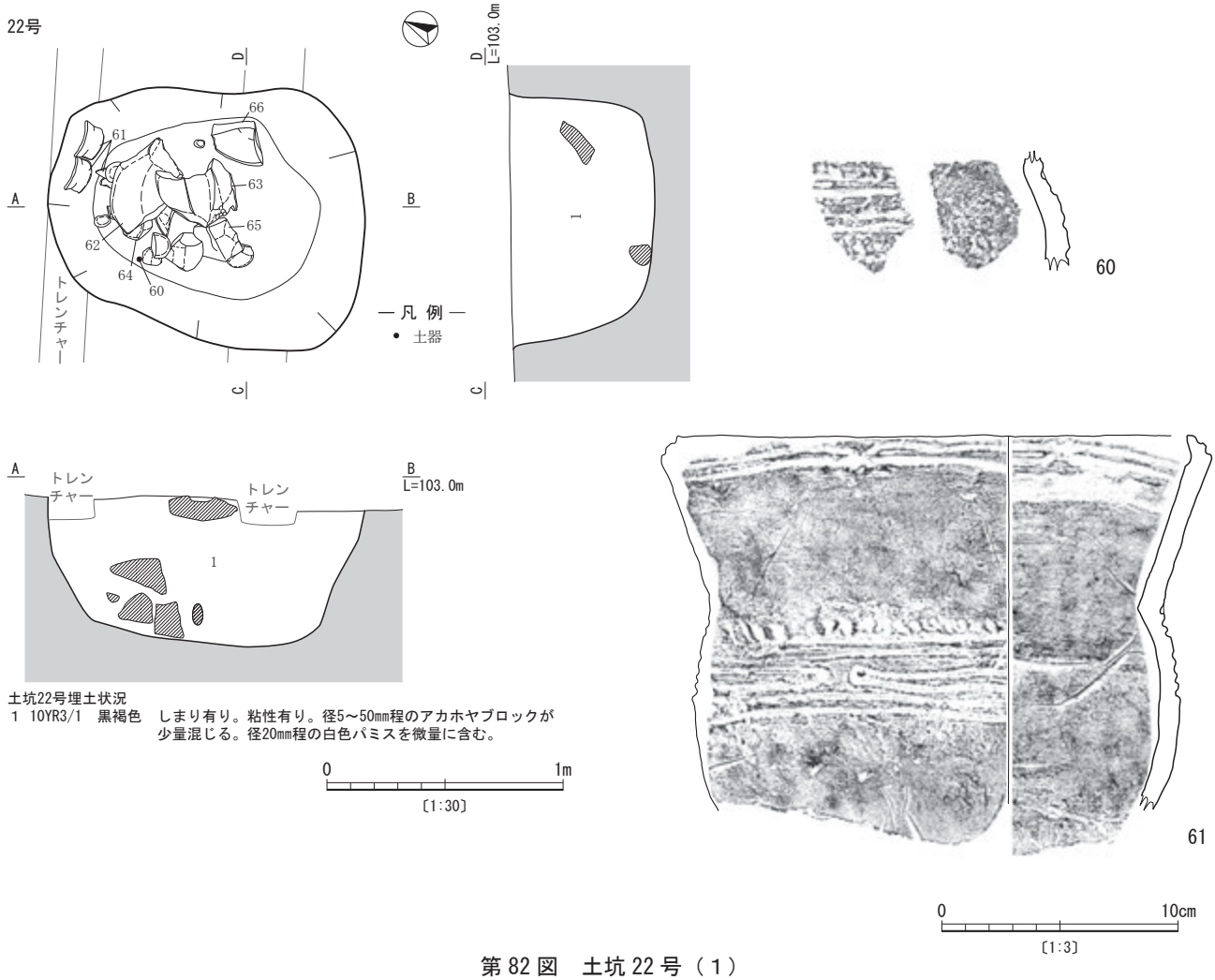
第 81 図　土坑 20・21 号

長径 149cm, 短径 111cm で，深さは 40cm と大型の土坑である。直上からは石器集中部 12 号が検出されている。埋土は３層でレンズ状に堆積するが，３層が西側に寄ることから西側から流入したと考えられる。西平式系の土器片２点，剥片１点，磨石が１点出土している。

土坑 20 号（第 81 図）Type 1

G－30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 109cm, 短径 98cm で，深さは 57cm である。埋土は計５層で，１・２層が黒褐色土，３～５層が黒色土である。底面はⅥ層上面まで到達している。

54 は口縁端部に狭い平坦面をもち，口縁部内部に沈線を施す。内外面共に丁寧にヘラミガキされているが，外面は斜め，内面は横方向に調整されている。無文土器第Ⅹ -a 類，第Ⅹ -b 類どちらかの特徴をもっている。55 は口縁端部が丸く，無文土器第Ⅹ -d 類の特徴をもつものの，調整は丁寧に内外面ともヘラミガキされている。口縁端部内面に沈線はないものの，無文土器第Ⅹ -b 類の可能性もある。その他西平式系の土器片 21 点，打製石斧１点，剥片１点，石皿が１点出土している。



土坑22号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。径5～50mm程のアカホヤブロックが少量混じる。径20mm程の白色パミスを微量に含む。

第 82 図　土坑 22 号（１）

土坑 21 号（第 81 図）Type 1

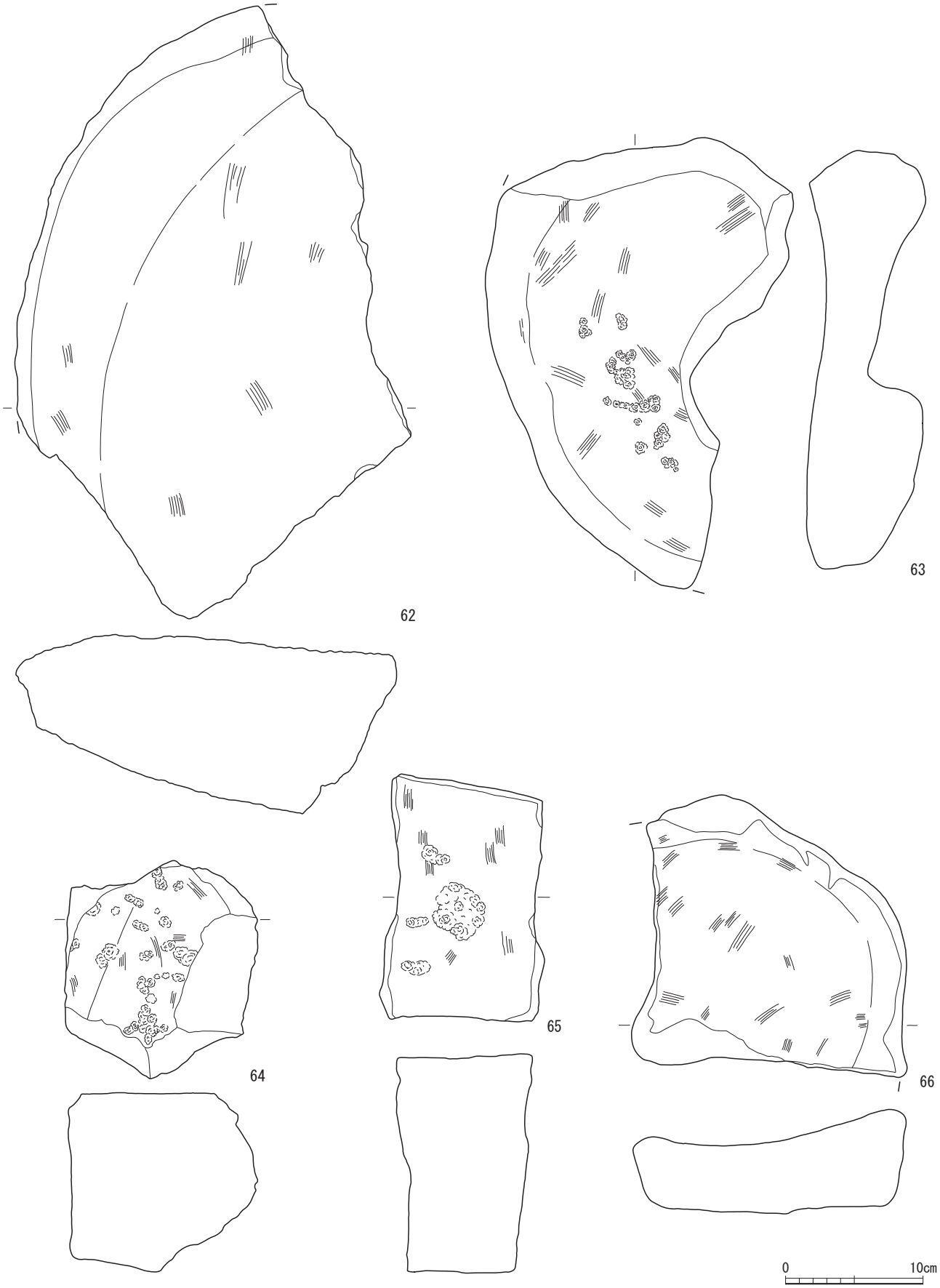
C・D－30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 179cm，短径 141cm で，深さは 25cm と大型の土坑である。埋土は単層でアカホヤを微量含む黒褐色土が主体である。

56 は口縁端部に狭い平坦面をもつ。調整は内外面とも横方向にヘラミガキされ，やや粗い調整である。口縁端部は丸くないものの，無文土器第Ｘ -d 類と考えられる。57 は口縁端部に狭い平坦面をもつが，56 とは異なる形状である。調整は 56 同様，やや粗い調整である。無文土器第Ｘ -d 類と考えられるが，56 とは別個体である。58 は西平式系土器の胴部片である。外面調整は横方向にやや粗くヘラミガキされている。胎土の色調は 56 とは異なるものの，焼成の差と考えられ，同一個体の可能性が高いと考える。59 は石皿の破片で，表裏面に擦り面を残している。被熱赤化している。その他型式不明の土器８点，石鏃未製品１点，礫が１点出土している。

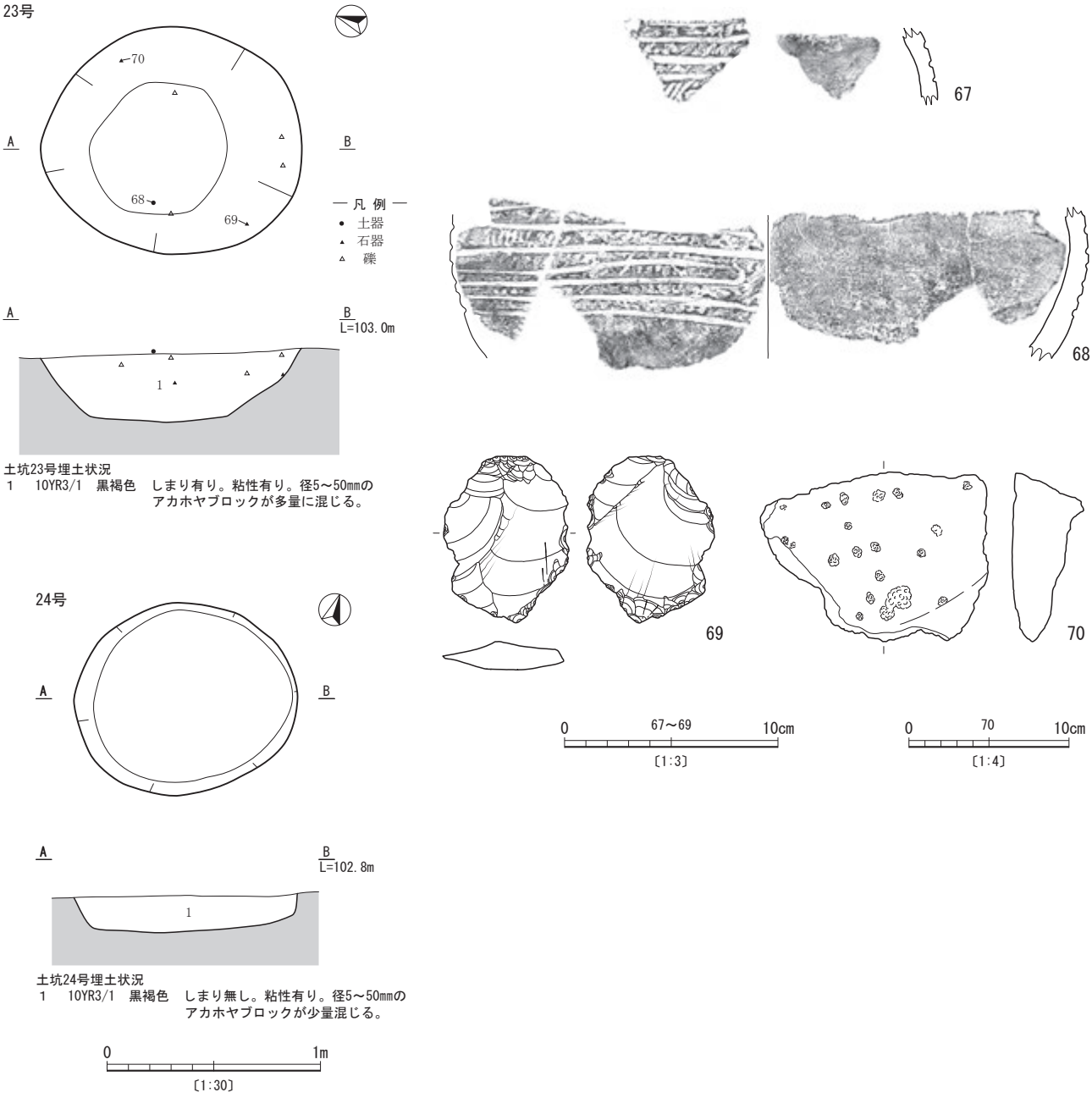
土坑 22 号（第 82・83 図）Type 1

C－30 区，Ｖａ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 144cm，短径 112cm で，深さは 55cm と大型の土坑である。上面はトレンチャーによる削平を受けている。埋土は単層でアカホヤブロックと白色パミスを含む黒褐色である。遺物は中央からまとまって出土した。

60 は小片で摩滅が激しく不明瞭な所も多いが，文様・胎土・焼成等が 61 と類似しており，同一個体の可能性が高い。61 は平口縁で，口縁端部に２条の沈線と内部に凹線を施す。頸部には刺突文が施されている。内面調整が横方向に丁寧にヘラミガキされ，外面よりも丁寧に調整がなされている。第Ⅵ類土器と考えられる。62 は長円形であったとみられる石皿の欠損品で，完形であれば長径 50 ㎝ほどの大型とみられる。上端から左側縁の中ほどまで石皿縁辺を留めている。使用面は表面のみで，やや擦り窪んだ一面がみられる。63 は楕円形であったとみられる石皿の欠損品で，左側縁に石皿縁辺を留めている。表面のみに擦り窪んだ使用面がみられる。被熱赤化している。なお，断面の裏面の抉れはトレンチャーに



第 83 図　土坑 22 号（２）



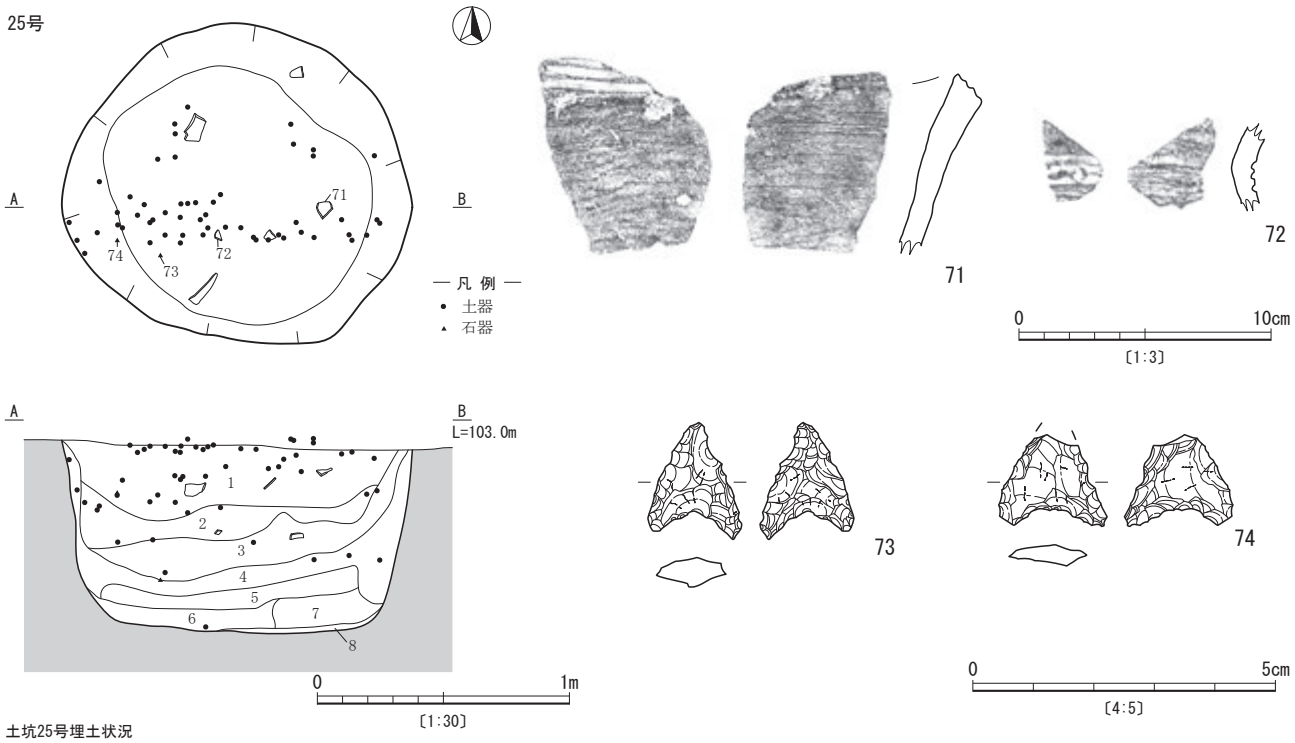
第 84 図　土坑 23・24 号

よる破損である。64 は石皿の破片で，表面のみを使用面として擦り面がみられる。被熱赤化している。65 は厚みのある石皿の破片で，表裏面に擦り面をもち，部分的に敲打痕がみられる。66 は不整な円形であったとみられる石皿の欠損品で，上端から右側縁に石皿縁辺を留めている。表面のみに擦り窪んだ使用面がみられる。被熱赤化している。その他縄文時代後期と思われる土器片４点，型式不明の土器片 27 点，剥片１点，磨敲石５点，磨石１点，石皿が２点出土している。

土坑 23 号（第 84 図）Type 1

Ｃ－ 30 区，Ｖａ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 122cm，短径 106cm で，深さは 32cm と大型の土坑である。埋土は単層でアカホヤブロックを多量に含む黒褐色土が主体である。

67 と 68 は胴部で，磨消縄文と横位流水文，第Ⅶ類土器の簡略化「χ」の一部を施す。文様・胎土・焼成等が類似しており，接合していないものの同一個体の可能性が高く，第Ⅷ類土器と考えられる。69 は表面に同一打面からの粗い剥離面をもつ不定形剥片である。下縁に砕けたような剥離が生じており，楔形石器の可能性がある。70 は石皿の破片で一面を留めている。粗い擦り面と弱い敲打痕がみられる。被熱赤化している。その他西平式系の土器片７点，剥片１点，磨敲石が１点出土している。



土坑25号埋土状況

1	10YR5/3	にぶい黄褐色	しまり有り。粘性有り。
2	10YR2/2	黒褐色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤが多量に混じる。径10㎜のアカホヤ粒少量含む。
3	10YR2/2	黒褐色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤが多量に混じる。径20㎜のアカホヤ粒少量含む。
4	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤが混じる。径10㎜の池田降下軽石を極少量含む。
5	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤが混じる。 径10～50㎜の橙色ブロック混じる。径10㎜以下の池田降下軽石極少量混じる。
6	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤ少量混じる。 径10～50㎜の橙色土,にぶい黄褐色土ブロックが多量混じる。径10㎜以下の池田降下軽石極少量含む。
7	10YR1.7/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤ混じる。 径10～100㎜の橙色ブロック混じる。炭化物，炭化種子少量含む。
8	10YR1.7/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5㎜以下のアカホヤ少量混じる。 径10～50㎜のアカホヤブロック少量混じる。径10㎜以下の池田降下軽石少量混じる。炭化物，炭化種子多量含む。

第 85 図　土坑 25 号

土坑 24 号（第 84 図）Type 1

Ｃ－ 31 区，Ｖａ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 105cm，短径 91cm で，深さは 17cm である。埋土は単層でアカホヤブロックを少量含む黒褐色土が主体である。西平式系の土器片が３点出土している。

土坑 25 号（第 85 図）Type 1

Ｃ－ 31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 138cm，短径 125cm で，深さは 74cm と大型の土坑である。埋土は計８層であるが人為堆積か自然堆積か不明である。７・８層は炭化物を含んでおり，年代測定の結果，1636-1517calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№ 35）

71 は口縁端部に平坦面をもち，２条の沈線を施す。頚部から口縁部にかけては無文で，口縁部は肥厚する。内外面とも横方向にやや粗くヘラミガキされている。第Ⅸ類土器と考えられる。72 は頚部の小片で，緩やかな稜をもつ。刺突文と横位沈線文を薄く施してある。71 とは胎土・焼成等が異なり別個体と考える。73 は頁岩８製の石鏃で，やや雑な調整剥離により，基部の抉入が比較的深い左右非対称の形状を呈する。74 は頁岩２製の石鏃で，雑な周縁調整により基部の抉入が浅い不整形を呈する。先端側の上部を欠損する。その他西平式系の土器片４点，型式不明の土器片 10 点，石鏃２点，礫器１点，石皿が１点出土している。

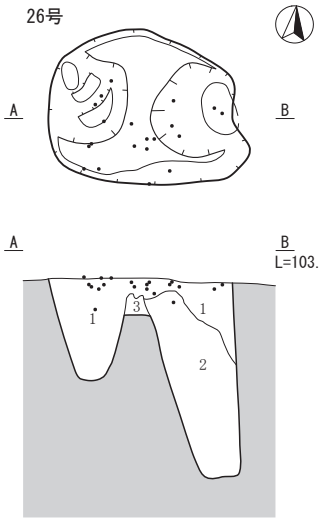
土坑 26 号（第 86 図）Type 4

Ｃ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 73cm，短径 61cm で，深さは 77cm である。東西端にピット状の掘り込みを伴う。東側の掘り込みが西側に対して深い。埋土は３層で２層にオレンジパミスを含む。

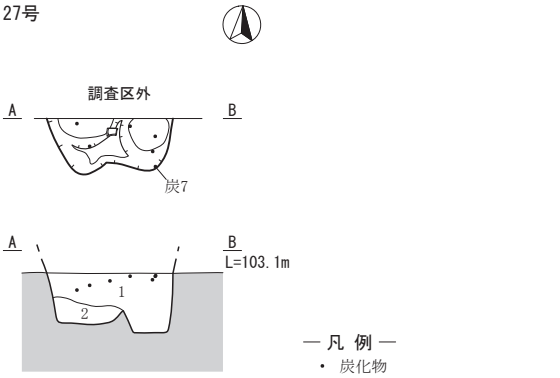
75 の内面は貝殻条痕による調整後，ナデ消されている。外面には貝殻条痕による調整はみられず，沈線が３条みられる。胎土は金雲母を多く含む。第Ⅴ -b 類土器か第Ⅴ -c 類土器の可能性が高い。その他型式不明の土器片が１点出土している。

土坑 27 号（第 86 図）Type 4

Ｃ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。調査区端で検出されたため，完全に検出できていない。東端にピット状の掘り込みを伴う。平面プランが不明瞭だったため，やや掘り下げてから検出された。そのため本来の掘り込み面はⅢ層よりも上面に存在していたと考えられる。残存



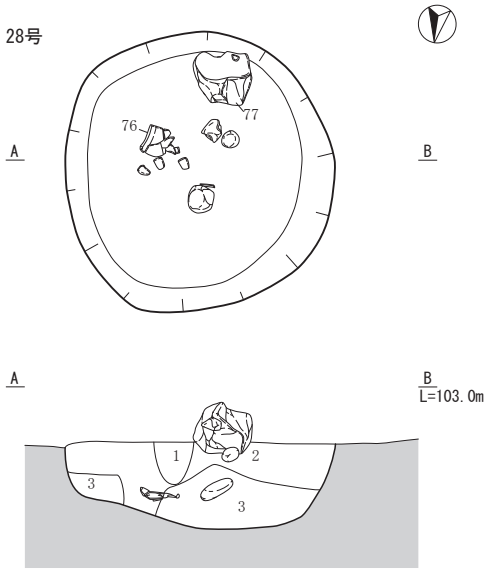
土坑26号埋土状況
1　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。池田降下軽石少量混じる。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。径10㎜程のオレンジパミス，径5㎜以下のオレンジパミス混じる。
3　10YR5/8　黄褐色　炭化物，遺物出土。



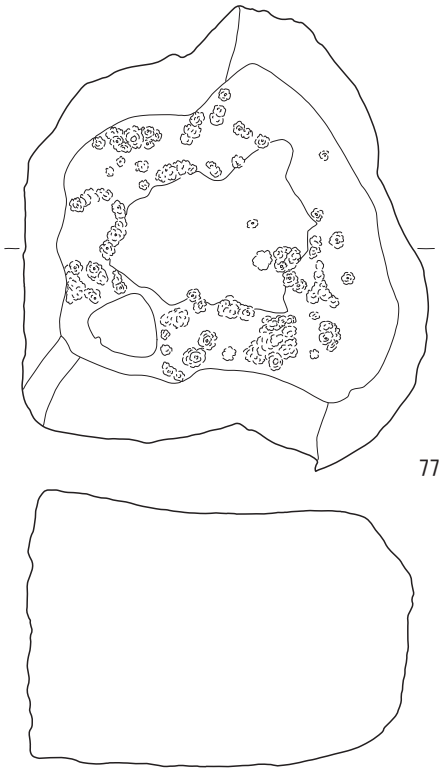
土坑27号埋土状況
1　7.5YR2/1　黒褐色　しまり無し。粘性無し。径5～10㎜のアカホヤ混じる。
2　7.5YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。径1㎜以下のアカホヤ混じる。石粒多量含む。







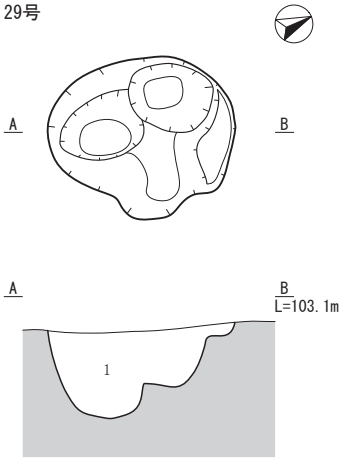
土坑28号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。橙色，白色パミス少量混じる。
2　10YR2/2　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径30㎜のアカホヤブロック混じる。径10㎜以下の池田降下軽石を極少量含む。
3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径5～100㎜のアカホヤブロック多量に混じる。径10㎜の池田降下軽石を極少量含む。



0　遺構　1m　〔1:30〕
0　遺物　10cm　〔1:3〕

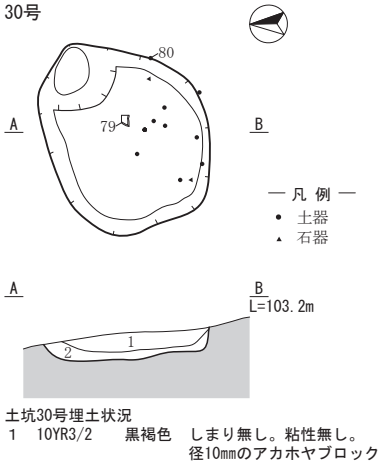
第 86 図　土坑 26 ～ 28 号

29号

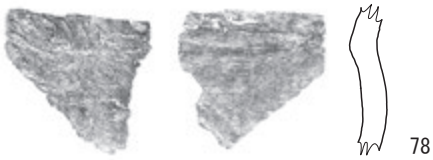


土坑29号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

30号



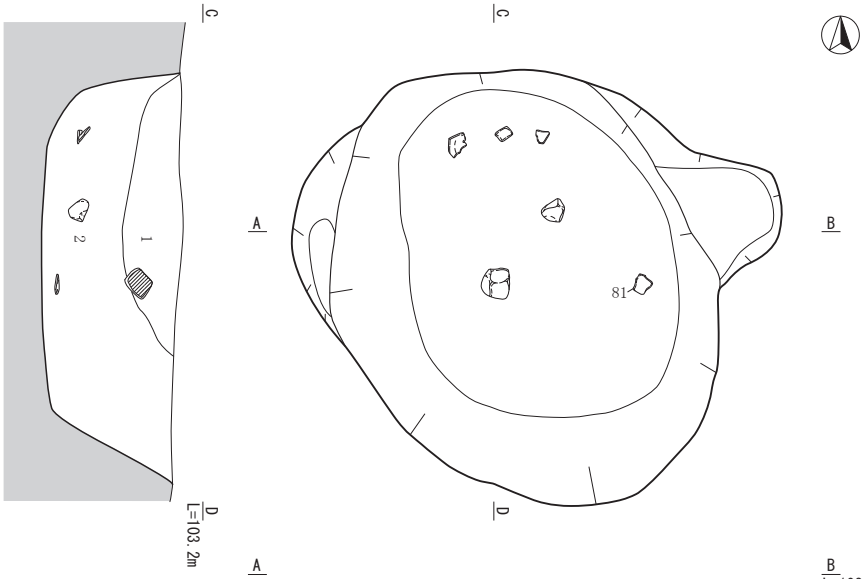
土坑30号埋土状況
1　10YR3/2　黒褐色　しまり無し。粘性無し。
　　径10㎜のアカホヤブロック混じる。径5㎜以下の橙色パミス含む。
2　10YR1.7/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
　　アカホヤブロック少量混じる。径1㎜のパミス・石粒混じる。


78

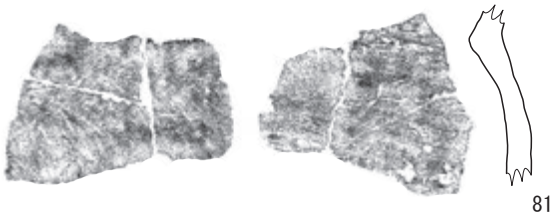

79


80

31号



土坑31号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。橙色パミスが少量混じる。
2　10YR4/2　灰褐色　しまり有り。粘性有り。径50㎜のアカホヤブロックが混じる。

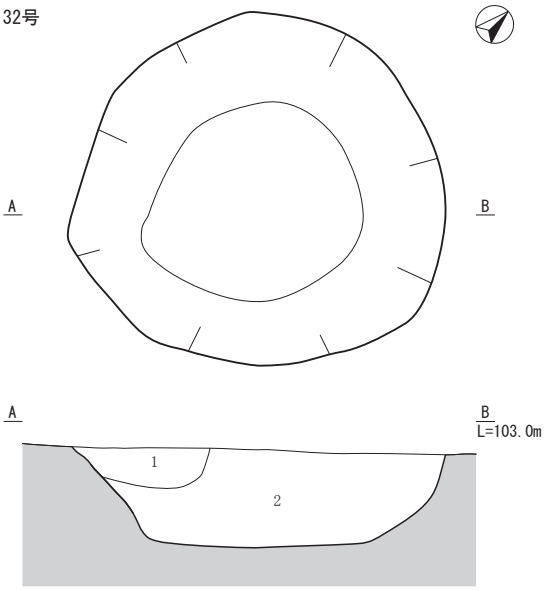

81

0　遺構　1m
〔1:30〕

0　遺物　10cm
〔1:3〕

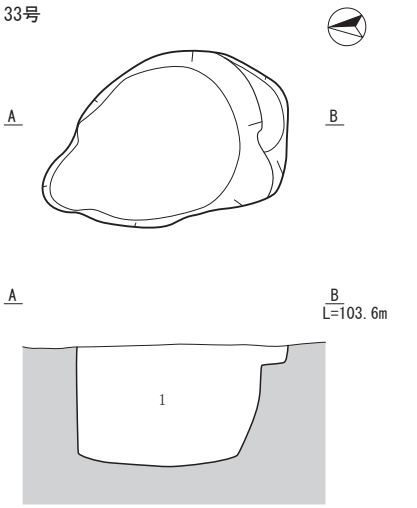
第 87 図　土坑 29 ～ 31 号

32号



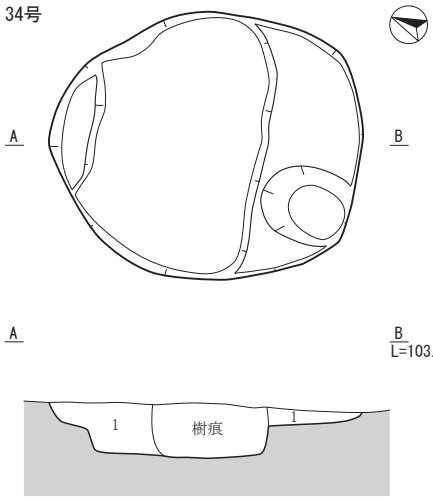
土坑32号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径5㎜のアカホヤを微量に含む。
2　10YR4/1　褐灰色　しまり有り。粘性有り。径5㎜～50㎜のアカホヤブロックを多量に含む。

33号



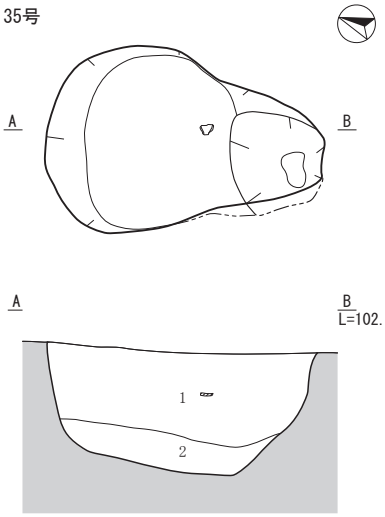
土坑33号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性有り。
径5㎜程度のアカホヤが少量混じる。

34号



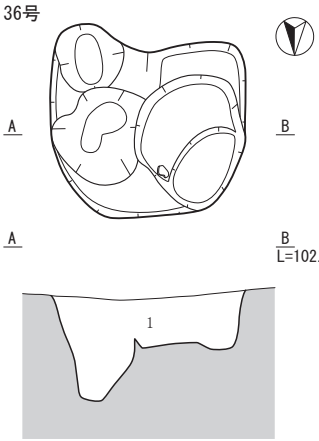
土坑34号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまりやや有り。粘性無し。橙色パミス極少量含む。

35号

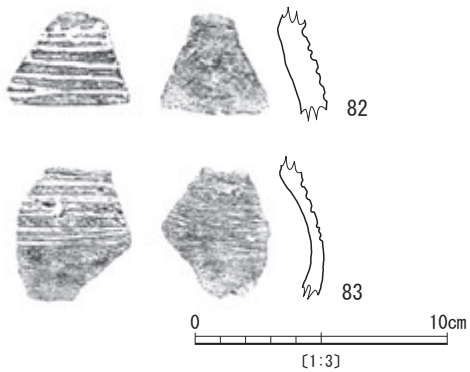


土坑35号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
径5㎜のアカホヤを少量含む。
2　10YR4/1　褐灰色　しまり無し。粘性有り。径5～50㎜程の
アカホヤブロックが少量混じる。

36号



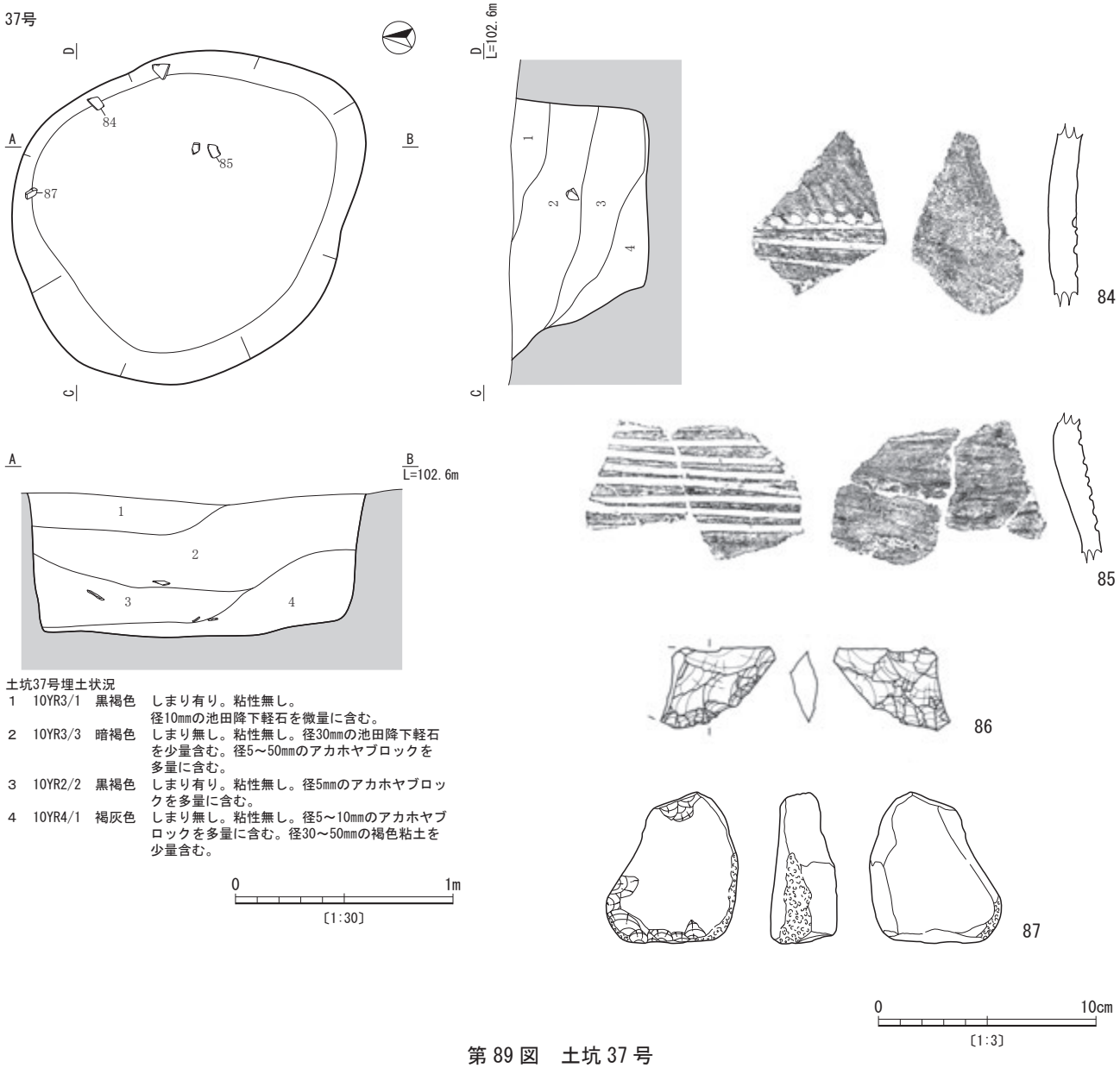
土坑36号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
径50㎜程度の橙色パミスが極少量混じる。



0　1m
〔1:30〕

0　10cm
〔1:3〕

第 88 図　土坑 32 ～ 36 号



土坑37号埋土状況

1	10YR3/1	黒褐色	しまり有り。粘性無し。径10㎜の池田降下軽石を微量に含む。
2	10YR3/3	暗褐色	しまり無し。粘性無し。径30㎜の池田降下軽石を少量含む。径5～50㎜のアカホヤブロックを多量に含む。
3	10YR2/2	黒褐色	しまり有り。粘性無し。径5㎜のアカホヤブロックを多量に含む。
4	10YR4/1	褐灰色	しまり無し。粘性無し。径5～10㎜のアカホヤブロックを多量に含む。径30～50㎜の褐色粘土を少量含む。

第 89 図　土坑 37 号

箇所で長径 50cm, 短径 22cm, 深さは 23cm である。埋土は２層で，縄文時代後期と思われる土器片１点，炭化物が出土している。炭化物（取上番号７）は年代測定の結果, 1636-1518calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№33）

土坑 28 号（第 86 図）Type 1

Ｄ－31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 113cm, 短径 107cm で，深さは 33cm と大型の土坑である。埋土は３層で３層はアカホヤブロックを多量に含む。

76 は頚部から口縁部までの破片で，頚部に連続刺突文と沈線を施文する。器面が凹凸しているが内外ともにミガキ調整である。77 は石皿の欠損品で，右側縁に石皿縁辺を留めている。表面のみが使用され，緩く窪んだ擦り面と敲打痕がみられる。被熱している。その他第Ⅵ類の土器片６点，型式不明の土器片 74 点，磨敲石３点，石皿が１点出土している。

土坑 29 号（第 87 図）Type 4

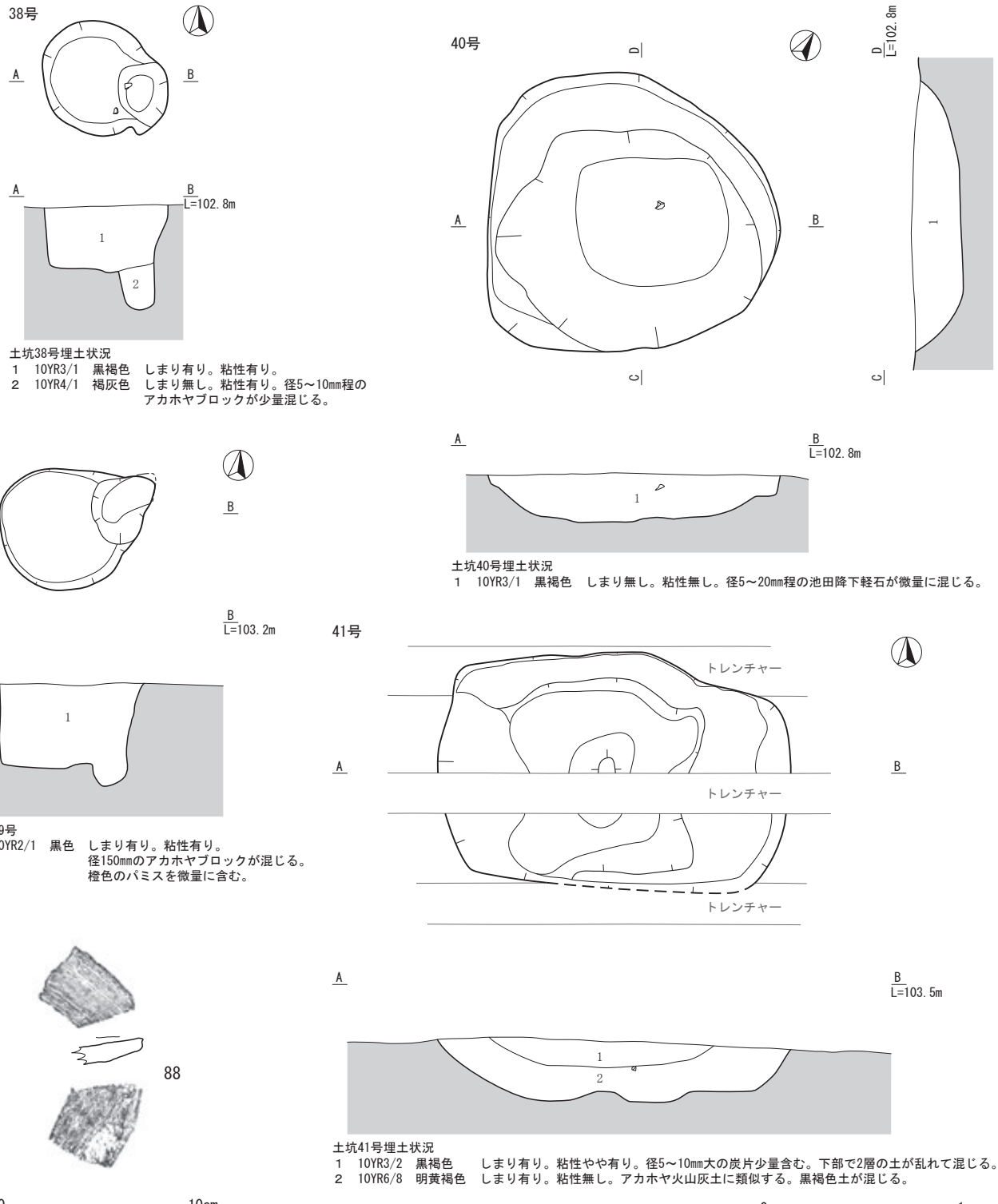
Ｃ－32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 74cm, 短径 63cm で，深さは 34cm である。西側にピット状の掘り込みを２つ伴う。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

78 は緩やかな稜をもつ頚部で，無文である。内外面ともヘラミガキされ，外面は頚部付近が斜め方向，胴部は横方向に，内面は横方向に調整されている。西平式系土器である。

土坑 30 号（第 87 図）Type 1

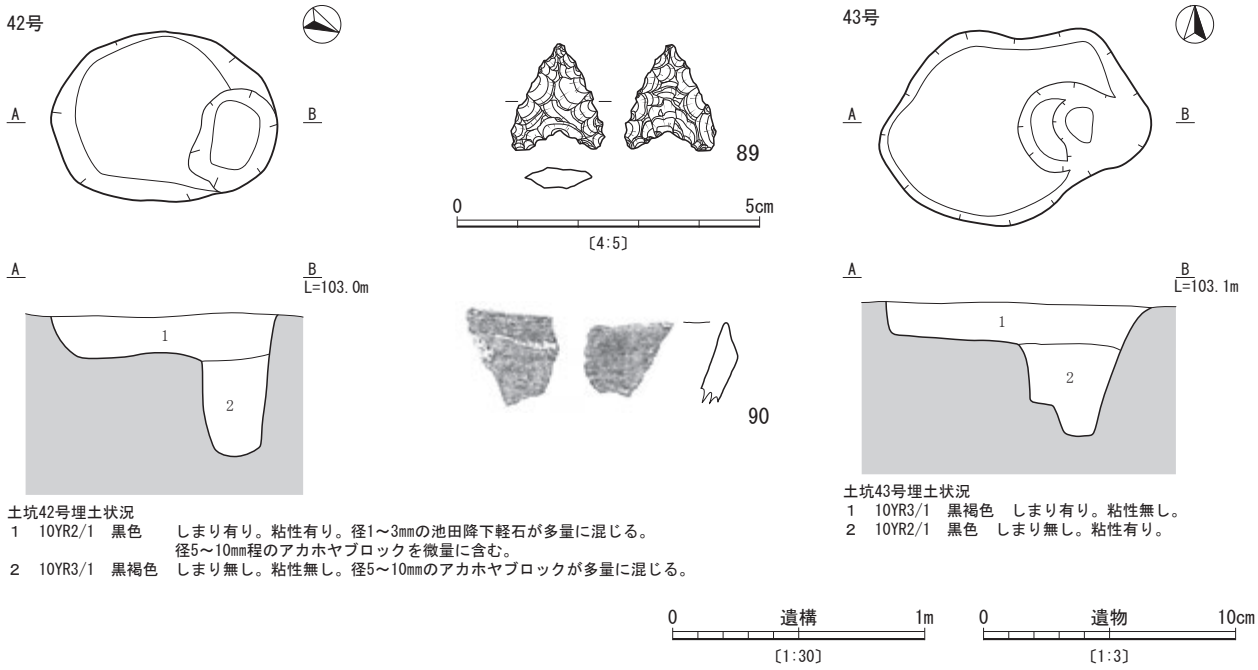
Ｃ－33 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 82cm, 短径 64cm で，深さは９cm と浅い。北東端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で両層にアカホヤブロックが含まれる。

79 の口縁部は「く」の字状で，屈曲部内部に凹みが



第 90 図　土坑 38 ～ 41 号

巡る。口縁端部に３条沈線と磨消縄文を施す。施文の順番としては磨消を施してから沈線を施しているが，一様に沈線を巡らせるのではなく，刺突文で沈線を区切っている。沈線間でみると磨消縄文が入っている所と入っていない所があるなど，施文を丁寧に行っている。80 は頚部の一部が残る胴部片である。頚部には連続性が乏しい刺突文と胴部に流水文様が施される。79 と 80 は焼成に差異がみられるものの，胎土は類似し，接合はしていないものの同一個体と考えられる。口縁部形状は第Ⅶ類土器に近い。しかし総合的に判断すると第Ⅵ類土器の可能性が高い。その他第Ⅴ類土器と思われる土器片２点，西平式系の土器片３点，型式不明の土器片が 11 点出土



土坑42号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性有り。径1～3㎜の池田降下軽石が多量に混じる。
　　径5～10㎜程のアカホヤブロックを微量に含む。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性無し。径5～10㎜のアカホヤブロックが多量に混じる。

土坑43号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

第 91 図　土坑 42・43 号

している。

土坑 31 号（第 87 図）Type 3

Ｃ－33･32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 194cm，短径 171cm で，深さは 57cm である。埋土は２層で２層にアカホヤブロックを含む。

81 は緩やかな稜をもつ。調整は内外面ともやや粗くヘラミガキされている。西平式系の粗製土器の頚～胴部である。その他第Ⅴ類の土器片５点，西平式系の土器片が 20 点出土している。

土坑 32 号（第 88 図）Type 1

Ｃ－33 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 151cm，短径 139cm で，深さは 39cm と大型の土坑である。埋土は２層で，アカホヤブロックを多量に含む２層が主体である。西平式系の土器片が１点出土している。

土坑 33 号（第 88 図）Type1

Ｃ－34 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 104cm，短径 65cm で，深さは 48cm である。埋土は単層でアカホヤを少量含む黒色土が主体である。西平式系の土器片が４点出土している。

土坑 34 号（第 88 図）Type 1

Ｅ－31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 124cm，短径 105cm で，深さは 21cm と大型の土坑である。埋土は単層であるが中央は樹痕による攪乱を受けている。西平式系の土器片６点出土している。

土坑 35 号（第 88 図）Type 4

Ｅ・Ｆ－30・31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 111cm，短径 72cm で，深さは 48cm である。東端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で両層ともアカホヤを少量含む。

82 は頚部に刺突文を施すが連続性に欠ける。胴部は横位流水文を施し，磨消縄文はみられない。第Ⅵ類土器の可能性が高い。その他第Ⅵ類の土器片１点，西平式系の土器片が６点出土している。

土坑 36 号（第 88 図）Type 4

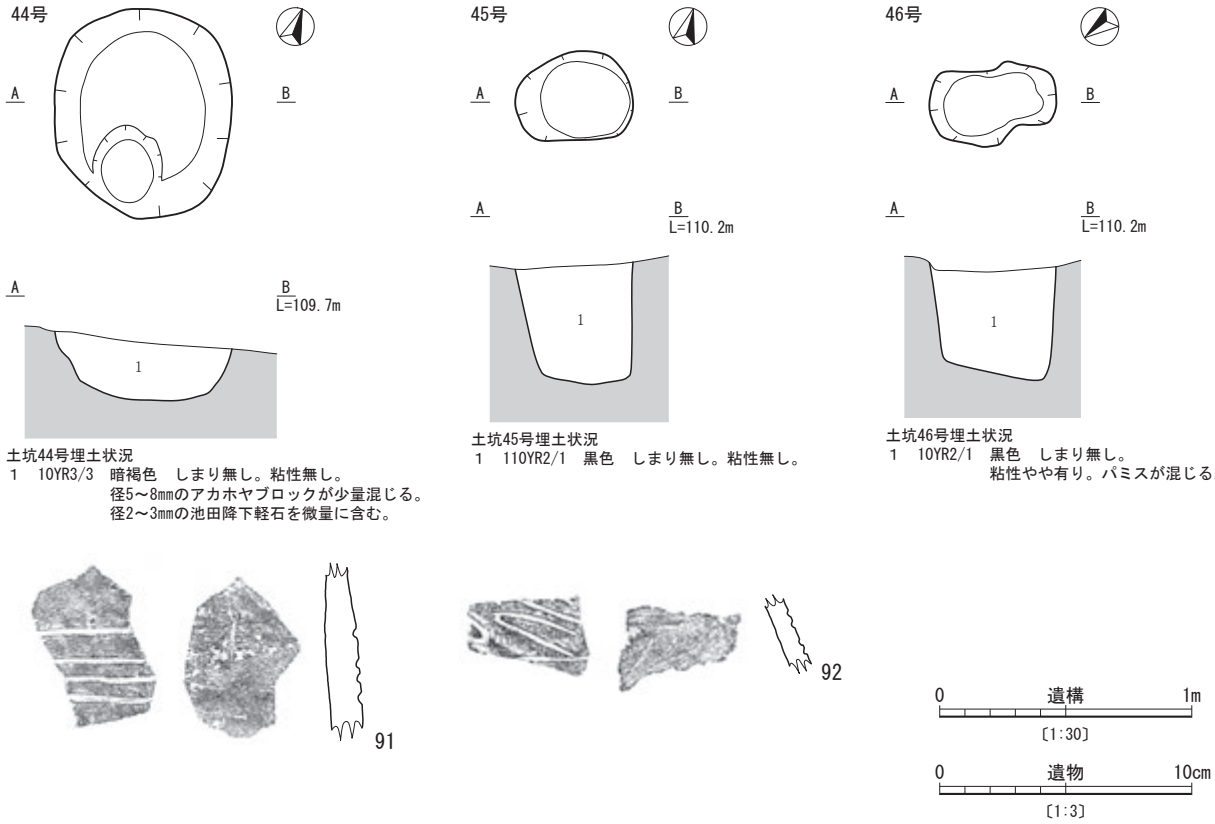
Ｅ－31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 77cm，短径 70cm で，深さは 41cm である。東端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層で橙色パミスをわずかに含む黒色土が主体である。

83 は頚部付近で，胴部には磨消縄文と横位直線文を施す。ハート形の凹点が入る。第Ⅶ類土器と考えられる。

土坑 37 号（第 89 図）Type 1

Ｆ－31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 174cm，短径 146cm で，深さは 62cm と大型の土坑である。埋土は計４層で，東方向に傾斜するように堆積する。３・４層にアカホヤブロックが多量に含まれる。

84 は頚部に明瞭な稜をもたず，緩やかに口縁部へ立ち上がる。連続刺突と横位直線文を施す。胎土に金雲母を多く含む。器形等から第Ⅴ類土器のいずれかに該当すると考えられる。85 は 84 同様，頚部に明瞭な稜をもたず，横位直線文を施す。84 とは別個体である。本遺構からは西平式系粗製土器の破片が出土しており，西平式系土器の可能性もある。86 は玉髄製の二次加工剥片である。左側面は欠損しており，一端を尖らせ，下縁を細かい整形剥離で弧状に整えている。上縁の剥離はやや粗く，加工時に欠損した可能性がある。87 は磨敲石の破片を用いたとみられる敲石で，表面に擦り面を残してい



第 92 図　土坑 44 ～ 46 号

る。上下端の割れ面に敲打による小剥離が生じている。その他剥片が３点出土している。

土坑 38 号（第 90 図）Type 4

Ｅ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 66cm，短径 54cm で，深さは 51cm である。西端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で２層はピット状の掘り込みに堆積する。第Ⅻ類の土器片１点，型式不明の土器片が１点出土している。

土坑 39 号（第 90 図）Type 4

Ｅ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 81cm，短径 61cm で，深さは 50cm である。北東にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でアカホヤブロックと橙色パミスを含む黒色土が主体である。西平式系の土器片が１点出土している。

土坑 40 号（第 90 図）Type 1

Ｆ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 145cm，短径 139cm で，深さは 24cm と大型の土坑である。埋土は単層で池田降下軽石を微量に含む黒褐色土が主体である。西平式系の土器片５点，剥片が１点出土している。

土坑 41 号（第 90 図）Type 2

Ｆ－ 32 区，Ⅱｂ層で検出された。トレンチにより削平を受けるが，平面形状は隅丸長方形，長径 174cm，短径 116cm で，深さは 30cm と大型の土坑である。埋土は２層で埋土２は黒褐色土が混ざる明黄褐色土である。

88 は台付皿形土器である。内面は丁寧にミガキ調整が行われ，沈線で文様が描かれる。磨消縄文系土器の頃の台付皿形土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器 14 点，剥片１点，磨敲石１点が出土している。

土坑 42 号（第 91 図）Type 4

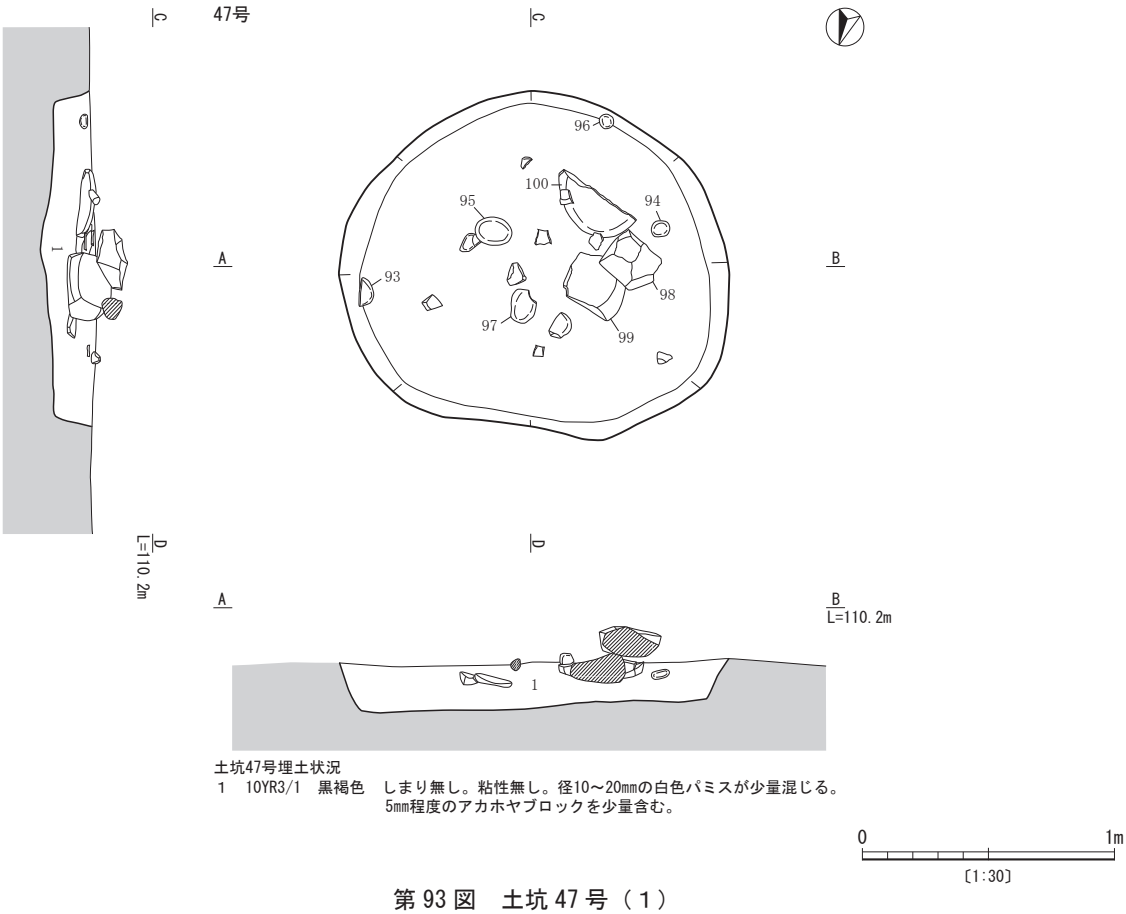
Ｆ－ 33 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 90cm，短径 66cm で，深さは 57cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層でピット状の掘り込みにはアカホヤブロックを多量に含む黒褐色土が堆積する。

89 は頁岩の石鏃で，比較的粗い調整剥離が施されている。長幅比が等しく，抉入がやや深い基部と突出した先端部をもつ。その他西平式系の土器片１点が出土している。

土坑 43 号（第 91 図）Type 4

Ｆ－ 33 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 108cm，短径 77cm で，深さは 52cm である。東端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で，ピット状の掘り込みには粘性のある黒色土が堆積する。

90 は口縁部の破片で，外面は端部に向かって内側に屈曲するため断面が三角形状となる。内外ともにミガキ調整である。その他縄文時代後晩期と思われる土器片 30 点，磨石１点が出土している。



第 93 図　土坑 47 号（１）

土坑 44 号（第 92 図）Type 4

Ｆ－ 38 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 82cm，短径 70cm で，深さは 22cm である。南端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層でアカホヤブロックと池田降下軽石を含む暗褐色土が主体である。

91 は胴部に平行沈線が施されている。胎土に金雲母を多量に含む。第Ⅴ -b 類土器か第Ⅴ -c 類土器の可能性が高い。

土坑 45 号（第 92 図）Type 1

Ｆ－ 39 区，Ⅴ a 層で検出された。平面形状は楕円形，長径 47cm，短径 36cm で，深さは 27cm である。埋土は単層で粘性のない黒色土が主体である。

92 は胴部片である。第Ⅵ類土器の胎土に近く，文様も第Ⅵ類土器に近い。磨消縄文はみられない。

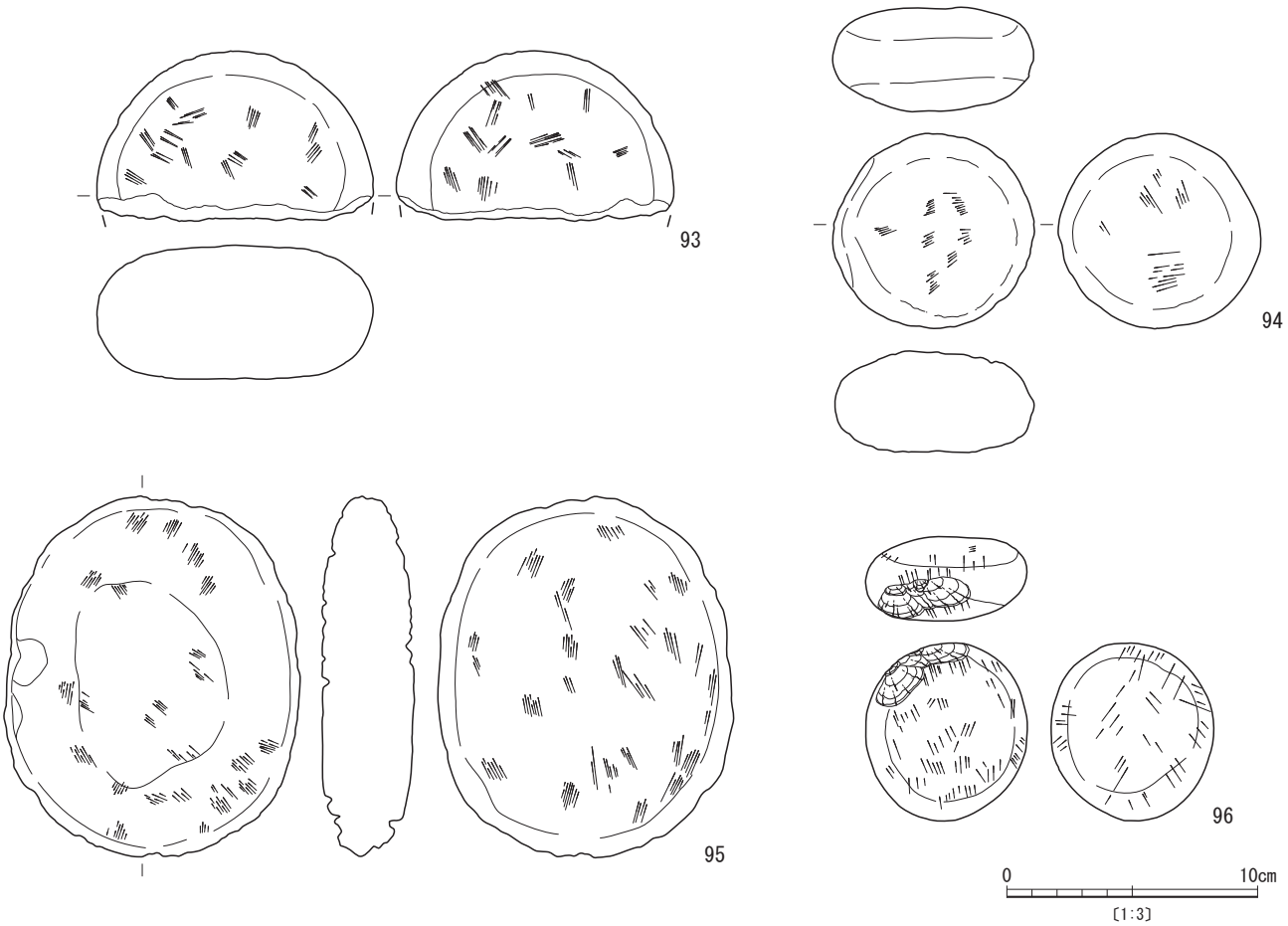
土坑 46 号（第 92 図）Type 3

Ｆ－ 42 区，Ⅴ a 層で検出された。平面形状は不定形，長径 50cm，短径 30cm で，深さは 43cm である。埋土は単層でパミスを含む黒色土が主体である。西平式系の土器片が１点出土している。

土坑 47 号（第 93 ～ 95 図）Type 1

Ｈ－ 40 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 155cm，短径 133cm で，深さは 19cm と大型の土坑である。埋土は単層でアカホヤブロックと白色パミスを含む黒褐色土が主体である。また土坑内からは炭化物が出土しており，年代測定の結果，1955calBC-1872calBC の値を得た。（第Ⅴ章第３節 PLD31973）

93 は円形で半円に欠損した磨石で，表裏面に平滑な擦り面がみられる。被熱赤化している。94 は円形で断面形がやや丸みを帯びた小型の磨石で，表裏面に弱い擦り面が残る。被熱赤化している。95 は楕円形で扁平な磨石で，表裏面に平滑な擦り面がみられる。96 は円形の小型の磨石であり，表裏面に弱い擦り面がみられる。敲打によるものか一部剥離している。97 は楕円の球形の磨敲石で，表面を主として側面と上面に敲打痕が顕著である。被熱による破損がみられる。98 は石皿の欠損品であり，右側縁から下縁にかけて石皿縁辺を留めている。表面に敲打痕が残るが，主に裏面を使用面として深く擦り窪んだ一面がみられる。被熱赤化している。99 は楕円形であったとみられる石皿の欠損品で，上部と下部を欠損している。主に表面を使用面として平滑な擦り面がみられ，裏面にもやや弧状に張った擦り面が残る。被熱赤化している。100 は歪な楕円形とみられる石皿の欠損品で，ほぼ半分に欠損している。扁平で，表面を使用面として平滑な擦り面と敲打痕がみられる。被熱している。



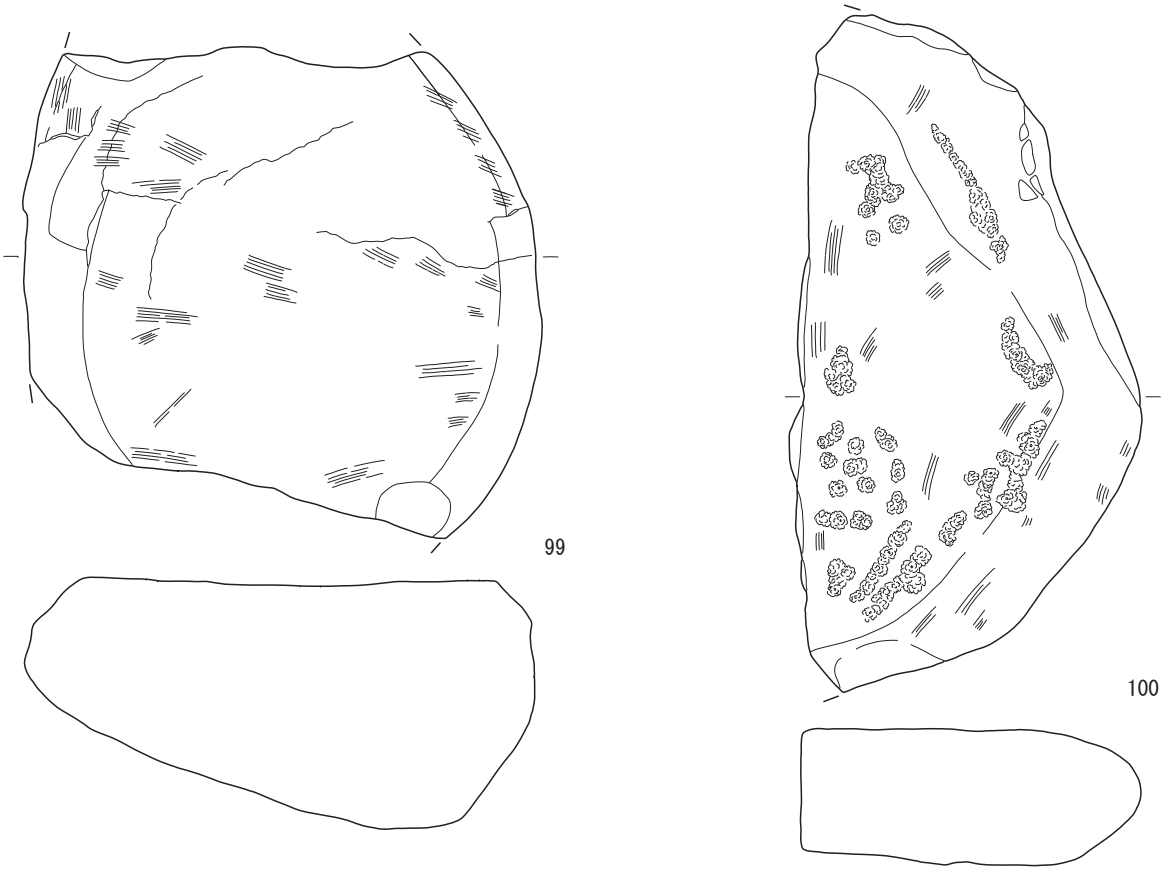
第 94 図　土坑 47 号（２）

第12表　後期～晩期土坑出土土器観察表①

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	埋土	部位	主文様		胎土							色調				備考	取上番号
								外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
75	41	5	V	深鉢	G21	1	胴	沈線・横ナデ・横ミガキ	横ミガキ	○	△		○	△	△		5YR5/4	にぶい赤褐	7.5YR5/3	にぶい褐		SK109-1
	43	6	VI～X	深鉢	G21	1	胴	縦ミガキ	丁寧な横工具ナデ	○	○	△		○			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR2/3	極暗褐		SK107-1他
	44	6	VI～X	深鉢	G21	1	頚～胴	横ミガキ	剥落（横ミガキ）	○	○			○	△		5YR3/1	黒褐	5YR3/1	黒褐		SK107-3他
76	45	7	VI～X	深鉢	G22	1	胴	横縦ナデ・斜ミガキ	横工具ナデ	◎	△	△		○	△		7.5YR6/4	にぶい橙	7.5YR6/3	にぶい褐	スス	SK108-1他
	46	11	VI・VII	深鉢	B24	1	胴	沈線・磨消縄文・横ミガキ	横ナデ	△				△	△	赤色砂粒△	10YR3/4	暗褐	7.5YR3/1	黒褐		SK100
77	47	12	X d	深鉢	C24	－	口縁	横ミガキ	横ミガキ	○	○			○			7.5YR3/2	黒褐	5YR3/4	暗赤褐		30259
	48	13	VI～X	深鉢	B25	1	底	横ナデ	剥落（横ナデ）	△	△	△		△	△		7.5YR6/6	橙	7.5YR7/6	橙	底径：(5.5)	18764
	49	14	VI	深鉢	C26	1	胴	沈線・磨消縄文	横ミガキ	○	△			○			7.5YR4/3	褐	10YR4/1	褐灰		SK122
79	50	16	X c	深鉢	F25	－	口縁～底	摩滅（横縦工具ナデ・縦ミガキ）	摩滅（横縦工具ナデ）	◎	○	△	△	◎	○	砂礫△	5YR5/6	明赤褐	5YR5/6	明赤褐	口径：(29.0) 底径：6.8 器高：34.9	SK220-8他
	51	16	VI～X	深鉢	F25	－	頚	横ナデ	剝落	◎				○	△		7.5YR4/2	灰褐	7.5YR5/6	明褐		SK220-16
	52	16	VI～X	深鉢	F25	－	頚～胴	丁寧な斜工具ナデ	丁寧な横工具ナデ	○				○	○	褐色砂粒△	7.5YR1.7/1	黒	7.5YR7/6	橙	スス	SK220-10





第 95 図　土坑 47 号（３）

第13表　後期～晩期土坑出土土器観察表②

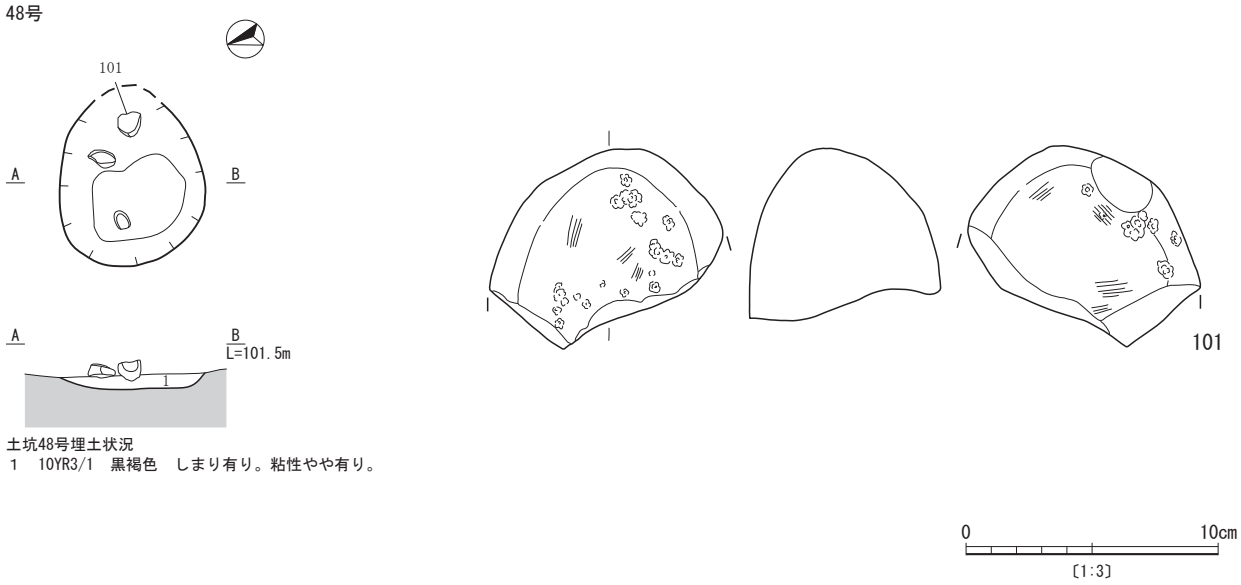
備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	埋土	部位	主文様		胎土							色調				備考	取上番号
								外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
80	53	17	Ⅵ・Ⅶ	深鉢	G27	1	胴	沈線・磨消縄文・刺突・横ナデ	横工具ナデ・横ミガキ	○	△			○	△		2.5Y3/2	黒褐	2.5Y5/2	暗灰黄		SK89
81	54	20	Ⅹa・Ⅹb	深鉢	G30	－	口縁	横ナデ・斜ミガキ	沈線・横ミガキ	○	△			△	△		5YR3/1	黒褐	5YR3/1	黒褐		－
	55	20	Ⅹd・Ⅹb	深鉢	G30	－	口縁	横縦ミガキ	横ミガキ	△				△		褐色砂粒△	5YR4/1	褐灰	5YR4/3	にぶい赤褐		－
	56	21	Ⅹd	深鉢	C30	1	口縁	粗い横ミガキ	粗い横ミガキ	△				○	△	砂礫△	7.5YR5/2	灰褐	7.5YR4/3	褐	スス	SK38-6
	57	21	Ⅹd	深鉢	C・D30	1	口縁	横ナデ	粗い横ミガキ	○	△		◎	◎			10YR3/2	黒褐	10YR3/2	黒褐		SK38-9
	58	21	Ⅹd	深鉢	C30	1	胴	粗い横工具ナデ・横ミガキ	丁寧な横工具ナデ・横ミガキ	○	△	△		○	△		5YR5/4	にぶい赤褐	7.5YR5/3	にぶい褐		SK38-4
82	60	22	Ⅵ	深鉢	C30	1	頚～胴	摩滅（沈線・刺突）	摩滅	○	△			◎			10YR3/2	黒褐	10YR3/1	黒褐		SK69-25
	61	22	Ⅵ	深鉢	C30	1	口縁～胴	沈線・刺突・横ナデ・縦ミガキ	凹線・横工具ナデ・横ミガキ	○	○			◎		褐色砂粒△	7.5YR4/1	褐灰	7.5YR4/1	褐灰	口唇：沈線 口径：(23.0)	SK69-14他
84	67	23	Ⅷ	深鉢	C30	1	胴	沈線・磨消縄文	丁寧な横ナデ	△				◎			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/2	黒褐		－
	68	23	Ⅷ	深鉢	C30	1	胴	沈線・磨消縄文・横ナデ・縦ミガキ	横ナデ・粗い横ミガキ	○	○			◎	△		7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙		－
85	71	25	Ⅸ	深鉢	C31	－	口縁	粗い横ミガキ	粗い横ミガキ	○	△			○	△		10YR3/4	暗褐	10YR5/6	黄褐	口唇：沈線	SK193-53
	72	25	Ⅸ	深鉢	C31	－	頚	沈線・刺突・横ナデ	丁寧な横ナデ	◎		△		○			5YR6/6	橙	5YR6/6	橙		SK193-39
86	75	26	Ⅴb・Ⅴc	深鉢	C32	1	胴	沈線・横ナデ	横ナデ	○	○		○	○		赤色砂粒△	7.5YR5/6	明褐	7.5YR4/3	褐		SP3349-1
	76	28	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D31	－	口縁～頚	連続刺突文・沈線・横縦ミガキ	横ミガキ	△		△		○			5YR3/1	黒褐	5YR3/3	暗赤褐	スス	SK50-6他
87	78	29	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C32	1	頚～胴	横斜ミガキ	横ミガキ	○				○	△	赤色砂粒△	7.5YR3/2	黒褐	7.5YR4/6	褐	78・79同一個体	－
	79	30	Ⅵ	深鉢	C33	－	口縁	刻目・磨消縄文・横ミガキ	丁寧な横ミガキ	△	△				○		7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙	口唇：沈線 78・79同一個体	39902他
	80	30	Ⅵ	深鉢	C33	－	頚～胴	沈線・磨消縄文・刺突・横ナデ	横ナデ	○	△	△		△			2.5YR7/4	淡赤橙	2.5YR7/4	淡赤橙		SK196-5
	81	31	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C32・33	－	頚～胴	粗い斜ミガキ	粗い横ミガキ	△	△	△		○		褐色砂粒○	10YR5/8	黄褐	10YR5/8	黄褐		SK43-4他
88	82	35	Ⅵ	深鉢	E・F・30・31	1	頚～胴	沈線・刺突・横ナデ	横工具ナデ	◎	○			○	△		7.5YR3/1	黒褐	7.5YR6/6	橙		－
	83	36	Ⅶ	深鉢	E31	1	頚～胴	沈線・磨消縄文・刺突・横ミガキ	横ミガキ	○	△			○		褐色砂粒△	7.5YR3/1	黒褐	7.5YR4/3	褐	コゲ	－
89	84	37	Ⅴ	深鉢	F31	－	頚～胴	沈線・刺突・斜工具ナデ	斜工具ナデ	◎	○		○	○	△	褐色砂粒△	7.5YR4/1	褐灰	7.5YR6/4	にぶい橙		SK83-2
	85	37	Ⅴ	深鉢	F31	－	頚～胴	沈線・横ナデ	横ナデ・粗い横ミガキ	○	△			○	△	褐色砂礫△	7.5YR3/3	暗褐	7.5YR5/4	にぶい褐		SK83-4他
90	88	41	Ⅵ～Ⅹ	台付皿	F32	2	口縁	横ナデ	沈線・横ミガキ・横ナデ	△				△			7.5YR4/3	褐	7.5YR4/2	灰褐		－
91	90	43	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	F33	－	口縁	横ミガキ	横ミガキ	△	△			△	△		7.5YR3/2	黒褐	7.5YR4/2	灰褐		－
92	91	44	Ⅴb・Ⅴc	深鉢	F38	1	胴	沈線・横ナデ	横ナデ	○	△		○	◎	△	褐色砂粒△	5YR2/2	黒褐	5YR5/6	明赤褐		－
	92	45	Ⅵ	深鉢	F39	1	胴	沈線・縦ナデ	横ナデ	○	△			○			5YR4/2	灰褐	7.5YR4/2	灰褐	スス	－

ウ　時期不明の土坑の状況

遺構の検出状況や層全体の遺物出土状況等から判断し，縄文時代後期～晩期該当と考えられるものの時期判断が困難であった土坑をまとめて238基掲載する。一部，縄文時代前期・中期・弥生以降のものが含まれている可能性はある。

掲載は遺跡の東側から西側に向かって順番に遺構番号を付与し，縄文時代後期～晩期該当とした47基に続いて，土坑48号から番号を付与した。また遺物（石器）が出土している土坑や形状等特徴のある土坑についてのみ文章化した。



土坑48号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。

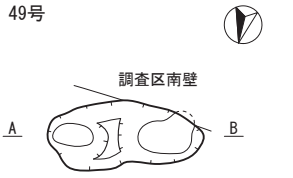
第96図　土坑48号

第14表　後期～晩期土坑出土石器観察表

（）内は残存値

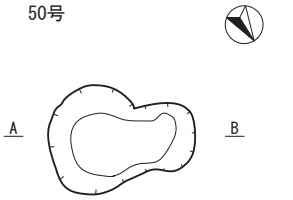
挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
75	42	5	G21	－	磨敲石	安山岩A	(7.20)	(9.15)	5.30	499.00		2
81	59	21	C・D30	－	石皿	凝灰岩	(10.05)	(7.80)	(6.15)	591.00		3
83	62	22	C30	－	石皿	安山岩A	(44.50)	(28.50)	12.90	13500.00		10
	63	22	C30	－	石皿	凝灰岩	(32.50)	(22.50)	(8.50)	4230.00		1
	64	22	C30	－	石皿	頁岩7	(15.70)	(14.05)	(13.00)	3370.00		17
	65	22	C30	－	石皿	凝灰岩	(17.75)	(11.95)	(15.80)	4600.00		22
	66	22	C30	－	石皿	砂岩	(20.40)	(19.90)	(7.60)	3860.00		8
84	69	23	C30	－	剥片	頁岩8	5.20	3.90	0.95	19.76		3
	70	23	C30	－	石皿	安山岩A	(14.20)	(10.60)	(4.50)	851.50		7
85	73	25	C31	－	石鏃	頁岩8	1.90	1.55	0.45	0.88		38
	74	25	C31	－	石鏃	頁岩2	(1.50)	1.75	0.33	0.91		7
86	77	28	D31	－	石皿	凝灰岩	(24.60)	(21.50)	(14.70)	7970.00		1
89	86	37	F31	－	二次加工剥片	玉髄	1.65	2.32	0.50	1.75		
	87	37	F31	－	敲石	砂岩	(7.00)	(6.00)	(3.00)	153.50		5
91	89	42	F33	－	石鏃	頁岩1	1.75	1.60	0.35	0.70		－
94	93	47	H40	－	磨石	花崗岩	(6.80)	(11.00)	(5.30)	588.20		9
	94	47	H40	－	磨石	安山岩A	7.70	8.00	4.00	289.00		11
	95	47	H40	－	磨石	安山岩A	14.20	11.70	3.70	831.30		14
	96	47	H40	－	磨石	安山岩A	7.00	6.40	3.30	213.80		12
95	97	47	H40	－	磨敲石	安山岩A	13.90	11.00	8.00	1638.00		5
	98	47	H40	－	石皿	凝灰岩	(23.80)	(20.70)	(12.30)	4580.00		2
	99	47	H40	－	石皿	凝灰岩	(25.90)	(27.20)	(13.25)	11800.00		1
	100	47	H40	－	石皿	凝灰岩	(35.80)	(18.70)	(7.20)	4440.00		3
96	101	48	C8	－	磨石	安山岩A	(7.90)	(9.20)	(7.50)	540.50		3
97	102	55	C19	－	磨石	安山岩A	(14.80)	(11.75)	(4.10)	821.00		19426

49号



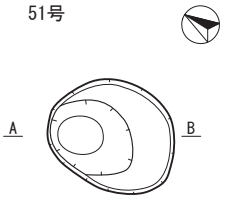
土坑49号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性強い。

50号



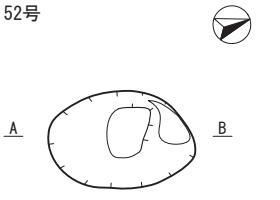
土坑50号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性やや有り。

51号



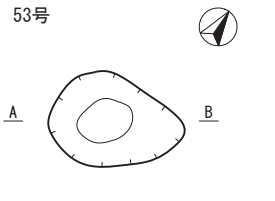
土坑51号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性無し。

52号



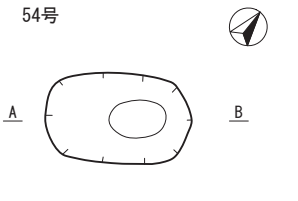
土坑52号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性有り。

53号



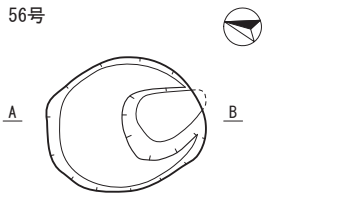
土坑53号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
　　粘性やや有り。

54号



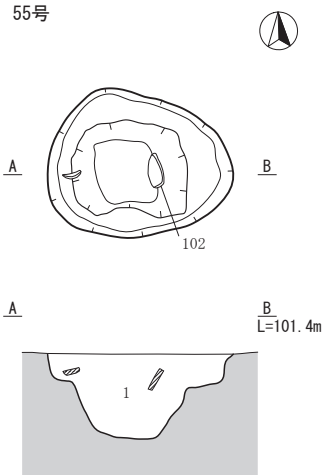
土坑54号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
　　粘性やや有り。

56号

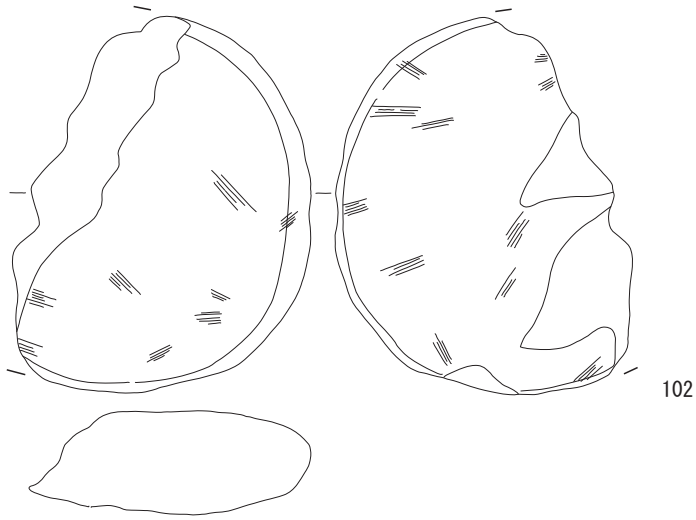


土坑56号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　粘性強い。
2　10YR3/1　黒褐色　粘性強い。
　　黄色パミス少量混じる。

55号



土坑55号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性やや有り。

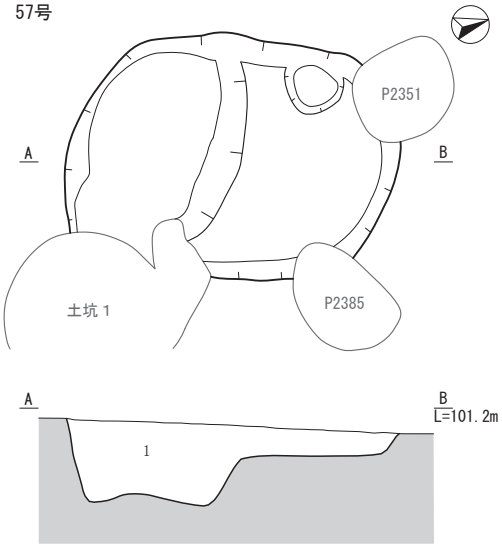


0　遺構　1m
〔1:30〕

0　遺物　10cm
〔1:3〕

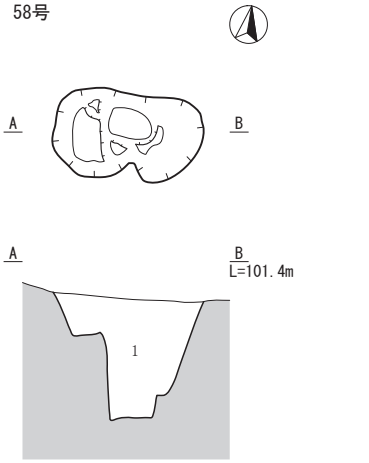
第 97 図　土坑 49 ～ 56 号

57号



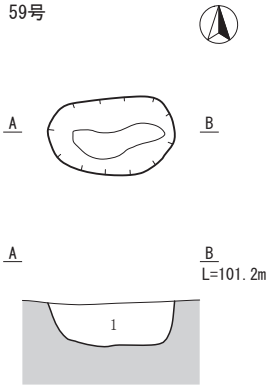
土坑57号埋土状況
１　10YR3/1 黒褐色土　粘性やや有り。

58号



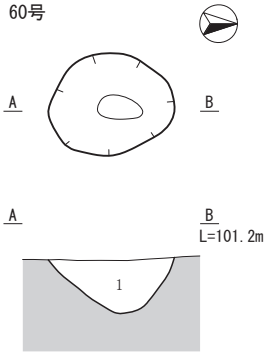
土坑58号埋土状況
１　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

59号



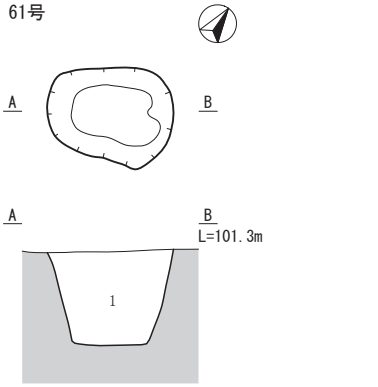
土坑59号埋土状況
１　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性やや有り。

60号



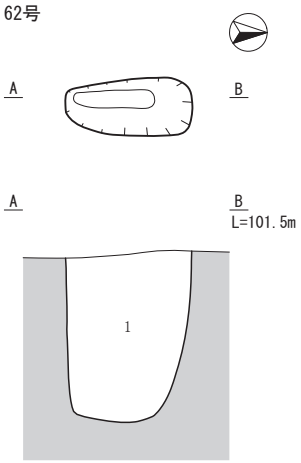
土坑60号埋土状況
１　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

61号



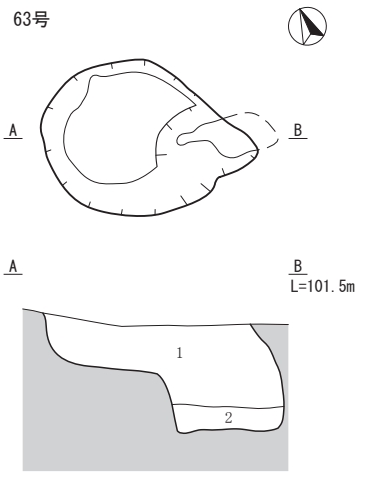
土坑61号埋土状況
１　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

62号



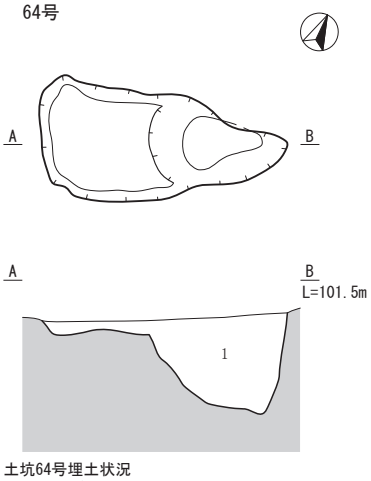
土坑62号埋土状況
１　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

63号



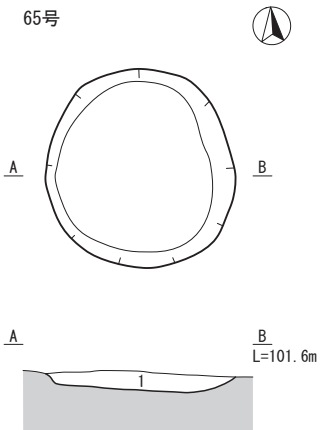
土坑63号埋土状況
１　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
２　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
アカホヤブロックが多量に混じる。

64号

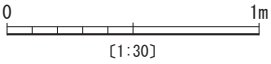


土坑64号埋土状況
１　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

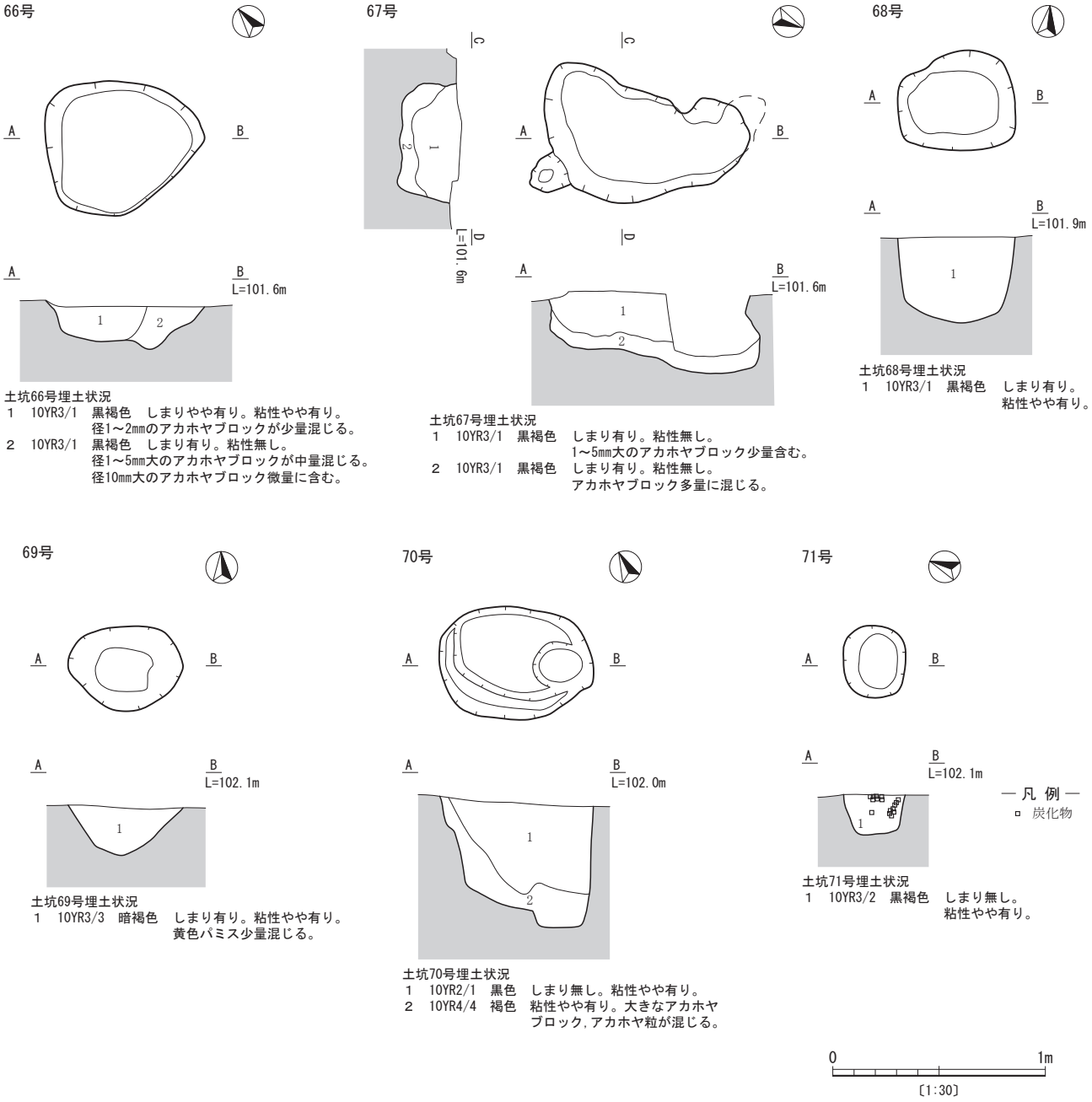
65号



土坑65号埋土状況
１　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



第 98 図　土坑 57 ～ 65 号



第 99 図　土坑 66 ～ 71 号

土坑 48 号（第 96 図）Type 1

Ｃ－８区，Ⅱｃ層で検出された。平面形状は円形，長径 63cm，短径 56cm で，深さは６cm である。検出面より高い位置から遺物が出土しているが，本来の掘り込み面は遺物よりも高い位置に存在していたと考えられる。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

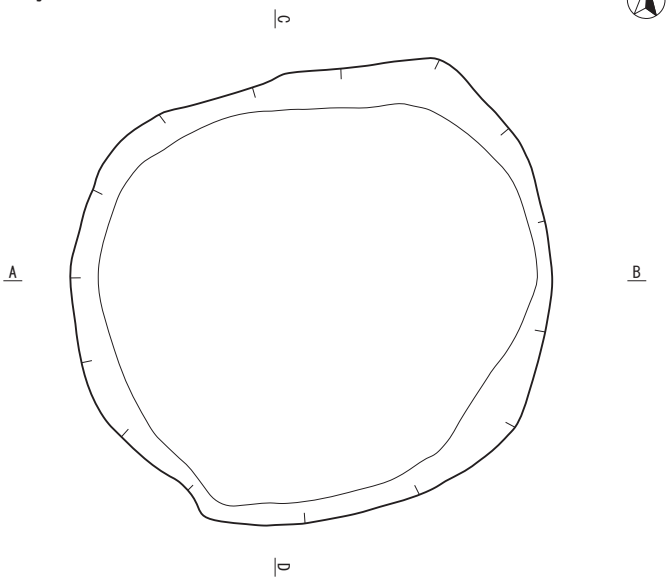
101 は球形の磨石の破片で，割れ面以外の全面に粗い擦り面がみられる。被熱している。その他敲石片１点，礫が１点出土している。

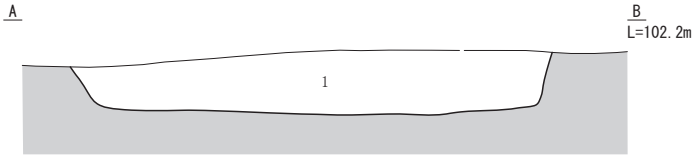
土坑 55 号（第 97 図）Type 1

Ｃ－ 19 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 73cm，短径 48cm で，深さは 34cm である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

102 は円形で，ほぼ半円に欠損した磨石であり，表裏面に弱い擦り面がみられる。その他剥片が１点出土している。

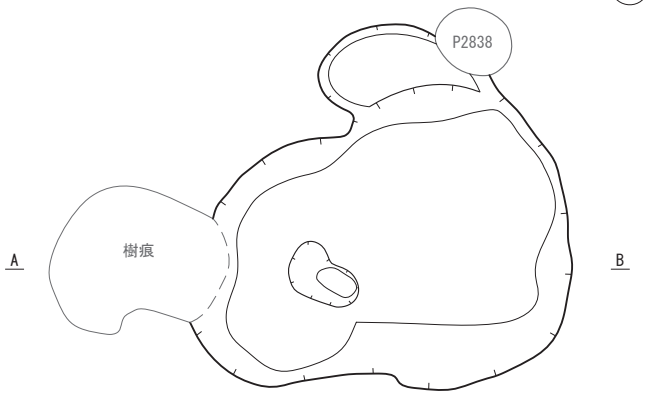
72号

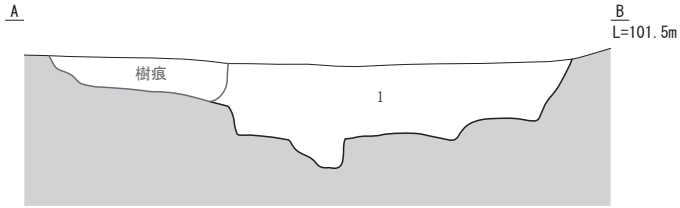




土坑72号埋土状況
1　10YR3/3　黒褐色　しまりやや有り。粘性有り。径5～50㎜大のアカホヤブロックが多量に混じる。

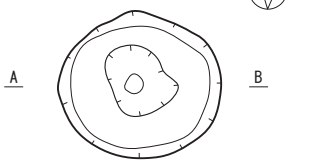
73号

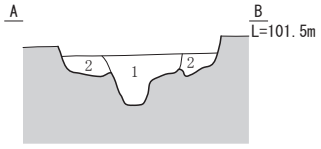




土坑73号埋土状況
1　10YR2/1　黒褐色　しまり無し。粘性無し。径3～8㎜大のアカホヤブロックが少量混じる。
池田降下軽石を微量に含む。

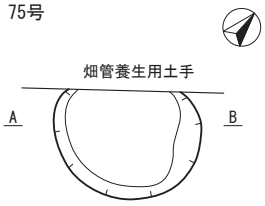
74号

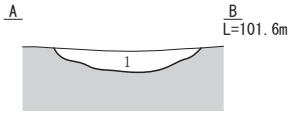




土坑74号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1～3㎜大のアカホヤブロックが少量混じる。
池田降下軽石を微量に含む。
2　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径2～5㎜大のアカホヤブロックが中量混じる。

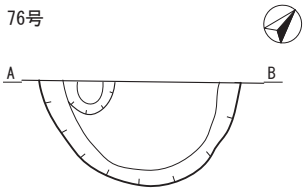
75号

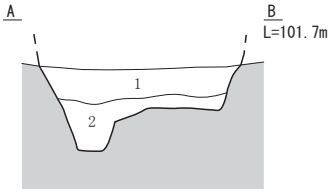




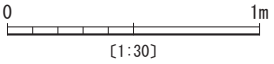
土坑75号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1㎜以下の明黄褐色土が中量混じる。
池田降下軽石を微量に含む。

76号



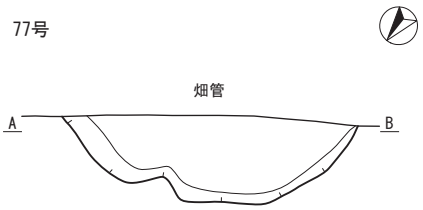


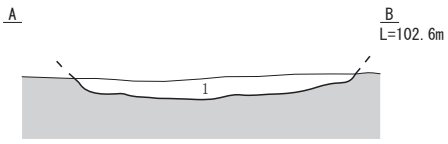
土坑76号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1㎜以下の明黄褐色土が中量混じる。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
径1～5㎜大のアカホヤブロックが少量混じる。
池田降下軽石を微量に含む。



第 100 図　土坑 72 ～ 76 号

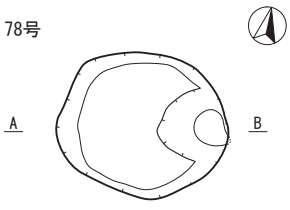
77号

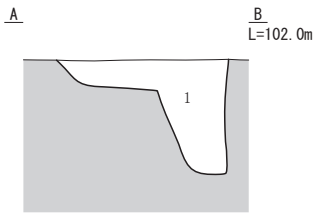




土坑77号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1～2㎜大の明黄褐色土が少量混じる。
径2㎜大のアカホヤブロックを少量含む。

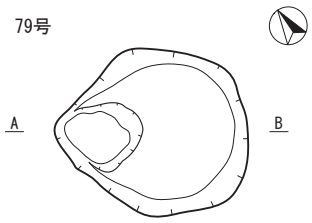
78号

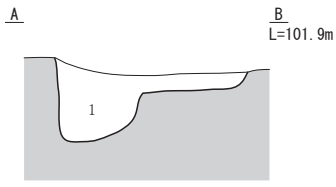




土坑78号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

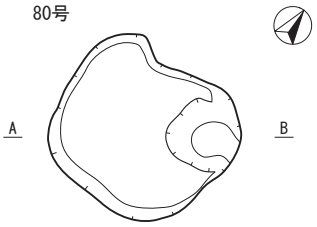
79号

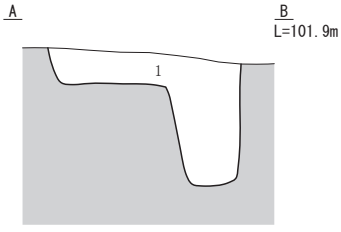




土坑79号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
落ち込み部にアカホヤ粒が少量混じる。

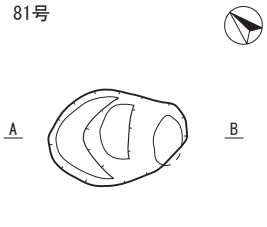
80号

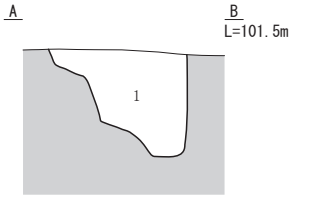




土坑80号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

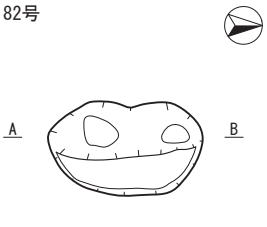
81号

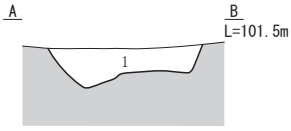




土坑81号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

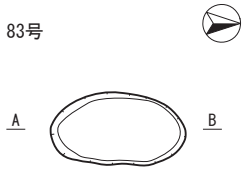
82号

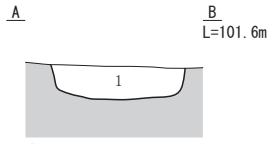




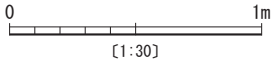
土坑82号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。

83号

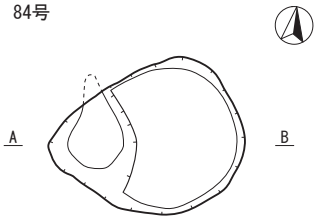


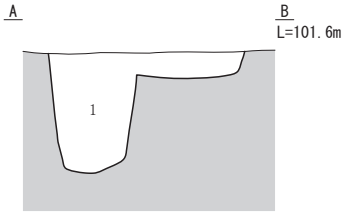


土坑83号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。



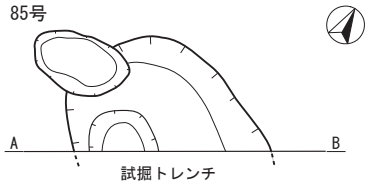
84号

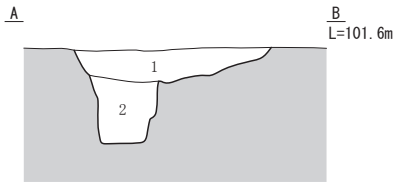




土坑84号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

85号

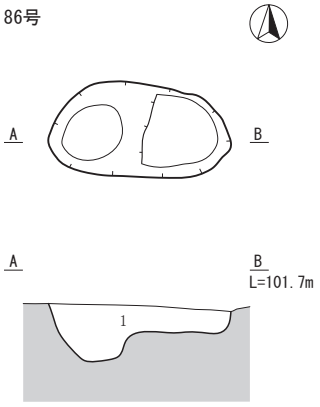




土坑85号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまりやや有り。粘性やや有り。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性有り。
径5～30㎜大のアカホヤブロックが
多量に混じる。

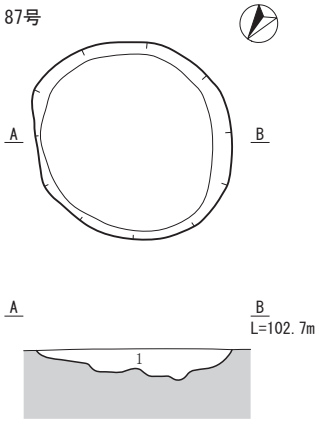
第101図　土坑77～85号

86号



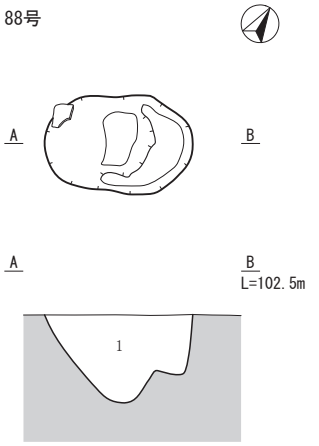
土坑86号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

87号



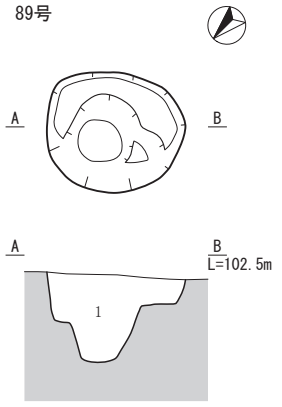
土坑87号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1～2mm大の明黄褐色土が少量混じる。

88号



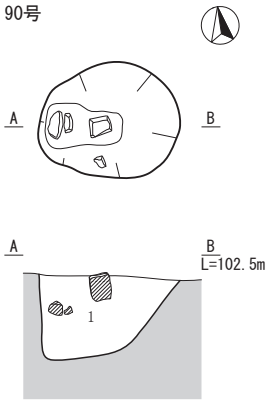
土坑88号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまりやや有り。
粘性やや有り。

89号



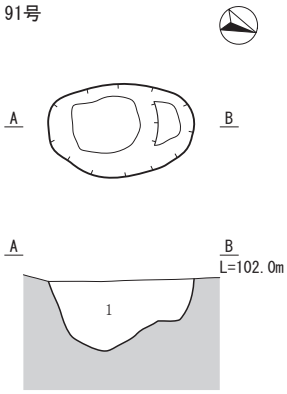
土坑89号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性やや有り。
黄色パミスが少量混じる。

90号



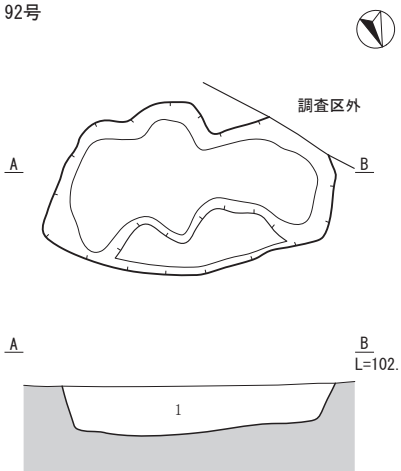
土坑90号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
径5mm程の黄色パミス少量混じる。

91号



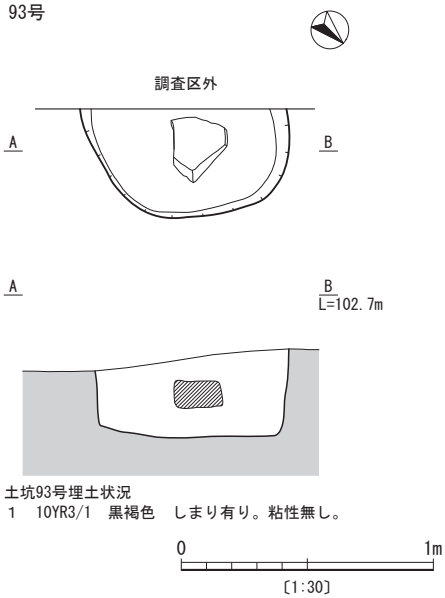
土坑91号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性やや有り。
黄色パミス少量混じる。

92号



土坑92号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径1～2mm大の明黄褐色土粒と
径2mm大のアカホヤ粒を微量に含む。

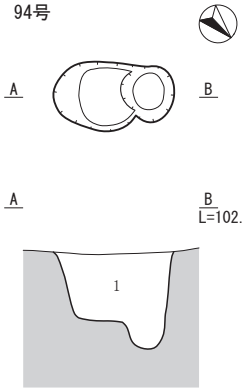
93号



土坑93号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

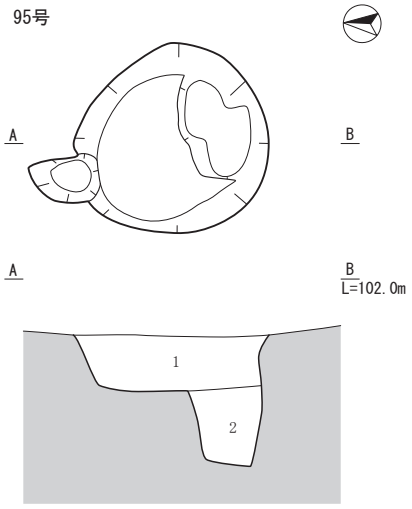
第 102 図　土坑 86 ～ 93 号

94号



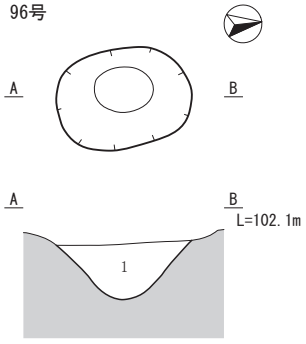
土坑94号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

95号



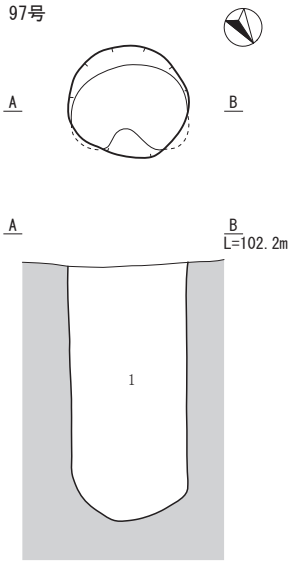
土坑95号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径5～10mmの
　　アカホヤブロックが少量混じる。
2　10YR4/1　褐灰色　しまり無し。粘性有り。

96号



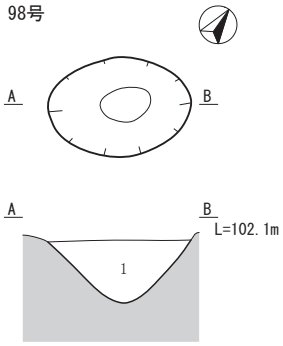
土坑96号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

97号



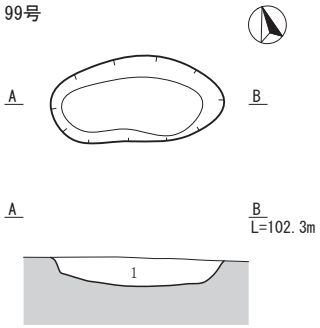
土坑97号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

98号



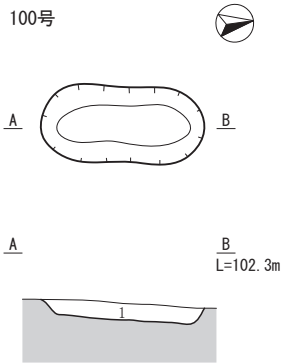
土坑98号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

99号



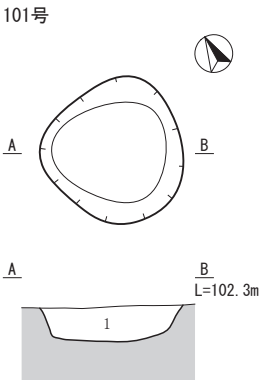
土坑99号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

100号



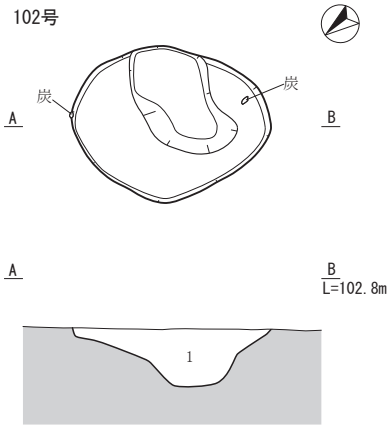
土坑100号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

101号



土坑101号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

102号

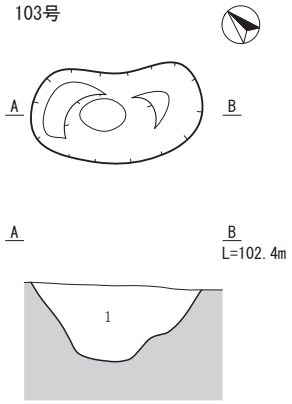


土坑102号埋土状況
1　10YR4/2　灰黄褐色　しまり無し。アカホヤブロック混じる。
　　小指大の池田降下軽石を少量含む。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。
3　10YR2/1　黒色　しまり無し。小指大の池田降下軽石が
　　少量混じる。

0　1m
〔1:30〕

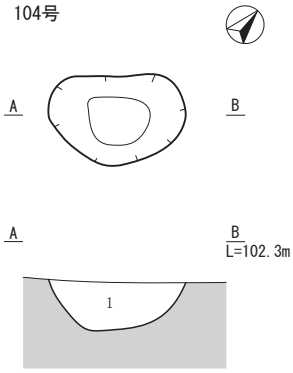
第103図　土坑94～102号

103号



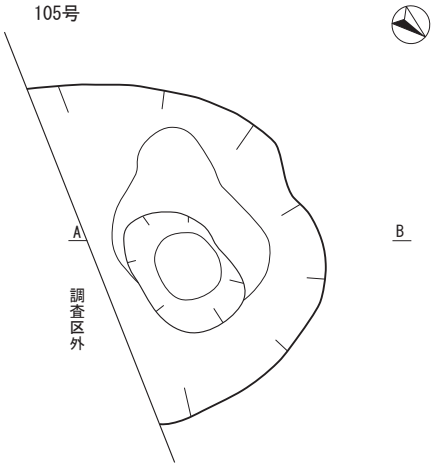
土坑103号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

104号

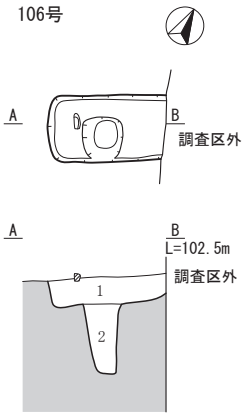


土坑104号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

105号

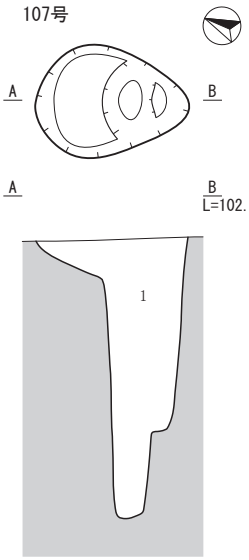


106号

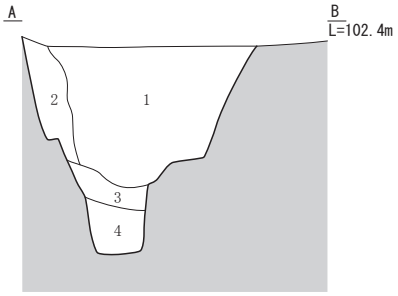


土坑106号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
　　径５㎜のアカホヤブロック微量に混じる。
2　10YR3/3　暗褐色　しまり無し。粘性有り。
　　径５㎜のアカホヤブロック多量に混じる。

107号

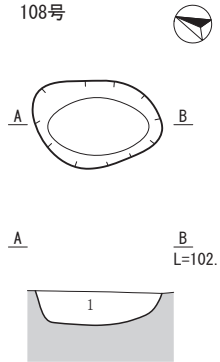


土坑107号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。



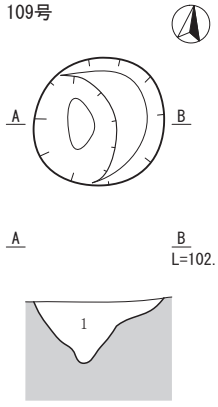
土坑105号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　　しまり有り。粘性無し。
　　径５～10㎜のアカホヤブロックが少量混じる。
2　10YR4/1　褐灰色　　しまり無し。粘性無し。
　　径５～50㎜のアカホヤブロックが多量に混じる。
3　10YR3/1　黒褐色　　しまり無し。粘性有り。
　　径５㎜のアカホヤブロックが微量に混じる。
4　10YR5/2　灰黄褐色　しまり有り。粘性有り。
　　径５㎜のアカホヤブロックが微量に混じる。

108号



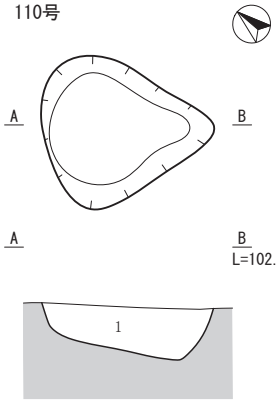
土坑108号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

109号

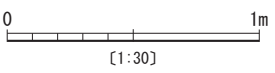


土坑109号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

110号

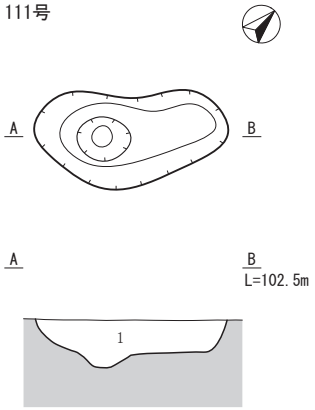


土坑110号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



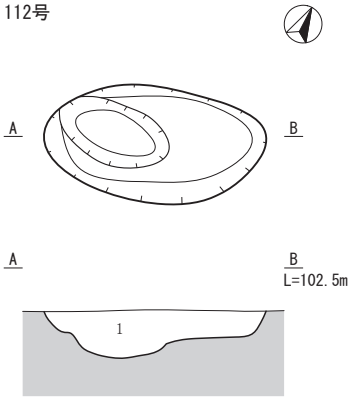
第 104 図　土坑 103 ～ 110 号

111号



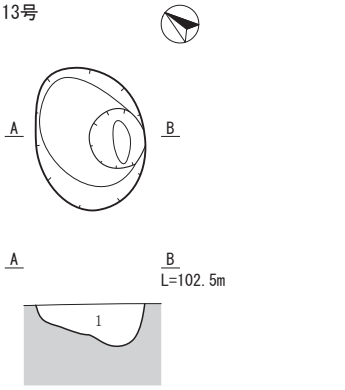
土坑111号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

112号



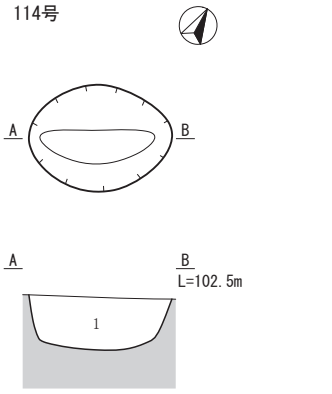
土坑112号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

113号



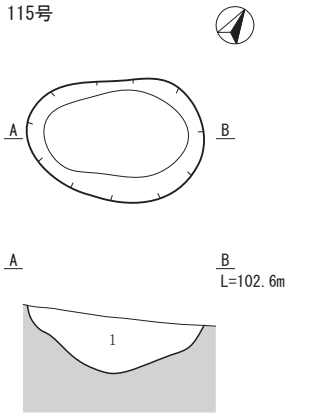
土坑113号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

114号



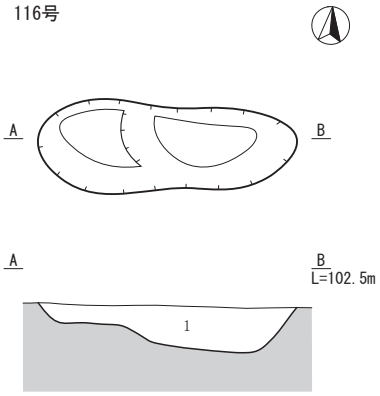
土坑114号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

115号



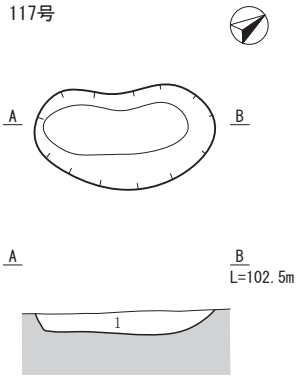
土坑115号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

116号



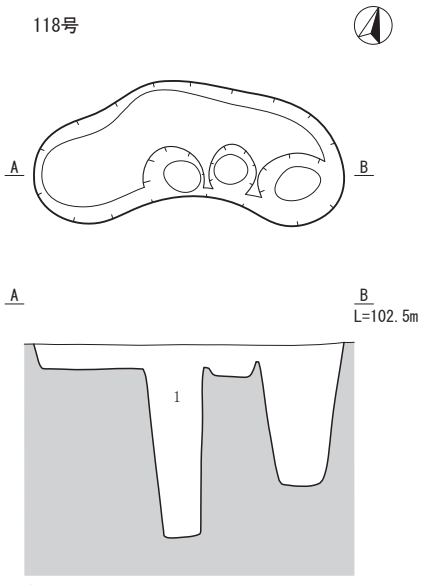
土坑116号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

117号



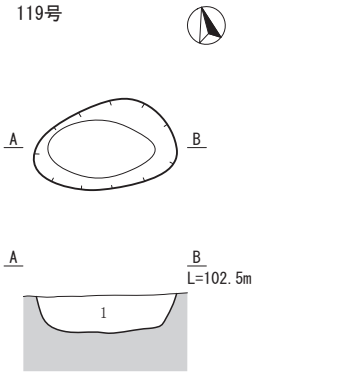
土坑117号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

118号

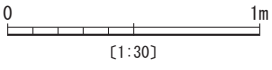


土坑118号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

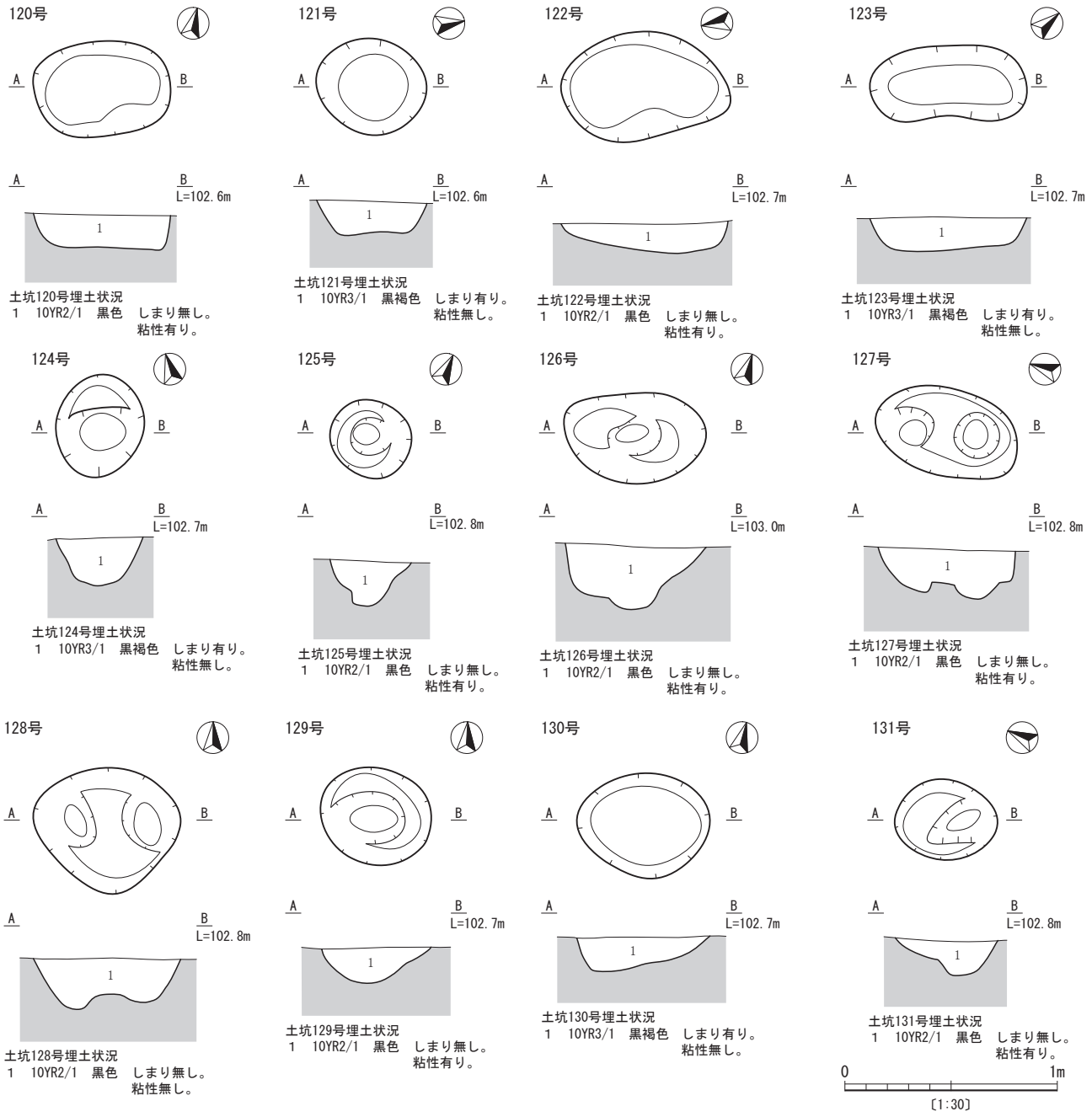
119号



土坑119号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



第 105 図　土坑 111 ～ 119 号



第 106 図　土坑 120 ～ 131 号

土坑 57 号（第 98 図）Type 4

Ｅ－ 19 区，Ⅲ層で検出された。南側に土坑 1 号が隣接する。平面形状は不定形，長径 128cm，短径 95cm で，深さは 33cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層で粘性のある黒褐色土が主体である。

土坑 67 号（第 99 図）Type 3

Ｃ－ 21 区，Ⅱｂ層で検出された。平面形状は不定形，長径 89cm，短径 55cm で，深さは 38cm である。北壁側はやや奥に掘り込まれている。直上から埋設土器 1 号が検出されている。埋土は 2 層で両層ともしまりがありアカホヤを含む。

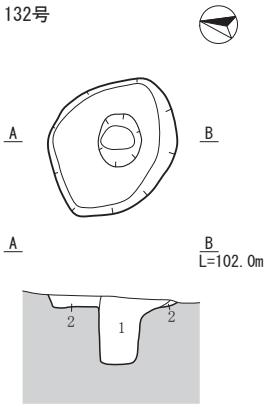
土坑 72 号（第 100 図）Type 1

Ｂ－ 24 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 191cm，短径 177cm で，深さは 24cm と大型の土坑である。直上から土器集中部 11 号が検出されている。埋土は単層でアカホヤブロックを多量に含む黒褐色土が主体である。

土坑 105 号（第 104 図）Type 4

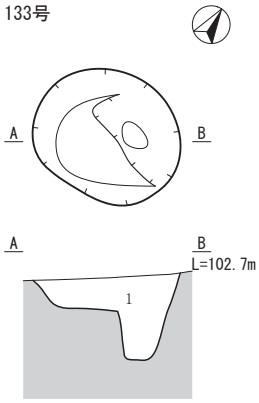
Ｄ－ 26 区，Ⅲ層で検出された。調査区際で検出されたため完全に検出できていないが，残存部から平面形状は楕円形を呈すると推察される。中央にピット状の掘り込みを伴う。残存箇所で長径は 86cm，短径は 142cm で，

132号



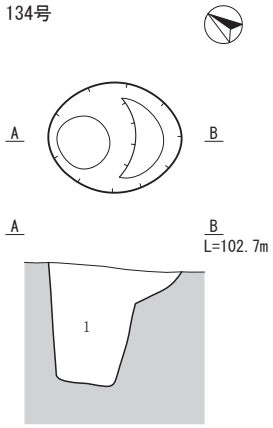
土坑132号埋土状況
1　10YR3/2　黒褐色　しまりやや有り。粘性有り。
　　炭化物が少量混じる。
2　10YR3/3　暗褐色　しまりやや有り。粘性無し。

133号



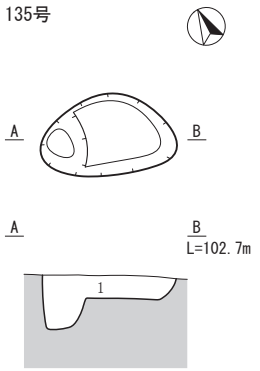
土坑133号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

134号



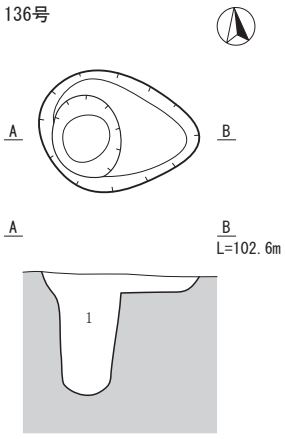
土坑134号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

135号



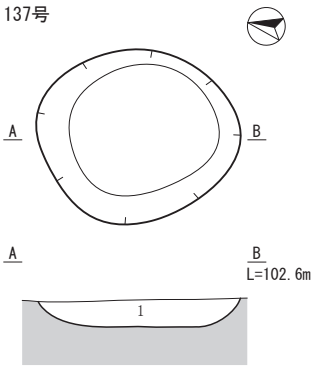
土坑135号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性無し。

136号



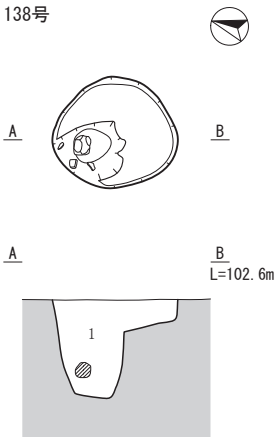
土坑136号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性有り。

137号



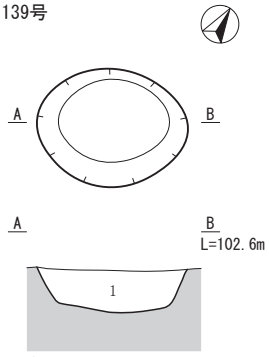
土坑137号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性無し。

138号



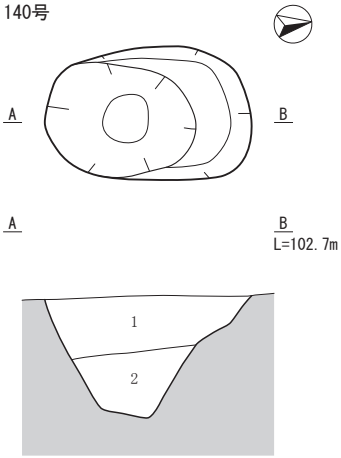
土坑138号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性無し。

139号



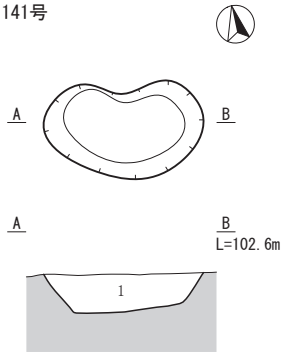
土坑139号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性有り。

140号



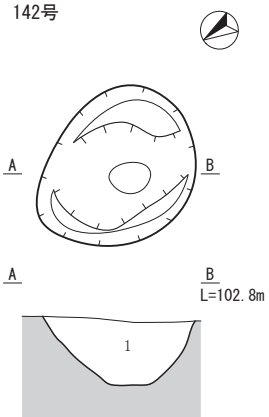
土坑140号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまりやや有り。粘性無し。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。
　　径10㎜のアカホヤブロック
　　微量に混じる。

141号

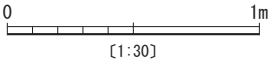


土坑141号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
　　粘性無し。

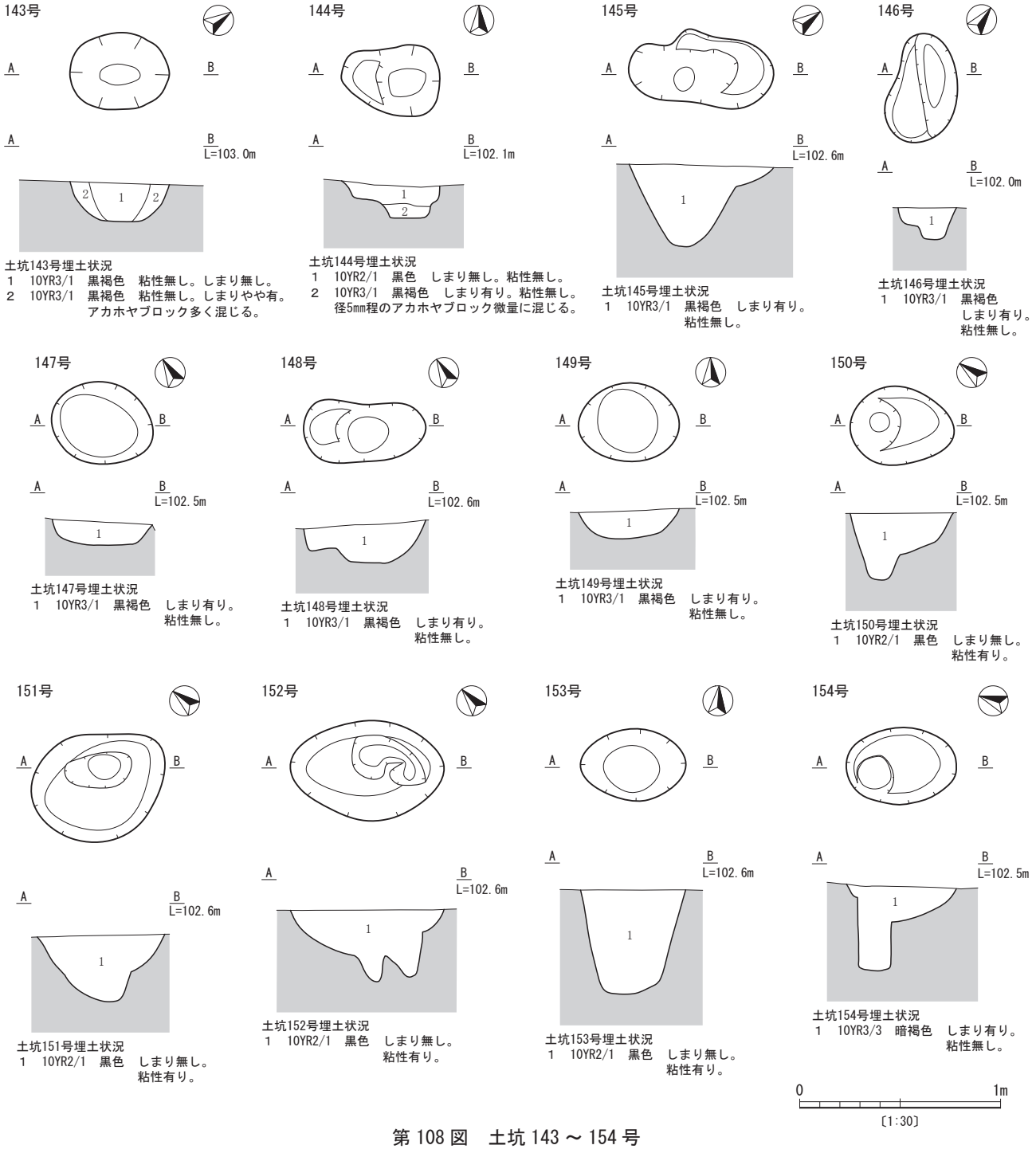
142号



土坑142号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性有り。



第 107 図　土坑 132 ～ 142 号



第 108 図　土坑 143 ～ 154 号

深さは 82cm である。埋土は計４層で全層にアカホヤブロックを含む。磨敲石が１点出土している。

土坑 106 号（第 104 図）Type 4

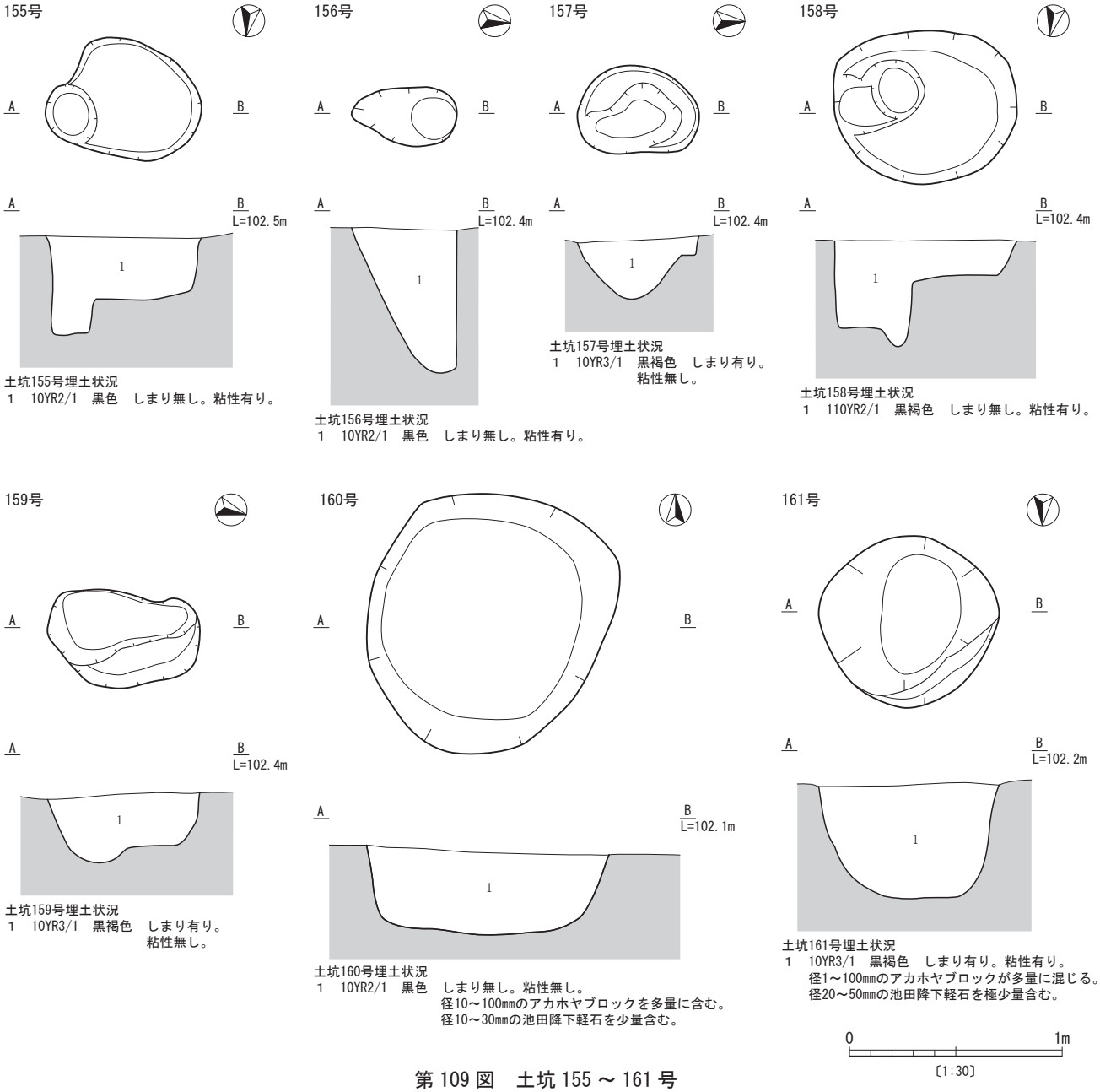
Ｄ－ 27 区，Ⅲ層で検出された。調査区際で検出されたため完全に検出できていないが，平面形状は隅丸長方形を呈すると推察される。中央にピット状の掘り込みを伴う。残存箇所で長径 47cm，短径 27cm で，深さは 38cm である。埋土は２層でピット状の掘り込みにアカホヤブロックを多量に含む２層が堆積する。磨石が１点出土している。

土坑 160 号（第 109 図）Type 1

Ｆ－ 28 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 125cm，短径 122cm，深さは 38cm と大型の土坑である。直上から石器集中部 12 号が検出された。埋土は単層でアカホヤブロックを多量，池田降下軽石を少量含む。

土坑 202 号（第 114 図）Type 4

Ｈ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 101cm，短径 87cm で，深さは 72cm である。北東端に



第 109 図　土坑 155 ～ 161 号

ピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層でピット状の掘り込みにはアカホヤブロックを微量に含む２層が堆積する。

土坑 213 号（第 115 図）Type 4

Ｆ－ 30・31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 66cm，短径 57cm で，深さは 32cm である。北端にピット状の掘り込みを伴う。埋土は２層で土坑中央の１層上面から磨敲石が出土している。

土坑 232 号（第 117 図）Type 4

Ｃ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 69cm，短径 35cm で，深さは 32cm である。南隅にピット状の掘り込みを伴う。ピット部の底面は平坦で，南壁は開口部に向かって垂直に立ち上がる。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

土坑 244 号（第 118 図）Type 4

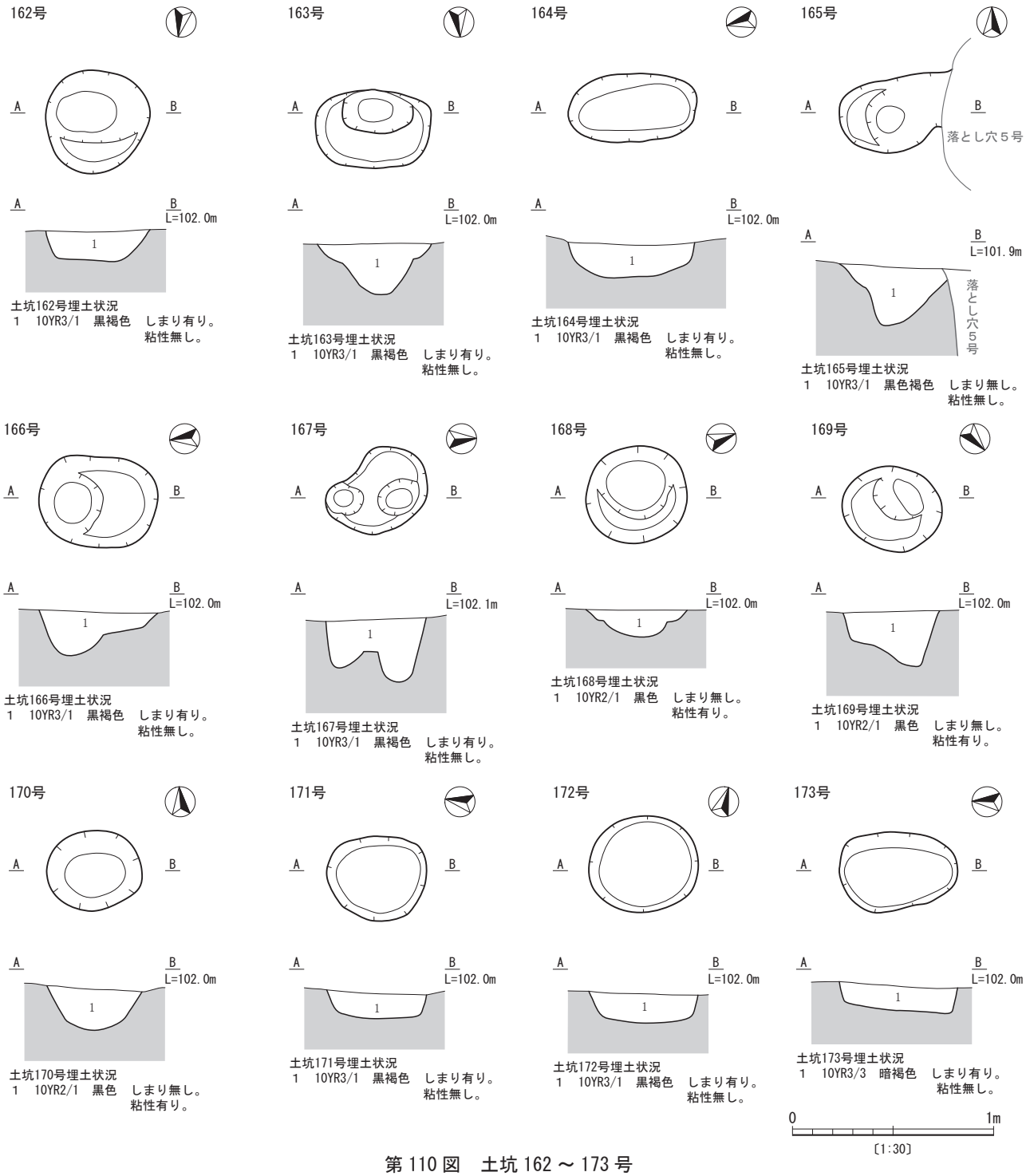
Ｄ－ 34 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は隅丸方形，長径 151cm，短径 122cm で，深さは 43cm である。中央付近にピット状の掘り込みが２つ確認できる。埋土は単層でアカホヤを少量含む黒色土である。

土坑 250 号（第 119 図）Type 1

Ｅ－ 32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 128cm，短径 95cm で，深さは 10cm である。埋土は単層でアカホヤブロックを微量に含む黒色土が主体である。

土坑 252 号（第 119 図）Type 1

Ｅ－ 33 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 89cm，短径 83cm で，深さは９cm である。埋土は単層で



第 110 図　土坑 162 ～ 173 号

しまりのある黒褐色土が主体である。

土坑 253 号（第 119 図）Type 4

Ｅ－ 33 区，Ⅲ層で検出された。平面は楕円形，長径 126cm，短径 102cm で，深さは 25cm である。中央にピット状の掘り込みを伴う。埋土は単層で池田降下軽石を含む黒褐色土が主体である。

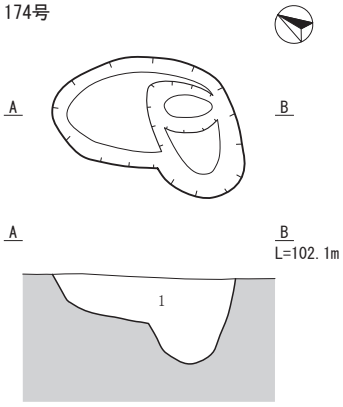
土坑 260 号（第 120 図）Type 1

Ｈ－ 38 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 146 ㎝，短径 115 ㎝で，深さは 31 ㎝と大型の土坑である。埋土は単層で軽石を少量，アカホヤブロックを微量に含む黒色土が主体である。

土坑 282 号（第 122 図）Type 1

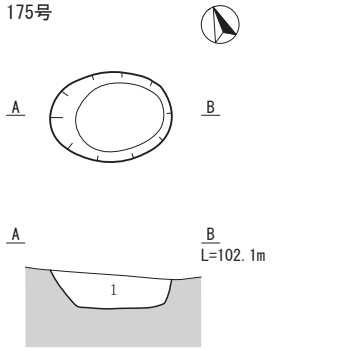
Ｇ－ 47 区，Ｖａ層で検出された。平面形状は不整な楕円形，長径 118cm，短径 61cm で，深さは 15cm である。埋土は２層で両層ともアカホヤブロックを少量含む。

174号



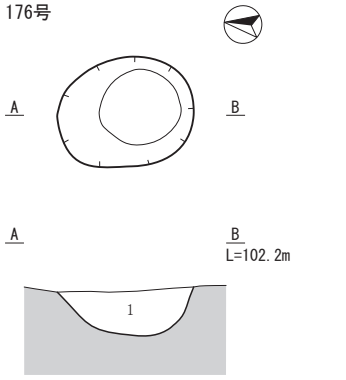
土坑174号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

175号



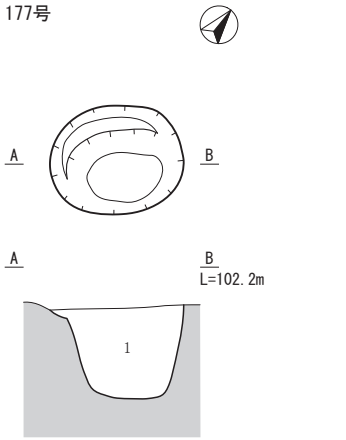
土坑175号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

176号



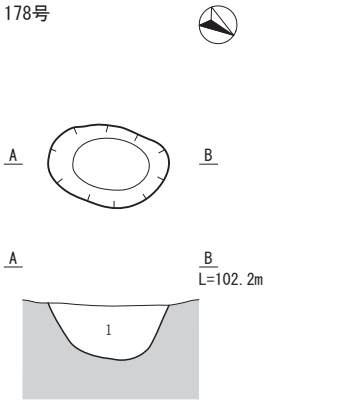
土坑176号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

177号



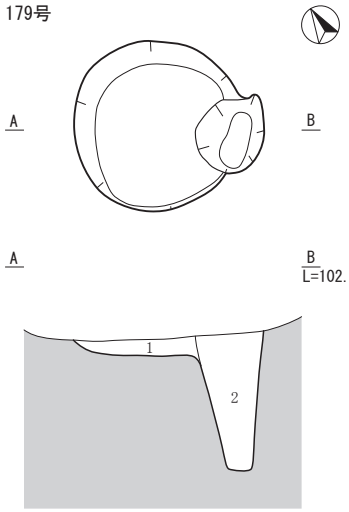
土坑177号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

178号



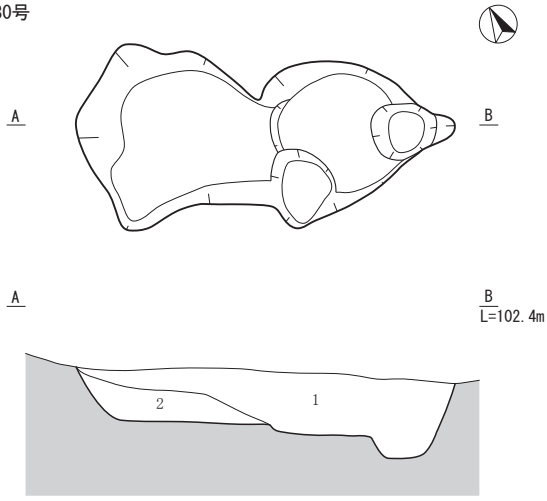
土坑178号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

179号



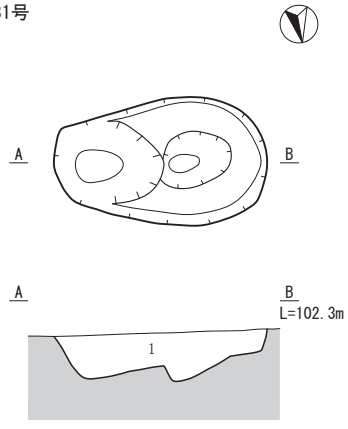
土坑179号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性有り。径5～10㎜の
　　アカホヤブロックが微量混じる。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。径10～30㎜の
　　アカホヤブロックが少量混じる。
　　ピット埋土。

180号

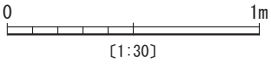


土坑180号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。径10～50㎜の
　　池田降下軽石が少量混じる。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径20～50㎜の
　　アカホヤブロックが少量混じる。

181号

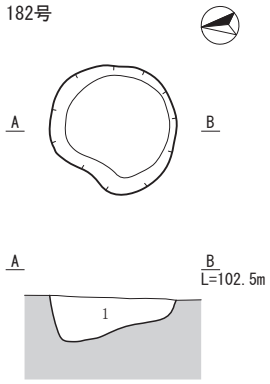


土坑181号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



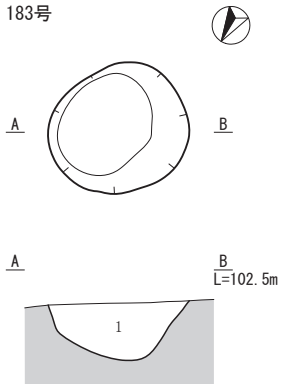
第 111 図　土坑 174 ～ 181 号

182号



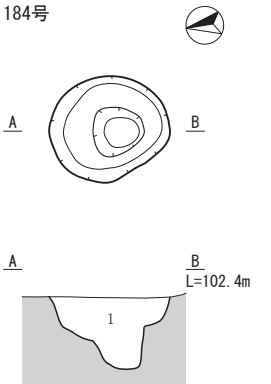
土坑182号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

183号



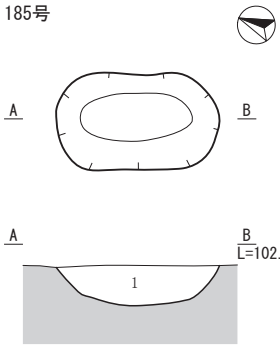
土坑183号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

184号



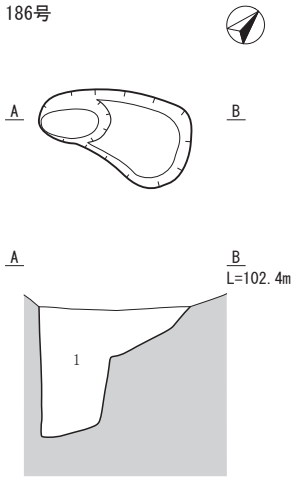
土坑184号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

185号



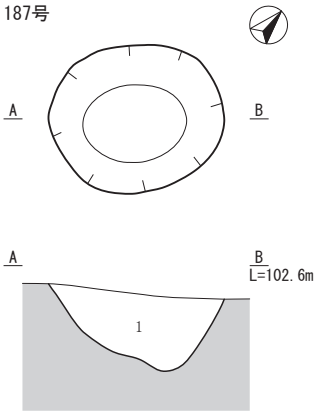
土坑185号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

186号



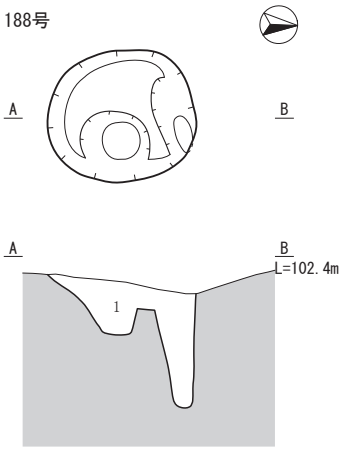
土坑186号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

187号



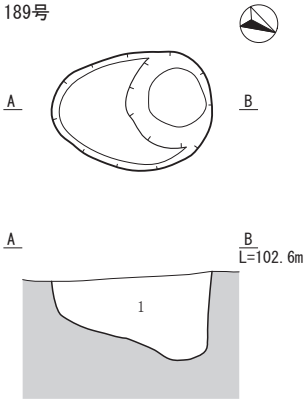
土坑187号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

188号



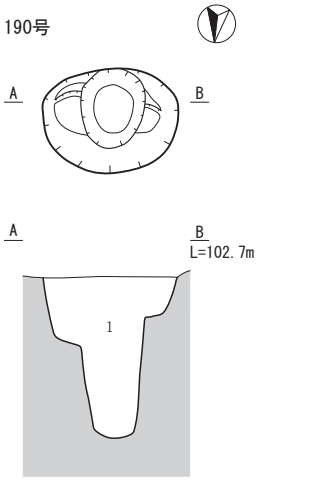
土坑188号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

189号

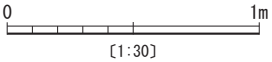


土坑189号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

190号

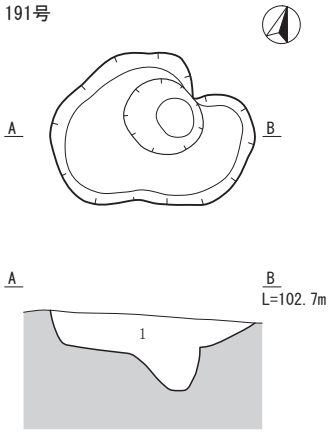


土坑190号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。



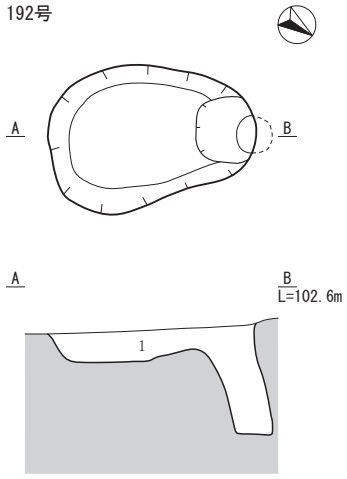
第 112 図　土坑 182 ～ 190 号

191号



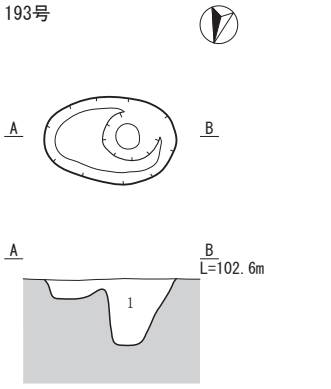
土坑191号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

192号



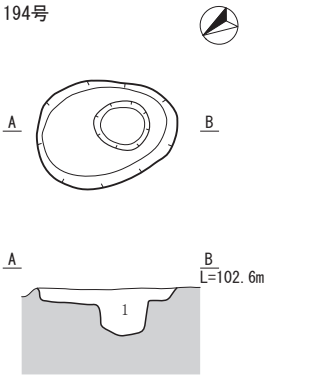
土坑192号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

193号



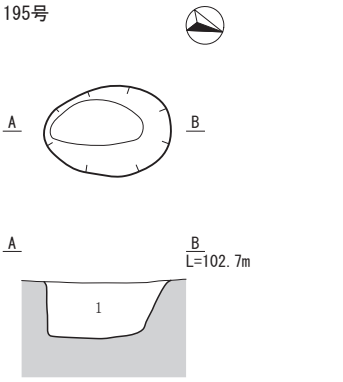
土坑193号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

194号



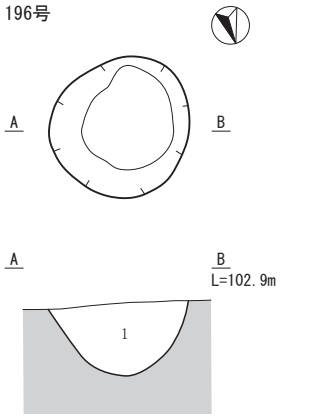
土坑194号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

195号



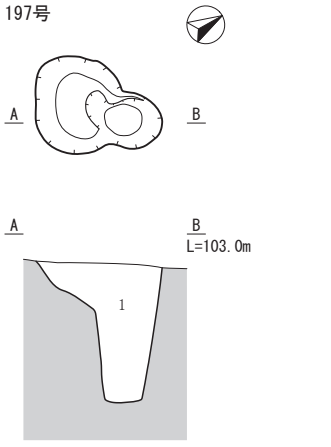
土坑195号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

196号



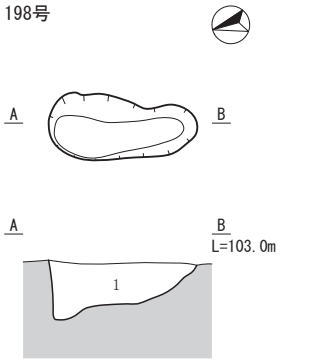
土坑196号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

197号



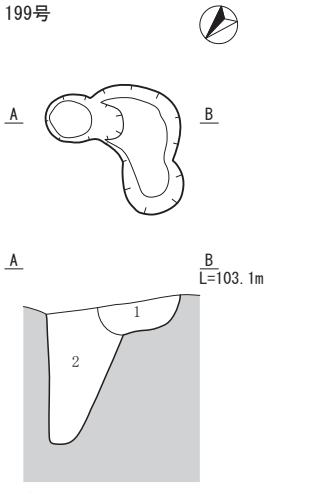
土坑197号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

198号

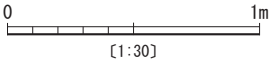


土坑198号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

199号

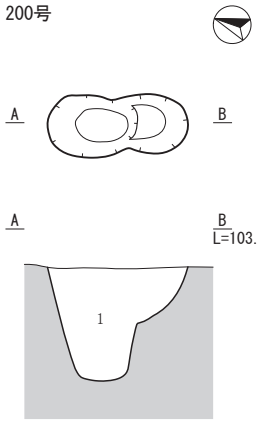


土坑199号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



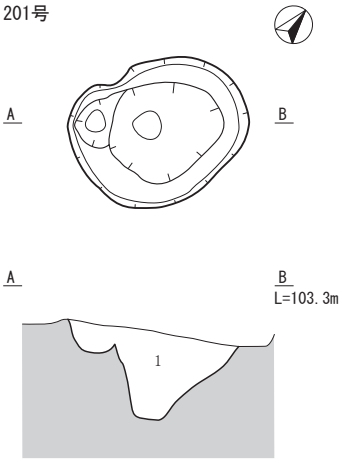
第 113 図　土坑 191 ～ 199 号

200号



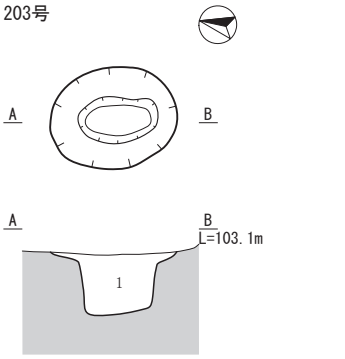
土坑200号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

201号



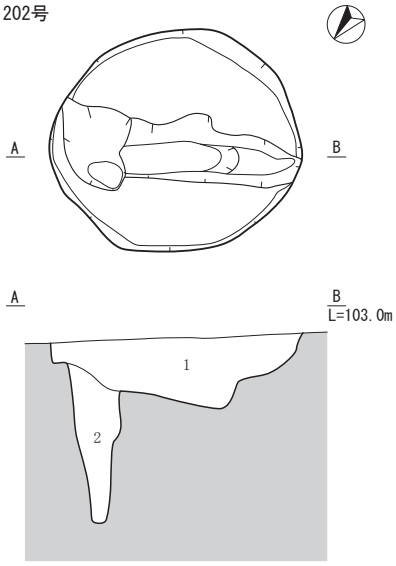
土坑201号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

203号



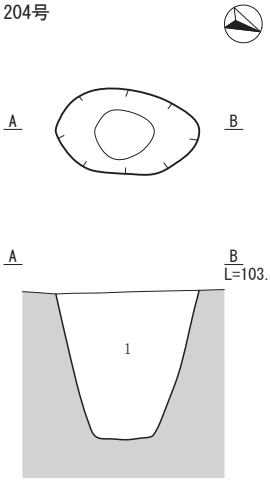
土坑203号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

202号



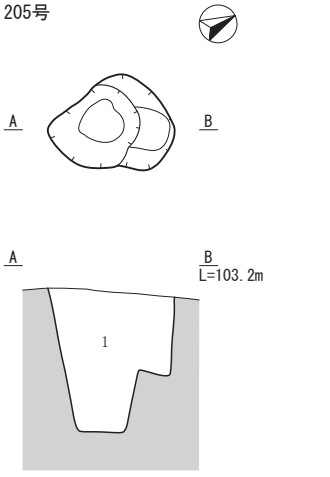
土坑202号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性有り。
　　径3㎜の池田降下軽石を微量含む。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性有り。
　　径5㎜のアカホヤブロックを微量含む。

204号



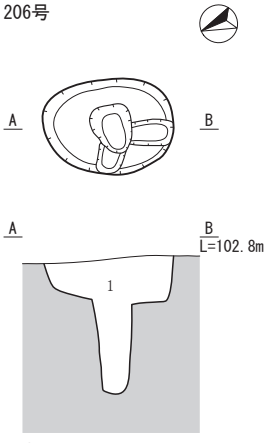
土坑204号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

205号



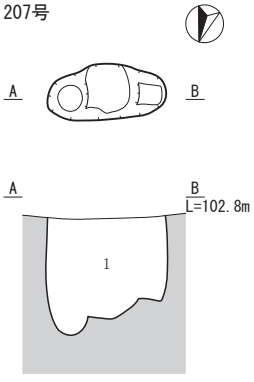
土坑205号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

206号



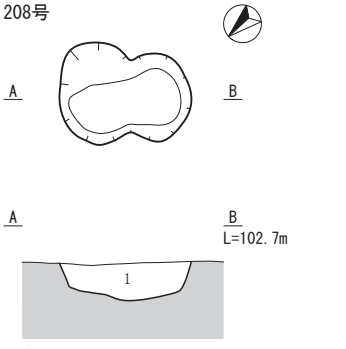
土坑206号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

207号



土坑207号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

208号

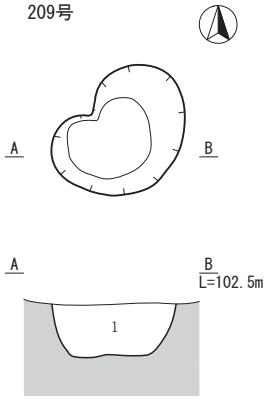


土坑208号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

0　1m
〔1:30〕

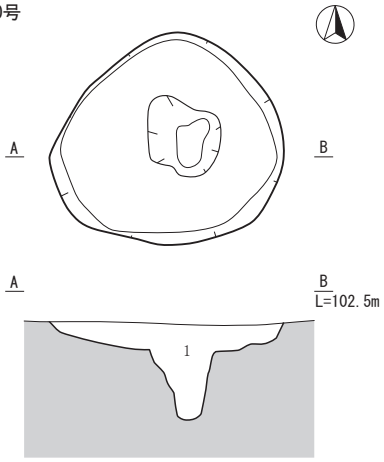
第 114 図　土坑 200 ～ 208 号

209号



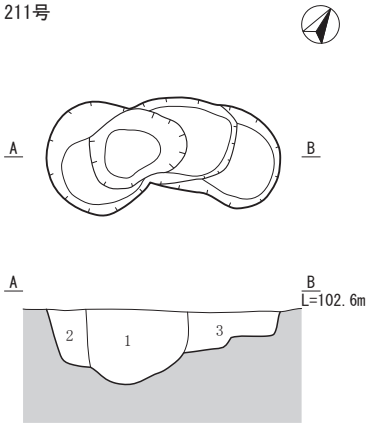
土坑209号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

210号



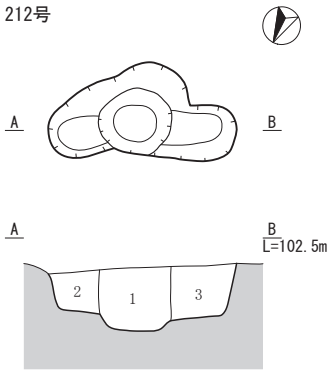
土坑210号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。
径10㎜の池田降下軽石を少量含む。

211号



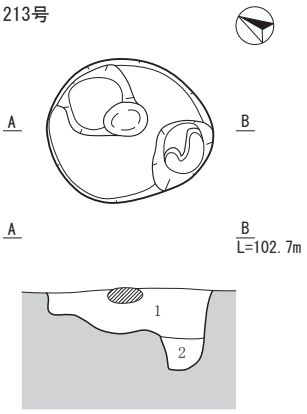
土坑211号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性有り。
3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

212号



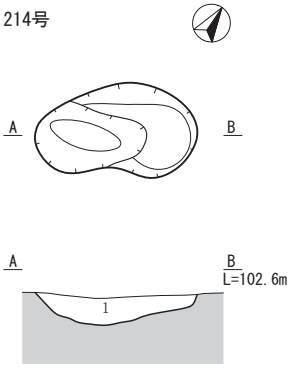
土坑212号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。
3　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

213号



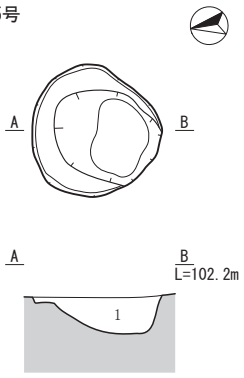
土坑213号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。
径5㎜程のアカホヤブロックが少量混じる。
2　10YR4/1　褐灰色　しまり無し。粘性有り。
径10㎜の池田降下軽石が少量混じる。

214号



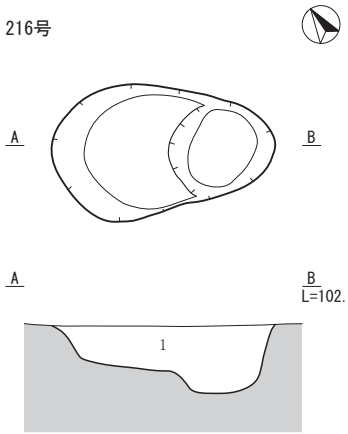
土坑214号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

215号



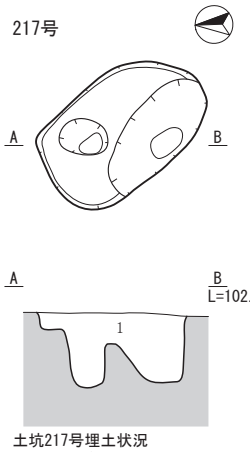
土坑215号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
粘性無し。

216号



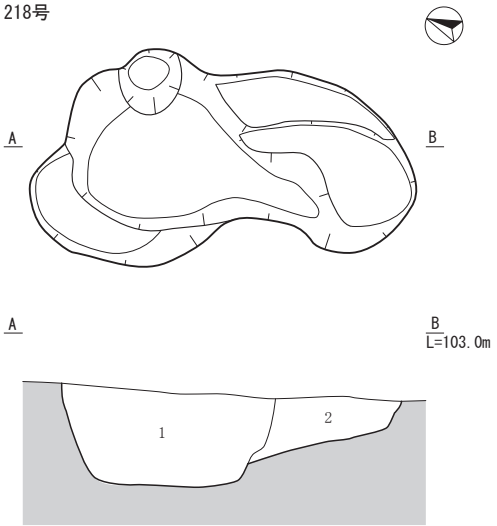
土坑216号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

217号



土坑217号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

218号

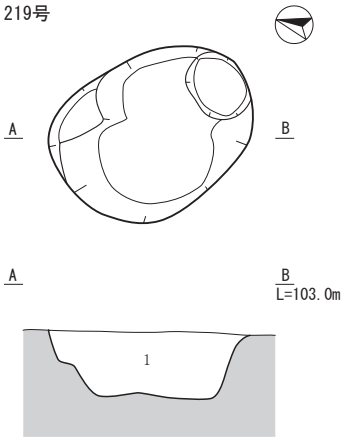


土坑218号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
橙色，白色パミス極少量混じる。
2　10YR2/1　黒色　1よりやや明るい。別遺構の埋土。

0　1m
〔1:30〕

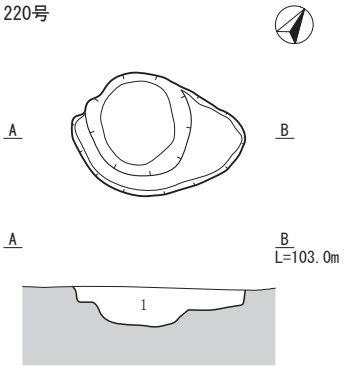
第 115 図　土坑 209 ～ 218 号

219号



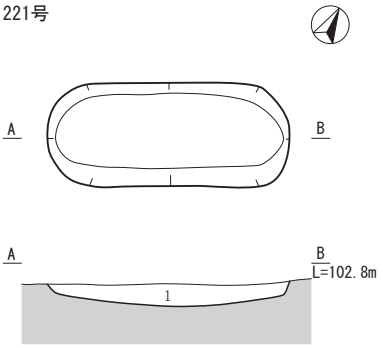
土坑219号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり弱い。粘性やや有り。
径５～10mm大のアカホヤブロック
少量混じる。橙色，白色パミス少量含む。

220号



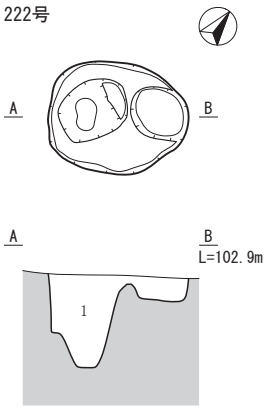
土坑220号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

221号



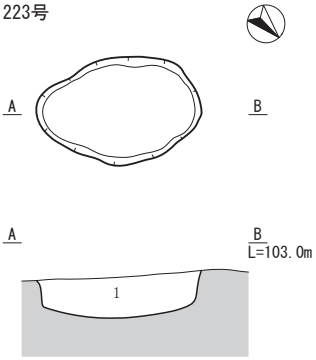
土坑221号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

222号



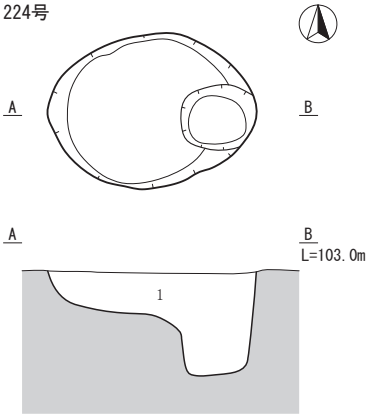
土坑222号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

223号



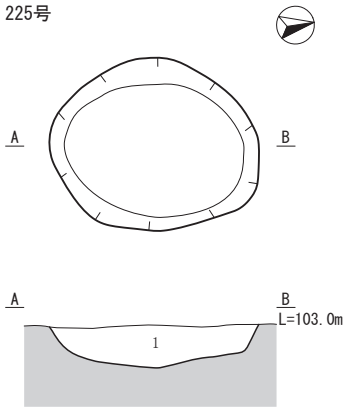
土坑223号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

224号



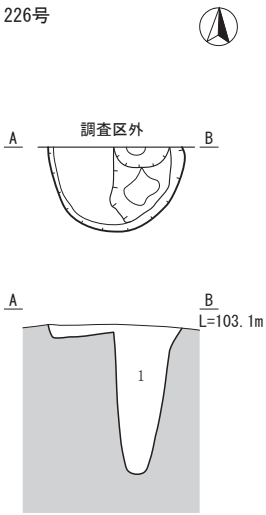
土坑224号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

225号



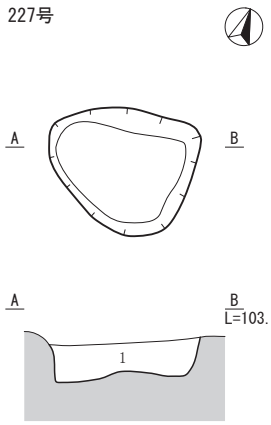
土坑225号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

226号

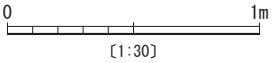


土坑226号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

227号



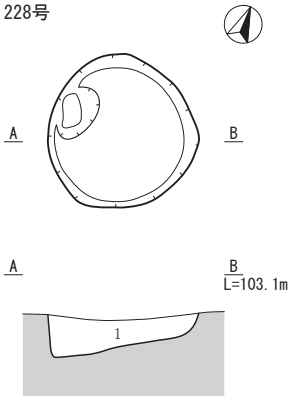
土坑227号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。



〔1:30〕

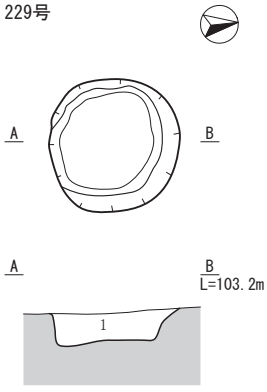
第 116 図　土坑 219 ～ 227 号

228号



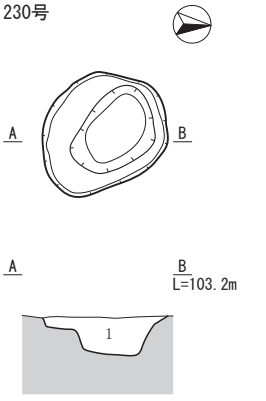
土坑228号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性有り。

229号



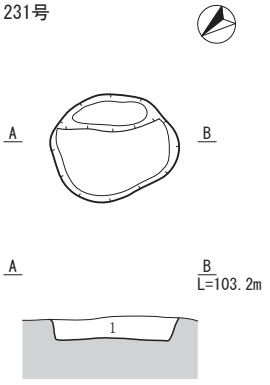
土坑229号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

230号



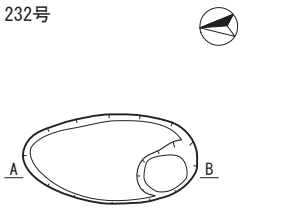
土坑230号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
粘性無し。

231号



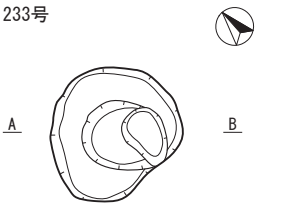
土坑231号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

232号



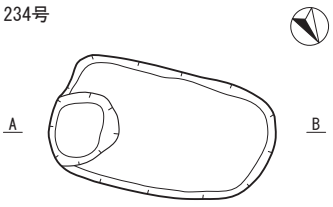
土坑232号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

233号



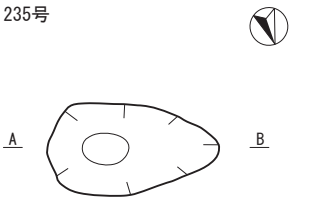
土坑233号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性有り。

234号



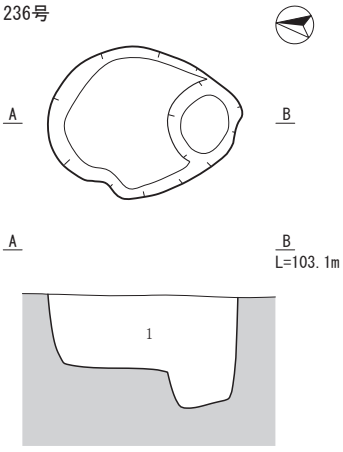
土坑234号埋土状況
1　110YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性無し。

235号



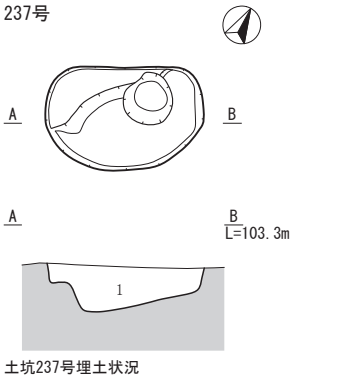
土坑235号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性有り。

236号



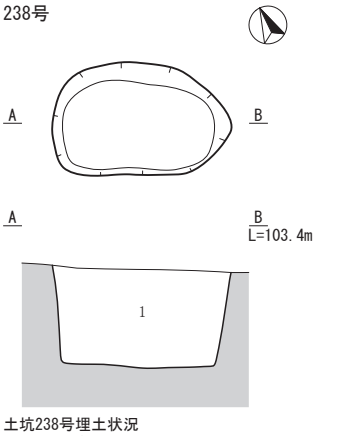
土坑236号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

237号

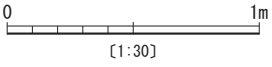


土坑237号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

238号

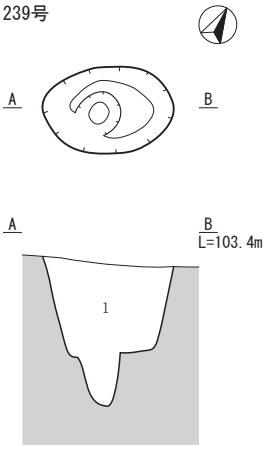


土坑238号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。



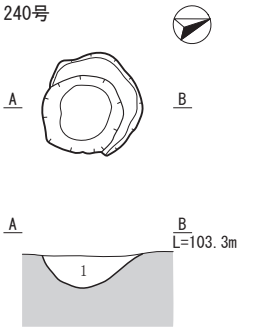
第 117 図　土坑 228 ～ 238 号

239号



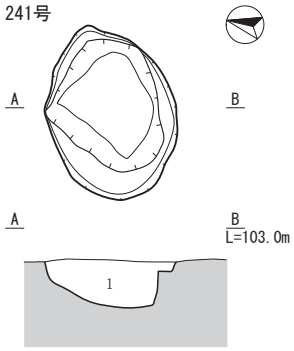
土坑239号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。

240号



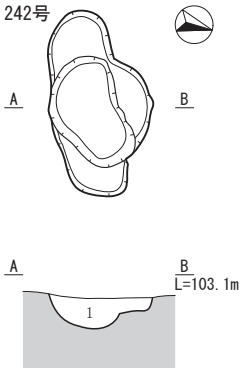
土坑240号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

241号



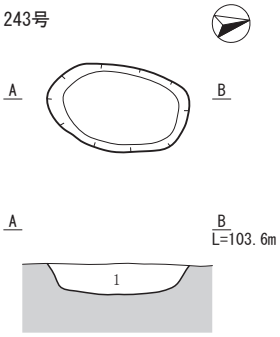
土坑241号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

242号



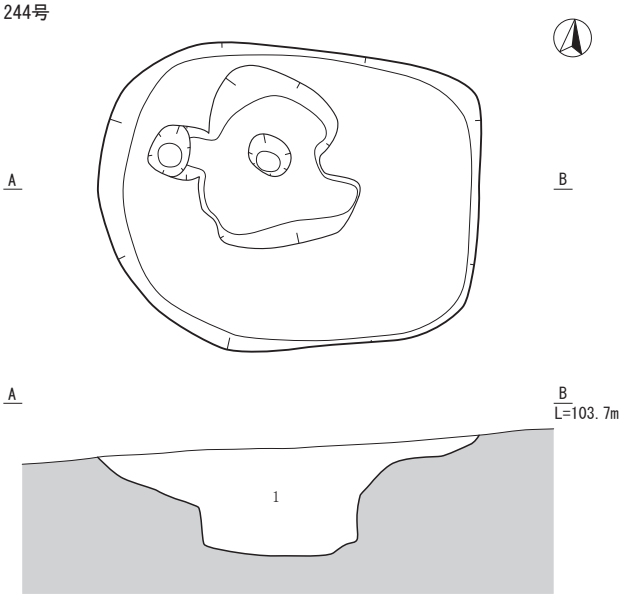
土坑242号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
粘性無し。

243号



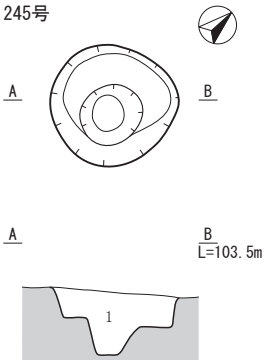
土坑243号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

244号



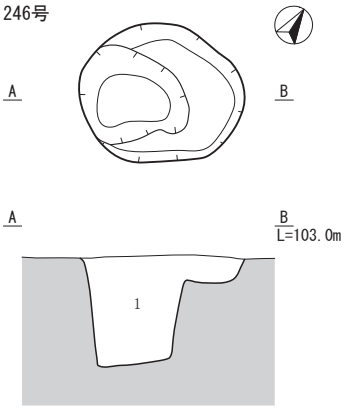
土坑244号
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。径10㎜のアカホヤが少量混じる。

245号



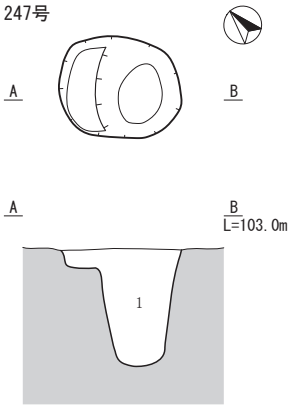
土坑245号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性有り。

246号



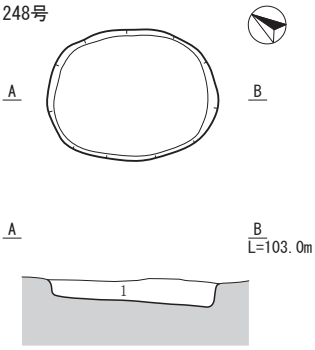
土坑246号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

247号

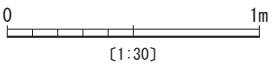


土坑247号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

248号



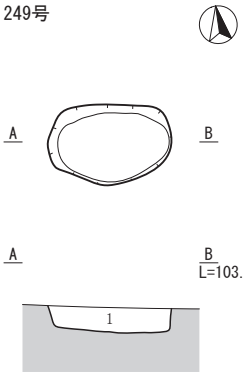
土坑248号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
粘性無し。



〔1:30〕

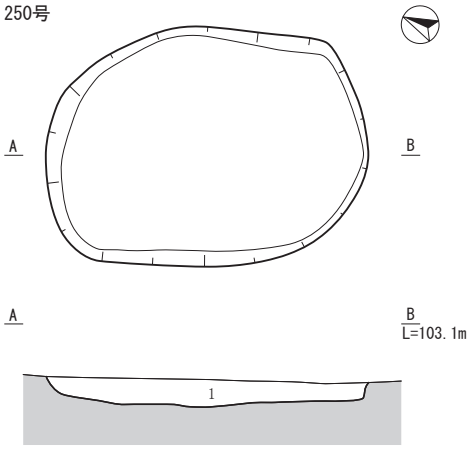
第 118 図　土坑 239 ～ 248 号

249号



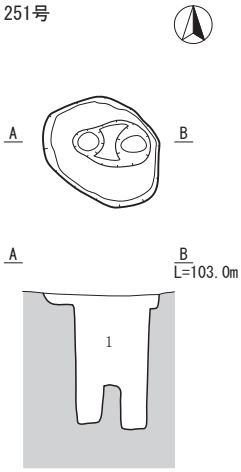
土坑249号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。粘性無し。

250号



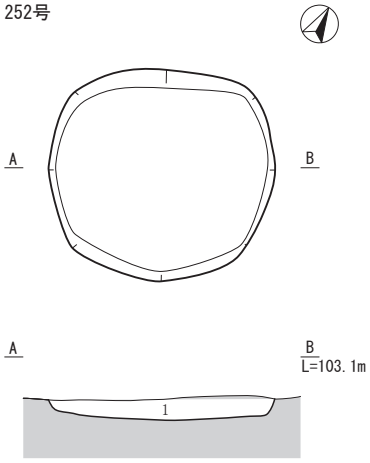
土坑250号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。径10㎜の
アカホヤブロックが微量に混じる。

251号



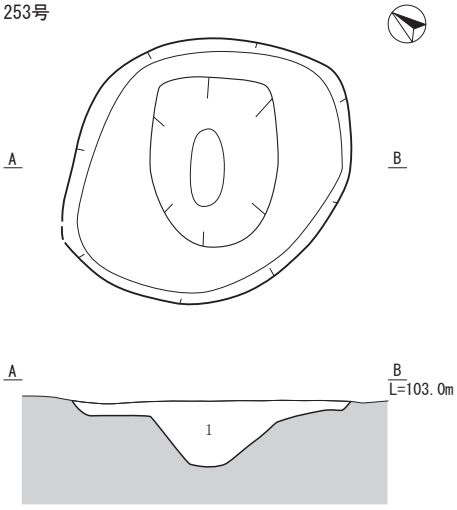
土坑251号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

252号



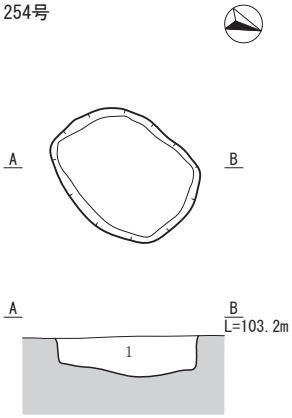
土坑252号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。

253号



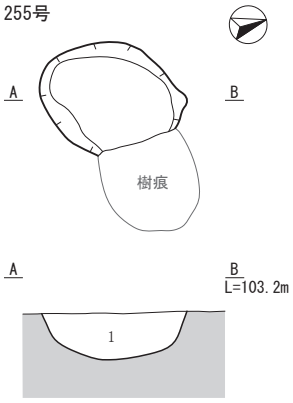
土坑253号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。径10～30㎜程度の
池田降下軽石を微量に含む。

254号



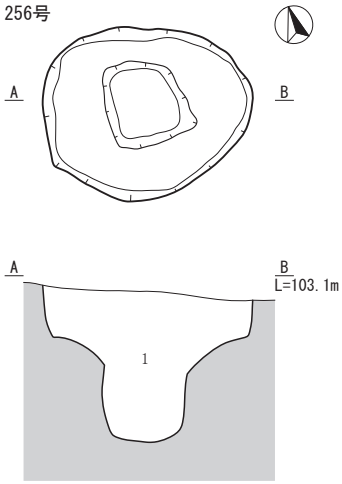
土坑254号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

255号



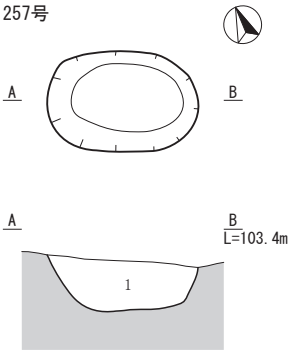
土坑255号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

256号

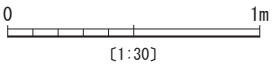


土坑256号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

257号



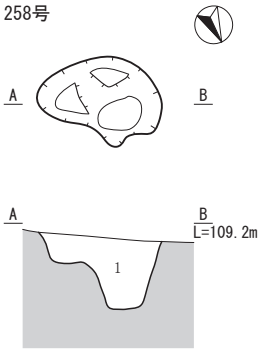
土坑257号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。



〔1:30〕

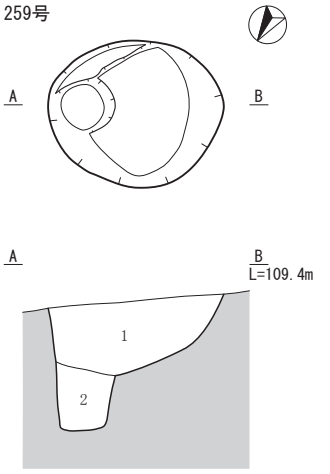
第 119 図　土坑 249 ～ 257 号

258号



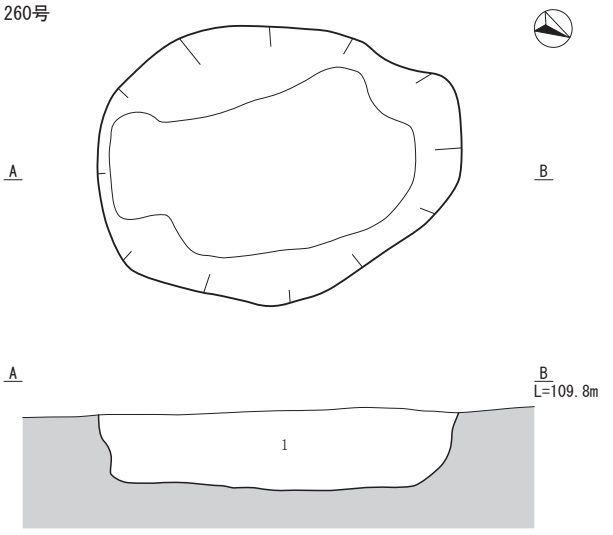
土坑258号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。
粘性無し。

259号



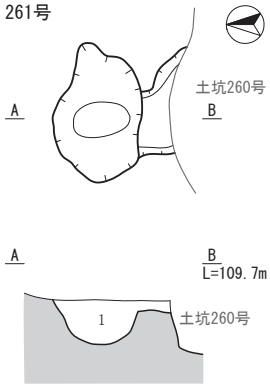
土坑259号埋土状況
1　10YR3/2　黒褐色　しまり無し。粘性無し。
2　10YR3/3　暗褐色　しまり無し。粘性無し。

260号



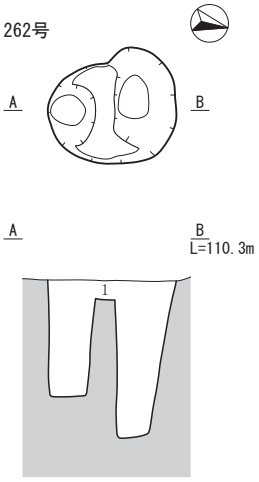
土坑260号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまりやや強い。粘性無し。径20～30㎜程の軽石が少量混じる。
径2～5㎜程のアカホヤブロックを微量に含む。

261号



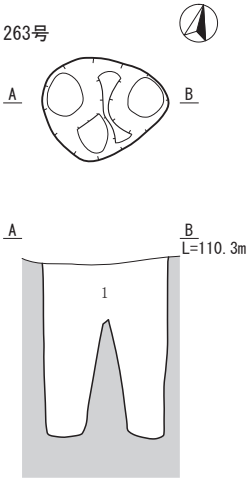
土坑261号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり弱い。
粘性やや有り。径10㎜程の
アカホヤブロックが混じる。
黄色パミス多く含む。

262号



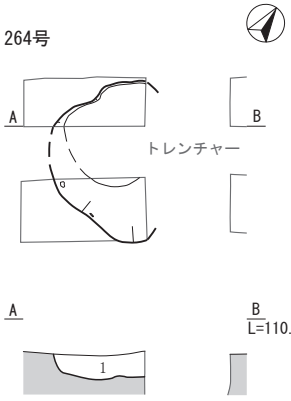
土坑262号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。
粘性無し。

263号



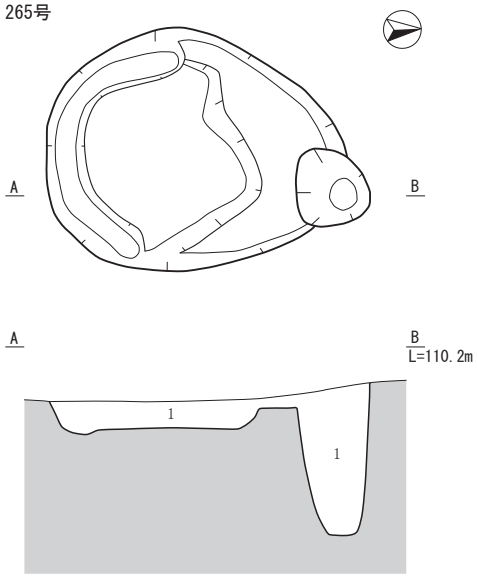
土坑263号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。
粘性無し。

264号



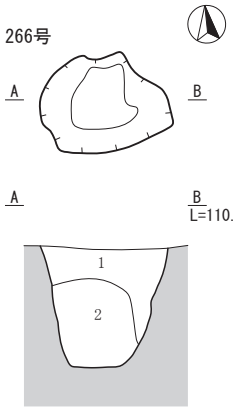
土坑264号埋土状況
1　10YR8/6　黄橙色と10YR3/1　黒褐色
しまり強い。粘性有り。
粘土質で径10～20㎜程のアカホヤブロックが
少量混じる。径5～10㎜程度の炭化物，アカホ
ヤブロック含む。

265号



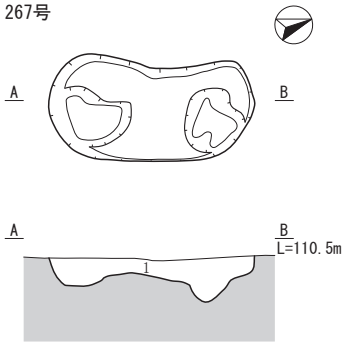
土坑265号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。
径20～40㎜のアカホヤブロック少量含む。

266号

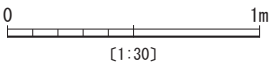


土坑266号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性強い。
アカホヤブロック少量混じる。
2　10YR1.7/1　黒色　しまり有り。粘性強い。
アカホヤブロック微量に混じる。

267号

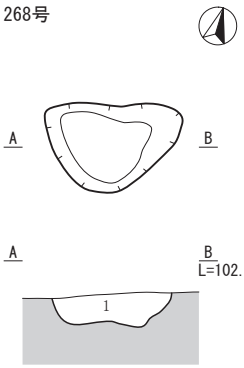


土坑267号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。粘性有り。



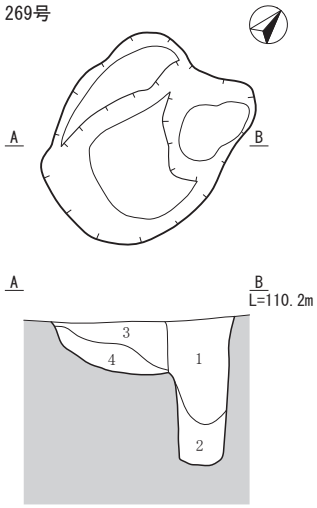
第 120 図　土坑 258 ～ 267 号

268号



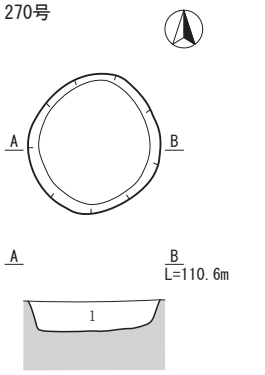
土坑268号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性有り。
　　池田降下軽石が少量混じる。

269号



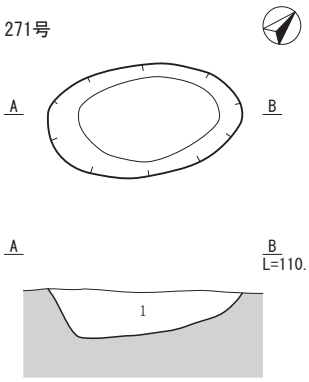
土坑269号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり弱い。粘性有り。
　　池田降下軽石が少量混じる。
2　10YR4/2　灰黄褐色　しまり弱い。粘性有り。
　　アカホヤブロック少量混じる。
3　10YR4/1　褐灰色　しまり強い。粘性有り。
　　池田降下軽石が少量混じる。
4　10YR3/1　黒褐色　しまり非常に強い。粘性有り。
　　池田降下軽石が少量混じる。

270号



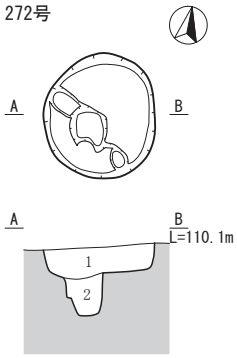
土坑270号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。
　　粘性無し。

271号



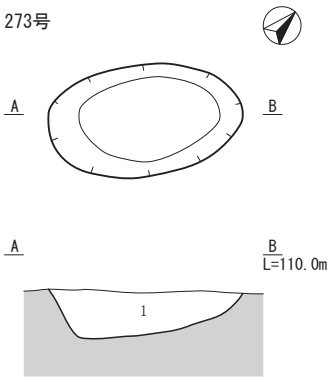
土坑271号埋土状況
1　10YR5/2　灰黄褐色　しまりやや有り。粘性無し。

272号



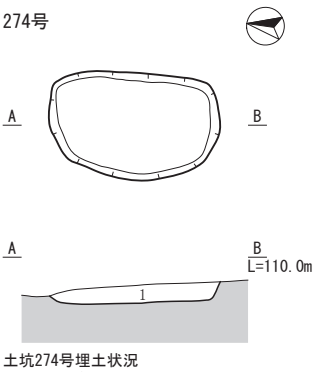
土坑272号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性やや有り。
2　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性やや有り。

273号



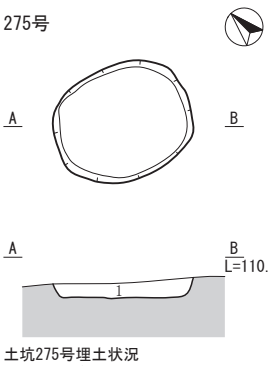
土坑273号埋土状況
1　10YR5/2　灰黄褐色　しまりやや有り。
　　粘性無し。

274号



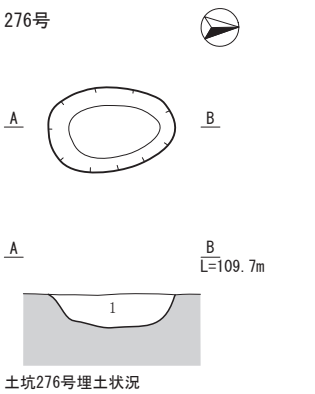
土坑274号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり無し。粘性無し。

275号



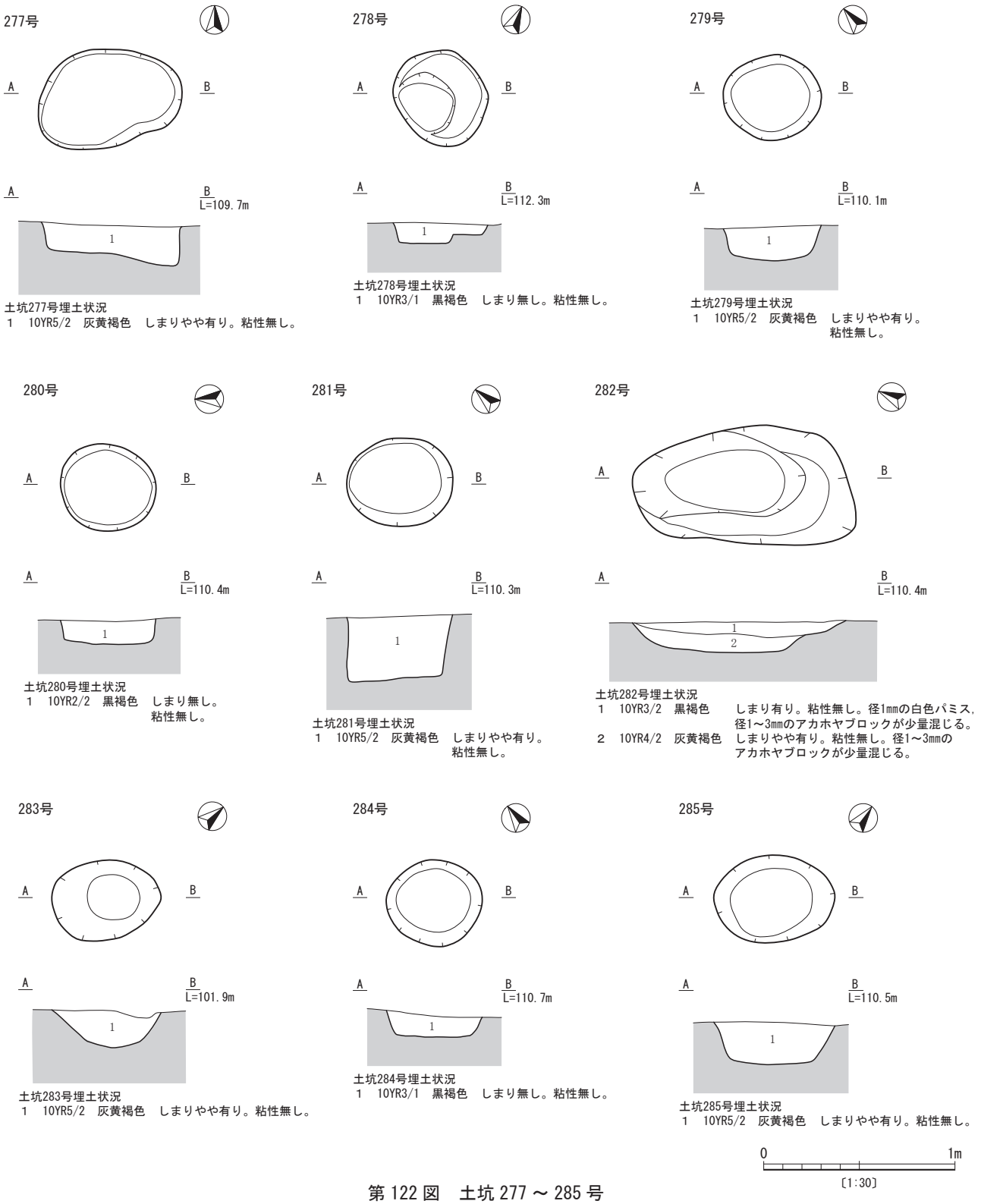
土坑275号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり無し。粘性無し。

276号



土坑276号埋土状況
1　10YR5/2　灰黄褐色　しまりやや有り。
　　粘性無し。

第 121 図　土坑 268 ～ 276 号



第 122 図　土坑 277 ～ 285 号

エ　小結

可能性も含め出土土器から時期をある程度推測できる土坑は約 20 基と少なく，配置状況はＢ・Ｃ地点に集中していることが分かる。それぞれの土器の分布状況と土坑の配置状況については，明確な相関関係はみられなかった。

時期不明の土坑はＤ地点には少なく，Ａ～Ｃ地点はほぼ同数あることが分かった。

第15表　後期～晩期土坑観察表①

挿図番号	遺構番号	旧遺構番号	type	地点	区	検出面	計測値（cm）			出土遺物	備考
							長径	短径	深さ		
74	1	SK106	4	C	E19	Ⅲ	66	64	18	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	土坑57号を切る
	2	SK103	4	C	F20	Ⅱc	77	70	92	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	3	SK105	4	C	E20	Ⅲ	86	69	85	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	P2355に隣接
75	4	SK133	4	C	F21	Ⅲ	85	67	86	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	5	SK109	4	C	G21	Ⅲ	58	42	46	41・42	
	6	SK107	4	C	G21	Ⅲ	85	60	32	43・44・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
76	7	SK108	4	C	G22	Ⅲ	111	74	14	45・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	8	SK128	2	C	D22	Ⅲ	144	91	30	第Ⅵ～第Ⅹ類土器・磨石	
	9	SK119	4	C	C23	Ⅲ	88	86	48	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	10	SK137	4	C	C23	Ⅲ	72	57	50	第Ⅳ類土器	
	11	SK100	4	C	B24	Ⅲ	84	80	54	46・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
77	12	SK129	1	C	C24	Ⅲ	84	63	52	47	
	13	SK97	4	C	B25	Ⅲ	67	62	32	48・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	14	SK122	4	C	C26	Ⅲ	(42)	(79)	69	49・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	調査区際未掘
78	15	SK123	4	C	E24	Ⅲ	197	192	64	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
79	16	SK220	1	B	F25	Ⅱc	132	121	55	50・51・52・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・第Ⅻ類土器・脚台	第Ⅴ章第6節 No.13(1744-1616calBC)
80	17	SK89	1	B	G27	Ⅲ	53	48	48	53	
	18	SK77	1	B	G28	Ⅱc	141	106	43	第Ⅻ類	石器集中部13号直下
	19	SK84	1	B	F28	Ⅲ	149	111	40	第Ⅵ～第Ⅹ類土器・磨石・剥片	石器集中部12号直下
81	20	SK87	1	B	G30	Ⅲ	109	98	57	54・55・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・剥片・石皿片・打製石斧	
	21	SK38	1	B	C・D30	Ⅲ	179	141	25	56・57・58・59・型式不明土器・石鏃未製品・礫	
82	22	SK69	1	B	C30	Ⅴa	144	112	55	60・61・62・63・64・65・66・第Ⅵ～Ⅹ類土器・型式不明土器・磨敲石・磨石・石皿片・剥片	
84	23	SK68	1	B	C30	Ⅴa	122	106	32	67・68・69・70・型式不明土器・磨敲石・剥片	
	24	SK72	1	B	C31	Ⅴa	105	91	17	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
85	25	SK193	1	B	C31	Ⅲ	138	125	74	71・72・73・74・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・型式不明土器・石皿・礫器	第Ⅴ章第6節 No.35(1636-1517calBC)
86	26	SK194(P3349)	4	B	C32	Ⅲ	73	61	77	75・型式不明土器	
	27	SK195	4	B	C32	Ⅲ	50	(22)	23	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	調査区際未掘 第Ⅴ章第6節 No.33(1636-1518calBC)
	28	SK50	1	B	D31	Ⅲ	113	107	33	76・77・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・型式不明土器・石皿・磨敲石	
87	29	P744	4	B	C32	Ⅲ	74	63	34	78・第Ⅵ～Ⅹ類土器	
	30	SK196	1	B	C33	Ⅲ	82	64	9	79・80・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・型式不明土器	
	31	SK43	3	B	C32,C33	Ⅲ	194	171	57	81・型式不明土器	
88	32	SK52	1	B	C33	Ⅲ	151	139	39	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	33	SK53	1	B	C34	Ⅲ	104	65	48	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	34	SK45	1	B	E31	Ⅲ	124	105	21	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	35	SK95	4	B	E・F30・31	Ⅲ	111	72	48	82・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	36	SK49	4	B	E31	Ⅲ	77	70	41	83	
89	37	SK83	1	B	F31	Ⅲ	174	146	62	84・85・86・87・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・型式不明土器・剥片	
90	38	SK96	4	B	E32	Ⅲ	66	54	51	第Ⅻ類土器・型式不明土器	
	39	SK60	4	B	E32	Ⅲ	81	61	50	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	40	SK82	1	B	F32	Ⅲ	145	139	24	第Ⅵ～第Ⅹ類土器・剥片	
	41	SK74	2	B	F32	Ⅱb	174	116	30	88・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・磨敲石片・剥片	
91	42	SK79	4	B	F33	Ⅲ	90	66	57	89・第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
	43	P1244・P1245	4	B	F33	Ⅲ	108	77	52	90・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・磨石片	
92	44	SK76	4	A	F 38	Ⅲ	82	70	22	91	
	45	P1138	1	A	F39	Ⅴa	47	36	27	92	
	46	SK31	1	A	F42	Ⅴ	50	30	43	第Ⅵ～第Ⅹ類土器	
93	47	SK8	1	A	H40	Ⅲ	155	133	19	93・94・95・96・97・98・99・100・第Ⅵ～第Ⅹ類土器・型式不明土器	
96	48	SK219	1	D	C8	Ⅱc	(63)	56	6	101・敲石・礫	
97	49	P2433・2434	4	C	G12	Ⅲ	62	26	48		調査区際未掘
	50	P2429・2431	3	C	G12	Ⅲ	58	43	45		
	51	P1077	4	C	A15	Ⅲ	51	42	55		
	52	P1073	4	C	A16	Ⅲ	58	39	54		
	53	P2260	1	C	A19	Ⅲ	54	38	30		
	54	P2261	1	C	A19	Ⅲ	58	35	42		
	55	SK98	1	C	C19	Ⅲ	73	48	34	102・剥片	
	56	SK104	4	C	E19	Ⅲ	63	53	36		
98	57	SK112	4	C	E19	Ⅲ	128	95	33		土坑1号,P2385,P2351に切られる
	58	P2285	4	C	D19	Ⅲ	60	36	47		
	59	P2363	1	C	G19	Ⅲ	50	30	17		
	60	P2380	1	C	G20	Ⅲ	50	41	22		
	61	P2411	1	C	G21	Ⅲ	50	40	37		
	62	P2382	2	C	E20	Ⅲ	50	22	67		
	63	SK132	4	C	F21	Ⅲ	88	62	43		
	64	SK127	4	C	E22	Ⅲ	97	46	40		
	65	SK134	1	C	D・E21	Ⅲ	76	79	7		
99	66	SK146	1	C	D21	Ⅲ	75	63	20		
	67	SD24	3	C	C21	Ⅱb	89	55	38		埋設土器1号直下

第16表　後期～晩期土坑観察表②

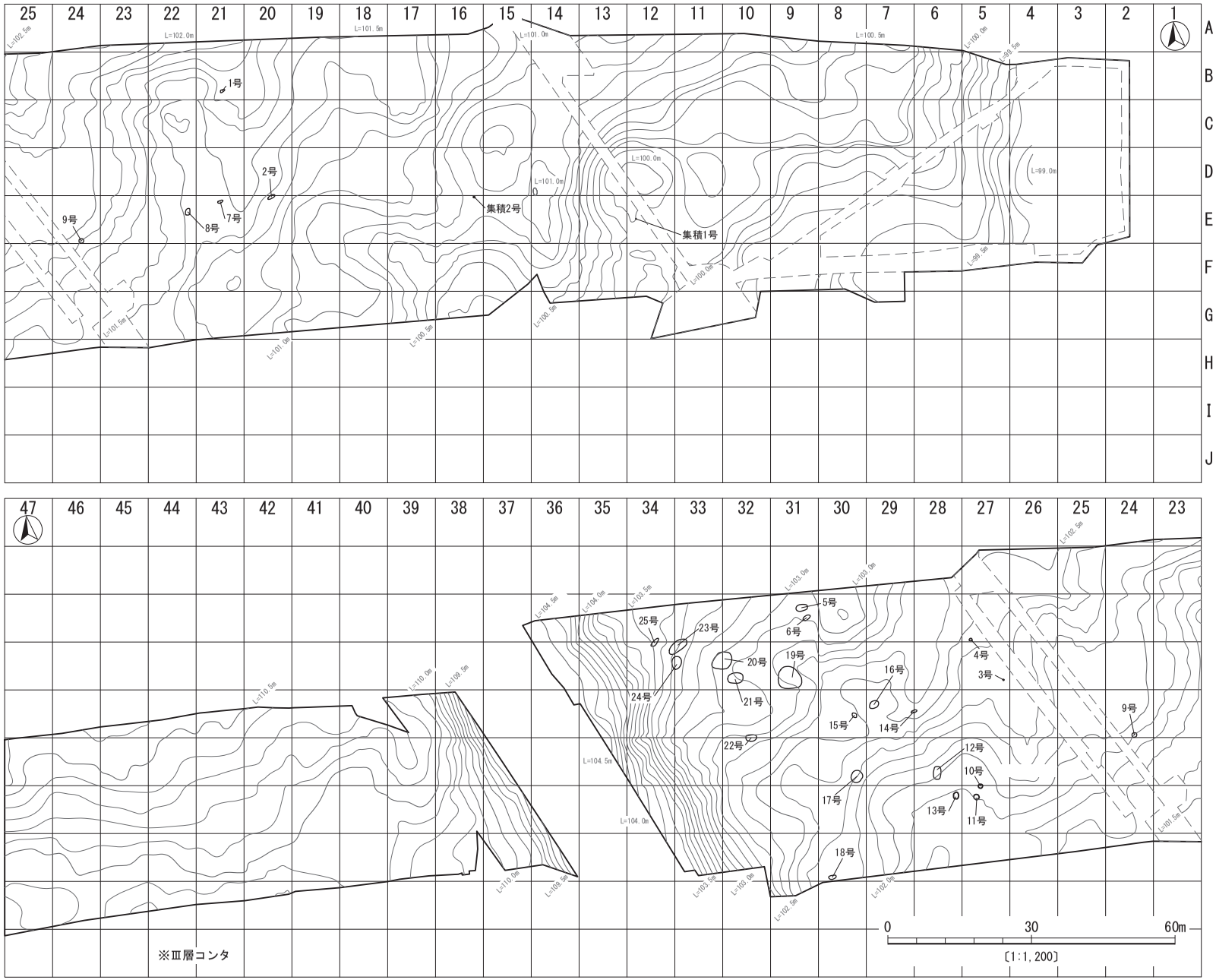
挿図番号	遺構番号	旧遺構番号	type	地点	区	検出面	計測値（cm）			出土遺物	備考
							長径	短径	深さ		
99	68	P2267	1	C	B21	Ⅲ	55	47	40		
	69	P2317	1	C	B23	Ⅲ	54	39	22		
	70	SK99	4	C	B23	Ⅲ	72	53	56		
	71	SK102	1	C	B23・24	Ⅲ	33	29	19		
100	72	SK101	1	C	B24	Ⅲ	191	177	24		土器集中部11号直下
	73	SK131	4	C	B・C22	Ⅲ	156	114	40		
	74	SK145	4	C	C22	Ⅲ	65	58	20		
	75	SK136	1	C	C22	Ⅲ	59	(42)	8		畑かん養生用土手未掘
	76	SK135	4	C	C22	Ⅲ	80	46	32		調査区際未掘
101	77	SK141	1	C	C23	Ⅲ	110	34	9		畑かん養生用土手未掘
	78	SK143	4	C	D23	Ⅲ	68	57	46		
	79	SK144	4	C	D23	Ⅲ	76	66	27		
	80	SK118	4	C	E23	Ⅲ	77	74	50		
	81	P2403	1	C	G22	Ⅲ	55	38	42		
	82	P2402	1	C	G22	Ⅲ	62	32	36		
	83	P2401	1	C	G22	Ⅲ	54	29	14		
	84	SK110	4	C	G22	Ⅲ	78	62	48		
	85	SK111	4	C	G22・23	Ⅲ	78	45	37		
102	86	P2386	4	C	G22・23	Ⅲ	73	36	23		
	87	SK125	1	C	E24	Ⅲ	78	78	12		
	88	P2274	4	C	B25	Ⅲ	59	38	36		
	89	P2257	4	C	B26	Ⅲ	55	48	35		
	90	P2256	1	C	B26	Ⅲ	56	46	33	磨石・磨石片	
	91	P2270	1	C	B26	Ⅲ	57	36	27		
	92	SK139	3	C	C26	Ⅲ	108	68	20		調査区際未掘
	93	SK120	1	C	C26	Ⅲ	(40)	82	26	石皿片	調査区際未掘
103	94	P1704	4	B	F25	Ⅲ	47	27	38		
	95	SK90	4	B	G26	Ⅲ	77	75	51		
	96	P1750	4	B	G27	Ⅲ	54	40	22		
	97	P1693	1	B	F26	Ⅲ	47	42	100		
	98	P1685	1	B	F27	Ⅲ	57	40	25		
	99	P558	1	B	E27	Ⅲ	68	34	11		
	100	P559	1	B	E27	Ⅲ	64	31	7		
	101	P560	1	B	E27	Ⅲ	58	56	14		
	102	SK35	1	B	E27	Ⅱc	78	62	23		
104	103	P557	1	B	E27	Ⅲ	67	36	30		
	104	P855	1	B	E27	Ⅴa	54	36	19		
	105	SK41	4	B	D26	Ⅲ	(86)	142	82	磨敲石	調査区際未掘
	106	P589	4	B	D27	Ⅲ	(47)	27	38	磨石	調査区際未掘
	107	P525	4	B	D27	Ⅲ	61	45	110		
	108	P524	1	B	D27	Ⅲ	50	34	14		
	109	P526	4	B	D27	Ⅲ	51	49	24		
	110	P540	2	B	D27	Ⅲ	68	61	20		
105	111	P539	1	B	D27	Ⅲ	76	37	18		
	112	P541	1	B	D27	Ⅲ	88	45	19		
	113	P537	1	B	D27	Ⅲ	55	43	17		
	114	P487	1	B	D27・28	Ⅲ	56	42	20		
	115	P476	1	B	D28	Ⅲ	70	48	22		
	116	P535	1	B	D27	Ⅲ	103	36	17		
	117	P533	1	B	D27	Ⅲ	71	39	9		
	118	P583	4	B	D27	Ⅲ	122	46	76		
	119	P582	1	B	C・D27	Ⅲ	56	34	15		
106	120	P509	1	B	C27	Ⅲ	64	44	16		
	121	P456	1	B	C28	Ⅲ	52	45	17		
	122	P464	1	B	C28	Ⅲ	78	50	14		
	123	P453	1	B	C28	Ⅲ	74	34	14		
	124	P337	1	B	B29	Ⅲ	48	40	23		
	125	P340	1	B	C29	Ⅲ	38	37	21		
	126	P359	1	B	C29	Ⅲ	66	40	29		
	127	P365	1	B	C29	Ⅲ	68	38	23		
	128	P363	1	B	C29	Ⅲ	69	59	23		
	129	P361	1	B	C・D29	Ⅲ	51	44	16		
	130	P362	1	B	C29	Ⅲ	62	49	15		
	131	P373	1	B	C・D29	Ⅲ	48	37	15		
107	132	P207	4	B	D30	Ⅲ	54	47	26		
	133	P263	4	B	D30	Ⅲ	58	53	32		
	134	P380	4	B	D29	Ⅲ	53	44	47		
	135	P381	4	B	D29	Ⅲ	54	32	21		
	136	P404	4	B	D29	Ⅲ	62	46	48		
	137	P395	1	B	D29	Ⅲ	80	69	10		
	138	P407	4	B	D29	Ⅲ	50	43	38		
	139	P287	1	B	D30	Ⅲ	59	47	16		
	140	SK39	1	B	D30	Ⅲ	82	53	49		

第17表　後期～晩期土坑観察表③

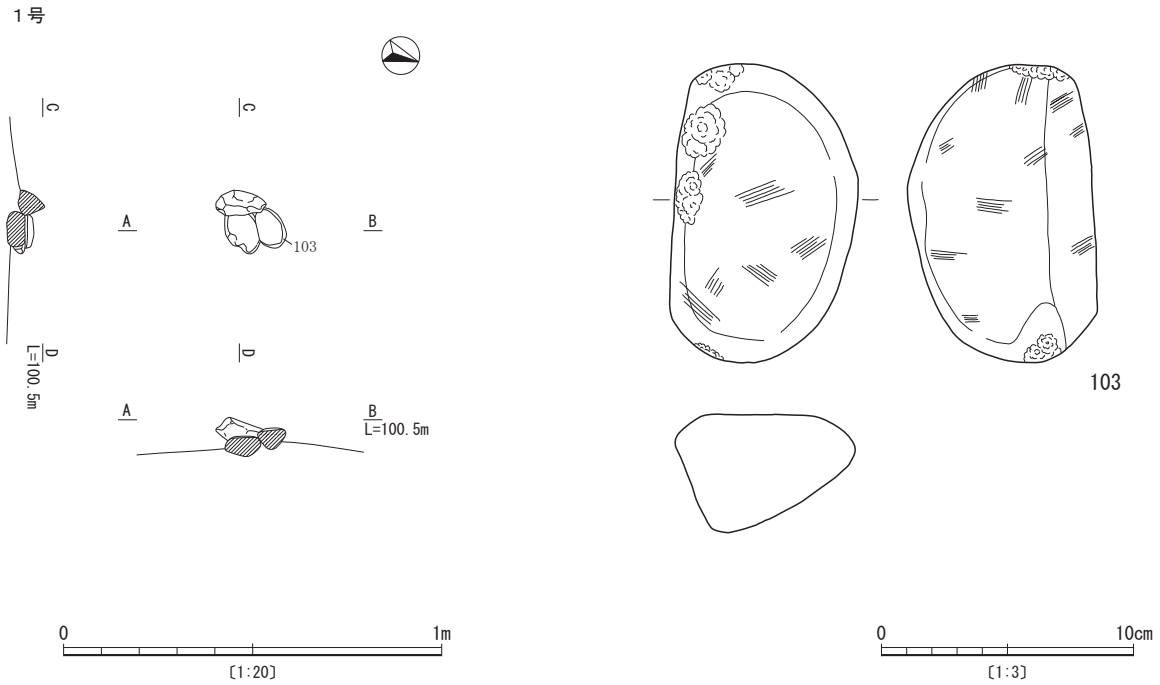
挿図番号	遺構番号	旧遺構番号	type	地点	区	検出面	計測値（cm）			出土遺物	備考
							長径	短径	深さ		
107	141	P286	1	B	D30	Ⅲ	63	36	14		
	142	P260	1	B	D30	Ⅲ	70	54	25		
108	143	SK34	1	B	D30	Ⅱc	49	39	19		
	144	P273	4	B	D30	Ⅲ	49	35	15		
	145	P278	1	B	D・E30	Ⅲ	72	36	40		
	146	P491	1	B	E28	Ⅲ	54	34	16		
	147	P499	1	B	E28	Ⅲ	49	40	12		
	148	P419	1	B	E29	Ⅲ	60	30	18		
	149	P416	1	B	E29	Ⅲ	50	39	14		
	150	P313	4	B	E30	Ⅲ	51	39	33		
	151	P314	4	B	E29	Ⅲ	69	54	32		
	152	P431	4	B	E29	Ⅲ	76	50	36		
	153	P439	1	B	E29	Ⅲ	52	36	52		
	154	P1947	4	B	E・F30	Ⅲ	54	38	42		
109	155	P1616	4	B	F30	Ⅲ	72	54	46		
	156	P1626	1	B	F29	Ⅲ	49	26	68		
	157	P1634	1	B	F29	Ⅲ	57	41	28		
	158	P1963	4	B	F29	Ⅲ	85	72	49		
	159	P1623	1	B	F29	Ⅲ	71	45	32		
	160	SK85	1	B	F28	Ⅲ	125	122	38		石器集中部 12 号直下
	161	SK86	1	B	F28・29	Ⅲ	85	80	53		
110	162	P1806	1	B	G28	Ⅲ	52	51	15		
	163	P1800	4	B	G28	Ⅲ	56	39	25		
	164	P1799	1	B	G28	Ⅲ	64	34	16		
	165	P1775	1	B	H28	Ⅲ	51	36	28		落とし穴 5 号に切られる
	166	P1850	4	B	G29	Ⅲ	59	42	31		
	167	P1815・1816	4	B	G29	Ⅲ	50	43	32		
	168	P1841	1	B	G29	Ⅲ	50	48	12		
	169	P1842	1	B	G29	Ⅲ	50	42	28		
	170	P1834	1	B	G29	Ⅲ	48	40	20		
	171	P1779	1	B	H28・H29	Ⅲ	50	41	12		
	172	P1777	1	B	H28	Ⅲ	54	47	14		
	173	P1782	1	B	H29	Ⅲ	59	39	12		
111	174	P1783	4	B	H29	Ⅲ	81	42	33		
	175	P1784	1	B	H29	Ⅲ	48	36	13		
	176	P1789	1	B	H29	Ⅲ	54	45	18		
	177	P1785	1	B	H29	Ⅲ	53	42	36		
	178	P1839	1	B	G29	Ⅲ	48	32	21		
	179	SK93	4	B	F29・30	Ⅲ	75	68	54		
	180	SK92	3	B	F・G30	Ⅲ	151	73	31		
	181	P1877	1	B	G30	Ⅲ	85	51	18		
112	182	P1891	1	B	G30	Ⅲ	50	50	18		
	183	P1885	1	B	G30	Ⅲ	56	51	22		
	184	P1884	4	B	G30	Ⅲ	48	42	27		
	185	P1860	1	B	H30	Ⅲ	65	38	15		
	186	P1605	4	B	I31	Ⅲ	61	34	51		
	187	P1607	1	B	H・I31	Ⅲ	70	57	29		
	188	P1565	4	B	H31	Ⅲ	59	51	45		
	189	P1569	1	B	H31	Ⅲ	64	47	33		
	190	P1574	4	B	H31	Ⅲ	54	41	64		
113	191	P1582	4	B	H31	Ⅲ	82	59	28		
	192	P1508	4	B	G31	Ⅲ	82	58	43		
	193	P1511	4	B	H31	Ⅲ	52	34	26		
	194	P1513	4	B	H31	Ⅲ	55	43	28		
	195	P1514	1	B	H31	Ⅲ	51	34	21		
	196	P1408	1	B	H32	Ⅲ	56	54	28		
	197	P1400	4	B	H32	Ⅲ	52	38	55		
	198	P1396	1	B	H32	Ⅲ	59	25	23		
	199	P1356・1357	4	B	H32	Ⅲ	54	32	52		
114	200	P1355	4	B	H32	Ⅲ	56	24	44		
	201	P1339・1340	4	B	H32	Ⅲ	72	58	34		
	202	SK80	4	B	H32	Ⅲ	101	87	72		
	203	P1318	1	B	H32	Ⅲ	50	40	24		
	204	P1166	1	B	H33	Ⅲ	57	33	58		
	205	P1170	4	B	H33	Ⅲ	51	36	55		
	206	P1268	4	B	G32	Ⅲ	52	38	53		
	207	P1271	1	B	G32	Ⅲ	46	21	45		
	208	P1308	3	B	G32	Ⅲ	52	41	13		
115	209	P1486	3	B	G31	Ⅲ	56	43	20		
	210	SK81	4	B	G31	Ⅲ	92	84	38		
	211	P1432 ～ P1434	4	B	F31	Ⅲ	93	45	29		
	212	P1440 ～ 1442	4	B	F31	Ⅲ	75	38	25		
	213	SK94	4	B	F30・31	Ⅲ	66	57	32	磨敲石	

第18表　後期～晩期土坑観察表④

挿図番号	遺構番号	旧遺構番号	type	地点	区	検出面	計測値（cm）			出土遺物	備考
							長径	短径	深さ		
	214	P326	3	B	E30	Ⅲ	64	36	10		
	215	P606	4	B	E31	Ⅲ	52	52	14		
115	216	P722	4	B	E31	Ⅲ	88	54	26	剥片	
	217	P723	4	B	E31	Ⅲ	70	44	30		
	218	SK48	3	B	E31	Ⅲ	153	86	36		
	219	SK46	4	B	E31	Ⅲ	82	62	26		
	220	P609	1	B	D31	Ⅲ	68	48	14		
	221	SK59	2	B	D31	Ⅲ	96	41	8		
	222	P614, 615	4	B	D31	Ⅲ	56	44	37		
116	223	P619	1	B	C31・32	Ⅲ	65	43	14		
	224	P732	4	B	C31	Ⅲ	82	60	41		
	225	P734	1	B	C31	Ⅲ	83	69	17		
	226	P738	4	B	C31・32	Ⅲ	53	(13)	59		調査区際未掘
	227	P742	3	B	C32	Ⅲ	60	(35)	14		
	228	P743	4	B	C32	Ⅲ	60	60	15		
	229	P635	1	B	C32	Ⅲ	52	52	12		
	230	P636	4	B	C32	Ⅲ	50	48	15		
	231	P637	1	B	C32	Ⅲ	51	43	9		
	232	P626	4	B	C32	Ⅲ	69	35	32		
117	233	P639	4	B	C32	Ⅲ	53	53	41		
	234	P984	4	B	C32	Ⅴa	88	51	39	剥片	
	235	P1038	1	B	D32	Ⅴa	68	36	28		
	236	P989	4	B	C・D33	Ⅴa	76	60	44		
	237	P746	4	B	C33	Ⅲ	62	41	18		
	238	P650	1	B	C33	Ⅲ	71	43	38		
	239	P655	4	B	C・D33	Ⅲ	52	31	56		
	240	P673	1	B	D33	Ⅲ	40	40	12		
	241	P677	1	B	D33	Ⅲ	34	25	8		
	242	P675	3	B	D33	Ⅲ	75	42	12		
118	243	P664	1	B	D34	Ⅲ	56	34	11		
	244	SK64	4	B	D34	Ⅲ	151	122	43		
	245	P667	4	B	D34	Ⅲ	51	48	25		
	246	P720	4	B	E32	Ⅲ	88	54	43		
	247	P719	4	B	E32	Ⅲ	48	38	45		
	248	P712	1	B	E32	Ⅲ	68	52	10		
	249	P710	1	B	E32	Ⅲ	49	32	9		
	250	SK58	1	B	E32	Ⅲ	128	95	10		
	251	P698	4	B	E32	Ⅲ	52	38	52		
	252	SK57	1	B	E33	Ⅲ	89	83	9		
119	253	SK56	4	B	E33	Ⅲ	126	102	25		
	254	P689	1	B	E33	Ⅲ	58	46	16		
	255	P688	1	B	E33	Ⅲ	58	43	18		
	256	P681	4	B	E33・34	Ⅲ	83	68	60		
	257	P1221	1	B	F34	Ⅲ	60	39	20		
	258	P1109	4	A	G37	Ⅲ	49	36	28		
	259	P1113・1117	4	A	F37	Ⅲ	69	58	49		
	260	SK5	1	A	H38	Ⅲ	146	115	31		
	261	P100	3	A	H38	Ⅴ	55	36	18		土坑260号に隣接
120	262	P777	4	A	F39	Ⅲ	51	45	62		
	263	P784	4	A	E39	Ⅲ	50	41	71		
	264	SK13	3	A	H42	Ⅱc	63	(34)	9		
	265	SK11	4	A	G41	Ⅲ	131	98	74		
	266	P158	3	A	G44	Ⅲ	51	38	46		
	267	P164	4	A	G45	Ⅲ	82	41	17		
	268	P167	3	A	G45	Ⅲ	47	34	13		
	269	P171	4	A	G46	Ⅲ	80	68	58		
	270	P1027	1	A	G46	Ⅲ	53	51	11		
	271	P1094	1	A	G46	Ⅴa	77	44	19		
121	272	P177	4	A	H46	Ⅲ	49	44	27		
	273	P1069	1	A	H46	Ⅴa	77	44	19		
	274	P1031	1	A	I46	Ⅲ	68	43	6		
	275	P1032	1	A	I46	Ⅲ	55	45	6		
	276	P1071	1	A	I47	Ⅴa	50	33	13		
	277	P1072	1	A	I47	Ⅴa	77	53	20		
	278	P1023	4	A	G・H47	Ⅲ	52	44	11		
	279	P1068	1	A	H47	Ⅴa	51	45	18		
	280	P1013	1	A	G47	Ⅲ	50	45	12		
122	281	P1067	1	A	G47	Ⅴa	55	46	33		
	282	SK73	1	A	G47	Ⅴa	118	61	15		
	283	P1066	1	A	F47	Ⅴa	57	42	19		
	284	P1006	1	A	F47	Ⅲ	50	45	11		
	285	P1064	1	A	F47	Ⅴa	62	46	23		



第123図　石器集積・石器集中部配置図



第 124 図　石器集積１号

（４） 石器集積（第 124・125 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の石器集積はＣ地点から２基検出された。今回，意図的に石器を積んでいることが推察されるものに限り，石器集積遺構として報告する。現場では石器集積遺構として検出されたものでも整理作業で石器集中部へ変更したものもある。周辺の遺物出土状況等から判断し，縄文時代後期～晩期該当の石器集積として報告する。

イ　各石器集積の状況

石器集積１号（第 124 図）

Ｃ地点，Ｅ－ 12 区，Ⅱａ層で検出された。長軸 23 ㎝，短軸 17 ㎝の範囲から磨敲石２点と石皿１点が重なるように出土している。掘り込みは確認できなかった。総重量は 1883.5g で，被熱の痕跡はみられない。石器１点を図化した。103 は歪な楕円形の磨敲石で，断面は三角形状をなす。表裏面と片方の側面に滑らかな擦り面がみられ，上下端の一部に敲打痕がみられる。

石器集積２号（第 125 図）

Ｃ地点，Ｅ－ 16 区，Ⅱａ層で検出された。長軸 34 ㎝，短軸 27 ㎝の範囲から磨石２点，石皿１点と軽石１点が重なるように出土している。掘り込みは確認できなかった。総重量は 4959g で，石皿と磨石１点は被熱による赤化がみられる。磨石１点を図化した。

104 は楕円形の比較的大型の磨石であり，丸みを帯びた楕円形の断面形をもつ。表裏面の擦り面は粗く，被熱赤化している。

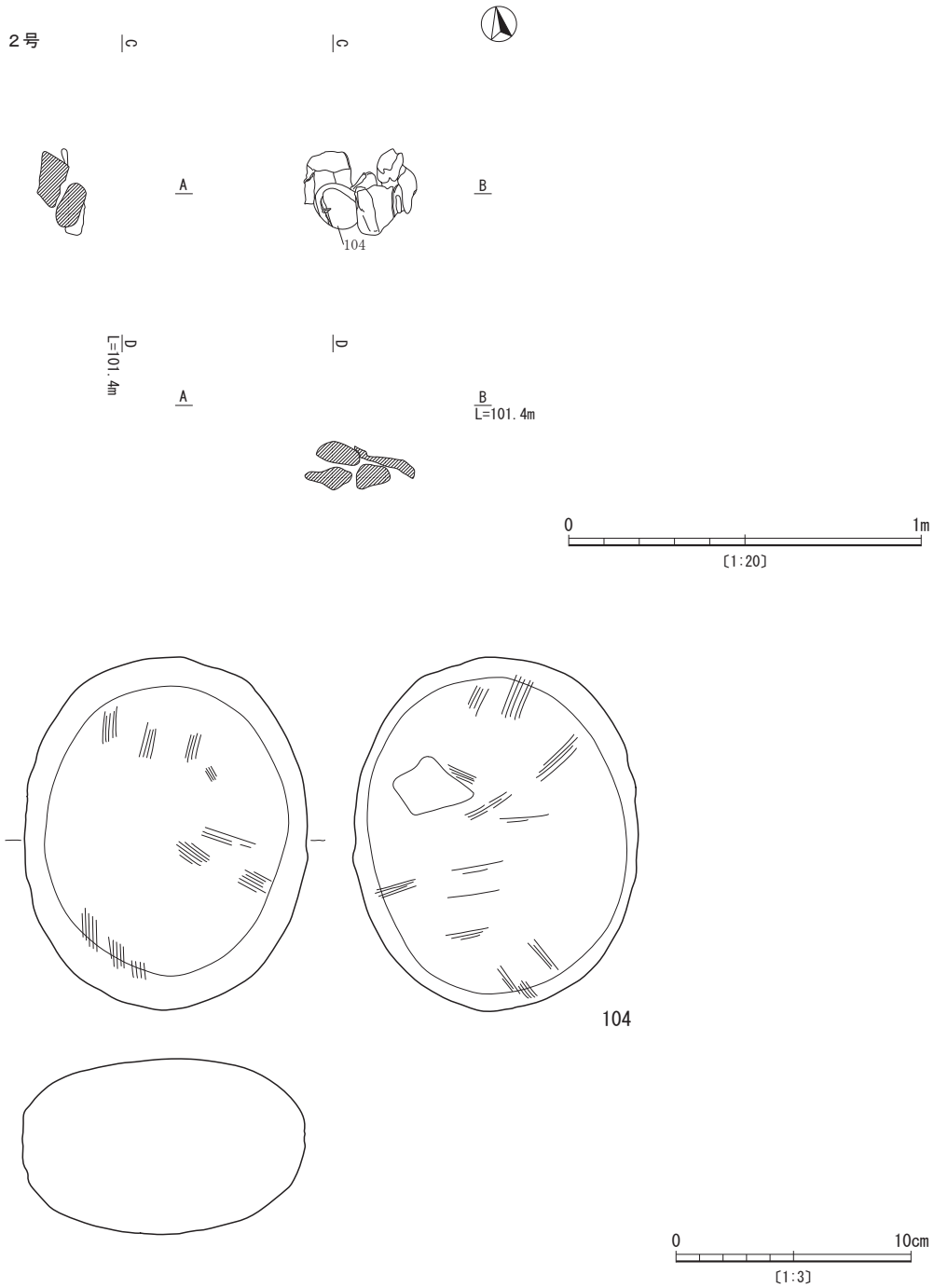
ウ　小結

石器集積１号周辺からは第Ⅳ類土器と西平式系無文土器が出土しているが，レベルから判断すると別時期の可能性が高い。石器については，ホルンフェルス１，２，３の打製石斧と剥片，頁岩８の石核と石鏃が出土している。黒曜石Ａの石核は出土しているものの周辺からは石鏃・剥片は１つも出土していない。

石器集積２号周辺は石器集積１号同様の遺物出土状況である。石器についてはホルンフェルス２の打製石斧と剥片が出土しているが，石核や石鏃は出土しておらず，石器集積１号と違いがみられる。どちらの石器集積も周辺から磨敲石と剥片が多く出土している。

石器集積１・２号とも第Ⅻ類土器の分布と重なり，土器出土レベルから判断するとどちらも第Ⅻ類土器と同時期の可能性が高い。

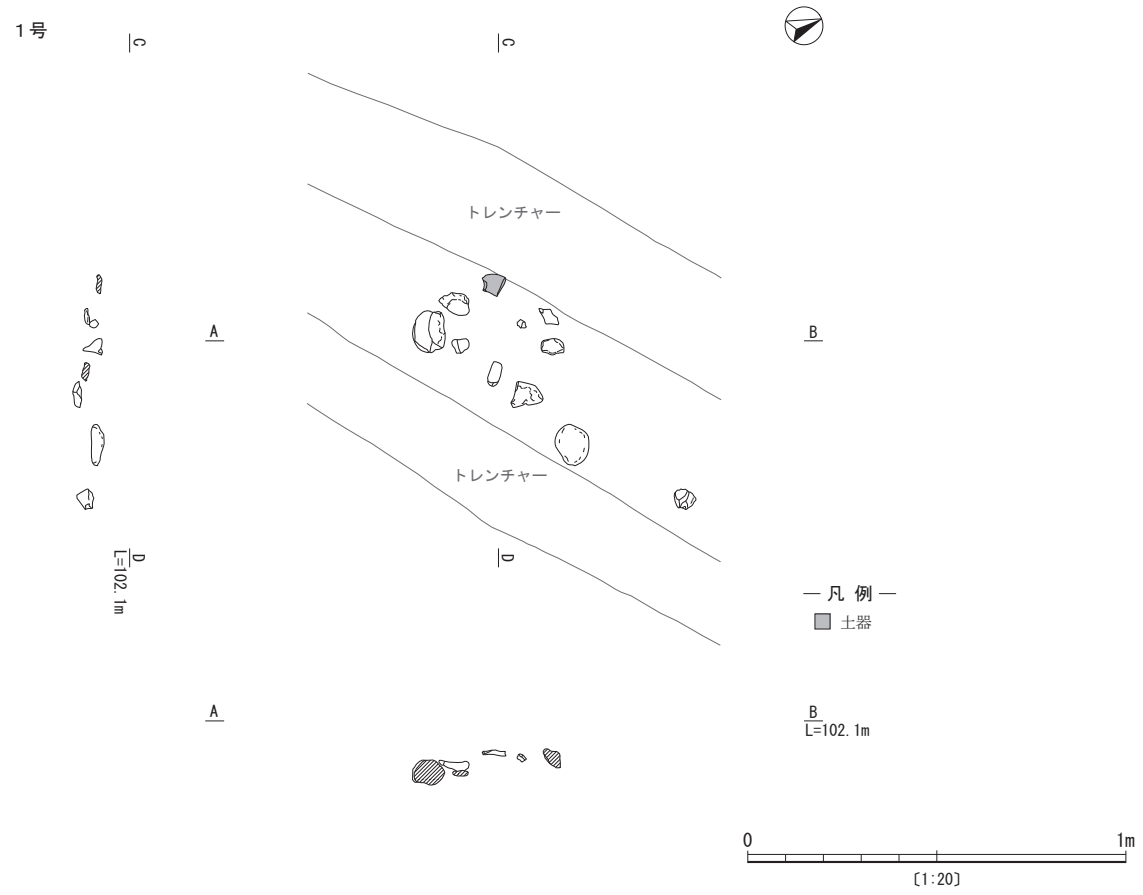
石器集積１号と石器集積２号の間には約 20 ｍ× 20 ｍの範囲で土器も石器も存在しない場所が存在している。



第125図　石器集積２号

第19表　石器集積出土石器観察表

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号	備考
124	103	1	E12	Ⅱa	磨敲石	砂岩	11.70	7.45	4.75	521.50	30292	
125	104	2	E16	Ⅱa	磨石	安山岩A	14.70	12.00	7.40	1776.00	30295	



第 126 図　石器集中部１号

（５）　石器集中部（第 126 図～第 158 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の石器集中部はＢ地点から 20 か所，Ｃ地点から５か所，合計 25 か所検出された。石器集中部の検出層はⅡａ層４か所，Ⅱｂ層７か所，Ⅱｃ層 12 か所，Ⅲ層が２か所である。Ⅱａ層検出の４か所に限っては弥生時代以降の可能性もあるが，総合的に判断して縄文時代後期～晩期該当の石器集中部として報告する。

本遺跡の石器集中部は，①石器の集中，②掘り込みの２項目の有無からⅠ～Ⅲ類に大別した。分類基準は次の通りである。

Ⅰ類　石器が比較的集中せず，掘り込みを伴わないもの。
Ⅱ類　石器が集中するが，掘り込みを伴わないもの。
Ⅲ類　石器が集中し，掘り込みが伴うもの。

全ての石器を実測・掲載できず，その中で残存状況が良好なものを選別し実測した。

各石器集中部の検出面や分類，規模等については第 23・24 表にまとめた。

イ　各集石の状況

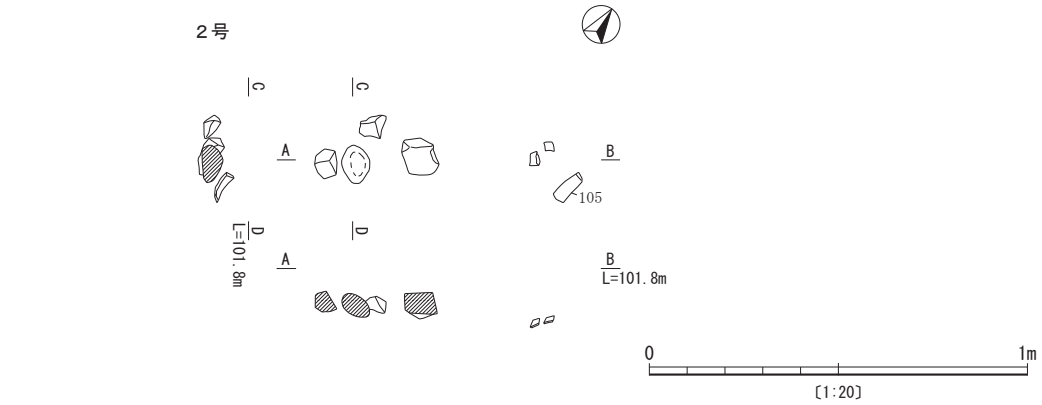
石器集中部１号（第 126 図）Ⅱ類

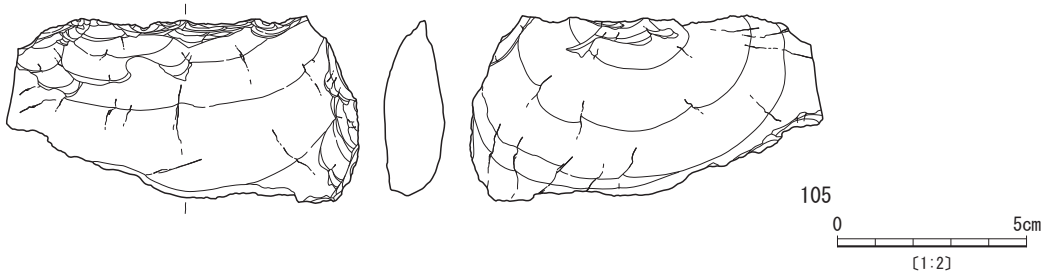
Ｃ地点，Ｂ－ 21 区，Ⅱｂ層で検出された。長軸 91 ㎝，短軸 36 ㎝，高低差 10㎝の範囲から礫が比較的まとまって出土している。掘り込みは確認できなかった。トレンチャーによる削平を受けているため，遺物を失っている可能性はあるが，構成礫は 10 個であり，そのうちの２点は被熱した磨敲石である。ただ観察出来たのが２点のみで，他に石器が存在した可能性がある。また本遺構からは西平式系の粗製土器の胴部片が２点出土している。

石器集中部２号（第 127 図）Ⅱ類

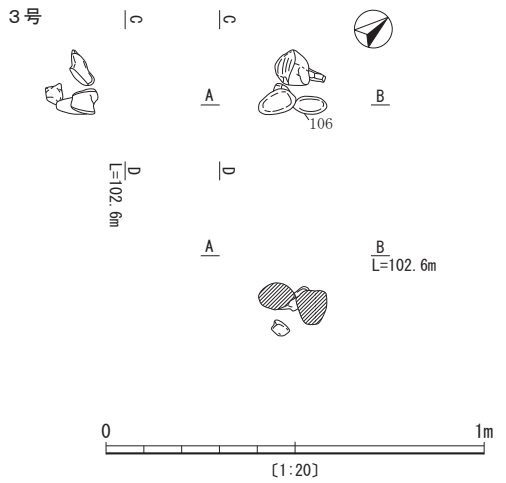
Ｃ地点，Ｅ－ 20 区，Ⅱａ層で検出された。長軸 146 ㎝，短軸 39 ㎝の範囲から高低差なく石器と礫が出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は５個で，総重量は 1613g，剥片１点を除き被熱による赤化などがみられる。石器が３点含まれており，内訳は磨石１点，石皿片１点，剥片１点であり，その他，縄文時代後期と考えられる土器片が２点出土している。剥片１点を図化した。

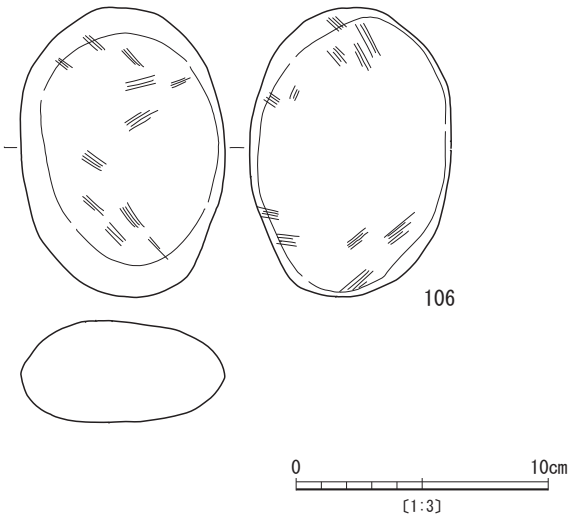
105 はホルンフェルス５製の不整な横長剥片である。特に整形加工はないが，打面側の上縁に鋭い縁辺をもち，削器としての利用も考えられる。





第 127 図　石器集中部２号



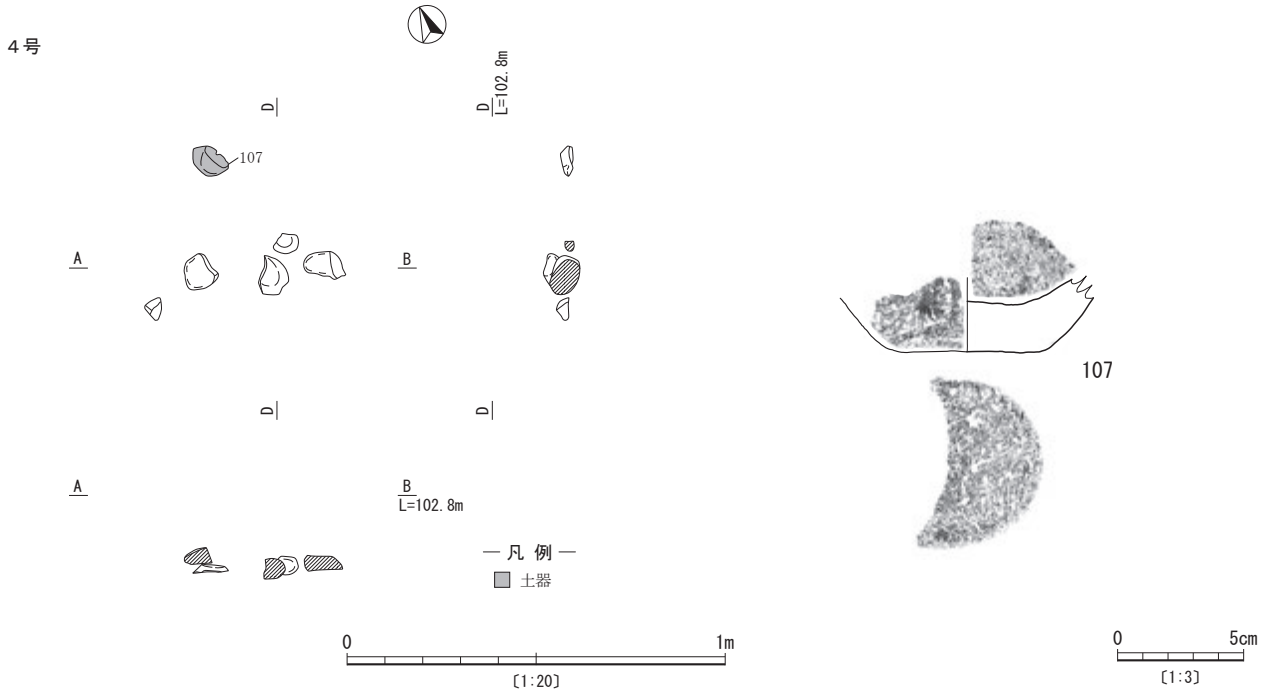


第 128 図　石器集中部３号

石器集中部３号（第 128 図）Ⅱ類

Ｂ地点，Ｄ－ 27 区，Ⅱｃ層で検出された。径 22cm，高低差 12 ㎝の範囲から石器と礫がまとまって出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は４個で，総重量は 1954g，被熱の痕跡はみられない。石器が３点含まれ，内訳は磨石２点，敲石１点である。磨石１点を図化した。

106 は楕円形の磨石で，礫形状を留めている。表裏面に擦り面をもつが，特に裏面が滑らかである。



第 129 図　石器集中部４号

石器集中部４号（第 129 図）Ｉ類

Ｂ地点，Ｃ－ 27 区，Ⅲ層で検出された。径 55cm の範囲から石器と礫がほぼ高低差なく出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は５個で，総重量は 1868g，２点に被熱による赤化がみられる。石器が３点含まれ，内訳は磨敲石２点，敲石１点である。また，土器の底部が遺構北側から出土している。土器１点を図化した。

107 は平底の底部である。ミガキ調整が行われているもののやや粗く，調整方向は不明である。底面の形状や特徴は無文土器第Ｘ -c 類と似ているが，型式は不明である。

石器集中部５号（第 130 図）Ｉ類

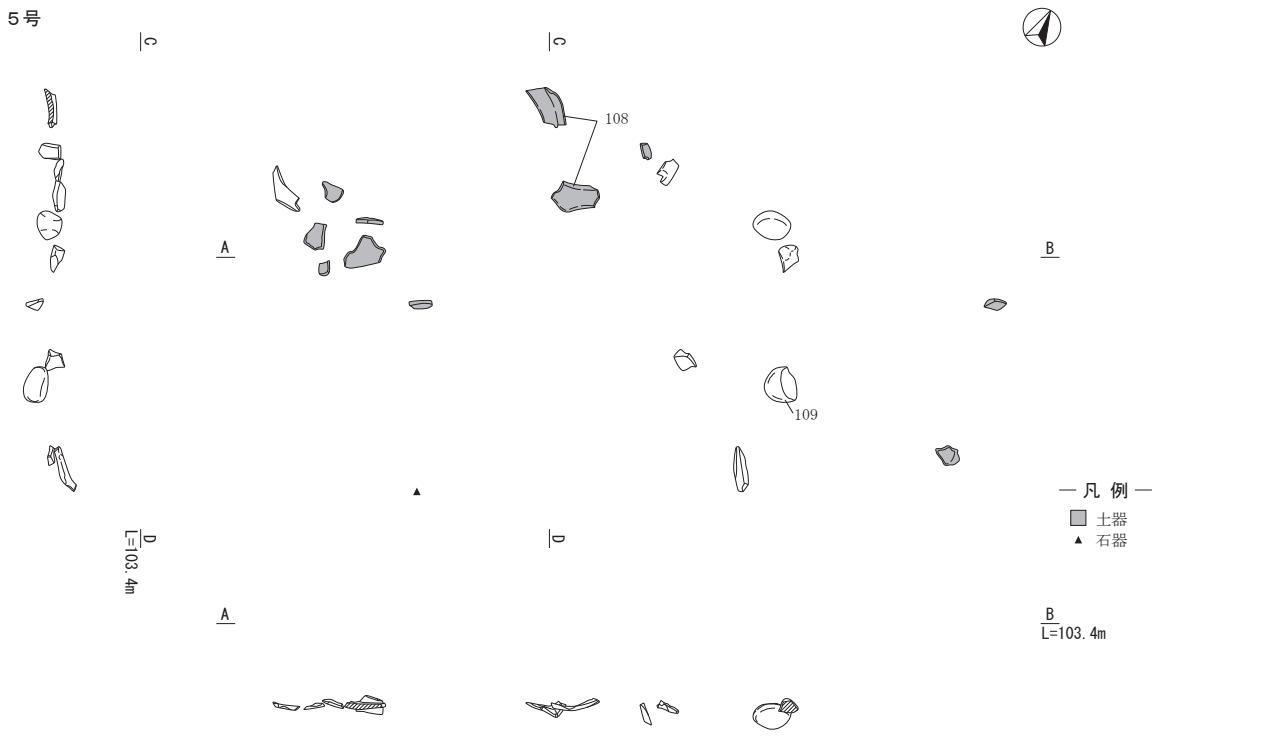
Ｂ地点，Ｃ－ 31 区，Ⅱ c 層で検出された。長軸 205 ㎝，短軸 116 ㎝，高低差 14cm の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は８個で，総重量は 1133g，１個のみ被熱している。石器が５点含まれており，内訳は剥片３点と磨敲石類２点である。また，遺構内西端と東端に偏って 11 点の西平式系土器が出土している。石器と土器それぞれ１点を図化した。

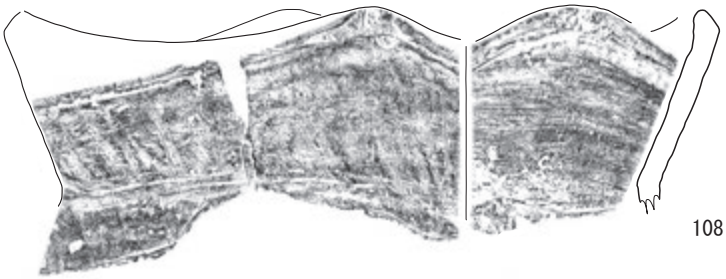
108 は波状口縁で，口縁端部に平坦面をもつ。内外面ともに横方向に丁寧にヘラミガキされている。口縁部内部に凹線がみられる。無文土器第Ｘ -a 類と考えられる。この他 108 と同一個体と考えられる口縁部片が１点と胴部片が６点出土している。109 は楕円形で半円に欠損した磨敲石で，表裏面に平滑な擦り面をもつ。周縁に敲打痕がみられるが，下端の敲打痕が顕著である。

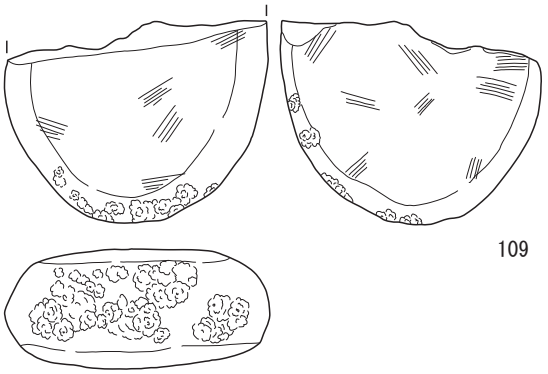
石器集中部６号（第 131 図）Ｉ類

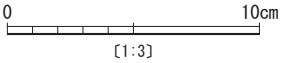
Ｂ地点，Ｃ－ 31 区，Ⅱ c 層で検出された。長軸 124 ㎝，短軸 72 ㎝の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は５個で，総重量は 1718g，被熱はしていなかった。５点とも石器で，内訳は礫器・磨石・敲石とチップ２点である。その他，西平式系土器３点が出土している。土器１点と石器３点を図化した。

110 は口縁部片である。口縁端部が肥厚し，調整は行われていない。指オサエが数か所みられ，調整を行わないで作られたものと考えられる。胎土は第Ⅵ類土器と似ているが，型式は不明である。この他，西平式系土器と考えられる無文の胴部片が２点出土している。111 は一端に刃部を作出した両刃礫器である。歪な円礫を素材として刃部整形は主に表面を剥離しており，刃縁には顕著な敲打痕がみられる。112 は円形の磨石である。表裏面の擦り面は平滑ではなく，弱い擦り面がみられる。113 は歪な楕円形の敲石で，断面は三角形状をなす。上下端

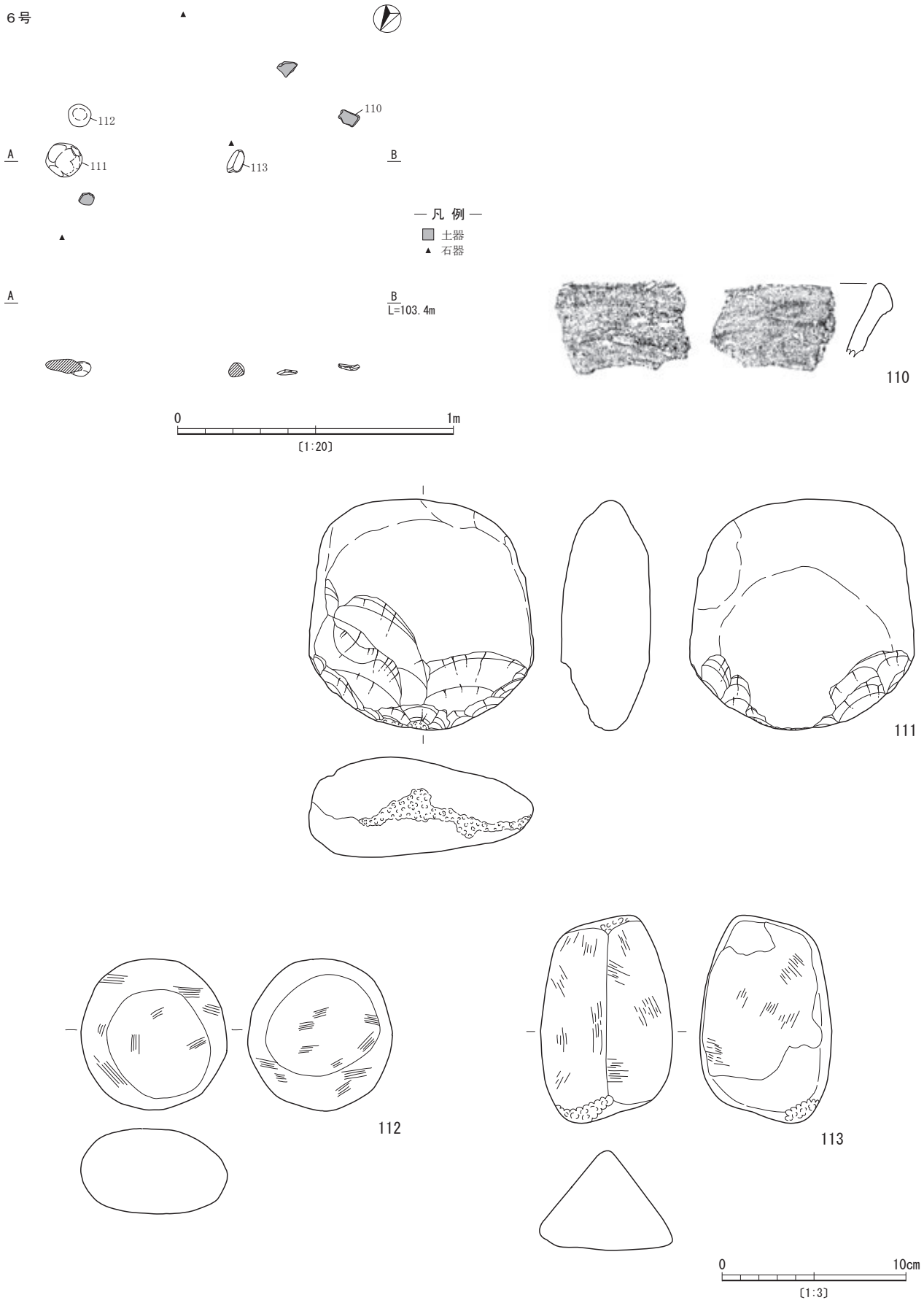




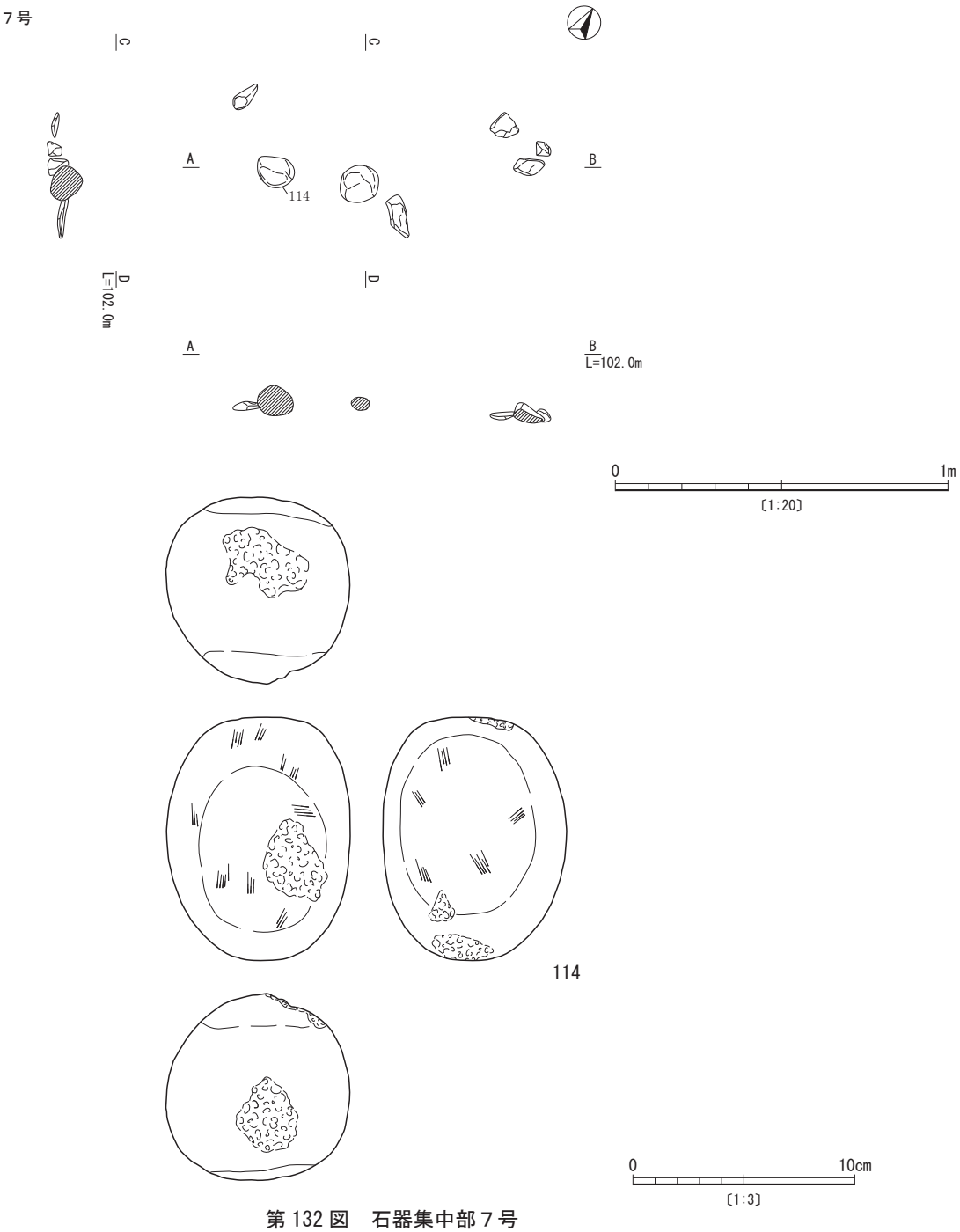




第 130 図　石器集中部５号



第 131 図　石器集中部６号



第 132 図　石器集中部７号

の稜線にやや弱い敲打痕がみられる。

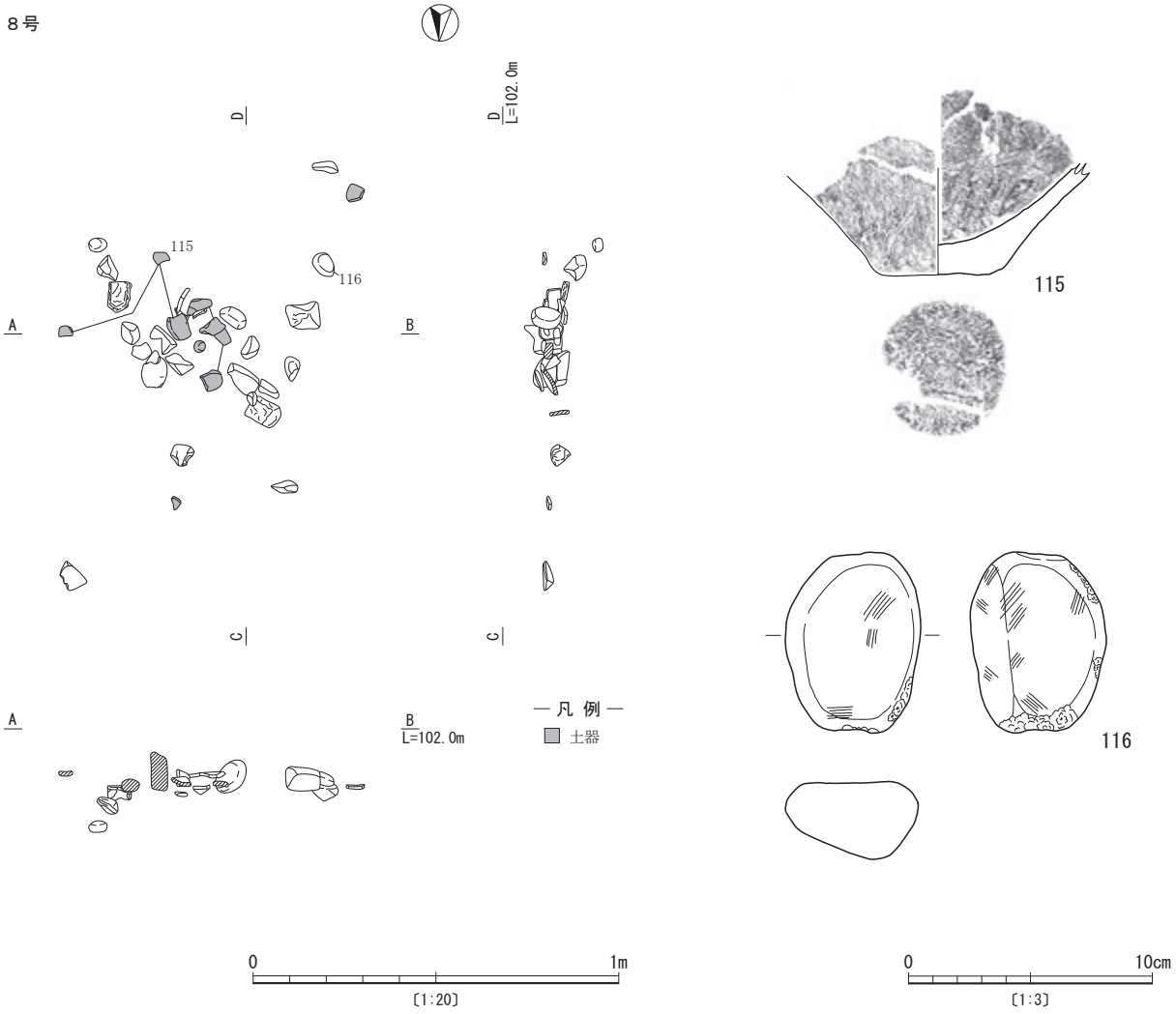
石器集中部７号（第 132 図）Ⅰ類

Ｃ地点，Ｅ－ 21 区，Ⅱａ層で検出された。長軸 103 ㎝，短軸 50 ㎝，高低差 10㎝の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は７個で，礫２個を除いた総重量は 4045g，２個に被熱による赤化，黒色化がみられる。石器が４点含まれており，内訳は磨敲石類３点，敲石１点である。石器１点を図化した。

114 は楕円の球形の磨敲石で，表面の一部と上下端に凹んだ敲打痕をもち，全体に弱い擦り面がみられる。

石器集中部８号（第 133 図）Ⅱ類

Ｃ地点，Ｅ－ 22 区，Ⅱｂ層で検出された。長軸 143 ㎝，短軸 82 ㎝，高低差 21㎝の範囲から石器と礫が比較的まとまって出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 21 個で，礫 14 個の総重量は 3754g，20 個中 12 個に被熱による赤化等がみられる。石器が９点含まれており，内訳は打製石斧１点，剥片２点，磨敲石類３点，石皿の破片３点である。また，遺構内より無文土器第Ｘ -a 類と考えられる口縁部１点と西平式系土器の



第 133 図　石器集中部８号

胴部片が 14 点出土している。土器と石器それぞれ 1 点を図化した。

115 はやや不安定な平底の底部で，底部から胴部に向かって外に開きながらまっすぐ立ち上がる器形である。内外ともにミガキ調整で，内面底にはコゲが付着する。116 は歪な楕円形で小型の磨敲石である。下端に顕著な敲打痕をもち，表裏面に弱い擦り面がみられる。

石器集中部９号（第 134 図）Ⅱ類

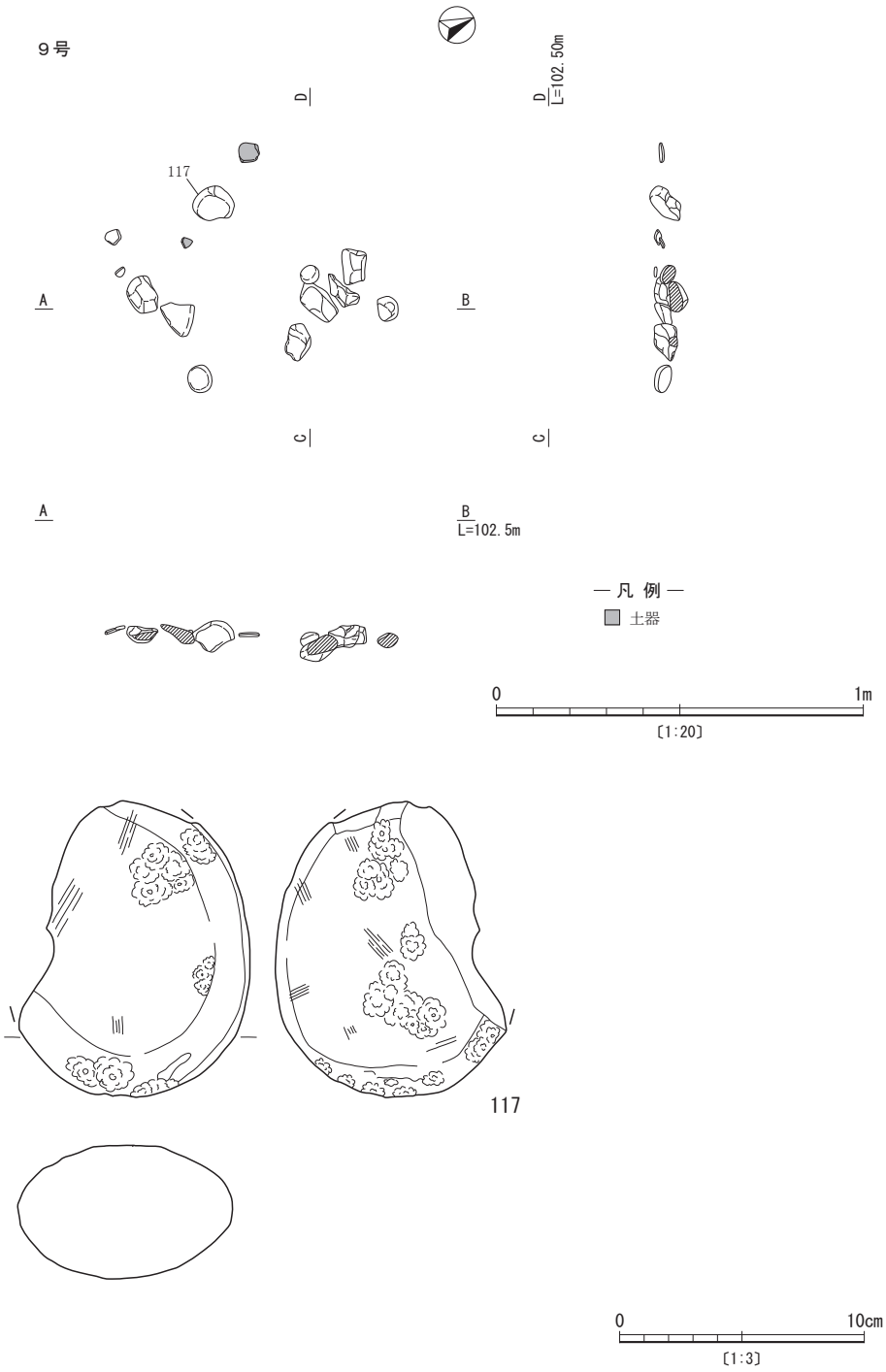
Ｃ地点，Ｅ－ 24 区，Ⅱａ層で検出された。長軸 89 ㎝，短軸 77 ㎝の範囲から，ほぼ高低差なく石器と礫が出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 12 個で，そのうち８個の総重量は 3448g，被熱による赤化，黒色化が４個にみられる。石器が７点含まれており，内訳は剥片２点，磨石類４点，石皿１点である。また，小片のため詳細は不明だが第Ⅴ類と考えられる胴部片１点が出土している。石器 1 点を図化した。

117 は一部欠損した楕円形の磨敲石で，表裏面に粗い擦り面を残す。敲打痕は表裏面と周縁に部分的にみられる。被熱赤化している。

石器集中部 10 号（第 135 図）Ⅲ類

Ｂ地点，Ｇ－ 27 区，Ⅱｂ層で検出された。長径 94㎝，短径 88 ㎝，深さ 35 ㎝のほぼ円形の掘り込みの１層から石器と礫が出土している。掘り込みの埋土はしまりのある黒褐色土であり，炭化物はほとんど含まれていない。構成礫は 17 個で，そのうち 12 個の総重量は 5780g，７点に被熱による赤化，黒色化がみられる。石器が９点含まれており，内訳は，剥片２点，磨石６点，石皿１点で，磨石２点に接合がみられた。その他，土器３点が出土している。石器１点を図化した。

118 は歪な楕円形の磨石で，長径 20 ㎝の大型品である。



第 134 図　石器集中部９号

断面形は平坦で周縁が窄まり，表裏面に擦り面がみられる。中央部より半円に欠損し，被熱赤化している。

石器集中部 11 号（第 136・137 図）Ⅲ類

Ｂ地点，Ｇ－ 27 区，Ⅱｂ層で検出された。北東２ｍに石器集中部４号が位置している。長径 115 ㎝，短径 108 ㎝，深さ 48㎝の隅丸五角形の掘り込みの１層から石器と礫が出土している。掘り込みの埋土は，しまりのある黒褐色土で，石器集中部４号に類似するが，２層から堅果類とみられる炭化物が多量に出土している。構成礫は 29 個で，総重量は 29412g，14 個に被熱による赤化等がみられる。石器が 16 点含まれており，内訳は石鏃１点，剥片３点，磨敲石類７点，石皿５点である。磨敲石類はすべて掘り込みの周縁から出土している。また，石皿は２点と３点がそれぞれ接合し２個体となる。その他，西平式系の土器片７点が出土している。土器１点と石器４点を図化した。なお，炭化種実１点の年代測定を

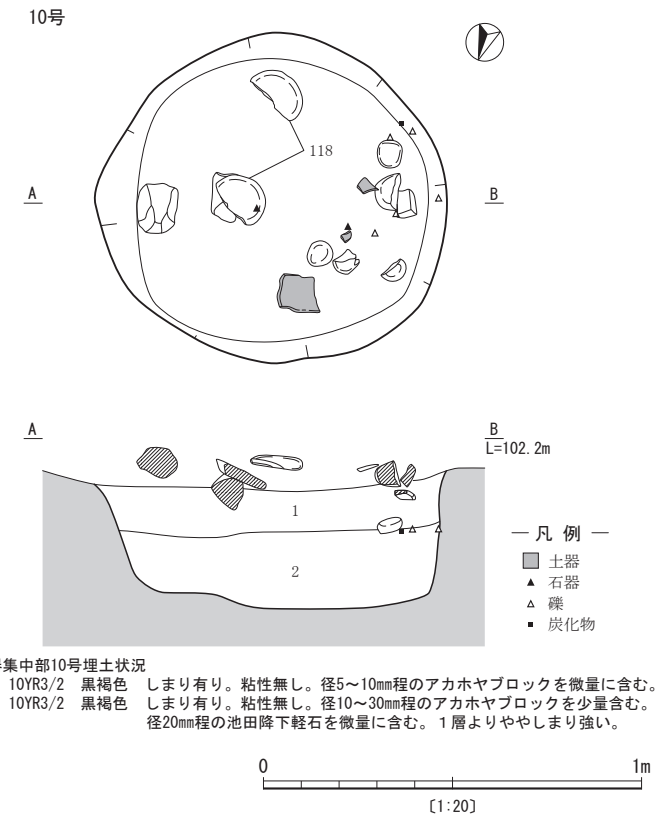
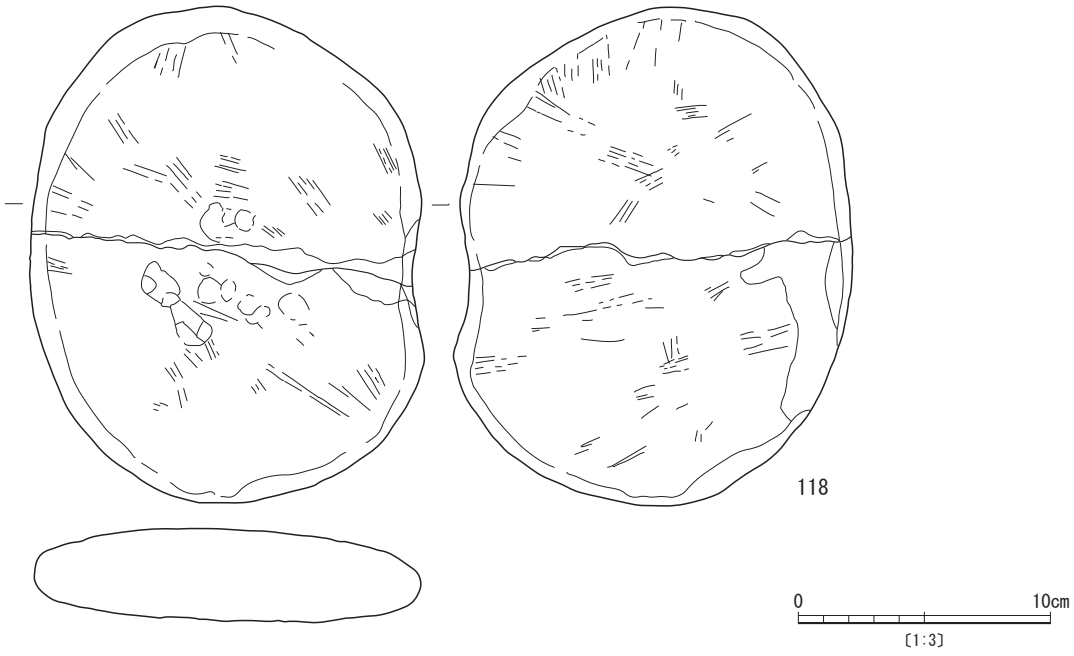




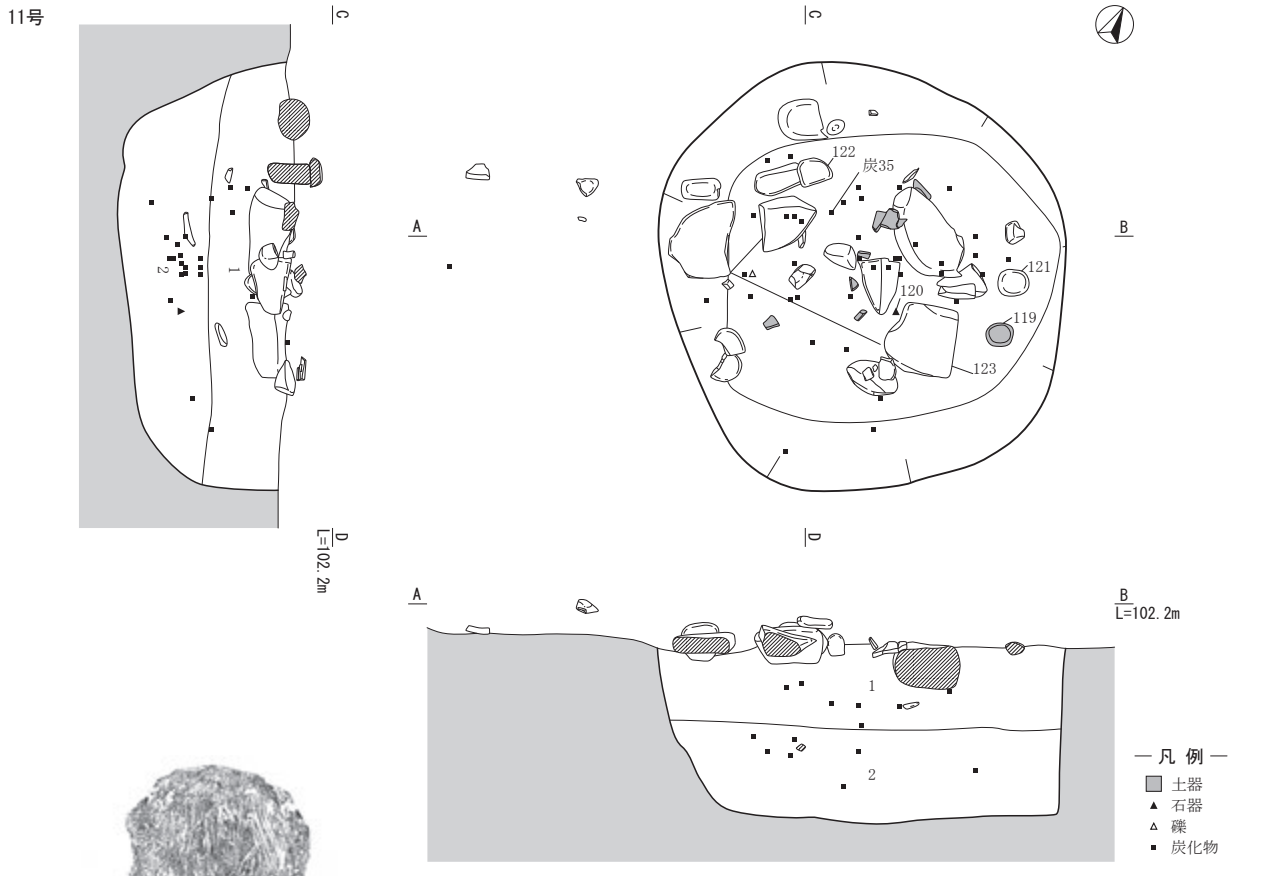
写真６　石器集中部検出写真



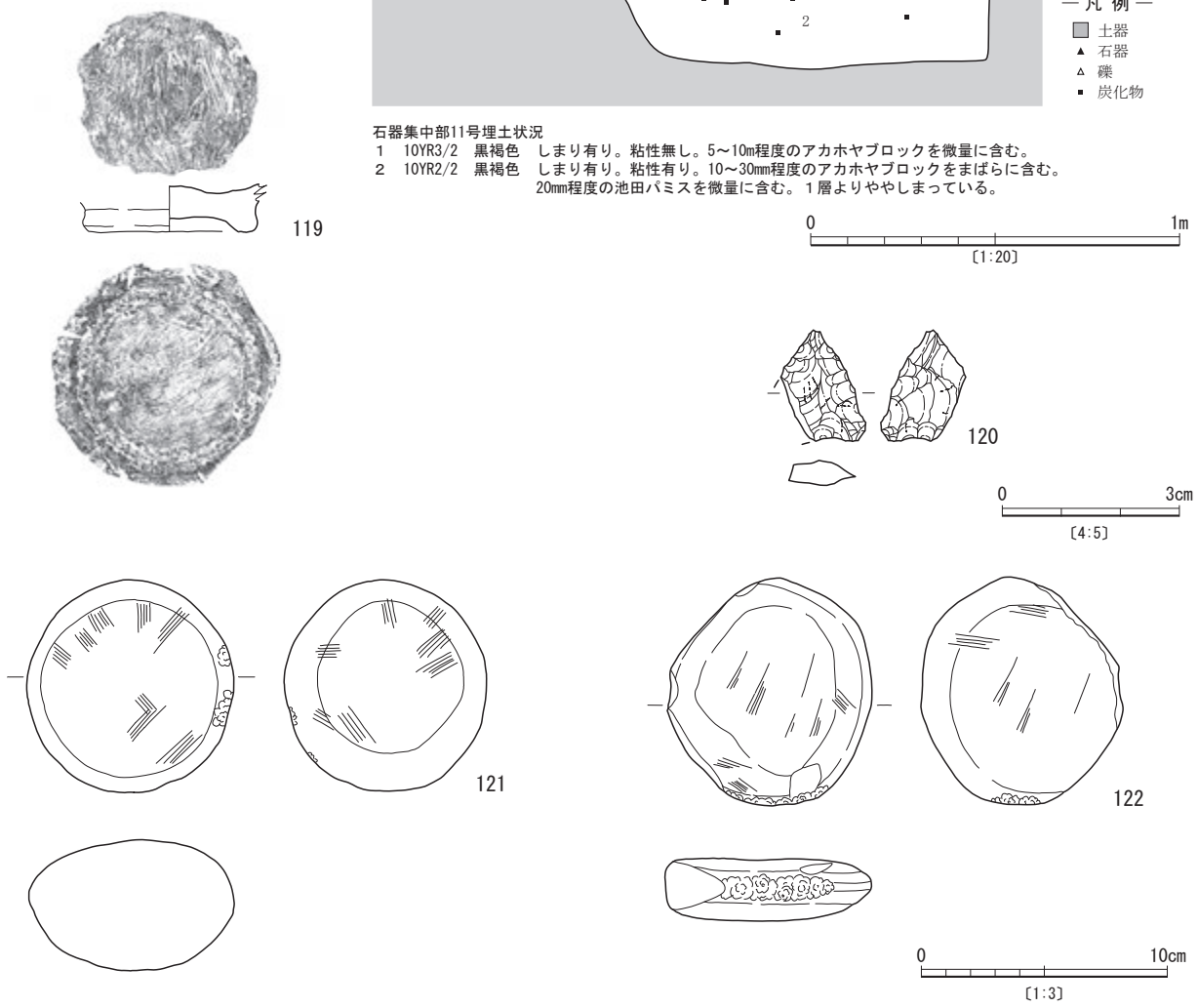
第 135 図　石器集中部 10 号

したところ，1543calBC-1442calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№27）

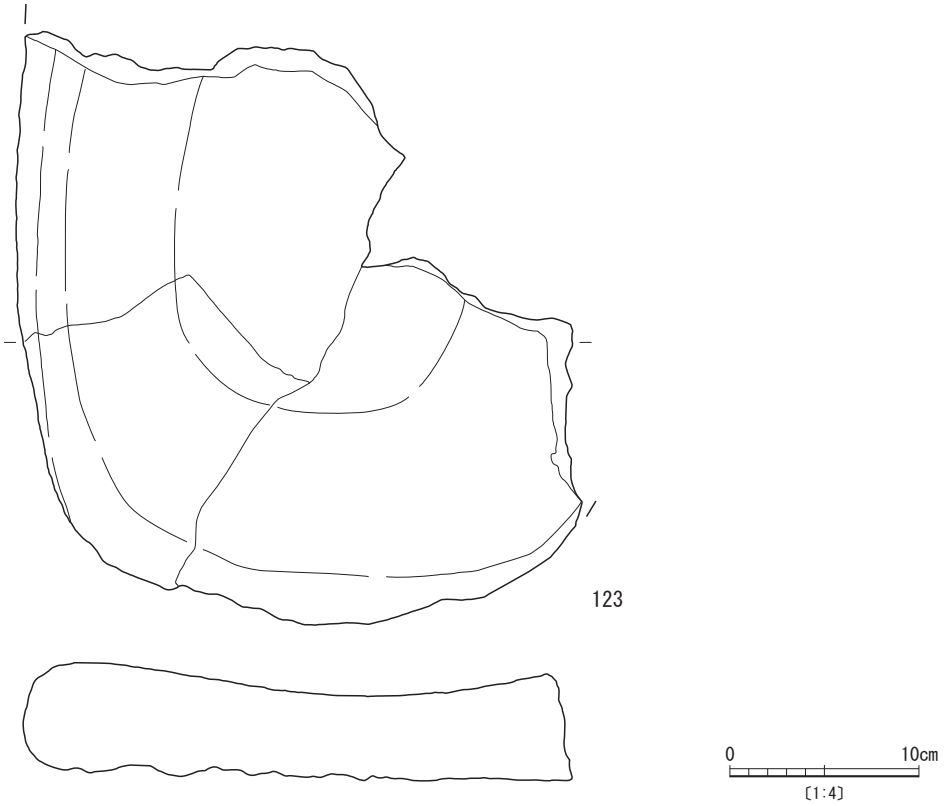
119 は上げ底の底部である。調整はやや粗いが，内外面ともミガキ調整が行われている。半精製半粗製の西平式系土器と考えられるが，型式は不明である。120 は石英製の石鏃で，やや粗い調整剥離によって形作られ，基部の抉入が浅い三角形を呈する。一方の脚部を欠損する。121 は円形の磨石で，断面形は丸みを帯びており，表裏面に弱い擦り面がみられる。122 は円形の扁平な磨敲石で，一部を欠損している。表裏面に平滑な擦り面をもち，



石器集中部11号埋土状況
1　10YR3/2　黒褐色　しまり有り。粘性無し。5～10m程度のアカホヤブロックを微量に含む。
2　10YR2/2　黒褐色　しまり有り。粘性有り。10～30mm程度のアカホヤブロックをまばらに含む。
20mm程度の池田パミスを微量に含む。１層よりややしまっている。



第 136 図　石器集中部 11 号（１）



第 137 図　石器集中部 11 号（２）

下端に敲打痕がみられる。123 は隅丸方形の定型化した石皿の欠損品である。表面を使用面として緩く擦り窪んだ擦り面がみられる。

石器集中部 12 号（第 138・139 図）Ⅱ類

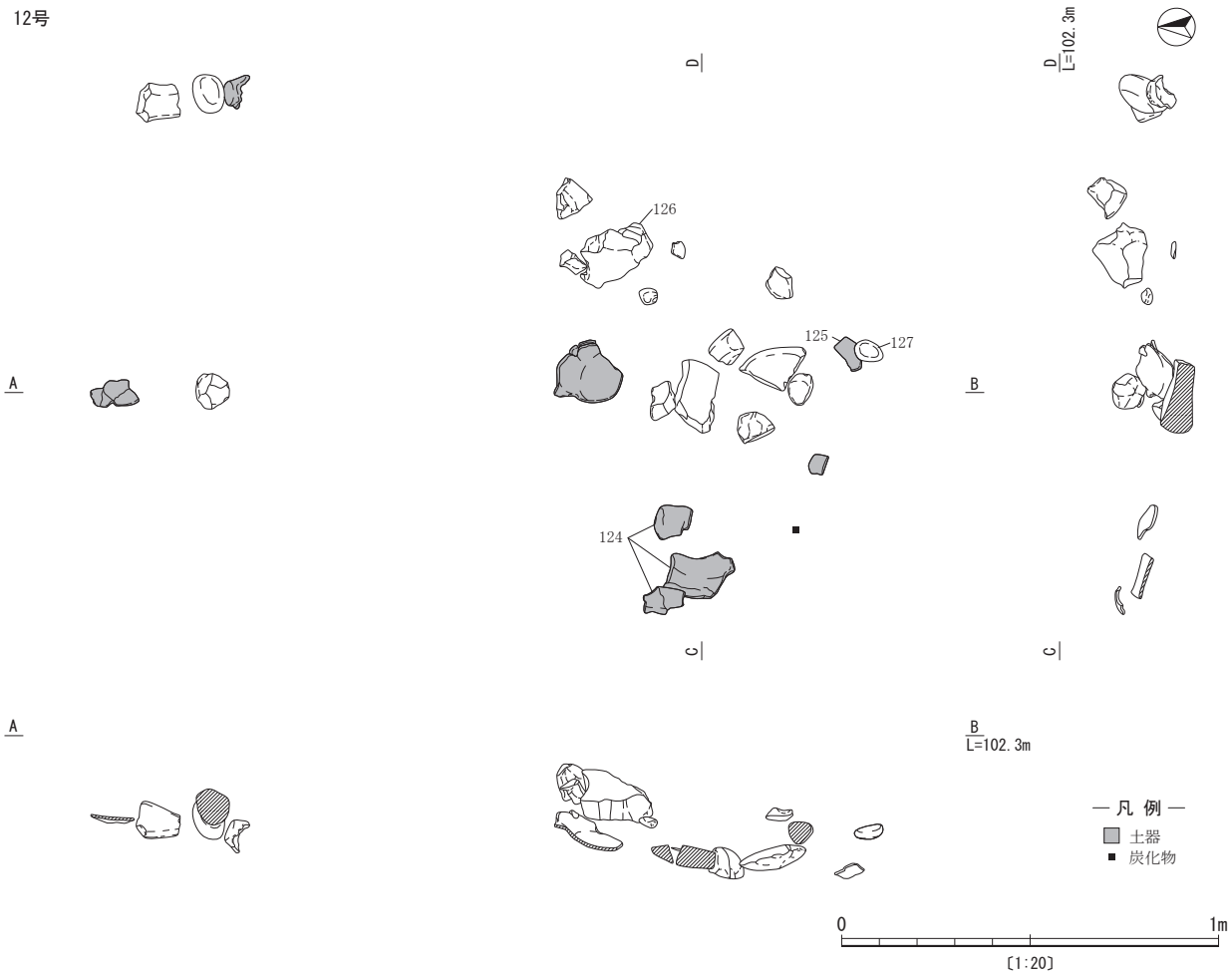
Ｂ地点，Ｆ－ 28 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 212 ㎝，短軸 117 ㎝，高低差 30㎝の範囲から石器と礫が出土しており，そのほとんどは南側の径 60㎝の範囲にまとまっている。なお，南側のまとまりの下部からは土坑 160 号が検出されている。構成礫は 16 個で，総重量は 10268g，５点に被熱よる赤化等がみられる。石器４点と石英の原石１点が含まれており，石器の内訳は磨敲石１点，石皿３点で，石皿２点が接合している。また，遺構内より西平式系の土器片が８点出土している。土器２点と石器２点を図化した。

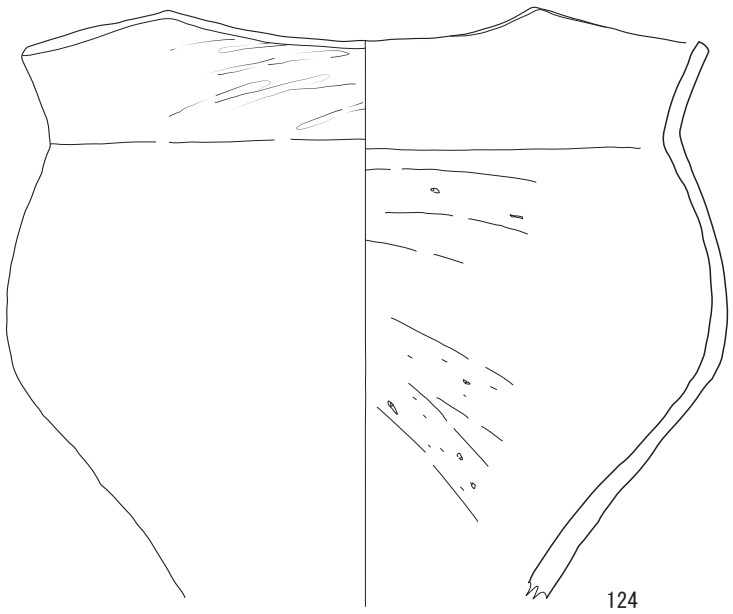
124 は口縁部から胴部までの破片で，全体的に器壁が薄い。胴部上半で最大径となり，頚部は緩やかな「く」の字状に屈曲する器形である。内外ともに摩滅が激しく器面状況は不明瞭である。125 は粗製土器の胴部片である。外面調整は縦方向にヘラミガキされ，内面はやや粗く横方向に調整が施されている。西平式系土器と考えられるが型式は不明である。126 は石皿の欠損品で，左側面にわずかに石皿縁辺を留めている。表裏面が使用され，主に表面が擦り窪んでいる。127 は歪な楕円形の石英の原石礫で，滑らかな自然面をもち加工等はみられない。

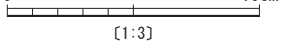
石器集中部 13 号（第 140・141 図）Ⅱ類

Ｂ地点，Ｇ－ 28 区，Ⅱｂ層で検出された。東４ｍに石器集中部５号が位置している。長軸 124 ㎝，短軸 100 ㎝の範囲からほぼ高低差なく石器と礫が出土しており，そのほとんどは北側の径 80 ㎝の範囲にまとまっている。なお，本遺構の下部から土坑 18 号が検出されている。構成礫は 41 個で，大型の礫石器が多く総重量は 42130g，25 個に被熱による赤化，黒色化がみられる。石器が 15 点含まれており，内訳は，礫器１点，磨敲石類７点，石皿７点である。石皿は２点と４点がそれぞれ接合している。この２個体の石皿は遺構北側で 131 が下に，その上に別の石皿が４つに割れた状態で重なっており，その南側から長さ 15 ㎝の炭化材が出土している。なお，炭化材以外には炭化物等はほとんどみられなかった。その他，本遺構からは第Ⅷ類土器と考えられる２条沈線が施された口縁部２点と，胎土・焼成等から第Ⅷ類土器と考えられる胴部片２点，西平式系の精製土器の胴部片２点が出土している。石器４点を図化した。

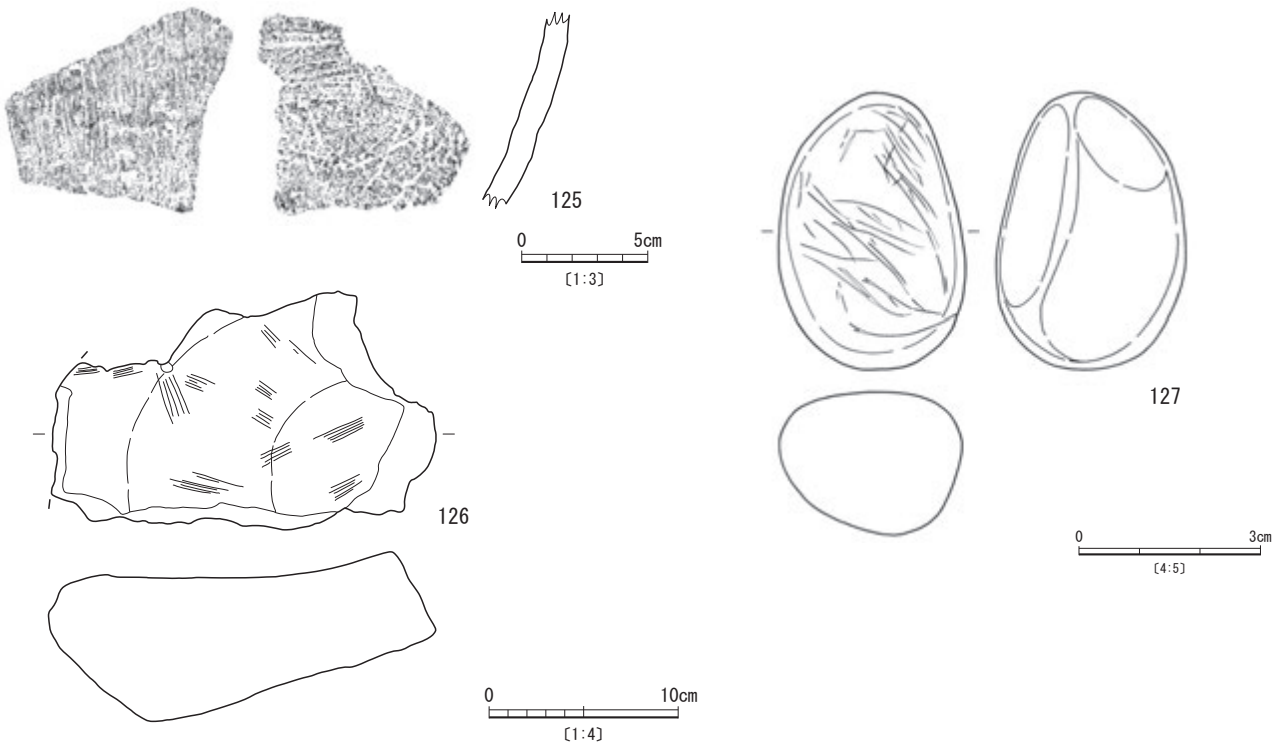
128 は厚みのある円形の磨敲石であり，一部欠損している。表裏面にやや粗い擦り面をもち，下端に顕著な敲打痕がみられる。129 は楕円形の磨敲石で，表裏面に平滑な擦り面ををもち，周縁に粗い敲打痕がみられる。130 は円形で扁平な磨敲石で，表裏面にやや粗い擦り面をもち，周縁に顕著な敲打痕がみられる。被熱赤化して



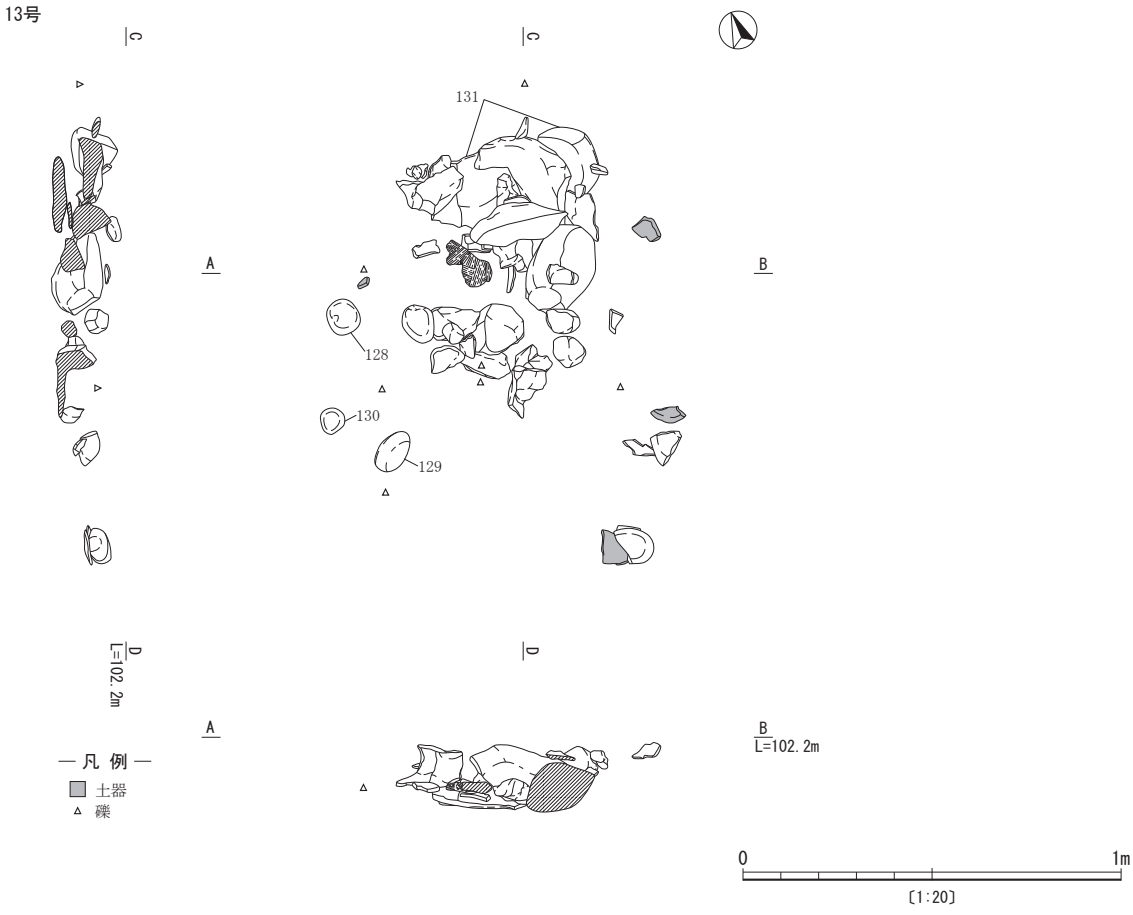




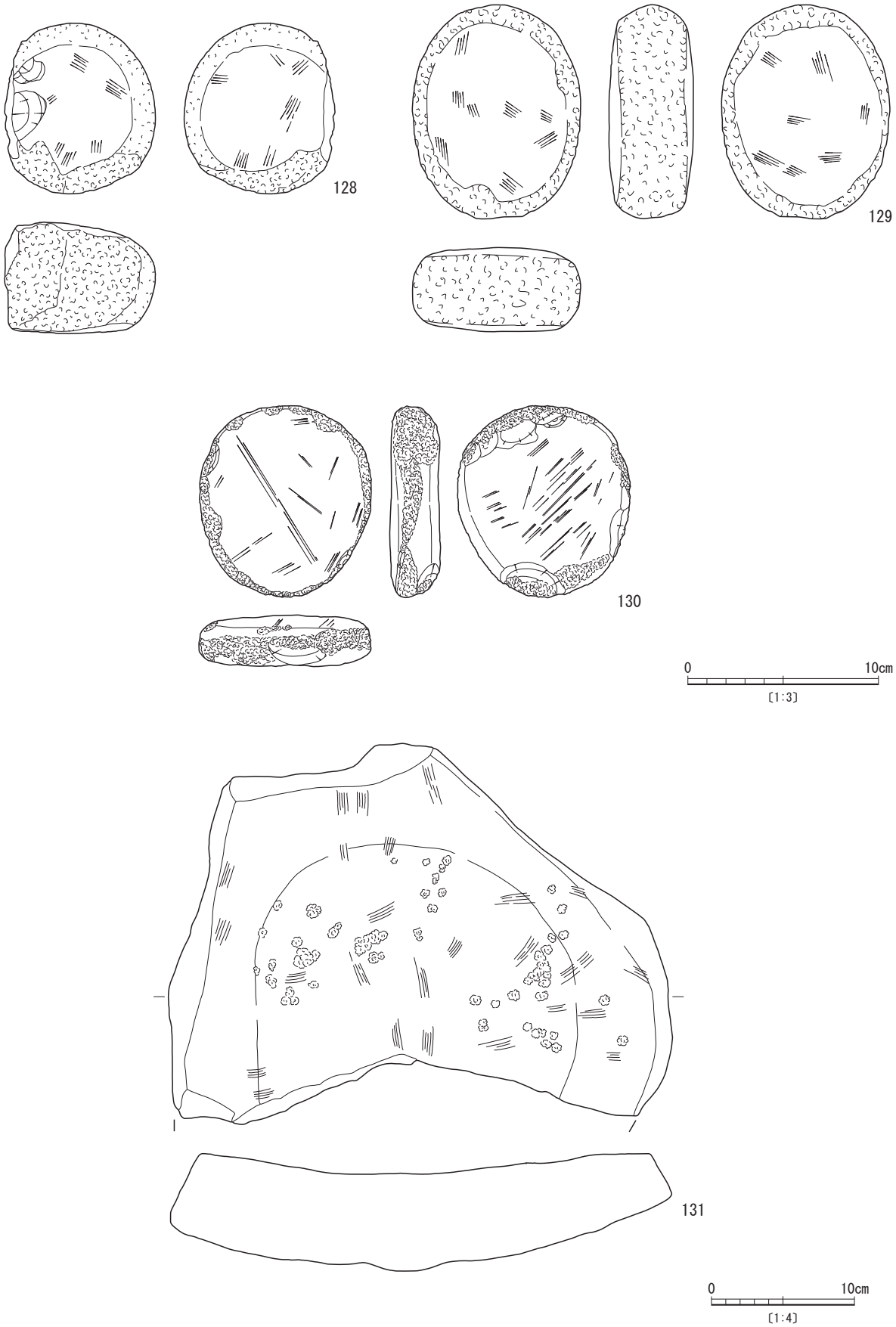
第 138 図　石器集中部 12 号（１）



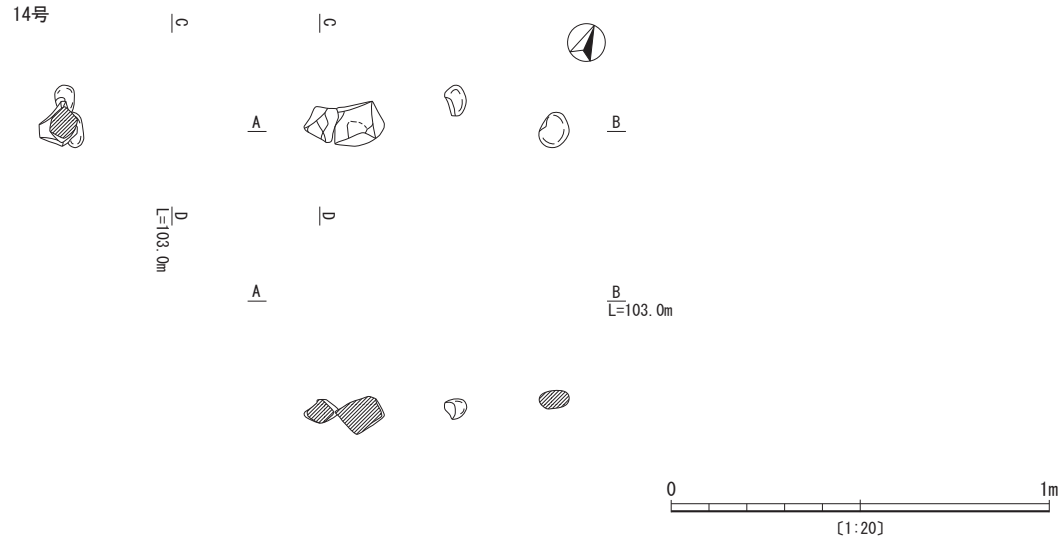
第 139 図　石器集中部 12 号（２）



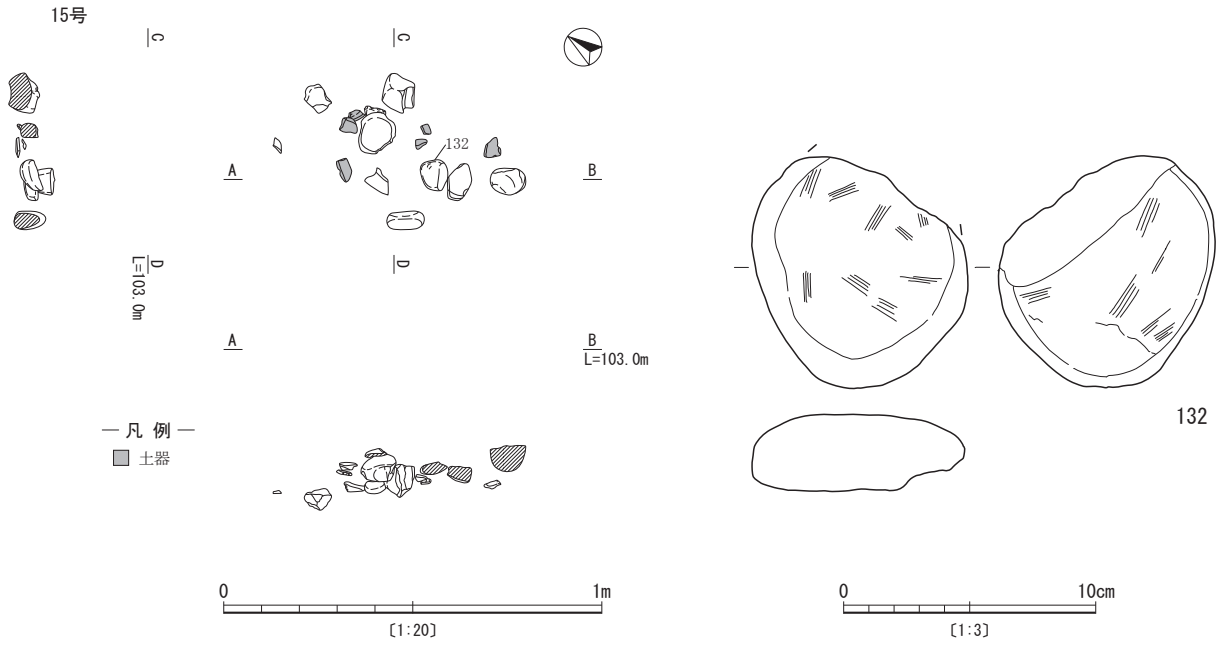
第 140 図　石器集中部 13 号（１）



第 141 図　石器集中部 13 号（２）



第 142 図　石器集中部 14 号



第 143 図　石器集中部 15 号

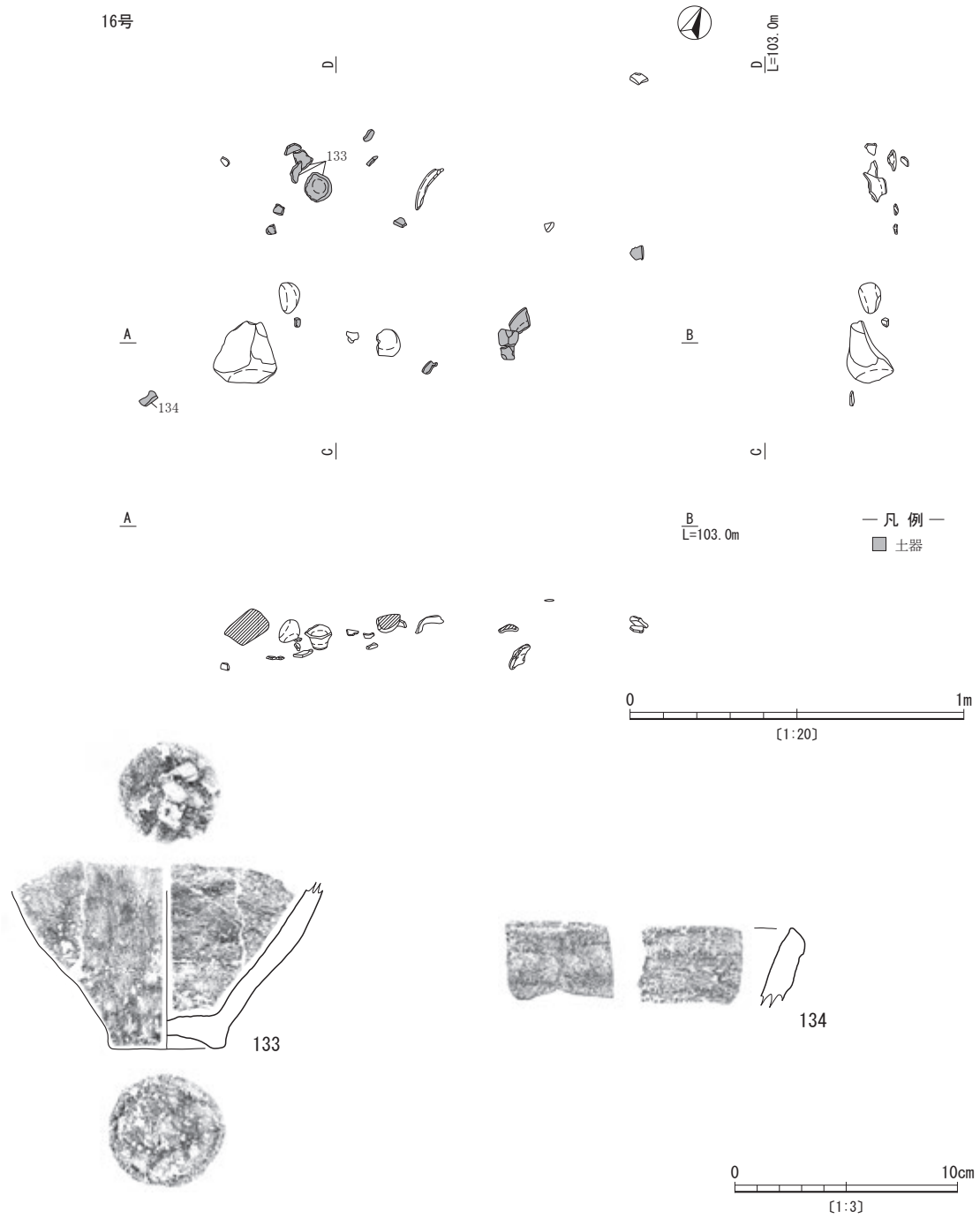
いる。131 はほぼ半分の大きさが残る不定形な石皿の欠損品で，下縁の割れ面以外は石皿側縁を留めている。使用面は表面のみで，緩く窪んだ擦り面が残る。なお，遺構中央から出土した炭化材で年代測定を実施したところ，1613calBC-1502calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節 No.26）

石器集中部 14 号（第 142 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｅ－ 28 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 73cm，短軸 21 ㎝の範囲から石器と礫が高低差なく出土している。掘り込みは確認できなかた。構成礫は４個で，総重量は礫１点を除いて 2156g，被熱の痕跡はみられない。石器が３点含まれ，内訳は磨敲石２点と石皿１点である。

石器集中部 15 号（第 143 図）Ⅱ類

Ｂ地点，Ｅ－ 30 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 70cm，短軸 45cm，高低差 15cm の範囲から石器と礫がまとまって出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は９個で，総重量は 2839g，観察できた５個のうち４個は被熱している。石器が４点含まれており，内訳は磨石



第 144 図　石器集中部 16 号

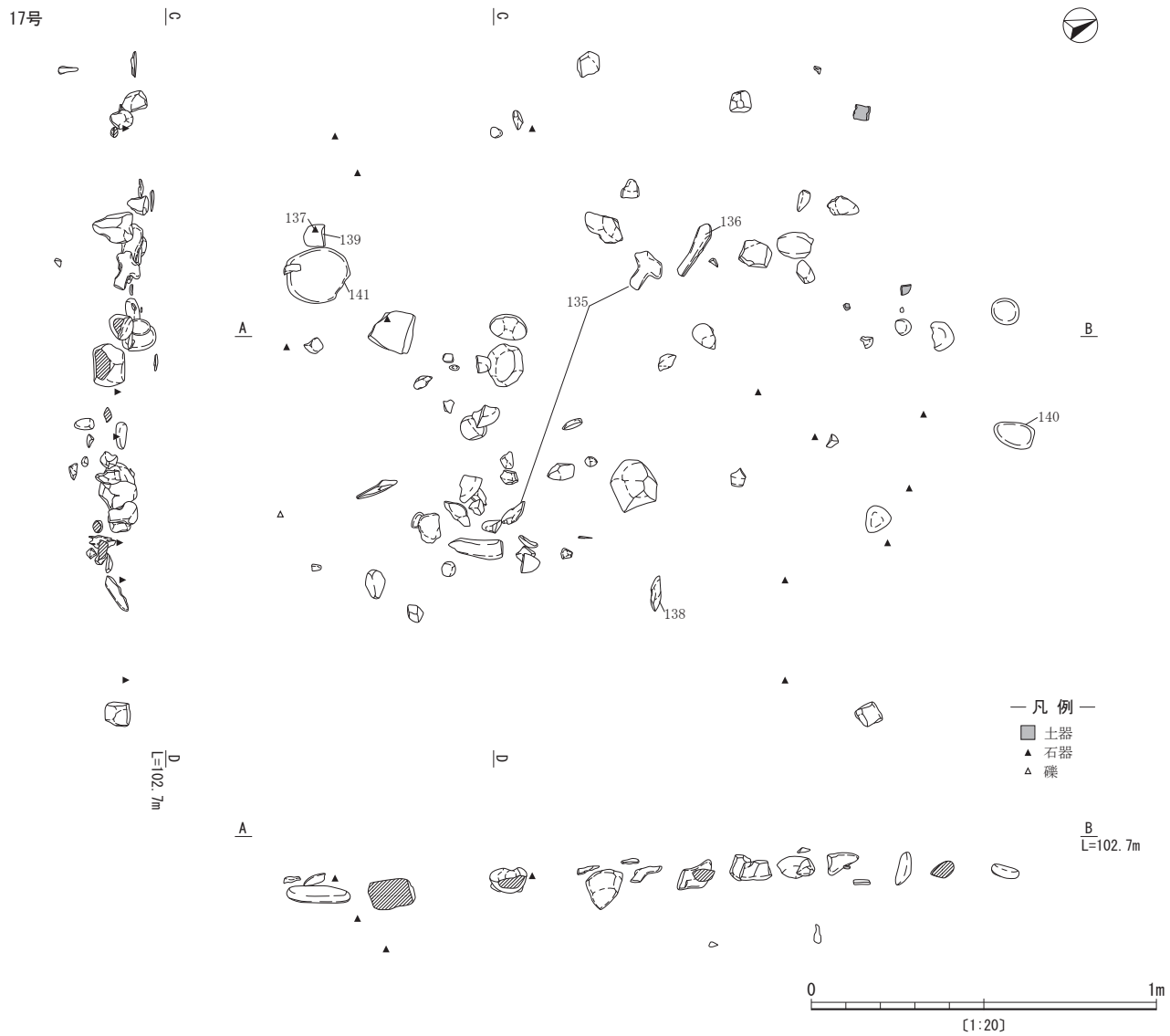
３点，石皿１点である。また，遺構内から西平式系土器と考えられる小片が８点出土しているが，型式は不明である。磨石１点を図化した。

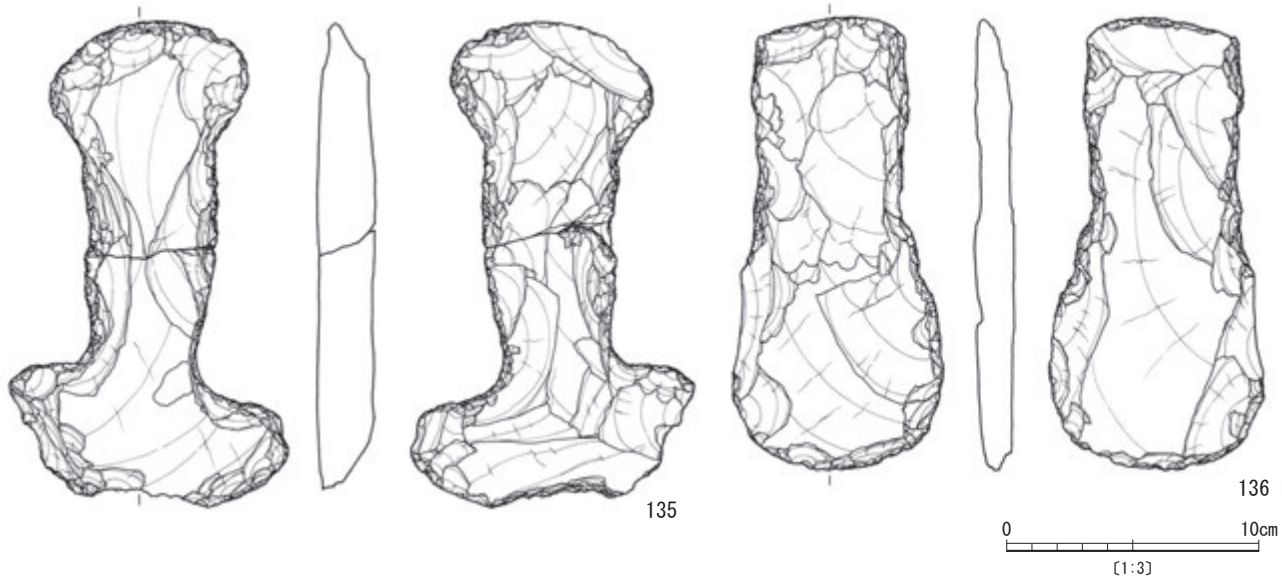
132 は歪な円形の磨石で一部を欠損している。擦り面は表面に比べて裏面に粗い擦り面が残る。

石器集中部 16 号（第 144 図）Ⅰ類

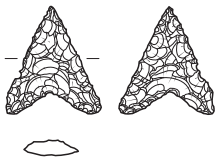
Ｂ地点，Ｅ－29 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 186cm，短軸 75 cm，高低差 18cm の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は７個で，総重量は 5500g，２個に被熱による赤化がみられる。石器が２点含まれており，内訳は剥片１点，石皿１点である。その他，第Ⅴ類土器と考えられる口縁部付近２点と西平式系の胴部片７点，底部２点を含めた土器 16 点が出土している。土器２点を図化した。

133 は上げ底の底部である。外面は摩滅し不明瞭であるが縦方向へのヘラミガキがみられる。内面は外面に比べ調整は粗く，底面は調整は行われておらず，指や工具で押さえつけるだけの簡単な調整で終わっている。西平式系の粗製土器の底部と考えられる。134 は胎土に金雲母を多量に含む。貝殻条痕等の調整や沈線等の文様も外



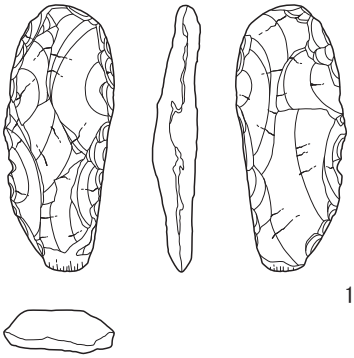


第 145 図　石器集中部 17 号（１）

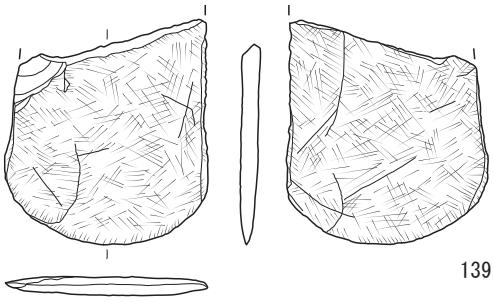


137

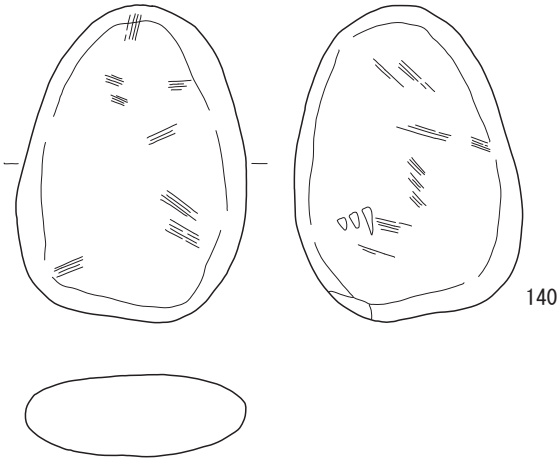
0 3cm
〔4:5〕



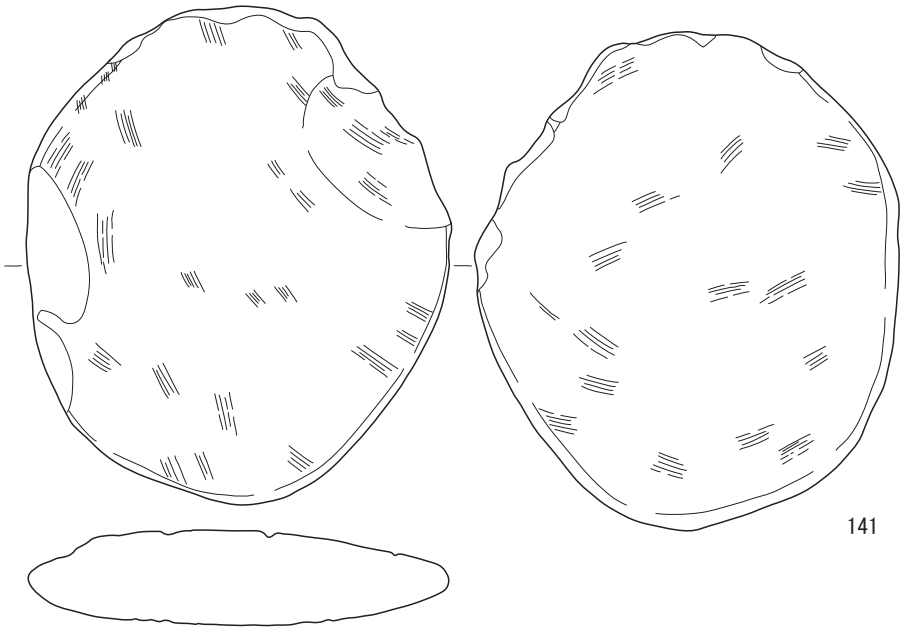
138



139



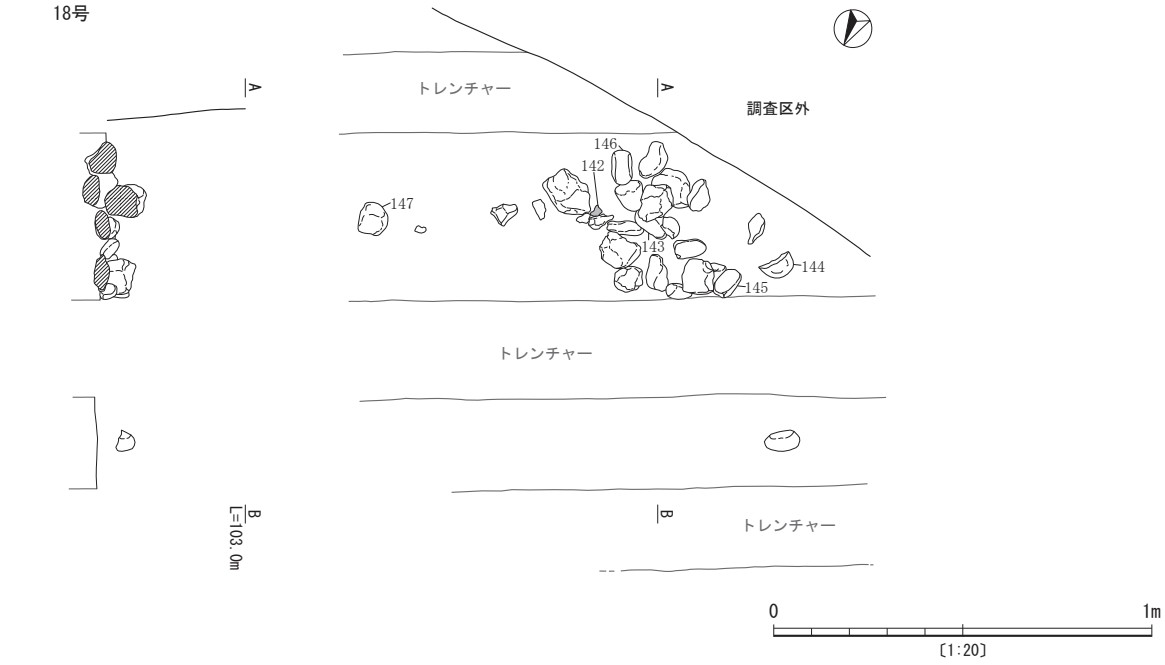
140

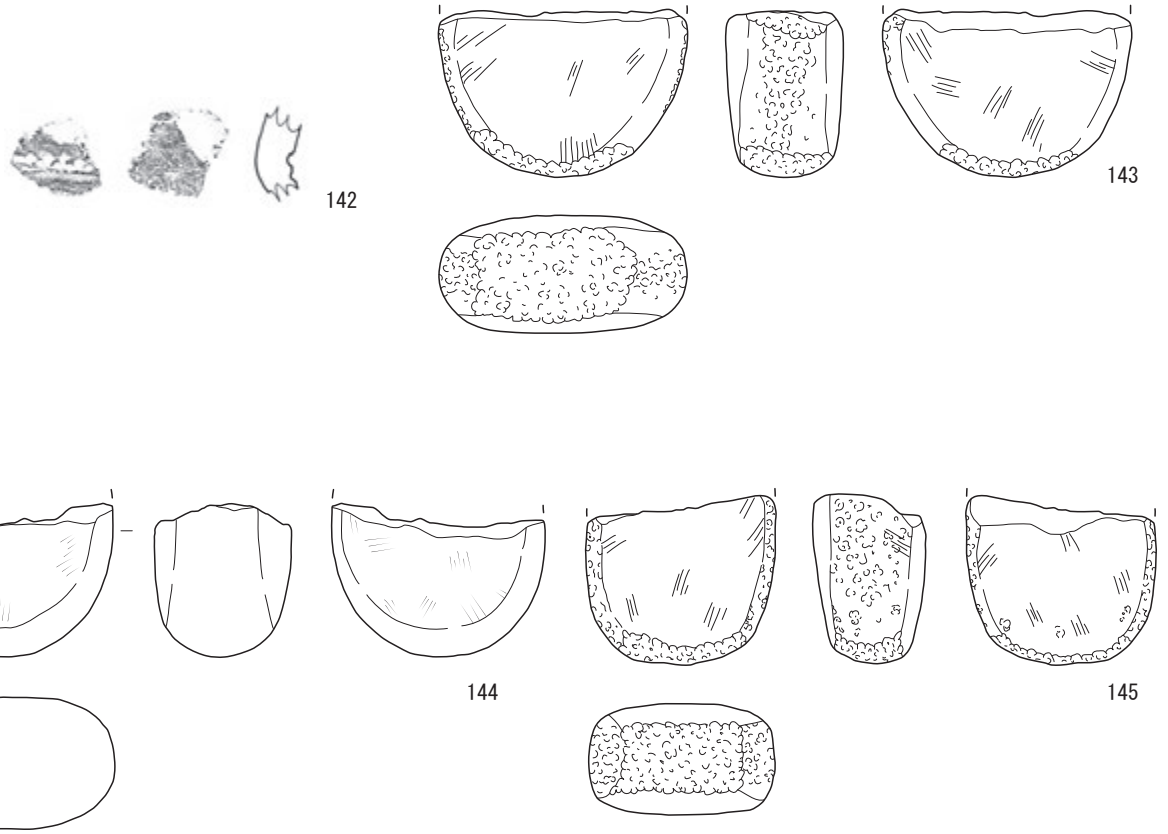


141

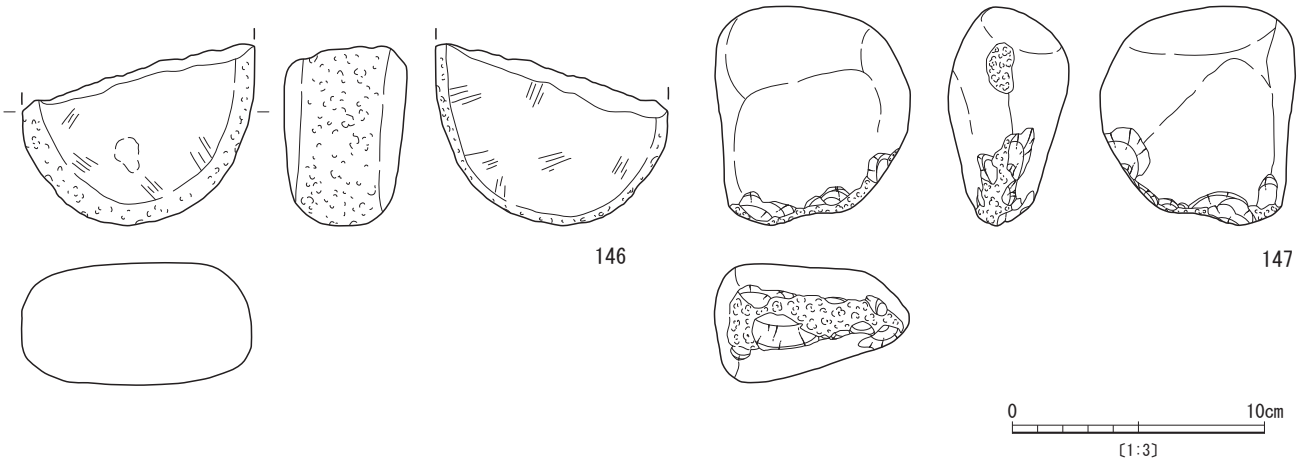
0 10cm
〔1:3〕

第 146 図　石器集中部 17 号（２）





第 147 図　石器集中部 18 号（１）



第 148 図　石器集中部 18 号（２）

面にみられないが，第Ⅴ類土器の可能性が高いと考えられる。

石器集中部 17 号（第 145・146 図）Ⅰ類

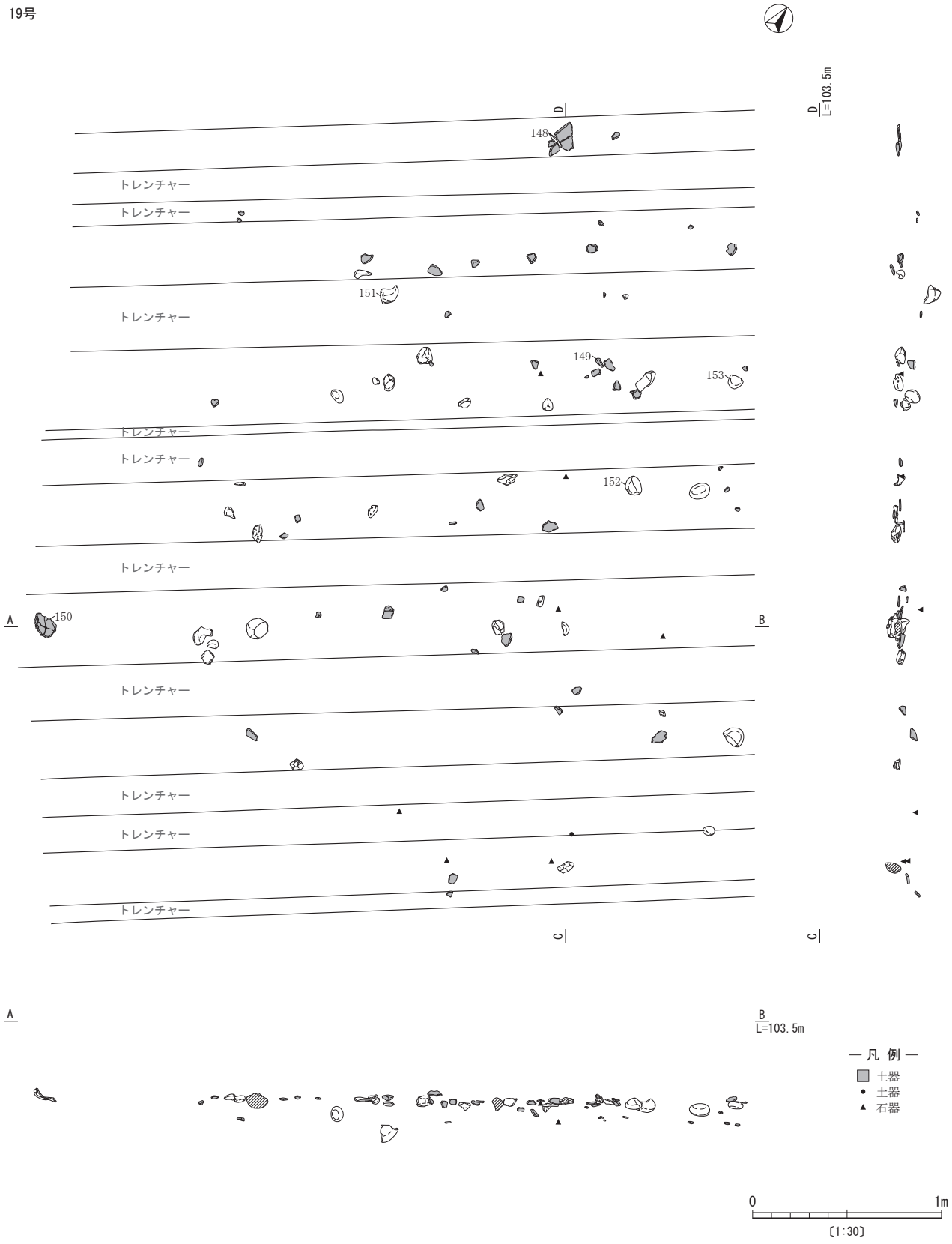
Ｂ地点，Ｆ－ 30 区，Ⅱｂ層で検出された。長軸 235 ㎝，短軸 208 ㎝，高低差 30㎝の範囲から，南側にややまとまり北側に広がっていくように石器と礫が出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 81 点で，総重量は 15799g，礫を中心に 19 個に被熱による赤化等がみられる。石器 40 点と玉髄の原石２点が含まれており，石器の内訳は，石鏃１点，二次加工剥片１点，剥片・チップ類 22 点，磨製石斧１点，局部磨製石斧１点，打製石斧６点，磨敲石類７点，石皿１点である。遺構のほぼ中央西よりに，大型の打製石斧２点が，刃部をほぼ同じ方向に向けて出土している。その他の打製石斧やホルンフェルスの剥片・チップ類は南側にまとまっている。また，本遺構からは，掲載はしていないが第Ⅳ類土器の口縁部等４点とその他型式不明の土器小片が多く出土している。石器７点を図化した。

135 は丁寧に形作られた異形の打製石斧である。基部が膨らみ，直線状に窄まった胴部両側縁から刃部が左右に突出した，特異な碇形の形状を呈する。刃部には摩耗や刃こぼれがみられ，刃部左側縁と裏面刃部下縁の刃こぼれが顕著である。基部上端の縁辺は比較的鋭利で明確な摩耗はみられない。器体は胴部中ほどで破損している。136 は撥形の打製石斧である。薄手に形作られており，基部の両側縁が平行して端部も整い，側縁は胴部から刃部にかけて広がり，刃部を弧状に整えている。刃部の下縁に若干の摩耗がみられるが，その他は全体に鋭利な縁辺を留めている。137 は頁岩８製の石鏃である。丁寧な調整剝離によって直線の側縁と先鋭な先端部をもち，比較的抉入の深い基部が形作られている。138 はノミ形の局部磨製石斧である。比較的粗い整形剥離で形作られており，下端の窄まった刃部の表裏面に部分的な研磨が施され，摩耗がみられる。また，側縁にも所々に弱い研磨痕が残る。139 は磨製石斧の欠損した刃部である。断面形は凸レンズ状に極めて薄く，直線状の側縁と弧状に整った刃縁をもつ。研ぎ整形の擦痕が顕著である。140 は一端が膨らんだ楕円形の磨石で，表裏面に弱い擦り面がみられる。141 は歪な円形の磨石で，長径 19 ㎝ある大型品である。断面形は平坦で周縁が窄まり，表裏面に擦り面がみられる。

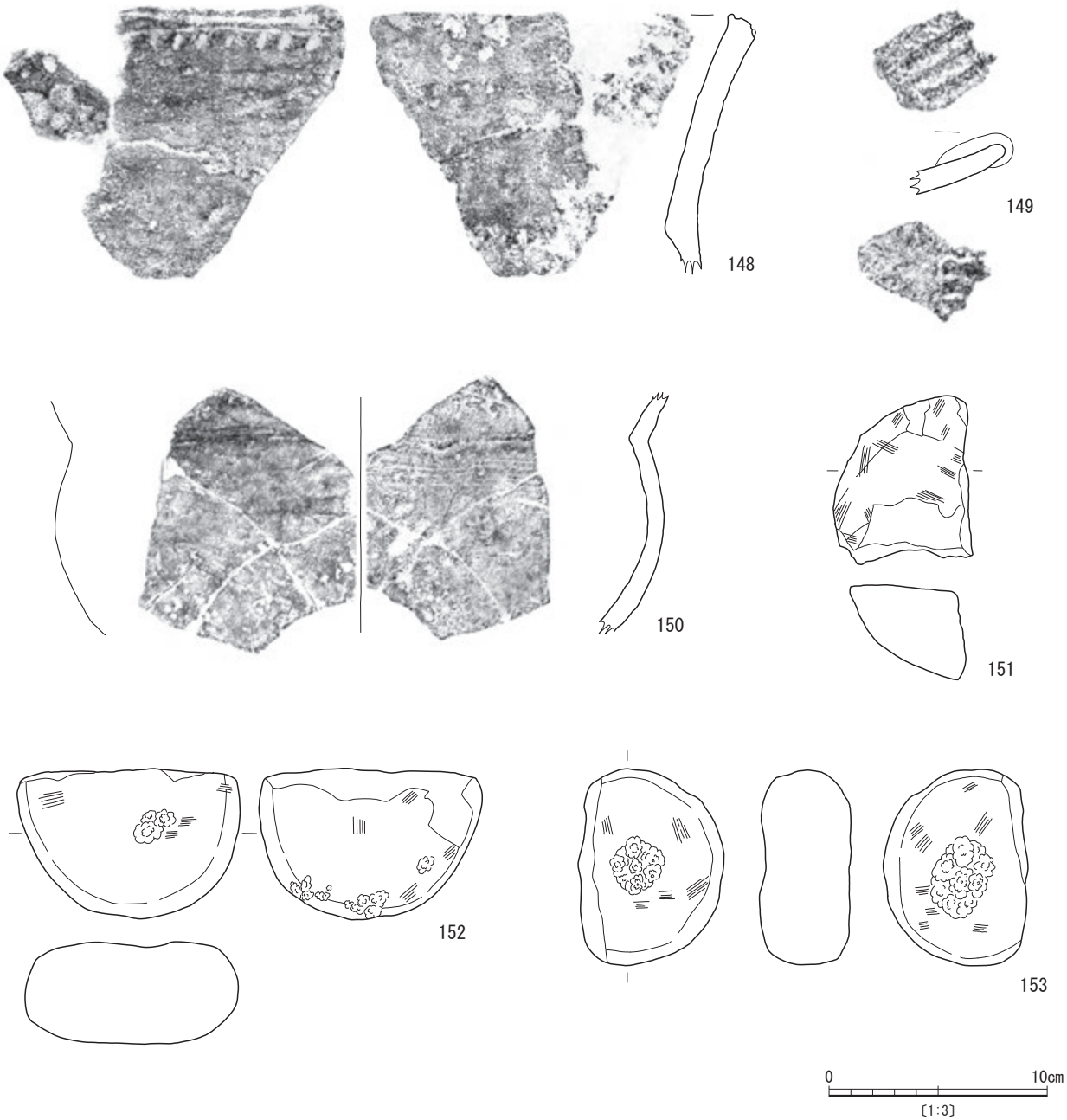
石器集中部 18 号（第 147・148 図）Ⅱ類

Ｂ地点，Ｈ－ 30 区，Ⅱｂ層で検出された。長軸 136 ㎝，短軸 63 ㎝，高低差 16 ㎝の範囲から石器と礫が出土しており，そのほとんどは南側 70 × 50 ㎝の範囲にまとまっている。掘り込みは確認できなかった。縞状にトレンチャーによる削平を受けているため遺物を失っている可能性はあるが，構成礫は 29 個で，礫３点を除いた総重量は 9978g，７個に被熱による赤化，黒色化がみられる。石器が 12 点含まれており，内訳は，礫器１点，磨敲石類７点，敲石１点，砥石１点，石皿２点である。土器１点と石器５点を図化した。

142 は胴部片である。連続刺突を施し，直下に１本の横位直線文を施す。胎土，文様，頚部の屈曲等，第Ⅷ類・第Ⅸ類に似た特徴をもっている。143 は半円に欠損した磨敲石で，表裏面に平滑な擦り面をもち，下端の敲打痕が顕著である。144 は半円に欠損した磨石で，断面形が丸みを帯び，表裏面に弱い擦り面がみられる。被熱赤化している。145 は石鹸形の磨敲石で半分に欠損している。表裏面に平滑な擦り面をもち，敲打痕は側縁と下端で面を違えて，側面を整形している。146 もほぼ半円に欠損した磨敲石であり，表裏面にやや粗い擦り面をもち，周縁に敲打痕がみられる。147 は不整形な亜円礫を用いた敲石である。厚みのない下端から側縁にかけての縁辺を使用し，敲打痕と剥離が生じている。



第 149 図　石器集中部 19 号（１）

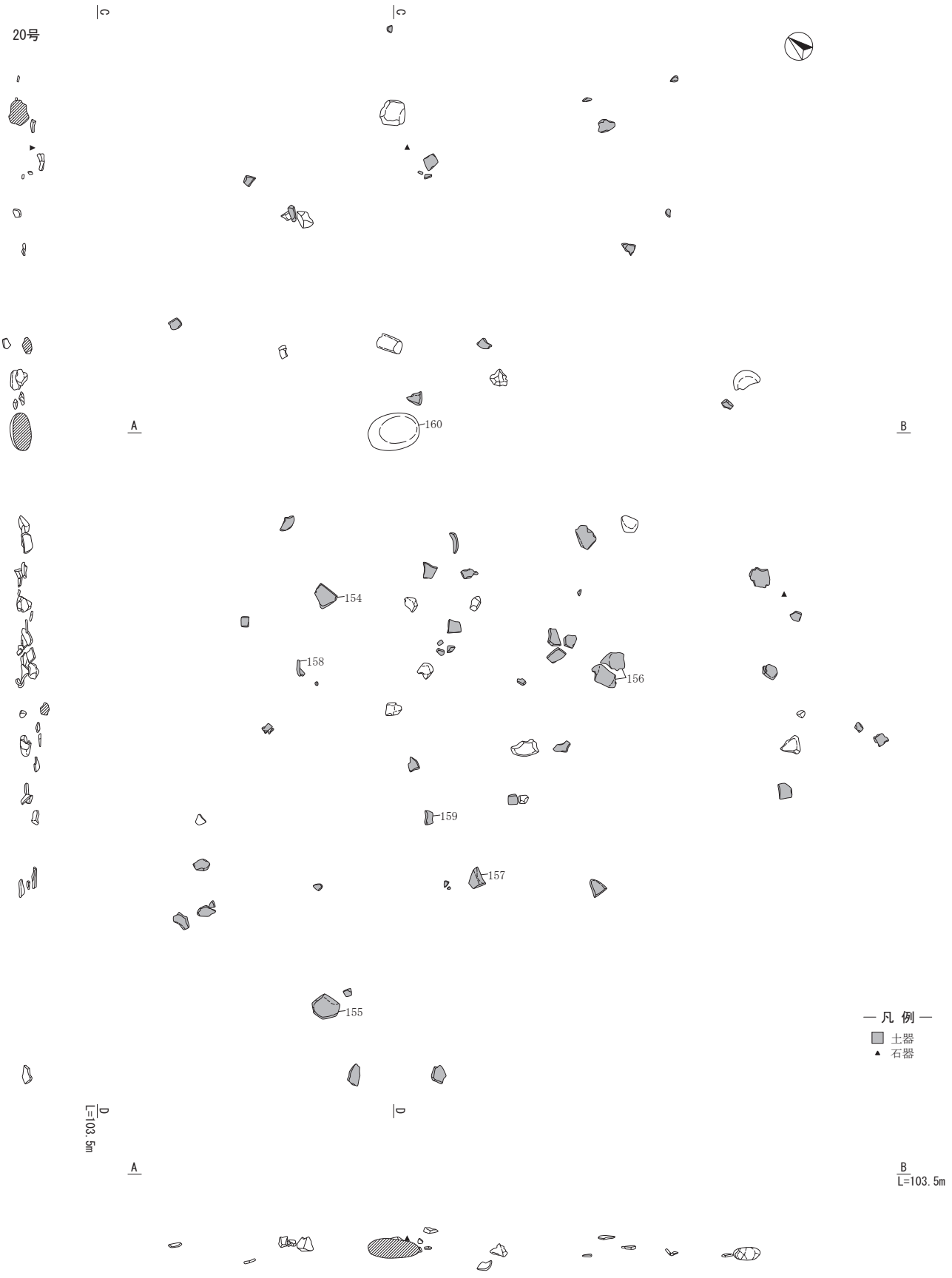


第 150 図　石器集中部 19 号（２）

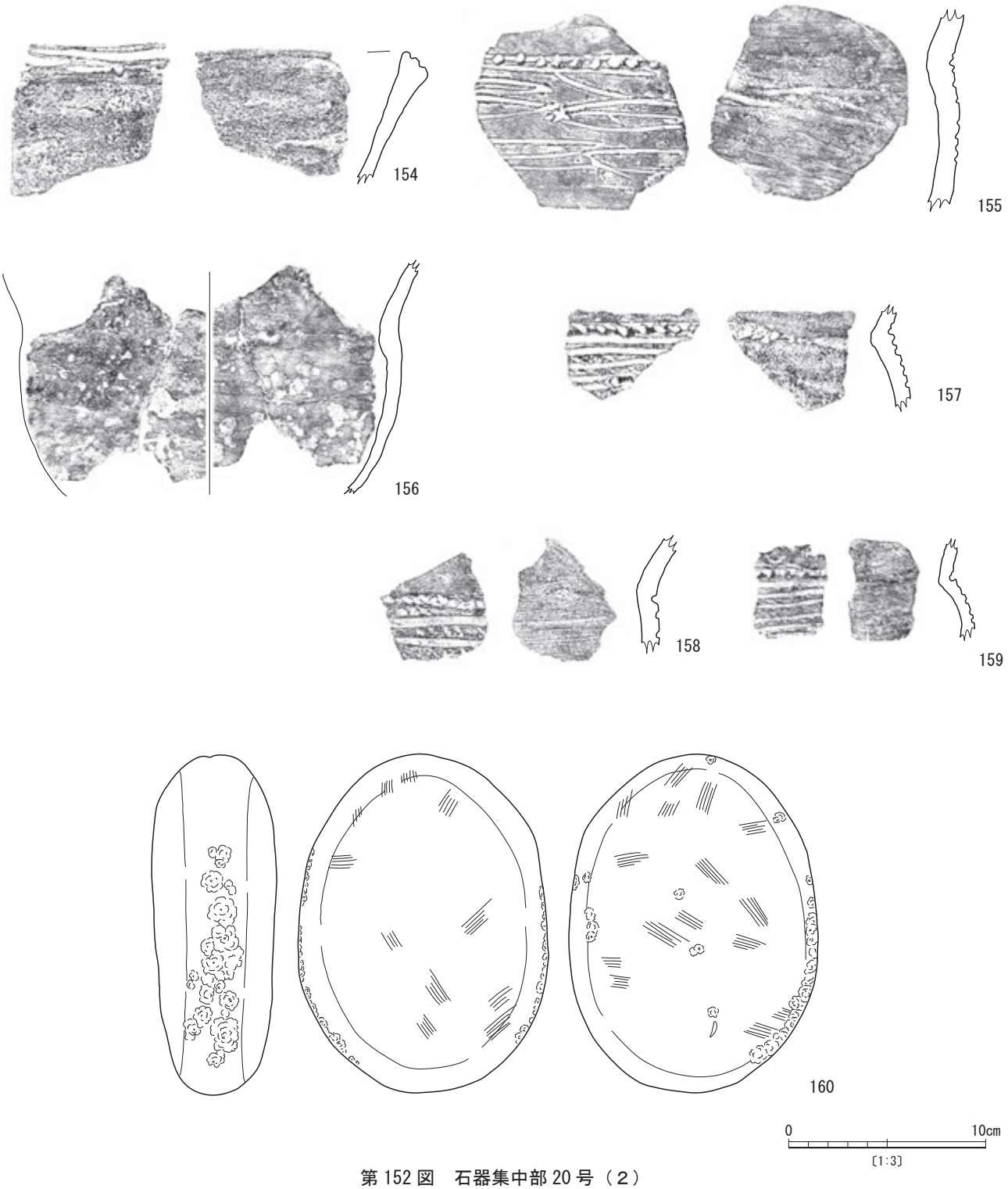
石器集中部 19 号（第 149・150 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｄ－ 31 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 286 ㎝，短軸 272 ㎝，高低差 27㎝の範囲から特に傾向等なく石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。縞状にトレンチャーによる削平を受けているため，遺物を失っている可能性はあるが，構成礫は 38 個で，礫２点を除く総重量は 7684g，観察できた 36 個のうち被熱していたのは５個のみである。石器が 22 点含まれており，内訳は，剥片・チップ類 14 点，磨石・凹石等７点，石皿が１点である。また，遺構内から第Ⅳ類・第Ⅴ類・第Ⅹ -a 類土器の口縁部それぞれ１点を含めた土器片が 47 点出土しているが，ほとんどが型式不明の小片である。土器３点と石器３点を図化した。

148 の口縁部は肥厚せず，２本沈線と連続刺突文を施す。頸部から口縁部は緩やかに立ち上がる器形で，頸部の屈曲も緩やかである。内外面とも摩滅しているところもあり不明瞭であるが，内面は横方向にヘラミガキされている。第Ⅸ類土器と考えられる。149 は台付皿形土器の口縁部で隆帯を縦に２条貼り付ける。貼り付け部の調整は内面は丁寧であるが，外面は粗い。内面はミガキ調整である。150 は屈曲が明瞭な西平式系土器の頸部である。内外面とも横方向にヘラミガキされている。全体的



第 151 図　石器集中部 20 号（１）

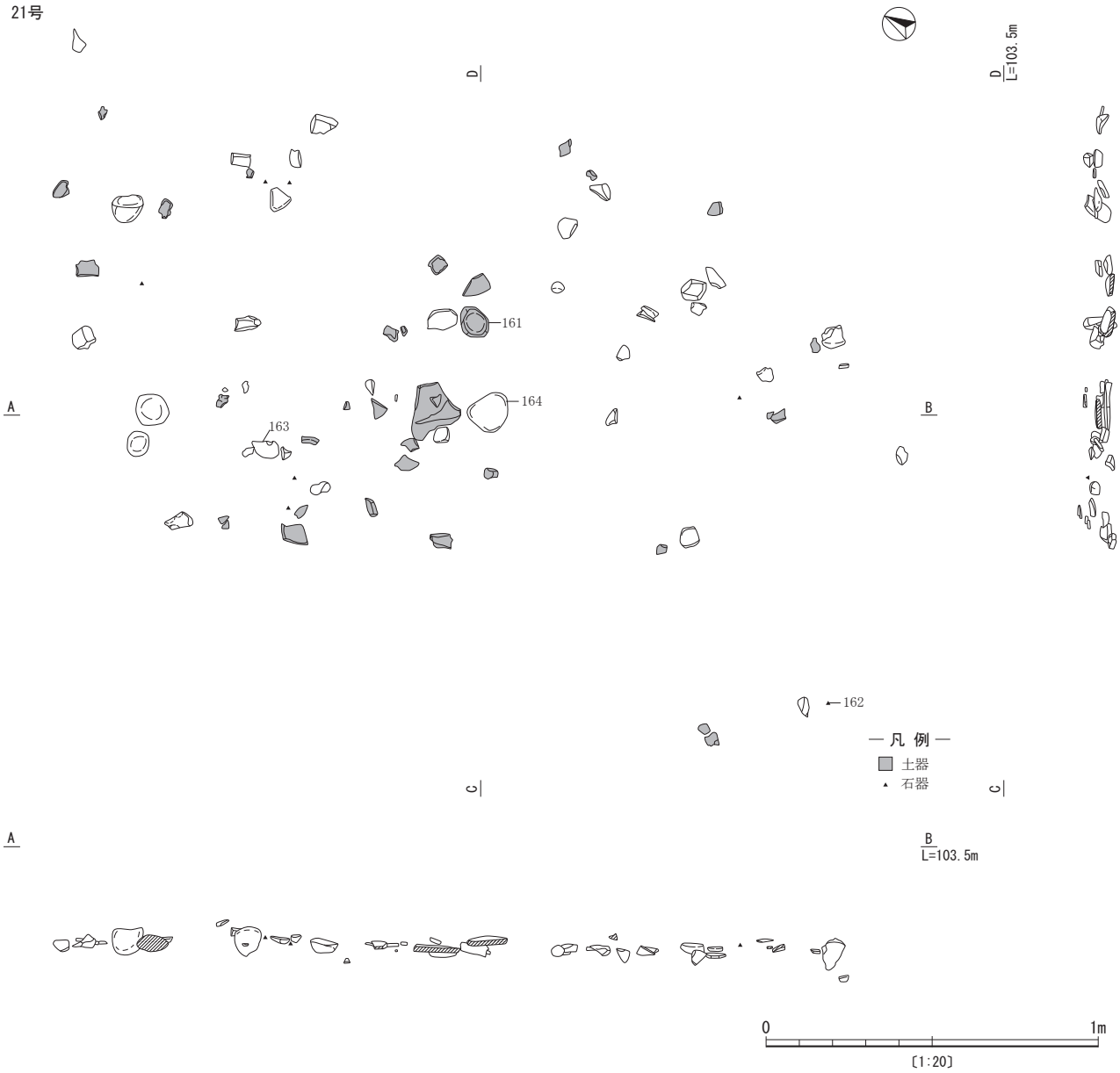


第 152 図　石器集中部 20 号（２）

に調整は少し粗い。無文土器と考えられるが，型式は不明である。151 は石皿の破片である。被熱赤化しており，円礫の割れ面を使用面として，滑らかな擦り面がみられる。152 は凹石である。半円に欠損した磨敲石の再生品とみられ，表裏面の中央部に凹をもつ。特に表面の凹が顕著である。153 は凹石である。半円に欠損した磨敲石の再生品とみられ，表面のほぼ中央部に凹がみられる。敲打痕は顕著ではない。

石器集中部 20 号（第 151・152 図）Ⅰ類

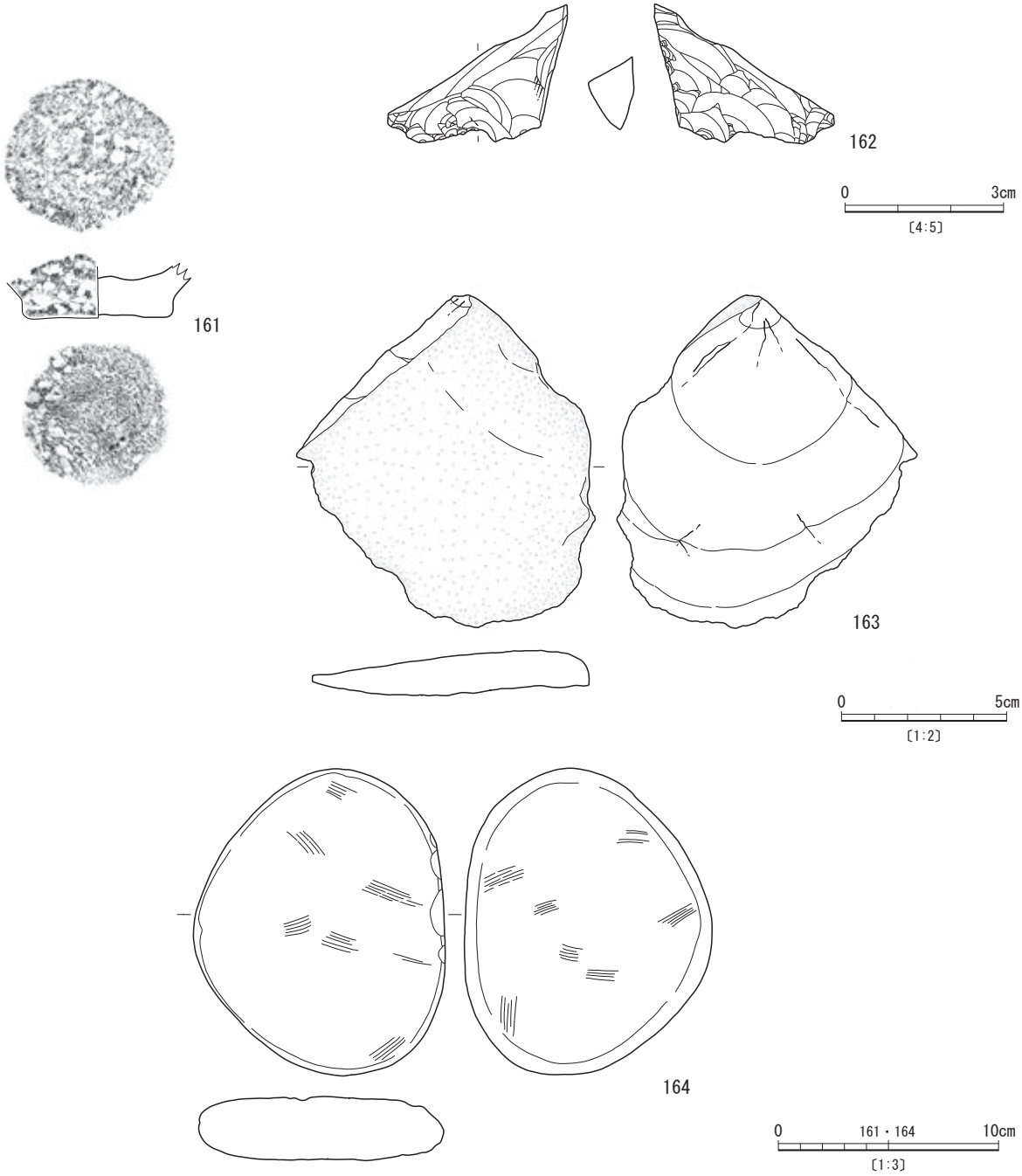
Ｂ地点，Ｄ－ 32・33 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 373 ㎝，短軸 262 ㎝，高低差 15㎝の範囲から特に傾向等なく石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 19 個で，総重量は 4426g，そのうちの４点のみ被熱していた。石器が８点含まれ，内



第 153 図　石器集中部 21 号（１）

訳は，剥片２点，磨敲石類５点，石皿１点である。また，遺構内からは土器 55 点が出土している。土器６点と石器１点を図化した。

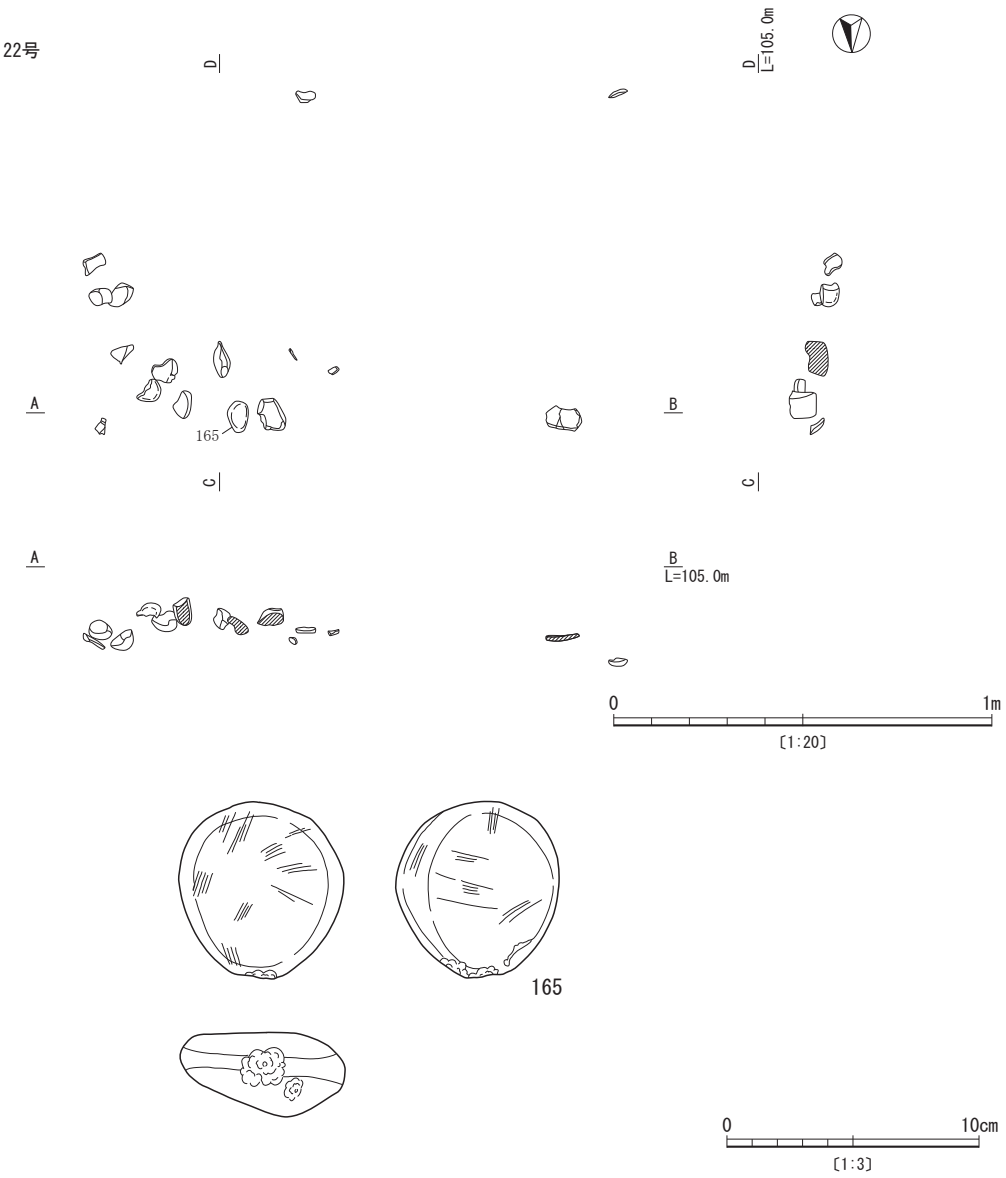
154 は口縁部が肥厚し，沈線を施す。沈線の施文は比較的粗く，棒状工具で２本同時に施文するのではなく，１本ずつ施文し，２条沈線を意識しつつも，残りの１本は施文できるところだけ施文していた可能性が考えられる。胎土は金雲母を多く含んでおり，胎土は第Ⅴ類土器に近い。貝殻条痕による調整や貝殻腹縁による刺突はみられない。口縁部の形状や胎土等から第Ⅴ -b 類と考えられる。155，156 は頚部の屈曲が比較的緩やかである。155 は頚部には連続刺突文を施してあるが，連続性には欠ける。磨消縄文はみられない。胴部には三角形文が施されている。内面調整は横方向に少し粗くヘラミガキされている。第Ⅵ類土器と考えられる。156 は一部摩滅しているが，調整は内外面とも横方向にやや粗くヘラミガキされている。西平式系土器であるが型式は不明である。157 は頚部に連続刺突を施し，胴部には横位直線文と磨消縄文を施す。第Ⅶ類土器の特徴である「v」字状にみえる凹点が施されているものの，連続刺突文などから総合的に判断して第Ⅵ類土器と考えられる。胎土に少量ではあるが金雲母を含む。158 は頚部に連続刺突を施し，胴部には磨消縄文を施す。頚部の屈曲は緩やかで，第Ⅵ類土器と考えられる。159 は頚部の屈曲は比較的強い。連続刺突を頚部に施す。胴部には横位直線文を薄く施し，磨消縄文もかなり薄くみえる。第Ⅵ類土器と考えられる。160 は楕円形の磨敲石で，長径 17 ㎝ある大型品である。表裏面に滑らかな擦り面をもち，両側縁のみに顕著な敲打痕がみられる。この他，第Ⅳ類土器の頚部１点と第Ⅴ類土器の口縁部が３点，西平式系土器の胴部



第 154 図　石器集中部 21 号（２）



写真 7　石器集中部21 号検出



第 155 図　石器集中部 22 号

片が多数出土している。なお，154 に付着した炭化物で年代測定を実施したところ 1623-1518calBC の値を得た。（第Ⅴ章第 6 節№.20）

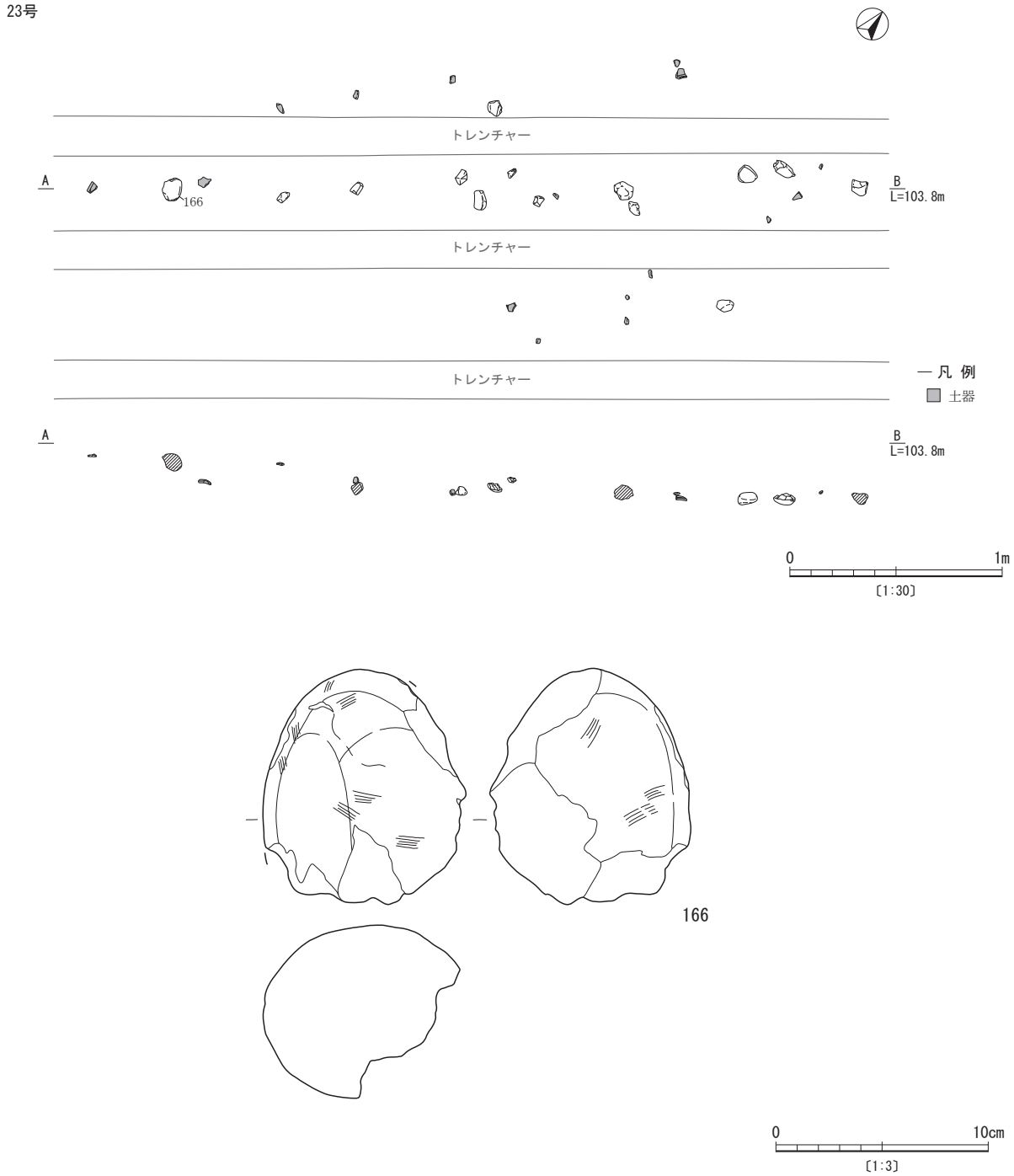
石器集中部 21 号（第 153・154 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｄ－ 32 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 283 ㎝，短軸 134 ㎝，高低差 18cm の範囲から特に傾向等なく石器と礫が出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 40 個で，礫 5 個を除く総重量は 4272g，観察できた 35 個のうち被熱していたのは 2 個のみである。石器が 29 点含まれ，内訳は二次加工剥片 1 点，剥片・チップ類 12 点，打製石斧 1 点，磨石・磨敲石類が 15 点と剥片類・磨敲石類が多く出土している。また遺構内から第Ⅶ類土器の頚部片が 1 点と西平式系土器の胴部片 6 点を含めた 40 点の土器が出土している。土器 1 点，石器 3 点を図化した。

161 はわずかに上げ底になる底部である。底部と胴部の境で屈曲し外へ開く器形である。内外ともに摩滅が激しい。162 は二次加工剥片である。下縁を刃部とし，表裏面からの粗く抉れた調整剥離が施されている。また，上縁と右側縁を折れ面として欠損品の可能性がある。163 はやや大型の不定形剥片である。左側縁中間から下縁にかけての鋭い縁辺に不規則な刃こぼれがみられ，使用痕の可能性がある。164 は歪な楕円形の扁平な磨石で，表裏面の平坦面が擦られている。

石器集中部 22 号（第 155 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｅ・Ｆ－ 32 区，Ⅱｂ層で検出された。長軸 170cm，短軸 112cm，高低差 14cm の範囲から石器と礫が散漫に出土しているが，大半は北東側 70cm の範囲にまとまっている。掘り込みは確認できなかった。構成礫は 11 個で，総重量は 2082g，６個に被熱による赤化などが



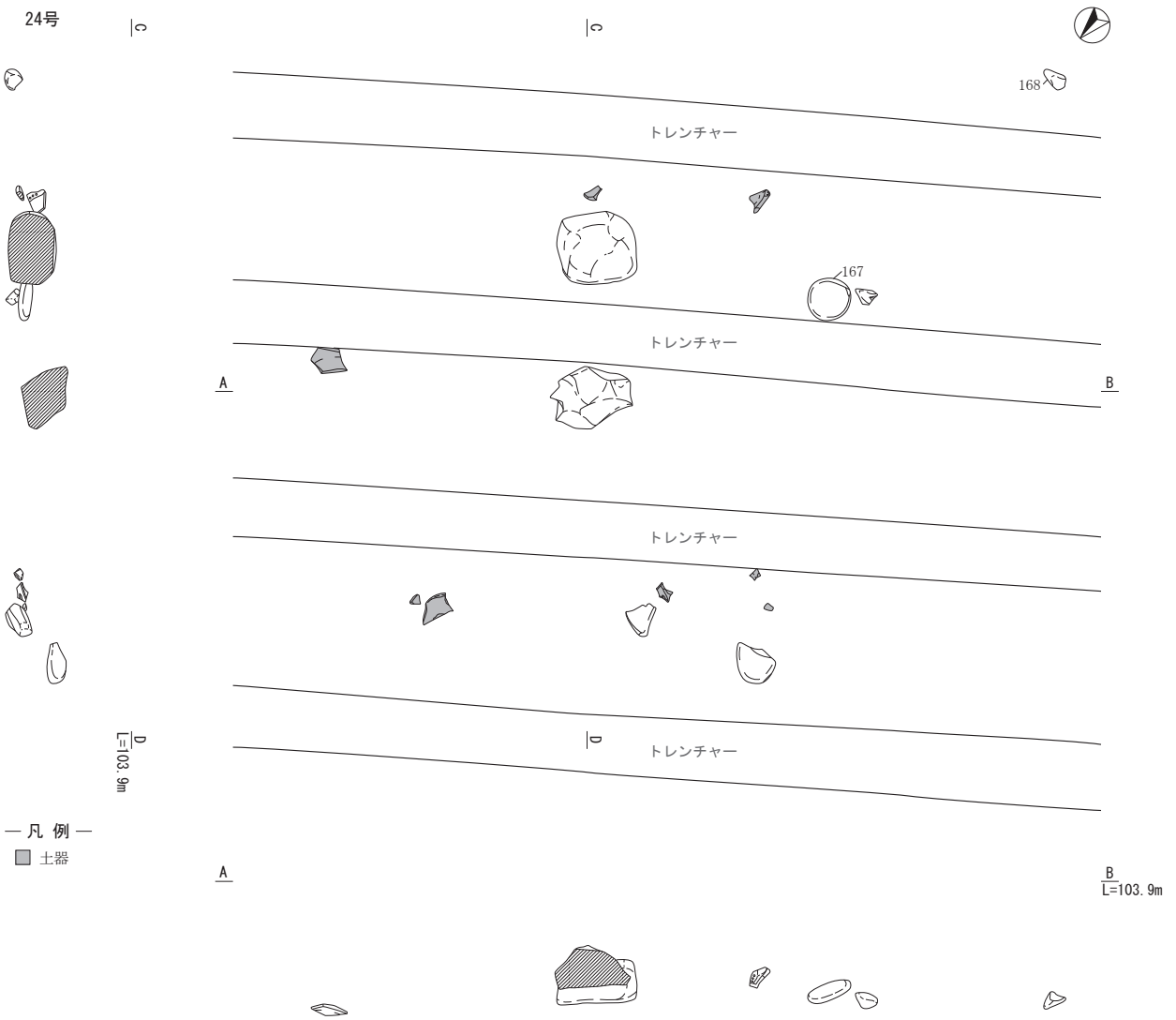
第 156 図　石器集中部 23 号

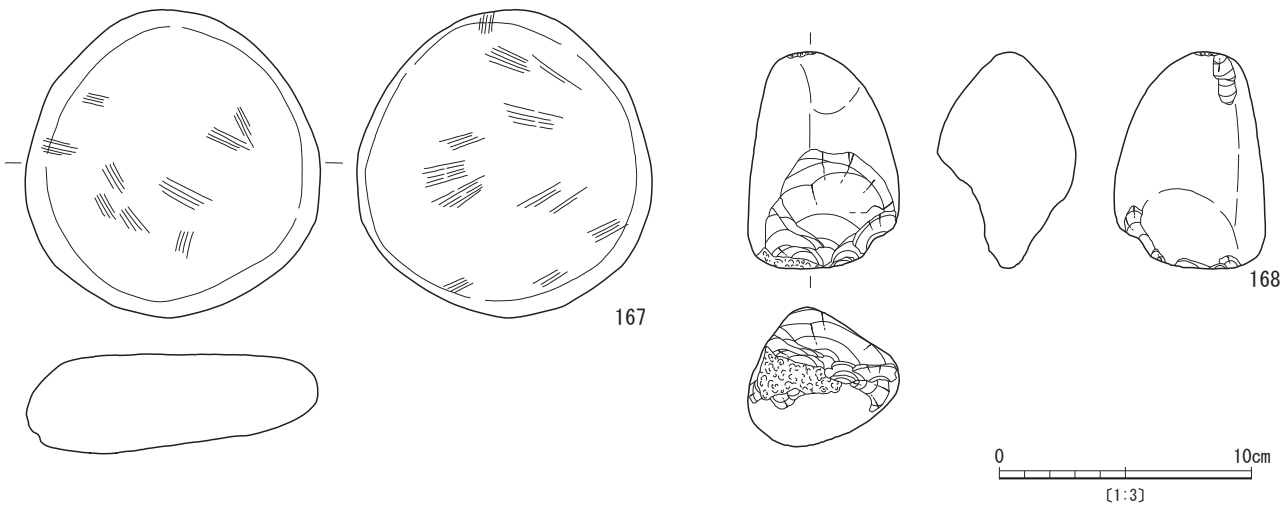
みられる。石器が５点含まれており，内訳は磨敲石類３点，剥片２点である。また，遺構内から４点の土器が出土している。石器１点を図化した。

165 は円形の小礫を用いた敲石で，やや窄まった下端に弱い敲打痕がみられる。被熱赤化している。掲載していないが，本遺構からは胎土に金雲母を少量含む，第Ⅴ類土器とみられる土器片と型式不明の土器片が１点ずつ出土している。

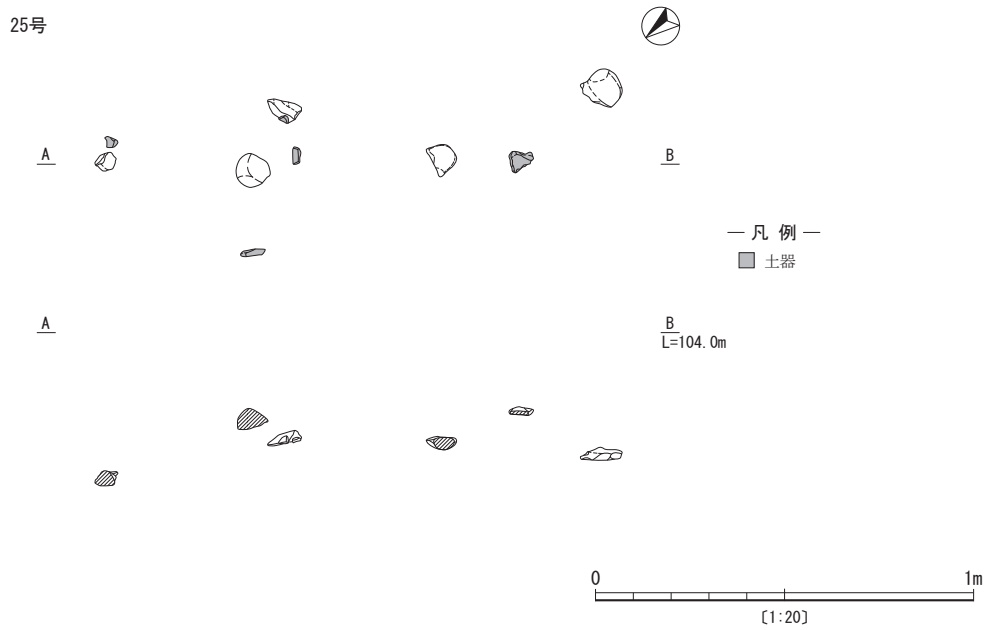
石器集中部 23 号（第 156 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｄ－ 33・34 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 247cm，短軸 91cm の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。縞状にトレンチャーによる削平を受けているため，遺物を失っている可能性はあるが，構成礫は 14 個で，総重量は 4377g，観察できた礫・石器５点は被熱していた。石器が３点含まれ，内訳は磨敲石・磨石である。また，遺構内より第Ⅳ類土器の口縁部など，土器が 16 点出土している。磨石を１





第 157 図　石器集中部 24 号



第 158 図　石器集中部 25 号

点図化した。

166 は球形の磨石で，大きく破損して被熱赤化している。表裏面の擦り面はあまり顕著ではない。また掲載していないが，本遺構からは第Ⅴ類土器と考えられる口縁部片が３点，西平式系土器の胴部片が１点，型式不明の土器片が 11 点出土している。

石器集中部 24 号（第 157 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｄ－ 33・34 区，Ⅱｃ層で検出された。長軸 238cm，短軸 157cm，高低差 18 cmの範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。縞状にトレンチャーによる削平を受けているため，遺物を失っている可能性はあるが，構成礫は８個で，総重量は 15126g，１点のみ被熱していた。石器が６点含まれており，内訳は剥片１点，礫器１点，磨石２点，敲石１点であり，２点を図化した。

167 は円形の磨石で，表裏の平坦面にやや弱い擦り面がみられる。168 は歪な楕円形の敲石で，上下端に敲打痕をもち，特に下端の敲打によって生じた顕著な剥離面がみられる。また遺構内からは第Ⅵ類土器の口縁部が１点，西平式系土器の頚部や胴部片が６点出土している。

石器集中部 25 号（第 158 図）Ⅰ類

Ｂ地点，Ｄ－ 34 区，Ⅲ層で検出された。長軸 146 cm，短軸 45 cm，高低差 20cm の範囲から石器と礫が散漫に出土している。掘り込みは確認できなかった。構成礫は５個で，総重量は 1421g，礫２個が被熱していた。石器が３点含まれ，内訳は礫器１点，磨石２点である。また，遺構内から無文土器第Ｘ -c 類の可能性が高い口縁部片１点と西平式系土器の胴部片２点を含む土器が５点出土している。

ウ　小結

遺構内出土遺物等，総合的に判断して石器集中部 17 号は第Ⅳ類土器，９号・16 号・22 号・23 号は第Ⅴ類土器，18 号に関しては第Ⅷ類土器もしくは第Ⅸ類土器，21 号に関しては第Ⅶ類土器，20 号に関しては第Ⅵ類土器もしくは第Ⅶ類土器のどちらかと同時期の可能性が高いと考えられる。13 号は第Ⅸ類土器，５号・８号は第Ｘ -a 類土器，25 号は第Ｘ -c 類土器と考えらる。19 号は第Ⅸ類土器と無文土器第Ｘ -a 類が共伴し，12 号は第Ⅻ類土器と同時期と考えられる。１号・４号・６号・11 号は型式不明であるが西平式系土器の時期と考えられる。

第20表　石器集中部出土土器観察表

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
129	107	4	不明	深鉢	C27	底	ナデ	ナデ・指オサエ	◎	○	○				砂礫◎	7.5YR4/2	灰褐	7.5YR5/4	にぶい褐		SS3-5078
130	108	5	Ⅹa	深鉢	C31	口縁～頸	縦ナデ・横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	△	△		△			5YR3/2	暗赤褐	2.5YR4/6	赤褐	波状口縁 口唇：沈線 口径：(28.2)	6498他
131	110	6	不明	深鉢	C31	口縁	横ナデ・横ミガキ	横ナデ	○	○		△	○	△		10YR5/2	灰黄褐	10YR6/2	灰黄褐		6248
133	115	8	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	E22	底	縦ナデ・縦ミガキ	横縦ナデ	◎	△		○				7.5YR4/6	褐	7.5YR3/2	黒褐	コゲ 底径：5.4	28685他
136	119	11	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	G27	底	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	△	○	△		△			7.5YR4/2	灰褐	10YR4/2	灰黄褐	底径：7.2	48
138	124	12	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	F28	口縁～胴	横縦ナデ	横ナデ	△	△			○			10YR6/2	灰黄褐	10YR6/1	褐灰	口径：(27.2)	SS18-21他
139	125	13	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	G28	胴	縦ミガキ	横工具ナデ	○	△	△		○		褐色砂粒○	7.5YR7/8	黄橙	7.5YR7/3	にぶい橙		SK85-2
144	133	16	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	E29	胴～底	縦ミガキ・指オサエ	縦工具ナデ・指オサエ	○	○	△		○		輝石？△	7.5YR5/3	にぶい褐	7.5YR3/1	黒褐	コゲ 底径：(5.1)	5994他
	134	16	Ⅴ	深鉢	E29	口縁	横ナデ	横ナデ	◎	○		◎	◎			2.5YR4/3	にぶい赤褐	2.5YR5/4	にぶい赤褐		5540
147	142	18	Ⅷか Ⅸ	深鉢	H30	頸	沈線・連続刺突文・横ナデ	横ナデ	◎	○	△		◎			5YR6/8	橙	5YR6/6	橙		SQ29-22
150	148	19	Ⅸ	深鉢	D31	口縁～頸	刻目微隆帯・連続刺突文・横ナデ	剥落（横ミガキ）	◎	○	△		◎			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/1	黒褐	口唇：沈線ス ス	6458他
	149	19	Ⅵ～Ⅹ	台付皿	D31	口縁	隆帯・横ナデ	縦ナデ	◎	△						5YR4/1	褐灰	5YR5/4	にぶい赤褐		6451
	150	19	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D31	頸～胴	横ナデ・横ミガキ	横工具ナデ	◎	○			◎			7.5YR3/4	暗褐	7.5YR4/4	褐		6488
152	154	20	Ⅴb	深鉢	D33	口縁	縦ナデ・縦工具ナデ	横ナデ	◎	○		○	○			7.5YR2/1	黒	7.5YR5/4	にぶい褐	口唇：沈線	8449
	155	20	Ⅵ	深鉢	D33	頸～胴	沈線・刺突・横縦ナデ・縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ	△	△	△		△			5YR3/2	暗赤褐	5YR7/3	にぶい橙		8460
	156	20	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D32	頸～胴	剥落（横ナデ・横ミガキ）	横ナデ・横ミガキ	△	○	△		△	△	輝石？△	7.5YR5/4	にぶい褐	7.5YR5/8	明褐		8483他
	157	20	Ⅵ	深鉢	D33	頸～胴	磨消縄文・沈線・刺突・横ナデ	横ナデ	○	◎		○	◎		小礫△	10R2/3	極暗赤褐	10R3/1	暗赤灰	コゲ	8464
	158	20	Ⅵ	深鉢	D32	頸	沈線・刺突・縄文・横ナデ	横工具ナデ	◎	○			○	△		10YR3/1	黒褐	10YR4/2	灰黄褐		8451
	159	20	Ⅵ	深鉢	D33	頸～胴	沈線・刺突・横ナデ	横ミガキ	○	○	△		○			10YR5/3	にぶい黄褐	10YR5/3	にぶい黄褐		8466
154	161	21	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D32	底	剥落（縦ミガキ）	摩滅	○	△	△		△	△		2.5YR5/8	明赤褐	2.5YR4/1	赤灰	底：ナデ 底径：(6.7)	7240

第21表　石器集中部出土石器観察表①

()内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
127	105	2	E20	Ⅱa	横長剥片	ホルンフェルス5	4.95	9.30	1.60	83.30		20720
128	106	3	D27	Ⅱc	磨石	安山岩A	11.40	7.90	4.00	559.00		5537
130	109	5	C31	Ⅱc	磨敲石	砂岩	(8.00)	(10.20)	(4.75)	557.00		6490
131	111	6	C31	Ⅱc	礫器	凝灰岩	12.50	12.20	5.50	1068.20		6252
	112	6	C31	Ⅱc	磨石	安山岩A	8.15	7.85	4.65	365.50		6251
	113	6	C31	Ⅱc	敲石	砂岩	11.3	7.1	5.4	285.00		6250
132	114	7	E21	Ⅱa	磨敲石	安山岩A	11.10	8.30	8.30	1152.00		27396
133	116	8	E22	Ⅱb	磨敲石	花崗岩	7.30	5.55	3.20	179.00		28673
134	117	9	E24	Ⅱa	磨敲石	安山岩A	11.95	(9.35)	5.45	969.00		27414
135	118	10	G27	Ⅱa	磨石	安山岩A	19.80	16.00	3.80	1598.00		10217・10218
136	120	11	G27	Ⅱb	石鏃	石英	1.90	(1.45)	0.40	1.25		SS16-73
	121	11	G27	Ⅱb	磨石	安山岩A	8.60	8.25	5.25	477.50		SS16-24
	122	11	G27	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	9.25	(8.15)	2.55	297.50		SS16-16
137	123	11	G27	Ⅱb	石皿	安山岩A	(31.80)	(29.00)	(9.20)	8108.50		S16-17・28・5
139	127	12	F28	Ⅱc	原石礫	石英	7.30	4.95	3.80	189.00		S18-15
	126	12	F28	Ⅱc	石皿	安山岩A	(12.55)	(20.40)	(8.95)	2455.20		SS18-8

第22表　石器集中部出土石器観察表②

（）内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
141	128	13	G28	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	(8.90)	(7.90)	5.70	672.00		SS14-9
	129	13	G28	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	11.15	8.80	4.50	743.00		SS14-13
	130	13	G28	Ⅱc	磨敲石	安山岩A	10.00	9.00	2.65	337.50		SK77-4
	131	13	G28	Ⅱc	石皿	花崗岩	(26.40)	(35.25)	(8.35)	8640.00		SS1-41・43
143	132	15	E30	Ⅱc	磨石	安山岩A	(9.00)	8.55	3.05	278.00		5081
145	135	17	F30	Ⅱb	打製石斧	ホルンフェルス1	19.10	11.05	2.25	420.500		SS15-33・25
	136	17	F30	Ⅱb	打製石斧	ホルンフェルス1	17.85	8.35	1.55	281.00		SS15-34
146	137	17	F30	Ⅱb	打製石鏃	頁岩8	1.75	1.60	0.25	0.40		SS15-64
	138	17	F30	Ⅱb	局部磨製石斧	ホルンフェルス2	10.60	4.40	1.70	86.00		SS15-41
	139	17	F30	Ⅱb	磨製石斧	頁岩5	8.85	8.00	0.75	77.55		SS15-1
	140	17	F30	Ⅱb	磨石	安山岩A	12.50	8.95	3.30	511.00		SS15-62
	141	17	F30	Ⅱb	磨石	安山岩A	19.50	16.70	3.80	1521.50		SS15-65
147	143	18	H30	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	(6.60)	(9.90)	(4.70)	505.00		SQ29-4
	144	18	H30	Ⅱb	磨石	安山岩A	(6.00)	(8.30)	(5.40)	404.50		SQ29-13
	145	18	H30	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	(6.70)	(7.60)	(4.50)	349.00		SQ29-12
148	146	18	H30	Ⅱb	磨敲石	安山岩A	(7.20)	(9.20)	(4.80)	429.50		SS29-20
	147	18	H30	Ⅱb	敲石	砂岩	8.70	7.80	4.70	395.50		-
150	151	19	D31	Ⅱc	石皿	凝灰岩	(10.25)	(8.45)	(5.80)	503.00		7982
150	152	19	D31	Ⅱc	凹石	安山岩A	(7.80)	(10.20)	(4.70)	532.00		6442
	153	19	D31	Ⅱc	凹石	花崗岩	9.00	(6.60)	4.20	386.00		6444
152	160	20	D32	Ⅱc	磨敲石	安山岩A	17.05	12.50	6.30	1972.00		8492
154	162	21	D32	Ⅱc	二次加工剥片	頁岩5	2.60	3.40	0.86	5.42		7223
	163	21	D32	Ⅱc	不定形剥片	ホルンフェルス1	10.00	9.05	2.40	139.00		8513
	164	21	D32	Ⅱc	磨石	安山岩A	13.80	11.10	2.80	645.00		8527
155	165	22	E・F 32	Ⅱb	敲石	安山岩A	6.90	9.45	3.30	201.50		SS7-7
156	166	23	D34	Ⅱc	磨石	安山岩A	(11.10)	(9.40)	(8.10)	1118.00		6082
157	167	24	D33	Ⅱc	磨石	安山岩A	12.00	11.50	4.10	682.00		6068
	168	24	D33	Ⅱc	敲石	ホルンフェルス5	(8.60)	(6.40)	(5.60)	315.00		6083

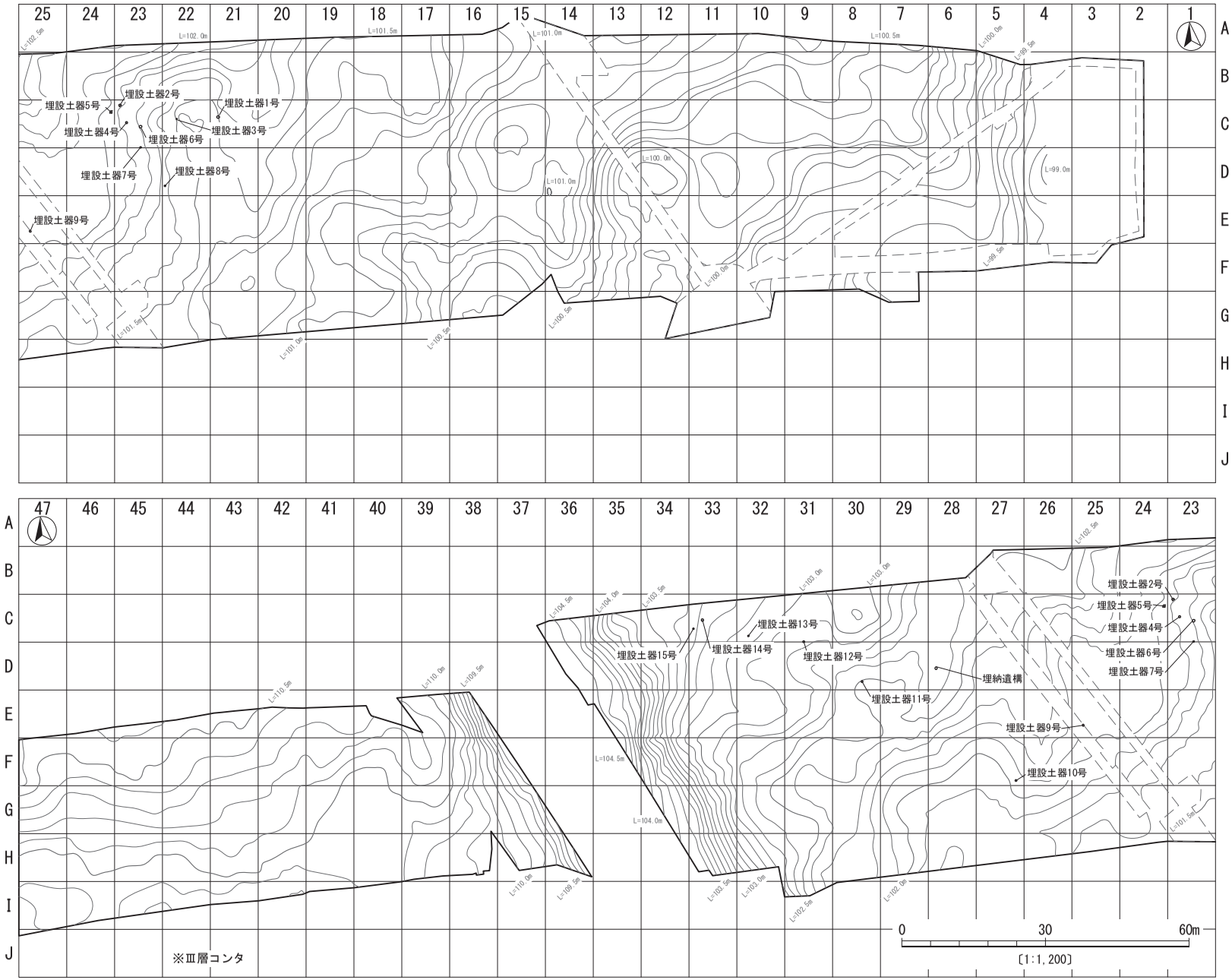
第23表　石器集中部観察表①

遺構番号		石器集積1	石器集積2	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
区		E12	E16	B21	E20	D27	C27	C31	C31	E21	E22
層位		Ⅱa	Ⅱa	Ⅱb	Ⅱa	Ⅱc	Ⅲ	Ⅱc	Ⅱc	Ⅱa	Ⅱb
総数		3	4	10	5	4	5	8	5	7	21
石器数		3	4	2	3	3	3	5	5	4	9
礫数		0	0	8	2	1	2	3	0	3	12
データ取得数		2	3	2	5	4	5	8	3	6	14
データ取得石材内訳	安山岩	1	2	2	3	1	3	1	1	4	4
	ホルンフェルス				1	1	1	3			2
	凝灰岩				1						5
	花崗岩	1				1					1
	砂岩					1	1	1	2	1	1
	頁岩							2		1	1
	軽石		1								
	玉髄・石英							1			
	黒曜石										
	チャート										
データ取得総重量		1883.50	4959.00	769.50	1281.00	1954.5	1868.43	1133.86	1718.70	4045.00	3754.00
データ取得被熱数		0	1	1	3	0	2	1	0	2	12

第24表　石器集中部観察表②

遺構番号		9号	10号	11号	12号	13号	14号	15号	16号	17号	18号
区		E24	G27	G27	F28	G28	E28	E30	E29	F30	H30
層位		Ⅱa	Ⅱb	Ⅱb	Ⅱc	Ⅱb	Ⅱc	Ⅱc	Ⅱc	Ⅱb	Ⅱb
総数		12	17	29	16	41	4	9	7	81	29
石器数		7	9	16	5	15	3	4	2	42	12
礫数		5	8	13	11	26	1	5	5	39	17
データ取得数		12	12	29	15	40	3	8	7	81	26
データ取得石材内訳	安山岩	3	5	13	1	3	2	4	1	10	16
	ホルンフェルス	1		2				2	1	31	2
	凝灰岩	4	3	3	11	30	1	1	3	15	4
	花崗岩	1	1	1	1	4		1	1	1	
	砂岩	2	1	7		3			1	16	4
	頁岩	1	2	2						6	
	軽石				1						
	玉髄・石英			1	1					2	
	黒曜石										
	チャート										
データ取得総重量		3448.13	5780.73	29412.50	10268.90	41792.87	2156.5	2838.64	5500.54	15799.35	9978.50
データ取得被熱数		3	3	10	4	22	0	4	2	20	6

遺構番号		19号	20号	21号	22号	23号	24号	25号
区		D31	D32	D32	E・F32	D33・34	D33・34	D34
層位		Ⅱc	Ⅱc	Ⅱc	Ⅱb	Ⅱc	Ⅱc	Ⅲ
総数		38	19	40	11	14	8	5
石器数		22	8	29	5	3	6	3
礫数		16	11	11	6	11	2	2
データ取得数		36	19	34	11	14	8	5
データ取得石材内訳	安山岩	11	4	8	2	7	2	3
	ホルンフェルス	13	2	7	2	4	2	1
	凝灰岩	5	6	3		1	2	
	花崗岩	1	2		1	2		
	砂岩	2	2	4	5			1
	頁岩	2		5	1		1	
	軽石		1	2			1	
	玉髄・石英	2	2					
	黒曜石			3				
	チャート			2				
データ取得総重量		7684.54	4426.21	4272.77	2082.30	4377.28	15126.02	1421.50
データ取得被熱数		5	4	2	5	4	1	2



第159図　埋設土器・埋納遺構配置図

（６）埋設土器（第 160 ～ 175 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の埋設土器はＢ地点から８基，Ｃ地点から７基，合計 15 基検出された。

埋設土器の検出層はⅡａ層７基，Ⅱｂ層３基，Ⅱｃ層５基である。掘り込みをはっきり確認できたものは少ない。現場で土器集中部として検出した遺構を検出状況や周りの遺物出土状況で埋設土器に変更した遺構もある。本報告書では検出状況等から，縄文時代後期～晩期該当の埋設土器として 15 基報告する。

イ　各埋設土器の状況

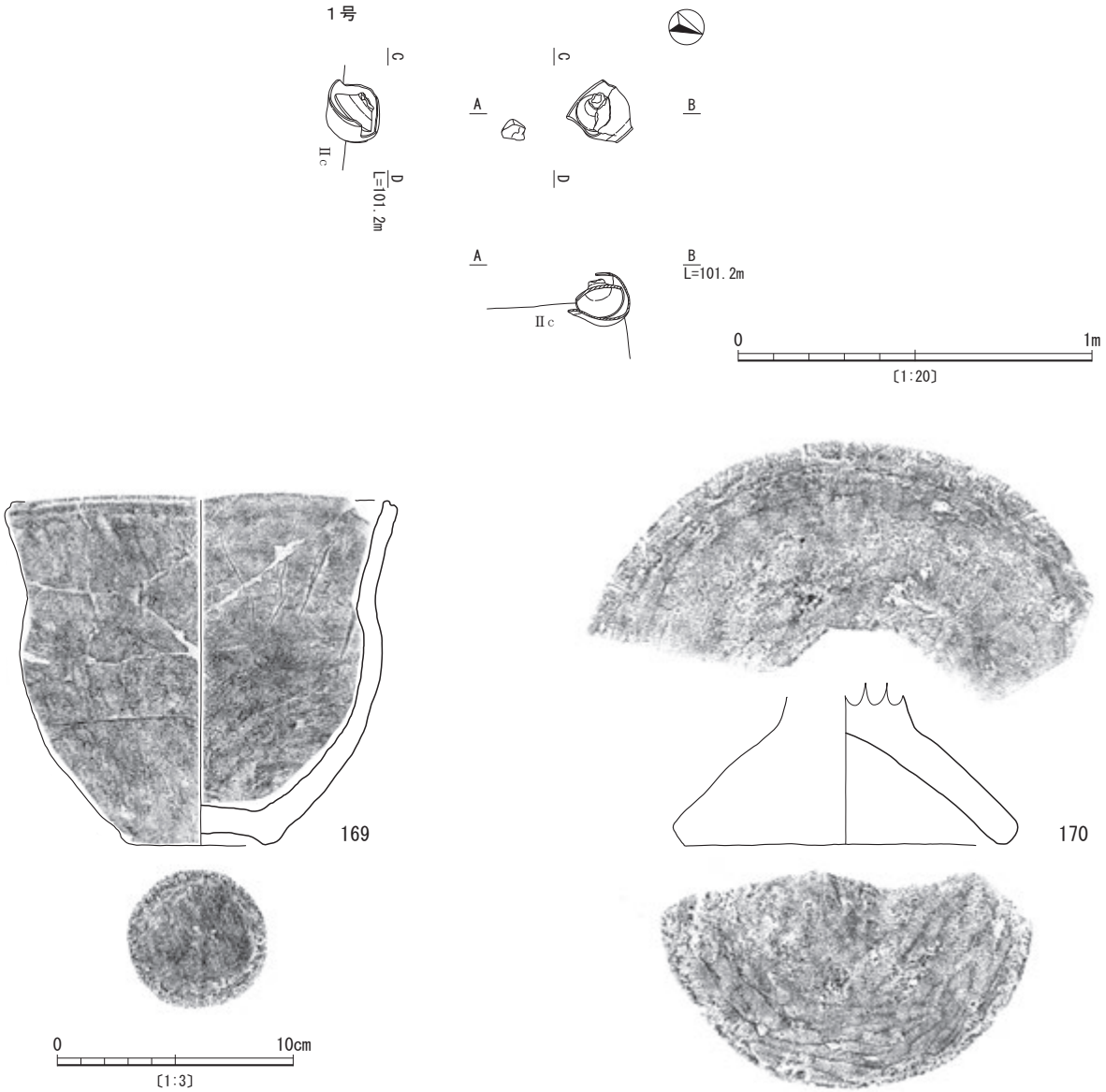
埋設土器１号（第 160 図）

Ｃ地点，Ｃ－ 21 区，Ⅱａ層で検出された。169 は南方向に口縁部を向けて横倒しになった状態で検出された。土器内には 170 が入っており，入れ子状態の出土状況であった。掘り込みは検出されなかった。

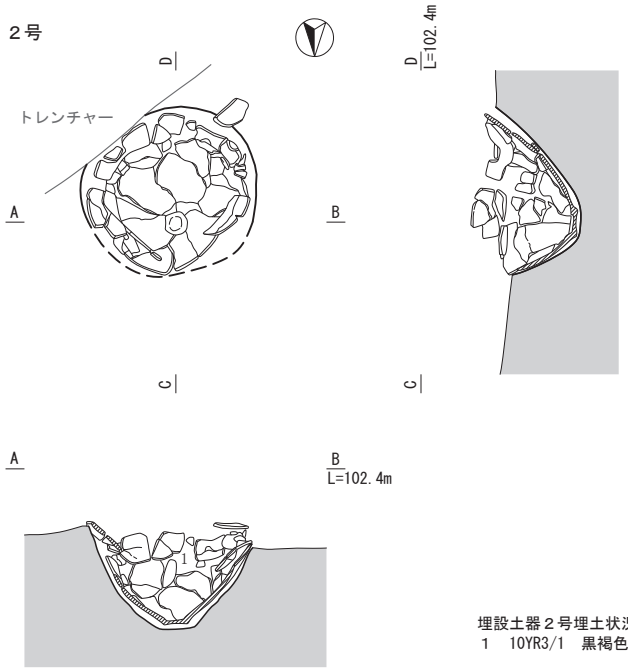
169 は西平式系の無文土器である。内外面とも丁寧にヘラミガキされ，口縁の立ち上がりの内面に凹線が巡る。口唇部に一部，沈線状の痕跡がみられるが調整時の工具痕と思われる。頚部はゆるやかに外反し，明確な稜をもたない。頚部のヘラミガキ方向は縦方向で第Ⅹ -a 類と考えられる。底部は上げ底で，底部外面はミガキ調整を行っている。胴部中位から口縁部にかけてススが付着している。170 は脚台をもつ皿もしくは鉢形土器の脚部である。顔料等は塗布されておらず，脚台側面に工具痕等の形跡もみられない。内面にはススが付着しており，169 の蓋として再利用したものと考えられる。

埋設土器２号（第 161 図）

Ｄ地点，Ｃ－ 23 区，Ⅱａ層で検出された。掘り方の

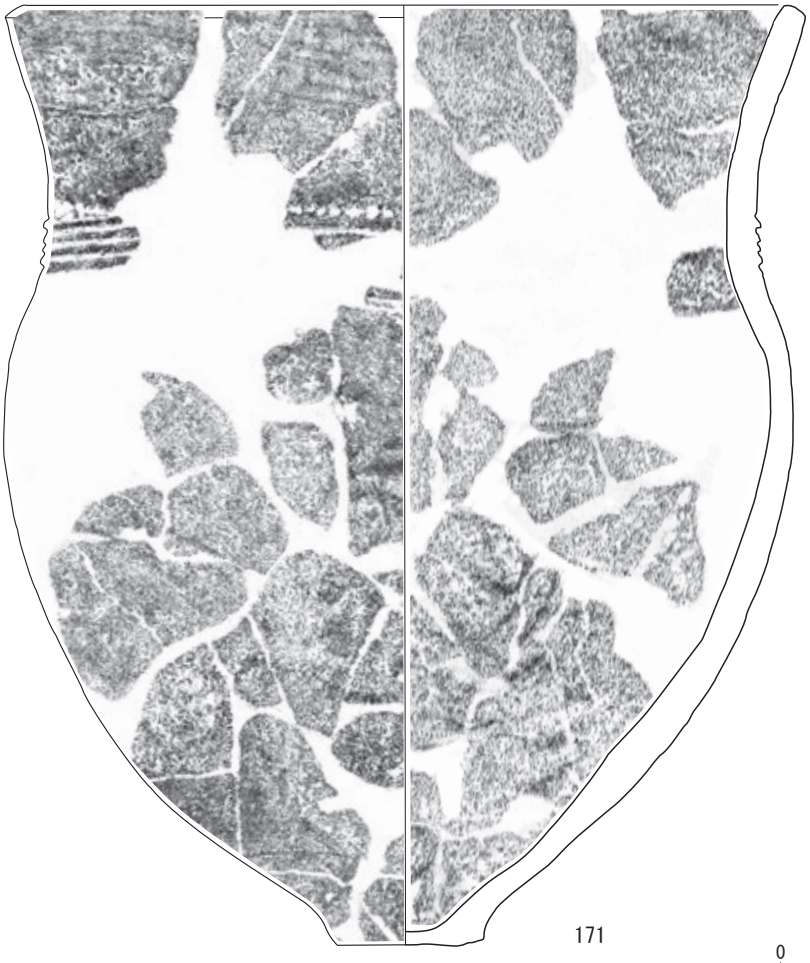


第 160 図　埋設土器１号



埋設土器２号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色土　しまり有り。粘性無し。

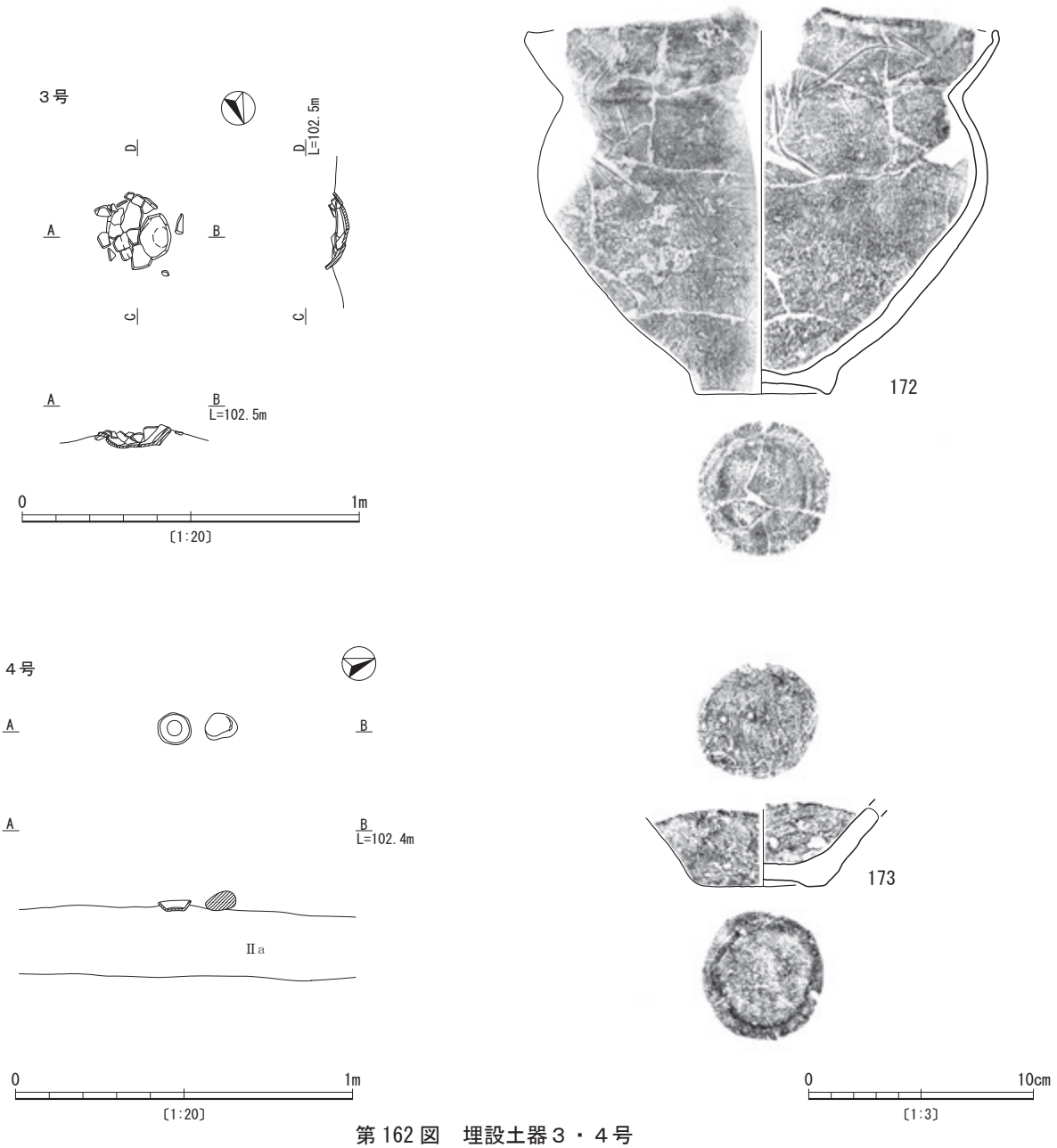
0　1m
〔1:20〕



171

0　10cm
〔1:3〕

第 161 図　埋設土器２号



第 162 図　埋設土器３・４号

平面形状は円形で，土器はほぼ正位置の状態と考えられる。径は 45 ㎝，検出面からの深さは 28 ㎝である。埋土は黒褐色土でⅡａ層と近似し，土器本体との間にわずかに堆積する。

171 は口縁端部に狭い平坦面があり，肥厚せず沈線はない。頸部から口縁部までは長く，外反は緩い。口縁部内側に凹線はみられない。頸部は刺突文が巡り，連続性に乏しい。胴部文様帯は横位直線文の文様帯を確認できる。器面調整はやや粗く，第Ⅸ類土器と考えられる。

埋設土器３号（第 162 図）

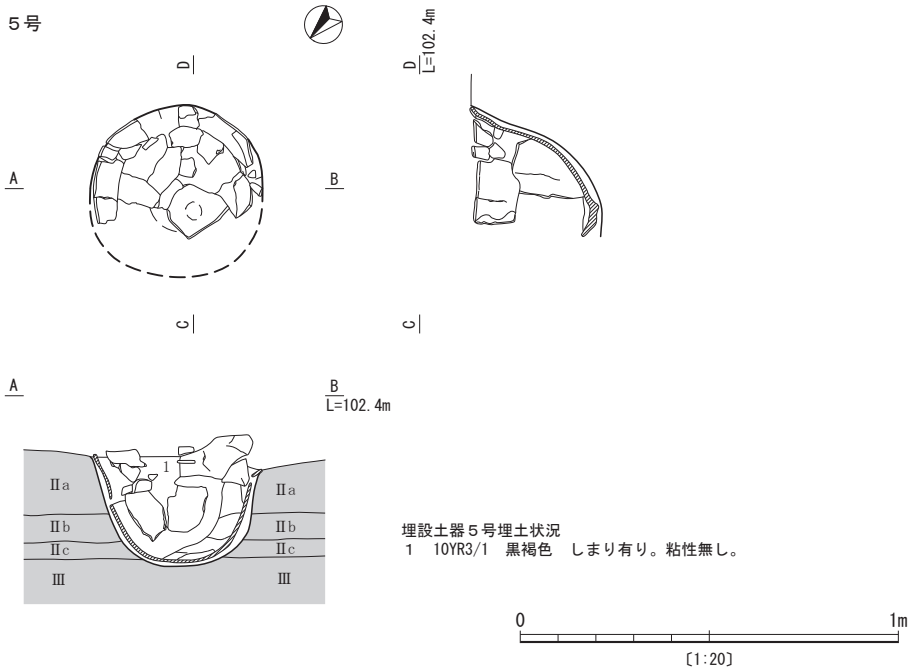
Ｃ地点，Ｃ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。やや横倒しになった状態であり，上部は後世の攪乱によって欠損した状態であった。出土状態は埋設土器１号に類似する。掘り込みは検出されなかった。

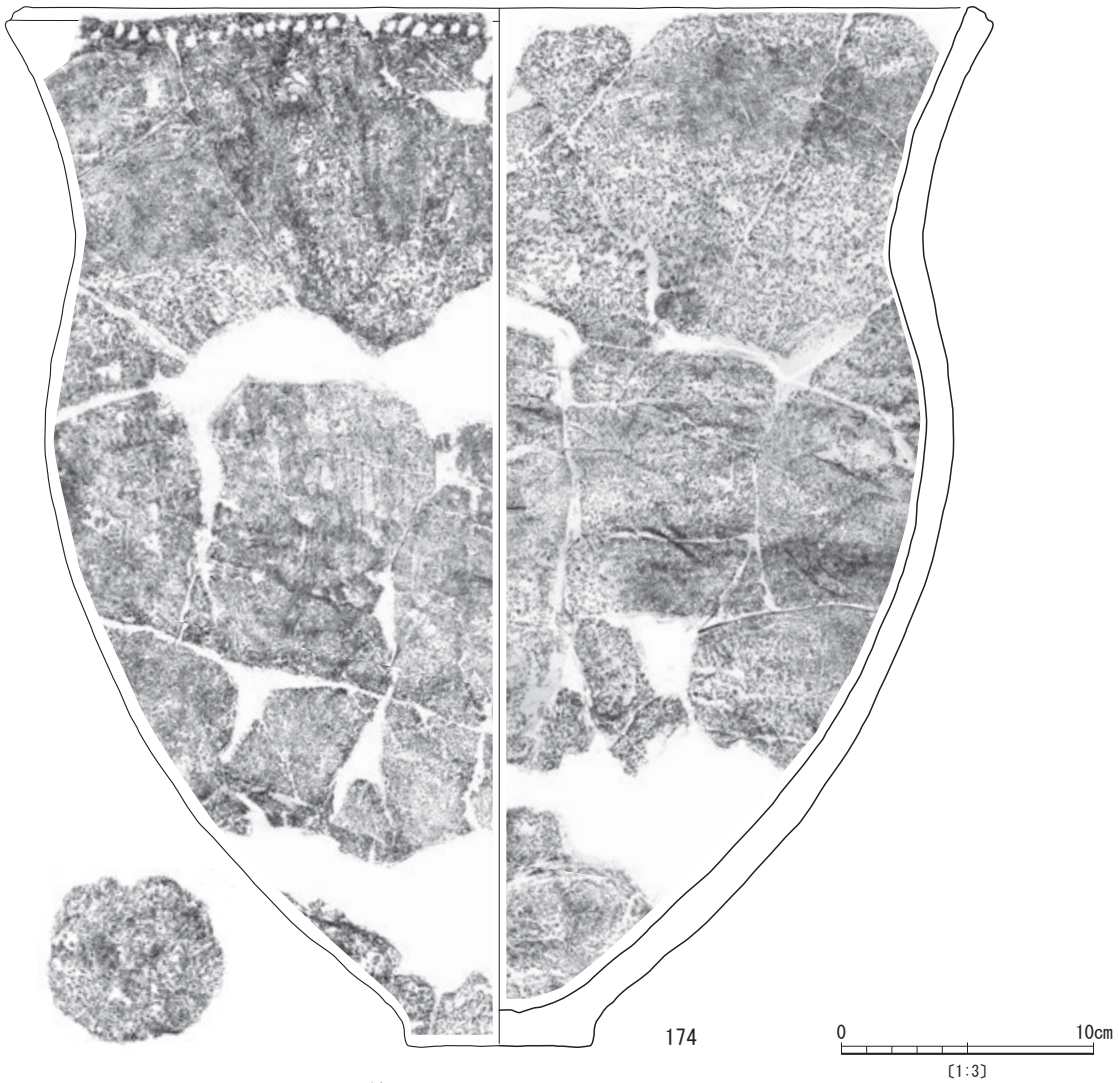
172 は口縁端部が丸く，口縁部内側に沈線が巡る。口縁部から頸部が短く，明確な稜をもち，強く外反する。内外面ともに丁寧にヘラミガキされ，肩部が強く張る。無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。

埋設土器４号（第 162 図）

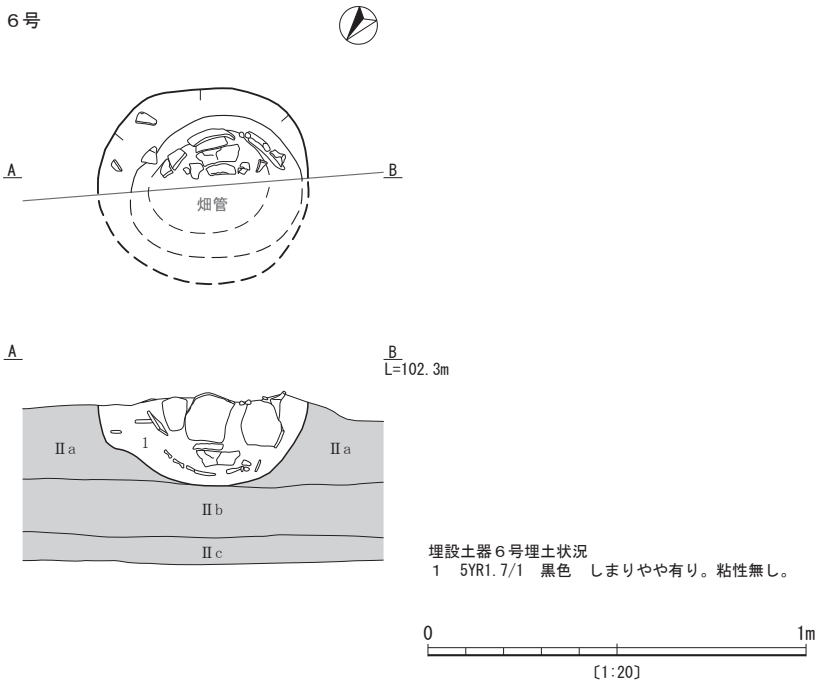
Ｃ－ 23 区，Ⅱａ層で検出された。口縁から胴部にかけては欠損しており，底部一個体分の出土であった。畑かんのパイプを敷設する際に欠損したものと考えられる。明瞭な掘り込みは検出されなかったが，周辺の遺物出土状況等から総合的に判断し，埋設土器と認定した。

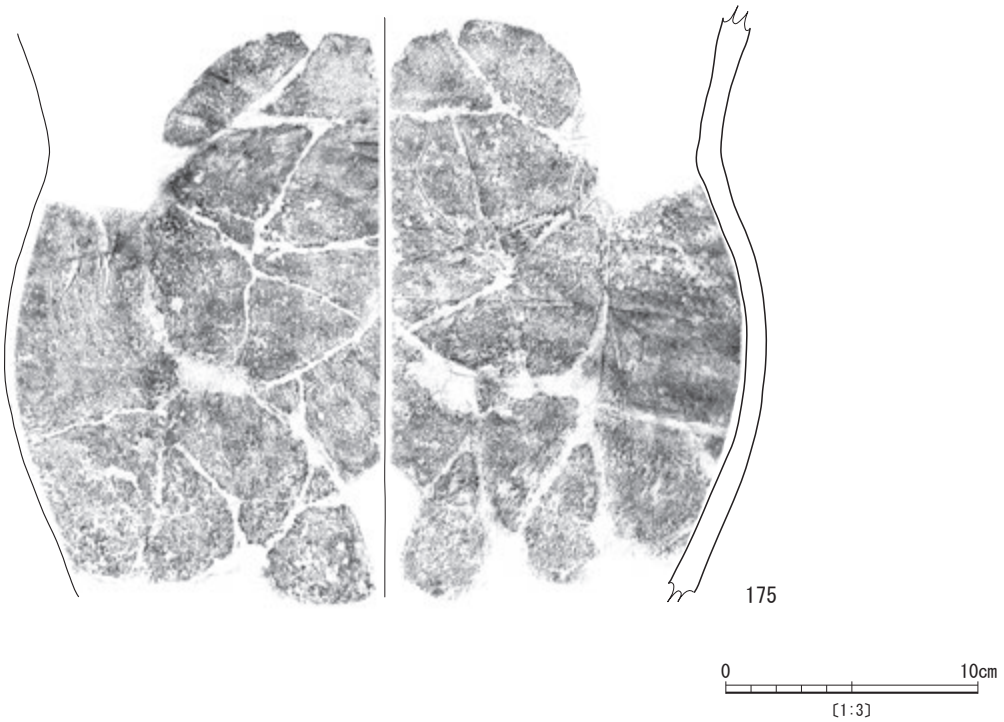
173 は深鉢の底部と考えられ，上げ底である。内・外面ともかなり摩滅しており，外面の一部にミガキ調整の痕跡がみられる。割れ口は自然に摩滅したというよりは意図的に均一になるように調整したようにもみえ，皿と





第 163 図　埋設土器５号





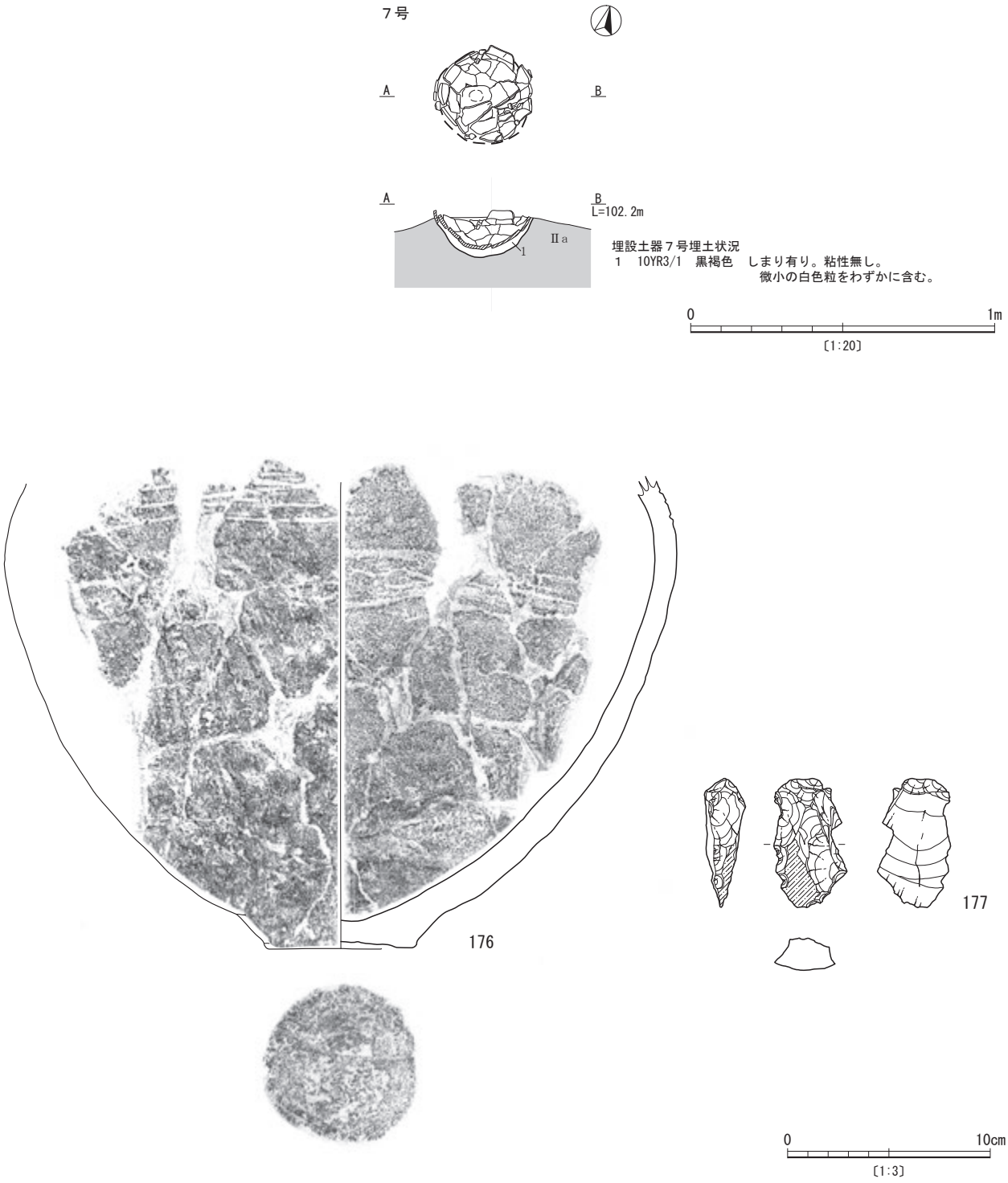
第 164 図　埋設土器６号

して再利用した可能性も考えられる。胎土の色調はにぶい赤褐色を呈する。

埋設土器５号（第 163 図）

C 地点，C － 24 区，Ⅱ a 層で検出された。遺構の北西側は攪乱によって破壊され，埋設された土器も欠損している。推定される平面形状は円形で，径は 46 ㎝，深さは 29 ㎝である。埋土はⅡ a 層に近似し，掘り方は土器の形状にほぼ重なる。

174 は頚部から口縁部の外反が緩く，内面に明確な稜をもたない。口縁端部に斜めに連続して刺突文を施している。沈線は伴わない。器面調整はやや粗いヘラミガキである。ススは口縁部周辺にの一部と胴部中位に広い範



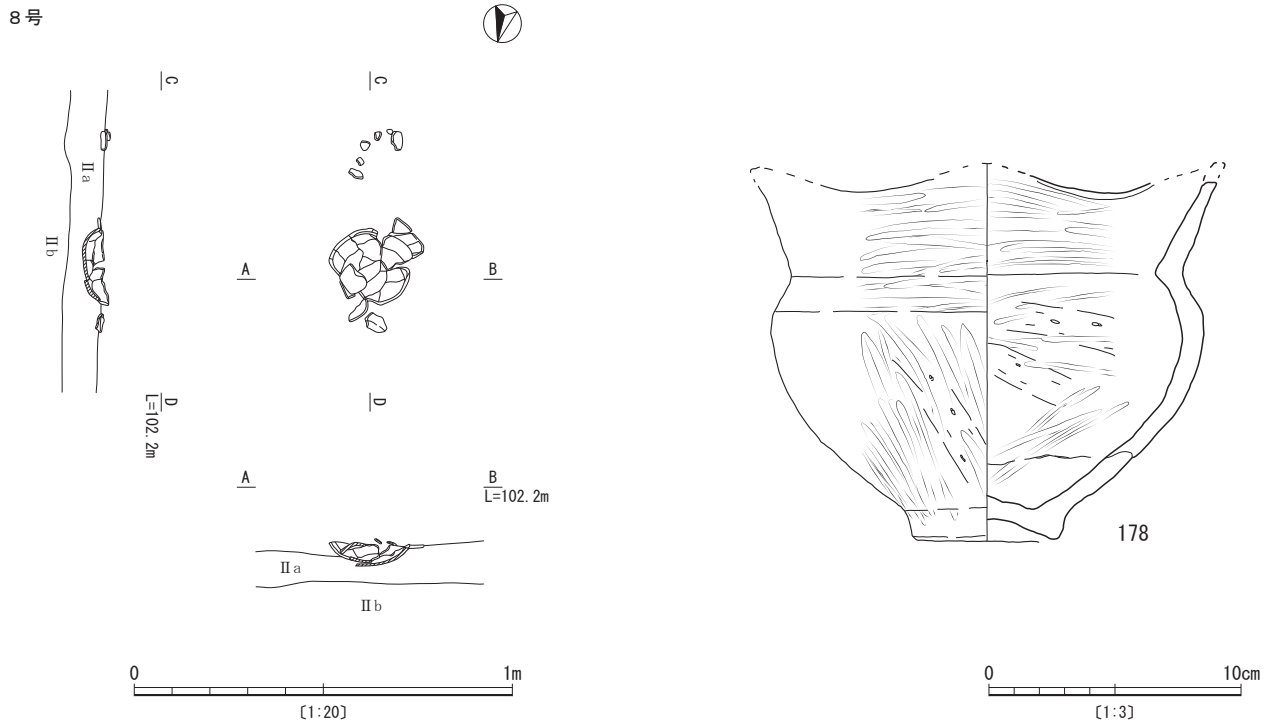
第 165 図　埋設土器７号

囲で付着している。底部は平底で厚みがある。第Ⅸ類土器と考えられる。

埋設土器６号（第 164 図）

Ｃ地点，Ｃ－ 23 区，Ⅱａ層で検出された。遺構の西側は畑かん設置によって破壊された状態だが，残存部から掘り方の平面形状は円形と推察される。出土範囲は径 55 ㎝で，深さは 33 ㎝である。土器は正位置を保っておらず，遺構上面に底部が確認された。口縁と底部を逆さまにして埋設した可能性も考えられる。埋土は黒褐色土で，Ⅱａ層に近似する。

175 は頚部から口縁部の外反が緩く，内面に明確な稜をもたない。器面調整はやや粗いヘラミガキである。胴



第 166 図　埋設土器８号

部の一部にススが付着している。口縁部は残ってはいないが，器形・調整等から無文土器の第Ⅹ -c 類と考えられる。

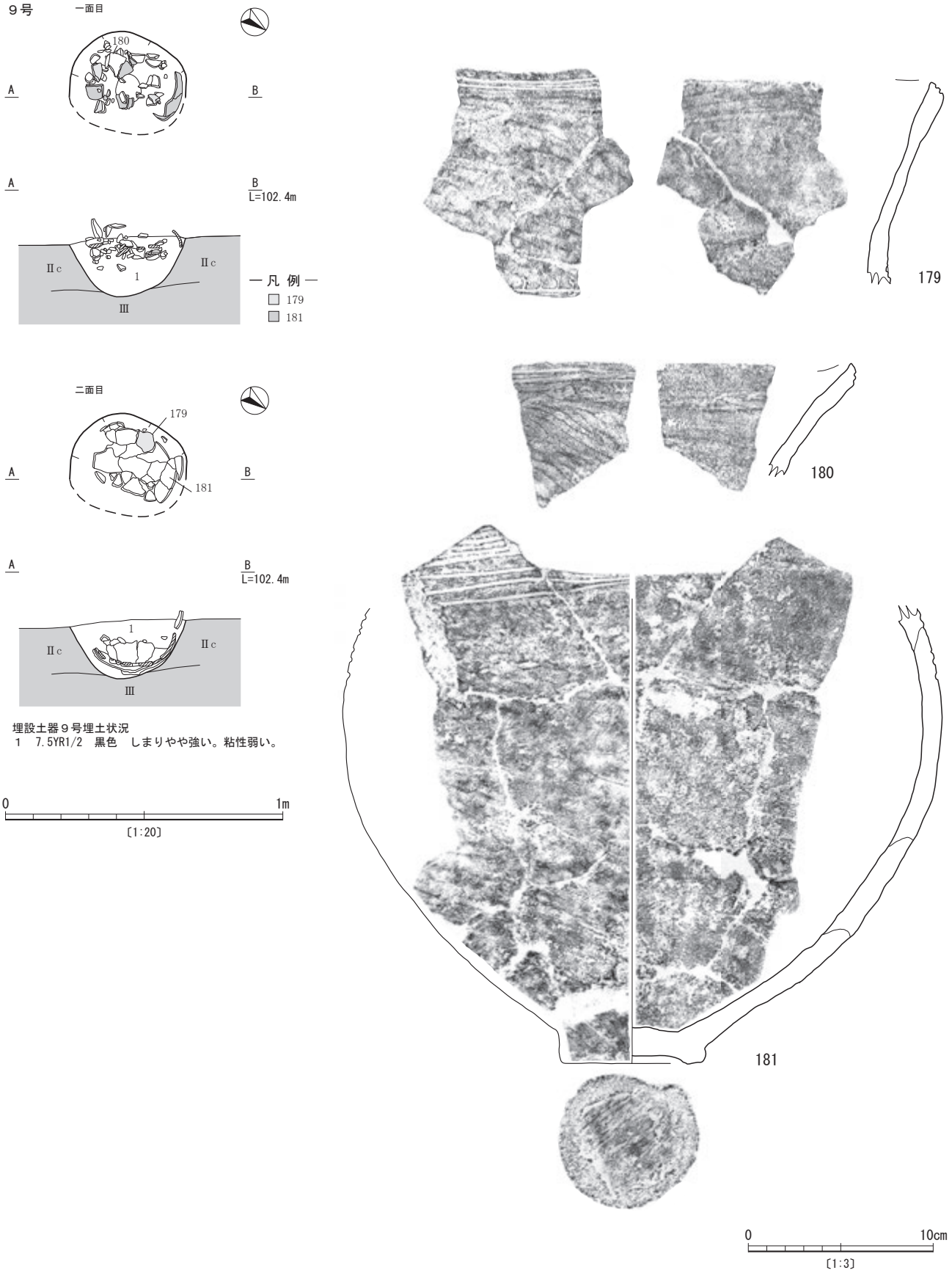
埋設土器７号（第 165 図）

Ｃ地点，Ｃ－ 23 区，Ⅱａ層で検出された。推定される平面形状は円形で，径は 34 ㎝である。土器はほぼ正位置に近い状態でと考えられる。平面精査によって掘り方を検出できなかったため，南側にサブトレンチを設定して断面観察を行った。結果，不明瞭ではあったが土器の形状に沿った掘り込みラインを確認できた。埋土は１層でⅡａ層と近似するが白色粒が微量に混じる状況であった。

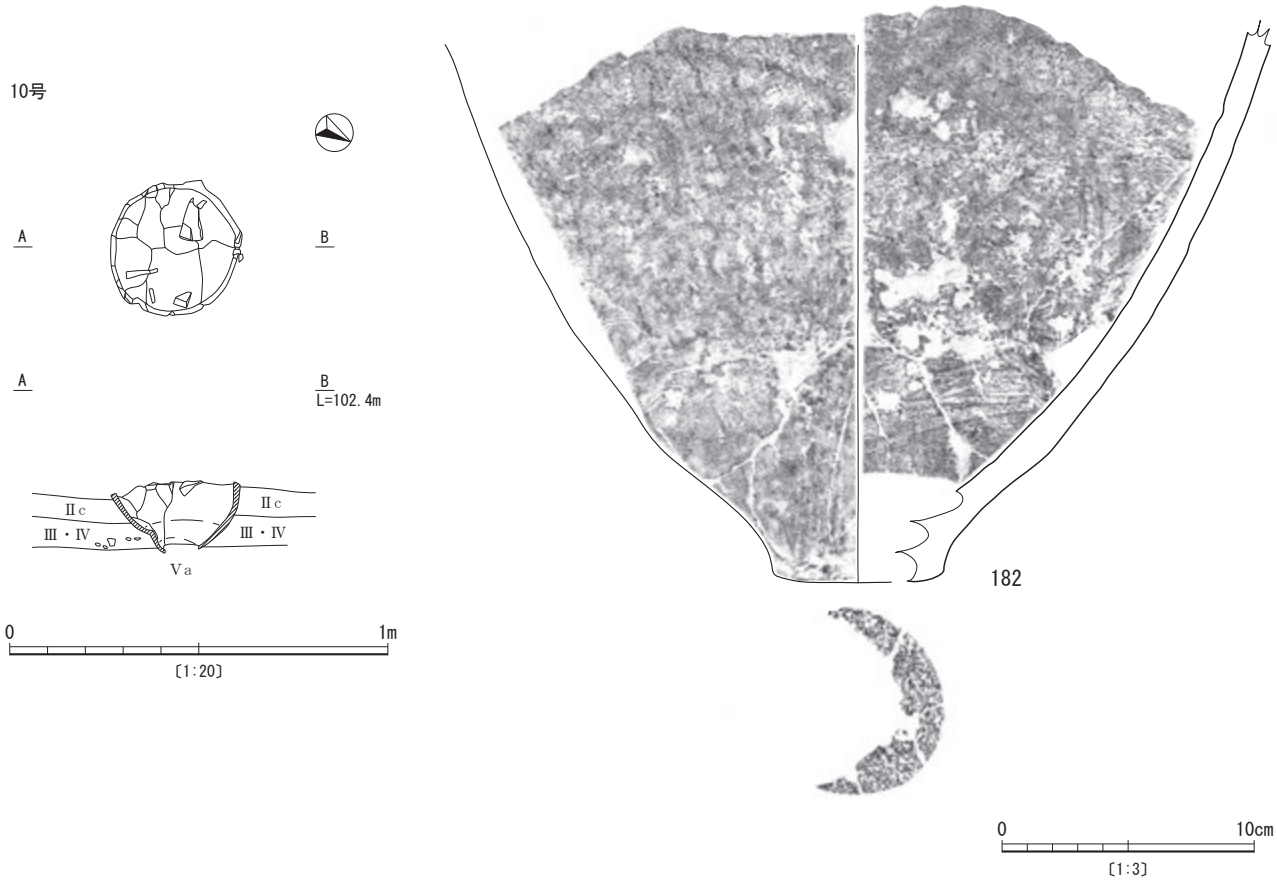
176 は胴部の中位に一部，薄く横位直線文の文様帯を確認できる。ヘラミガキによる調整は内外面とも少し粗く，底部内面に至っては作りや調整がかなり粗い。口縁部や頚部が残っていないため不明な部分も多いが，第Ⅷ類か第Ⅸ類土器と考えられる。177 は削器とみられる二次加工剥片である。節理による不整な縦長剥片を素材としており，一側縁に粗い片面調整を施し鋭利な刃部が作出されている。



写真８　埋設土器２・４・５号周辺



第 167 図　埋設土器９号



第 168 図　埋設土器 10 号

埋設土器８号（第 166 図）

Ｃ地点，Ｄ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。掘り込みは検出できなかったが，完形に近い残存度と正位置に近い状態と推察し，埋設土器と判断した。土器の出土範囲は長軸 55 ㎝，短軸 26 ㎝である。

178 は口縁端部が欠損している。口縁部から頚部が短く，明確な稜をもつ。内外面ともに丁寧にヘラミガキされ，肩部が強く張る。肩部の上位から頚部にかけてススを広範囲で確認できる。底部は指で中心を押し上げて上げ底を作ったと思われ，内面は少し盛り上がっている。口縁部内側からは明瞭な沈線を確認できず，強い外反はみられないが，無文土器の第Ⅹ -b 類と考えられる。

埋設土器９号（第 167 図）

Ｂ地点，Ｅ－ 25 区，Ⅱｃ層で検出された。推定される平面形状は円形で，径は 42 ㎝，深さは 20 ㎝である。現代の道路跡直下に位置していたため，その影響により遺構上部は削平された状態であった。遺構東側にサブトレンチを入れて断面観察を行った結果，土器の形状に沿った掘り込みラインを確認した。埋土はⅡａ層に近似する。

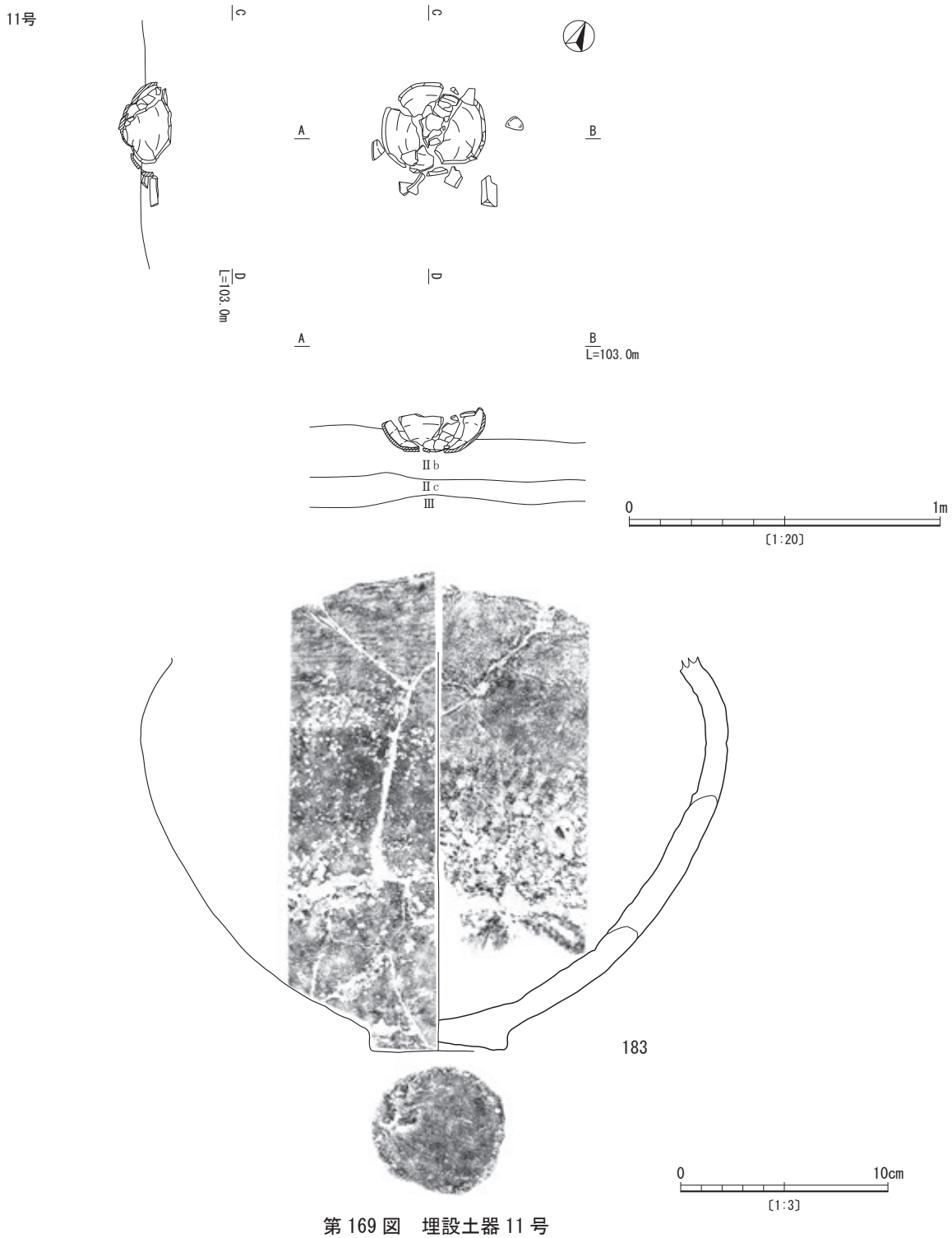
179 ～ 181 は同一個体と考えられる。181 は埋設土器７号同様，胴部中位に一部，薄く横位直線文の文様帯を確認できる。ヘラミガキによる調整は内外面とも少し粗く，底部内面に至っては作りや調整がかなり粗い。

179, 180 は口縁端部に狭い平坦面があり，２本沈線が施される。頚部から口縁部の外反が緩いと思われ，頚部には横位直線文の一部と刺突文がみられる。半円状の棒状工具で施文したと思われ，他の土器にはみられない刺突文である。180 の外面は斜め方向に丁寧にヘラミガキされている。第Ⅸ類土器と考えられる。

埋設土器 10 号（第 168 図）

Ｂ地点，Ｆ－ 27 区，Ⅱｃ層で検出された。ほぼ正位置を保っていると考えられる。平面精査及びサブトレンチの断面観察で掘り込みラインを調査したが，掘り込みは検出されなかった。

182 は胴部中位から直線的にすぼまり小さな底部へと至る器形である。内外面とも丁寧にヘラミガキされ，器壁も厚い。底部は平底であるが，意図的に打ち抜いて埋設したものと思われる。第Ⅻ -b 類土器と考えられる。

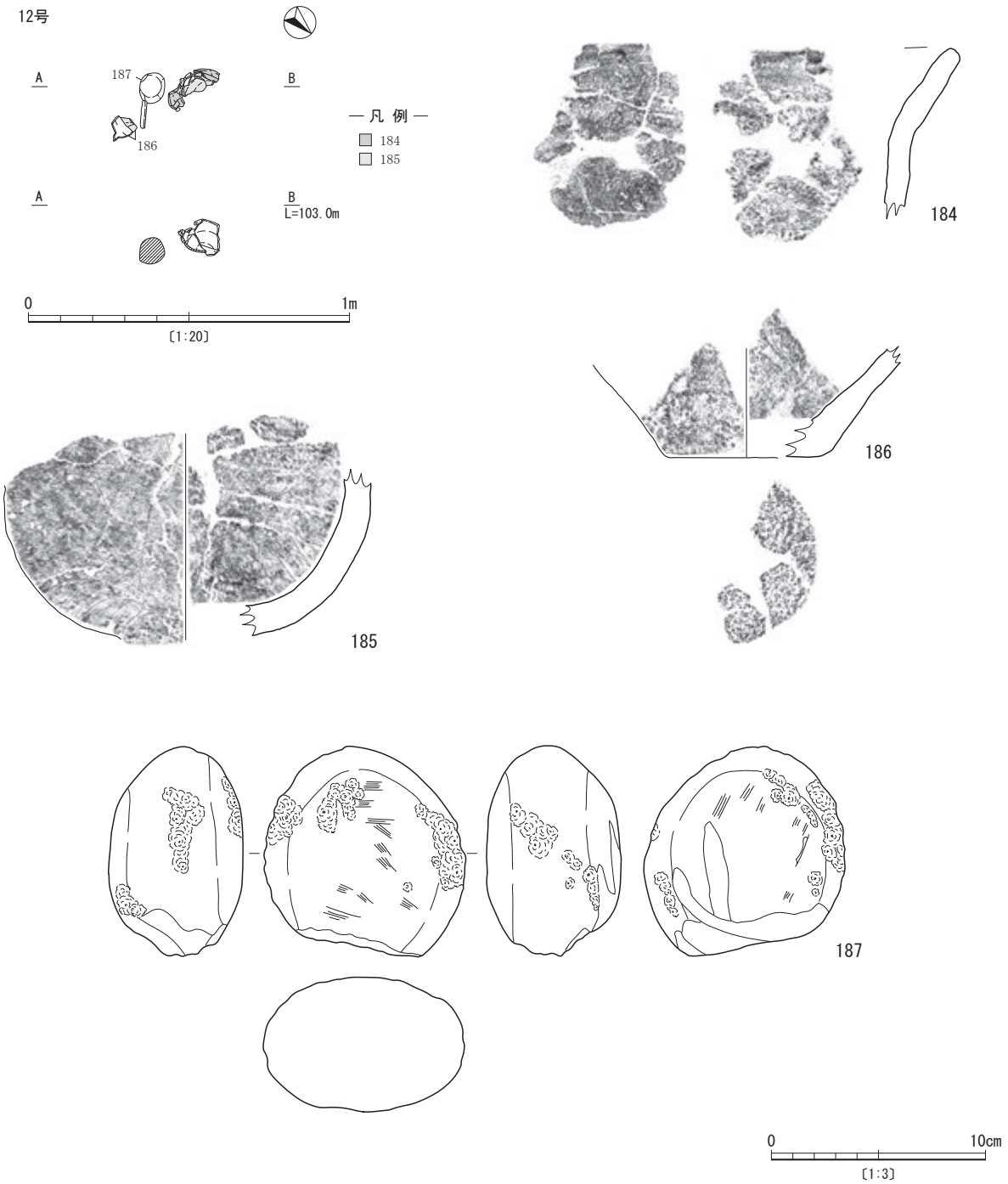


第 169 図　埋設土器 11 号

埋設土器 11 号（第 169 図）

Ｂ地点，Ｄ－ 30 区，Ⅱｂ層で検出された。正位置を保っていると考えられる。土器の口縁部から胴部上半は後世の削平によって欠損した状態であった。掘り込みは検出されなかった。

183 は底部から緩やかに上がり，胴部最大径で湾曲する。半精製半粗製の土器で，ススが胴部上位に付着し，器壁は厚い。上げ底の底部をもつ。底部付近が縦方向，胴部は横方向のミガキ調整を行っている。他の土器でよくみられる胴部上位に文様がみられず，西平式系の無文土器の器形とは異なり，有文土器である可能性が高い。年代測定では古い結果を示しており，古手の第Ⅵ類土器が考えられる。

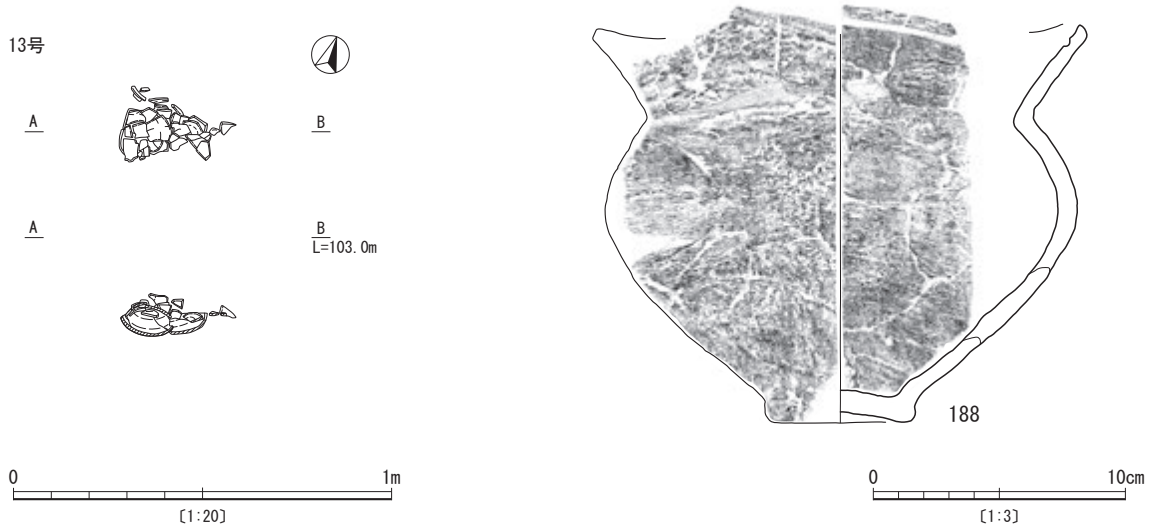


第 170 図　埋設土器 12 号

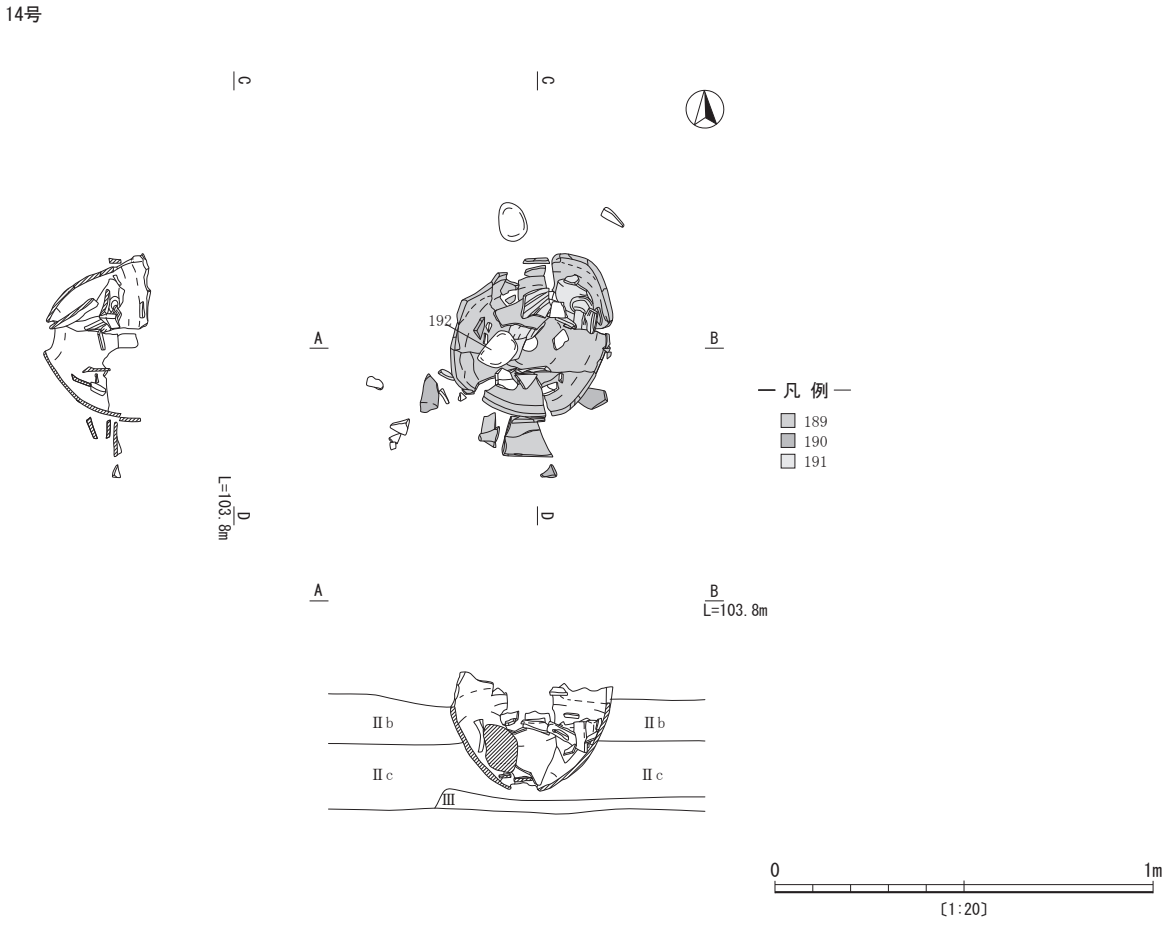
埋設土器 12 号（第 170 図）

Ｂ地点，Ｃ・Ｄ－ 31 区，Ⅱｃ層で検出された。後世の攪乱により土器の残存率は低かったが，口縁部の比較的大きな破片がみられたため埋設土器とした。掘り込みは検出できなかった。

184 は頚部から口縁部の外反は緩く，口縁端部は丸い。ミガキ様のナデ調整も一部にみられる。185 は胴部で，器壁は厚い。184, 185 は接合していないものの同一個体で，入佐式土器の浅鉢と考えられる。186 は西平式系無文粗製土器の平底の底部と考えられ，184，185 とは別個体ある。187 は円形で断面形が丸みを帯びた磨石である。表裏面に粗い擦り面がみられ，側縁に部分的な敲打痕が残る。一部を欠損する。



第 171 図　埋設土器 13 号

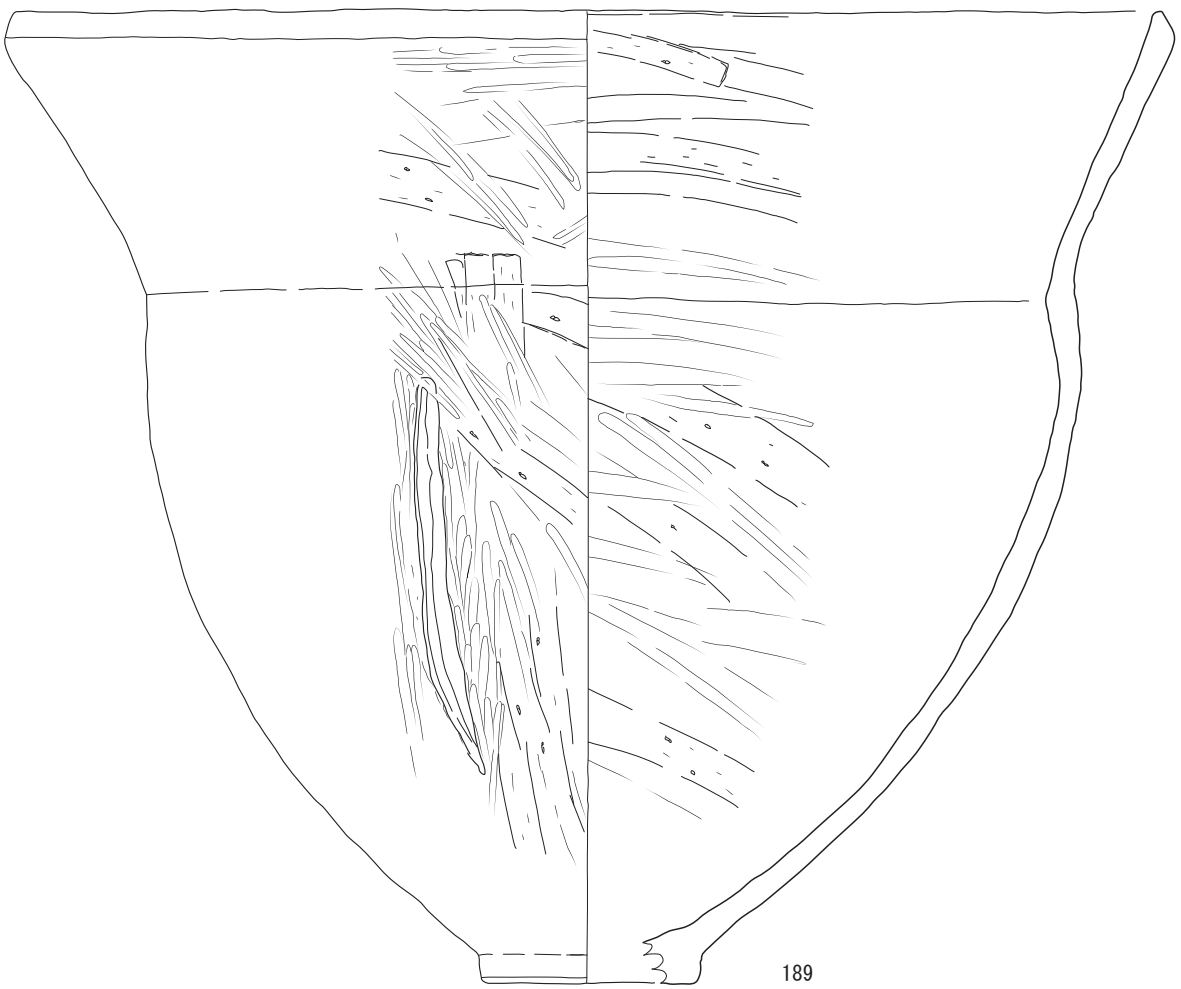


第 172 図　埋設土器 14 号（１）

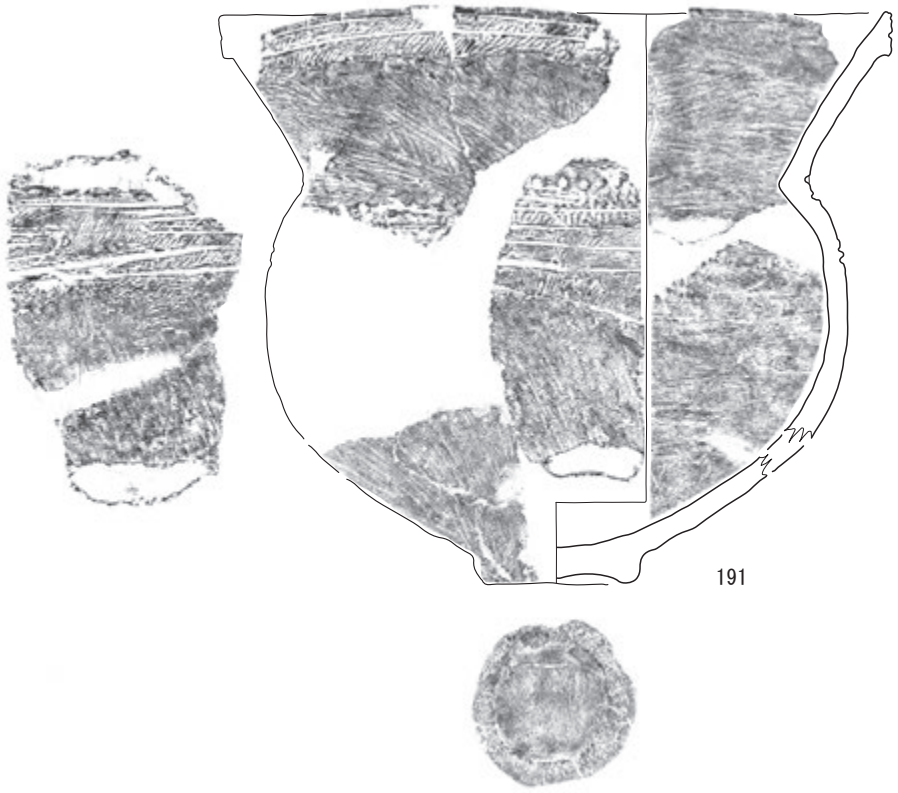
埋設土器 13 号（第 171 図）

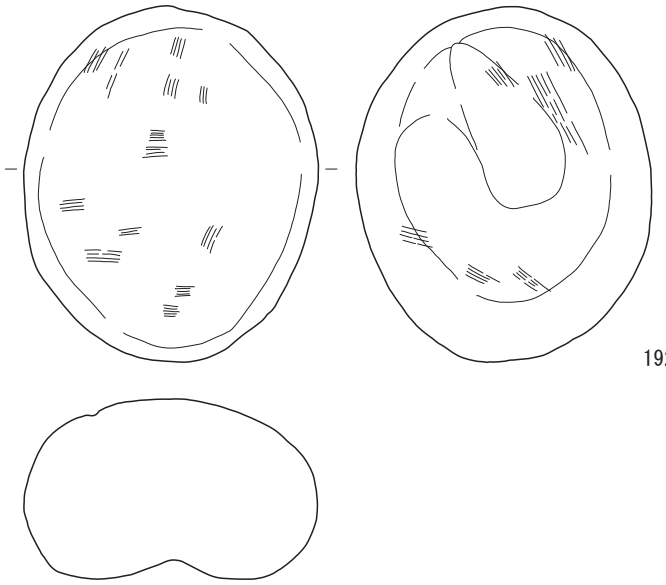
Ｂ地点，Ｃ－ 32 区，Ⅱｃ層で検出された。土器全体が西側に潰れた状態で出土した。状況から，もとは横倒し状態で，埋没する過程で土圧によって破損したと考えられる。掘り込みは検出されなかった。

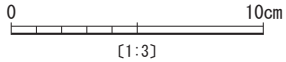
188 は口縁端部が丸く，口縁部内側に沈線が巡る。口縁部から頚部が短く，明確な稜をもち，強く外反する。全体，内外面ともに丁寧にヘラミガキされ，頚部は横方向にミガキ調整されている。肩部は強く張る。底部は上げ底である。無文土器の第Ｘ -b 類と考えられる。



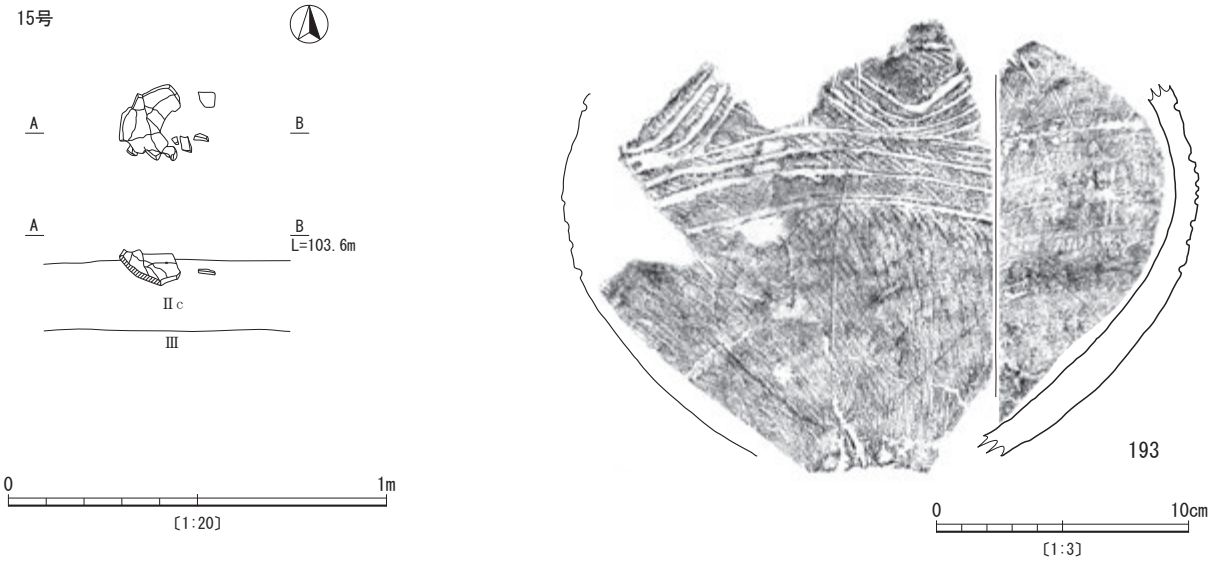
第 173 図　埋設土器 14 号（２）







第 174 図　埋設土器 14 号（３）



第 175 図　埋設土器 15 号

埋設土器 14 号（第 172 ～ 174 図）

Ｂ地点，Ｃ－ 33 区，Ⅱｂ層で検出された。189 が埋設土器の主体で，胴部から底部にかけてほぼ正位置を保った状態であった。掘り込みは検出されなかった。本遺構からは３個体の土器と１点の磨敲石が出土しているが，189 内から 190・191 が出土しているため一括性が高い。

189 は口縁端部が屈曲して立ち上がらずに，口縁端部に狭い平坦面がある。頚部からの外反が緩く，内面に明確な稜をもたない。器面調整はやや粗いヘラミガキである。胴部上位にススが付着している。第Ｘ -c 類土器と考えられるが，幅約 1.5 ㎝，長さ約 18 ㎝の突帯文を縦位に胴部中央に１カ所施してあり，特徴的である。190 は 189 同様の口縁部形状をもつが同一個体ではない。大型の深鉢と考えられ，頚部からの外反は 189 より緩い。器面調整は内外とも丁寧にヘラミガキされている。頚部は縦方向のミガキ調整である。第Ｘ -c 類土器と考えられる。191 は口縁部が外反し，頚部に明確な稜をなす。口縁部には２本沈線文と磨消縄文が施される。口縁部内部には凹みはみられない。内外面ともによくヘラミガキされており，口縁内部と口縁下は横方向，胴部文様帯の下は縦方向のヘラミガキをなす。頚部には連続刺突文を施すが，連続性に乏しい。また平行線の磨消縄文が胴部上位に施される。口縁形状や文様帯等，第Ⅵ類土器と第Ⅶ類土器２つの特徴をもっている。192 は裏面が歪に窪んだ楕円形の磨石で，主に表面に粗い擦り面がみられる。被熱赤化している。なお，189 付着の炭化物の年代測定を行ったところ，1626calBC-1518calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№ 14）

埋設土器 15 号（第 175 図）

Ｂ地点，Ｃ－ 33 区，Ⅱｃ層で検出された。胴部上半から口縁部にかけては後世の攪乱によって欠損した状態であった。底部も欠損した状態であったが，これは元々欠損した状態で埋設された可能性が高い。掘り込みは検出されなかった。

193 は胴部破片である。底部付近から緩やかに上がり，胴部最大径で湾曲する。胴部には磨消縄文が薄く施され，文様は三角形文と横位直線文を施す。半精製半粗製の土器で，縦方向のヘラミガキをなす。第Ⅵ類土器と考えられる。

ウ　小結

埋設土器 11・14・15 号は第Ⅵ類土器であり，14 号と 15 号は隣接して検出された。中でも 14 号は３個体分出土しており，第Ｘ -c 類と共伴して出土している。Ｂ地点では，第Ⅵ類土器と無文土器第Ｘ -c 類の出土状況は比較的重なる範囲が多く，第Ⅶ類土器の分布域とも重なる。

３号・８号・13 号は無文土器第Ｘ -b 類で環状に配置している。１号は無文土器第Ｘ -a 類であり，第Ｘ -a 類土器としてはこの１基のみである。土器が環状に密集する少し外側から検出されている。

２号・５号・９号は第Ⅸ類土器で７号も可能性が考えられる。埋設土器としては第Ⅸ類土器が最も多い。９号においては，唯一Ｂ地点とＣ地点の間（環状の内側）に位置する。

10 号は第Ⅻ類土器で，12 号は第ⅩⅢ類土器と考えられる。

第25表　埋設土器出土土器観察表

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
160	169	1	Ⅹa	深鉢	C21	口縁～底	横縦ミガキ	凹線・横ナデ・横工具ナデ・横ミガキ・指オサエ	◎	○	○		○			7.5YR4/4	褐	7.5YR4/3	褐	ススロ径：(16.5)底径：6.3器高：14.3	33942他
	170	1	不明	深鉢	C21	脚	横ナデ・指オサエ	横ナデ・指オサエ	○	○	○		△		小礫△	5YR6/6	橙	5YR6/8	橙	ススロ径：14.6	33946
161	171	2	Ⅸ	深鉢	C23	口縁～底	連続刺突文・沈線・横縦ナデ・横ミガキ	横ナデ	○	○	△		○	△	砂礫△	5YR6/6	橙	5YR6/4	にぶい橙	ス ス	31048他
162	172	3	Ⅹb	深鉢	C22	口縁～底	横縦ミガキ	凹線・横斜ナデ・指オサエ	△	○			◎		橙色砂粒△	7.5YR3/3	暗褐	7.5YR3/2	黒褐	波状口縁口径：(21.0)底径：6.1	30961他
	173	4	不明	深鉢	C23	底	摩滅（横ナデ）	摩滅（横ナデ）	○	○	△		○	△		5YR6/8	橙	5YR7/6	橙	底径：5.7	28960
163	174	5	Ⅸ	深鉢	C24	口縁～底	連続刻目・横縦ナデ・縦ミガキ	横縦ナデ・横ミガキ	○	△	△		△	△	砂礫△	5YR6/6	橙	7.5YR7/4	にぶい橙	ス ス	31047他
164	175	6	Ⅹc	深鉢	C23	頚～胴	横縦ナデ・横縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ	◎	○	△		○			7.5YR5/4	にぶい褐	7.5YR5/2	灰褐		28959他
165	176	7	Ⅷか Ⅸ	深鉢	C23	胴～底	沈線・横縦ナデ・縦ミガキ・指オサエ	横ナデ	○	○	△		○	○		2.5YR6/6	橙	5YR5/6	明赤褐	底径：7.5	30968-3他
166	178	8	Ⅹb	深鉢	D22	口縁～底	横縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ・指オサエ	○	○			◎			2.5YR4/3	にぶい赤褐	2.5YR3/1	暗赤灰	波状口縁口径：(18.0)底径：5.7器高：(14.1)	30962-1他
167	179	9	Ⅸ	深鉢	E25	口縁～頚	沈線・刻目・斜ナデ	横ナデ・横ミガキ	◎	○			○			5YR3/1	黒褐	5YR4/6	赤褐	口唇：沈線	SJ13-2他
	180	9	Ⅸ	深鉢	E25	口縁	粗い斜ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	○			△		小礫△	5YR3/1	黒褐	5YR3/4	暗赤褐	口唇：沈線	SJ13-12
	181	9	Ⅸ	深鉢	E25	胴～底	沈線・横斜ナデ・縦ミガキ	横ナデ・指オサエ	◎	○	△	△	○		褐色砂粒△	2.5YR5/6	明赤褐	2.5YR4/4	にぶい赤褐	底径：7.6	SJ13-4他
168	182	10	Ⅻb	深鉢	F27	胴～底	縦ナデ・縦ミガキ	縦工具ナデ	◎	◎	△		○	○		2.5YR6/8	橙	2.5YR4/2	灰赤	コゲ底径：6.8	SJ6-3他
169	183	11	Ⅵ	深鉢	D30	胴～底	縦ミガキ・指オサエ	横工具ナデ	○	○	○	△	○		小礫○	5YR4/6	赤褐	5YR4/4	にぶい赤褐	ス ス・コゲ底径：6.5	SJ1-1他
170	184	12	Ⅻ	深鉢	C・D31	口縁～頚	横ナデ・横ミガキ	剥落（横ミガキ）	△	○	△		◎			7.5YR3/2	黒褐	7.5YR4/2	灰褐	入佐	SJ4-19他
	185	12	Ⅻ	深鉢	C・D31	胴～底	横縦ミガキ・指オサエ	横縦工具ナデ	△	○	○		◎	△		2.5YR5/6	明赤褐	2.5YR3/1	暗赤灰	入佐	SJ5-1他
	186	12	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C・D31	底	横ナデ	横ナデ	○	○	○	◎	○	△		7.5YR5/6	明褐	10YR4/4	褐	底径：(7.7)	SJ5-9他
171	188	13	Ⅹb	深鉢	C32	口縁～底	横ナデ・横縦ミガキ	凹線・横ナデ・横ミガキ	○	△			○		砂礫△	5YR2/3	極暗赤褐	5YR2/3	極暗赤褐	口径：(19.4)底径：(8.8)器高：(15.6)	SJ4-1他
173	189	14	Ⅹc	深鉢	C33	口縁～底	横縦工具ナデ・縦ミガキ	縦ナデ・横斜工具ナデ	△	△		◎	○			5YR6/6	橙	5YR5/6	明赤褐	口径：(46.3)底径：(8.8)器高：(38.5)	SJ2-50他
	190	14	Ⅹc	深鉢	C33	口縁～胴	横縦斜ミガキ	横工具ナデ・横斜ミガキ	○	○	△		○			5YR2/2	黒褐	5YR4/3	にぶい赤褐	ス ス	SJ2-13他
174	191	14	Ⅵか Ⅶ	深鉢	C33	口縁～底	沈線・刺突・磨消縄文・縦斜ミガキ	横工具ナデ・横ミガキ	△	○			◎			5YR2/2	黒褐	5YR3/2	暗赤褐	口唇：縄文・沈線ス ス口径：(26.5)底径：5.8器高：22.2	SJ2-6他
175	193	15	Ⅵ	深鉢	C33	胴	沈線・磨消縄文・斜工具ナデ・縦ミガキ	縦工具ナデ・横ミガキ	○	○	△		◎	○	橙色砂粒△	5YR4/3	にぶい赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐	ス ス	SJ3-1他

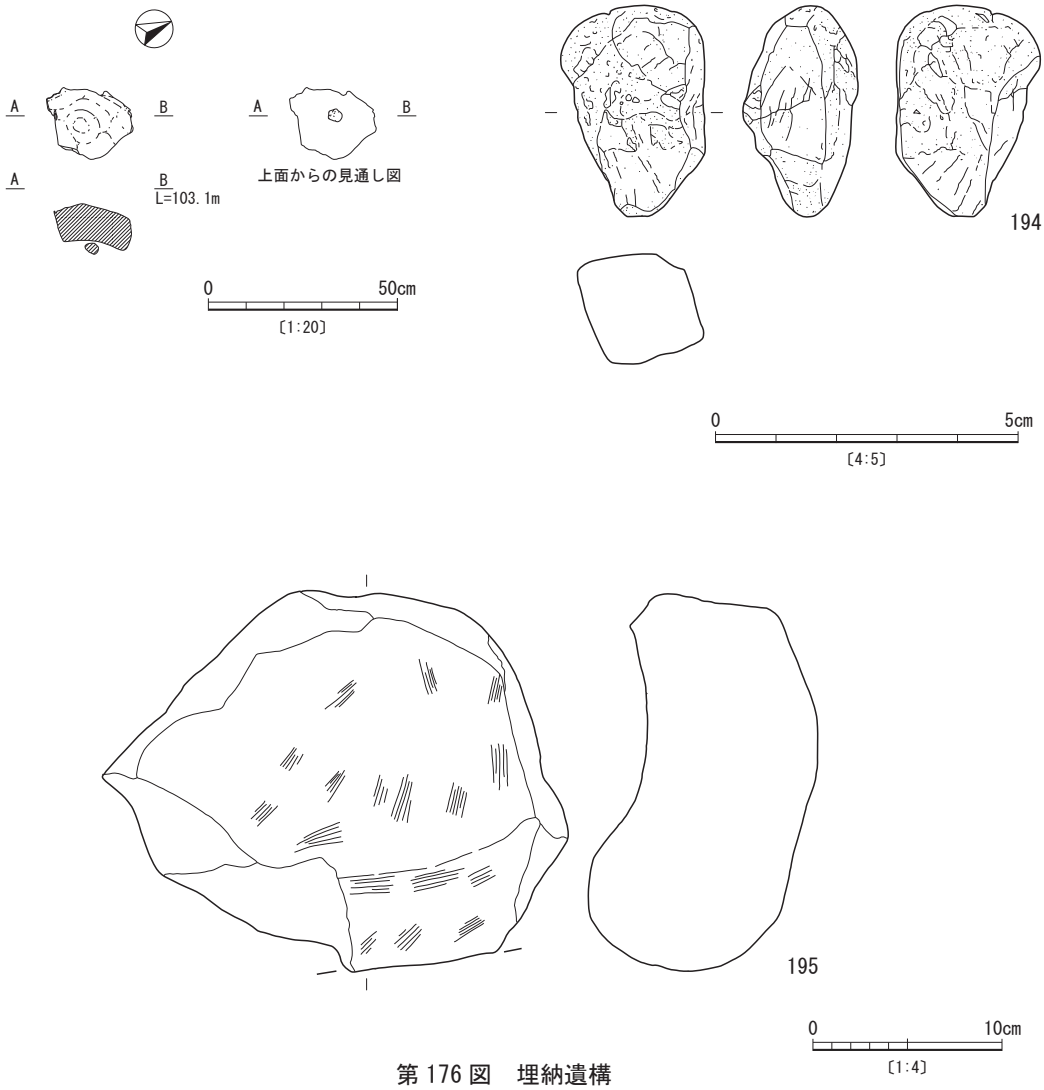
第26表　埋設土器出土石器観察表

()内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
165	177	7	C23	二次加工剥片	チャート	6.3	3.5	1.9	37.00		30967
170	187	12	C・D31	磨敲石	安山岩A	(9.60)	9.30	6.30	709.50		13
174	192	14	C33	磨石	安山岩A	13.90	11.60	7.20	1376.00		15

第27表　埋納遺構出土石器観察表

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
176	194	1	D28	Ⅱa	原石	石英	3.50	1.90	1.80	17.40		-
176	195	1	D28	Ⅱa	石皿	安山岩A	(20.25)	(24.65)	(11.90)	6100.00		2416



第 176 図　埋納遺構

（７）埋納遺構（第 176 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の埋納遺構はＢ地点，Ⅱａ層から検出された。当初，現場では玉髄埋納遺構として検出したが，玉髄ではなく石英であることが判明した。同グリッド及び遺構周辺からも石英は出土しているが，周辺の状況から意図的に石皿で石英を覆ったものと判断し，埋納遺構と認定し，名称も変更した。

遺構周辺の土器出土状況やレベル等総合的に判断し，縄文時代後期の埋納遺構として報告する。

イ　埋納遺構の状況

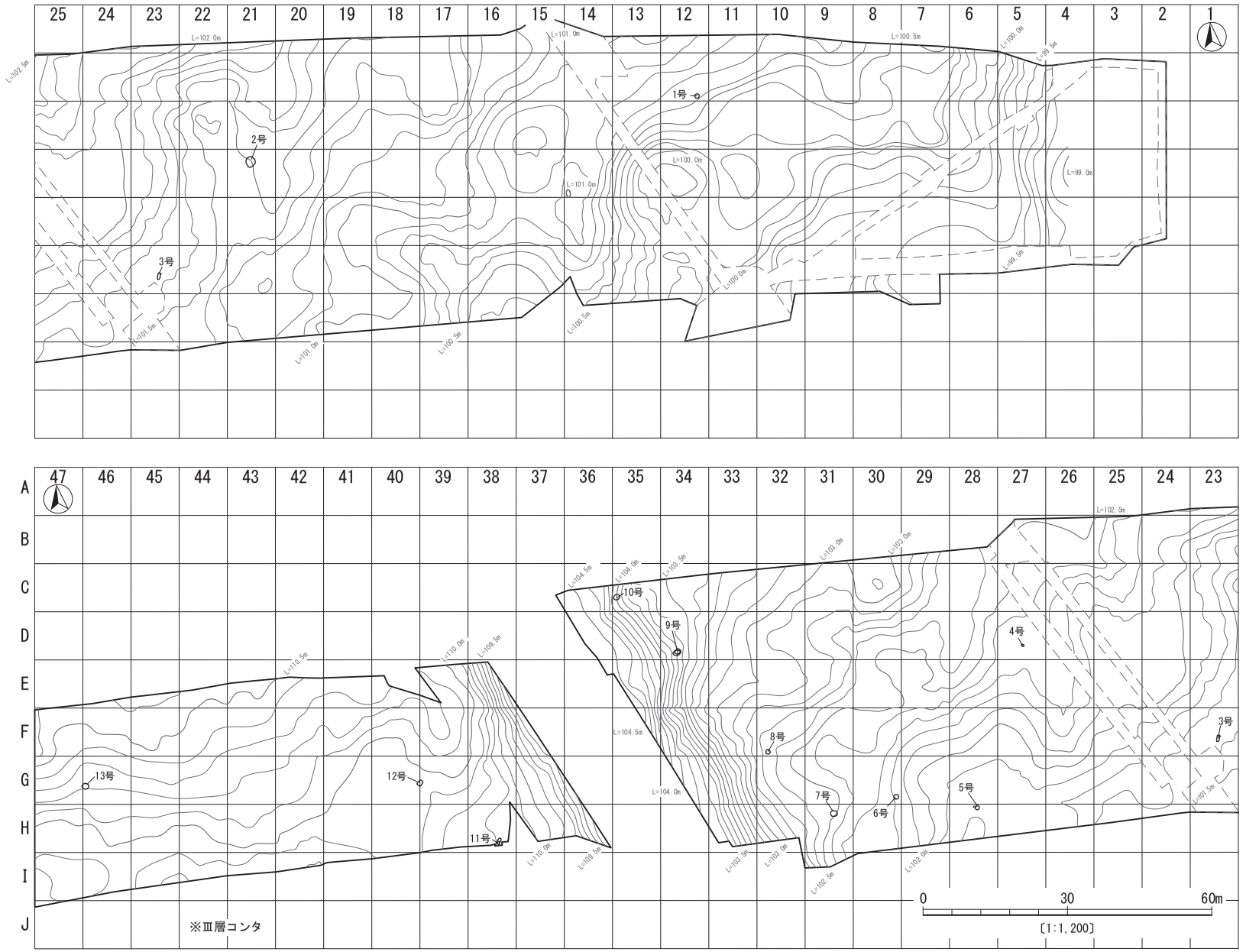
埋納遺構（第 176 図）

Ｄ－ 28 区，Ⅱａ層より検出された。径 25 ㎝の石皿欠損品の擦り窪んだ表面を下向きとして，直下より，石英の小礫１点が重なって出土している。よって，石英礫の真上に石皿片を伏せたかたちである。特に掘り込みは認められておらず，石英礫１点のみであるが埋納遺構として捉えられる。

194 はやや丸みを帯びた径 3.5 ㎝の石英礫である。若干赤みががかり，特に整形加工などはみられない。195 は石皿の欠損品で，右側縁にわずかに石皿縁辺を留めている。表面のみを使用面として深く擦り窪んだ一面がみられる。被熱している。

ウ　小結

石英はこの他にほぼ同じレベルで 10 ｍ圏内から３点出土している。同じグリッドから石英が１点出土している。石英を石皿で隠して埋納したものと判断したが，出土した石英に特別な特徴がなく，不明な点が多い。Ｄ－ 28 区周辺からは土器の出土は少ないが，周辺の土器出土状況とレベルから判断すると第Ⅵ類～第Ⅹ類の型式不明土器の頃と重なる。



第177図　落とし穴配置図

（８）落とし穴（第 177 図～第 197 図）

ア　検出状況

落とし穴はＡ地点３基，Ｂ地点７基，Ｃ地点２基，Ｄ地点１基の合計 13 基検出された。

落とし穴の検出層はⅢ層 11 基，Ⅴａ層２基である。検出された落とし穴 13 基は，すべて縄文時代後期～晩期該当として報告する。

イ　各落とし穴の状況

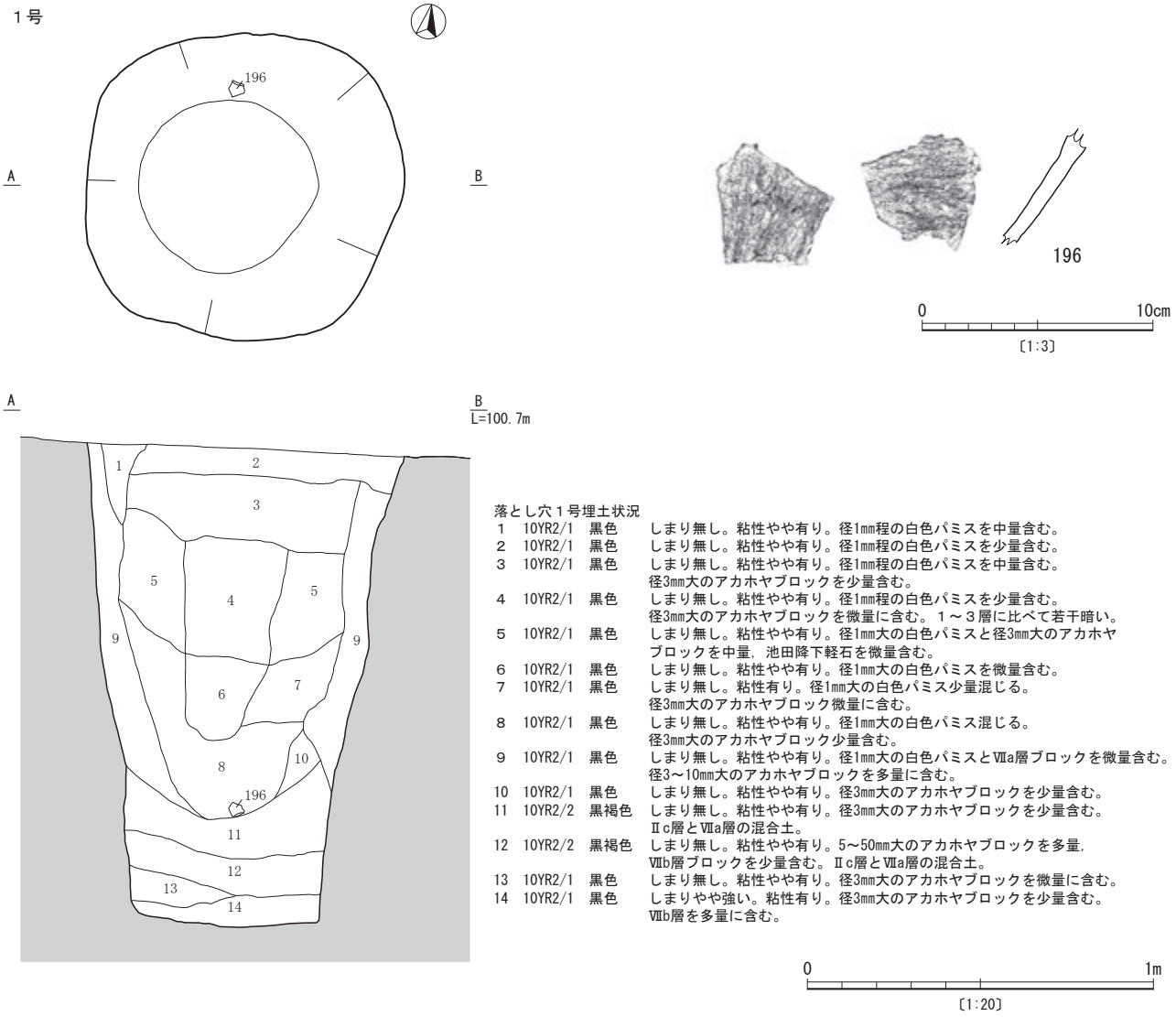
落とし穴１号（第 178 図）

Ｄ地点，Ｂ－ 12 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 92 ㎝，短径 88 ㎝で，深さは 138 ㎝である。埋土は 14 層で，11 層から下層は水平堆積の様相をみせる一方，上層はレンズ状堆積と中央部がピット状に窪む状況が観察されたため，人為的な掘り返し行為が想定される。やや特異な埋没状況である。周辺に本遺構以外の落とし穴は検出されなかった。底面に付属施設は確認できなかった。土器が１点出土している。

196 は西平式系土器の胴部片である。内面の調整は横方向，外面は縦方向にヘラミガキされている。深鉢の胴部片と考えられる。

落とし穴２号（第 179 図）旧 SO12

Ｃ地点，Ｄ－ 21 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 223 ㎝，短径 194 ㎝で，深さは 166 ㎝である。地層横転箇所に遺構が築かれたため，地層が軟弱だった箇所から遺構の掘り方が大きく崩れて上部が大きく広がったと考えられる。埋土は２層である。１層は土器の出土状態が斜位と捉えることができなかったため細分されると思われるが，土質に明瞭な変化が観察できなかったので大きく分けた。底面に付属施設は確認できなかった。１層中位から 20 点程の土器片が出土しており，その大半は接合して 197・198 となった。その他に，打製石斧１点，磨敲石類２点，石皿２点が出土している。土器２点を図化した。

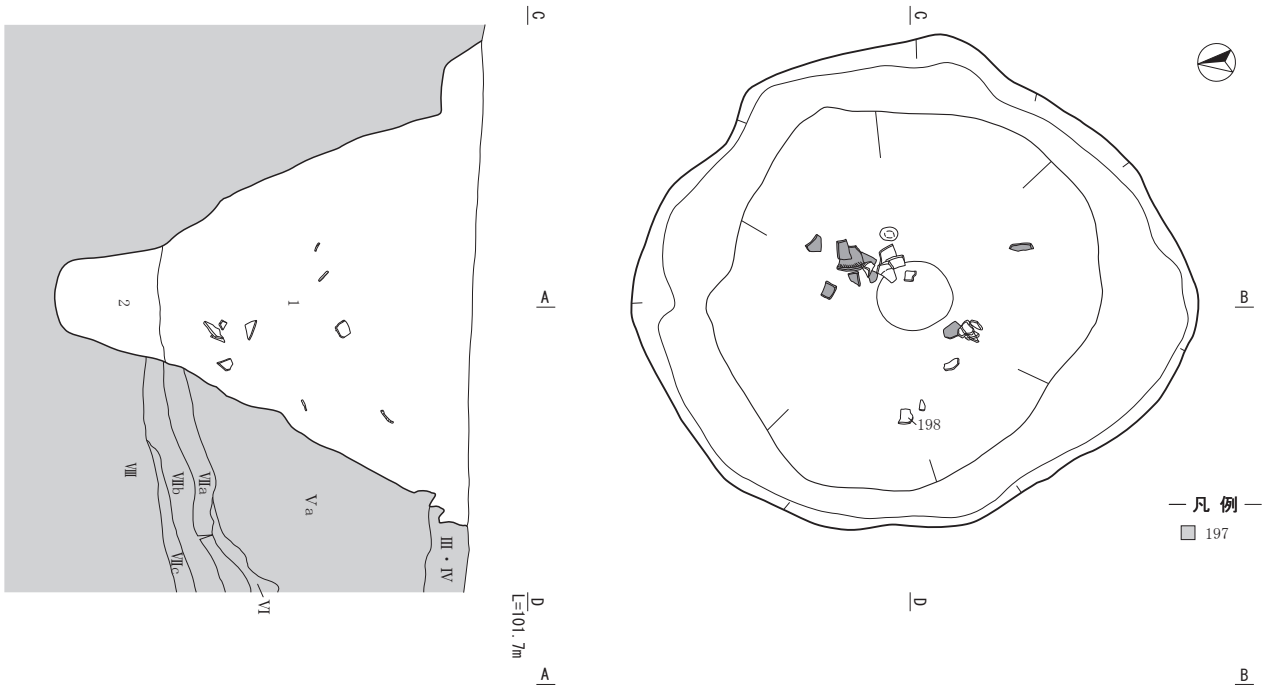


落とし穴１号埋土状況

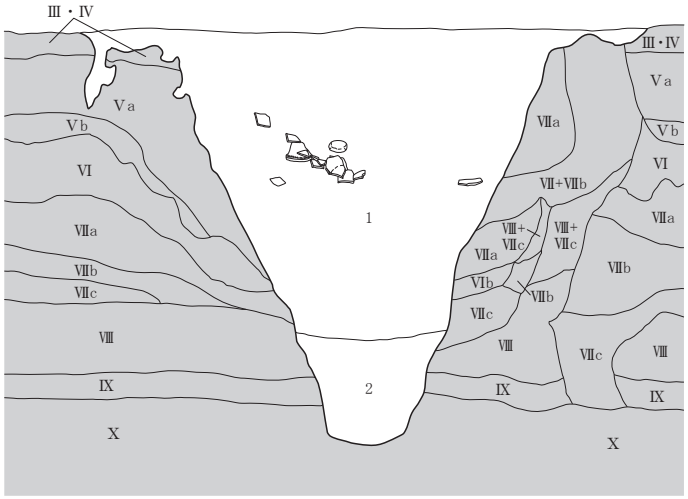
1	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜程の白色パミスを中量含む。
2	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜程の白色パミスを少量含む。
3	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜程の白色パミスを中量含む。径3㎜大のアカホヤブロックを少量含む。
4	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜程の白色パミスを少量含む。径3㎜大のアカホヤブロックを微量に含む。１～３層に比べて若干暗い。
5	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜大の白色パミスと径3㎜大のアカホヤブロックを中量，池田降下軽石を微量含む。
6	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜大の白色パミスを微量含む。
7	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性有り。径1㎜大の白色パミス少量混じる。径3㎜大のアカホヤブロック微量に含む。
8	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜大の白色パミス混じる。径3㎜大のアカホヤブロック少量含む。
9	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径1㎜大の白色パミスとⅦa層ブロックを微量含む。径3～10㎜大のアカホヤブロックを多量に含む。
10	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径3㎜大のアカホヤブロックを少量含む。
11	10YR2/2	黒褐色	しまり無し。粘性やや有り。径3㎜大のアカホヤブロックを少量含む。Ⅱc層とⅦa層の混合土。
12	10YR2/2	黒褐色	しまり無し。粘性やや有り。5～50㎜大のアカホヤブロックを多量，Ⅶb層ブロックを少量含む。Ⅱc層とⅦa層の混合土。
13	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性やや有り。径3㎜大のアカホヤブロックを微量に含む。
14	10YR2/1	黒色	しまりやや強い。粘性有り。径3㎜大のアカホヤブロックを少量含む。Ⅶb層を多量に含む。

第 178 図　落とし穴１号

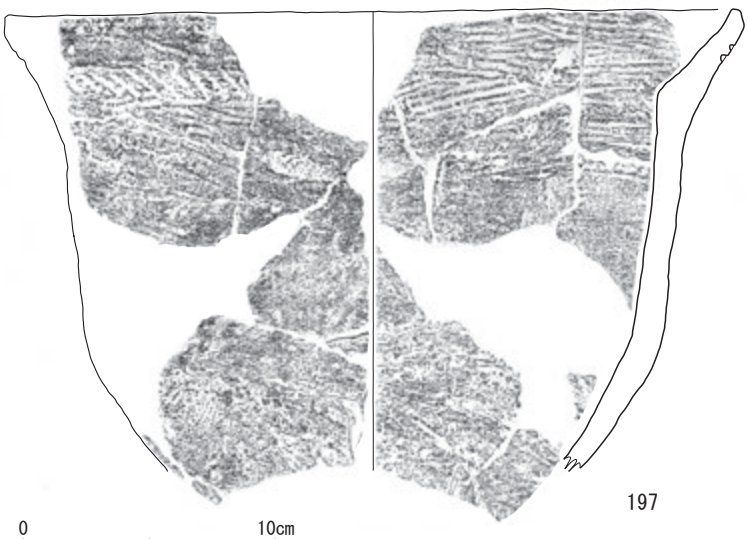
２号

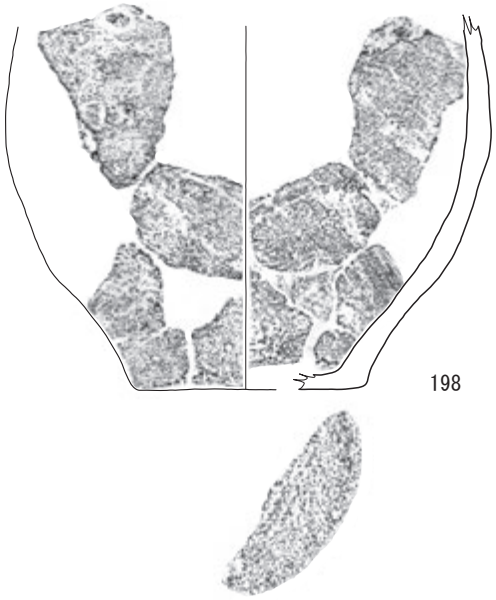


落とし穴２号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
　　径1～5㎜大の橙色土粒を全体的に少量含む。
2　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。
　　１層にⅧ層土が多く混じる。



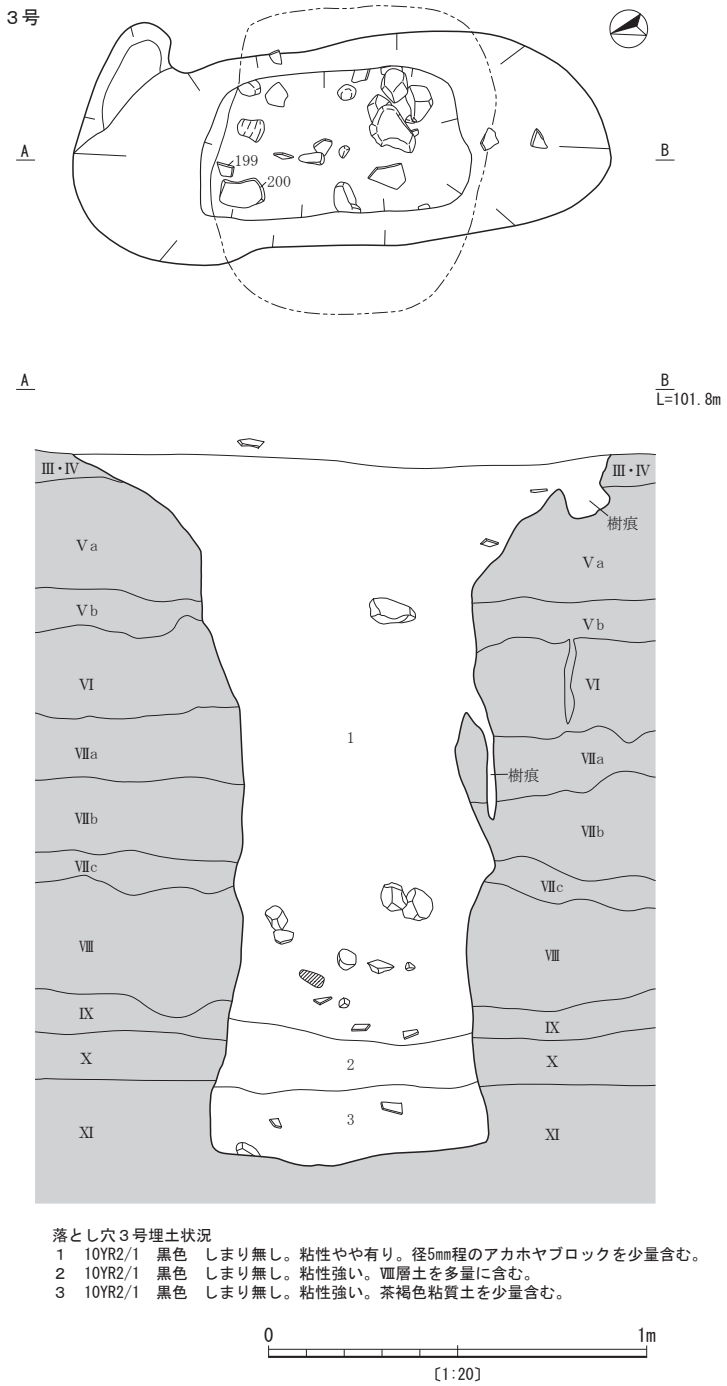
0　1m
〔1:30〕





0　10cm
〔1:3〕

第 179 図　落とし穴２号



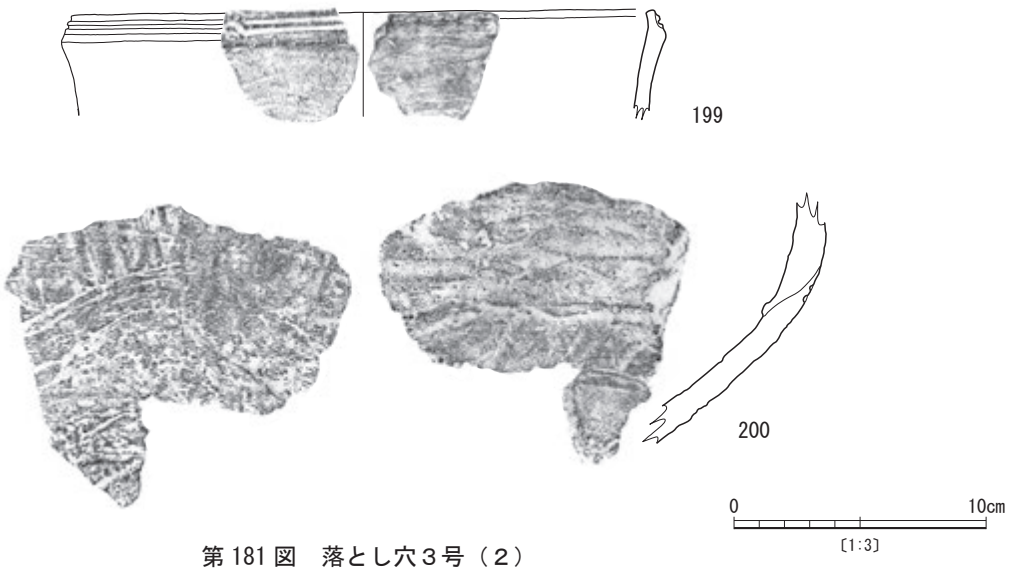
第 180 図　落とし穴３号（１）

197 は平口縁で，口縁部は肥厚せず，外反する。口縁部の外側に貝殻腹縁の連続刺突を斜位に一段施す。頸部は緩やかにしまる。内外面とも貝殻条痕の調整が残されており，外面はナデ消されている。胎土は金雲母を多量に含む。198 は平底の底部をもち，胴部へと緩やかに膨らむ器形である。胎土は 197 同様，金雲母を多く含む。197・198 は接合しなかったが，胎土，焼成等が類似することから同一個体で第Ⅳ類土器と考えられる。

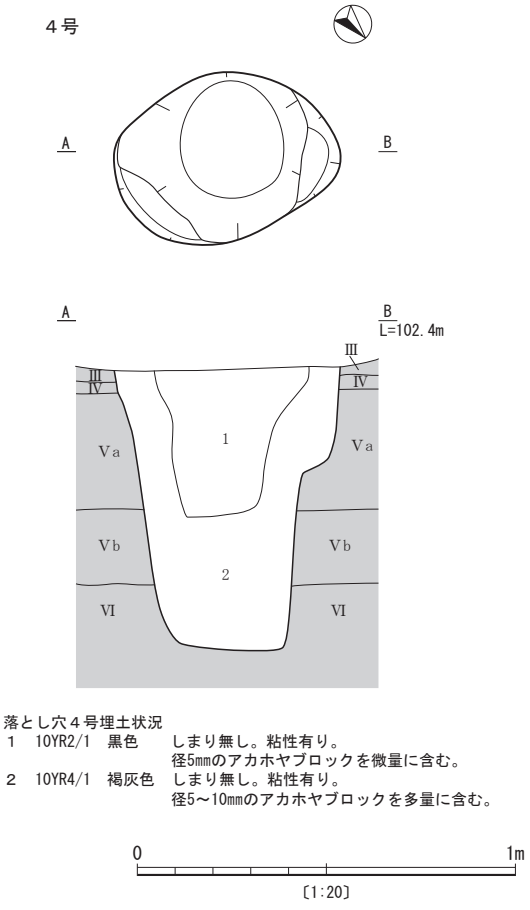
落とし穴３号（第 180・181 図）

Ｃ地点，Ｆ－23 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 142 ㎝，短径 56 ㎝で，深さは 186 ㎝である。遺構底部は隅丸方形となり，開口部より大きい造りとなる。底面に付属施設は確認できなかった。埋土は３層で，しまりの無い黒色土が主体である。また，１層が厚く，遺物は１層の下部からまとまって出土しており，その内訳は，土器片約 15 点，打製石斧１点，磨敲石類２点，石皿２点である。土器２点を図化した。なお，図化した土器片以外は第Ⅳ類・第Ⅴ類土器と型式不明の小片であった。

199 は口縁部に２条沈線を施し，文様帯は狭く平口縁



第 181 図　落とし穴３号（２）



第 182 図　落とし穴４号

である。ハート形の凹点が入る。口縁部屈曲部に凹みが巡る。磨消縄文は施されていない。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。第Ⅶ類土器と考えられる。200 は粗製の厚手の胴部である。外面調整は横方向に粗くヘラミガキが行われ，一部に工具痕が残る。内面は横方向にヘラミガキされているものの，作りもかなり粗い。胎土に多量の金雲母を含む。第Ⅴ類土器の可能性も考えられる。

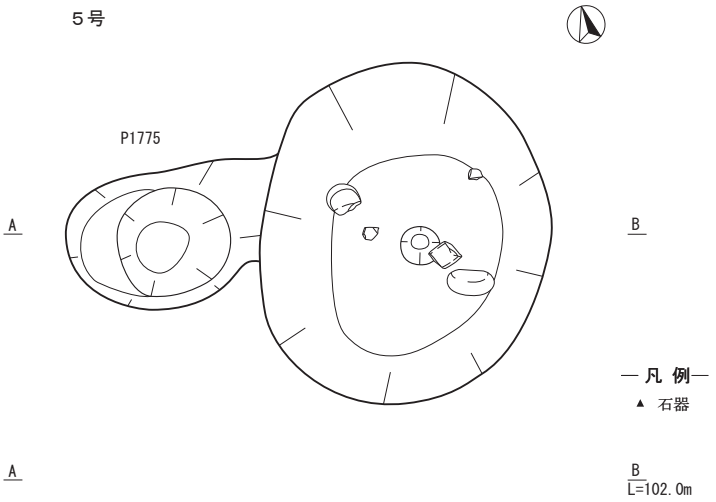
落とし穴４号（第 182 図）

Ｂ地点，Ｄ－ 27 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 59 ㎝，短径 45 ㎝で，深さは 75 ㎝である。埋土は２層で，下層にアカホヤブロックが顕著に観察された。その他の落とし穴遺構に比べて小さく，浅い。出土位置は不明だが第Ⅳ類・第Ⅴ類土器が出土している。

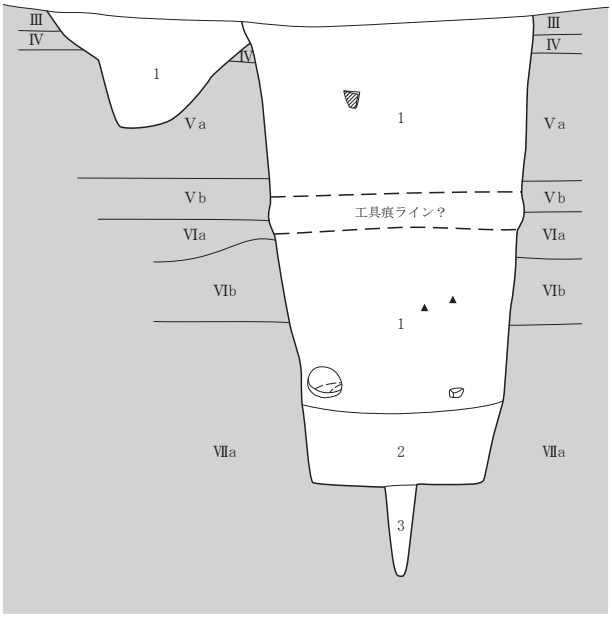
落とし穴５号（第 183 図）

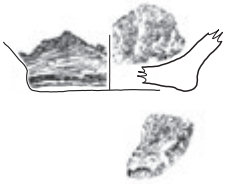
Ｂ地点，Ｈ－ 28 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 91 ㎝，短径 76 ㎝で，深さは 123 ㎝である。埋土は２層で，主に１層目下位に遺物が包含されるが，数は少ない。検出面から 40 ㎝下の遺構壁面は外側にやや掘り窪む箇所が確認された。帯状に残る工具痕の可能性がある。また，遺構底面には直径 10 ㎝，深さ 21㎝程の小穴が検出された。杭痕と考えられる。土器２点を図化した。

201 は外反する口縁部で，肥厚しない。内外面とも貝殻条痕が施されている。外面の貝殻条痕はナデ消され，沈線が２条施されている。胎土は金雲母を多く含み，第Ⅴ -a 類と考えられる。202 は上げ底の底部である。外面は横方向に丁寧にヘラミガキされている。西平式系土器の底部と考えられる。その他，磨石が１点出土している。

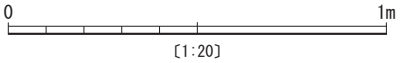


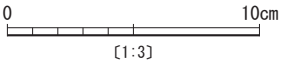






落とし穴５号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　　しまり無し。粘性無し。径5mmのアカホヤブロックを微量含む。
2　10YR5/3　にぶい黄褐色　しまり無し。粘性有り。径5～10mmの黄橙色パミスを少量含む。
3　10YR3/3　暗褐色　　しまり無し。粘性無し。径5mmの白色パミスを微量に含む。
P1775埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　　しまり無し。粘性無し。



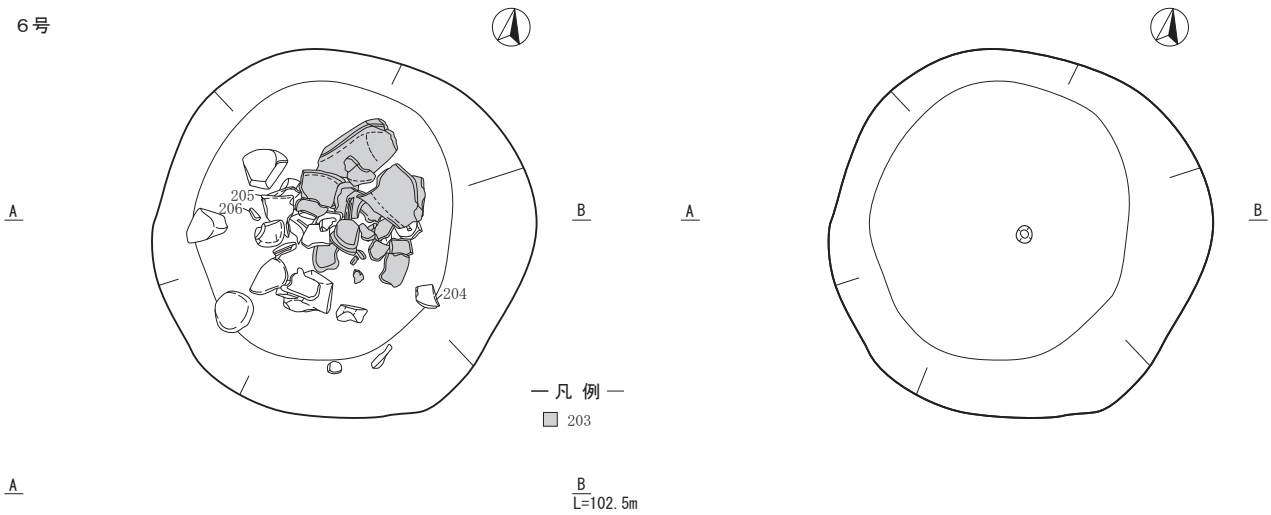


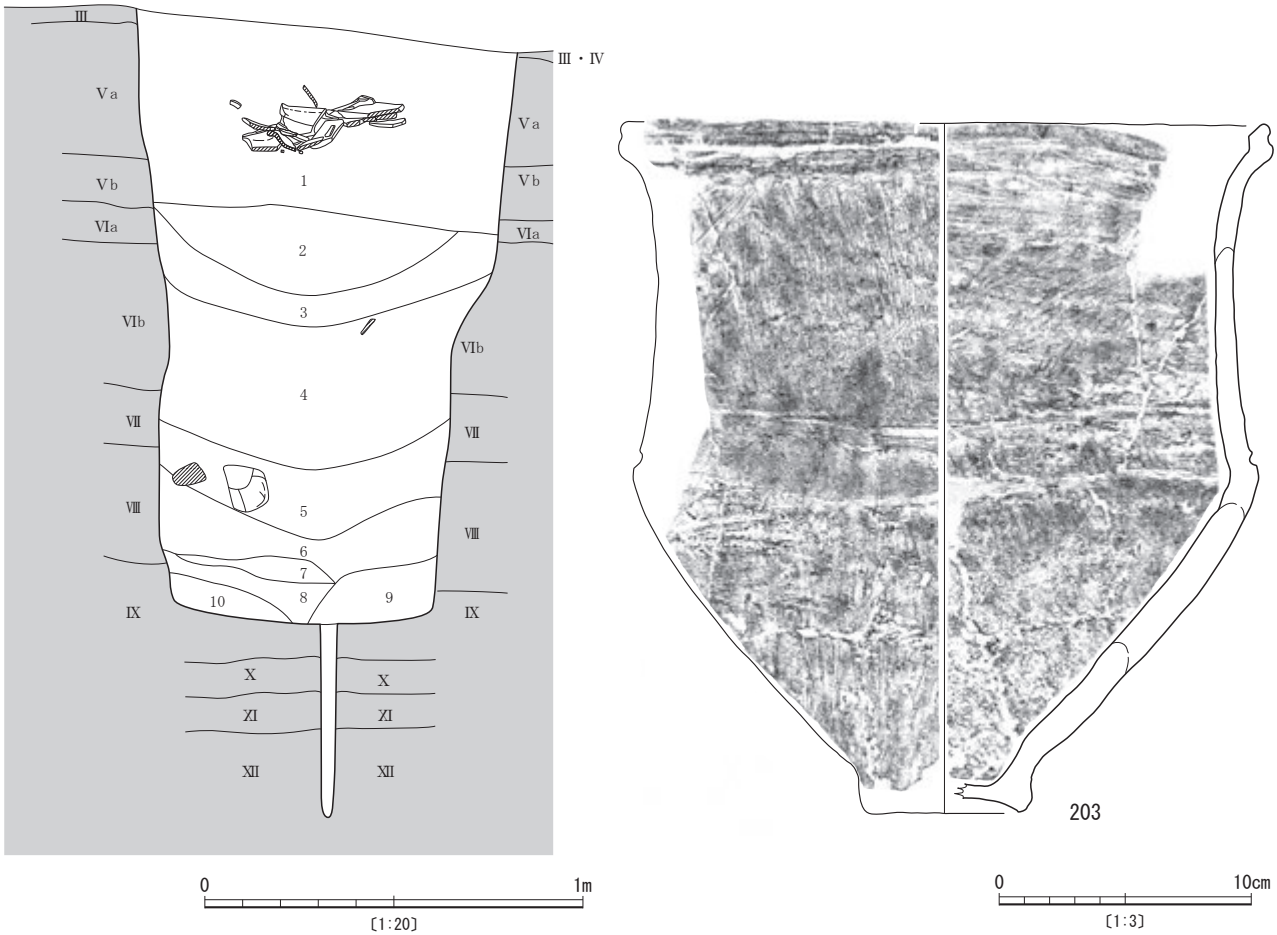
第 183 図　落とし穴５号

落とし穴６号（第 184・185 図）

Ｂ地点，Ｇ－ 30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 101 ㎝，短径 97 ㎝で，深さは 157 ㎝である。遺構底面中央部には直径５㎝程の小穴が検出された。深さ 50 ㎝程あることから杭痕と考えられる。埋土は 10 層で，しまりの無い黒色土が主体であり，１層目と遺構下位に遺物の集中箇所が確認された。１層中位では，203 が横位に潰れた状態で，遺構下層の５～ 10 層にかけては石器，礫が出土している。石器の内訳は，剥片１点，打製石斧１点，磨石２点，石皿１点で，その他に 10 ～ 20cm 大の礫６点が出土している。土器５点を図化した。

203 は肥厚した口縁部が外反し１条の凹線が巡る。胴部に段を作って，丸い肩から直線的に窄まり小さな底部に至る。胴部に沈線文を１条施す。内外面は丁寧にヘラミガキされ，外面は縦方向，内面は横方向の調整がみられる。第Ⅻ -b 類土器と考えられる。204 は外反する口

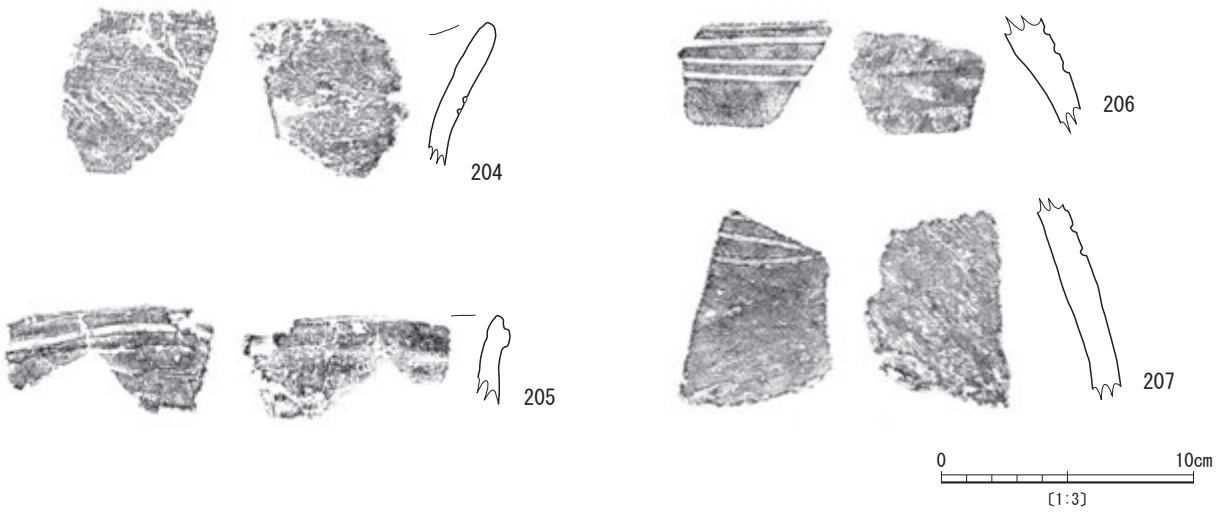




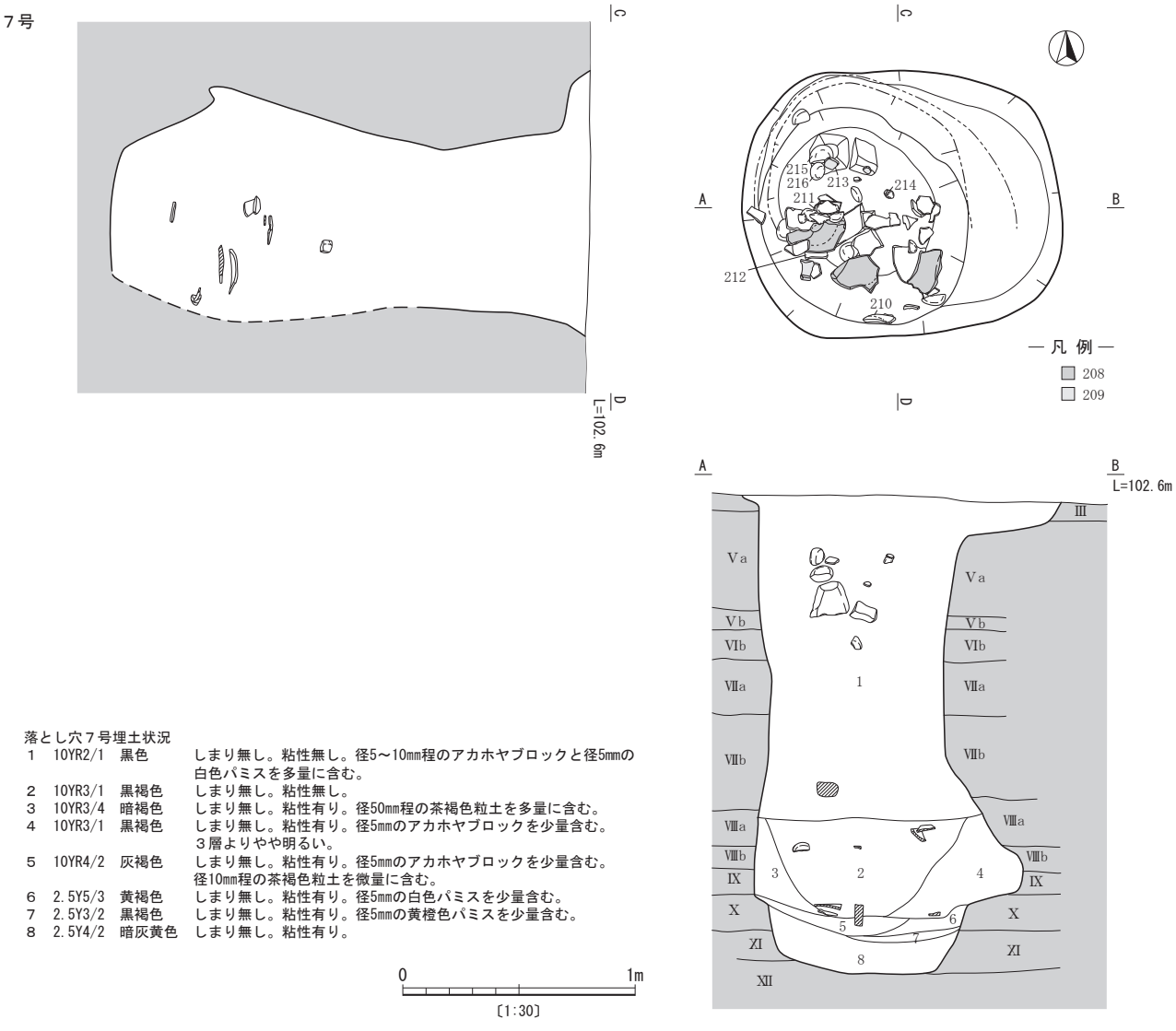
落とし穴６号埋土状況

1	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。
2	10YR3/3	暗褐色	しまり無し。粘性有り。径10㎜程の褐色粘土少量混じる。
3	10YR3/3	暗褐色	しまり無し。粘性無し。径10㎜程のアカホヤブロック少量混じる。径10㎜程の褐色粘土を少量含む。
4	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径１～５㎜程のアカホヤブロック少量混じる。径10㎜程の褐色粘土を少量含む。
5	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径１～20㎜程のアカホヤブロック多く混じる。径10㎜程の褐色粘土を多く含む。
6	10YR3/1	黒褐色	しまり有り。粘性有り。径10㎜程の池田降下軽石微量に混じる。径５～10㎜程のアカホヤブロックを多く含む。褐色土を多く含む。
7	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性有り。径10㎜程の褐色粘土少量混じる。
8	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性有り。径30㎜程のアカホヤブロック少量混じる。径10㎜程の褐色粘土を多く含む。径５㎜程の黄色パミスを少量含む。
9	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性有り。径20㎜程の褐色粘土ブロック少量混じる。径30㎜程の白色パミスを微量に含む。径５㎜程の黄色パミスを少量含む。
10	10YR5/4	にぶい黄褐色	しまり無し。粘性有り。径５㎜程の黄色パミス少量混じる。

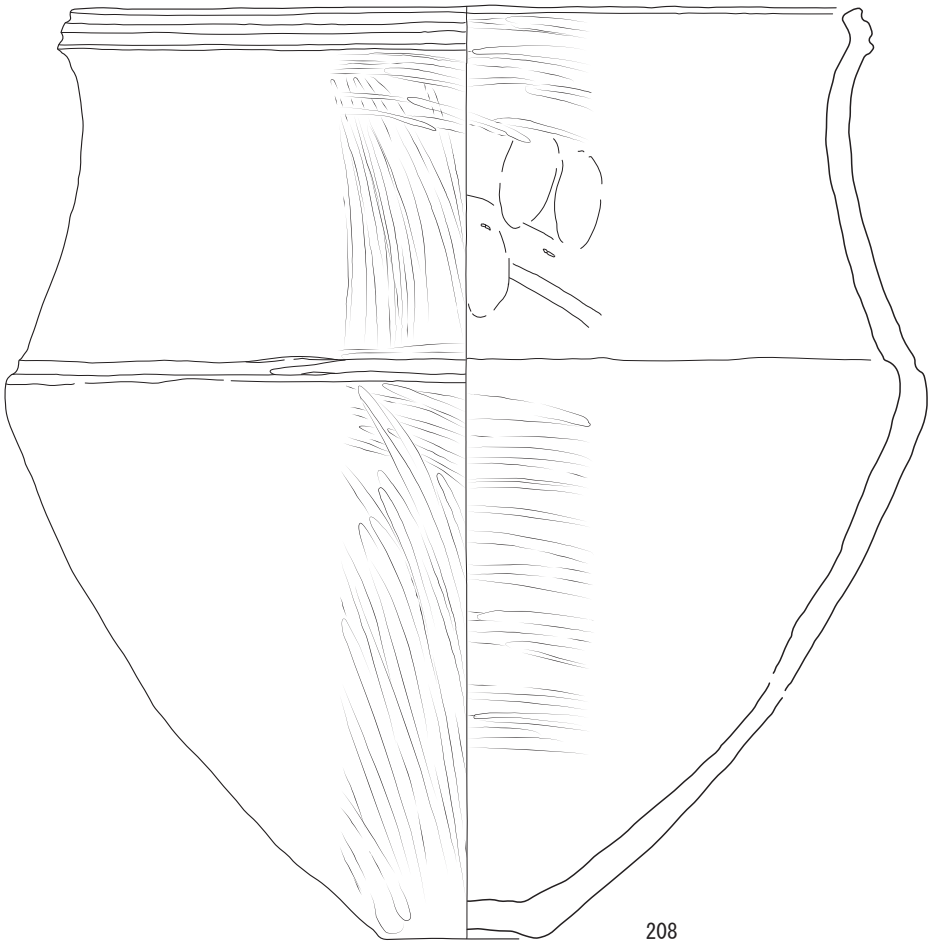
第 184 図　落とし穴６号（１）



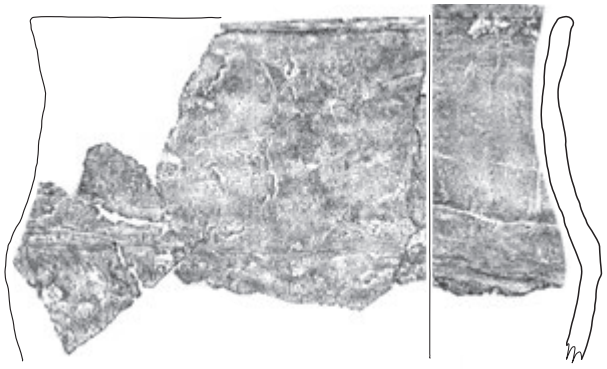
第 185 図　落とし穴６号（２）

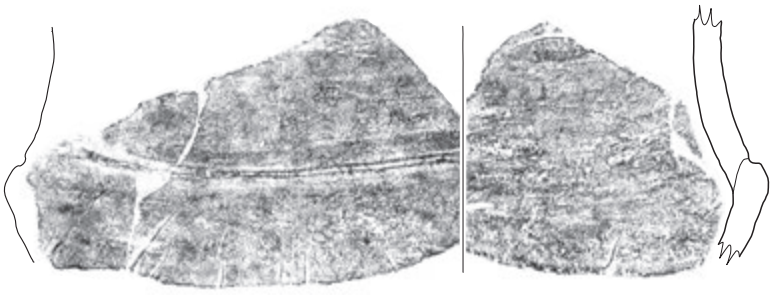


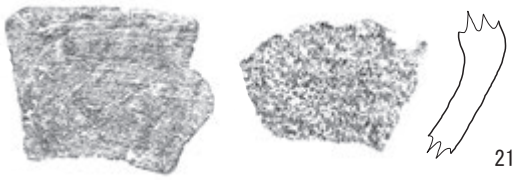
第 186 図　落とし穴７号（１）

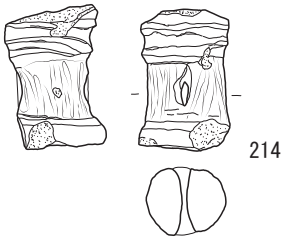


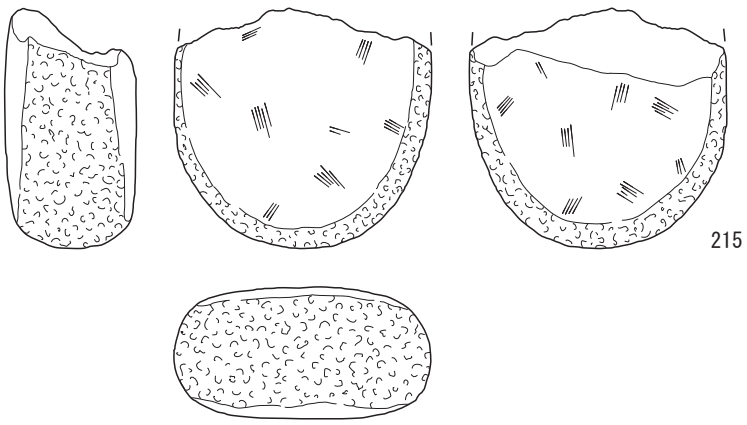
第 187 図　落とし穴７号（２）

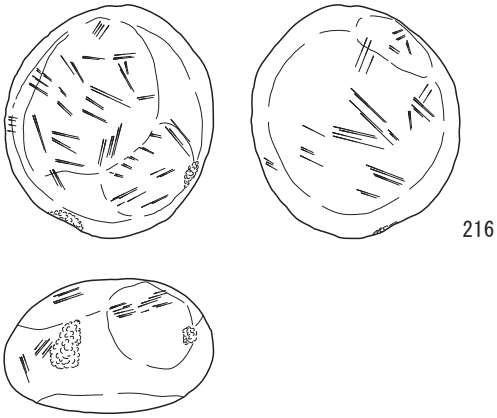


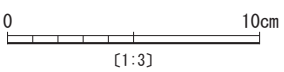




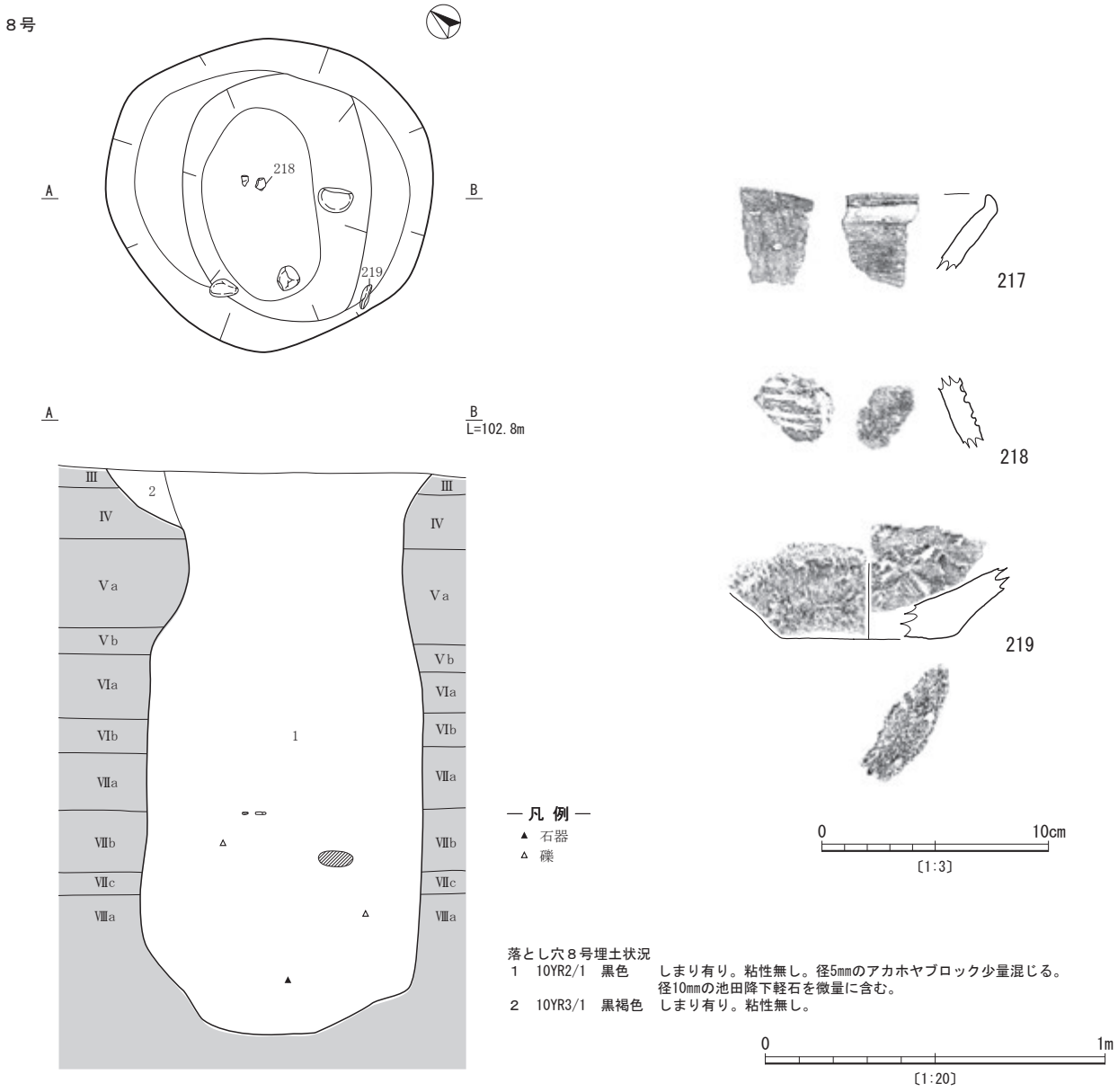








第 188 図　落とし穴 7 号（3）



第 189 図　落とし穴８号

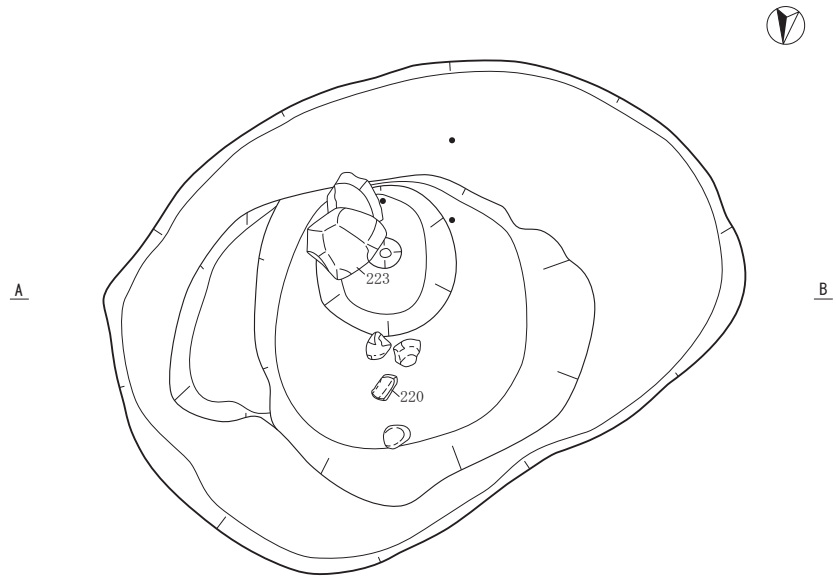
縁部で，肥厚しない。内面に貝殻条痕を施し，外面には貝殻腹縁の連続刺突を一段回す。胎土に雲母を多く含む。第Ⅳ-b 類土器と考えられる。207 は金雲母を多く含む胴部片で，第Ⅴ類土器の可能性が高いと考えられる。206 は粗製の胴部片で，横位直線文を施す。西平式系の有文土器であるが，型式は不明である。205 は口縁部が直行し，凹線が巡る。調整は内外面ともに丁寧にヘラミガキされる。頚部はほぼ屈曲しない。器壁が薄く，第XI類土器と考えられる。なお，203 に付着した炭化物で年代測定を実施したところ，1341calBC-1312calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№ 15）

落とし穴７号（第 186 ～ 188 図）

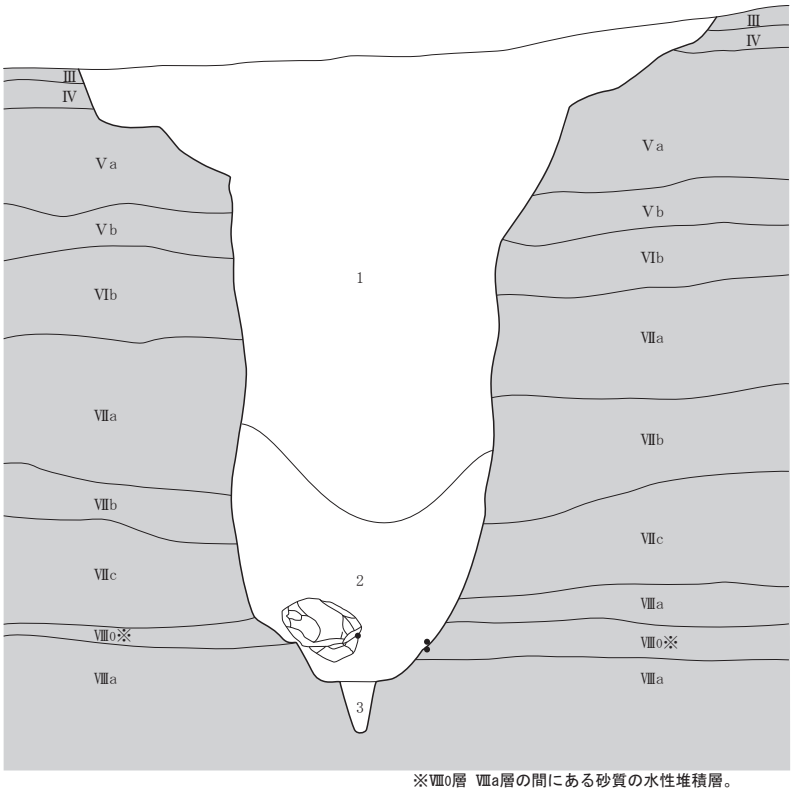
Ｂ地点，Ｈ－ 31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 136 ㎝，短径 114 ㎝で，深さは 206 ㎝である。埋土は計８層あり，２～４層にかけては掘り込みを思わせる特異な堆積状況を示す。４層が堆積する位置は遺構東側に抉れるような断面形状であった。底部に付属施設は確認できなかった。100 点程の土器が出土しているが，無文の小片がほとんどで型式は不明である。その中で比較的大きな土器は，１層上部と埋土下層に大きく分かれ，208 ～ 210・212 ～ 216 は１層上部より，211 は２層下部より出土している。その他，打製石斧２点，磨敲石類４点，石皿１点等がみられ，石皿が 211 とほぼ同じ高さで２層下部，その他は，１層上部出土であった。土器７点，石器２点を図化した。

208 の口縁部は内傾し，三角形に肥厚する。口縁部に２条の凹線が巡り，口縁内面に段をもつ。頚部がやや屈曲し，肩部がやや張り出す。胴部に段を作り，沈線文を

９号

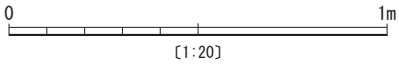




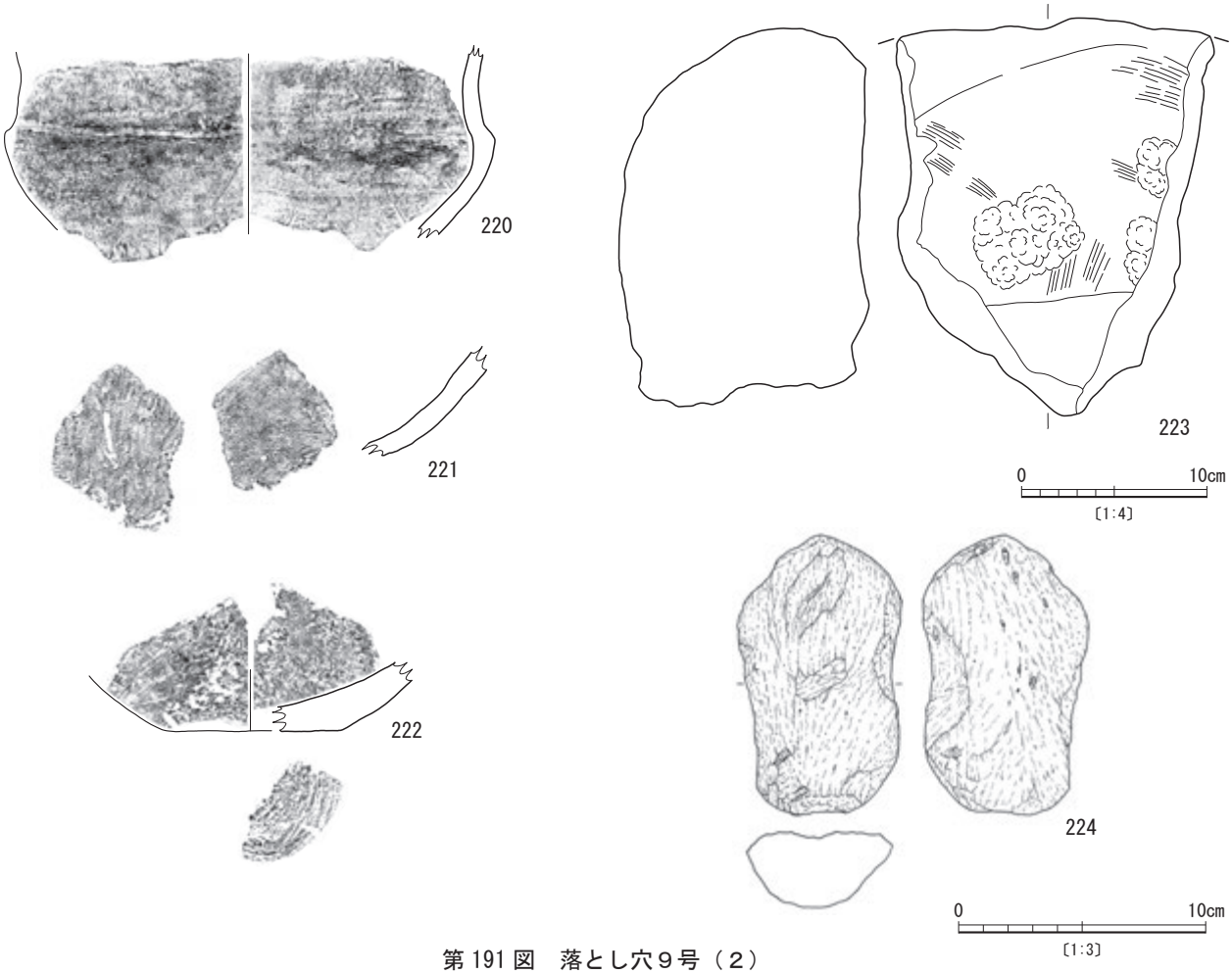


※Ⅷ0層 Ⅷa層の間にある砂質の水性堆積層。

落とし穴９号埋土状況
１　10YR3/1　黒褐色　しまり無し。Ⅱ層に由来不明のパミスを微量に含む。
２　10YR2/1　黒色　　しまり無し。Ⅱ層にⅦ層の暗褐色土が混じる。
３　10YR2/1　黒色　　しまり無し。２層と近似。



第 190 図　落とし穴９号（１）



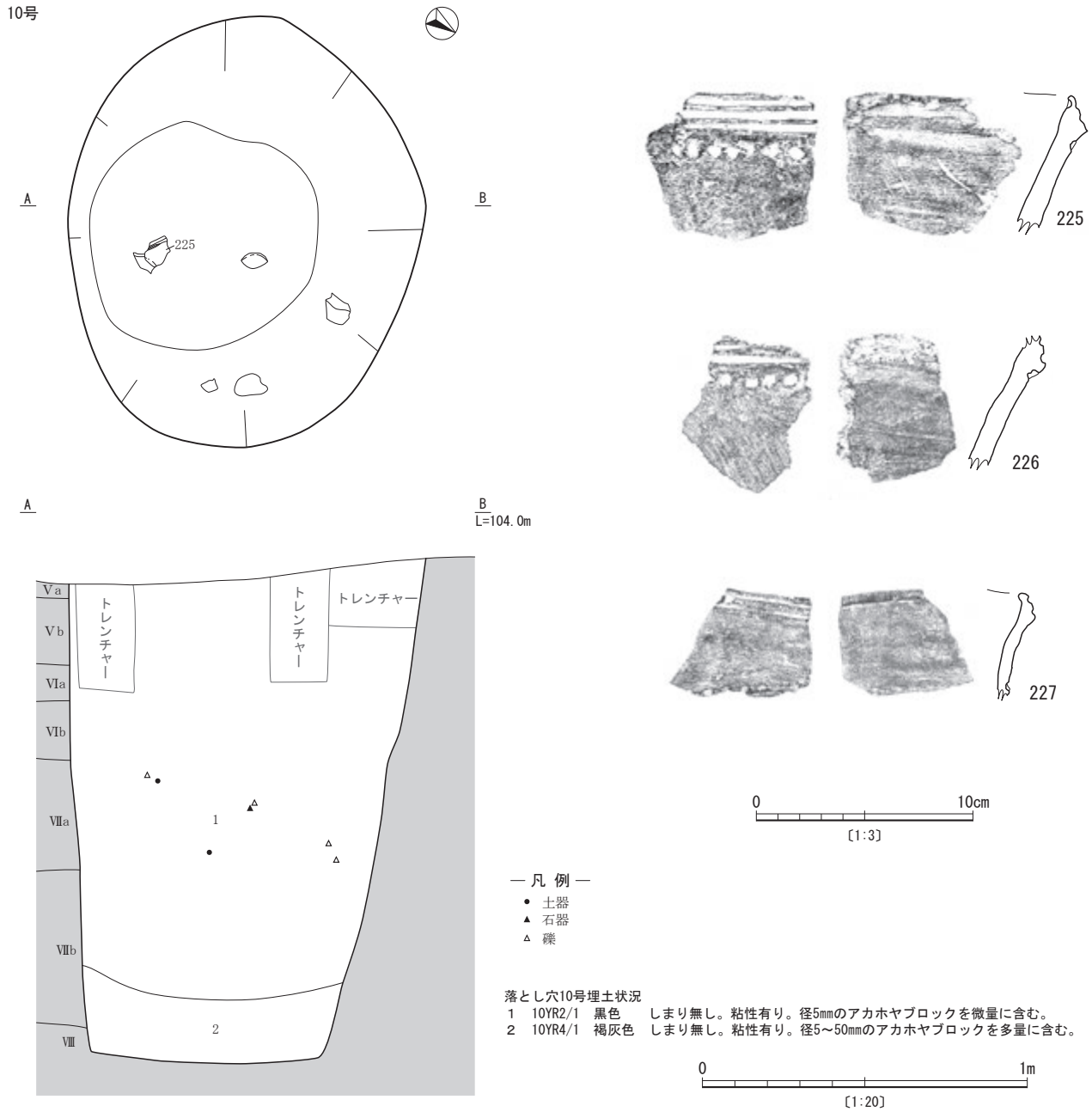
第 191 図　落とし穴９号（２）

１条施す。内外面共に丁寧にミガキが施され，口縁部周辺は横方向への調整が顕著である。第Ⅻ-a 類土器と考えられる。209，210 はともに口縁部が外反し，三角形に肥厚する。口縁部に２条の凹線が巡る。口縁内面に段をもち，若干段に違いがみられる。どちらの頚部も屈曲が強い。209 は胴部の段に沈線文１条が確認できる。209・210 は別個体ではあるが，第Ⅻ-b 類土器と考えられる。211 は口縁端部が丸く，頚部は緩やかに屈曲する。胴部に沈線はみられないが，肩部が張り出し，明確な稜をもつ。内外面ともに横方向にヘラミガキされている。御領式土器の可能性が高い。213 は胴部片で，器壁は厚い。おそらく沈線があった箇所から破損したと思われる。第Ⅻ-b 類土器と考えられる。212 は緩やかな頚部をもち，胴部に段を作り凹線を１条施す。内外面ともに横方向に丁寧にヘラミガキされている。胎土は雲母を多く含んでいる。第Ⅻ-b 類土器と考えられる。214 は脚部で底部と胴部から上半は残存していない。中央に縦長の透かしが施され，胴部との境は凹線を巡らせる。丁寧なミガキ調整が施されている。215 は楕円形で，半円に欠損した磨敲石である。表裏面に平滑な擦り面をもち，周縁に顕著な敲打痕がみられる。216 は円形で，断面形が丸みを帯びた磨石である。表裏面に弱い擦り痕がみられる。なお，遺構から出土した炭化物で年代測定を実施したところ，1410calBC-1267calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節 No.30）

落とし穴８号（第 189 図）

Ｂ地点，Ｆ－32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 95 ㎝，短径 92 ㎝で，深さは 165 ㎝である。埋土は２層で，包含される遺物の出土状態も水平に近いことから比較的短時間に埋没したと考えられる。底面に付属施設は確認できなかった。遺物は，中～下層にかけて数点出土したのみで，図化した３点の土器の他は，敲石１点と凹石１点と礫１点である。

217 は口縁の立ち上がりの内面に凹線が入る。内面は横方向，外面は縦方向に丁寧にヘラミガキされている。無文土器第Ⅹ-a 類と考えられる。218 は胴部小片である。粗製で一部剥落し，調整は不明瞭である。刺突文と横位直線文が施されており，西平式系の有文土器ではあるが，型式は不明である。219 は平底の底部である。胴部に向かってやや外へ開きながら立ち上がると考えられる。胎土は金雲母を多く含む。西平式系粗製土器の底部である。

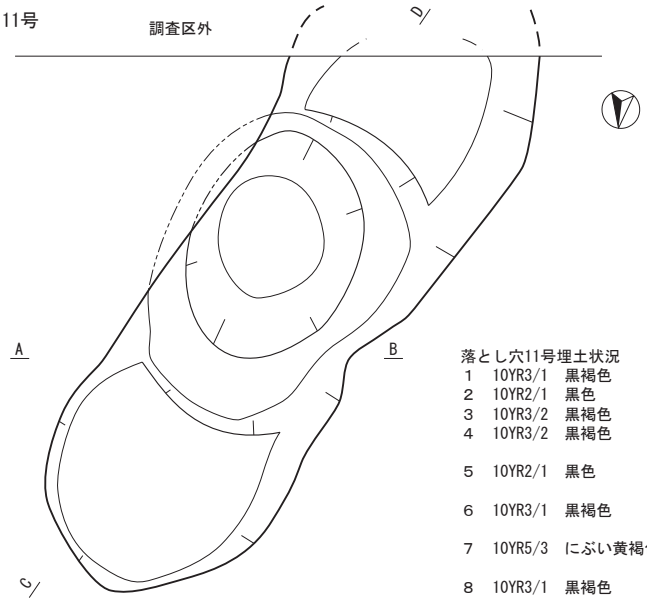


第 192 図　落とし穴 10 号

落とし穴９号（第 190・191 図）

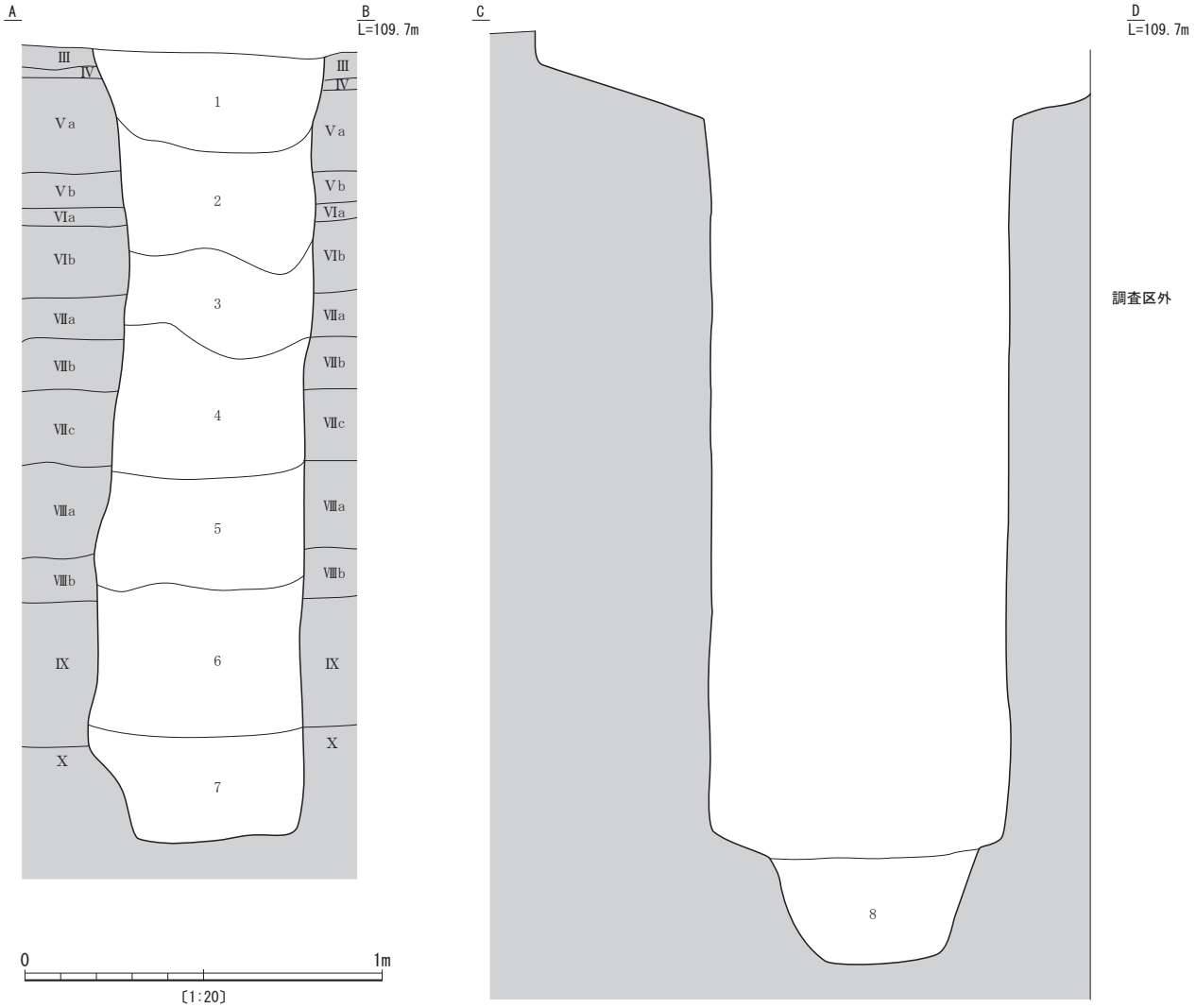
Ｂ地点，Ｄ－ 34 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 167 ㎝，短径 118 ㎝で，深さは 165 ㎝である。埋土は２層で，しまりの無い黒褐色土が主体である。遺構底面の南側にピットを検出したため掘り下げを行ったところ，径 10 ㎝，深さ 15cm 程の小ピットとなった。逆茂木痕と考えられる。遺物は少なく埋土全体にまばらにみられ，223 と 20cm 大の礫１点が坑底近くより重なり合うように出土している。223 の他，土器３点と軽石製品１点を図化した。

220 は胴部に段を作り沈線文を１条施す。内外面ともに横方向に丁寧にヘラミガキされている。胎土は金雲母を多く含んでいる。器壁はそれほど厚くない。第Ⅻ-a 類土器と考えられる。221 は胴部片である。胴部下位と思われ，外面調整は縦方向に丁寧にヘラミガキされている。西平式系土器の胴部片と考えられる。222 は平底の底部である。外面は横方向にやや粗くヘラミガキが施され，底部もミガキ調整が行われている。西平式系の粗製土器と考えられるが，型式は不明である。223 は厚みのある石皿の欠損品である。上端に石皿縁辺を留めており，表面のみが使用され，緩く窪んだ一面が残されている。224 は縦長に不定形な軽石の破片であり，若干の切削痕がみられるが，角がとれ丸みを帯びたものである。

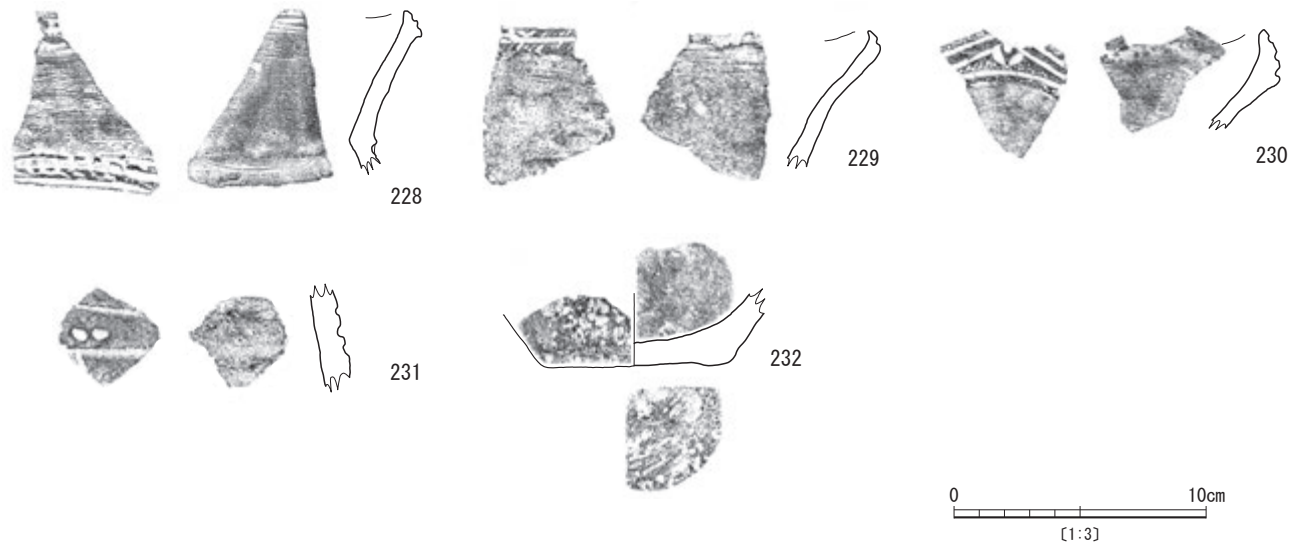


落とし穴11号埋土状況

1	10YR3/1	黒褐色	しまりやや有り。粘性無し。径3～5㎜の池田降下軽石を少量含む。
2	10YR2/1	黒色	しまりやや有り。粘性無し。径20～50㎜のアカホヤブロックを少量含む。
3	10YR3/2	黒褐色	しまり無し。粘性無し。径2～5㎜のアカホヤブロックを少量含む。
4	10YR3/2	黒褐色	しまりやや有り。粘性無し。径2～5㎜の橙色パミスを微量に含む。 径1㎜の白色パミスを微量に含む。
5	10YR2/1	黒色	しまりやや有り。粘性無し。径2～5㎜の橙色パミスと径2～3㎜の 黄色パミスを少量含む。径１㎜の白色パミスを微量に含む。
6	10YR3/1	黒褐色	しまり無し。粘性無し。径2～10㎜の橙色パミスを少量含む。 径2～3㎜の黄色パミスと径1㎜の白色パミスを微量に含む。
7	10YR5/3	にぶい黄褐色	しまり無し。粘性有り。径3～5㎜の橙色パミスを少量含む。 径10～15㎜の黄褐色ブロックを少量含む。
8	10YR3/1	黒褐色	しまり無し。粘性有り。炭化物を多量に含む。



第193図　落とし穴11号（１）



第 194 図　落とし穴 11 号（２）

落とし穴 10 号（第 192 図）

Ｂ地点，Ｃ－ 35 区，Ｖａ層で検出された。調査区で最も北側に位置する。平面形状は楕円形である。長径 133 ㎝，短径 108 ㎝で，深さは 148 ㎝である。埋土は２層で，しまりは無く，どちらもアカホヤブロックが観察された。底面に付属施設は確認できなかった。遺物は，比較的埋土中層にまとまっており，その内訳は，土器片約 20 点と，剥片１点，打製石斧１点，敲石１点である。土器３点を図化した。

225 は口縁部に３条沈線を施し，226 は口縁部に２条沈線を施すが一部破損している。どちらも刺突文が施され，連続性に乏しい。外面調整は斜めに，内面は横方向によくミガキがなされている。225・226 は接合しなかったが，文様，胎土，焼成等が類似することから同一個体で，第Ⅸ類土器と考えられる。227 の口縁部は「く」の字状に立ち上がり，屈曲部内部に凹みが巡る。口縁部には２条沈線を施し，緩やかな波状口縁を呈する。磨消縄文はみられない。内外面ともに横方向によくヘラミガキされている。第Ⅶ類土器と考えられる。その他，第Ⅴ類土器の口縁部が一点みられるのを除き型式不明の無文の小片であった。

落とし穴 11 号（第 193・194 図）

Ａ地点，Ｈ－ 38 区，Ⅲ層で検出された。遺構南側は調査区外へと続くため全容は検出できなかったが，平面形状は楕円形と考えられる。三段の落ち込みを有し，検出面では，長径推定 190 ㎝，短径 66 ㎝と長楕円形であるが，20㎝程下がった所で，長径 90㎝，短径 60㎝の楕円形となり，更に 230㎝下がった所で長径 60㎝となる。断面形は円筒状で，深さは 261 ㎝である。埋土は８層に分層できた。ややしまりの有る黒色土及び黒褐色土が主体であるが，最下層は炭化物を含む腐植土層の様相を呈していた。底面に付属施設は確認できなかった。遺物は，土器が 30 点程出土している。第Ⅵ～第Ⅹ類土器とみられる口縁部，頚部片が８点あり，その他は型式不明の無文の小片である。土器５点を図化した。

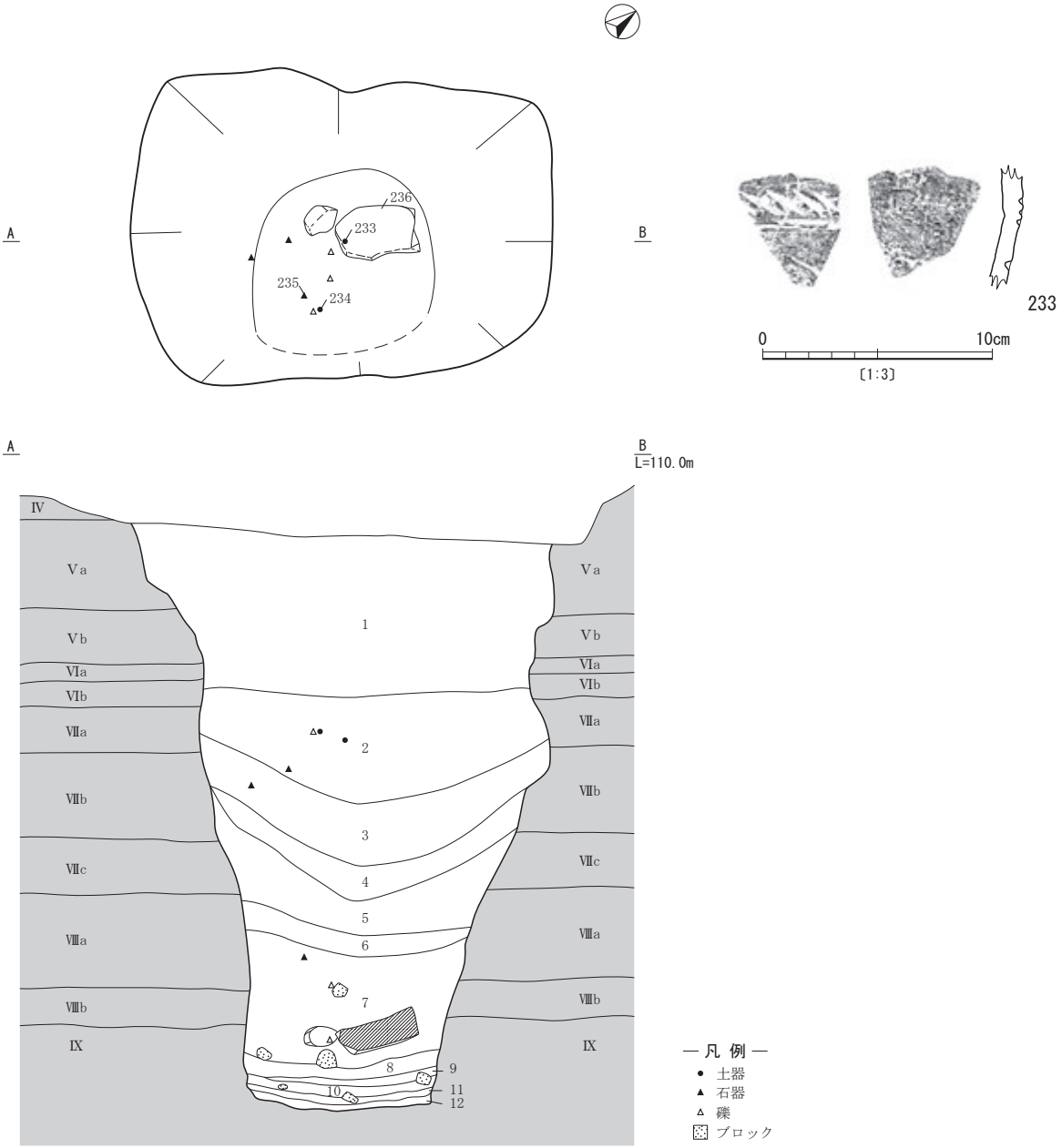
228 は口縁部に２条沈線を施し，ヘラ状工具にて口縁内部に凹線を施す。文様帯は狭い。頚部には刺突文が連続で施され，横位直線文も１条みられる。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。第Ⅶ類土器と考えられる。229・230 は口縁部が「く」の字状に立ち上がり，屈曲部内部に凹みがある。229 はハート形に似た凹点が一部みられる。230 にも波頂部にハート形の凹点が入り，磨消縄文も施される。229・230 は接合しなかったが，文様，胎土，焼成等が類似することから同一個体と考えられる。231 は横位直線文が薄く施され，刺突文もみられるが，連続性には乏しい。西平式系土器の胴部である。232 は上げ底で，摩滅で一部不明瞭であるが，外面は縦方向にミガキ調整がなされている。西平式系土器の底部と考えられる。

第 28 表　落とし穴出土石器観察表

（）内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	層位	器種	石材	最大長（cm）	最大幅（cm）	最大厚（cm）	重量（g）	取上番号	備考
188	215	7	H31	1	磨敲石	安山岩 B	(9.50)	10.30	5.20	801.20	SK78-7	
	216	7	H31	1	磨石	安山岩 A	9.20	8.30	5.30	488.60	SK78-6	
191	223	9	D34	2	石皿	安山岩 A	(21.35)	(17.00)	(13.45)	6790.00	SK61-5	
	224	9	D34	－	軽石製品	軽石	11.25	6.55	3.22	62.50	－	
196	234	12	G39・40	－	磨敲石	安山岩 A	12.40	8.70	5.10	337.50	－	
	235	12	G39・40	－	磨石	安山岩 B	9.10	8.20	2.70	288.50	SK2-5	
	236	12	G39・40	7	石皿	花崗岩	(24.10)	(18.50)	(8.30)	6150.00	SK2-9	

12号

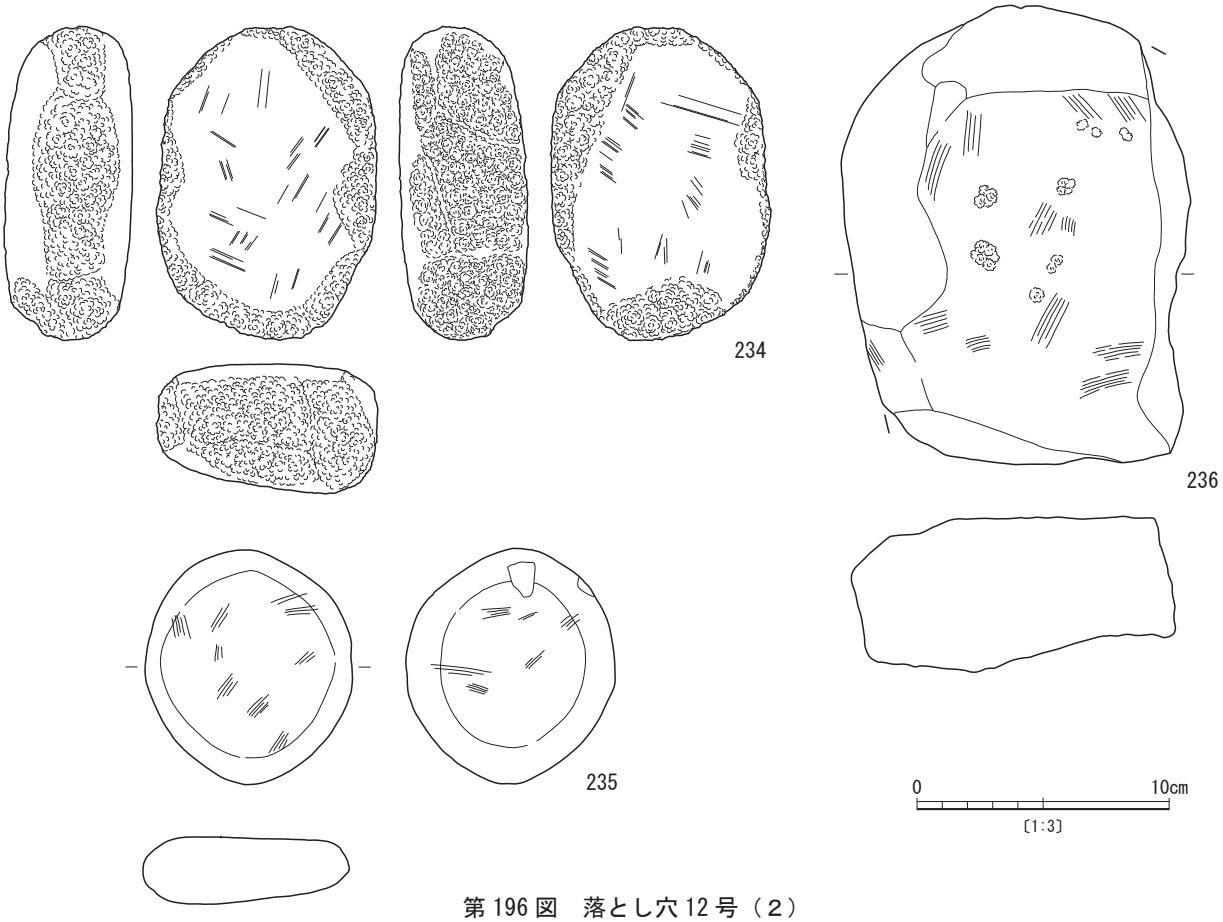


落とし穴12号埋土状況

1	10YR3/1	黒褐色	しまり強い。粘性無し。径20～30㎜程の池田降下軽石を少量含む。径2～4㎜程のアカホヤブロックを微量に含む。
2	10YR2/1	黒色	しまり無し。径5㎜の池田降下軽石を少量含む。径10㎜のアカホヤブロックを微量に含む。
3	10YR4/3	にぶい黄褐色	しまり無し。アカホヤを多量に含む。
4	10YR3/2	黒褐色	しまり無し。Ⅵ層主体に黄色パミスを少量含む。アカホヤブロックを含む。径7～8㎜の白粒を微量に含む。
5	10YR3/3	暗褐色	しまり無し。黄色パミスを少量含む。径2～3㎜の白色パミスを微量に含む。
6	10YR3/2	黒褐色	しまり無し。径2～3㎜の黄色パミスを少量含む。４層に近似する。
7	10YR3/3	暗褐色	しまり無し。径10㎜程の黄色パミスを少量含む。径50～80㎜の黄色ブロックを含む。5層に近似する。
8	10YR7/6	明黄褐色	粘質の強い土と7層土の混合。径2～3㎜程の橙色パミスを微量に含む。
9	10YR7/6	明黄褐色	粘質強い。橙色パミスを微量に含む。
10	10YR3/3	暗褐色	粘性無し。径20～30㎜の明黄褐色土ブロックを少量含む。
11	10YR7/6	明黄褐色	粘性強い。橙色のパミスを微量に含む。暗黄褐色土を少量含む。
12	10YR7/6	明黄褐色	粘性強い。11層より暗褐色土の混じりが少ない。

0 1m
〔1:20〕

第195図　落とし穴12号（１）



第 196 図　落とし穴 12 号（２）

落とし穴 12 号（第 195・196 図）

Ａ地点，Ｇ－ 39・40 区，Ｖａ層で検出された。平面形状は隅丸長方形，長径 122 ㎝，短径 91 ㎝で，深さは 167 ㎝である。埋土は 12 層に分けられ，６層まではいわゆるレンズ状堆積が観察されるため自然堆積と考えられる。２層と７層から主に遺物が出土している。８層から下層は，しまりの強い明黄褐色土が主体となる。底面に付属施設は確認できなかった。遺物は土器片２点，敲石２点，磨敲石１点，磨石２点，石皿１点が出土している。土器１点と石器３点を図化した。

233 は貝殻腹縁の連続刺突を施し，その直下に横方向に沈線を施す。内面の貝殻条痕調整はみられない。外面は丁寧にナデが行われている。胎土に金雲母を多く含み，第Ⅳ -c 類土器と考えられる。234 は楕円形の磨敲石で，表裏面に滑らかな擦り面をもち，周縁に激しく変形した敲打痕がみられる。235 は円形の磨石で，平坦な表裏面に顕著な擦り面がみられる。236 は不定形な石皿の欠損品で，上端から左側縁にかけて石皿縁辺を留めている。表面のみが使用され，平滑な擦り面が残されている。

落とし穴 13 号（第 197 図）

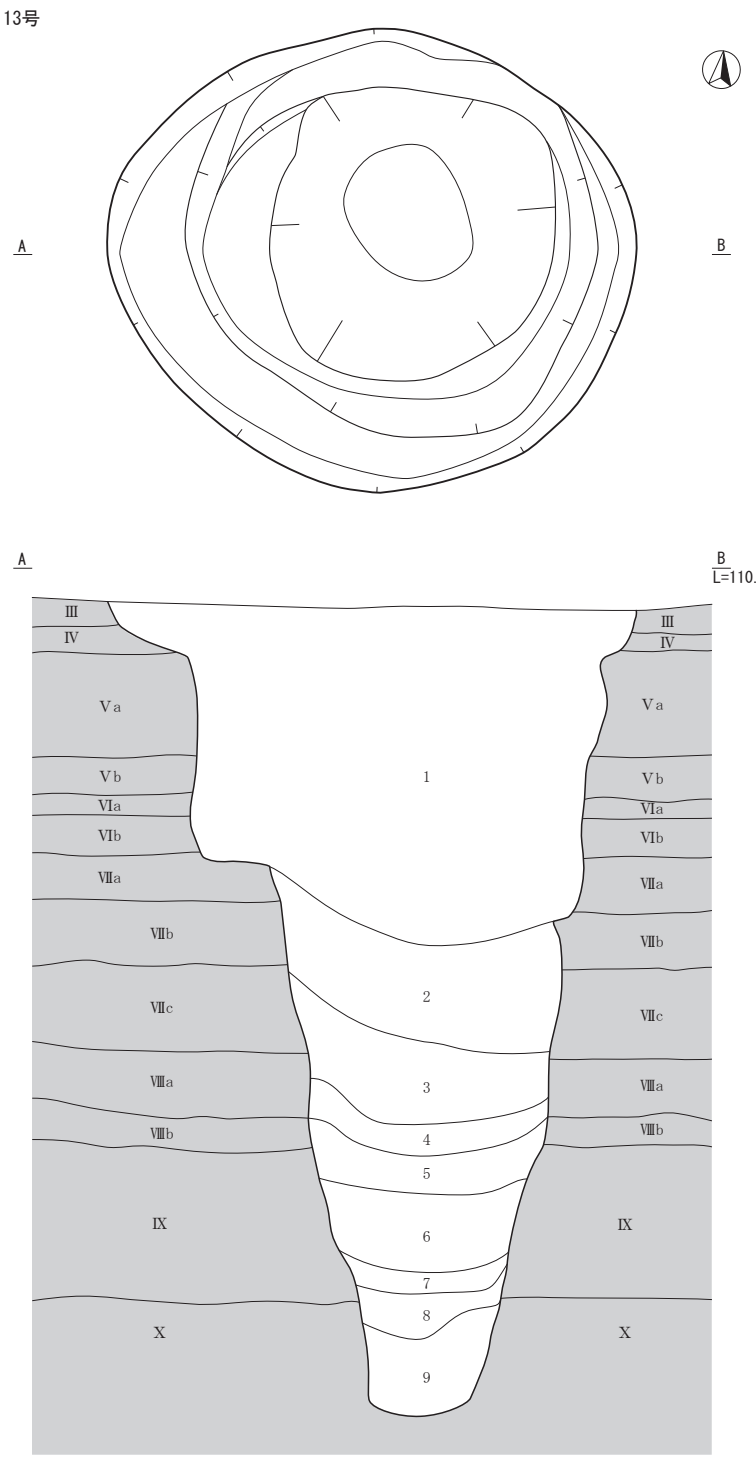
Ａ地点，Ｇ－ 46・47 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形で，落とし穴 12 号と平面形状は異なるが，三段構造という点が共通する。遺構底面に向かって窄まりをみせる。長径 139 ㎝，短径 123 ㎝で，深さは 214 ㎝である。埋土は９層で最下層から２層目までは比較均等に堆積しており，Ｖ層～Ｘ層までの土壌がブロック状に混じる特徴が顕著であった。底面に付属施設は確認できなかった。遺物は出土していない。

ウ　小結

落とし穴 12 号は遺物出土状況から第Ⅳ類土器よりも古い時期と考えられるが，詳細は不明である。３号・５号は第Ⅴ類土器と同時期かそれより古い可能性があり，２号は第Ⅴ類土器より古いと判断できる。

８号は無文土器第Ⅹ -a 類と同時期かそれより古く，一方１号と 10 号は時期の特定はできないが西平式系土器と同時期かそれより古いことが予想される。６号においては AMS から西平式系の終末期の頃と考えられる。

７号と９号においては第Ⅻ類土器と同時期と考えられる。11 号は遺物が出土しているものの，出土地点がはっきりせず時期は不明である。４号と 13 号についても遺物は出土しておらず，時期については不明である。



落とし穴13号埋土状況

1	10YR2/2	黒褐色	しまりやや有り。粘性無し。径5～10㎜のアカホヤブロックを微量に含む。径2～3㎜の池田降下軽石を微量に含む。
2	10YR2/1	黒色	しまり無し。粘性無し。径5～10㎜のアカホヤブロック微量に含む。径2～3㎜のⅦa層ブロックを微量に含む。
3	10YR3/1	黒褐色	しまりやや有り。粘性やや有り。径２～３㎜の橙色ブロック微量に含む。径2～3㎜の黄色ブロックを微量に含む。径1㎜の白色パミスを微量に含む。
4	10YR3/2	黒褐色	しまり無し。粘性やや有り。径1～2㎜の橙色パミスを微量に含む。径1～2㎜の白色パミスを微量に含む。
5	10YR3/1	黒褐色	しまりやや有り。粘性やや有り。径5～10㎜の黄色ブロック多量に混含む。
6	10YR2/1	黒色	しまりやや有り。粘性やや有り。径5～30㎜の黄色ブロックを少量含む。
7	10YR4/2	灰黄褐色	しまりやや有り。粘性やや有り。径5～10㎜のⅨ,Ⅹ層土ブロック多量に含む。
8	10YR3/2	黒褐色	しまり無し。粘性やや有り。径2～5㎜のⅨ,Ⅹ層土ブロック少量含む。
9	10YR3/1	黒褐色	しまり無し。粘性有り。Ⅹ層土ブロック少量含む。

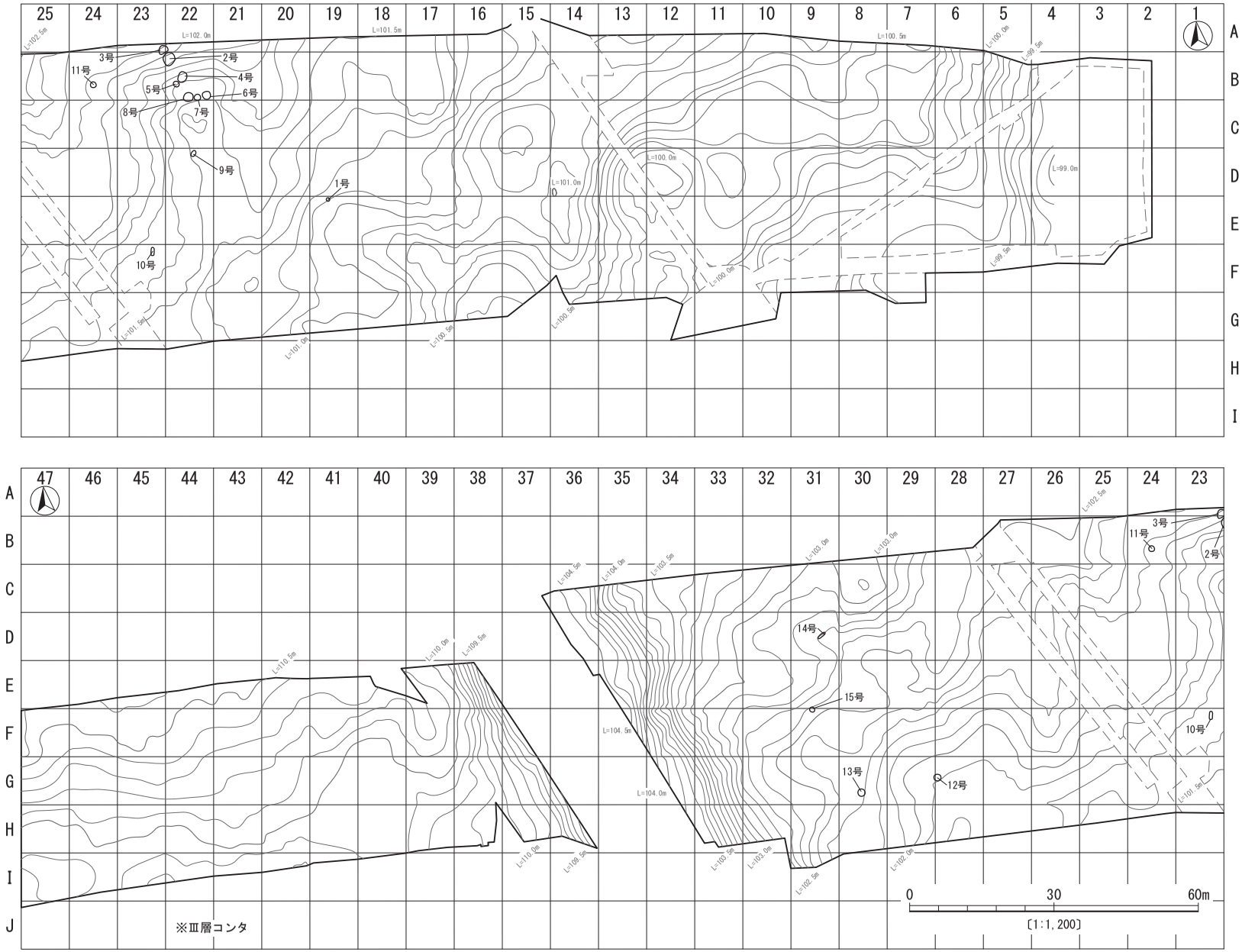
0　1m
〔1:20〕

第 197 図　落とし穴 13 号

第29表　落とし穴出土土器観察表

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
178	196	1	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	B12	胴	縦ミガキ	丁寧な横ナデ・横ミガキ	△		○		○	△		2.5YR6/6	橙	7.5YR7/4	にぶい橙		SK223-1
179	197	2	Ⅳ	深鉢	D21・22	口縁～胴	貝殻腹縁文・貝殻条痕・横ナデ	貝殻条痕・横工具ナデ	○	◎		◎	◎			5YR5/3	にぶい赤褐	5YR5/4	にぶい赤褐	198と同一個体 口径：(29.3)	30309他
	198	2	Ⅳ	深鉢	D21	胴～底	横ナデ	横ナデ・横工具ナデ・指オサエ	○	○		◎	○			5YR5/6	明赤褐	5YR5/8	明赤褐	197と同一個体 底径：(9.1)	30547他
181	199	3	Ⅶ	深鉢	F23	口縁	沈線・刺突・ナデ・ミガキ	横ミガキ	○	△	△		○			10YR4/2	灰黄褐	7.5YR6/6	橙	口径：(23.8)	34493
	200	3	Ⅴ	深鉢	F23	胴	沈線・横ナデ・粗い横縦ミガキ	横ナデ・ミガキ	◎	○		△			小礫○	5YR6/6	橙	10YR6/2	灰黄褐		30690他
183	201	5	Ⅴa	深鉢	H28	口縁	沈線・横ナデ・貝殻条痕	貝殻条痕	△	○		◎	○			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR4/4	褐		–
	202	5	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	H28	底	横ミガキ	横工具ナデ	△	△				△		7.5YR5/4	にぶい褐	10YR4/1	褐灰	底径：(6.5)	–
184	203	6	Ⅻb	深鉢	G30	口縁～胴	凹線・沈線・横縦ミガキ	凹線・横ナデ・横工具ナデ・横ミガキ	△	△				△	褐色砂粒○	7.5YR6/4	にぶい橙	7.5YR7/4	にぶい橙	コゲ・ススト	–
185	204	6	Ⅳb	深鉢	G30	口縁	貝殻腹縁文・連続刺突文・横ナデ	横ナデ	◎	◎		○	○			10YR5/4	にぶい黄褐	7.5YR5/6	明褐		–
	205	6	Ⅺ	深鉢	G30	口縁	凹線・横ナデ・横ミガキ	横ナデ・ミガキ	△	△					橙色砂粒○	7.5YR4/3	褐	7.5YR5/3	にぶい褐	口唇：沈線	SK91-26他
	206	6	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	G30	胴	沈線・横ナデ	横ナデ・粗い横ミガキ	○	○				○	橙色砂粒△	10YR3/2	黒褐	7.5YR5/4	にぶい褐		SK91-27
	207	6	Ⅴ	深鉢	G30	胴	沈線・丁寧な縦工具ナデ	横工具ナデ	○	◎		◎	○			10YR5/4	にぶい黄褐	7.5YR5/6	明褐		SK91-1
187	208	7	Ⅻa	深鉢	H31	口縁～胴	凹線・沈線・横縦ミガキ	凹線・横ナデ・横ミガキ・指オサエ	○	△	△		△	△	橙色砂粒△ 砂礫○	2.5YR5/6	明赤褐	5YR5/4	にぶい赤褐	ススト・コゲ	SK78-20他
	209	7	Ⅻb	深鉢	H31	口縁～胴	沈線・横ミガキ	横工具ナデ・横ミガキ	◎	○	△		△	△		5YR5/4	にぶい赤褐	5YR5/3	にぶい赤褐	口唇：凹線	SK78-1他
	210	7	Ⅻb	深鉢	H31	口縁～胴	横ナデ・横ミガキ	丁寧な横工具ナデ・横ミガキ	◎	△	△		○		褐色砂粒△	5YR4/3	にぶい赤褐	5YR5/3	にぶい赤褐	口唇：凹線	SK78-25
188	211	7	Ⅺ	深鉢	H31	口縁～胴	横ナデ・横工具ナデ・横縦ミガキ	横ナデ・横工具ナデ	△	△	△				小礫△	7.5YR6/6	橙	7.5YR4/3	褐	口径：(21.2)	SK78-39他
	212	7	Ⅻb	深鉢	H31	頚～胴	凹線・丁寧な横工具ナデ・粗い横ミガキ	横工具ナデ	◎	△	△		◎		褐色砂粒△	5YR2/3	極暗赤褐	5YR2/3	極暗赤褐	ススト	SK78-31他
	213	7	Ⅻb	深鉢	H31	胴	丁寧な横工具ナデ	横ナデ	◎		△		○		褐色砂粒△	7.5YR5/4	にぶい褐	7.5YR4/1	褐灰		SK78-9
	214	7	–	台坏皿	H31	脚	透かし・凹線・横縦ミガキ	剝落	○	△	△		○	△	砂礫△	5YR5/4	にぶい赤褐	7.5YR6/3	にぶい褐		SK78-5
189	217	8	Ⅹa	深鉢	F32	口縁	縦ミガキ	凹線・横ミガキ	△	△			○		小礫△	5YR6/2	灰褐	5YR3/1	黒褐		–
	218	8	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	F32	胴	剝落（沈線・刺突文・横ナデ）	横ナデ	◎	△			△		橙色砂粒△	5YR5/4	にぶい赤褐	5YR6/4	にぶい橙		S07-6
	219	8	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	F32	底	摩滅（縦ナデ）	摩滅（横ナデ）	◎	○	△	○		△		7.5YR6/6	橙	7.5YR6/6	橙	底径：(7.2)	S07-3
191	220	9	Ⅻa	深鉢	D34	胴	沈線・丁寧な横工具ナデ・丁寧な横ミガキ	横工具ナデ・丁寧な横ミガキ	○	○		△	○		褐色砂粒△	7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR8/4	浅黄橙	ススト	Sk61-4
	221	9	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D34	胴	縦ミガキ	横ナデ・指オサエ	△		△		△	△		5YR5/6	明赤褐	5YR5/6	明赤褐		–
	222	9	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D34	底	横ナデ	粗いミガキ	△	○	△		○		小礫◎	10YR8/4	浅黄橙	10YR8/2	灰白	底径：(7.5)	–
192	225	10	Ⅸ	深鉢	C35	口縁	刺突・横工具ナデ・斜ミガキ	凹線・横工具ナデ・横ミガキ	◎	○		△	○	○		7.5YR6/8	橙	5YR5/6	明赤褐	226と同一個体 口唇：沈線	SK70-1
	226	10	Ⅸ	深鉢	C35	口縁	刺突・横ナデ・斜ミガキ	横工具ナデ・横ミガキ	○	○	△	△	○	△		7.5YR4/4	褐	7.5YR4/4	褐	225と同一個体 口唇：沈線	–
	227	10	Ⅶ	深鉢	C35	口縁	刺突・横ミガキ	横ミガキ	△	△	△					10YR3/2	黒褐	10YR3/2	黒褐	波状口縁 コゲ 口唇：沈線	–
194	228	11	Ⅶ	深鉢	H38	口縁～頚	沈線・凹線・刺突・横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	△		△		○		褐色砂粒△	2.5Y5/2	暗灰黄	2.5Y5/2	暗灰黄	口唇：沈線	–
	229	11	Ⅶ	深鉢	H38	口縁	刻目・凹点・横工具ナデ	横工具ナデ	○		△		○			10YR6/2	灰黄褐	10YR5/1	褐灰	230と同一個体 口唇：沈線 ススト	–
	230	11	Ⅶ	深鉢	H38	口縁	沈線・凹点・刺突・磨消縄文・横ミガキ	横ミガキ	△	△					赤色砂礫△	2.5Y5/3	黄褐	10YR4/2	灰黄褐	229と同一個体	–
	231	11	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	H38	胴	沈線・刺突・横ナデ	横ナデ	◎	△			○			10YR3/2	黒褐	10YR8/4	浅黄橙	ススト	–
	232	11	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	H38	底	縦ミガキ	縦ミガキ	△	△			△	△		7.5YR6/4	にぶい橙	7.5YR2/1	黒	底：粗いミガキ 底径：(7.3)	–
195	233	12	Ⅳc	深鉢	G39・40	胴	沈線・連続刺突文・横ナデ	横ナデ	○	○		◎				5YR4/4	にぶい赤褐	5YR5/6	明赤褐		SK2-4



第198図　土器集中部配置図

（９）土器集中部（第 198 図～第 218 図）

ア　検出状況

牧山遺跡の土器集中部はＢ地点から４基，Ｃ地点から 11 基，合計 15 基検出された。

土器集中部の検出層はⅡａ層９基，Ⅱｂ層４基，Ⅱｃ層２基である。

周辺と比べ比較的土器が集中及び密集して出土している土器のまとまりを土器集中部として遺構認定した。また，整理作業を通して接合を進めていくにあたり，直近の土器集中部同士で多数の土器が接合した場合には，検出状況等も判断して１つの土器集中部としてまとめた遺構もある。

本報告書では縄文時代後期～晩期該当の土器集中部として 15 基報告する。

イ　各土器集中部の状況

土器集中部１号（第 199 図）

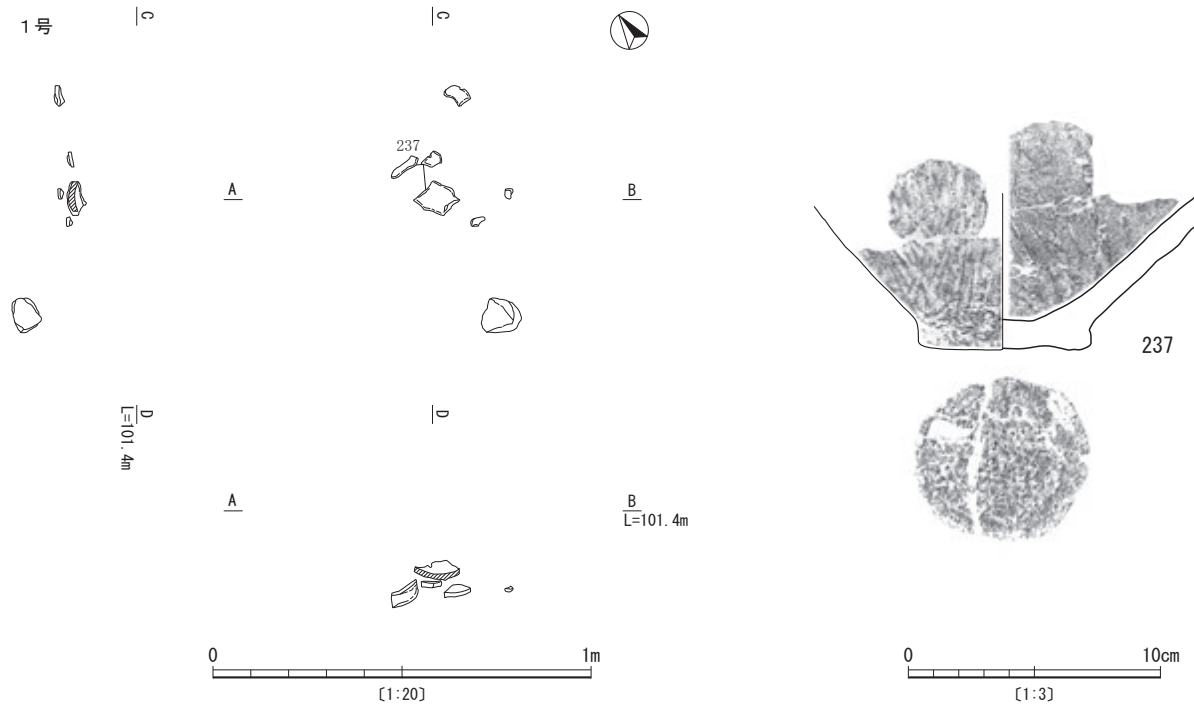
Ｃ地点，Ｅ－ 19 区，Ⅱｃ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 70 ㎝× 40 ㎝におさまる。土器集中部で最も東に位置し，他の土器集中部とやや離れている。出土遺物の中から土器１点を図化した。

237 は底端部が少し外に張り出す平底である。外面は縦方向に丁寧にミガキ調整が行われており，底部外面にいたって調整は行われておらず，かなり粗い整形となっている。西平式系土器の深鉢の底部と考えられる。土器の胎土は第Ⅹ -c 類土器に近い。なお，237 に付着した炭化物で年代測定を実施したところ，1616calBC-1510calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№.29）

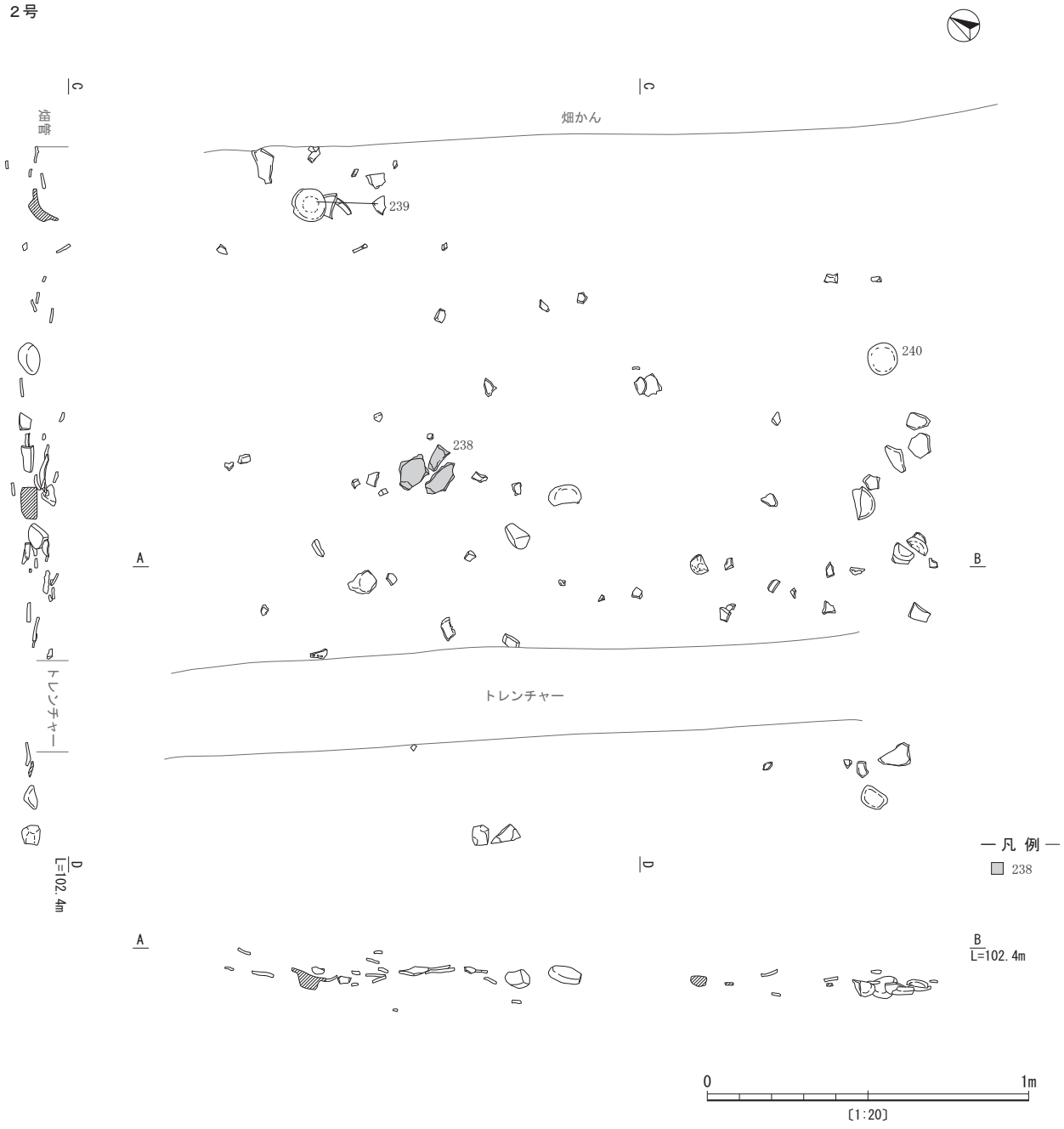
土器集中部２号（第 200・201 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 22・23 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 300 ㎝× 200 ㎝におさまる。西側は現代の耕作による攪乱を受けている。検出当初は土器の出土状態から三つの遺構としたが，全容が把握できた段階で同一遺構として判断した。北に土器集中部３号，南に土器集中部４号が位置する。出土遺物の中から土器２点，石器１点を図化した。

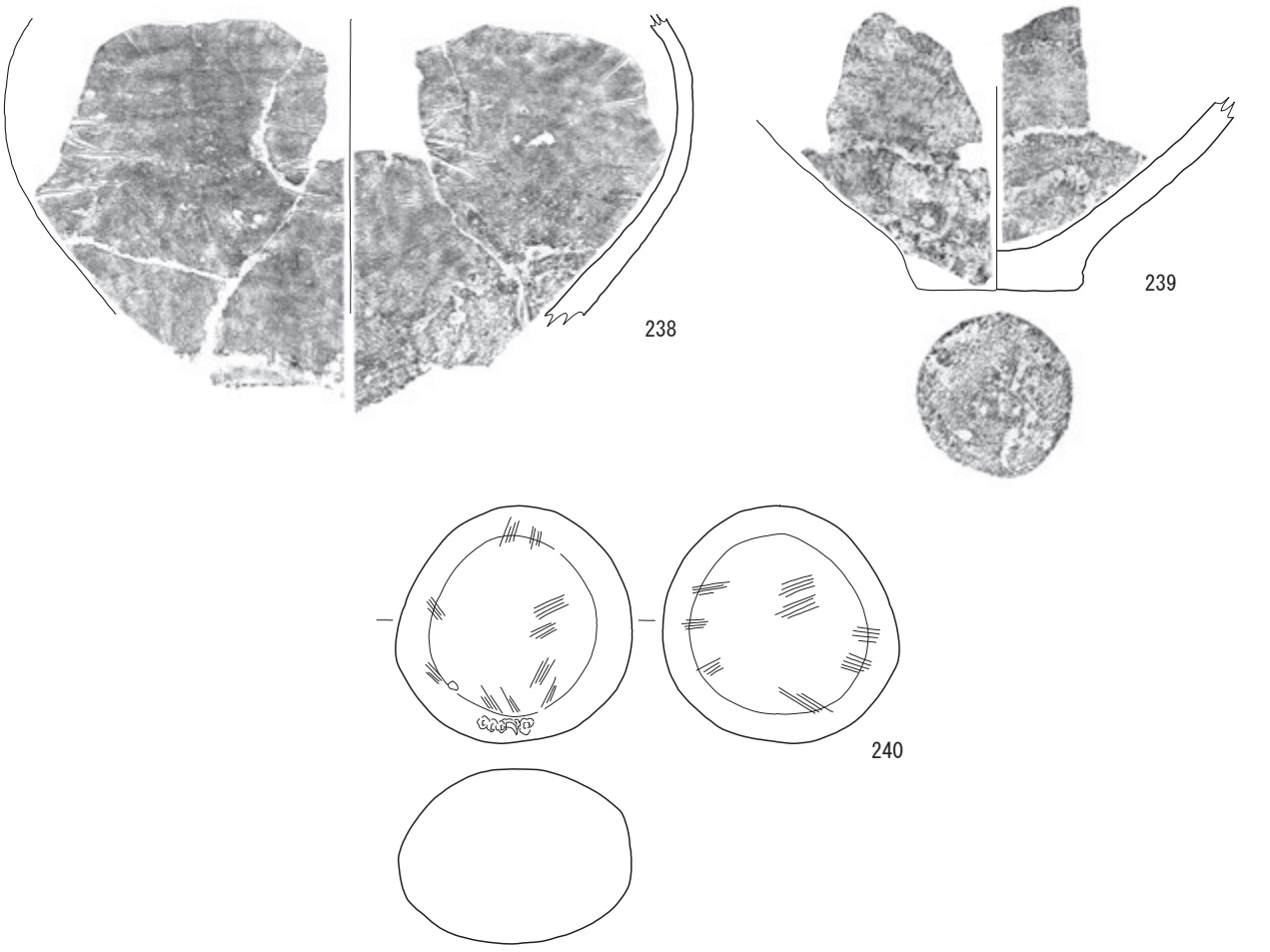
238 は底部からゆるやかに湾曲し，胴部中位を境に内側に湾曲が強まっていく器形である。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキが施されている。239 は平底で，ほぼ外傾する体部をもつ。外面は縦方向にミガキ調整が行われている。粗製土器と思われ，土器集中部１号出土の 237 と胎土は類似している。西平式系土器の深鉢の底部と考えられる。238 と 239 は別個体と考えられる。240 は円形の磨石で，断面形が楕円形で厚みがあり，全体に粗い擦り面をもつ。



第 199 図　土器集中部１号



第 200 図　土器集中部２号（１）



第 201 図　土器集中部２号（２）

土器集中部３号（第 202・203 図）

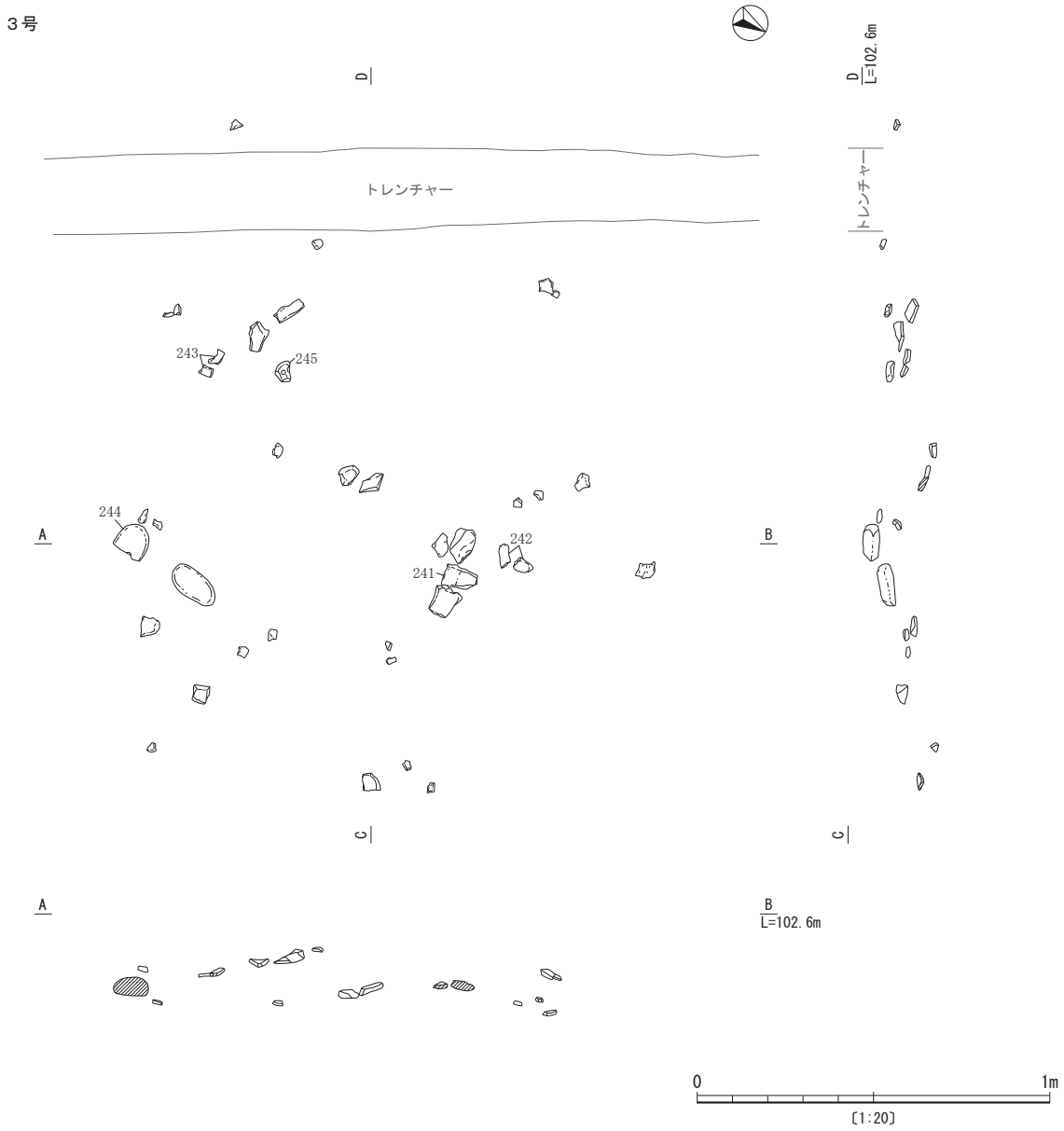
Ｃ地点，Ａ－ 22・23 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は円形で，径 180 ㎝におさまる。西側は現代の耕作によって攪乱を受けている。南東側に近接して土器集中部２号が位置する。土器３点と石器２点を図化した。

241 は口縁端部に狭い平坦面をもつ。内外とも横方向に少し粗めのヘラミガキが施されている。第Ｘ -c 類土器の特徴をもつ土器である。242,243 は共に胴部破片で，緩やかに湾曲する。また，明瞭な三角形文ではないが，緩やかな三角形文となる可能性のある文様帯と横位直線文を施す。243 には磨消縄文が施されている。第Ⅵ類土器と考えられる。244 は半円に欠損した楕円形の磨石で，表裏面に平滑な擦り面をもち，周縁部の稜線に部分的な敲打痕がみられる。245 は玉髄の原石礫で，不整形な多面体を呈する。一面に自然による凹穴をもち特徴的である。

土器集中部４号（第 204・205 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は不整形で 240 ㎝× 180 ㎝の範囲である。土器と伴に遺構中央部で大型の石皿等の石器類も出土した。出土遺物の中から土器３点と石器３点を図化した。南西側に近接して土器集中部５号が位置する。

246 は口縁端部が肥厚し，１条沈線と連続刺突を施す。胎土は金雲母を多く含む赤褐色である。外面はナデ調整を行っている。第Ⅸ類土器と考えられる。247 口縁端部に面をもたず，緩やかな波状口縁を呈し，口縁部は真っ直ぐ外反する。外面は縦方向，内面は横方向に丁寧にヘラミガキが施されている。248 は胴径がやや上位にきて肩が強く張る器形である。頚部の屈曲も強く，明確な稜をもち，無文土器第Ｘ -b 類の特徴をもつ。内外面とも丁寧にヘラミガキが施され，頚部外面は横方向へ調整が行われている。なお，取上番号 18409 に付着した炭化物



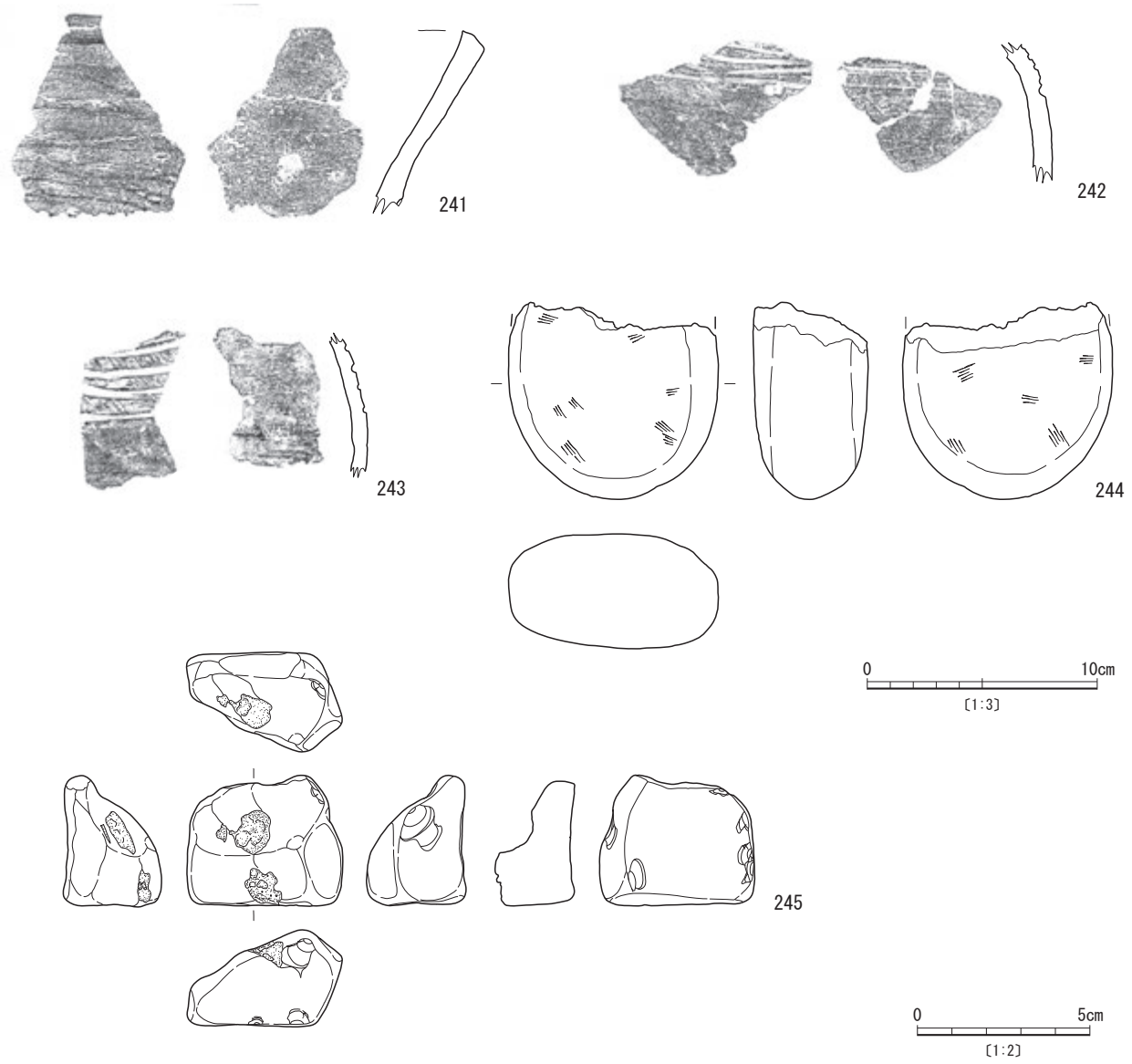
第 202 図　土器集中部３号（１）

で年代測定を実施したところ，1614calBC-1507calBC（第Ⅴ章第２節№.２）と 1638calBC-1531calBC（第Ⅴ章第６節№.28）の値を得た。また，第Ⅹ -c 類土器の特徴をもつ口縁部も２点出土している。249 は楕円形の石皿の欠損品で，完形であれば長径 50 ㎝ほどあったとみられる大型品である。表面のみを使用面として擦り窪んだ一面がみられる。なお，断面の裏面の抉れはトレンチャーよる破損である。250 は小型の楕円形の磨石で，表裏面に弱い擦り面がみられる。251 は小型の球形の磨石で，ほぼ全面に擦り面がみられる。

土器集中部５号（第 206 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 140 ㎝× 100 ㎝の範囲におさまる。現代の耕作により攪乱を受けており，遺構中心部は消失していた。北東側に近接して土器集中４号が位置する。出土遺物の中から３点を図化した。

252 は全体的に摩滅し不明瞭なところも多いが，口縁端部に狭い平坦面をもつ。無文土器第Ⅹ -c 類と考えられる。253 は上げ底の底部である。摩滅が激しく，調整は不明瞭である。西平式系土器の底部と考えられる。252 と 253 は別個体と判断した。254 はやや歪んだ円形の磨石で，礫形状を残しており，全体に弱い擦り面がみられる。

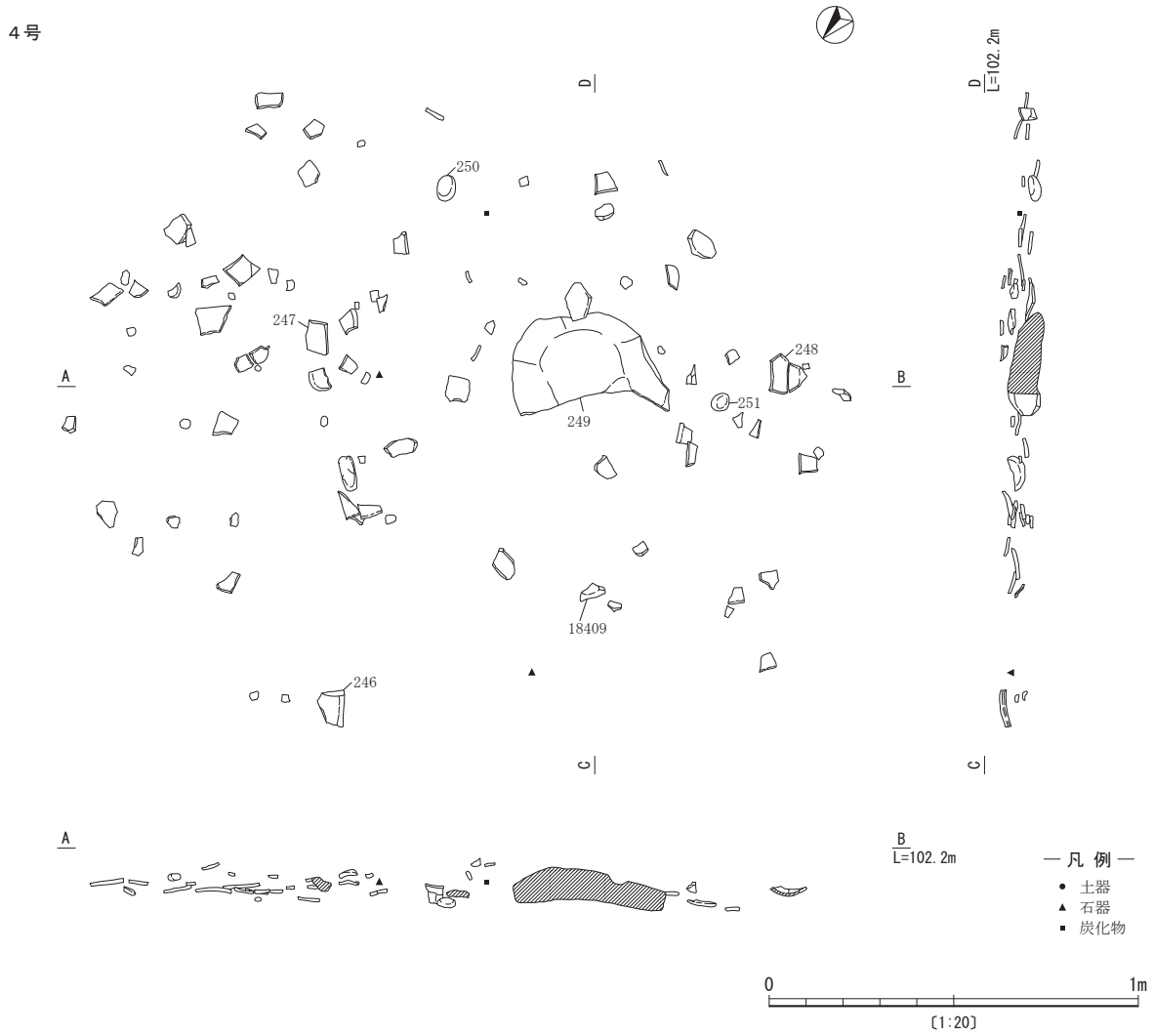


第 203 図　土器集中部３号（２）

土器集中部６号（第 207 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は不整形で長軸 200 ㎝の範囲である。西側 50 ㎝には土器集中部７号・８号が位置する。出土遺物の中から土器３点と石器１点を図化した。

255 は口縁端部が丸く，口縁部内部に沈線が引かれている。胴径がやや上位にあり，肩が張る。内外面とも丁寧にヘラミガキされ，口縁部から頚部外面は横方向にミガキ調整が行われている。口縁端部から頚部がやや短い。無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。256 は緩やかな波状口縁をもつ。口縁端部は丸いが口縁部内部に沈線，凹線はみられない。頚部内部は明確な稜をもつ。外面調整は横方向にヘラミガキされ，内面は少し摩耗して不明瞭である。第Ｘ -a 類と第Ｘ -b 類，どちらの可能性も考えられる。257 は肥厚する口縁部をもち直立する。胎土は金雲母を多く含み，滑石が入っていると思われる。平行沈線が頚部まで施され，口縁部の文様帯と胴部文様帯との区域が分かれていない。第Ⅴ -b 類土器と考えられる。その他にも 255 とは別個体の第Ｘ -b 類土器の口縁部や第Ｘ -c 類土器と考えられる土器，第Ⅴ -b 類土器の口縁も１点出土している。258 は打製石斧の調整剥片を用いたとみられる二次加工剥片で，一方の左側縁に鋭利な縁辺をもつ。

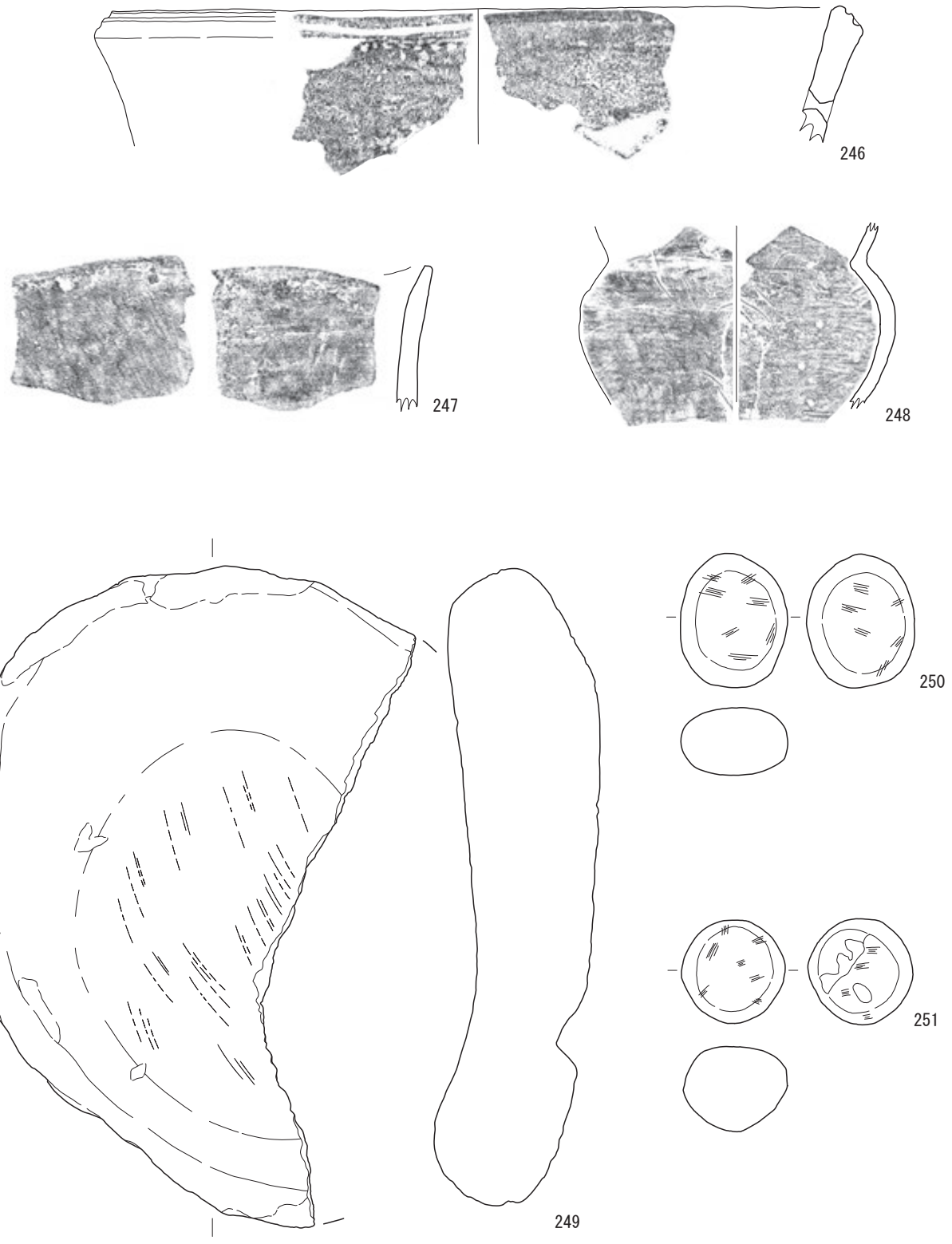


第 204 図　土器集中部４号（１）

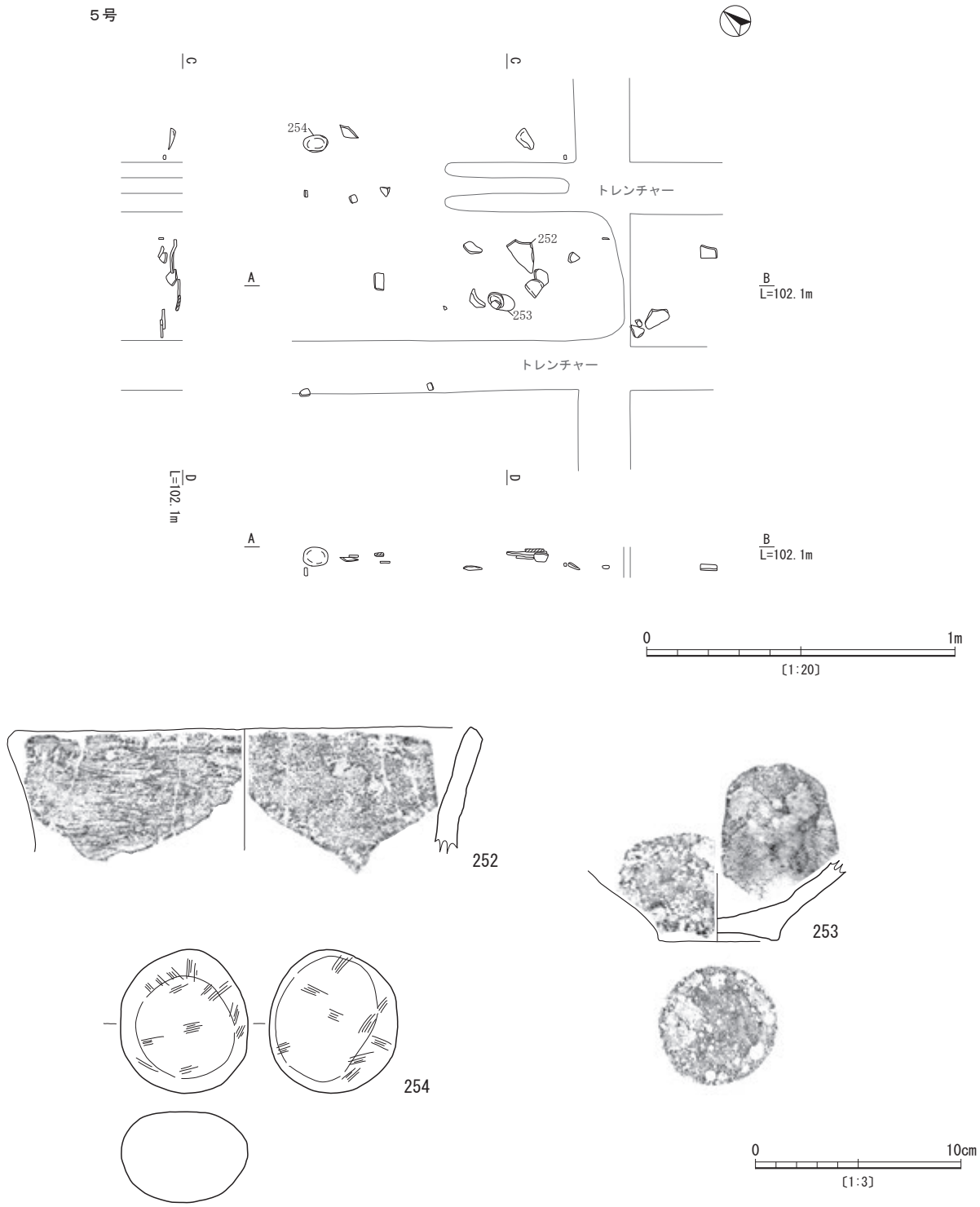
第30 表　土器集中部出土石器観察表

（）内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
201	240	SD2	B22	磨石	安山岩 A	9.40	9.25	6.90	884.00		18638
203	244	SD3	A22	磨石	安山岩 A	(8.50)	(9.10)	(4.90)	577.00		18680
203	245	SD3	A23	原石礫	玉髄	3.75	4.50	2.85	53.30		18690
205	249	SD4	B22	石皿	安山岩 A	(43.72)	(29.80)	(11.00)	15200.00		18395
205	250	SD4	B22	磨石	安山岩 A	6.60	5.20	3.30	188.50		18443
205	251	SD4	B22	磨石	安山岩 A	5.10	5.00	4.20	161.60		18400
206	254	SD5	B22	磨石	安山岩 A	7.00	6.15	4.45	273.00		17887
207	258	SD6	B22	二次加工剥片	頁岩 4	8.55	4.25	1.10	44.60		18889
208	263	SD7	B22	磨石	安山岩 A	6.25	6.00	2.20	113.10		19347
212	273	SD9	D22	磨敲石	安山岩 A	8.00	8.00	4.30	363.50		29042



第 205 図　土器集中部４号（２）



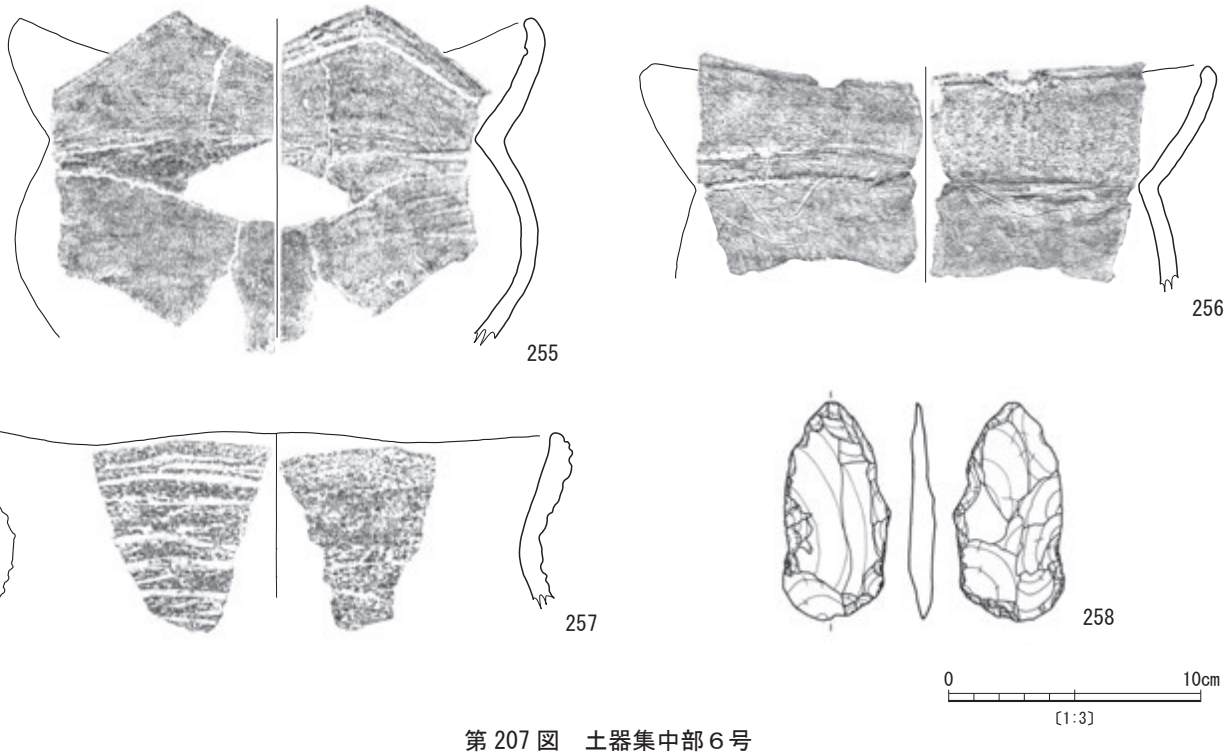
第 206 図　土器集中部５号

土器集中部７号（第 208 図）

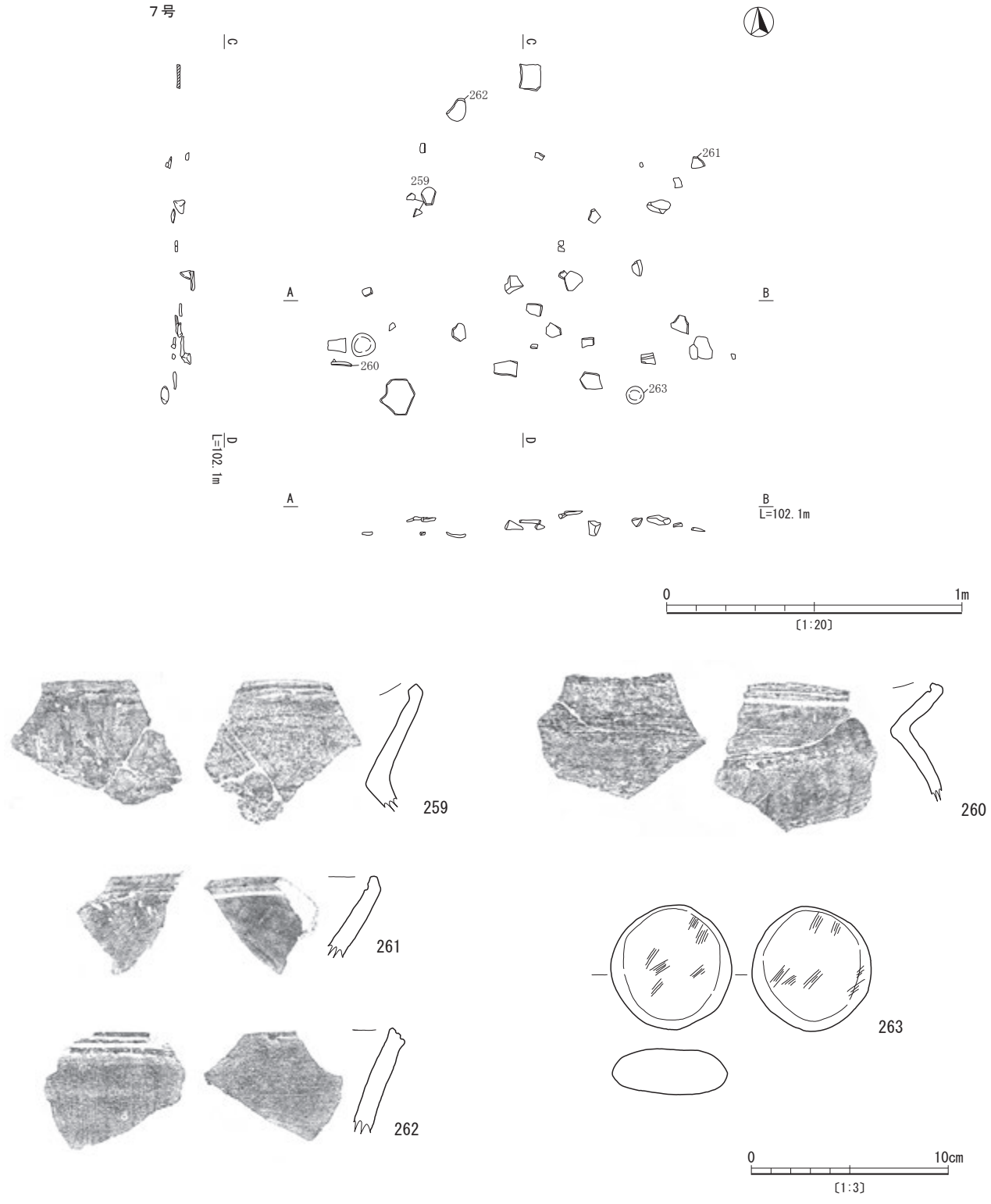
Ｃ地点，Ｂ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は円形で径 150 ㎝におさまる。西側に近接して土器集中４号が位置する。出土した土器は土器集中部６号・８号出土遺物と接合したため，３遺構は同時期に形成されたのと考えられる。出土遺物の中から５点図化した。

259 は内外面共に横方向に丁寧にヘラミガキされ，口縁内部に凹線が入る。頸部の稜も明瞭である。無文土器第Ｘ -a 類と考えられる。260 は平坦な口縁端部をもち，口縁部内部に沈線が引かれる。緩やかな波状口縁をもつ。胴径はやや上位にあると思われる。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされ，頸部から口縁部は短く，屈曲も





第 207 図　土器集中部６号



第 208 図　土器集中部 7 号

強い。無文土器第Ⅹ -b 類と考えられる。261 の口縁端部は狭い平坦面をもち，丸みは帯びない。口縁内部には沈線は入るものの，第Ⅹ -a 類土器と考えられる。262 は口縁端部の平坦面に 2 本沈線が施される。外面は縦方向，内面は横方向に丁寧にヘラミガキされ，口縁内部に凹線はみられない。第Ⅶ類土器の可能性もある。263 は小型扁平の円形の磨石で，表裏面に顕著な擦り面がみられる。

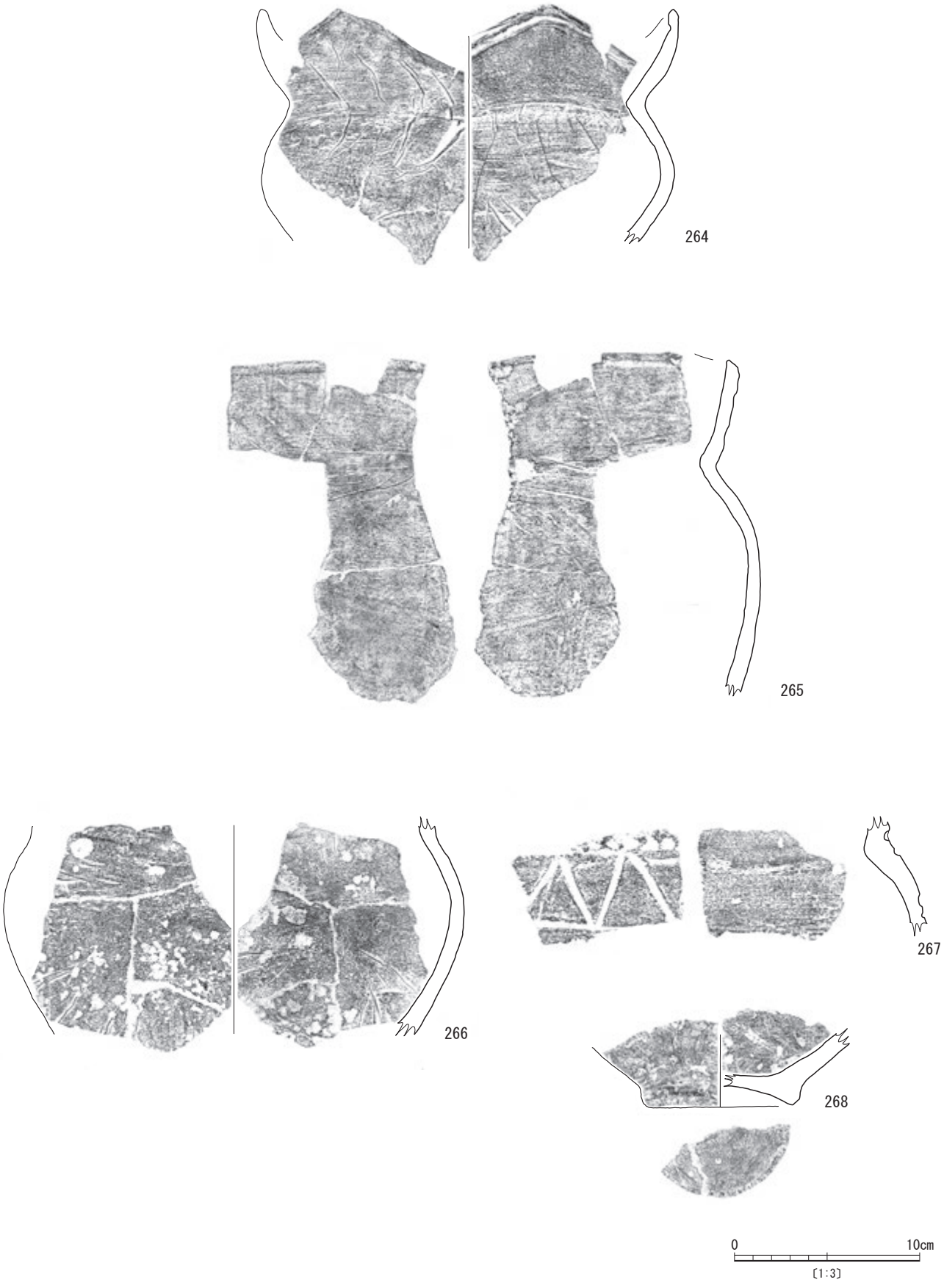


第 209 図　土器集中部８号（１）

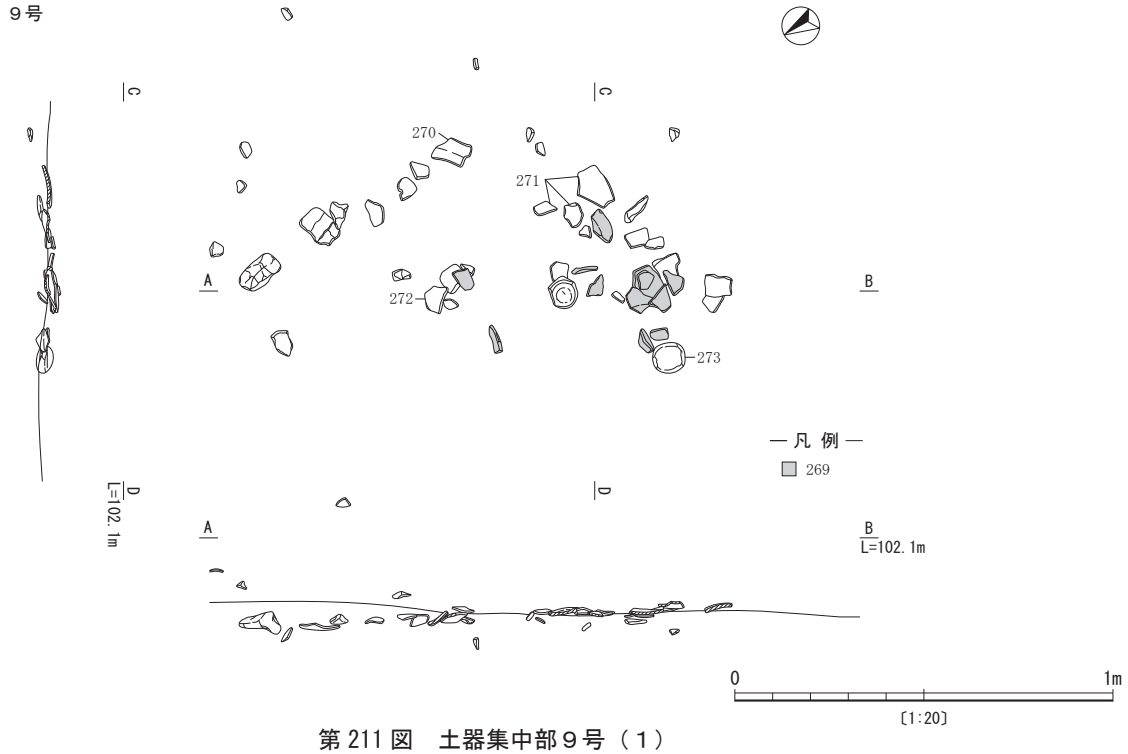
土器集中部８号（第 209・210 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 260 ㎝× 180 ㎝におさまる。東側に近接して土器集中部７号が位置する。出土遺物の中から土器を５点図化した。

264 は口縁端部が丸く，波状口縁である。口縁部内部に沈線が引かれ，頚部から口縁部まで短い。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。なお，264 は４ｍ東に位置する６号からも出土している。265 は口縁端部に平坦面をもつ。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。口縁部内部に凹線がみられないが，無文土器第Ｘ -a 類と考えられる。266 は胴径がやや上位にみられ，肩の張りから無文土器第Ｘ -b 類土器と考えられる。摩滅しており，調整は不明瞭であるが外面は横方向へのヘラミガキがみられる。267 の頚部の稜は明瞭ではない。胴部には三角形文が，頚部と胴部の屈曲部には刺突文が施されている。第Ⅵ類土器と考えられる。磨消縄文はみられない。268 は底端部が少し外へ張り出す上げ底である。外面は縦方向に丁寧にヘラミガキが施されている。西平式系土器の底部と考えられる。



第 210 図　土器集中部８号（２）



第 211 図　土器集中部９号（１）

土器集中部９号（第 211・212 図）

Ｃ地点，Ｄ－ 22 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 120 ㎝× 70 ㎝におさまる。掘り込みは確認できなかった。出土遺物の中から５点図化した。

269・270 は口縁端部が丸く，波状口縁である。口縁部内部に薄く沈線が引かれる。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。口縁端部から頚部がやや短い。269 は肩部の張りがあまり強くはない。どちらも無文土器第Ｘ -b 類と考えられるが，同一個体ではない。頚部と胴部の屈曲部には刺突文が，胴部には三角形文が施されており，第Ⅵ類土器と考えられる。271 の外面は横方向にヘラミガキされ，内面は摩滅し不明瞭である。肩部の張りの特徴から無文土器第Ｘ -b 類の可能性が考えられる。272 は口縁端部が丸く，沈線や磨消縄文は施されていない。273 はやや歪な円形の磨敲石である。表裏面に平滑な擦り面をもち，周縁部の一端に敲打痕が顕著である。

土器集中部 10 号（第 213 図）

Ｃ地点，Ｆ－ 23 区，Ⅱａ層で検出された。検出範囲は不整形で長軸 180 ㎝の範囲である。西側 50 ㎝に土器集中部７号・８号が位置する。出土遺物の中から３点図化した。

274 は緩やかな波状口縁で，口縁部内部に薄く凹線を施す。頚部の稜は明瞭で，内外面とも調整は横方向にヘラミガキがされている。肩部の張りは弱く，無文土器第Ｘ -a 類と考えられる。275，276 は口縁端部が丸く，口縁内側に沈線を施す。275 の沈線は明瞭である。緩やかな波状口縁をもつ。275 は頚部から破損しており，口縁部まで短い。内外面共に横方向に丁寧にヘラミガキされている。275・276 は接合はしなかったが，文様，胎土，焼成等が類似することから同一個体の可能性が高く，無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。無文土器第Ｘ -c 類の口縁と思われる遺物も１点出土している。

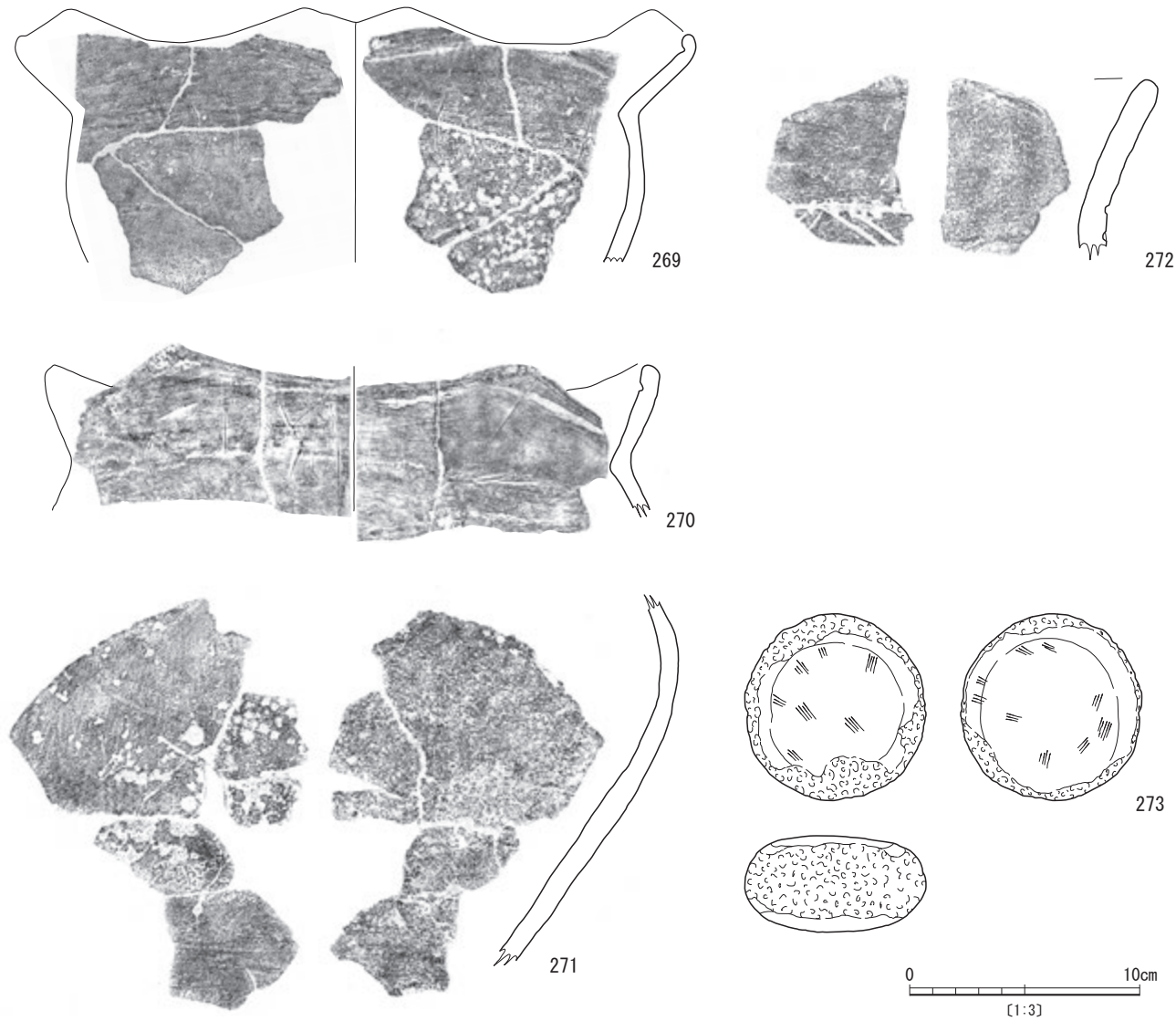
土器集中部 11 号（第 214 図）

Ｃ地点，Ｂ－ 24 区，Ⅱｂ層で検出された。検出範囲は円形で径 160 ㎝におさまる。本遺構は下位に土坑 72 号が検出されたが，検出面の高さに差があったため別遺構として判断した。

277 は口縁端部が丸く，口縁端部内側に沈線が巡る。全体的に焼成が悪く，調整は不明瞭である。頚部から口縁部まで短く，また肩部の張りが強い。280 は 277 と胎土，焼成等が類似しており同一個体の可能性が高いと考えられる。無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。278 の口縁端部は丸い。口縁部内側には沈線・凹線はみられない。内外面共に横方向にヘラミガキされている。小片のため，型式は不明である。279 は西平式系粗製土器の底部付近である。281 は上げ底の底部である。焼成が悪く，調整は不明瞭である。

土器集中部 12 号（第 215 図）

Ｂ地点，Ｇ－ 28・29 区，Ⅱｂ層で検出された。検出



第 212 図　土器集中部９号（２）

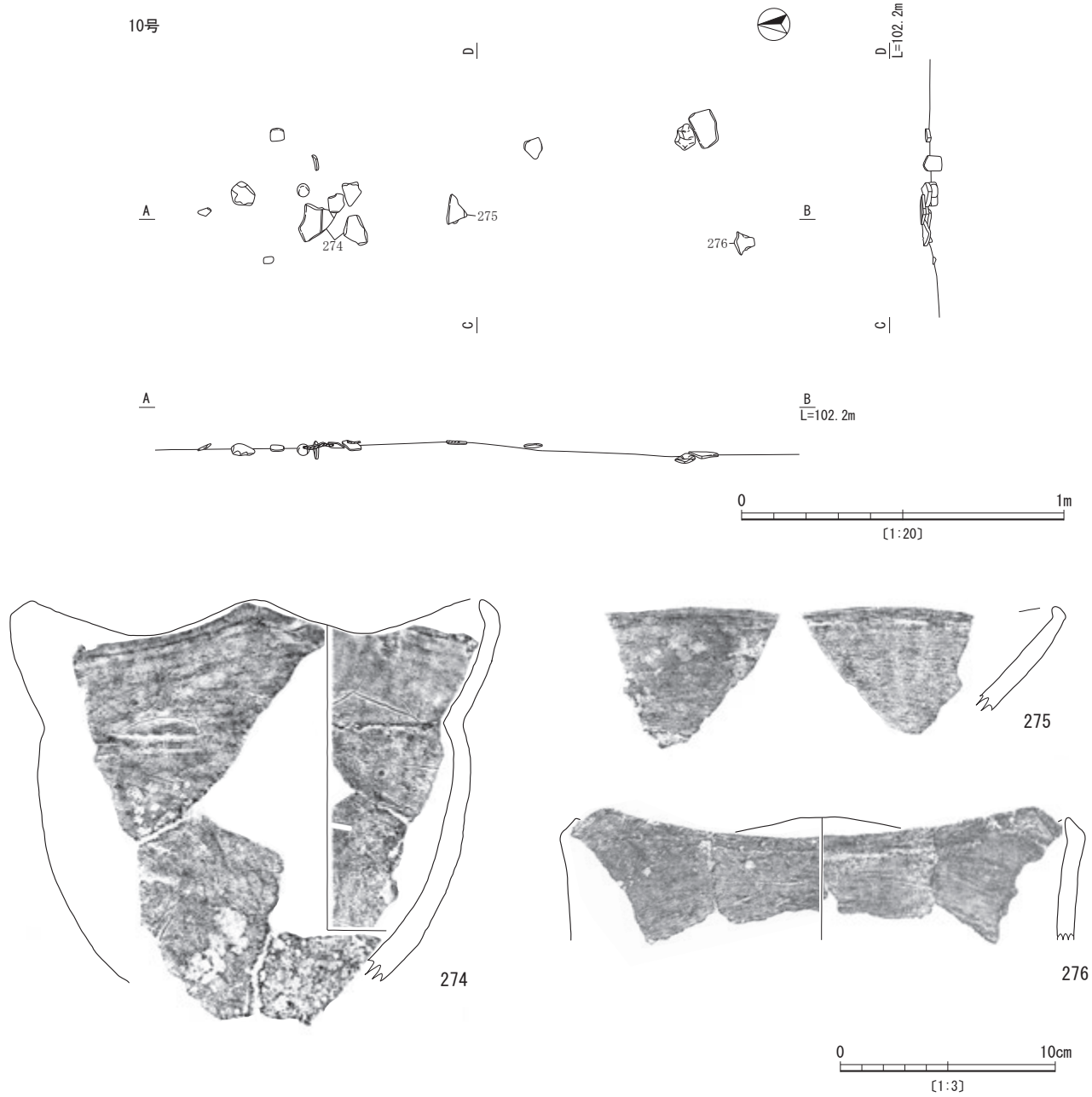
範囲は円形で径 150 ㎝におさまる。最も土器集中部が群集する位置から南西に 60 ｍ以上離れて検出された。掘り込みは確認できなかった。出土遺物の中から２点図示する。

282 は口縁端部に狭い平坦面をもち，内部に沈線が巡る。緩やかな波状口縁である。外面調整は横方向のヘラミガキで，内面は不明瞭である。胴径上位で肩部が張り出し，無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。283 は胴部中央付近で膨らみ，底部に向かってゆるやかに窄まる器形である。文様はみられない。ススが胴部中位に狭い範囲で付着している。粗製土器で，器壁も厚く，胎土と器形から第Ⅸ類土器もしくは第Ｘ -c 類土器の胴部の可能性も考えられる。

土器集中部 13 号（第 216 図）

Ｂ地点，Ｇ－ 30 区，Ⅱｂ層で検出された。検出範囲は円形で径 160 ㎝におさまる小規模な遺構である。東側 15 ｍに土器集中部 12 号，北側 20 ｍに土器集中部 15 号が位置する。土器の他，剥片も出土している。掘り込みは確認できなかった。土器３点を図化した。

284 は口縁端部に平坦な面をもつ。頸部の稜がみられる。外面調整は縦と横方向に調整が行われ，頸部は横方向への調整が行われている。口縁形状が少し異なるが，器形から無文土器第Ｘ -d 類と考えられる。285・286 は口縁端部に面をもたず，丸い。頸部から真っ直ぐ外反する。内外面とも横方向へミガキ調整が行われておりやや粗い。外面の横調整は卓越している。調整，胎土，焼成等が類似することから 285・286 は同一個体と考えられる。無文土器第Ｘ -d 類と考えられるが，284 とは別個体である。なお，286 に付着した炭化物で年代測定を実施したところ，1506calBC-1427calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№ 21）



第 213 図　土器集中部 10 号

土器集中部 14 号（第 217 図）

Ｂ地点，Ｄ－ 31 区，Ⅱｃ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 180 ㎝におさまる。掘り込みは確認できなかった。土器２点を図化した。

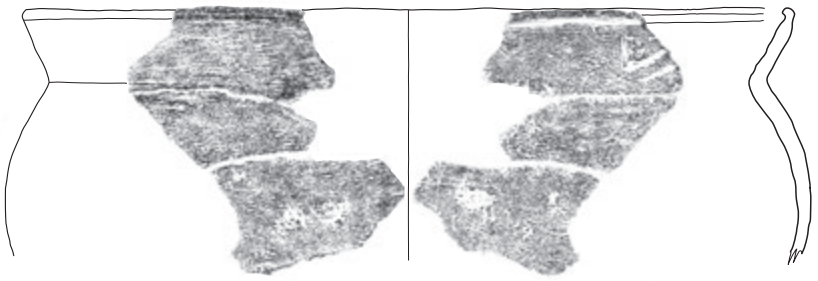
287 の口縁端部は丸く，口縁部内部に凹線・沈線は伴わない。外面調整は横方向のヘラミガキでやや粗い。無文土器第Ｘ -d 類と考えられる。288 の外面調整は全体的に横方向でやや粗い。第無文土器Ｘ -d 類の可能性もある。

土器集中部 15 号（第 218 図）

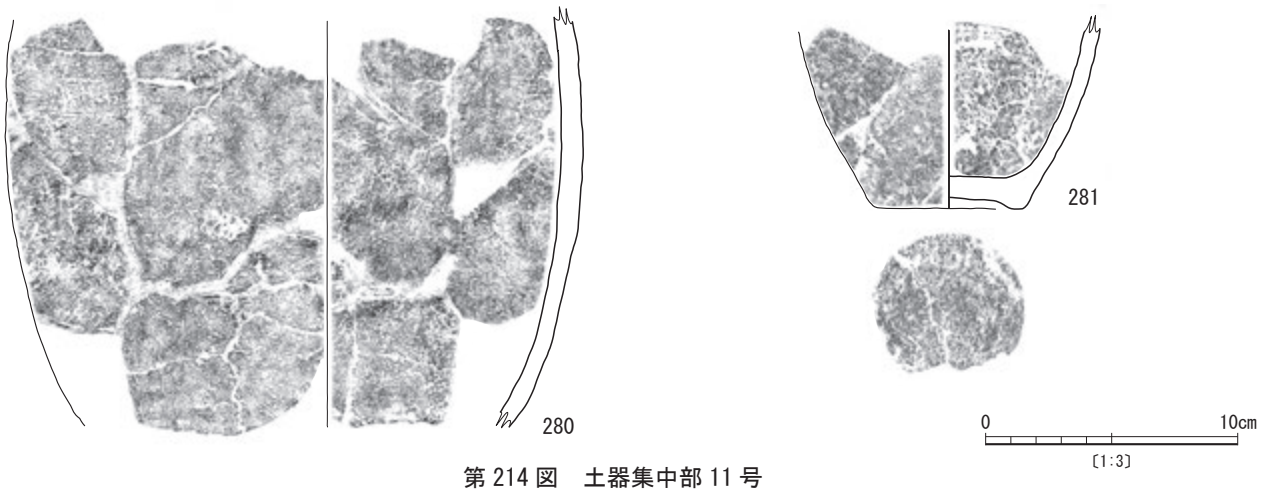
Ｂ地点，Ｅ・Ｆ－ 31 区，Ⅱｂ層で検出された。検出範囲は楕円形で径 130 ㎝× 120 ㎝におさまる。主体となるのは一個体の土器が横倒しになった状態で破損したものであった。掘り込みは確認できなかった。

289 は口縁端部が丸く，口縁端部内側に沈線が巡る。頚部から口縁部まで短く，頚部の屈曲も強い。また肩部の張りも強い。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。無文土器第Ｘ -b 類と考えられる。また，第Ｘ -c 類の口縁部も１点出土している。なお，289 に付着した炭化物で年代測定を実施したところ，1614calBC-1502calBC の値を得た。（第Ⅴ章第６節№ 22）

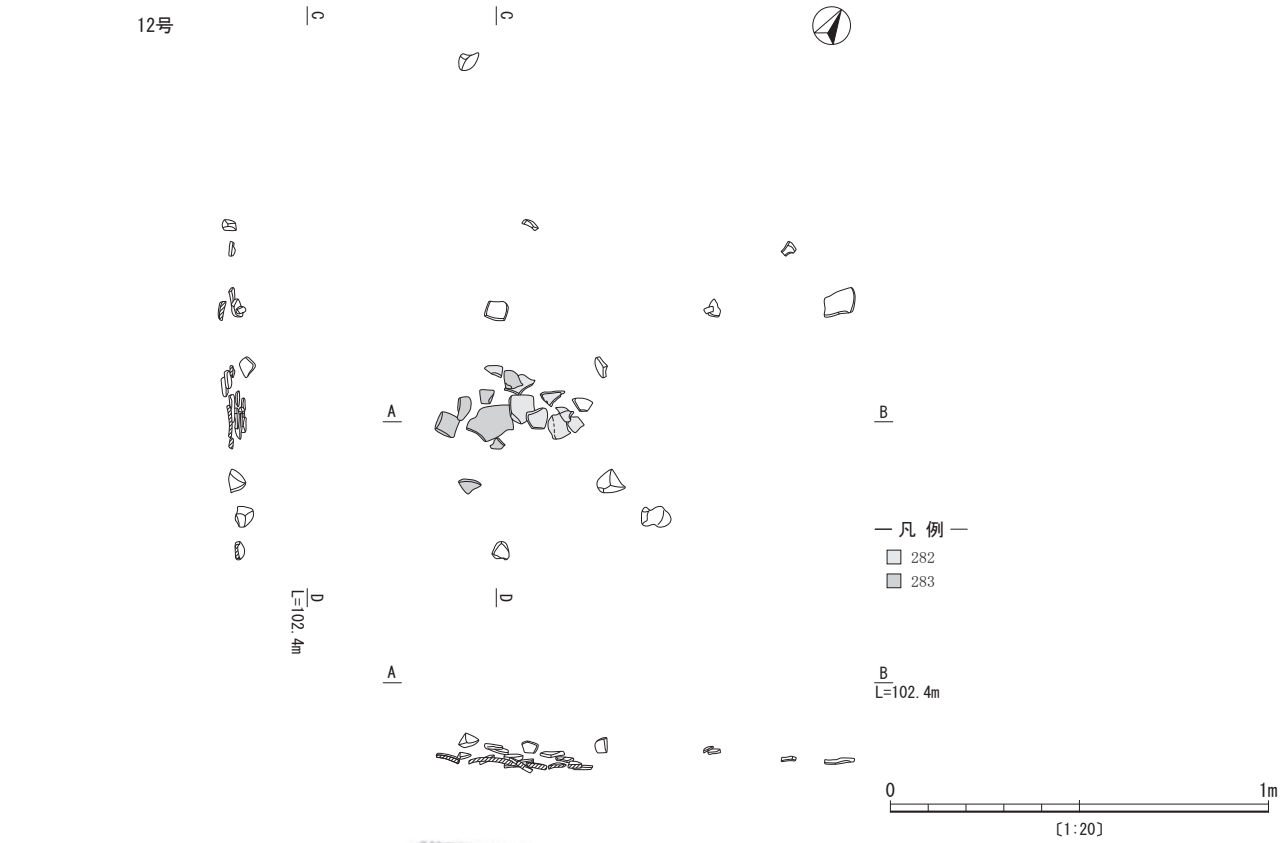








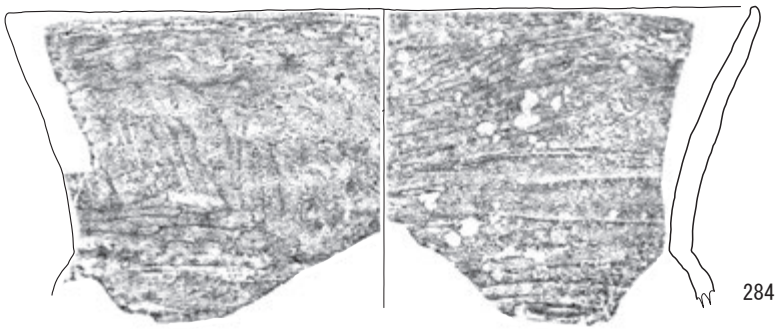
第 214 図　土器集中部 11 号

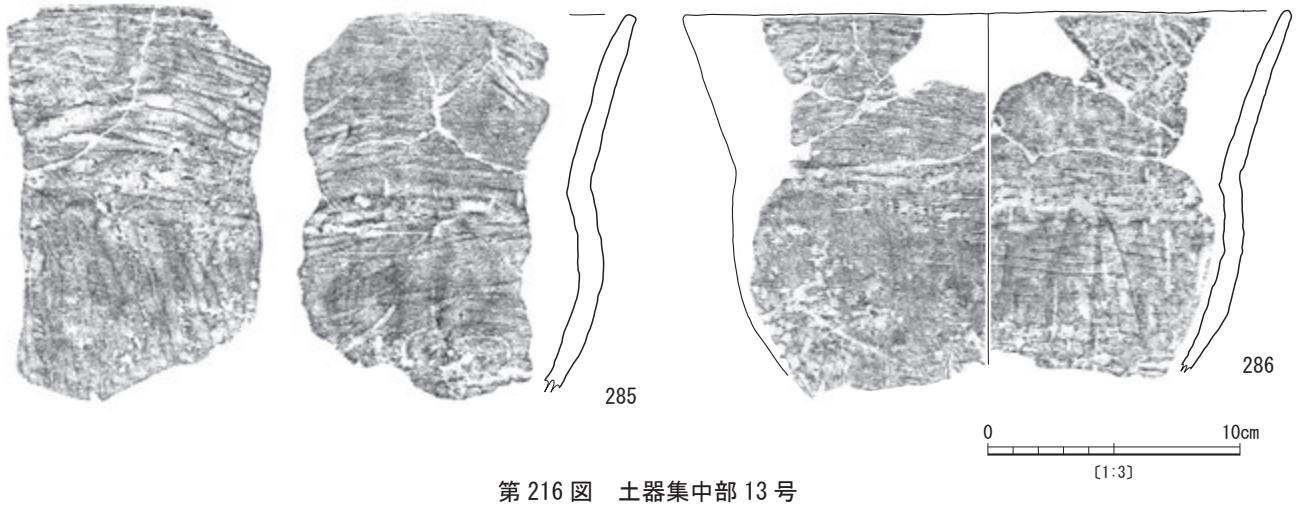




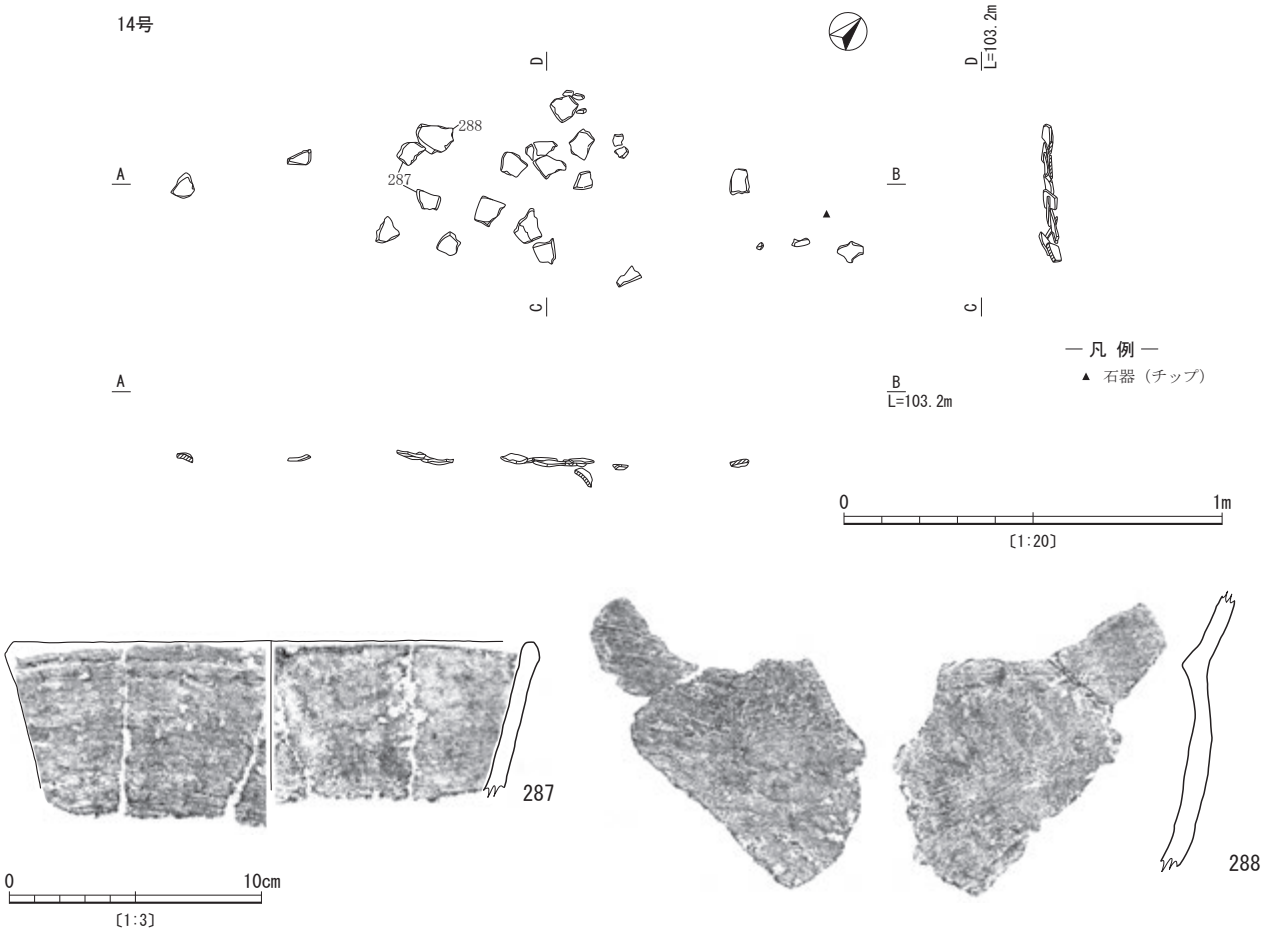
第 215 図　土器集中部 12 号







第 216 図　土器集中部 13 号



第217図　土器集中部14号

ウ　小結

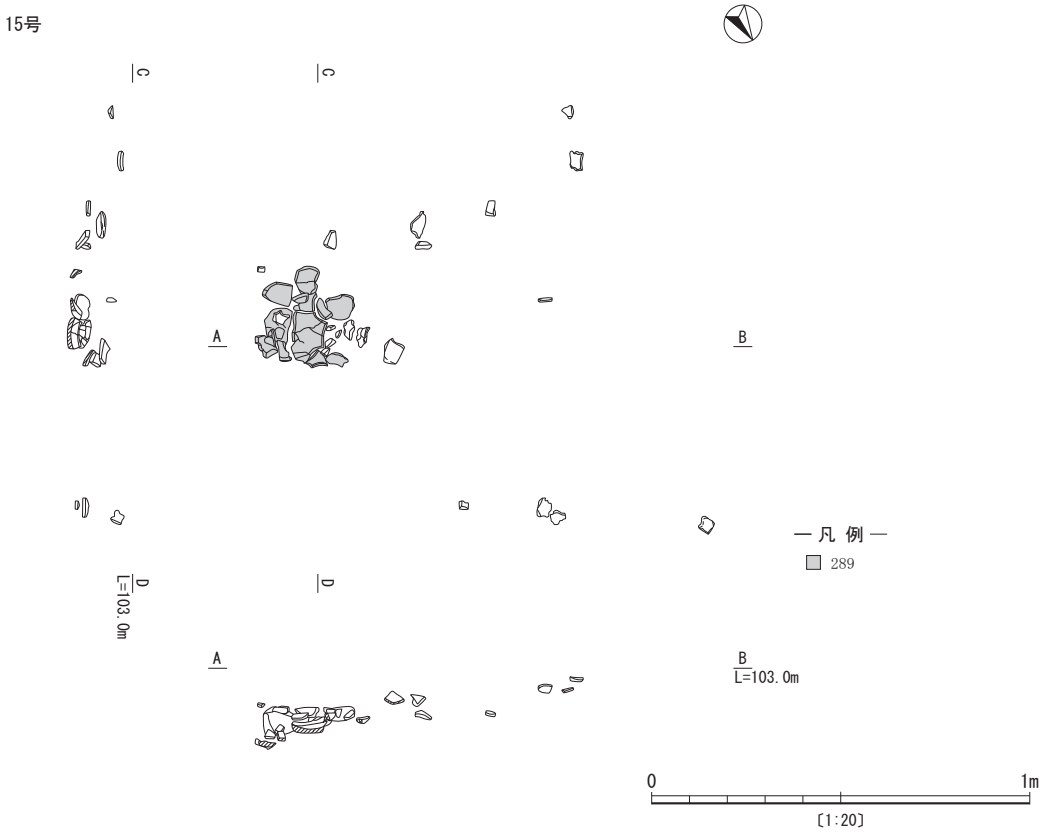
A～C－22・23区に最も土器集中部が集まっている。土器の類別でみると，無文土器第X-b類の土器集中部が最も多く，次に第X-c類・第X-a類と続く。配置状況からみると，第X-a類の土器集中部はC地点にしかなく，その他の第X-a類土器の分布状況もC地点にまとまりがみられる。第X-b類と第X-c類の土器集中部はB・C地点にあり，その他の第X-b類・第X-c類土器の分布状況も環状に重なる。一方，第X-d類はB地点にしかないものの，その他の第X-d類土器の分布状況はB地点よりもC地点に多く，C－22区周辺にまとまりがみられる。

西平式系の有文土器（第Ⅵ～第Ⅸ類土器）は無文土器に比べ，全体的に分布状況は薄い。その中で第Ⅵ類の土器集中部はA～D－22区に集中しているが，第Ⅵ類土器の分布状況はまばらである。

第31表　土器集中部出土土器観察表①

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様・調整		胎土						色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面		
199	237	1	Ⅵ～X	深鉢	E19	胴～底	横ナデ・縦ミガキ・指オサエ	縦ナデ	○	○	△		○	△		5YR5/6	明赤褐	7.5YR3/2	黒褐	コゲ 底径：6.7	20733他
201	238	2	Ⅵ～X	深鉢	B22・23	胴	横縦ミガキ	丁寧な横ナデ・横ミガキ	○	○			○	△		7.5YR4/3	褐	7.5YR2/2	黒褐		18667他
	239	2	Ⅵ～X	深鉢	B22	胴～底	縦ミガキ・指オサエ	丁寧な横工具ナデ	△	△			△	△		5YR5/4	にぶい赤褐	7.5YR3/1	黒褐	底径：6.3	18646他
203	241	3	X c	深鉢	A23	口縁	刺突・横工具ナデ	横工具ナデ	○	△	△		△	△		7.5YR3/1	黒褐	7.5YR5/6	明褐		18702
	242	3	Ⅵ～X	深鉢	A23	胴	刺突・沈線・横工具ナデ	横工具ナデ	△	△	△		△	△		7.5YR5/3	にぶい褐	7.5YR6/4	にぶい橙		18698他
	243	3	Ⅵ	深鉢	B23	胴	磨消縄文・沈線・横ミガキ	横ミガキ	△	△	△				小礫△ 橙色砂粒△	7.5YR2/2	黒褐	5YR5/6	明赤褐		18687他
205	246	4	Ⅸ	深鉢	B22	口縁	穿孔・横ナデ・横斜工具ナデ	横工具ナデ	◎	○		○	○			2.5YR4/3	にぶい赤褐	2.5YR5/6	明赤褐	口唇：沈線・連続刺突文 口径：(38.0)	18411



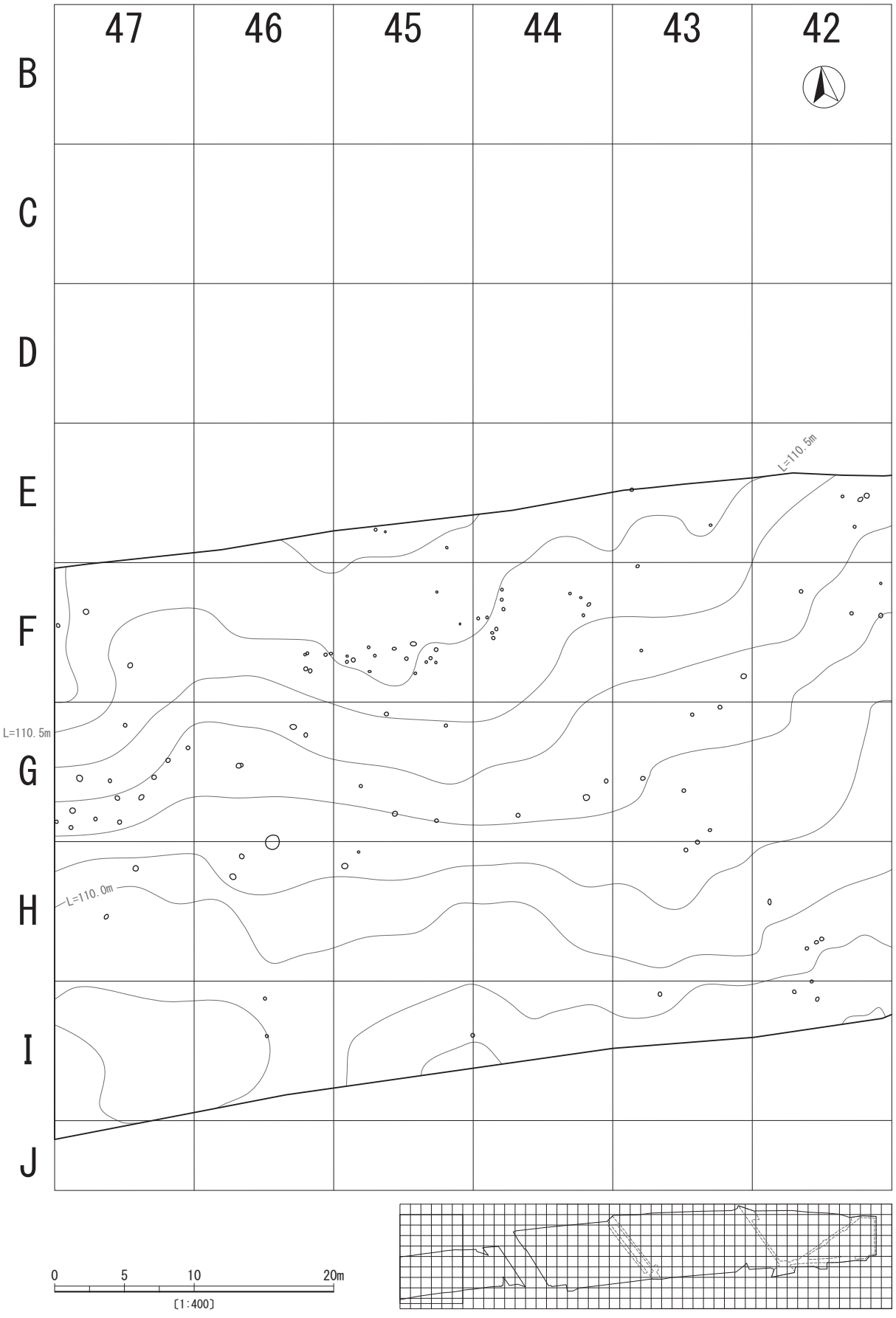


第 218 図　土器集中部 15 号

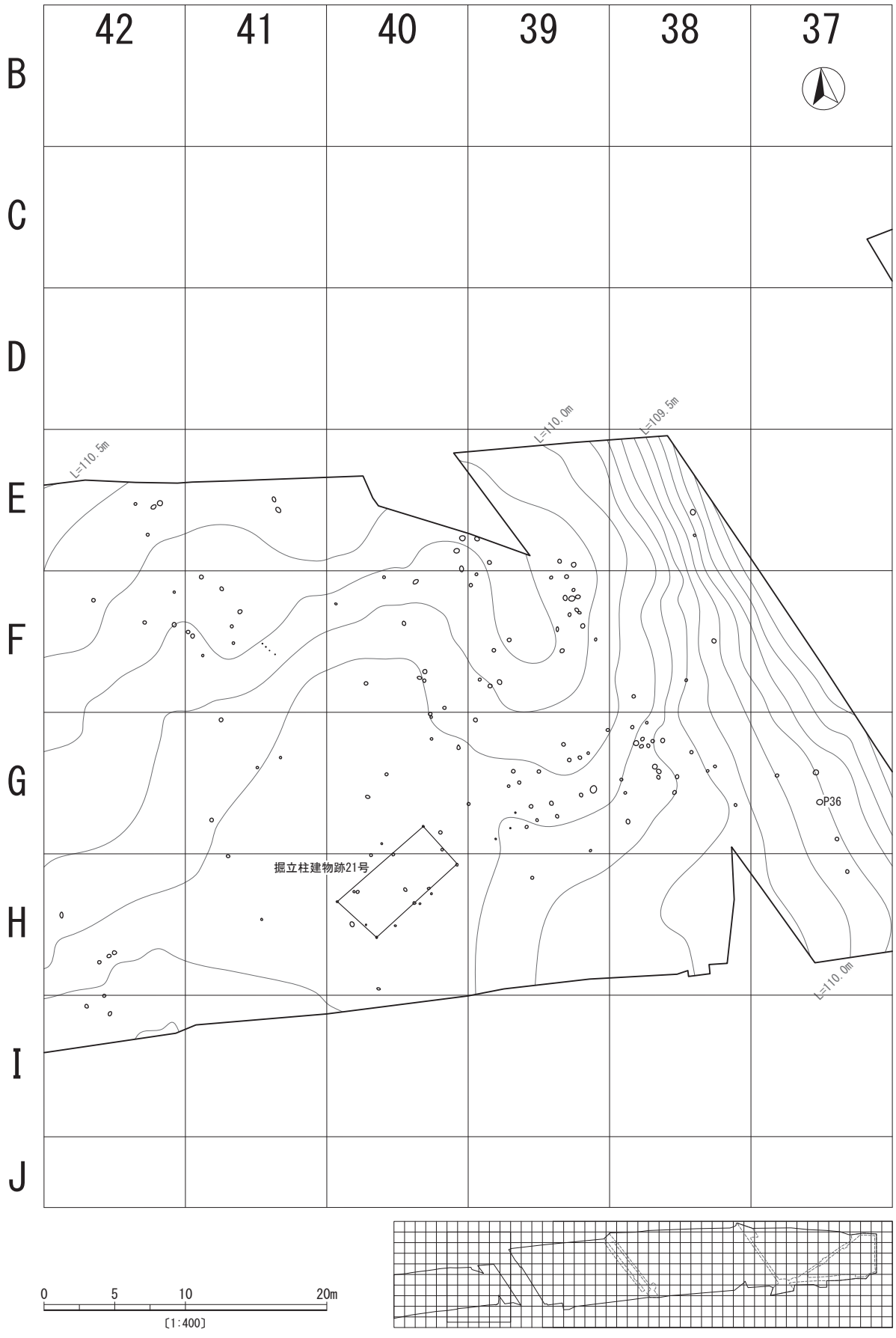
第32表　土器集中部出土土器観察表②

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

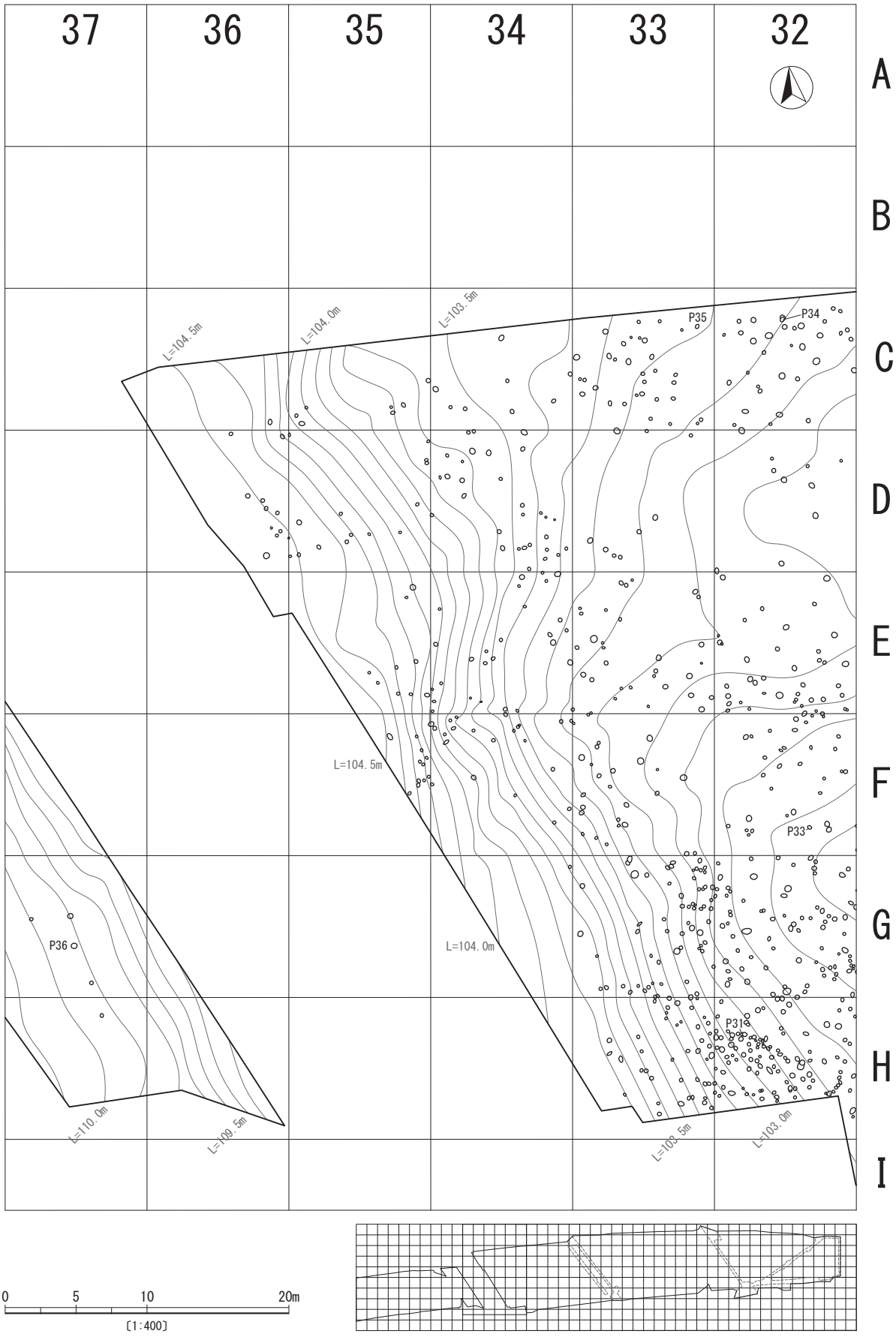
挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様・調整		胎土							色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面			
205	247	4	不明	深鉢	B22	口縁	縦ミガキ	横ミガキ	○	△			○			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/2	黒褐	スス 波状口縁 口径：(25.6)	18434
	248	4	Ⅹb	深鉢	B22	頚～胴	横縦ミガキ	横ミガキ	△	△	△		◎		黒曜石？	10YR2/2	黒褐	5YR4/4	にぶい赤褐		18448
206	252	5	Ⅹc	深鉢	B22	口縁	横ミガキ	摩滅（横ナデ）	◎	△	△		△	△		7.5YR4/2	灰褐	7.5YR5/4	にぶい褐	スス 口径：(23.0)	17897
	253	5	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	B22	底	剥落（縦ミガキ）	剥落（横ナデ）	○	○			◎	△		7.5YR4/3	褐	7.5YR4/4	褐	コゲ 底径：5.8	17900
207	255	6	Ⅹb	深鉢	B22	口縁～胴	横縦ミガキ	沈線・横ミガキ	△	△			○			5YR3/2	暗赤褐	5YR2/2	黒褐	口径：(21.0)	18879 他
	256	6	Ⅹa かⅩb	深鉢	B22	口縁～胴	横縦ミガキ	横ナデ	◎	○	○		○			7.5YR3/2	黒褐	7.5YR4/6	褐	スス 口径：(22.6)	18893
	257	6	Ⅴb	深鉢	B22	口縁～頚	横ナデ	横ナデ	△	△		◎			小礫△	7.5YR3/1	黒褐	7.5YR4/3	褐	スス 口径：(23.1)	18860
208	259	7	Ⅹa	深鉢	B22	口縁～頚	横ナデ・横ミガキ	凹線・横ナデ	○	○	△		○			5YR4/3	にぶい赤褐	5YR4/6	赤褐		19321 他
	261	7	Ⅹa	深鉢	B22	口縁	横ミガキ	沈線・斜工具ナデ・斜ミガキ	○	△			◎			5YR3/2	暗赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐		19324
	262	7	Ⅶ	深鉢	B22	口縁	縦工具ナデ・縦ミガキ	横ミガキ	○	○	△		○			5YR3/1	黒褐	5YR2/1	黒褐	口唇：沈線	19318
	260	7	Ⅹb	深鉢	B・C22	口縁～胴	ナデ・ミガキ	沈線・ナデ・ミガキ	○	○			◎			7.5YR2/2	黒褐	7.5YR3/3	暗褐	スス 波状口縁	19335 他
210	264	8	Ⅹb	深鉢	B22	口縁～胴	横ミガキ	凹線・横ミガキ	△	○			○	△		2.5YR3/3	暗赤褐	2.5YR3/1	暗赤灰	波状口縁 口径：(22.6)	18876 他
	265	8	Ⅹa	深鉢	B22	口縁～胴	横斜ミガキ	横ミガキ	△	△	△	△	○			7.5YR3/3	暗褐	7.5YR3/1	黒褐		19401 他
	266	8	Ⅹb	深鉢	B22	胴	横縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	○			◎		橙色砂粒○	7.5YR3/2	黒褐	7.5YR5/3	にぶい褐	スス	17993 他
	267	8	Ⅵ	深鉢	B22	頚～胴	刺突・沈線・横工具ナデ	横工具ナデ	◎	△			○	△		10YR6/3	にぶい黄橙	10YR5/2	灰黄褐	スス	19369
	268	8	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	B22	底	横縦ミガキ・指オサエ	斜ナデ・指オサエ	○	○	△		○			2.5YR4/4	にぶい赤褐	5YR4/1	褐灰	底径：(8.1)	19359 他
212	269	9	Ⅹb	深鉢	D22	口縁～胴	横斜ミガキ	摩滅（凹線・横ミガキ）	○	○			○			5YR4/3	にぶい赤褐	5YR4/2	灰褐	スス 波状口縁 口径：(28.8)	29027 他
	270	9	Ⅹb	深鉢	D22	口縁～頚	横縦ミガキ	沈線・横ミガキ	△	△	△		○			7.5YR3/2	黒褐	5YR4/3	にぶい赤褐	波状口縁 口径：(26.5)	29008 他
	271	9	Ⅹb	深鉢	D22	胴	横縦ミガキ	横ナデ	◎	○	△		○			5YR3/2	暗赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐	スス	27113 他
	272	9	Ⅵ	深鉢	D22	口縁～頚	沈線・連続刺突文・横ナデ	横ナデ	◎	○	△	△	○			7.5YR5/3	にぶい褐	7.5YR6/4	にぶい橙	スス	29351
213	274	10	Ⅹa	深鉢	F23	口縁～胴	横ナデ・横縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	○	○		○	△		7.5YR4/3	褐	7.5YR3/2	黒褐	スス 波状口縁 口径：22.6	26351 他
	275	10	Ⅹb	深鉢	F23	口縁	横ミガキ	沈線・横ナデ・横ミガキ	◎	◎	△	△	○			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR2/2	黒褐	スス	27623
	276	10	Ⅹb	深鉢	F23	口縁	横ミガキ	凹線・横ミガキ	○	○			◎			10YR6/4	にぶい黄橙	10YR2/2	黒褐	スス 波状口縁 口径：22.1	25851 他
214	277	11	Ⅹb	深鉢	B24	口縁～胴	丁寧な横工具ナデ	沈線・丁寧な横工具ナデ	△	△	△		○	△		10YR6/4	にぶい黄橙	10YR6/4	にぶい黄橙	口径：30.4	17884 他
	278	11	不明	深鉢	B24	口縁	横ミガキ	沈線・横ミガキ	△	△	△				小礫△	7.5YR3/2	黒褐	7.5YR3/2	黒褐		-
	279	11	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	B24	胴部	丁寧な縦工具ナデ	横工具ナデ	◎	○				◎		10YR6/4	にぶい黄橙	10YR5/3	にぶい黄褐		17879
	280	11	不明	深鉢	B24	胴部	縦工具ナデ	縦工具ナデ	△	△			○		小礫△	7.5YR5/6	明褐	7.5YR6/6	橙		17886 他
	281	11	不明	深鉢	B24	胴～底	縦工具ナデ	摩滅（縦工具ナデ）	△	△				△		10YR6/2	灰黄褐	10YR6/4	にぶい黄橙	底径：(6.0)	17883 他
215	282	12	Ⅹb	深鉢	G28・29	口縁～胴	横縦ミガキ	沈線・横工具ナデ・縦ミガキ	○	○			○	△		5YR4/3	にぶい赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐		SD7-8 他
	283	12	Ⅸか Ⅹc	深鉢	G29	胴	縦工具ナデ・縦ミガキ	摩滅（斜工具ナデ）	◎	○	△			○		7.5YR6/6	橙	7.5YR6/4	にぶい橙	スス	SD7-1 他
216	284	13	Ⅹd	深鉢	G30	口縁～胴	縦工具ナデ・横ミガキ	横工具ナデ・横ミガキ	◎	△	△	△	△			7.5YR2/2	黒褐	7.5YR3/3	暗褐	スス	SD6-1 他
	285	13	Ⅹd	深鉢	G30	口縁～胴	粗い横縦ミガキ	横ミガキ	○	△	△		○	○		7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/4	暗褐	スス	SD6-8
	286	13	Ⅹd	深鉢	G30	口縁～胴	横ナデ・横縦ミガキ	横工具ナデ・横ミガキ	○		△		△		黄色砂粒△	5YR3/3	暗赤褐	5YR3/1	黒褐	スス	SD6-2 他
217	287	14	Ⅹd	深鉢	D31	口縁	横ナデ・粗い横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	○	△		○			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/1	黒褐	スス コゲ	7959 他
	288	14	Ⅹd	深鉢	D31	頚～胴	横ナデ・粗い横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	△	△		○		小礫△	10YR3/1	黒褐	10YR3/3	暗褐	スス コゲ	7960 他
218	289	15	Ⅹb	深鉢	E・F31	口縁～底	横縦ミガキ	沈線・横ミガキ	△	△			○			5YR3/4	暗赤褐	5YR2/2	黒褐	波状口縁	SD8-2 他



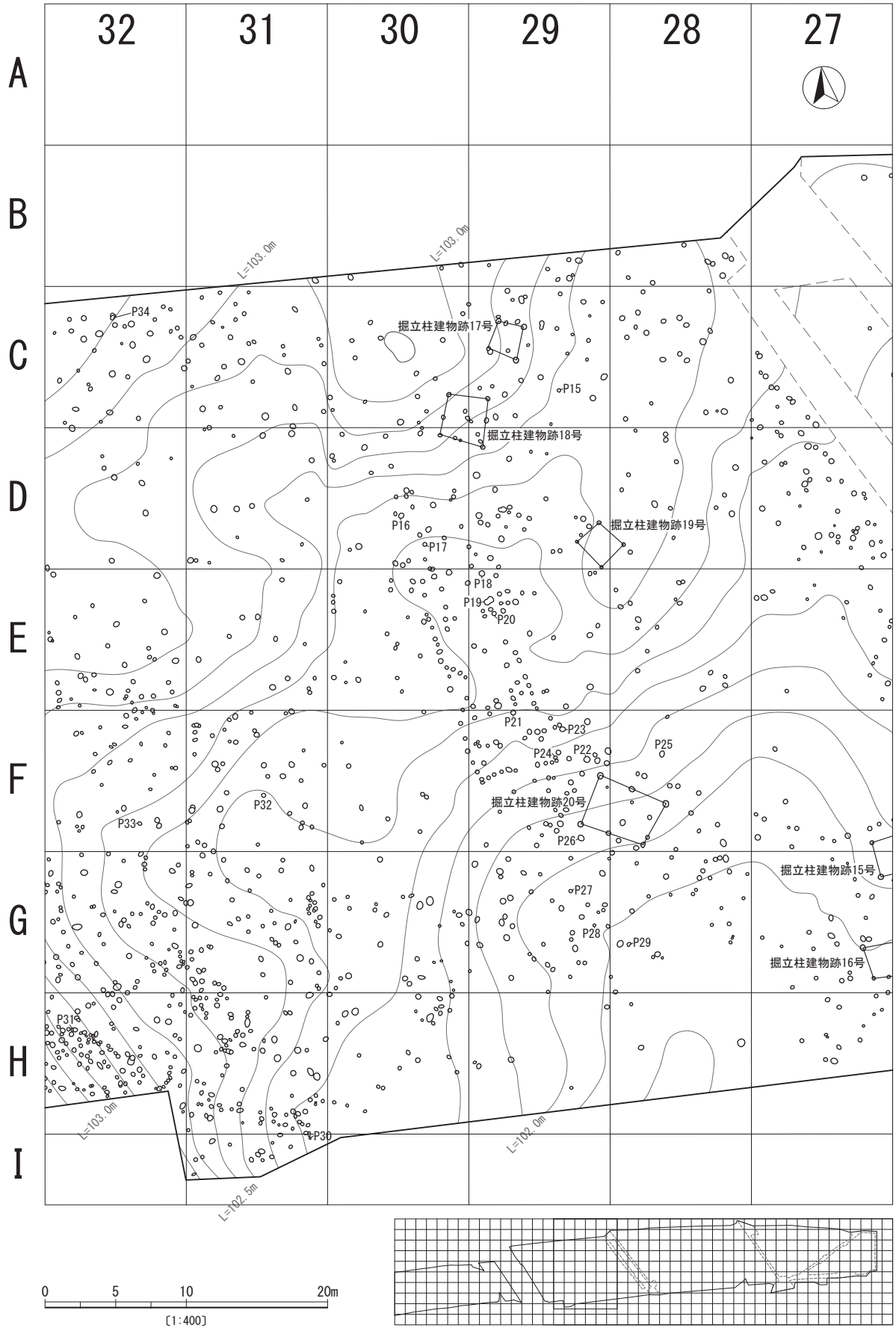
第 219 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（１）



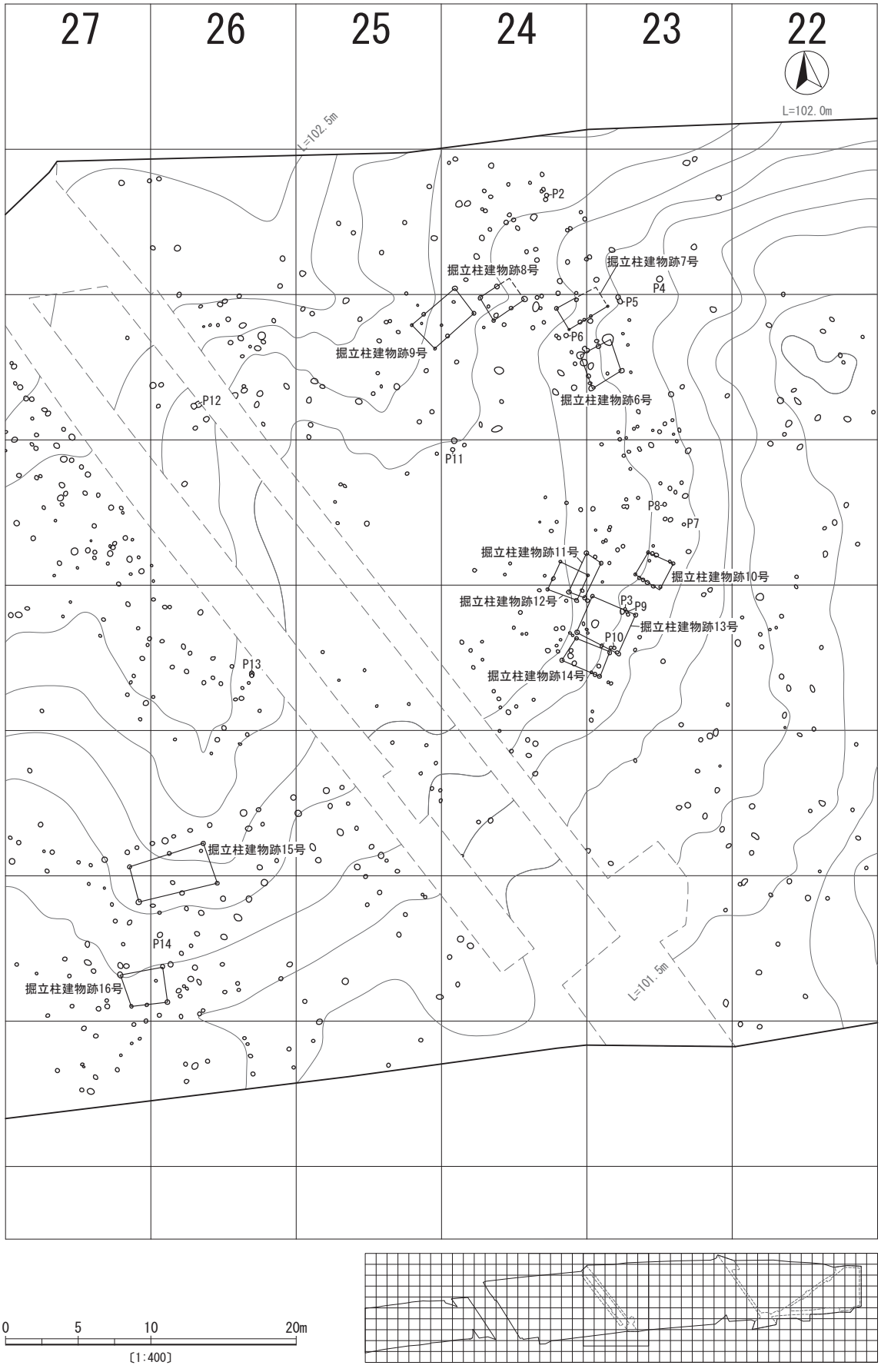
第 220 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（２）



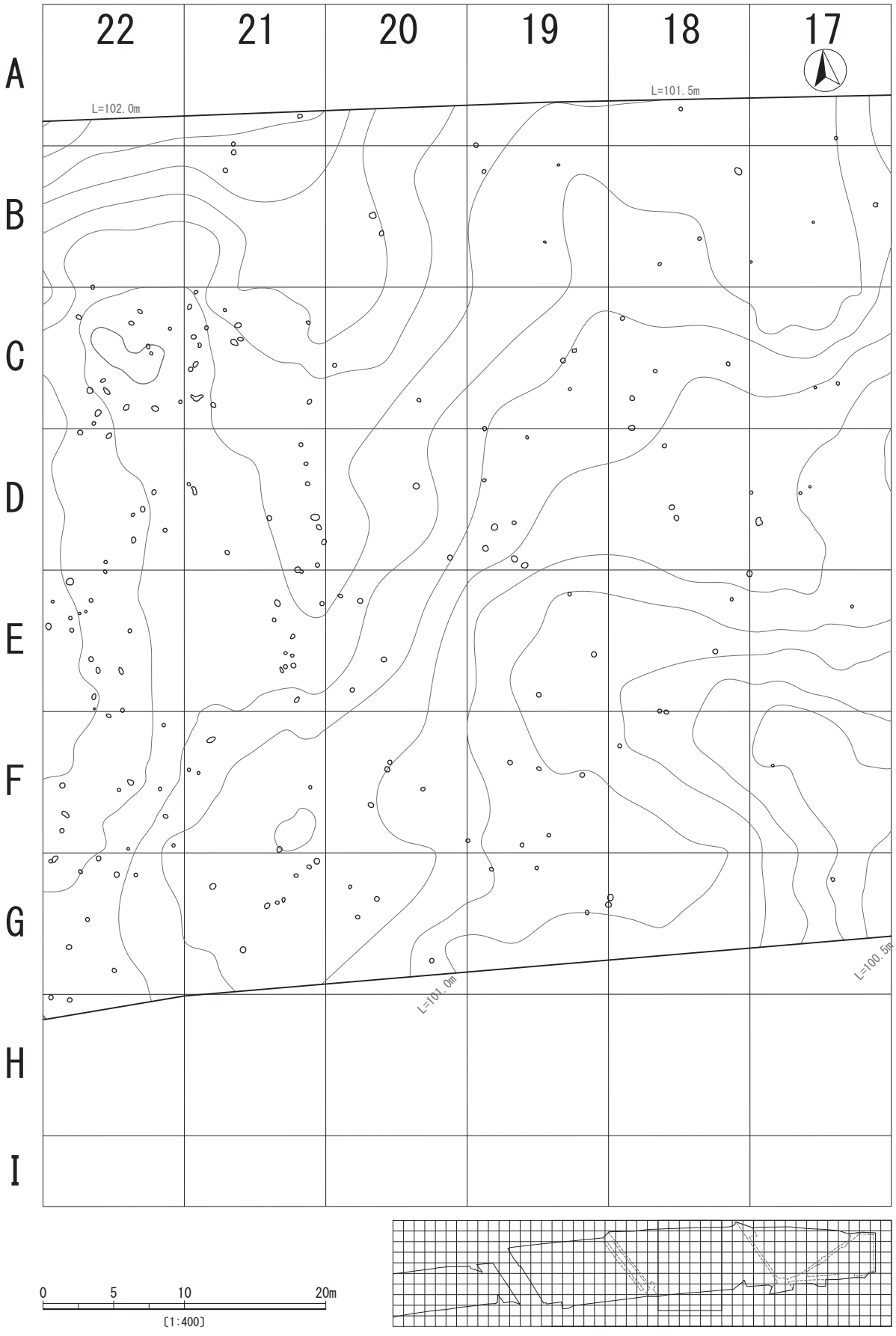
第 221 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（３）



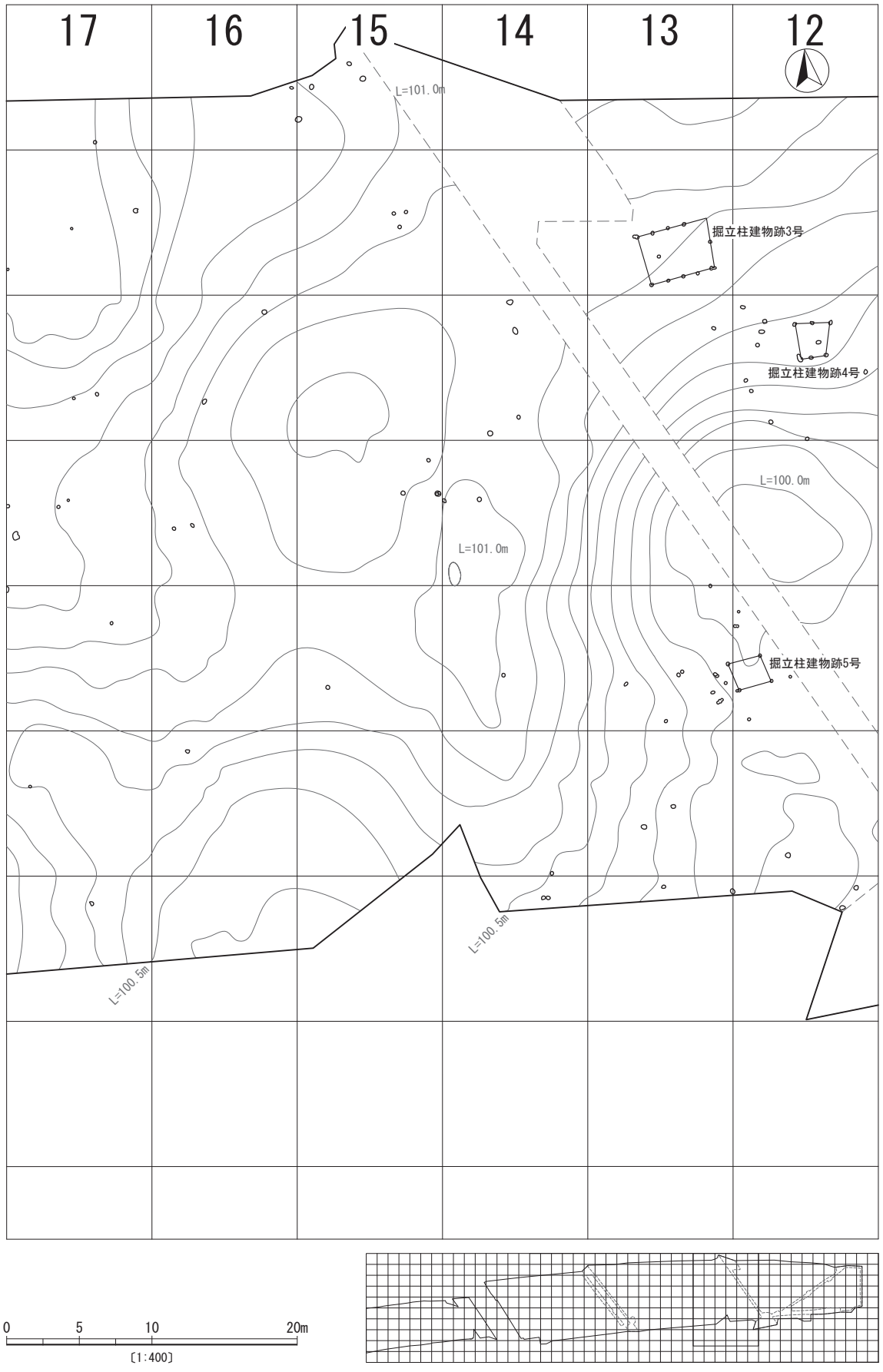
第 222 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（４）



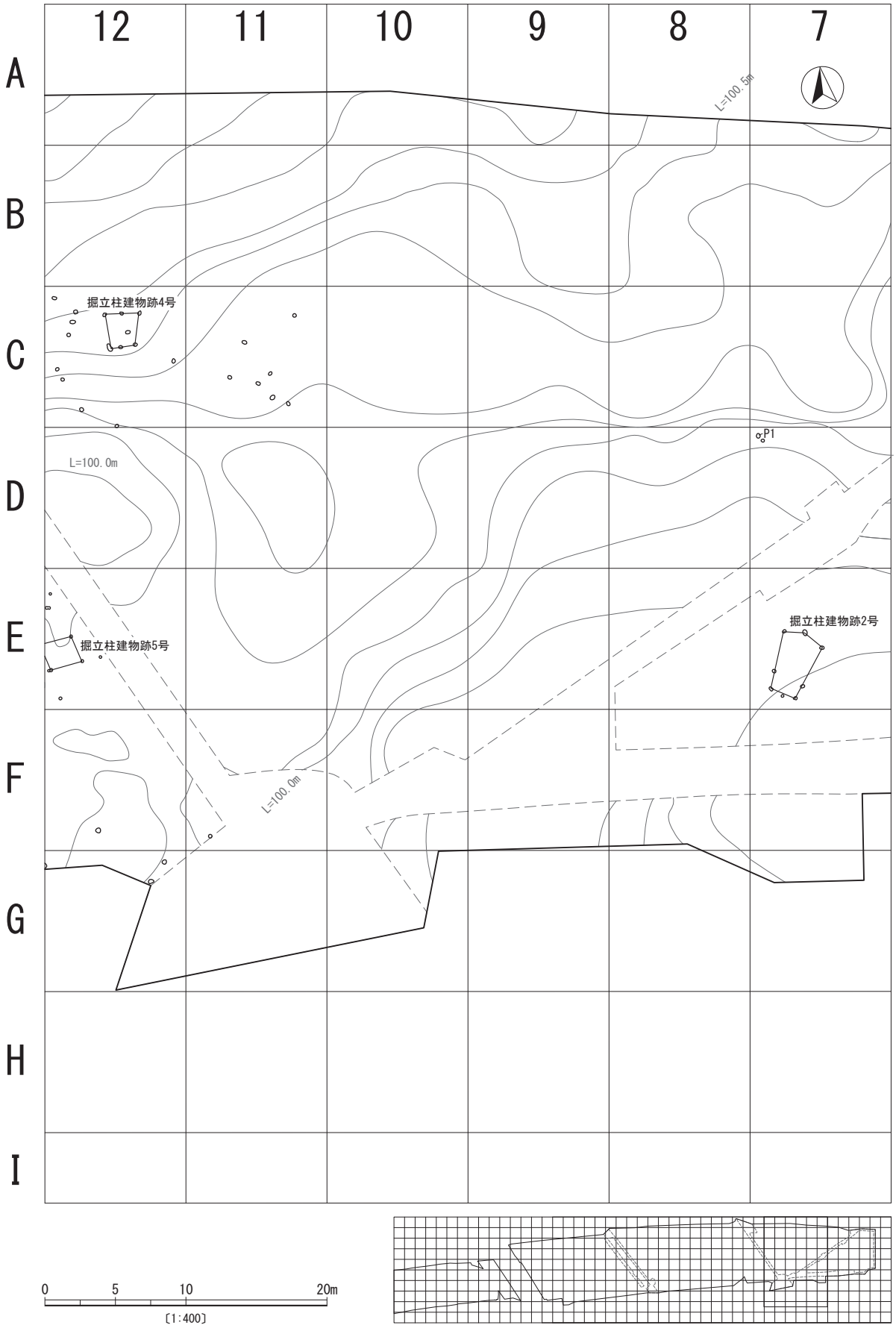
第 223 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（５）



第 224 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（６）



第 225 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（７）



第 226 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（８）



第 227 図　ピット・掘立柱建物跡配置図（９）

(10) ピット（第 219 図～第 240 図）

ア　検出状況等

牧山遺跡のピットはＡ地点から 230 基，Ｂ地点から 1720 基，Ｃから地点 541 点，Ｄ地点から 20 基，合計 2,511 基検出された。

本遺跡のピットは検出層のみでその遺構の帰属する時期を特定することはできなかった。土坑同様，遺物の出土が伴わない遺構も多く，時期判断が困難なピットが多数あり，それらのピットは基本的には時期不明として報告している。時期不明の中には縄文時代前期，中期，弥生以降のものが含まれている可能性がある。

縄文時代後期～晩期該当として報告するピットは遺構内出土土器や遺物出土状況等などから総合的に判断し掲載した。ただし遺構実測図の中には遺物出土状況が記載されていないものもある。

第 219 ～ 228 図はピットの配置状況図であるが，検出数が多いため，次のような方針に則って記載してある。縄文時代後期～晩期該当のピットのみ遺構番号を記載し，後期～晩期と想定されるものの時期不明のピットは遺構番号を記載していない。個別遺構図についても縄文時代後期～晩期該当と認定したピットのみを掲載した。その他のピットは観察表（第 36 ～ 56 表）に記載した。また，ピットの平面形状や断面形状をそれぞれ５種類と 10 種類に分類を行った。詳細は第 240 図を参照していただきたい。

第 226 図はグリッド毎のピットの数を表したものである。基本的に 10 ｍ× 10 ｍのグリッドの内部に含まれるピットの数を掲載してあるが，２つまたはそれ以上のグリッドにまたがる場合は，次のような方針に則って記載してある。

（１）東西方向（１，２，３･･･の数字）にまたがる場合は，数の小さい方で算定した。

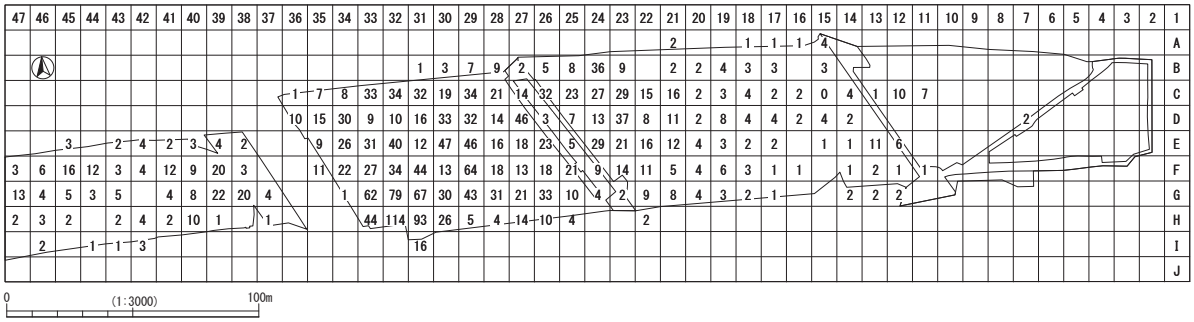
（２）南北方向（Ａ，Ｂ，Ｃ・・・のアルファベット）にまたがる場合は，アルファベットの早いほうで算定した。

（３）３グリッド以上にまたがる場合は，数字の小さい方でかつ，アルファベットの早い方で算出した。

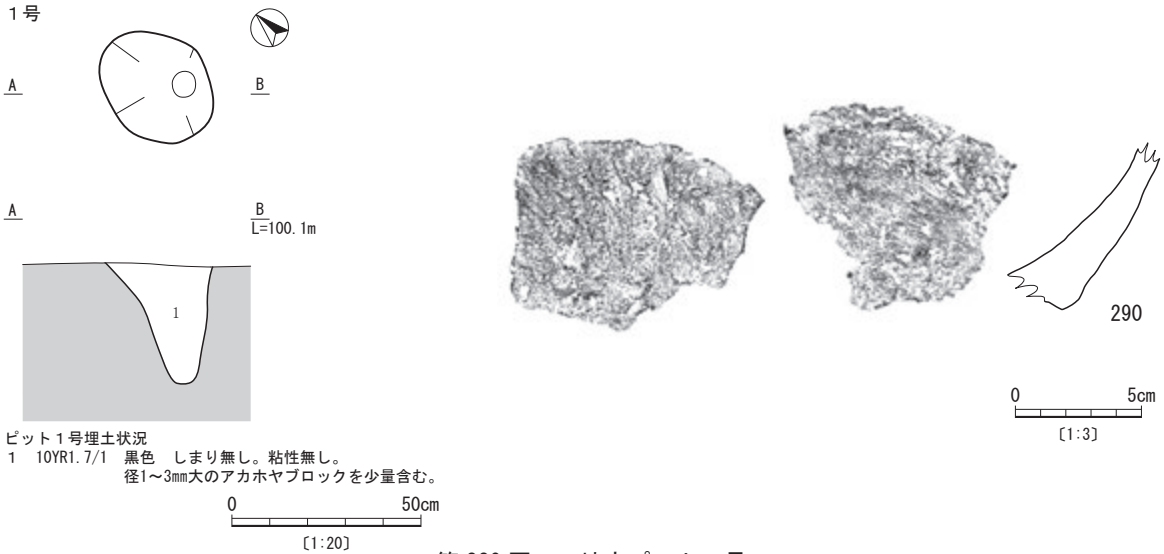
イ　各ピットの状況

ピット１号（第 229 図）

Ｄ－７区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 33 ㎝，短径 26 ㎝で，深さは 31 ㎝である。断面形状



第 228 図　グリッド別ピット数



第 229 図　Ｄ地点ピット１号

はU字形である。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

290は底面と胴部の境がなく，胴部に向かって直線的に立ち上がる器形である。全体的に厚みがあり，平底と考えられる。胎土に金雲母を含み，外面調整は縦方向ににミガキ調整が施されている。西平式系土器の底部と考えられる。他に，西平式系の胴部片も出土している。

ピット２号（第230・231図）

Ｂ－24区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径26cm，短径24cmで，深さは43cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

291は口縁端部に狭い平坦面をもつ。平口縁である。口縁部内部に沈線が引かれるが，頚部から口縁部まで比較的長い。内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。頚部から口縁部までの屈曲もやや緩やかで，無文土器第Ⅹ-b類ではなく，無文土器第Ⅹ-a類と考えられる。ピット３号出土破片と接合する。その他礫が１点出土している。

ピット３号（第230図）

Ｅ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径20cm，短径20cmで，深さは10cmである。断面形状は浅い逆台形である。埋土は単層でしまりのある暗褐色土が主体である。

ピット４号（第230・231図）

Ｂ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径40cm，短径40cmで，深さは52cmである。断面形状は逆台形である。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

292は頚部内面が段状になっているなど一部作りがやや粗いものの，全体的に丁寧なミガキ調整が施されている。頚部には連続刺突，胴部には横位直線文と磨消縄文が施されている。第Ⅶ類土器と考えられる。その他礫が１　点出土している。293は頚部の屈曲はやや緩い。調整は内外面とも横方向にヘラミガキされているものの，やや粗い。胴部上位にススが付着している。胎土・頚部・胴部の形状等から無文土器第Ⅹ-c類の可能性が考えられるが，型式は不明である。

ピット５号（第230・231図）

Ｃ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径38cm，短径30cmで，深さは78cmである。断面形状は２段落ちである。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

297は円形で扁平な磨敲石で，表裏面に擦り面をもち，敲打痕は周縁に弱く部分的にみられる。

ピット６号（第230・231図）

Ｃ－24区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径32cm，短径30cmで，深さは38cmである。断面形状は２段落ちである。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

298は小型の円形の敲石であり，部分的に弱い敲打痕がみられる。被熱赤化している。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点出土している。

ピット７号（第230・231図）

Ｄ－23区，Ⅲ層で検出された。一部樹痕により破壊されている。平面形状は不定形，長径38cm，短径26cmで，深さは75cmである。断面形状はU形である。埋土は単層で粘性がややある黒色土が主体である。

299は二次加工剥片である。断面形が三角形となる不定形剥片を素材して，表裏面で，反対側縁に粗い調整剥離を施して刃部を形成している。上端の素材打面を欠損する。その他磨石片が１点出土している。

ピット８号（第230・231図）

Ｄ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径27cm，短径22cmで，深さは23cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層でしまりのない黒色土が主体である。

294は頚部から口縁部までが短く，頚部の屈曲もやや強い。口縁端部はやや丸く，内面に沈線や凹線はみられない。調整は内外面とも横方向に丁寧にヘラミガキされている。胴部の肩の張る器形である。無文土器第Ⅹ-d類と考えられる。その他石皿１点が出土している。

ピット９号（第230・231図）

Ｅ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径26cm，短径24cmで，深さは28cmである。断面形状は逆台形である。埋土は単層で粘性がややある黒色土が主体である。

300は歪な楕円形の亜角礫を素材とした敲石で，断面形は三角形状をなす。上下端に顕著な敲打痕をもち，厚みのない片側縁にも部分的に敲打痕がみられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点出土している。

ピット10号（第230・231図）

Ｅ－23区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径21cm，短径20cmで，深さは62cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性がややある黒色土が主体である。

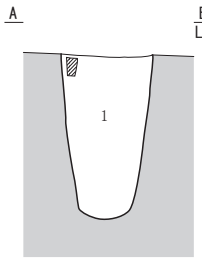
295は頚部の屈曲が明瞭である。胴部は胴径がやや上位にきてやや肩が張る器形と考えられる。調整は内外面とも横方向にヘラミガキされている。無文土器第Ⅹ-b類と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が２点出土している。

ピット11号（第230・231図）

Ｄ－24区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径30cm，短径28cmで，深さは46cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性がややある黒色土が主体である。

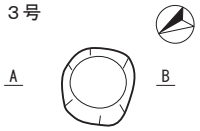
２号

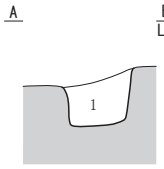




ピット２号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
　　粘性無し。

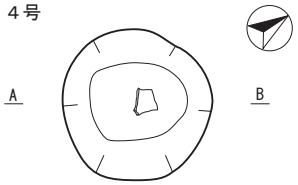
３号

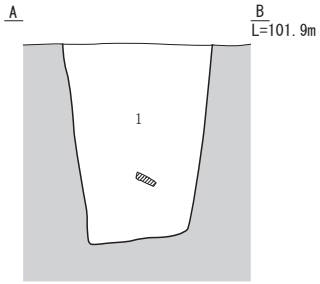




ピット３号埋土状況
1　10YR3/3　暗褐色　しまり有り。
　　粘性やや有り。

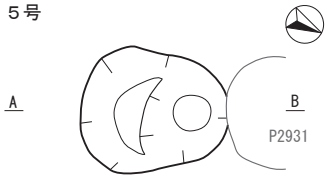
４号

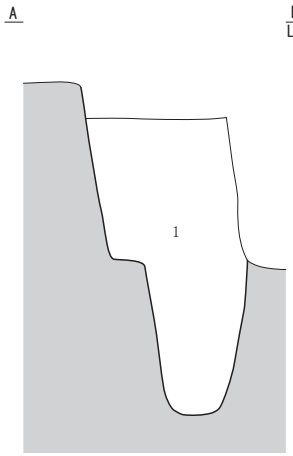




ピット４号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

５号



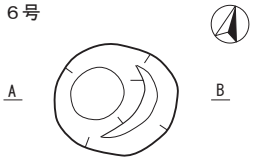


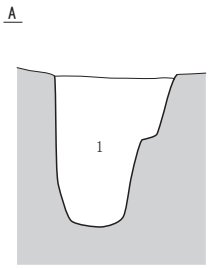
ピット５号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。
　　径2～3mmのアカホヤを全体に含む。

７号

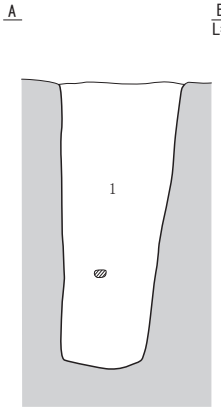


６号



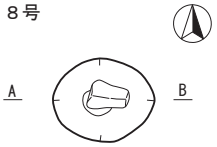


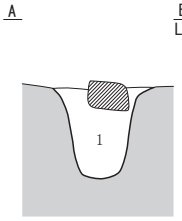
ピット６号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。



ピット７号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

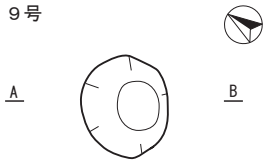
８号

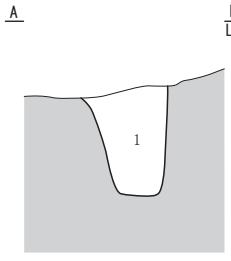




ピット８号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性無し。

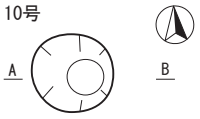
９号

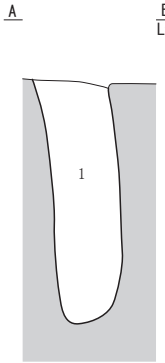




ピット９号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。

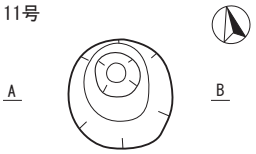
10号

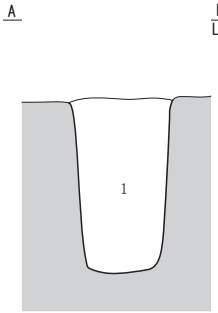




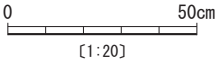
ピット10号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り

11号

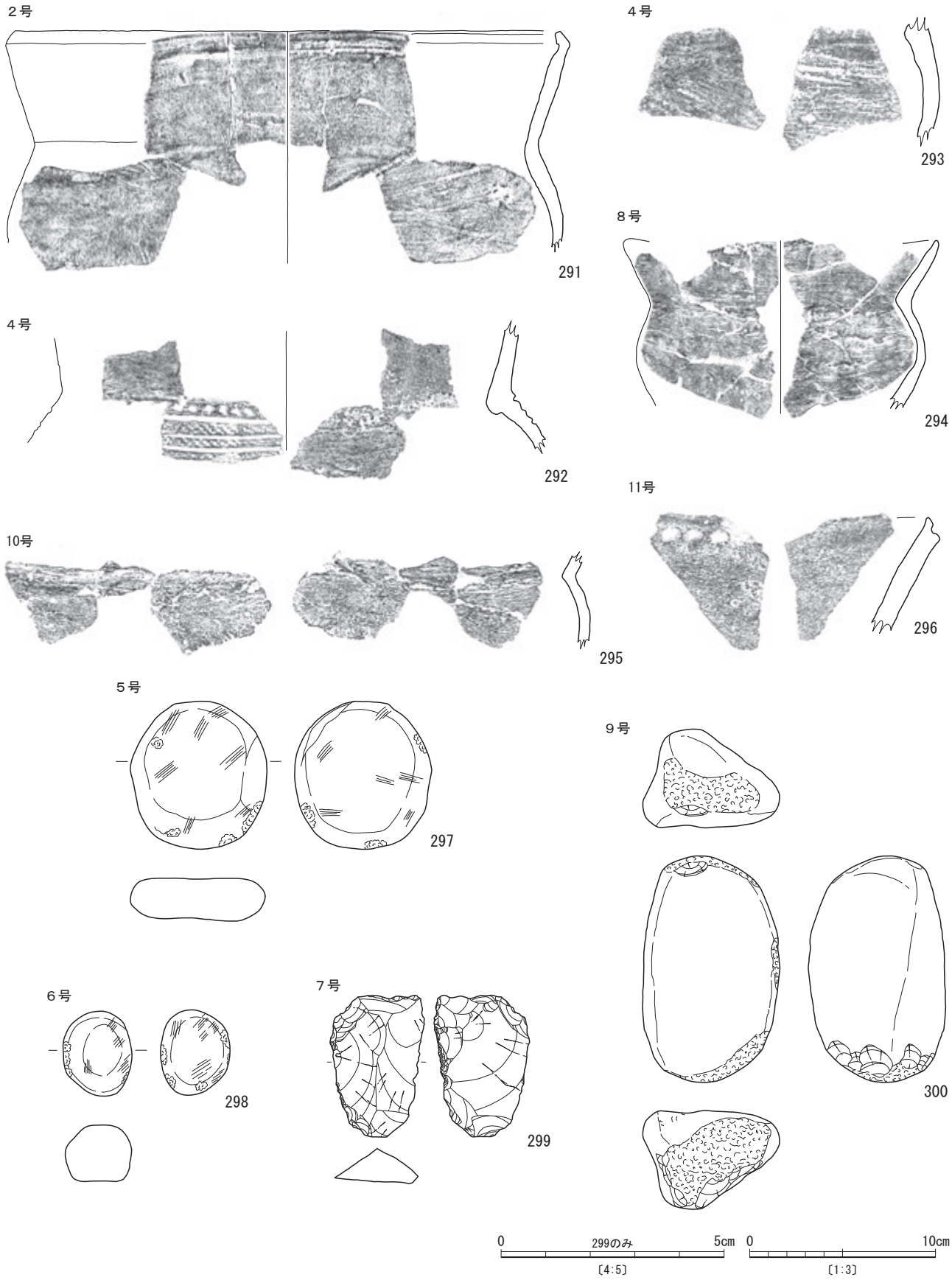




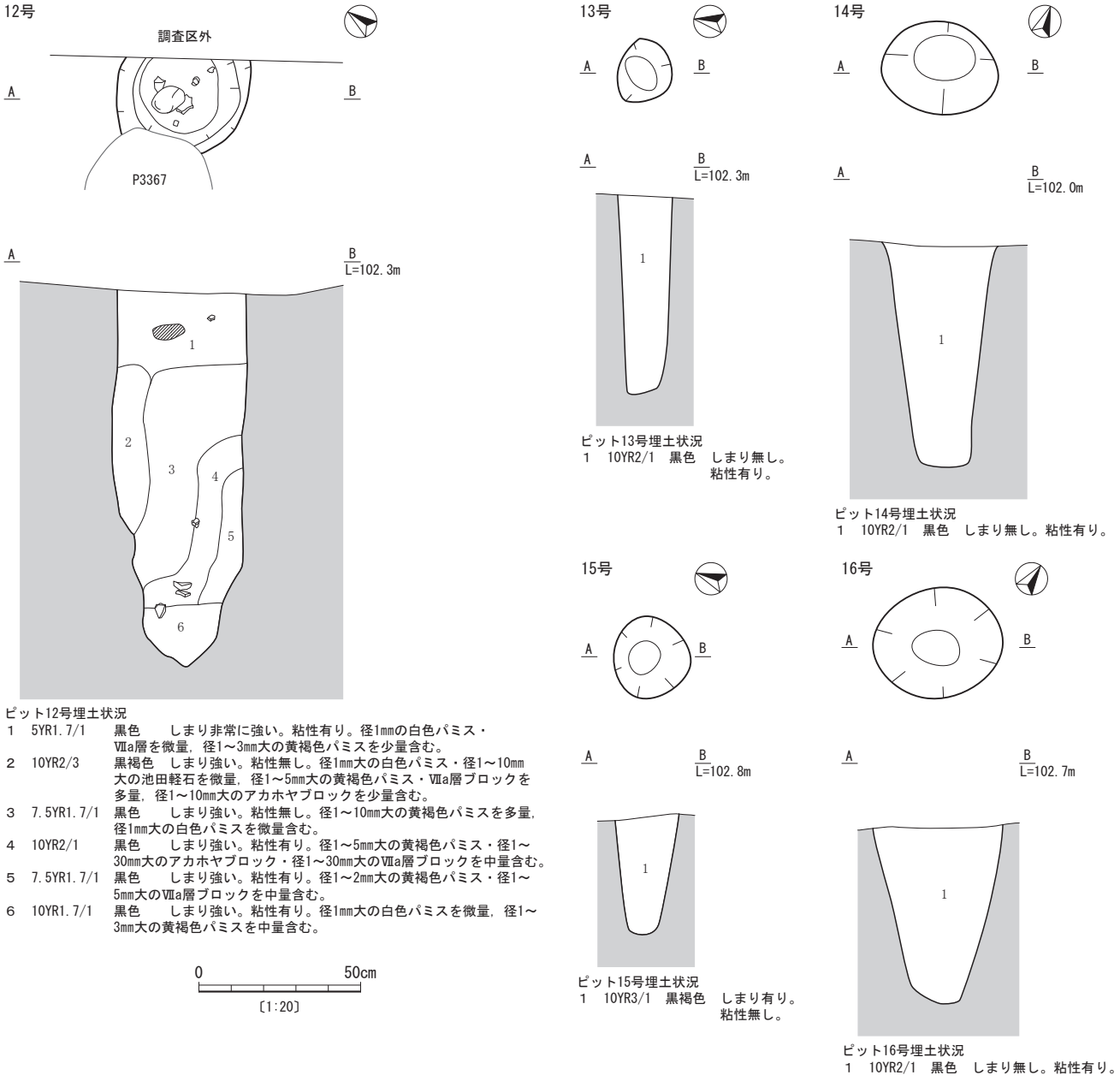
ピット11号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性やや有り。



第 230 図　C地点ピット２～ 11 号



第 231 図　C地点ピット出土遺物



ピット12号埋土状況

1	5YR1.7/1	黒色	しまり非常に強い。粘性有り。径1㎜の白色パミス・Ⅶa層を微量，径1～3㎜大の黄褐色パミスを少量含む。
2	10YR2/3	黒褐色	しまり強い。粘性無し。径1㎜大の白色パミス・径1～10㎜大の池田軽石を微量，径1～5㎜大の黄褐色パミス・Ⅶa層ブロックを多量，径1～10㎜大のアカホヤブロックを少量含む。
3	7.5YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性無し。径1～10㎜大の黄褐色パミスを多量，径1㎜大の白色パミスを微量含む。
4	10YR2/1	黒色	しまり強い。粘性有り。径1～5㎜大の黄褐色パミス・径1～30㎜大のアカホヤブロック・径1～30㎜大のⅦa層ブロックを中量含む。
5	7.5YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性有り。径1～2㎜大の黄褐色パミス・径1～5㎜大のⅦa層ブロックを中量含む。
6	10YR1.7/1	黒色	しまり強い。粘性有り。径1㎜大の白色パミスを微量，径1～3㎜大の黄褐色パミスを中量含む。

ピット13号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

ピット14号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

ピット15号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

ピット16号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

第 232 図　B地点ピット 12 ～ 16 号

296 は口縁端部に平坦面をもち，刺突文が棒状工具を用いて丁寧にやや深めに施されている。肥厚しない。外面調整は横方向にやや粗くヘラミガキされ，ススも付着している。第Ⅸ類土器と考えられる。

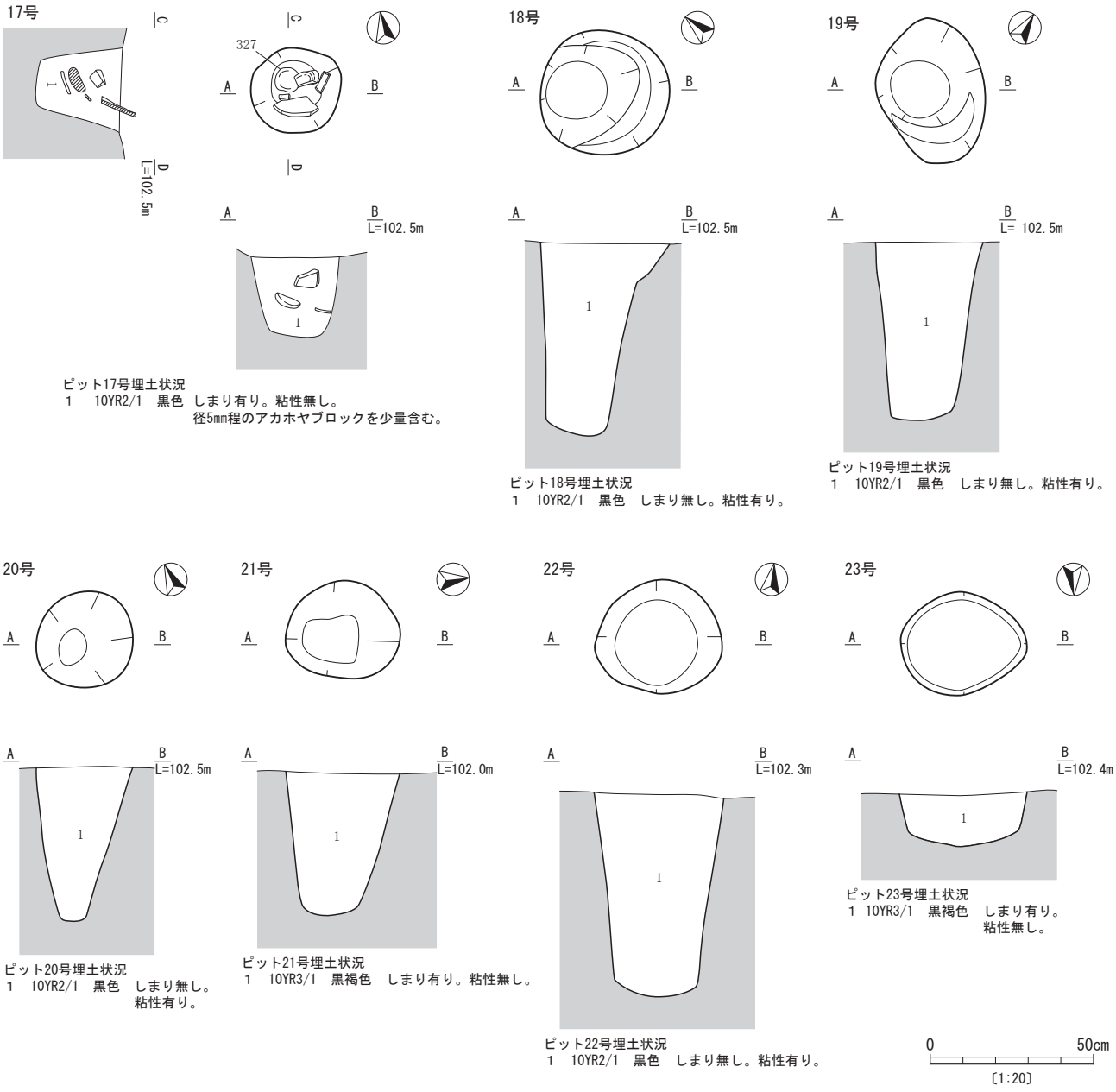
ピット 12 号（第 232・236・237 図）

Ｃ－ 26 区，Ⅲ層で検出された。東側は調査区際で，西側は P3367 により切られている。平面形状は不定形，長径 40cm，短径 25cm で，深さは 116cm である。断面形状はＵ字形である。埋土は計６層で最深部に６層が水平に堆積する。２～５層は南東から北西に向かって堆積する。

301 は底部である。上げ底で，調整は内面よりも外面が丁寧にヘラミガキされている。また，底部外面も丁寧にミガキ調整され，黒褐色を呈する。西平式系土器の底部と考えられる。326 は歪な楕円形の磨石で，表裏面に弱い擦り面を残している。その他縄文時代後期と思われる土器片が６点，礫が２点出土している。

ピット 13 号（第 232・236 図）

Ｅ－ 26 区，Ⅲ層で検出された。楕円形の浅い掘り込みの南北端にピットを掘り込んでいる。南のピットに比べ北のピットの方が深い。両ピットとも平面形状は楕円形で，断面形状は箱形である。長径 20cm，短径 17cm，深さは 61cm である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。



ピット17号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり有り。粘性無し。
径5㎜程のアカホヤブロックを少量含む。

ピット18号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

ピット19号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

ピット20号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。
粘性有り。

ピット21号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。粘性無し。

ピット22号埋土状況
1　10YR2/1　黒色　しまり無し。粘性有り。

ピット23号埋土状況
1　10YR3/1　黒褐色　しまり有り。
粘性無し。

第 233 図　B地点ピット 17 ～ 23 号

302 は口縁端部に平坦面をもち，肥厚しない。外面はやや粗い横方向のヘラミガキ調整で，内面は横方向への丁寧なヘラミガキ調整である。無文土器第Ⅹ -c 類と考えられる。303 は上げ底の底部である。底部と胴部境で緩やかに屈曲し，胴部はやや外に開く器形である。外面は縦方向にヘラミガキされ，内面調整はやや粗い。西平式系土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器が２点出土している。

ピット 14 号（第 232・236 図）

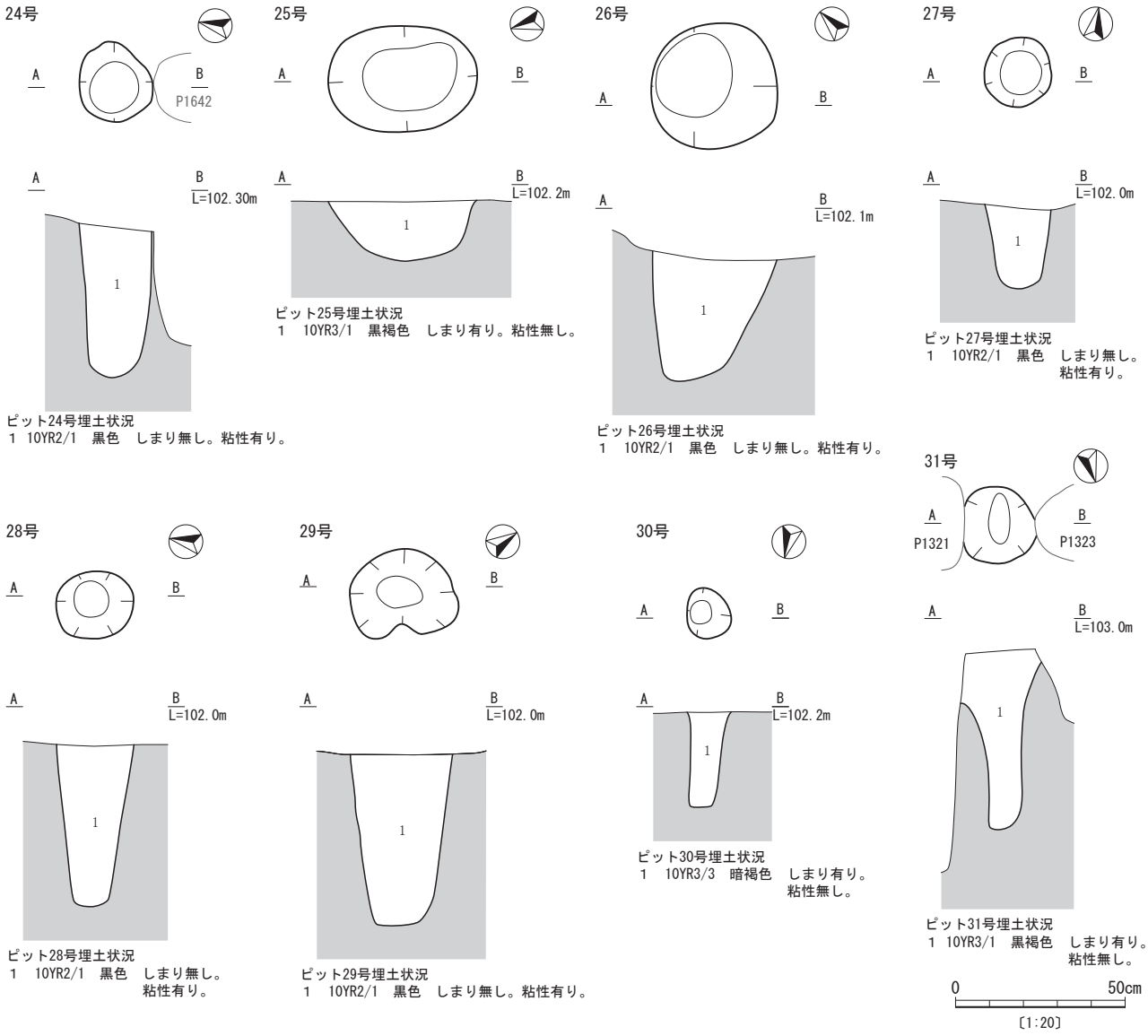
G－26 区，Ⅴa 層で検出された。平面形状は楕円形，長径 37㎝，短径 29㎝で，深さは 67㎝である。断面形状は逆台形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

304 は胴部上位に肩の張りがみられない。調整は内外面とも横方向にヘラミガキされている。形状等から無文土器第Ⅹ -a 類と考えられる。

ピット 15 号（第 232・236 図）

C－29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 25㎝，短径 24㎝で，深さは 36㎝である。断面形状は逆台形である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

305 は頚部の屈曲がやや緩く，胴部上位に肩の張りがみられない。調整は外面よりも内面が顕著で，横方向にヘラミガキされている。形状等から無文土器第Ⅹ -a 類



第 234 図　B地点ピット 24 ～ 31 号

の可能性が高い。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点出土している。

ピット 16 号（第 232・236 図）

Ｄ－ 30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 40cm，短径 30cm で，深さは 54cm である。断面形状はＵ字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

306 は胴部片である。内外面とも丁寧に横方向にヘラミガキされている。西平式系土器の無文土器と考えられるが，型式は不明である。その他縄文時代後期と思われる土器が１点出土している。

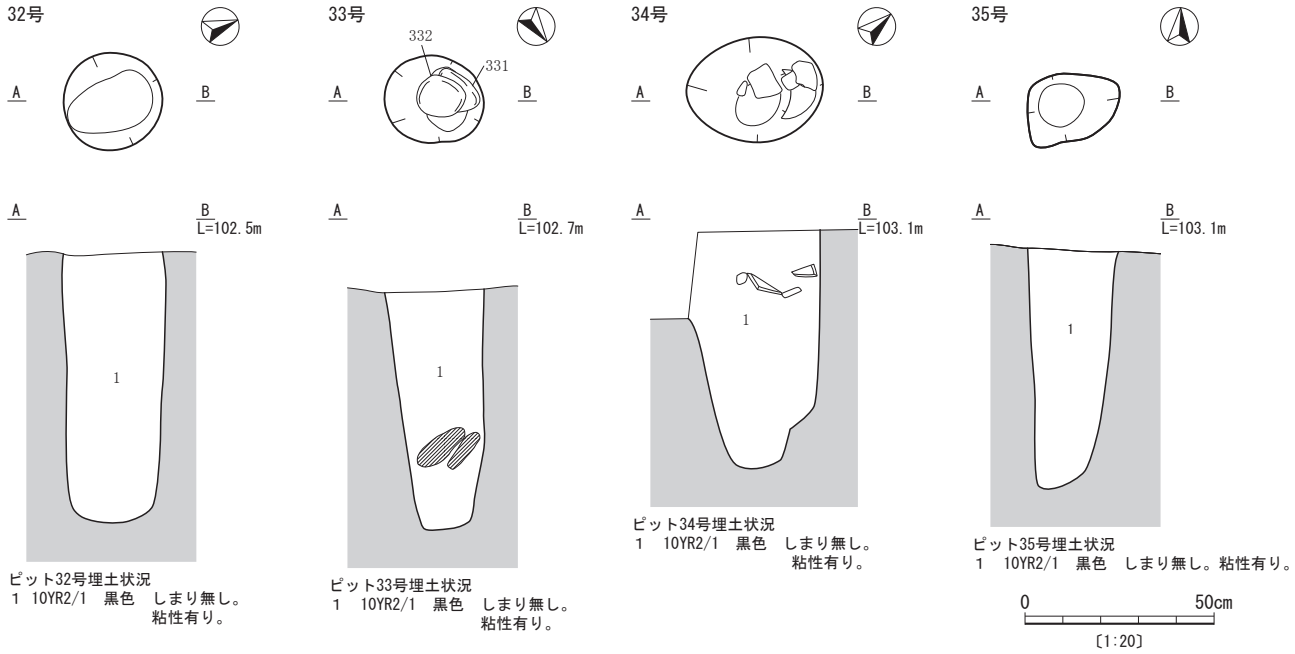
ピット 17 号（第 233・236・237 図）

Ｄ－ 30 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 27cm，短径 26cm で，深さは 24cm である。断面形状は逆台形である。埋土は単層でアカホヤブロックを少量含む。

307 は口縁端部に平坦面をもち，平口縁である。口縁端部は肥厚せず，内面に沈線・凹線はみられない。調整は内面が横方向，外面が斜めで下から上方向へヘラミガキされている。胎土に金雲母を多く含む。頚部の屈曲は緩く，無文土器第Ⅹ -c 類と考えられる。309 は頚部の屈曲が明瞭である。頚部には連続刺突を施し，胴部には磨消縄文と横位直線文を施す。第Ⅶ類土器と考えられる。308 は平底の底部である。胎土は褐色で，外面は横方向にミガキ調整されている。西平式系土器と考えられる。327 は円形の磨石で，やや丸みを帯びた断面形をもち，表裏面に粗い擦り面を残している。その他型式不明の土器片が３点出土している。

ピット 18 号（第 233・236 図）

Ｅ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長



第 235 図　B地点ピット 32 ～ 35 号

径 48cm，短径 38cm で，深さは 59cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

310 は胴部片である。内面は粘土同士のつなぎ目がみえるなど作りが粗い部分がある。外面は横方向にミガキ調整されているがやや粗く，全体的にススが薄く付着している。西平式系の粗製土器と考えられるが，型式は不明である。その他縄文時代後期と思われる土器が４点出土している。

ピット 19 号（第 233・236 図）

Ｅ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。不整な楕円形の浅い掘り込みの東西端にピットを掘り込んでいる。西のピットに比べ東のピットの方が深い。両ピットとも平面形状は楕円形で，断面形状は不定形である。長径 30cm，短径 29cm，深さは 47cm である。

311 は頚部付近で刺突文がみられるが，連続性に乏しい。胴部上位に流水文様状の文様がみられ，第Ⅵ類土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点出土している。

ピット 20 号（第 233・236 図）

Ｅ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 30cm，短径 29cm で，深さは 47cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

312 は口縁端部に平坦面をもち，内側は沈線とまではいかないが工具を用いて整形したあとがみられる。形状は第Ⅶ類土器に似ているが，沈線等の文様もなく，型式は不明である。313 は口縁端部に平坦面をもち，肥厚しない。内外面とも横方向にヘラミガキされるが，やや粗い。無文土器第Ｘ－c 類と考えられる。

ピット 21 号（第 233・236 図）

Ｆ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 34cm，短径 30cm で，深さは 43cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

314 は胴部上位に文様帯の一部である沈線が１本みられる。胎土は褐色である。胴部最大径まで緩やかに膨らみ，底部へ向けて緩やかに窄まっていく器形と考えられる。315 は頚部の屈曲は緩く，刺突を施すが連続性に乏しい。流水文様を施す。314・315 は接合しなかったが，文様，胎土，焼成等が類似することから同一個体の可能性が高く，第Ⅵ類土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が 10 点出土している。

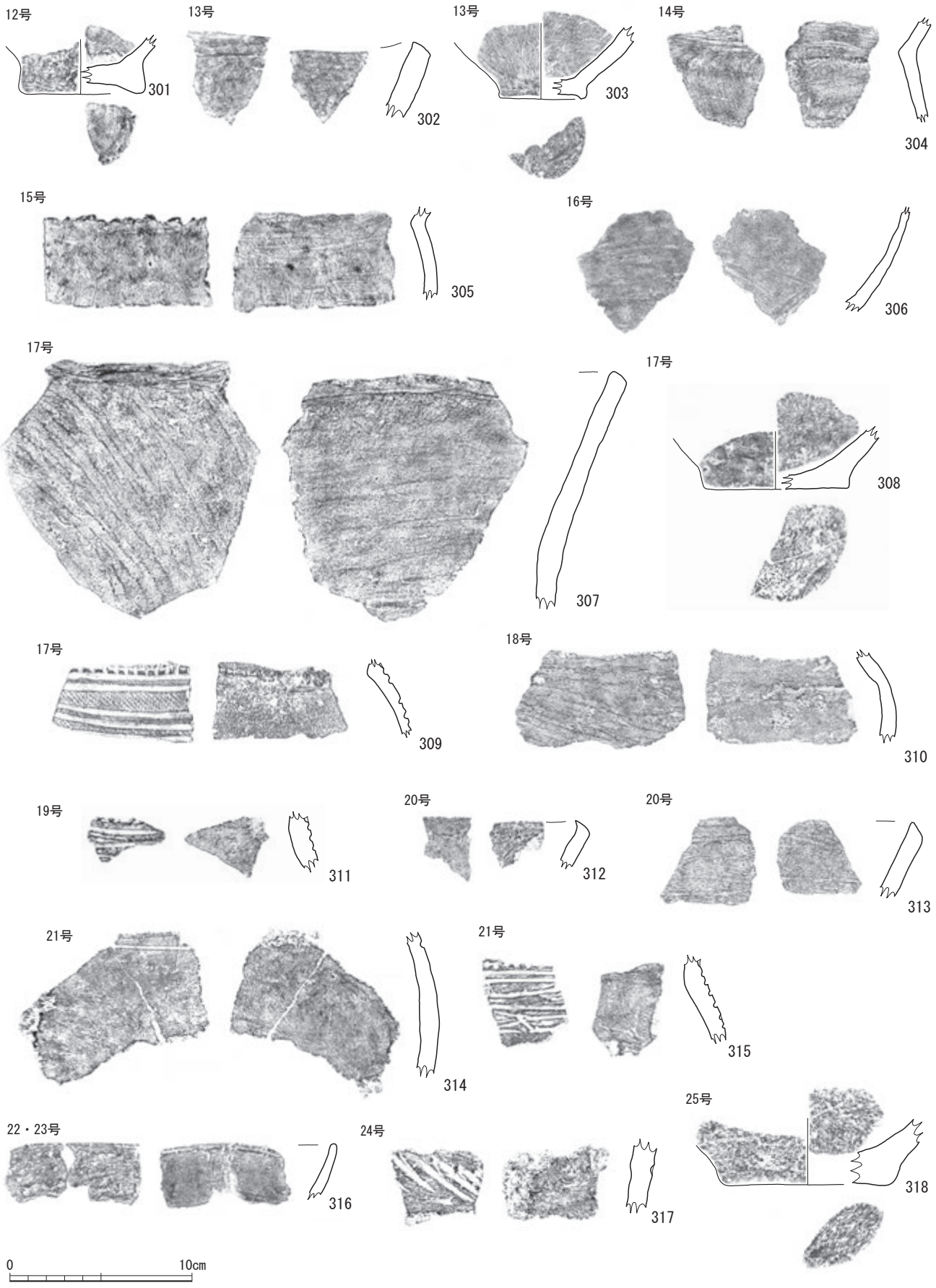
ピット 22 号（第 233・236 図）

Ｆ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 37cm，短径 35cm で，深さは 62cm である。断面形状は深皿形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

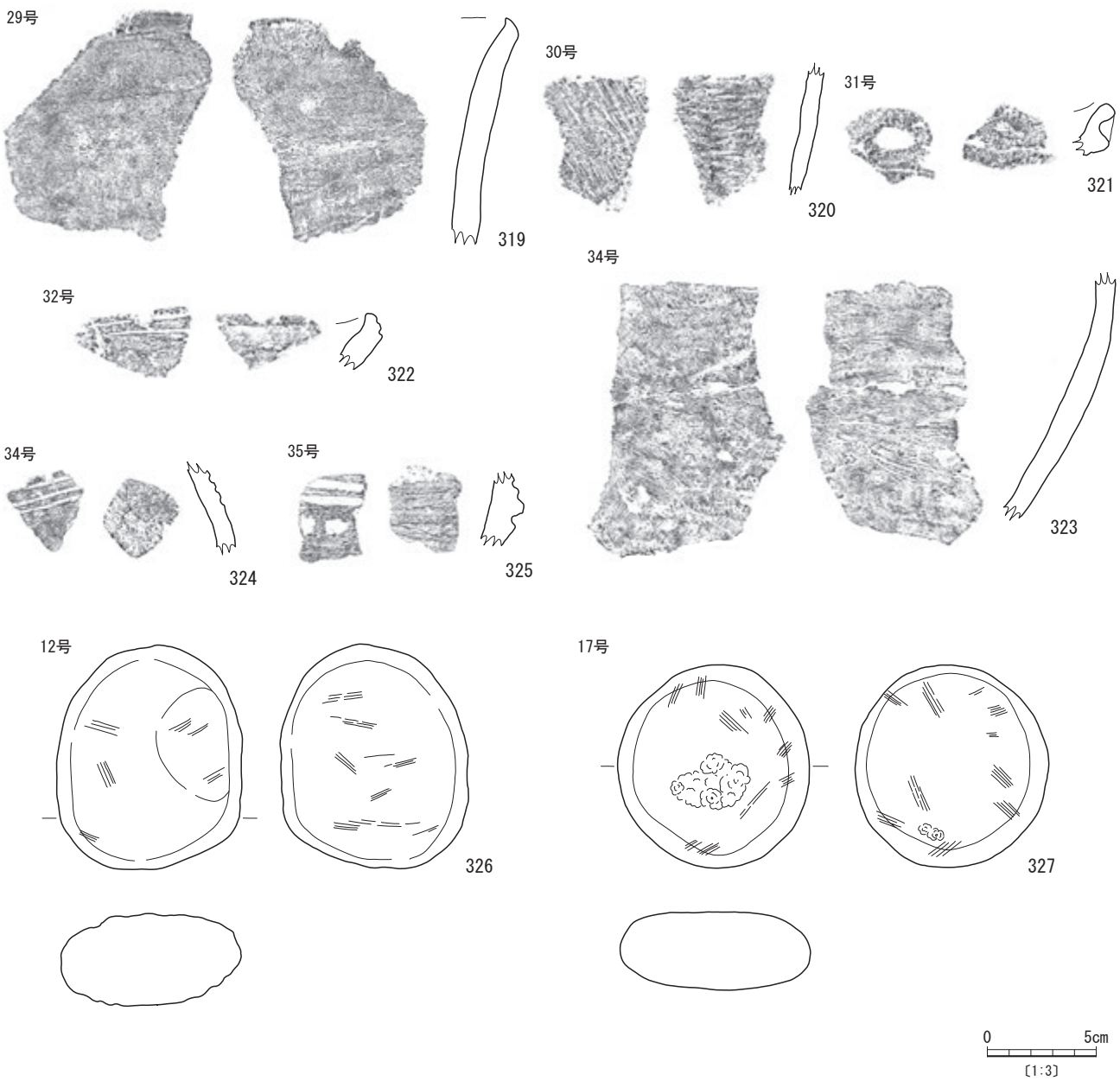
316 は小型の浅鉢である。口縁端部は丸い。内外面ともヘラミガキによる横方向への調整を行っており，内面のほうがより丁寧に調整されている。無文土器第Ｘ－d 類と考えられる。南東 2.5 ｍに位置するピット 23 号出土の土器と接合する。

ピット 23 号（第 233 図）

Ｆ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 39cm，短径 31cm で，深さは 15cm である。断面形状



第 236 図　B地点ピット出土遺物（１）



第 237 図　B地点ピット出土遺物（２）

は浅皿形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。縄文時代後期と思われる土器片が 21 点出土している。そのうち１点が，北西 2.5 ｍに位置するピット 22 号出土の土器（316）と接合している。

ピット 24 号（第 234・236 図）

Ｆ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。南側に別のピットが隣接する。平面形状は不定形，長径 22cm，短径 21cm で，深さは 45cm である。断面形状はＵ字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

317 は胴部片で，貝殻腹縁の連続刺突を施す。内面に貝殻条痕の調整はみられない。胎土に金雲母を多く含み，褐色である。第Ⅳ類土器と考えられる。

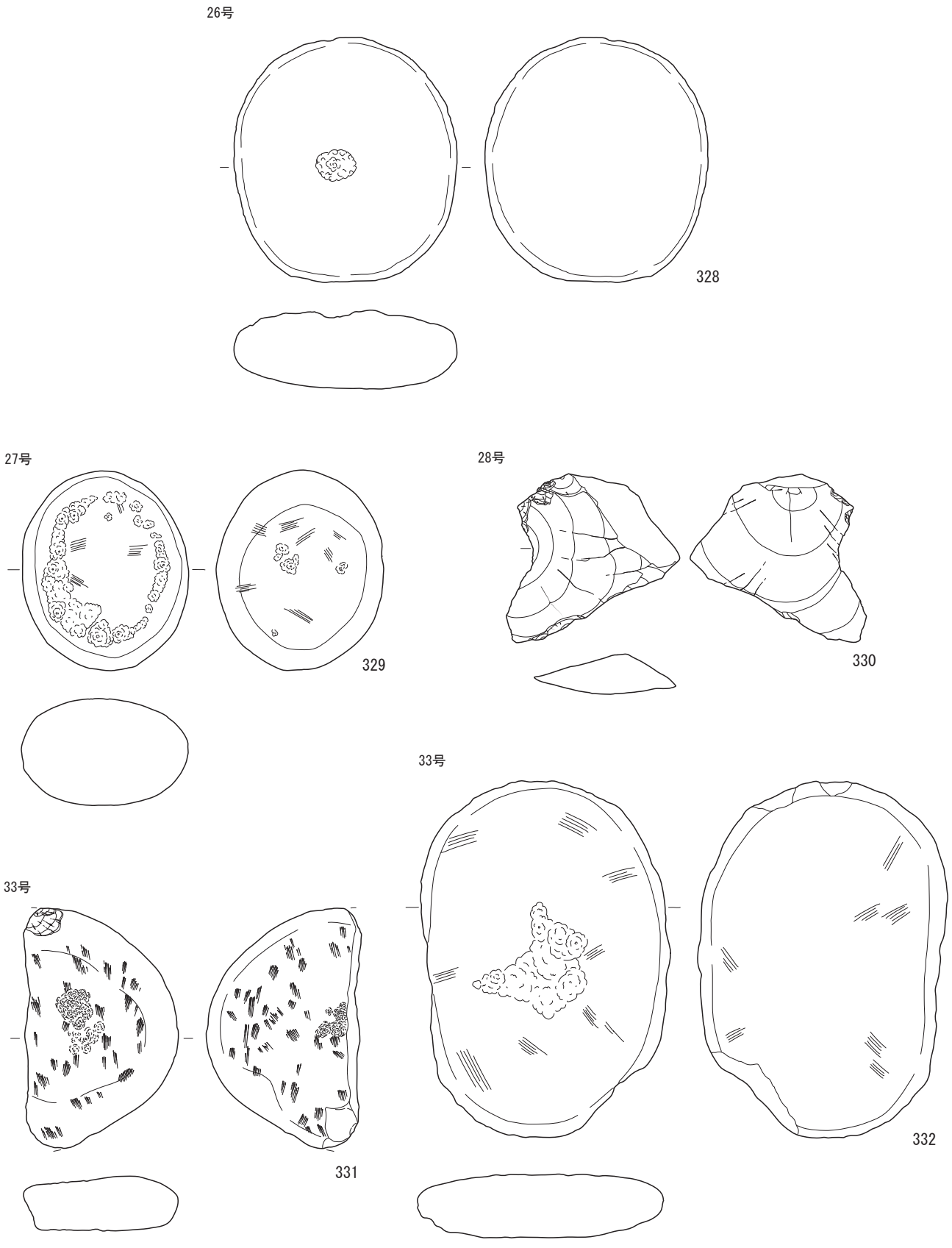
ピット 25 号（第 234・236 図）

Ｆ－ 28 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 44cm，短径 31cm で，深さは 18cm である。断面形状は深皿形である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

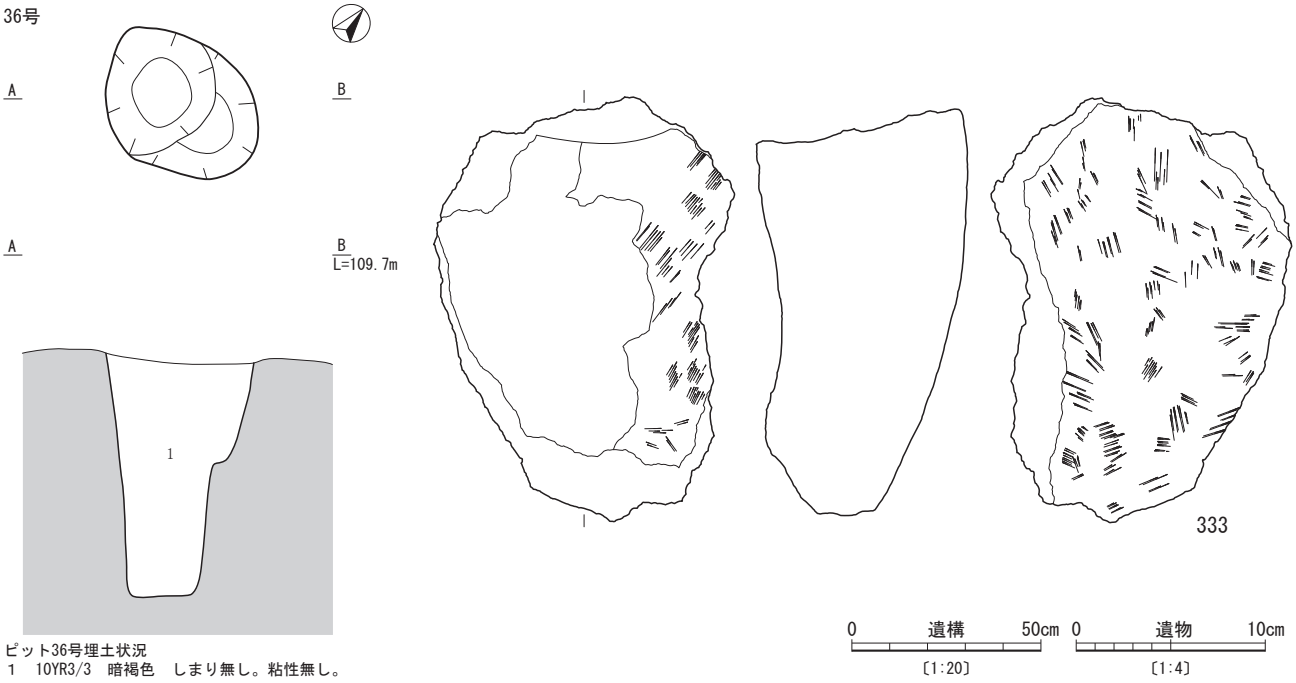
318 は平底の底部である。底部と胴部の境で緩やかに屈曲し，胴部はやや外に開く器形である。内外面とも調整は不明瞭である。西平式系土器と考えられる。

ピット 26 号（第 234・238 図）

Ｆ－ 29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 38cm，短径 38cm で，深さは 38cm である。断面形状はＵ字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。



第 238 図　B地点ピット出土遺物（３）



第 239 図　A地点ピット 36 号

328 は円形で扁平な凹石で，表裏面が擦られており，表面の中央部にやや浅い凹をもつ。

ピット 27 号（第 234・238 図）

G－29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長軸 21cm，短軸 20cm で，深さは 24cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

329 は楕円形の磨敲石で，丸みを帯びた断面形をもつ。全面に擦り面がみられ，敲打痕は表面にのみ環状に形成され特徴的である。

ピット 28 号（第 234・238 図）

G－29 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 23cm，短径 21cm で，深さは 48cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

330 は下半部が折損した不定形剥片で，表面に剥離方向が 90 度異なる大きな剥離面と自然面を留めている。鋭利な左側縁に微小剥離痕がみられる。

ピット 29 号（第 234・237 図）

G－28 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は不定形，長径 31cm，短径 22cm で，深さは 51cm である。断面形状は深皿形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

319 は口縁端部に狭い平坦面をもち，外反する。胎土に金雲母を少量含む。無文土器第X -c 類と考えられる。

ピット 30 号（第 234・237 図）

I－31 区，Va 層で検出された。平面形状は楕円形，長径 15cm，短径 14cm で，深さは 28cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層でしまりのある暗褐色土が主体である。

320 は胴部片である。内外面とも貝殻条痕で調整を行っている。外面に貝殻腹縁による刺突文がみられないものの，第Ⅳ類土器の可能性が高い。

ピット 31 号（第 234・237 図）

H－32 区，Ⅲ層で検出された。東西を別のピットに切られている。平面形状は不定形，長径 24cm，短径 23cm で，深さは 53cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層でしまりのある黒褐色土が主体である。

321 は深鉢の口縁部である。粘土を逆「の」字状に貼り付け，中央部を押し広げるようにすることで，立体的な凹点状になる。胎土に角閃石を含む。

ピット 32 号（第 235・237 図）

F－31 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は円形，長径 27cm，短径 26cm で，深さは 71cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

322 は口縁端部に平坦面をもち，２本沈線を施す。内外面とも調整は不明瞭である。第Ⅸ類土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が４点出土している。

ピット 33 号（第 235・238）

F－32 区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径 27cm，短径 23cm で，深さは 63cm である。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

331 は円形で半円に欠損した台石で，表裏面に弱い擦

り面と部分的な敲打痕がみられる。332は歪な楕円形の扁平な凹石である。表面の中央部に浅く不整形な凹が形成され，表裏面に弱い擦り面がみられる。一部欠損し，被熱赤化している。

ピット34号（第235・237図）

Ｃ－32区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径36cm，短径28cmで，深さは50cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

323は深鉢の胴部片である。調整は外面が斜め，内面が横方向にヘラミガキが施されている。西平式系土器ではあるが，型式は不明である。324は胴部片である。横位直線文薄く施す。西平式系の有文土器ではあるが，小片のため型式は不明である。その他縄文時代後期と思われる土器片が１点出土している。

ピット35号（第235図）

Ｃ－33区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径34cm，短径24cmで，深さは65cmである。断面形状はU字形である。埋土は単層で粘性のある黒色土が主体である。

325は口縁部である。口縁端部の平坦面に２本の沈線とやや大きめの刺突文を施す。第Ⅸ類土器と考えられる。その他縄文時代後期と思われる土器片が４点出土している。

ピット36号（第239図）

Ｇ－37区，Ⅲ層で検出された。平面形状は楕円形，長径45cm，短径35cmで，深さは62cmである。断面形状は２段落ちである。埋土は単層でしまりのない暗褐色土が主体である。

333は石皿の欠損品で，左側縁に石皿縁辺を留めている。主に表面を使用面として緩い擦り窪みがみられるが，裏面も擦り面としている。被熱赤化している。その他磨石片が１点出土している。

ウ　小結

掲載した36基のピットのうち，土器のみの出土が23基，石器のみの出土が６基，土器・石器どちらとも出土しているのが６基である。出土している土器は，型式不明の西平式系土器が一番多く，次に第Ⅸ類土器，無文土器第Ｘ-a類と続く。石器は敲石と磨石が３個と多く，次に磨敲石・凹石・石皿と続くが，遺構内遺物の出土量は全体的に少ない。

配置状況等については総括で述べている。

第33表　ピット出土土器観察表①

備考欄：計測値の単位はcm，()内は復元値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様 外面	主文様 内面	胎土 石英	胎土 長石	胎土 角閃石	胎土 雲母	胎土 白色砂粒	胎土 黒色砂粒	胎土 他	色調 外面		色調 内面		備考	取上番号
229	290	1	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D7	底	縦ミガキ	横ナデ	◎	○		◎	◎		褐色砂粒△	5YR5/4	にぶい赤褐	5YR4/4	にぶい赤褐		-
231	291	2・3	Ⅹａ	深鉢	B24,C22,E23	口縁～胴	横工具ナデ・横縦ミガキ	凹線・横ミガキ	△				△		橙色砂粒△ 砂礫△	7.5YR3/1	黒褐	7.5YR3/1	黒褐	口径：(30.2)	28158他
	292	4	Ⅶ	深鉢	B23	頸	磨消縄文・沈線・刺突・丁寧なナデ・横ミガキ	横ミガキ	△				△		褐色砂粒△	10R3/2	暗赤褐	10R3/2	暗赤褐		26219他
	293	4	不明	深鉢	B23	胴	斜ナデ・粗い横ミガキ	横ナデ・粗い横ミガキ	◎	△	△		○	△		5YR5/6	明赤褐	5YR5/6	明赤褐	ススP2332-2	
	294	8	Ⅹｂ	深鉢	D23	口縁～胴	横ミガキ	横ミガキ	△				○		橙色砂粒△	7.5YR3/3	暗褐	7.5YR3/2	黒褐	口径：(16.9)	30258他
	295	10	Ⅹｂ	深鉢	E23	頸～胴	横ナデ・横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	△				△		黄色砂粒○ 砂礫△	5YR4/2	灰褐	5YR3/1	黒褐		25389他
	296	11	Ⅸ	深鉢	D24	口縁	刺突・横ミガキ	横ナデ	◎	△			○	△	褐色砂粒△	10YR2/1	黒	7.5YR5/4	にぶい褐	ススP2528他	
236	301	12	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C26	底	縦ミガキ	斜ミガキ	○	△	△		△			7.5YR3/1	黒褐	7.5YR5/4	にぶい褐	底：ナデ 底径：(6.6)	P3374-7
	302	13	Ⅹｃ	深鉢	E26	口縁	横縦工具ナデ・横ミガキ	横ミガキ	△				○	△	砂礫△	7.5YR8/4	浅黄橙	7.5YR3/2	黒褐		-
	303	13	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	E26	底	丁寧な縦ミガキ・指オサエ	横斜ナデ	△		△		○	△	砂礫△	5YR7/8	橙	5YR7/8	橙	底径：(4.7)	-
	304	14	Ⅹａ	深鉢	G26	頸～胴	横縦ミガキ	横ナデ・横ミガキ	△	△	△		○		褐色砂粒△	2.5Y3/1	黒褐	7.5YR4/3	褐		-
	305	15	Ⅹａ	深鉢	C29	頸～胴	横ナデ・横ミガキ	横ミガキ	△	△					褐色砂粒△	7.5YR4/2	灰褐	2.5Y3/1	黒褐	ス	-
	306	16	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D30	胴	横ミガキ	横ミガキ	△	△			△		褐色砂粒△	10YR4/3	にぶい黄褐	10YR5/3	にぶい黄褐		-

第34表　ピット出土土器観察表②

挿図番号	掲載番号	遺構番号	分類	器種	区	部位	主文様		胎土						色調				備考	取上番号
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	白色砂粒	黒色砂粒	他	外面		内面		
236	307	17	Ⅹc	深鉢	D30	口縁～頚	粗い斜ミガキ	凹線・丁寧な横工具ナデ	◎	○		◎	◎			5YR3/1	黒褐	5YR4/2	灰褐		P208-1
	308	17	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	D30	底	横ナデ	ナデ	◎	△			○	△	褐色砂粒△	7.5YR8/3	浅黄橙	7.5YR8/3	浅黄橙	底径：(8.0)	P208-3
	309	17	Ⅶ	深鉢	D30	胴	沈線・刻目・磨消縄文・横ナデ	横ミガキ	△				△	○		7.5YR4/1	褐灰	7.5YR6/4	にぶい橙		P208-5
	310	18	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	E29	胴	粗い横ミガキ	横ナデ	○		△		△	△		7.5YR5/2	灰褐	7.5YR8/4	浅黄橙		-
	311	19	Ⅵ	深鉢	E29	胴	刺突・沈線・横ナデ	横ナデ	○	△			◎	△		7.5YR6/4	にぶい橙	7.5YR7/4	にぶい橙		-
	312	20	不明	深鉢	E29	口縁	横ナデ・縦ミガキ	横ナデ	△				△	△		10YR4/2	灰黄褐	10YR4/2	灰黄褐		-
	313	20	Ⅹc	深鉢	E29	口縁	粗い横ミガキ	横ナデ・横ミガキ	○	△		△	○	△		5YR4/3	にぶい赤褐	5YR7/4	にぶい橙		-
	314	21	Ⅵ	深鉢	F29	胴	沈線・横斜工具ナデ	横斜工具ナデ	○	△			○	△		5YR6/6	橙	7.5YR6/3	にぶい褐		-
	315	21	Ⅵ	深鉢	F29	胴	沈線・刺突・横ナデ	横ナデ・横ミガキ	○		△		○		砂礫△	5YR6/6	橙	5YR4/2	灰褐	ススス	-
	316	22・23	Ⅹd	浅鉢	F29	口縁	横ミガキ	横ミガキ	○				○		褐色砂粒△	2.5Y3/3	暗オリーブ褐	2.5Y3/2	黒褐		-
	317	24	Ⅳ	深鉢	F29	胴	沈線・横ナデ	横ナデ	○	○		○	○		灰色砂粒△ 砂礫△	5YR5/4	にぶい赤褐	5YR5/4	にぶい赤褐		-
	318	25	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	F28	底	摩滅	摩滅	◎	△	△		△	△		5YR6/6	橙	5YR6/4	にぶい橙	底径：(9.4)	-
237	319	29	Ⅹc	深鉢	G28	口縁	横縦ナデ	横ナデ	◎	○	△	△	◎	△		7.5YR6/3	にぶい褐	7.5YR6/3	にぶい褐		-
	320	30	Ⅳ	深鉢	I31	胴	貝殻条痕	貝殻条痕	△	△	△		△		砂礫△	7.5YR6/6	橙	7.5YR5/4	にぶい褐		-
	321	31	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	H32	口縁	ナデ	ナデ	○		△		○	△		5YR6/6	橙	5YR6/6	橙		-
	322	32	Ⅸ	深鉢	F31	口縁	横ナデ	横ナデ	◎				△	△		5YR3/2	暗赤褐	5YR4/3	にぶい赤褐	口唇：沈線	-
	323	34	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C32	胴	沈線・横ナデ	横ナデ	○	△	△		○	△		7.5YR7/6	橙	7.5YR8/4	浅黄橙		-
	324	34	Ⅸ	深鉢	C32	口縁	沈線・刺突・横ナデ	横工具ナデ	◎	△			○		褐色砂粒△	2.5YR5/4	にぶい赤褐	2.5YR4/4	にぶい赤褐	口唇欠損	-
	325	35	Ⅵ～Ⅹ	深鉢	C33	胴部	縦斜工具ナデ	横工具ナデ	△	△	△		○	△		5YR6/2	灰褐	7.5YR6/1	褐灰		-

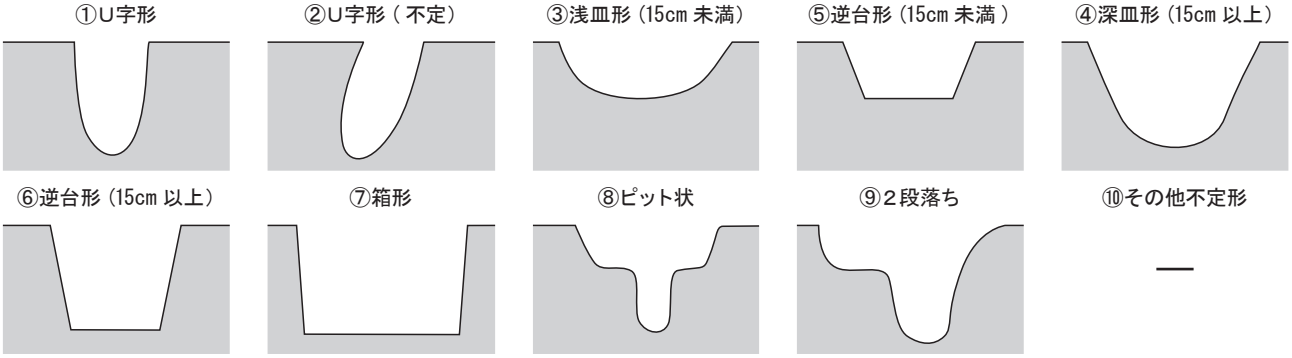
第35表　ピット出土石器観察表

()内は残存値

挿図番号	掲載番号	遺構番号	区	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	取上番号
231	297	5	C23	磨敲石	凝灰岩	7.90	7.25	2.30	221.50		-
	298	6	C24	敲石	安山岩A	4.60	3.70	3.10	78.35		-
	299	7	D23	二次加工剥片	ホルンフェルス2	7.60	5.00	2.10	81.66		-
	300	9	E23	敲石	ホルンフェルス5	12.20	7.40	5.40	672.00		30264
237	326	12	C26	磨石	安山岩A	10.25	8.50	4.30	452.50		P3374-2
	327	17	D30	磨石	安山岩A	9.20	8.70	3.60	429.50		P288-4
238	328	26	F29	凹石	安山岩A	13.20	12.00	4.20	860.50		P208-1
	329	27	G29	磨敲石	砂岩	10.75	8.90	5.70	802.50		1
	330	28	G29	不定形剥片	頁岩7	9.40	9.35	2.25	144.50		-
	331	33	F32	台石	安山岩A	(17.20)	(11.20)	(3.90)	1029.60		-
	332	33	F32	凹石	安山岩A	18.90	13.40	3.40	1148.00		1
239	333	36	G37	石皿	凝灰岩	(22.40)	(15.80)	(11.20)	4200.00		2

平面形　①円形　②楕円形　③方形　④隅丸方形　⑤不定形

断面形



第 240 図　ピット形状一覧

第36表　ピット観察表（D地点）

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
1	3434	D7	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	33	26	31	②	①	290
	3435	D7	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	22	22	20	②	①	
	3413	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	38	28	29	②	⑤	
	3414	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	31	20	39	②	⑩	
	3415	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	29	21	35	②	⑨	
	3416	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	32	23	58	②	①	
	3417	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	26	24	57	①	①	
	3418	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	36	24	40	②	⑨	
	3419	C11	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	29	25	52	⑤	①	
	3402	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	34	23	53	⑤	⑩	
	3403	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	32	22	33	⑤	⑩	
	3404	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	29	25	39	②	⑨	
	3405	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	25	22	40	②	①	
	3406	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	27	22	32	②	①	
	3407	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	26	25	47	①	①	
	3408	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	40	24	54	⑤	⑨	
	3409	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	32	30	48	⑤	②	
	3410	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	32	22	36	②	⑩	
	3412	C12	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	24	20	60	⑤	①	
	3411	C13	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	28	21	34	②	②	

第37表　ピット観察表（C地点）①

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2430	F11	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	66	②	①	
	2889	E12	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	8	②	①	
	2890	E12	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	16	5	⑤	③	
	2891	E12	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	20	6	②	③	P2890 を切る
	2901	E12	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	14	①	①	
	2902	E12	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	16	②	①	
	2905	E12	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	12	10	⑤	⑩	P2906 に切られる
	2424	F12	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	32	43	②	⑥	
	2432	G12	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	29	58	⑤	①	
	2435	G12	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	76	②	①	
	2888	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	38	②	②	
	2892	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	8	②	⑦	
	2893	E13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	24	48	⑤	②	
	2894	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	23	14	②	⑦	
	2895	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	25	⑤	⑨	P2896 に切られる
	2896	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	20	36	②	②	
	2897	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	12	②	⑩	
	2898	E13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	21	53	⑤	①	
	2899	E13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	48	⑤	⑩	P2900 に切られる
	2900	E13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	22	63	⑤	⑧	
	2908	E13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	18	14	②	⑨	
	2426	F13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	23	45	②	⑦	
	2428	F13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	28	48	②	⑥	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2423	G13	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	17	60	②	⑨	土器片
	2425	G13	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	43	28	28	⑤	⑨	
	1087	C14	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	30	38	②	①	
	1088	C14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	18	67	②	②	
	1089	C14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	22	58	②	①	
	1090	C14	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	32	50	①	⑩	
	1091	D14	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	28	32	①	①	
	2452	D14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	99	②	①	
	1097	E14	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	(14)	28	①	⑤	
	2427	F14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	20	35	②	①	
	2421	G14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	19	52	⑤	⑦	土器片
	2422	G14	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	19	67	②	⑨	
	1074	A15	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	23	60	②	①	
	1075	A15	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	30	43	②	⑤	
	1076	A15	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	35	72	②	①	
	1099	A15	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	28	63	⑤	①	
	1078	B15	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	14	②	④	
	1079	B15	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	13	①	⑩	
	1080	B15	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	17	①	⑤	
	1085	D15	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	19	21	②	⑤	
	1086	D15	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	27	35	①	⑦	
	2450	D15	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	16	60	⑤	⑩	
	2451	D15	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	15	35	⑤	⑩	
	1096	E15	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	23	62	②	①	
	1098	A16	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	17	13	⑤	③	
	1083	C16	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	28	69	①	①	
	1084	C16	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	26	56	②	⑨	
	2882	D16	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	30	①	①	
	2883	D16	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	20	48	②	①	
	2887	F16	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	20	24	⑤	①	
	2243	A17	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	65	①	①	
	2242	B17	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	32	31	⑤	⑨	
	2244	B17	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	15	53	②	①	
	2245	B17	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	14	52	⑤	②	
	2876	C17	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	15	6	②	③	
	2877	C17	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	20	18	②	⑨	
	2878	D17	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	18	⑤	①	
	2879	D17	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	36	49	⑤	⑤	
	2880	D17	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	20	8	①	③	
	2881	D17	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	14	14	6	①	③	
	2884	E17	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	26	18	⑤	②	
	2885	E17	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	10	⑤	④	
	2886	F17	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	18	20	①	②	
	2360	G17	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	20	23	⑤	①	
	2250	A18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	31	①	⑥	
	2246	B18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	47	47	35	②	⑧	
	2247	B18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	41	②	①	
	2248	B18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	25	20	②	⑤	
	2294	C18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	17	①	⑦	
	2295	C18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	21	40	②	⑥	
	2296	C18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	45	②	⑨	

第38表　ピット観察表（C地点）②

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2297	C18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	36	②	⑥	
	2298	D18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	21	75	②	⑥	
	2299	D18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	27	67	②	①	
	2300	D18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	34	51	⑤	⑨	
	2301	D18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	28	63	②	⑨	
	2356	E18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	29	28	②	⑤	
	2357	E18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	23	13	⑤	②	
	2358	F18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	39	①	①	
	2383	F18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	26	34	⑤	⑨	
	2384	F18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	29	19	⑤	⑤	
	2361	G18	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	15	⑤	⑨	
	2362	G18	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	47	35	45	②	⑨	
	2251	B19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	20	①	⑤	
	2252	B19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	17	16	23	①	①	
	2258	B19	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	26	23	②	⑨	
	2259	B19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	22	26	②	⑨	
	2291	C19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	20	②	⑥	
	2292	C19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	30	25	⑤	⑥	
	2293	C19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	32	31	②	⑨	
	2286	D19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	34	41	②	⑥	
	2287	D19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	38	72	②	②	
	2288	D19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	19	22	②	⑥	
	2289	D19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	25	41	②	⑥	
	2290	D19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	16	39	②	⑥	
	2302	D19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	27	31	②	⑨	
	2351	D19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	32	29	②	⑨	土坑 112 を切る
	2385	D19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	33	35	②	⑨	土坑 112 を切る
	2349	E19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	33	59	⑤	①	
	2352	E19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	28	36	⑤	①	
	2354	E19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	15	②	⑤	
	2359	F19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	10	①	③	
	2366	F19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	23	24	⑤	①	
	2367	F19	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	10	⑤	③	
	2368	F19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	20	39	⑤	①	
	2369	F19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	25	②	⑤	
	2372	F19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	26	14	⑤	③	
	2364	G19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	22	77	②	①	
	2365	G19	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	30	②	②	
	2371	G19	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	21	11	②	④	
	2262	B20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	30	39	②	①	土器片
	2263	B20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	48	41	55	⑤	②	
	2281	C20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	26	48	②	⑨	
	2282	C20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	21	57	⑤	⑨	
	2283	D20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	40	58	②	①	
	2284	D20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	34	51	②	⑥	
	2350	E20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	30	44	⑤	⑨	
	2353	E20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	35	44	②	①	
	2355	E20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	18	39	⑤	⑨	土坑 105 に隣接
	2370	E20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	19	44	⑤	①	
	2373	F20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	27	10	②	③	
	2374	F20	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	25	8	⑤	④	
	2375	F20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	35	16	②	⑤	
	2376	F20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	30	44	⑤	⑨	
	2377	G20	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	31	15	②	⑤	
	2378	G20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	19	38	②	①	
	2379	G20	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	27	14	①	③	
	2381	G20	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	11	②	④	
	2264	A21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	29	71	②	②	
	2265	A21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	55	②	①	
	2254	B21	Ⅲ	10YR2/2	黒色土	32	29	54	⑤	①	
	2268	B21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	39	①	⑨	
	2627	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	24	42	⑤	①	
	2628	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	26	12	②	③	
	2630	C21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	24	6	⑤	④	
	2632	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	48	34	12	⑤	③	
	2634	C21	Ⅲ	—	—	42	24	10	⑤	④	
	2635	C21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	46	38	30	②	⑧	
	2644	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	28	48	⑤	①	
	2645	C21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	30	8	②	③	
	2659	C21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	24	10	⑤	④	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2660	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	76	30	10	⑤	③	
	2661	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	32	10	⑤	③	
	2667	C21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	12	②	③	
	2839	C21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	18	20	⑤	⑩	
	2934	C21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	6	②	③	
	2935	C21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	30	14	②	③	
	2936	C21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	28	16	②	⑤	
	2669	D21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	26	8	⑤	③	
	2670	D21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	62	40	50	⑤	⑩	
	2671	D21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	10	②	③	
	2675	D21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	32	18	⑤	⑤	
	2676	D21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	34	12	⑤	③	
	2857	D21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	34	16	⑤	⑩	
	2874	D21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	8	⑤	③	
	2909	D21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	60	42	12	②	③	
	2910	D21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	28	9	②	④	
	2911	D21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	26	8	⑤	④	
	2912	D21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	30	11	②	①	
	2687	E21	Ⅲ	—	—	38	28	6	⑤	⑩	
	2688	E21	Ⅲ	—	—	30	22	8	⑤	⑩	
	2770	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	26	8	②	③	
	2772	E21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	54	34	20	②	⑤	
	2774	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	30	18	①	⑨	
	2775	E21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	33	14	②	⑨	
	2777	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	10	②	⑦	
	2778	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	30	14	①	③	
	2779	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	34	12	②	④	
	2781	E21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	48	26	13	②	③	
	2827	E21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	26	12	⑤	⑩	
	2828	E21	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	32	8	②	③	
	2767	F21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	52	①	①	
	2768	F21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	12	①	①	
	2769	F21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	62	26	22	⑤	⑨	
	2783	F21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	10	⑤	①	
	2787	F21	Ⅲ	—	—	54	42	14	⑤	③	
	2404	G21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	38	50	②	⑦	土器片
	2405	G21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	32	14	②	④	
	2406	G21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	25	15	②	⑥	土器片
	2407	G21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	20	14	②	①	
	2408	G21	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	37	68	②	①	
	2409	G21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	24	11	②	④	
	2410	G21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	24	41	②	①	
	2412	G21	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	21	②	⑤	
	2620	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	20	12	②	⑦	
	2625	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	28	12	②	④	
	2626	C22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	26	16	②	⑥	
	2637	C22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	24	10	②	④	
	2638	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	24	10	②	④	
	2639	C22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	22	10	②	③	
	2646	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	48	32	14	①	⑨	
	2647	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	10	②	④	
	2648	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	56	26	12	②	③	
	2650	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	50	42	14	②	③	
	2651	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	32	36	②	①	
	2655	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	30	12	①	⑦	
	2657	C22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	46	18	②	⑥	
	2658	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	24	10	①	④	
	2838	C22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	8	②	③	
	2652	D22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	32	10	⑤	③	
	2654	D22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	16	②	⑤	
	2679	D22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	24	18	①	⑦	
	2680	D22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	34	10	②	④	
	2681	D22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	12	②	①	
	2866	D22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	55	②	①	
	2867	D22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	26	12	②	⑦	
	2875	D22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	34	18	②	⑨	
	2678	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	36	14	⑤	③	
	2728	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	14	②	⑦	
	2729	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	14	②	②	
	2731	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	36	12	②	⑧	
	2732	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	10	①	③	
	2733	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	8	①	③	
	2734	E22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	38	34	18	①	⑧	

第39表　ピット観察表（C地点）③

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2735	E22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	44	38	16	⑤	⑤	
	2736	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	54	28	16	⑤	⑥	
	2755	E22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	52	30	16	②	⑨	
	2757	E22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	26	8	②	③	
	2820	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	22	8	⑤	④	
	2821	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	8	②	③	
	2822	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	16	10	②	①	
	2823	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	16	10	②	①	
	2856	E22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	54	46	34	②	⑨	
	2749	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	22	18	②	⑩	
	2752	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	32	12	⑤	③	
	2756	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	28	8	②	④	
	2759	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	52	31	20	⑤	⑨	
	2760	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	22	20	②	⑥	
	2762	F22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	8	②	③	
	2763	F22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	22	10	⑤	⑨	
	2764	F22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	18	⑤	⑤	
	2765	F22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	16	①	⑥	
	2825	F22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	26	12	②	④	
	2861	F22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	56	24	20	⑤	⑨	
	2387	G22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	24	7	②	③	
	2388	G22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	28	16	⑤	⑨	
	2390	G22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	22	15	②	⑤	
	2391	G22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	29	13	①	③	
	2392	G22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	33	53	⑤	⑨	
	2393	G22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	11	①	④	
	2394	G22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	25	10	①	④	
	2399	G22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	30	13	②	③	
	2400	G22	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	23	7	②	④	
	2397	H22	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	30	14	②	⑨	
	2398	H22	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	29	11	②	③	
	2314	B23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	23	48	②	⑤	
	2315	B23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	32	77	②	①	
	2316	B23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	41	②	①	
4	2332	B23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	40	52	①	⑥	292, 293, 礫
	2333	B23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	50	②	⑨	
	2334	B23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	33	63	②	①	
	2335	B23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	23	①	⑥	
	2336	B23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	48	⑤	①	
	2339	B23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	14	②	③	土器片
	2540	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	22	14	⑤	③	
	2541	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	38	②	⑨	
	2543	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	12	⑤	⑩	
	2546	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	52	34	46	⑤	①	土器片（P2559と接合）
	2547	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	56	②	①	土器片
	2548	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	24	50	②	⑦	
	2550	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	46	①	①	
	2552	C23	Ⅲ	－	－	20	20	10	①	④	
	2553	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	16	16	46	①	①	
	2555	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	36	②	①	
	2556	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	20	10	⑤	⑩	
	2559	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	17	22	②	⑥	土器片（P2549一括と接合）
	2608	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	38	②	①	
	2614	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	42	18	②	⑤	
	2615	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	41	10	②	⑦	
	2619	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	32	20	⑤	⑨	
	2800	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	10	②	③	
	2801	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	74	⑤	①	土器片
	2802	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	14	32	⑤	①	
	2836	C23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	19	12	②	④	
	2920	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	38	①	⑨	
	2921	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	22	①	⑤	
	2922	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	24	①	①	
	2929	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	52	①	①	土器片
	2931	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	40	①	①	土器片
5	2932	C23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	78	⑤	⑨	297
	2941	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	14	14	20	①	①	
	2942	C23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	14	14	46	②	①	土器片
	2943	C23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	16	15	⑤	②	
	2570	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	24	28	②	⑦	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2572	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	22	14	②	④	
	2573	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	26	⑤	⑩	
	2574	D23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	24	12	⑤	⑩	
	2575	D23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	22	6	②	③	
	2576	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	26	22	②	⑦	
	2583	D23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	16	6	②	③	
	2589	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	10	②	④	
	2594	D23	Ⅲ	－	－	26	22	12	②	③	
	2595	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	18	①	⑦	
	2596	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	10	②	④	
	2597	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	14	②	③	
	2598	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	18	②	⑥	
	2599	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	80	①	①	
7	2600	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	26	75	⑤	①	299, 磨石
8	2601	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	22	23	②	①	294, 石皿, 礫
	2602	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	14	②	①	
	2603	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	26	48	②	①	
	2604	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	56	②	①	土器片
	2605	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	26	26	⑤	⑨	
	2606	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	20	⑤	①	
	2607	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	24	42	②	①	
	2609	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	18	20	⑤	①	
	2610	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	26	⑤	①	
	2611	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	18	②	⑨	
	2612	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	22	44	②	①	
	2613	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	12	①	③	
	2795	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	14	14	22	①	①	
	2818	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	28	⑤	①	
	2837	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	50	①	①	土器片
	2862	D23	Ⅲ	－	－	14	14	6	①	④	
	2863	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	34	①	①	
	2871	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	10	①	③	土器片
	2872	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	12	①	⑦	
	2917	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	32	16	②	⑨	
	2918	D23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	28	48	②	②	土器片
	2919	D23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	18	16	①	⑤	
	2590	E23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	14	①	④	
	2591	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	26	16	②	⑤	
	2709	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	24	34	②	①	土器片
	2711	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	56	②	①	
10	2712	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	62	②	②	295, 土器片
3	2715	E23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	20	10	①	④	291（P2325と接合）
9	2716	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	28	⑤	⑥	300, 土器片
	2717	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	22	33	⑤	⑥	
	2719	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	24	26	②	⑥	
	2721	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	26	12	②	④	
	2722	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	16	26	①	⑥	
	2723	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	22	①	⑦	
	2725	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	22	10	⑤	④	
	2738	E23	Ⅲ	－	－	32	28	6	②	③	
	2789	E23	Ⅲ	－	－	56	46	10	②	④	
	2813	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	14	⑤	④	
	2814	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	18	8	①	④	
	2817	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	30	12	⑤	②	
	2851	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	58	⑤	②	
	2852	E23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	24	54	⑤	②	
	2853	E23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	24	18	②	⑥	
	2697	F23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	16	11	⑤	⑦	
	2739	F23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	28	18	②	②	
	2740	F23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	52	44	24	②	⑤	
	2741	F23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	50	①	①	
	2746	F23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	32	13	②	③	
	2747	F23	Ⅲ	－	－	44	42	8	⑤	③	
	2748	F23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	48	26	16	⑤	⑩	
	2750	F23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	28	20	②	⑨	
	2751	F23	Ⅲ	－	－	36	20	6	②	⑩	
	2815	F23	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	14	⑤	③	
	2816	F23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	18	6	②	③	
	2855	F23	Ⅲ	－	－	32	24	10	②	⑨	
	2859	F23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	42	16	②	⑥	
	2860	F23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	38	30	12	⑤	③	

第40表　ピット観察表（C地点）④

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2389	G23	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	8	①	④	
	2396	G23	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	29	11	②	③	
	2303	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	14	②	③	
	2304	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	25	41	②	①	
	2305	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	37	14	②	③	
	2307	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	22	46	②	①	
	2309	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	27	50	②	①	
	2310	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	23	47	⑤	⑥	
	2311	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	25	51	②	①	
	2312	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	32	65	①	⑨	
	2313	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	25	56	②	①	土器片
	2318	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	35	52	⑤	⑨	
	2319	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	25	29	①	①	
	2320	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	60	①	①	
	2321	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	18	30	①	⑥	
	2322	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	28	②	⑥	
	2323	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	23	②	⑤	土器片（P2331 一括と接合）
	2324	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	18	②	⑤	
2	2325	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	43	①	①	291（P2715 と接合），礫
	2326	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	24	①	⑤	
	2327	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	13	②	③	
	2328	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	22	18	②	⑤	
	2329	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	19	②	⑤	
	2330	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	20	9	①	③	
	2331	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	16	24	⑤	①	土器片（P2323 一括と接合）
	2337	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	43	②	⑨	
	2338	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	28	②	①	
	2340	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	29	②	⑦	
	2341	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	24	27	②	①	
	2342	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	23	22	②	⑥	土器片
	2343	B24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	18	②	⑦	土器片
	2344	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	33	81	②	⑥	土器片
	2345	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	43	②	⑧	土器片
	2346	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	61	①	⑨	土器片
	2347	B24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	63	①	⑦	
	2348	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	35	20	⑤	⑤	
	2833	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	34	26	②	⑥	土器片
	2924	B24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	6	②	③	
	2502	C24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	16	15	12	①	③	
	2503	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	26	①	⑦	土器片
	2506	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	18	18	②	①	
	2507	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	24	62	②	①	
	2509	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	18	②	⑥	
	2510	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	14	22	⑤	⑥	
	2511	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	28	34	②	①	
	2514	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	28	34	⑤	⑨	
	2515	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	26	12	⑤	④	
	2516	C24	Ⅲ	－	－	54	38	14	⑤	⑨	
	2517	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	26	16	②	⑥	
	2533	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	78	40	22	②	①	
	2534	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	58	36	24	②	⑤	
	2536	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	76	38	18	②	⑥	
	2537	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	22	64	⑤	①	土器片
	2538	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	32	18	②	⑨	
	2539	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	64	②	⑨	
	2542	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	24	20	⑤	⑩	
	2545	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	56	34	16	②	⑥	
	2557	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	32	⑤	⑦	
	2834	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	30	46	⑤	⑩	
6	2925	C24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	38	②	⑨	298，土器片
	2937	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	12	②	①	
	2938	C24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	28	⑤	①	
	2939	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	25	②	①	
	2940	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	6	②	③	
	2947	C24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	8	②	③	
11	2528	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	46	①	①	296
	2529	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	26	20	⑤	⑩	
	2531	D24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	20	14	⑤	③	
	2560	D24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	20	②	⑥	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2592	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	12	⑤	③	
	2593	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	24	18	①	⑥	
	2791	D24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	22	12	②	①	
	2792	D24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	8	①	④	
	2803	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	18	①	⑨	
	2804	D24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	28	⑤	①	
	2835	D24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	12	②	①	
	2869	D24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	15	14	12	①	⑦	
	2870	D24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	10	⑤	④	
	2561	E24	Ⅲ	－	－	22	20	14	②	④	
	2564	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	20	36	②	①	
	2690	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	36	①	①	
	2691	E24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	20	38	①	①	
	2692	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	14	①	④	
	2693	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	40	34	⑤	②	
	2698	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	28	52	⑤	①	土器片
	2699	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	26	28	⑤	①	
	2702	E24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	16	12	②	④	
	2703	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	30	78	②	①	
	2704	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	60	②	①	
	2705	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	30	28	⑤	⑦	
	2706	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	36	42	②	⑨	
	2708	E24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	30	14	②	⑦	
	2806	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	22	44	⑤	①	
	2807	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	16	①	⑦	
	2809	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	44	①	①	
	2840	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	26	52	②	①	
	2841	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	14	②	①	
	2842	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	16	16	8	②	①	
	2843	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	18	34	②	①	
	2844	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	25	40	⑤	①	
	2848	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	16	6	⑤	③	
	2849	E24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	17	16	6	②	⑦	
	2850	E24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	16	6	②	①	
	2913	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	9	②	①	
	2914	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	12	⑤	①	
	2915	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	10	②	①	
	2916	E24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	28	28	②	①	
	2694	F24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	24	36	②	①	
	2695	F24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	12	②	③	
	2696	F24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	38	36	96	②	⑨	
	2845	F24	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	19	11	②	①	
	2846	F24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	34	8	⑤	③	
	2847	F24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	34	14	⑤	③	
	2273	B25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	39	②	⑨	
	2275	B25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	23	44	②	⑥	
	2276	B25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	24	35	②	⑦	
	2277	B25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	55	②	①	
	2278	B25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	23	32	②	①	
	2279	B25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	29	51	①	⑨	
	2280	B25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	37	②	①	
	2944	B25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	22	52	②	①	
	2471	C25	Ⅲ	－	－	32	28	8	②	③	
	2472	C25	Ⅲ	－	－	29	25	8	①	③	
	2474	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	52	22	12	⑤	⑩	
	2475	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	24	10	②	④	
	2482	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	34	16	②	⑦	
	2483	C25	Ⅲ	－	－	34	24	10	②	③	
	2484	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	30	8	②	③	
	2486	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	26	②	⑨	
	2487	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	26	6	②	③	
	2488	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	61	44	14	⑤	⑩	
	2489	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	6	②	③	
	2490	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	18	30	⑤	①	
	2491	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	32	12	⑤	②	
	2492	C25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	14	8	②	③	
	2493	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	12	②	④	
	2494	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	16	②	①	
	2495	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	22	①	①	土器片
	2498	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	38	①	①	
	2831	C25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	26	8	②	③	
	2832	C25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	36	②	①	
	2945	C25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	16	16	3	②	③	

第41表　ピット観察表（C地点）⑤

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2948	C25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	28	40	②	①	土器片
	2949	C25	Ⅱb	10YR3/1	黒褐色土	23	20	44	②	①	樹痕
	2518	D25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	24	6	②	④	
	2519	D25	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	10	②	④	
	2520	D25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	10	①	④	
	2521	D25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	18	②	⑨	
	2522	D25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	10	②	⑩	
	2524	D25	Ⅲ	—	—	24	24	5	①	④	
	2527	D25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	24	16	②	⑨	
	2255	B26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	58	①	⑦	
	2266	B26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	18	①	⑦	
	2269	B26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	35	47	②	⑨	
	2271	B26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	34	49	②	⑨	
	2272	B26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	26	51	②	⑥	
	2453	C26	Ⅲ	—	—	15	14	6	②	③	
	2454	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	50	②	①	
	2455	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	16	①	⑧	
	2456	C26	Ⅲ	—	—	40	34	8	②	④	
	2457	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	30	68	②	⑥	
	2458	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	8	②	⑦	
	2459	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	64	①	⑦	
	2460	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	52	38	16	②	⑥	
	2461	C26	Ⅲ	—	—	35	32	8	①	④	
	2462	C26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	30	10	①	④	
	2463	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	58	26	20	②	⑨	
	2464	C26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	26	8	①	⑦	
	2465	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	44	18	①	⑤	
	2466	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	30	18	⑤	⑤	
	2467	C26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	16	16	①	⑦	
	2468	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	33	12	①	④	
	2470	C26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	19	6	①	④	
	2476	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	28	18	⑤	⑥	
	2477	C26	Ⅲ	—	—	(25)	22	6	⑤	④	P2478に切られる
	2478	C26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	34	12	⑤	⑦	
	2479	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	40	8	①	④	
	2480	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	54	38	17	②	⑧	
	2481	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	28	10	②	⑦	
	2485	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	14	②	③	
	2558	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	30	12	②	④	
	2249	B27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	32	43	②	⑨	
	2253	B27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	25	53	①	⑨	

第42表　ピット観察表（B地点）①

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	3355	F24	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	39	32	17	②	⑤	
	3356	F24	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	24	17	18	⑤	①	
	3375	F24	Ⅴ	①7.5YR1.7/1 ②7.5YR2/1	黒色土	21	10	90	⑤	①	
	1715	G24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	24	10	②	④	
	1716	G24	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	24	18	①	⑤	
	1717	G24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	41	11	①	③	
	1718	G24	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	39	10	②	③	
	3420	E25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	21	10	90	⑤	①	
	3421	E25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	21	16	35	⑤	①	
	3422	E25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	23	19	49	⑤	①	
	3423	E25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	18	16	19	②	①	
	3424	E25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	23	23	39	②	①	
	3357	F25	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	29	20	22	⑤	①	
	3358	F25	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	24	21	38	②	⑥	
	3359	F25	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	28	25	39	⑤	⑥	
	3360	F25	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	23	18	36	⑤	②	
	3361	F25	Ⅲ	①10YR1.7/1 ②10YR1.7/1 ③7.5YR1.7/1 ④10YR1.7/1	黒色土	26	21	42	②	⑩	礫，土器片
	3362	F25	Ⅲ	①10YR1.7/1 ②10YR1.7/1	黒色土	23	20	13	②	③	礫，土器片
	3363	F25	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	26	22	39	②	①	
	1701	F25	Ⅲ	—	—	41	39	82	②	⑥	
	1702	F25	Ⅲ	—	—	40	32	54	⑤	①	
	1703	F25	Ⅲ	—	—	45	35	24	②	⑦	
	1705	F25	Ⅲ	—	—	33	28	51	②	①	
	1707	F25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	37	12	②	⑦	
	1708	F25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	38	②	①	
	1794	F25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	30	40	⑤	⑨	
	1795	F25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	25	60	②	⑨	
	1965	F25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	56	①	①	
	1966	F25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	41	①	⑥	
	1967	F25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	74	①	①	
	1968	F25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	25	25	①	①	
	2154	F25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	22	①	⑥	
	2155	F25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	19	67	⑤	①	
	1706	G25	Ⅲ	—	—	24	23	25	①	⑦	
	1709	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	73	⑤	①	
	1710	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	38	②	②	
	1711	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	15	②	⑨	
	1712	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	29	17	②	⑤	
	1713	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	40	11	①	③	
	1714	G25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	28	②	⑥	
	2083	G25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	24	26	①	⑤	
	2084	G25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	11	①	④	
	2085	G25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	16	7	①	③	
	1719	H25	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	31	18	②	⑤	
	2081	H25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	24	②	①	
	2082	H25	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	23	11	②	③	
	3306	H25	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	12	②	③	
	3365	C26	Ⅲ	5YR1.7/1	黒色土	40	33	9	⑤	④	
	3366	C26	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	33	27	40	⑤	①	
	3367	C26	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	40	38	85	⑤	①	
	3368	C26	Ⅲ	10YR1.7/1	黒色土	30	24	55	②	①	
	3369	C26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	29	53	②	①	
	3370	C26	Ⅲ	①10YR2/1	黒色土	44	42	91	②	⑥	礫，土器片
12	3374	C26	Ⅲ	①5YR1.7/1	黒色土	40	25	116	⑤	①	301,326,礫，土器片,P3367に切られる
	3425	D26	Ⅲ	7.5YR1.7/1	黒色土	40	31	44	⑤	①	
	592	D26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	16	62	②	①	
	851	D26	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	16	14	10	②	④	
	566	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	33	29	②	①	
	567	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	25	37	②	①	
	568	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	33	49	②	⑨	
	569	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	23	29	②	①	
	570	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	13	②	③	
	571	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	29	67	②	①	土器片
	572	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	21	28	②	⑤	
	573	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	53	②	①	
13	574	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	17	61	②	⑦	302,303,土器片
	575	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	24	②	①	
	576	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	50	①	①	土器片
	594	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	23	33	②	⑥	
	595	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	(26)	15	①	⑤	
	596	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	20	44	②	①	
	599	E26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	28	25	②	⑤	
	856	E26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	42	②	⑥	
	859	E26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	22	60	②	⑦	
	860	E26	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	27	26	73	②	⑦	
	861	E26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	17	10	②	③	
	862	E26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	17	21	②	⑥	
	863	E26	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	19	21	②	①	
	864	E26	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	31	28	66	②	①	
	1975	E26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	29	35	②	①	
	1691	F26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	38	②	⑥	
	1692	F26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	24	57	⑤	⑧	
	1694	F26	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	18	22	②	①	
	1695	F26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	23	⑤	⑦	
	1696	F26	Ⅲ	—	—	34	29	50	②	①	
	1697	F26	Ⅲ	—	—	26	25	50	①	①	
	1698	F26	Ⅲ	—	—	24	33	73	①	①	
	1699	F26	Ⅲ	—	—	24	22	52	①	①	

第43表　ピット観察表（Ｂ地点）②

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1700	F26	Ⅲ	－	－	30	29	19	②	⑤	土器片
	1973	F26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	63	②	①	
	1974	F26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	14	28	②	⑦	
	1976	F26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	26	72	②	⑨	
	2149	F26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	19	30	②	⑦	
	2150	F26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	18	14	②	④	
	2151	F26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	14	12	①	⑦	
	2153	F26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	35	33	55	②	①	
	2207	F26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	22	27	⑤	⑦	
	2208	F26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	20	27	②	⑦	
	1720	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	32	②	①	
	1721	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	45	②	⑦	
	1722	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	49	①	①	
	1723	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	21	25	⑤	⑦	
	1724	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	35	70	②	⑦	
	1725	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	32	49	②	①	
	1726	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	32	18	⑤	⑤	
	1727	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	40	①	②	
	1728	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	32	18	②	⑤	
	1730	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	27	49	⑤	②	
	1731	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	19	45	②	⑦	
	1732	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	29	34	⑤	⑦	
	1733	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	23	39	⑤	⑤	
	1734	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	30	77	⑤	②	
	1735	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	17	51	②	⑦	
	1736	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	40	②	⑦	
	1737	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	19	63	②	⑨	
	1738	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	8	①	④	
	1739	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	25	32	①	⑦	
	1740	G26	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	67	⑤	①	
	1741	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	21	85	⑤	①	
	1743	G26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	33	78	⑤	⑨	
14	2069	G26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	37	29	67	②	⑥	304
	2070	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	20	18	②	⑦	
	2071	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	36	20	44	⑤	②	
	2072	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	25	21	②	⑥	
	2073	G26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	32	28	16	②	⑤	
	2074	G26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	20	50	②	①	
	2075	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	15	45	②	②	
	2077	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	31	21	32	⑤	⑨	
	2086	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	36	25	30	②	①	
	2087	G26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	31	31	43	②	①	
	2156	G26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	23	30	②	⑦	
	1763	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	15	14	12	①	①	
	1764	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	36	15	②	⑤	
	1765	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	40	①	①	
	2078	H26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	25	34	②	①	
	2079	H26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	20	35	②	①	
	2080	H26	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	23	49	①	①	
	2204	H26	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	15	45	②	①	
	3307	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	11	39	②	①	
	3308	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	54	②	⑨	
	3309	H26	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	28	51	②	①	
	3372	C27	Ⅲ	5YR1.7/1	黒色土	24	24	15	②	⑤	
	505	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	29	①	①	
	506	C27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	32	24	①	⑨	
	507	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	21	19	②	⑨	
	508	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	35	12	①	③	
	510	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	33	17	①	⑨	
	511	C27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	31	10	①	③	
	512	C27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	21	17	②	⑤	
	513	C27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	30	18	②	⑤	
	514	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	21	6	①	③	
	515	C27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	19	9	②	③	
	517	C27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	26	48	②	⑦	
	579	C27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	39	42	①	⑤	
	580	C27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	27	8	①	③	
	516	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	34	13	②	⑨	
	518	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	35	58	②	⑨	
	519	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	21	73	②	⑦	
	520	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	41	55	②	⑦	土器片
	521	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	31	10	①	④	
	522	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	32	6	①	③	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	523	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	27	22	②	⑤	
	527	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	33	17	②	⑨	
	528	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	28	58	②	①	
	529	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	41	②	⑦	礫
	530	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	21	44	②	①	
	531	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	27	②	①	
	532	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	25	46	②	①	
	534	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	29	11	②	④	
	536	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	14	②	⑨	
	538	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	31	11	②	③	土器片
	542	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	29	20	②	⑧	
	543	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	49	47	26	②	⑨	
	544	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	33	13	②	③	
	545	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	9	②	③	
	546	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	11	②	③	
	547	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	31	72	②	⑥	
	548	D27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	16	11	②	③	
	549	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	43	27	88	②	⑥	土器片
	550	D27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	34	17	②	⑥	
	552	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	22	52	②	①	
	578	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	26	31	②	⑥	
	581	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	28	15	①	⑤	
	584	D27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	10	①	③	
	585	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	25	39	②	⑥	
	586	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	35	51	①	①	
	587	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	23	24	②	⑤	
	588	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	9	①	③	
	590	D27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	31	31	①	⑨	
	591	D27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	38	74	①	①	
	837	D27	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	14	13	14	②	④	
	838	D27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	19	32	②	①	
	839	D27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	16	23	②	①	
	840	D27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	27	30	①	①	
	841	D27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	13	11	21	②	①	
	842	D27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	17	②	⑦	
	843	D27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	14	11	②	⑦	
	845	D27	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	15	13	13	②	①	
	846	D27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	15	39	②	①	
	849	D27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	15	66	②	⑥	
	850	D27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	17	17	②	⑥	
	553	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	10	②	③	
	554	E27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	24	14	②	③	
	555	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	57	29	20	②	⑤	
	556	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	33	29	②	①	
	561	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	16	18	②	⑤	
	562	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	26	②	①	
	563	E27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	28	65	②	⑦	
	565	E27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	33	63	②	①	
	597	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	(22)	6	①	③	
	598	E27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	24	35	②	①	
	847	E27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	16	14	②	①	
	848	E27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	17	14	①	①	
	853	E27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	24	35	②	①	土器片
	854	E27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	16	30	②	⑦	
	857	E27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	21	43	②	⑦	
	858	E27	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	17	64	②	①	
	865	E27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	20	39	②	①	
	1977	E27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	9	①	④	
	1679	F27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	53	②	①	
	1680	F27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	35	80	①	⑥	
	1681	F27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	62	②	①	
	1682	F27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	22	32	⑤	⑤	
	1683	F27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	27	11	②	③	
	1684	F27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	49	①	①	
	1686	F27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	30	②	⑥	
	1687	F27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	32	41	①	⑦	
	1689	F27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	39	②	①	
	1690	F27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	33	②	②	
	2064	F27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	26	32	②	①	
	2065	F27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	14	14	②	⑦	
	2088	F27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	26	②	①	
	1744	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	55	②	①	
	1747	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	31	14	②	④	

第44表　ピット観察表（Ｂ地点）③

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1748	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	30	②	①	
	1749	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	24	13	②	④	
	1751	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	29	56	②	②	
	1752	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	21	25	①	⑦	
	1753	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	29	31	②	①	
	1754	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	60	②	①	礫
	1755	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	45	34	27	②	⑨	
	1756	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	28	47	②	⑥	
	1757	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	23	28	②	①	
	1758	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	21	38	①	①	
	1759	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	24	⑤	⑤	
	1760	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	31	②	①	
	1761	G27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	15	15	②	⑤	
	1762	G27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	66	①	①	
	2063	G27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	28	57	②	①	
	2066	G27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	13	12	15	②	⑦	
	2067	G27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	17	13	②	①	
	2068	G27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	25	27	②	⑥	
	2089	G27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	21	②	①	
	1766	H27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	15	16	②	⑤	
	1767	H27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	35	36	⑤	⑨	
	1768	H27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	19	48	⑤	①	土器片
	1769	H27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	42	⑤	②	
	1770	H27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	21	41	⑤	①	
	1771	H27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	27	23	②	⑨	
	1772	H27	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	25	52	②	①	
	1773	H27	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	32	①	①	
	2059	H27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	26	25	②	⑨	
	2060	H27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	16	12	①	②	
	2061	H27	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	23	34	②	①	
	2062	H27	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	23	41	②	①	
	3310	H27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	40	31	②	⑤	
	3311	H27	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	27	②	①	土器片
	446	B28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	18	65	②	⑥	
	447	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	30	14	①	⑨	
	3315	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	28	7	②	③	
	3338	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	30	32	②	①	
	3339	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	38	11	②	③	
	3340	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	40	55	②	①	
	3341	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	13	②	③	
	3342	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	30	23	②	⑧	
	3347	B28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	14	②	③	
	448	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	27	22	①	⑨	
	449	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	49	34	13	①	③	
	450	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	37	37	7	①	③	
	451	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	31	16	②	⑥	
	452	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	23	15	②	⑥	
	454	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	35	33	17	②	⑨	
	455	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	37	29	13	②	③	
	457	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	37	14	②	④	
	458	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	32	26	②	⑨	
	459	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	27	14	②	③	
	460	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	28	9	②	③	
	461	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	44	18	①	⑨	
	462	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	32	12	②	③	
	463	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	32	15	①	⑤	
	465	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	32	16	②	⑤	
	466	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	37	16	①	⑨	
	467	C28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	43	40	31	①	⑤	
	468	C28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	31	8	①	③	
	469	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	11	①	③	
	470	C28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	31	5	①	③	
	836	C28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	13	22	②	⑧	
	471	D28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	21	11	①	③	
	472	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	32	9	②	④	
	473	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	31	11	②	③	
	474	D28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	27	36	②	①	
	475	D28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	39	11	①	③	
	477	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	37	15	②	⑤	
	478	D28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	9	①	③	
	479	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	10	②	④	
	480	D28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	23	②	⑨	
	481	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	50	38	12	②	④	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	482	D28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	26	12	②	③	
	483	D28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	19	①	⑨	
	485	D28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	31	15	①	⑨	
	486	D28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	20	35	②	①	
	488	E28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	38	36	6	①	③	
	489	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	12	②	③	
	490	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	28	15	②	⑤	
	492	E28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	26	11	①	③	
	493	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	27	12	②	③	
	494	E28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	29	20	②	⑥	
	495	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	42	16	②	⑨	
	496	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	19	16	②	⑤	
	497	E28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	23	34	②	①	土器片
	498	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	9	②	③	
	500	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	14	②	④	
	501	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	34	31	②	⑨	土器片
	502	E28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	28	9	②	④	
	503	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	6	②	③	
	504	E28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	30	14	②	③	
	852	E28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	16	39	②	①	
	1667	F28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	21	①	②	
	1668	F28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	31	18	⑤	⑥	
	1669	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	21	32	②	①	
	1671	F28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	30	29	⑤	①	土器片
	1672	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	27	55	②	①	
	1673	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	20	52	②	⑥	
	1674	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	23	46	②	⑨	
	1676	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	26	80	①	①	
	1677	F28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	31	43	⑤	②	
	1678	F28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	26	64	①	①	
25	1964	F28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	31	18	②	⑤	318
	2142	F28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	37	37	77	⑤	①	
	2143	F28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	21	37	②	①	
	2144	F28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	27	16	①	⑦	
	2145	F28	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	15	15	②	⑦	
	2146	F28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	23	50	⑤	⑦	
	2148	F28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	16	17	②	①	
	2232	F28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	19	28	②	⑦	
	1790	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	50	①	①	
	1791	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	12	11	7	①	④	
	1792	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	12	12	10	①	③	
	1793	G28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	17	14	28	②	①	
	1796	G28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	31	12	②	③	
	1797	G28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	27	54	⑤	①	
	1798	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	31	49	⑤	⑥	
	1801	G28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	32	16	②	⑦	
	1802	G28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	42	33	10	②	③	
	1804	G28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	30	14	①	③	
	1805	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	30	33	①	⑦	
	1807	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	22	64	①	①	
	1808	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	18	38	①	①	
	1809	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	28	39	②	①	
	1846	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	20	①	①	
29	1972	G28	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	22	51	⑤	⑤	319
	2044	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	40	⑤	⑦	
	2045	G28	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	16	11	②	⑦	
	2046	G28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	20	36	②	⑦	
	2047	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	16	18	⑤	②	
	2048	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	18	12	②	③	
	2049	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	17	22	②	①	土器片
	2050	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	31	28	44	⑤	⑦	
	2051	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	23	18	②	⑥	
	2052	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	27	64	②	①	
	2053	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	17	①	①	
	2054	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	24	48	②	①	土器片
	2055	G28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	18	15	②	⑥	
	2056	G28	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	18	21	②	⑤	
	2057	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	18	①	⑦	
	2058	G28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	26	①	①	
	1774	H28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	30	21	⑤	⑤	
	1776	H28	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	33	19	②	⑤	
	1778	H28	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	24	14	⑤	④	
	2203	H28	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	23	②	⑥	

第45表　ピット観察表（Ｂ地点）④

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	334	B29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	24	20	②	①	
	336	B29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	34	66	①	①	土器片
	831	B29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	14	25	②	①	土器片
	3316	B29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	36	22	②	⑤	
	3317	B29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	21	②	⑤	
	3318	B29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	50	②	①	
	3319	B29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	12	②	③	
	252	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	19	55	②	①	
	331	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	34	53	①	①	土器片
	332	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	32	②	①	土器片
	333	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	22	①	⑥	土器片
	335	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	27	55	①	①	土器片
	338	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	40	①	①	
	339	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	37	32	10	②	③	
	341	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	33	②	⑨	
	342	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	18	6	②	③	
	343	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	26	24	②	⑨	
	344	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	31	11	①	⑩	
	345	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	18	5	②	⑩	
	347	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	28	15	②	⑨	
	348	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	24	20	②	⑦	
	350	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	60	②	⑦	土器片
	352	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	32	68	①	①	
	353	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	17	①	⑤	
	355	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	17	67	②	①	土器片
	356	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	33	①	①	
	357	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	19	21	②	⑨	
	358	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	40	23	②	⑨	
	360	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	41	38	10	①	③	
15	364	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	24	36	②	⑥	305，土器片
	366	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	12	①	③	
	367	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	31	32	②	①	
	368	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	34	39	①	⑨	土器片
	369	C29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	9	①	③	土器片
	371	C29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	30	71	②	①	
	374	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	45	32	45	②	⑨	
	375	C29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	27	55	②	①	土器片
	825	C29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	23	73	②	①	土器片
	830	C29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	15	②	⑤	
	832	C29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	14	22	②	①	
	833	C29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	13	35	②	①	土器片
	288	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	27	12	①	③	
	376	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	21	7	①	③	
	378	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	34	12	①	③	
	379	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	45	13	①	③	
	382	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	32	16	②	⑤	
	383	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	23	①	⑤	
	384	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	15	①	⑨	
	385	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	37	16	①	⑤	
	387	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	33	15	①	⑤	
	388	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	23	①	①	
	393	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	29	24	①	⑨	
	394	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	26	30	②	⑨	
	396	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	29	9	②	③	
	397	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	30	14	②	⑨	
	398	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	14	②	④	
	399	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	27	10	②	③	
	400	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	12	②	④	
	401	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	38	19	②	⑨	
	402	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	15	12	②	③	
	403	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	27	18	②	⑨	
	405	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	42	18	②	⑨	土器片
	406	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	33	18	②	①	
	408	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	33	17	①	⑤	
	409	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	17	17	①	①	
	410	D29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	38	16	②	⑨	
	411	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	36	57	①	①	土器片
	412	D29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	25	13	②	⑨	
	415	D29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	66	④	⑦	土器片
	820	D29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	17	65	②	⑥	
	822	D29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	18	58	②	⑦	
	834	D29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	18	40	②	⑥	土器片
	835	D29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	14	13	②	⑦	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	391	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	21	8	①	③	
	392	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	25	11	②	③	
	413	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	30	24	①	⑤	
18	414	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	38	59	①	①	310，土器片
	417	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	10	①	③	
	418	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	25	21	②	⑨	
	420	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	23	11	②	③	
	421	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	12	①	⑨	
	422	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	39	42	①	⑤	土器片
	423	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	27	33	①	①	
	424	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	20	29	②	⑤	
	425	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	30	66	①	⑨	土器片
19	426	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	33	55	②	⑩	311，土器片
	427	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	31	16	②	⑩	
	428	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	23	34	①	①	
20	429	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	29	47	①	①	312，313
	430	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	39	32	18	①	⑤	
	432	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	29	14	①	④	
	433	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	25	63	①	①	土器片
	434	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	27	45	②	⑦	
	435	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	31	19	①	⑤	
	436	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	25	70	②	①	
	437	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	29	25	①	①	
	438	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	57	①	①	土器片
	440	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	16	②	⑤	
	441	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	31	69	②	①	
	442	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	26	12	②	③	
	443	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	26	26	②	⑨	
	444	E29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	41	35	13	②	③	
	445	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	40	21	①	⑤	
	812	E29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	19	65	②	⑦	
	813	E29	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	25	21	25	②	⑥	
	814	E29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	21	39	②	⑦	土器片
	815	E29	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	19	22	②	⑥	
	816	E29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	15	②	⑥	
	817	E29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	18	61	②	⑥	土器片
	818	E29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	18	52	②	①	
	819	E29	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	23	22	15	②	⑤	
	1951	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	22	42	②	⑦	
	1952	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	23	28	①	⑤	
	1954	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	47	44	22	②	⑦	
	1955	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	40	②	①	
	1956	E29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	43	②	⑦	
	1958	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	25	33	②	⑦	
	1959	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	18	16	②	⑥	
	1961	E29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	27	①	⑥	
	1619	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	21	26	①	①	
	1620	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	25	54	①	⑦	
	1621	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	20	49	⑤	①	
	1622	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	56	②	①	
	1624	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	49	②	①	
	1625	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	35	②	①	
	1627	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	12	①	③	
	1628	F29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	16	13	10	⑤	⑦	
	1629	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	17	14	②	⑦	
	1630	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	22	63	②	①	
	1631	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	63	②	①	
	1632	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	25	34	⑤	⑨	
	1633	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	57	②	②	
	1635	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	27	88	②	①	
	1636	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	33	68	②	②	
	1637	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	65	①	①	
	1638	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	28	74	②	①	
	1639	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	25	67	②	⑦	
	1640	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	30	②	⑤	
24	1641	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	45	⑤	①	317
	1642	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	33	②	①	
	1643	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	27	51	⑤	⑦	
	1644	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	40	②	⑥	
	1645	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	46	①	①	

第46表　ピット観察表（Ｂ地点）⑤

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
23	1646	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	31	15	②	⑤	316(P1648と接合),土器片
	1647	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	26	50	①	②	
22	1648	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	35	62	②	⑤	316(P1646と接合)
	1649	F29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	25	12	②	③	
	1650	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	30	17	②	⑤	
	1651	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	35	14	②	③	
	1652	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	29	43	②	①	
	1654	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	27	67	②	⑥	
	1655	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	15	①	⑦	
	1656	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	19	31	②	②	
	1657	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	24	①	①	
	1658	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	27	36	②	⑤	
	1659	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	21	54	⑤	⑧	
	1660	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	33	21	②	⑤	
	1661	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	24	①	⑤	土器片
	1662	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	23	44	①	②	
	1663	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	28	48	①	⑦	土器片
26	1664	F29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	38	38	①	②	328
	1665	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	20	②	⑦	
	1666	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	18	17	⑤	⑤	
	1950	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	27	50	②	②	
	1953	F29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	33	①	①	
21	1957	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	30	43	②	①	314,315,土器片
	1960	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	25	42	①	⑦	土器片
	1962	F29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	38	62	②	①	土器片
	2130	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	8	②	④	
	2131	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	19	34	①	①	
	2132	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	22	40	①	⑦	
	2133	F29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	22	17	①	①	
	2134	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	20	42	②	⑦	
	2135	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	21	12	①	④	
	2136	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	30	54	⑤	①	
	2137	F29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	27	25	56	②	⑥	
	2138	F29	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	24	22	42	②	①	
	2189	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	11	②	③	
	2190	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	15	10	②	③	
	2191	F29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	22	55	①	⑦	
	2192	F29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	13	11	16	②	⑥	
	2194	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	20	②	①	
	2209	F29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	20	27	①	⑦	
	1803	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	38	②	②	
	1810	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	18	29	①	①	
	1811	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	31	36	②	①	
	1812	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	23	58	②	①	
27	1813	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	24	①	①	329
	1814	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	62	①	①	
	1817	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	24	29	②	⑨	
	1818	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	36	①	⑦	
	1819	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	36	18	②	⑦	
	1820	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	34	22	⑤	①	
	1821	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	47	②	⑥	
	1822	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	35	21	①	⑦	
	1823	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	34	11	①	③	
	1824	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	44	37	25	⑤	⑨	
	1825	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	22	②	⑨	
	1826	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	32	17	⑤	⑨	
	1827	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	29	②	⑤	
	1828	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	28	29	②	⑦	
	1829	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	31	13	②	③	
	1830	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	29	11	②	③	
28	1831	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	48	②	①	330
	1832	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	45	②	⑥	
	1833	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	29	20	⑤	⑤	
	1835	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	32	34	②	⑨	
	1836	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	29	10	②	③	土器片
	1837	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	9	①	③	
	1838	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	32	9	①	③	
	1840	G29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	23	39	②	①	
	1843	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	14	①	④	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1844	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	26	12	②	⑦	
	1845	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	28	28	⑤	①	
	1847	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	40	⑤	⑥	
	1848	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	20	30	②	①	
	1849	G29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	17	16	10	①	⑦	
	1873	G29	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	19	9	②	⑦	
	2195	G29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	22	23	①	⑦	
	2196	G29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	21	21	①	①	
	2197	G29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	19	31	②	①	
	2198	G29	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	21	56	②	⑥	土器片
	2199	G29	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	22	20	13	②	③	
	2200	G29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	20	20	①	①	
	2201	G29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	35	②	①	
	2202	G29	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	18	①	⑤	
	1780	H29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	9	②	④	
	1781	H29	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	16	②	⑤	
	1786	H29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	36	17	②	⑤	
	1787	H29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	29	12	②	③	
	1788	H29	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	14	60	②	②	
	3320	B30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	7	⑤	③	
	3321	B30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	6	②	③	
	3322	B30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	33	33	⑤	⑨	
	242	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	12	22	⑤	⑤	
	243	C30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	17	13	⑤	③	
	244	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	29	45	②	①	
	245	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	21	16	②	⑥	
	246	C30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	44	37	12	⑤	③	
	247	C30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	24	16	②	⑤	
	248	C30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	27	49	②	①	
	249	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	19	②	⑤	
	250	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	22	②	⑨	
	251	C30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	27	51	②	①	土器片
	328	C30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	(15)	29	17	②	⑥	土器片
	329	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	(20)	16	②	⑥	
	330	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	(17)	22	②	①	
	800	C30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	29	61	②	①	
	801	C30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	19	31	②	①	
	824	C30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	16	38	①	⑦	
	827	C30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	26	30	②	⑥	
	828	C30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	31	30	36	②	①	土器片
	829	C30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	22	59	②	⑥	土器片
17	208	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	26	24	①	⑥	307,308,309,327,土器片
	253	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	23	②	①	
	254	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	7	①	③	
	256	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	37	31	9	①	④	
	257	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	30	17	①	⑥	
	258	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	36	18	②	⑨	
	259	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	23	14	②	④	
	261	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	27	14	②	③	
	264	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	23	15	②	⑤	
	265	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	19	②	⑥	
	266	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	18	11	②	④	
	267	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	37	11	②	③	
	268	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	25	17	②	⑨	
	269	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	16	②	⑨	
	271	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	26	21	②	⑤	
	272	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	21	②	⑤	
	274	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	23	12	②	③	
16	275	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	34	54	②	①	306,土器片
	276	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	42	16	①	⑤	
	277	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	22	10	①	⑨	
	279	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	33	25	②	⑤	
	280	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	34	21	①	⑤	
	281	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	27	21	①	⑤	
	282	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	26	②	①	
	283	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	29	65	②	①	礫
	284	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	43	36	8	②	③	
	285	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	25	18	②	⑤	
	797	D30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	19	11	①	⑦	
	798	D30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	29	12	①	③	

第47表　ピット観察表（Ｂ地点）⑥

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	821	D30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	21	60	②	⑦	
	823	D30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	19	24	①	①	
	826	D30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	30	25	31	②	⑤	
	289	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	31	14	②	③	
	290	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	39	40	①	⑨	
	291	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	32	11	②	③	
	292	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	34	73	②	①	
	293	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	29	85	②	①	
	294	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	29	29	②	⑨	
	295	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	30	10	②	④	
	296	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	28	5	②	④	
	297	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	24	19	②	⑤	
	298	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	25	34	②	⑨	
	299	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	28	45	②	⑨	
	300	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	72	②	⑨	
	301	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	27	33	①	①	
	302	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	23	26	①	①	
	303	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	24	19	②	⑨	
	304	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	19	66	①	①	
	305	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	15	57	②	⑦	土器片
	306	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	38	①	①	
	307	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	34	14	②	④	
	308	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	30	①	①	
	309	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	36	①	①	土器片
	310	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	47	②	①	
	311	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	72	①	①	
	312	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	27	42	②	⑥	
	315	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	23	25	①	⑥	
	316	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	19	8	②	③	土器片
	317	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	29	28	②	⑨	土器片
	318	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	29	21	①	⑨	
	319	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	18	①	⑤	
	320	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	12	①	③	
	321	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	38	20	①	⑨	
	322	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	26	8	①	④	
	323	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	23	12	②	③	
	324	E30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	20	7	②	③	
	325	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	33	17	①	⑨	
	793	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	38	②	⑨	
	794	E30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	20	②	⑨	
	795	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	17	86	②	⑥	
	796	E30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	22	45	①	⑦	
	805	E30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	15	42	②	②	
	806	E30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	16	40	②	①	
	807	E30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	35	②	①	
	808	E30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	22	20	②	⑦	
	809	E30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	22	31	②	⑥	
	810	E30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	20	51	②	⑦	
	811	E30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	16	28	①	⑦	
	866	E30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	20	38	⑤	⑦	土器片
	1608	F30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	16	16	9	⑤	③	
	1609	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	39	①	②	
	1610	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	21	12	⑤	④	
	1611	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	27	13	①	③	
	1612	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	26	①	②	
	1613	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	11	②	③	
	1614	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	32	⑤	①	
	1615	F30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	21	44	②	②	
	1617	F30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	24	17	②	⑥	
	1618	F30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	30	56	②	①	
	1946	F30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	17	⑤	⑤	
	1948	F30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	18	②	⑤	
	1949	F30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	25	41	①	②	土器片
	1874	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	29	15	②	⑤	
	1875	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	8	②	③	
	1876	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	21	⑤	⑨	
	1878	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	16	51	②	①	
	1879	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	38	28	①	①	
	1880	G30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	21	55	⑤	⑨	
	1881	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	20	51	②	⑦	
	1882	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	28	28	①	⑤	
	1883	G30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	31	13	②	③	
	1886	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	33	13	②	③	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1887	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	32	68	⑤	①	
	1888	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	26	12	②	⑦	
	1889	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	70	②	①	
	1890	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	9	①	③	
	1892	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	32	29	①	⑦	
	1899	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	13	②	③	
	1900	G30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	13	①	⑦	
	1901	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	22	60	⑤	⑨	
	1902	G30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	19	②	①	
	1908	G30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	22	①	①	
	1969	G30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	23	40	②	②	
	1978	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	15	19	①	①	
	1979	G30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	13	38	①	①	
	2126	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	17	39	②	⑦	
	2127	G30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	34	26	46	⑤	⑥	
	2128	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	16	18	②	⑥	
	2129	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	17	38	①	⑥	
	2188	G30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	13	27	②	⑦	
	2237	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	12	50	⑤	①	
	2238	G30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	12	14	②	③	
	1851	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	71	①	①	
	1852	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	13	②	④	
	1853	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	15	②	⑥	
	1854	H30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	21	13	②	⑨	
	1855	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	11	12	⑤	⑦	
	1856	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	33	①	①	
	1857	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	19	18	②	⑦	
	1858	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	14	39	⑤	①	
	1859	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	31	②	⑦	
	1861	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	43	27	23	②	⑨	
	1862	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	35	16	⑤	⑤	
	1863	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	17	16	22	①	①	
	1864	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	29	②	②	
	1865	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	13	60	②	①	
	1866	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	41	②	⑦	
	1867	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	19	56	②	①	
	1868	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	7	②	③	
	1869	H30	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	23	12	②	③	
	1870	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	22	63	②	②	
	1871	H30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	21	73	②	②	
	1872	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	11	②	③	
	1893	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	19	53	②	①	
	1896	H30	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	15	②	⑤	
	1980	H30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	18	17	49	②	①	
	2186	H30	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	20	35	②	①	
	2187	H30	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	17	43	②	①	
	3323	B31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	34	14	⑤	⑨	土器片
	618	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	35	31	②	⑨	
	620	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	25	22	⑤	⑥	
	621	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	27	16	②	⑨	
	622	C31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	19	17	②	⑥	
	624	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	34	②	①	
	625	C31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	42	34	19	②	⑥	
	729	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	24	10	②	③	
	730	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	44	46	①	⑨	
	731	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	33	55	②	⑥	
	733	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	28	27	②	①	
	736	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	23	15	②	⑤	
	799	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	15	①	⑤	
	802	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	26	66	②	①	礫
	803	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	26	27	②	①	
	804	C31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	58	②	①	
	1041	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	29	23	33	②	⑦	
	1042	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	18	15	16	②	⑥	
	1043	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	22	12	①	③	
	1044	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	25	25	②	⑤	
	1045	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	45	24	38	②	⑤	
	1046	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	24	30	①	①	土器片
	1047	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	19	52	①	①	
	1048	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	21	33	①	①	
	1049	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	24	25	①	⑥	
	1050	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	22	39	①	⑦	
	1051	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	22	22	①	①	

第48表　ピット観察表（Ｂ地点）⑦

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1052	C31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	36	①	①	
	1054	C31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	42	25	50	⑤	⑦	土器片
	3324	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	6	②	③	
	3346	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	43	②	①	
	3353	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	26	32	②	⑤	
	3354	C31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	22	7	②	③	
	608	D31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	37	11	②	③	
	610	D31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	47	43	9	②	⑨	
	611	D31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	41	33	16	②	⑨	
	612	D31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	39	20	②	⑨	
	613	D31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	37	10	②	③	
	616	D31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	23	25	②	⑦	土器片
	617	D31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	14	11	12	②	④	
	726	D31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	17	16	12	①	①	
	727	D31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	31	16	①	⑨	
	728	D31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	28	12	①	③	
	1053	D31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	20	21	①	⑥	
	1055	D31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	21	49	②	①	
	1056	D31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	14	26	②	①	
	1057	D31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	22	10	②	③	
	1058	D31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	29	20	53	②	⑨	
	1059	D31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	18	70	②	①	
	601	E31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	38	②	⑦	
	602	E31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	23	29	②	⑦	
	603	E31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	42	②	⑧	
	604	E31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	26	9	②	③	
	605	E31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	40	7	②	④	
	607	E31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	18	②	⑦	
	724	E31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	30	52	②	⑦	
	725	E31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	33	16	②	⑤	
	971	E31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	35	31	26	②	⑤	
	1060	E31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	28	52	①	①	
	1061	E31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	36	28	45	②	⑥	
	1063	E31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	26	42	①	⑦	
	1417	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	22	①	⑦	
	1418	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	35	74	①	①	
	1419	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	19	13	②	③	
	1420	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	27	64	⑤	①	
	1421	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	14	①	⑩	
	1423	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	(22)	22	10	②	③	P1479に切られる
	1424	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	20	43	②	①	
	1425	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	50	①	①	
	1426	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	52	①	①	
	1427	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	72	②	①	
	1428	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	9	①	③	
	1429	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	26	5	②	③	
	1430	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	31	13	①	③	
	1431	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	21	15	①	⑥	
	1434	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	(20)	35	13	⑤	⑩	
	1435	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	27	59	①	①	
	1436	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	6	①	③	
	1437	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	15	15	59	①	①	
	1438	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	34	8	②	③	
	1439	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	12	①	③	
	1444	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	52	①	①	
32	1445	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	26	71	①	①	322
	1446	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	28	35	②	⑤	
	1447	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	10	①	③	
	1448	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	18	8	①	③	
	1449	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	22	13	①	③	
	1450	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	35	32	16	①	⑤	
	1451	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	12	①	③	
	1452	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	12	①	③	
	1453	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	27	9	②	③	
	1454	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	15	②	⑤	
	1478	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	22	26	②	⑥	
	1479	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	24	11	②	③	
	1931	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	22	29	①	①	
	1932	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	34	63	②	⑧	
	1933	F31	Ⅲ	－	－	28	22	137	②	①	
	1934	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	27	50	⑤	⑦	
	1935	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	12	55	⑤	①	
	1943	F31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	23	34	②	②	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1944	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	17	60	②	⑥	
	1945	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	32	43	⑤	②	
	2090	F31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	33	74	②	①	
	2091	F31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	32	①	⑨	
	2230	F31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	19	64	②	⑨	
	1422	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	30	67	⑤	①	
	1455	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	21	16	①	⑤	
	1456	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	29	58	①	①	
	1457	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	24	9	②	③	
	1458	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	24	57	①	①	
	1459	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	24	39	①	①	
	1460	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	17	34	①	⑥	
	1461	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	71	②	②	
	1462	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	10	52	②	①	
	1463	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	21	10	②	③	
	1464	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	19	38	②	①	
	1465	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	29	①	⑦	
	1466	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	29	①	①	
	1467	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	14	①	③	
	1468	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	21	33	①	①	
	1469	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	21	25	②	①	
	1470	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	25	39	①	⑨	
	1480	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	72	①	⑦	
	1481	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	26	①	⑦	
	1482	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	15	34	②	①	
	1483	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	23	44	②	①	
	1485	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	31	52	①	①	
	1487	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	21	23	⑤	⑤	
	1488	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	42	35	15	②	⑤	
	1489	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	27	49	②	①	
	1490	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	16	68	⑤	①	
	1491	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	21	48	①	①	
	1492	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	46	①	⑦	P1493を切る
	1493	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	13	①	③	P1492に切られる
	1494	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	25	18	①	①	
	1495	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	25	22	①	①	
	1496	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	21	23	②	⑨	
	1497	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	50	①	②	
	1498	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	24	41	①	①	
	1499	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	29	54	②	①	
	1500	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	8	②	④	
	1501	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	27	9	①	③	
	1502	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	20	5	②	④	
	1503	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	46	①	⑨	
	1504	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	34	13	⑤	③	
	1505	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	24	51	②	⑦	
	1506	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	42	16	①	⑥	
	1507	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	27	11	②	③	
	1509	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	26	50	①	①	
	1519	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	20	25	②	⑨	
	1897	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	21	②	⑤	
	1898	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	34	②	⑦	
	1903	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	25	46	⑤	②	
	1904	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	25	70	②	⑦	
	1905	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	14	35	②	①	
	1906	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	16	27	②	①	
	1907	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	41	①	⑨	
	1936	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	33	13	②	③	
	1937	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	22	①	①	
	1938	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	28	38	②	⑧	
	1939	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	53	⑤	②	
	1940	G31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	17	48	⑤	①	P1939に切られる
	1941	G31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	24	①	⑤	
	1942	G31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	58	②	①	
	2033	G31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	39	22	58	⑤	⑨	
	2034	G31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	26	23	⑤	⑦	
	2035	G31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	23	66	②	⑥	
	2123	G31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	19	35	①	①	
	2124	G31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	13	48	②	①	
	2125	G31	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	18	13	②	③	
	2157	G31	Ⅴa	10YR4/3	灰色褐色土	35	28	35	②	⑤	

第49表　ピット観察表（Ｂ地点）⑧

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2228	G31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	19	15	34	②	①	
	1471	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	52	⑤	①	
	1472	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	59	⑤	⑨	P1471に切られる
	1473	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	46	⑤	⑨	P1472に切られる
	1510	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	50	16	20	⑤	⑩	
	1512	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	21	17	①	⑦	
	1515	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	17	15	15	②	⑦	
	1516	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	27	58	②	⑦	
	1517	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	13	①	③	
	1518	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	31	28	①	①	
	1520	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	18	41	②	①	
	1521	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	52	①	①	
	1522	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	17	56	①	①	
	1523	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	62	①	⑥	
	1524	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	17	20	①	①	
	1525	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	28	②	①	
	1526	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	26	②	①	
	1528	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	29	11	②	③	
	1529	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	35	①	①	
	1530	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	20	40	⑤	⑨	
	1531	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	41	⑤	⑨	
	1532	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	23	53	②	⑥	
	1533	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	12	11	25	①	①	
	1534	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	26	55	①	①	
	1535	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	27	①	①	
	1536	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	26	44	②	②	
	1537	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	27	23	②	⑤	
	1538	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	23	46	②	①	
	1539	H31	Ⅲ	—	—	28	25	40	①	⑦	
	1540	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	28	49	①	②	
	1541	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	21	②	②	
	1542	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	30	42	⑤	⑨	
	1543	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	21	20	②	⑤	
	1544	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	19	35	②	⑦	
	1545	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	28	11	②	③	
	1546	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	29	46	②	①	
	1547	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	33	15	②	⑤	
	1548	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	22	②	①	
	1549	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	44	①	②	
	1550	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	38	41	①	⑨	
	1551	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	11	①	③	
	1552	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	29	16	②	⑤	
	1553	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	30	18	⑤	①	
	1554	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	58	①	①	
	1555	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	17	24	①	①	
	1556	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	14	12	22	①	①	
	1557	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	15	13	11	①	①	
	1558	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	14	22	①	①	
	1559	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	28	12	②	③	
	1560	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	21	36	②	①	
	1561	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	33	6	①	③	
	1562	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	23	14	①	③	
	1563	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	35	60	①	⑨	P1562を切る
	1564	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	14	①	③	
	1566	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	56	②	①	
	1567	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	11	①	③	
	1568	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	21	58	②	⑨	
	1570	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	24	15	①	⑤	
	1571	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	15	②	⑦	
	1572	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	18	22	①	①	
	1573	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	20	40	②	⑥	
	1575	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	24	35	②	①	
	1576	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	16	56	⑤	①	
	1577	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	33	25	②	⑤	
	1578	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	27	14	⑤	③	
	1579	H31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	19	22	①	⑨	
	1580	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	28	56	②	⑥	
	1581	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	18	53	①	⑦	
	1583	H31	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	26	22	②	⑨	
	1894	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	53	②	①	
	1895	H31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	29	15	②	⑤	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2036	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	14	24	②	①	
	2037	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	21	48	②	⑥	
	2038	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	19	61	⑤	⑨	
	2039	H31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	15	28	②	①	
	2040	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	21	49	⑤	①	
	2175	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	18	59	⑤	①	
	2176	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	12	38	②	②	
	2177	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	29	②	⑦	
	2178	H31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	21	67	②	⑨	
	2179	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	12	36	②	①	
	2180	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	13	57	②	①	
	2182	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	17	26	①	⑨	
	2183	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	13	28	②	②	
	2184	H31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	20	55	⑤	⑨	
	2185	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	17	②	⑦	
	2222	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	16	②	⑦	
	2223	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	27	20	58	②	⑦	
	2224	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	61	①	⑦	
	2225	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	13	23	①	⑦	
	2226	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	31	26	41	⑤	⑨	
	2227	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	15	46	⑤	⑦	
	2240	H31	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	17	47	⑤	①	
	2241	H31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	24	15	⑤	⑩	
	1592	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	47	⑤	①	
	1593	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	52	①	②	
	1594	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	15	25	⑤	⑤	
	1595	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	12	39	②	①	
	1596	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	54	①	①	
	1597	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	12	①	⑨	
	1598	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	26	13	⑤	⑩	
	1599	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	33	13	⑤	⑩	
	1600	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	31	①	①	
	1601	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	25	49	②	⑦	
	1602	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	16	41	①	②	
	1603	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	25	26	②	⑨	
	1604	I31	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	30	60	⑤	⑨	
	1606	I31	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	23	13	⑤	③	
	2042	I31	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	31	17	42	⑤	⑩	
30	2043	I31	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	15	14	28	②	①	320
	623	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	32	16	②	⑨	
	627	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	29	64	②	⑨	
	628	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	31	41	④	⑥	
	629	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	41	25	①	⑥	
	630	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	31	②	⑥	
	631	C32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	38	14	②	⑩	
	632	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	18	②	⑦	
	633	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	28	13	②	⑨	
	634	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	39	14	①	⑨	
	638	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	38	60	②	⑨	
	735	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	165	①	①	
	737	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	32	26	②	⑨	
	739	C32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	45	40	47	②	⑨	
	740	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	30	23	①	⑤	
	745	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	74	64	10	②	⑨	
	976	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	25	24	②	⑥	
	977	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	24	33	②	⑥	
	978	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	14	12	②	①	
	979	C32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	23	23	12	②	④	
	980	C32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	12	25	②	①	
	981	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	18	18	②	①	
	982	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	35	26	38	②	①	
	983	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	42	23	30	②	⑥	
	985	C32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	19	17	20	①	①	
	986	C32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	30	23	57	②	⑥	
	987	C32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	27	②	①	
	1037	C32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	22	①	①	
	1040	C32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	18	19	②	⑤	
	3325	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	9	⑤	③	P3334に切られる
	3327	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	34	20	②	⑤	
	3328	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	8	②	③	

第50表　ピット観察表（Ｂ地点）⑨

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
34	3334	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	50	②	①	323, 324, 土器片, P3325を切る
	3343	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	22	25	②	①	
	3351	C32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	44	②	⑨	
	678	D32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	26	②	⑥	
	679	D32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	32	9	②	③	
	757	D32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	13	②	③	
	758	D32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	26	10	②	③	
	759	D32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	25	5	②	④	
	760	D32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	32	18	⑤	⑤	
	973	D32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	16	15	①	⑤	
	974	D32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	19	15	②	①	
	975	D32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	17	30	②	①	
	988	D32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	44	33	49	②	⑥	
	676	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	31	52	②	⑦	
	680	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	38	17	①	⑥	
	696	E32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	29	10	①	④	
	697	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	8	②	③	
	699	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	23	60	②	①	
	700	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	33	57	①	⑨	
	701	E32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	30	5	①	③	
	702	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	31	19	①	⑤	
	703	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	33	25	51	②	⑥	
	704	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	42	68	①	⑧	
	705	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	43	②	⑥	
	706	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	22	35	②	⑥	
	707	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	31	83	②	⑧	
	708	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	27	22	①	⑨	
	709	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	44	①	⑥	
	711	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	25	62	①	⑨	
	713	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	23	54	②	⑦	
	714	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	22	57	②	①	
	715	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	41	32	13	②	⑦	
	716	E32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	19	10	①	③	
	717	E32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	43	①	⑨	
	718	E32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	22	10	①	③	
	721	E32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	37	35	14	①	③	
	963	E32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	17	14	11	②	④	
	964	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	11	11	②	③	
	966	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	12	②	⑨	
	967	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	17	30	②	⑦	
	968	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	13	26	②	⑥	
	969	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	19	17	20	①	⑦	
	970	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	40	37	44	②	⑨	
	972	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	21	10	②	③	
	1988	E32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	20	27	②	⑨	
	1989	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	25	70	⑤	①	
	1990	E32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	14	14	59	①	①	
	1991	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	52	⑤	②	
	2092	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	14	24	②	①	
	2093	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	70	②	①	
	2095	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	14	48	②	②	
	2174	E32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	18	47	①	①	
	2214	E32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	13	38	②	⑦	
33	1414	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	23	63	②	①	331, 332
	1415	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	31	19	②	⑤	
	1416	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	30	23	②	⑤	
	1474	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	46	①	①	
	1475	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	36	12	②	③	
	1476	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	16	16	24	①	①	
	1477	F32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	29	12	②	③	
	1914	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	21	28	②	⑧	
	1915	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	24	46	⑤	⑨	
	1916	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	17	21	②	①	
	1917	F32	Ⅲ	—	—	25	23	39	⑤	①	
	1918	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	27	②	①	
	1919	F32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	45	58	⑤	②	
	1920	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	18	64	②	①	
	1921	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	20	36	②	①	
	1922	F32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	19	52	⑤	①	
	1923	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	20	55	②	⑥	
	1924	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	18	62	⑤	⑥	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1925	F32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	14	48	⑤	②	
	1926	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	27	23	⑤	⑦	
	1927	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	34	②	①	
	1928	F32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	39	②	①	
	1929	F32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	18	9	①	③	
	1930	F32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	46	②	①	
	2094	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	39	25	53	②	①	
	2172	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	14	22	②	⑦	
	2173	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	18	7	②	③	
	2210	F32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	17	15	43	②	⑦	
	2211	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	28	45	②	⑥	
	2212	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	17	41	②	⑨	
	2213	F32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	17	17	20	⑤	⑦	
	2215	F32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	23	31	②	⑨	
	2216	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	14	34	⑤	⑦	
	2236	F32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	15	40	②	①	
	1257	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	30	①	①	
	1258	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	30	58	②	①	
	1260	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	21	17	②	⑨	
	1261	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	20	55	②	①	
	1263	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	17	54	①	⑦	
	1264	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	43	②	⑨	
	1265	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	17	18	①	⑤	
	1266	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	28	72	②	①	
	1267	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	40	①	①	
	1269	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	38	①	①	
	1270	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	35	34	55	①	①	
	1273	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	22	37	②	①	
	1274	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	27	51	①	①	
	1275	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	33	22	②	⑤	
	1276	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	18	①	⑤	
	1277	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	28	28	②	⑤	P1278を切る
	1278	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	58	43	12	①	⑦	P1277に切られる
	1279	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	31	②	⑦	
	1280	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	33	11	①	③	
	1281	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	29	①	①	
	1282	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	40	⑤	⑨	
	1283	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	44	33	20	⑤	⑤	
	1284	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	30	①	①	
	1285	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	52	①	①	
	1286	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	20	①	①	
	1287	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	55	①	①	
	1288	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	46	41	24	②	⑤	
	1289	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	30	20	⑤	⑤	
	1290	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	50	①	①	
	1291	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	9	①	③	
	1292	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	17	11	②	④	
	1293	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	6	①	③	
	1294	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	21	11	①	③	
	1295	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	18	23	②	①	
	1296	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	20	10	②	④	
	1297	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	22	26	①	①	
	1298	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	54	②	⑦	
	1299	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	19	12	①	③	
	1300	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	20	14	①	③	
	1301	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	21	16	②	⑥	
	1302	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	30	②	①	
	1303	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	21	48	②	①	
	1304	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	14	①	④	
	1305	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	20	46	②	⑨	
	1306	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	18	70	②	①	
	1307	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	22	①	⑦	
	1309	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	35	(24)	12	②	③	
	1310	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	15	14	9	①	④	
	1311	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	22	26	①	⑦	
	1312	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	25	9	①	③	
	1313	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	8	①	③	
	1314	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	23	23	②	⑤	
	1411	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	25	68	①	①	
	1412	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	39	25	14	②	③	
	1413	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	31	28	①	⑨	
	1443	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	11	①	③	

第51表　ピット観察表（Ｂ地点）⑩

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1484	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	24	60	②	⑦	
	1909	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	18	40	⑤	⑨	
	1910	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	11	②	④	
	1911	G32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	18	54	⑤	⑨	
	1912	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	16	22	②	⑦	
	1913	G32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	22	50	①	①	
	1970	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	18	47	①	①	
	1971	G32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	21	51	②	①	
	2026	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	15	57	②	⑦	
	2027	G32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	22	20	33	②	①	
	2028	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	33	25	50	⑤	⑥	
	2029	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	29	16	41	②	①	
	2030	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	21	26	①	①	
	2031	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	18	16	①	⑦	
	2032	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	32	22	49	⑤	①	
	2103	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	14	50	②	①	
	2105	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	19	17	①	⑨	礫
	2117	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	16	52	⑤	②	
	2118	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	71	②	①	
	2120	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	15	40	①	⑦	
	2121	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	17	18	②	⑤	
	2122	G32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	12	15	⑤	⑥	
	2221	G32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	32	②	⑦	
	1148	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	55	①	①	
	1149	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	23	31	②	⑨	
	1168	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	35	75	②	⑦	
	1169	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	31	①	⑦	
	1315	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	19	8	②	③	
	1316	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	20	28	②	①	
	1317	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	52	①	①	
	1319	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	28	43	①	⑦	
	1320	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	27	55	②	⑨	
	1321	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	23	63	②	⑦	
31	1322	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	23	53	⑤	①	321
	1323	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	24	26	②	⑤	
	1324	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	30	49	①	①	
	1325	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	17	45	②	⑦	
	1326	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	21	52	②	①	
	1327	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	34	59	①	①	
	1328	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	32	15	②	⑥	
	1329	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	18	14	②	④	
	1330	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	21	20	②	⑨	
	1331	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	21	22	①	①	
	1332	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	29	40	①	①	
	1333	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	21	①	⑤	
	1334	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	27	68	②	①	
	1335	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	41	①	⑦	
	1336	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	19	20	①	⑤	
	1337	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	19	67	②	②	
	1338	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	62	②	①	
	1341	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	51	①	①	
	1342	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	20	①	⑤	
	1343	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	23	24	②	⑧	
	1344	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	15	12	22	①	①	
	1345	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	26	57	②	①	
	1346	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	35	①	⑦	
	1347	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	27	28	①	①	
	1348	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	25	51	②	①	
	1349	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	16	15	58	①	①	
	1350	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	47	②	①	土器片
	1351	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	48	⑤	①	
	1352	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	20	67	②	①	
	1353	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	15	②	⑤	
	1354	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	26	48	①	⑦	
	1358	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	19	54	①	①	
	1359	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	19	18	19	①	⑤	
	1360	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	24	70	②	①	
	1361	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	28	58	⑤	⑨	
	1362	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	17	12	②	③	
	1363	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	58	①	①	
	1364	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	64	①	①	
	1365	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	31	②	⑨	
	1366	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	46	②	①	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1367	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	38	①	⑨	
	1368	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	26	51	①	⑦	
	1369	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	62	②	②	
	1370	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	38	①	①	
	1371	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	21	19	②	⑤	
	1372	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	20	21	②	⑤	
	1373	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	30	18	①	⑨	
	1374	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	77	①	①	
	1375	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	22	②	①	
	1376	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	18	57	②	①	
	1377	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	38	13	②	③	
	1378	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	38	14	②	③	
	1379	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	22	71	①	①	
	1380	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	17	25	②	②	
	1381	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	17	14	②	③	
	1382	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	15	44	⑤	①	
	1383	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	24	39	⑤	⑨	
	1384	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	20	40	②	①	
	1385	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	19	55	①	⑦	
	1386	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	28	20	8	②	③	
	1387	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	30	①	⑨	
	1394	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	25	①	⑨	
	1395	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	55	①	①	
	1397	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	33	55	①	⑨	
	1398	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	25	62	①	①	
	1399	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	19	71	①	①	
	1401	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	61	①	①	
	1402	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	38	20	60	⑤	⑨	
	1403	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	14	13	50	①	①	
	1404	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	(30)	32	27	⑤	⑤	
	1405	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	8	①	③	
	1406	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	18	38	①	①	
	1407	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	22	①	⑤	
	1409	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	27	53	①	①	
	1410	H32	Ⅲ	10YR3/3	黒褐色土	30	28	35	①	⑨	
	1527	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒褐色土	17	13	34	②	①	
	1584	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	21	22	②	①	
	1585	H32	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	43	33	63	②	⑨	
	1586	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	33	69	⑤	①	
	1587	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	34	18	⑤	⑤	
	1588	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	55	①	②	
	1589	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	21	59	②	⑥	
	1590	H32	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	25	56	⑤	②	
	1591	H32	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	17	15	54	①	①	
	2018	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	18	14	53	①	①	
	2019	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	37	34	50	②	①	
	2020	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	26	36	②	①	
	2021	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	13	13	②	⑦	
	2022	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	40	13	43	⑤	⑨	
	2023	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	38	21	55	②	⑨	
	2024	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	20	33	⑤	⑨	
	2025	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	15	39	⑤	①	
	2113	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	13	39	②	①	
	2114	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	18	57	②	①	
	2115	H32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	28	18	45	②	⑦	
	2116	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	40	①	①	
	2119	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	19	22	②	⑤	
	2165	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	20	30	②	①	
	2166	H32	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	18	21	⑤	⑩	
	2168	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	31	25	52	②	①	
	2169	H32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	21	17	25	②	⑥	
	2170	H32	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	32	22	49	⑤	①	
	2219	H32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	16	65	②	①	
	2220	H32	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	18	15	55	②	①	
	640	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	21	43	②	①	
	641	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	23	39	②	⑦	
	642	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	24	29	②	⑦	
	643	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	19	②	⑥	
	644	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	21	69	②	⑥	
	645	C33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	31	12	②	③	
	646	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	16	15	24	②	⑥	
	647	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	55	②	⑥	
	648	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	40	30	21	②	⑨	

第52表　ピット観察表（Ｂ地点）⑪

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	649	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	20	23	②	⑨	
	651	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	33	51	②	⑥	
	652	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	24	31	②	⑤	
	653	C33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	20	21	②	⑥	土器片
	654	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	40	②	⑥	
	747	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	62	39	31	②	⑥	
	748	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	25	23	②	⑦	
	749	C33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	17	42	②	⑨	
	751	C33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	34	30	13	②	③	
	991	C33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	21	25	②	①	
	992	C33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	29	21	7	②	③	
	993	C33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	10	②	③	
	997	C33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	21	13	②	④	
	998	C33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	21	18	②	①	
	999	C33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	18	15	15	②	⑤	
	1000	C33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	28	②	①	
	1002	C33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	16	13	12	②	③	
	1003	C33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	14	12	15	②	①	
	1004	C33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	18	15	②	⑥	
	1036	C33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	24	37	①	①	
	3329	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	16	②	⑨	
	3330	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	21	11	②	③	
	3331	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	36	60	②	⑨	土器片
35	3352	C33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	24	65	②	①	325，土器片
	671	D33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	25	42	②	①	
	672	D33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	39	32	11	②	③	
	674	D33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	28	40	②	①	
	754	D33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	21	32	②	⑥	
	755	D33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	25	21	②	⑤	
	756	D33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	9	②	③	
	990	D33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	20	38	②	①	
	994	D33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	43	32	37	②	⑨	
	996	D33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	18	11	②	④	
	669	E33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	27	31	②	⑥	
	670	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	23	32	②	①	
	683	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	25	9	②	③	
	684	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	47	43	13	②	③	
	685	E33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	29	44	②	⑦	
	686	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	23	16	①	①	
	687	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	22	33	②	⑨	
	690	E33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	21	46	②	①	
	691	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	32	20	②	⑦	
	692	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	28	12	②	③	
	693	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	30	12	②	④	
	694	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	33	30	7	②	④	
	695	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	29	8	②	④	
	761	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	32	9	②	③	
	763	E33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	25	8	②	④	
	951	E33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	14	20	①	①	
	952	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	14	72	①	①	
	953	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	14	11	②	③	
	954	E33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	17	10	①	③	
	955	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	13	14	②	④	
	956	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	17	45	②	①	
	957	E33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	14	25	②	①	
	958	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	17	25	②	①	
	959	E33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	18	31	②	⑥	
	960	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	11	11	②	⑩	
	961	E33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	16	11	②	④	
	962	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	13	11	13	②	①	
	965	E33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	22	21	8	②	③	
	1986	E33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	20	20	①	⑨	
	1987	E33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	37	36	38	①	⑨	
	2096	E33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	14	13	②	④	
	1237	F33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	14	18	②	⑤	
	1238	F33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	(19)	36	17	②	⑥	
	1239	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	33	14	①	③	
	1240	F33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	22	20	②	⑤	
	1241	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	39	①	①	
	1242	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	25	29	②	②	
	1243	F33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	38	②	①	
	1246	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	28	22	①	⑩	
	1247	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	21	11	①	③	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1248	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	28	72	②	⑨	
	1249	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	26	①	①	
	1250	F33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	46	28	62	②	⑨	
	1251	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	30	10	⑤	④	
	1252	F33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	40	10	①	③	
	1253	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	30	20	①	⑤	
	1254	F33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	47	33	75	②	⑦	
	1255	F33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	32	27	53	②	①	
	1256	F33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	20	26	①	⑦	
	1994	F33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	35	30	43	⑤	①	
	1995	F33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	16	29	①	①	
	1996	F33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	15	15	17	②	①	
	1997	F33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	17	49	②	①	
	1998	F33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	18	25	②	①	
	1999	F33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	20	19	①	⑥	
	2097	F33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	13	11	37	②	①	
	2098	F33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	15	15	②	⑤	
	2099	F33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	18	12	29	②	①	
	1175	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	20	41	②	①	
	1176	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	20	②	⑨	
	1177	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	20	48	②	⑨	
	1178	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	(21)	40	②	①	
	1179	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	(23)	30	⑤	⑥	
	1180	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	16	15	37	①	①	
	1181	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	30	55	②	①	
	1182	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	29	77	①	①	
	1183	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	70	②	⑨	
	1184	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	19	19	②	⑤	
	1185	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	17	37	①	①	
	1186	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	18	38	①	①	
	1187	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	22	71	②	①	
	1188	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	30	66	⑤	⑨	
	1189	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	15	65	②	①	
	1190	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	23	②	⑤	
	1191	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	19	52	①	①	
	1192	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	19	78	①	①	
	1193	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	22	16	44	②	①	
	1194	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	12	11	20	①	①	
	1195	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	18	35	①	①	
	1196	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	18	50	②	①	
	1197	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	24	65	②	①	
	1198	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	32	35	①	⑨	
	1199	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	18	47	②	①	
	1200	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	19	33	②	①	
	1201	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	20	67	①	①	
	1202	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	20	45	②	①	
	1203	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	19	22	①	①	
	1204	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	17	32	②	①	
	1205	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	22	40	①	①	
	1206	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	16	59	②	①	P1207 を切る
	1207	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	22	72	②	①	P1206 に切られる
	1208	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	22	66	②	①	
	1209	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	23	30	②	⑨	
	1210	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	26	58	②	①	
	1211	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	36	(28)	40	②	①	
	1212	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	15	47	②	①	
	1213	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	23	20	②	⑤	
	1214	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	48	42	65	⑤	②	
	1215	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	(28)	28	7	②	③	P1216 に切られる
	1216	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	30	11	②	③	
	1259	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	31	64	①	⑦	
	1262	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	20	34	①	①	
	1272	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	22	20	22	②	⑤	
	1388	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	18	17	21	①	①	
	1389	G33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	37	32	61	②	①	
	1390	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	25	23	23	①	⑤	
	1391	G33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	17	47	①	①	
	1392	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	19	76	①	①	
	1393	G33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	30	21	61	⑤	①	
	2000	G33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	15	35	②	①	
	2001	G33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	18	16	②	⑥	

第53表　ピット観察表（Ｂ地点）⑫

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	2002	G33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	16	17	①	⑥	
	2003	G33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	22	35	②	①	
	2004	G33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	18	38	①	②	
	2005	G33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	25	34	⑤	⑨	
	2006	G33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	21	55	②	②	
	2007	G33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	19	20	①	⑦	
	2109	G33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	16	48	②	⑥	
	2163	G33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	30	18	53	⑤	⑨	
	2217	G33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	20	47	①	⑦	
	1141	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	26	43	⑤	⑨	
	1142	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	18	17	①	⑨	
	1143	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	41	30	71	②	⑦	
	1144	H33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	22	61	②	①	
	1145	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	47	①	①	
	1146	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	27	44	①	①	
	1147	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	19	20	①	⑥	
	1150	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	21	30	②	⑧	
	1151	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	28	59	①	①	
	1152	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	44	32	27	②	⑨	
	1153	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	25	30	①	①	
	1154	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	24	29	②	⑥	
	1155	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	35	23	33	②	⑨	
	1156	H33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	27	23	45	②	①	
	1157	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	25	65	①	①	
	1158	H33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	26	26	41	①	①	
	1159	H33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	18	15	①	⑤	
	1160	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	22	10	①	③	
	1161	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	30	70	②	①	
	1162	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	19	47	②	①	
	1163	H33	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	(21)	32	13	②	③	
	1164	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	22	20	20	①	⑤	
	1165	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	21	60	①	⑦	
	1167	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	24	24	②	⑤	
	1171	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	32	42	①	⑨	
	1172	H33	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	35	30	67	①	①	
	1173	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	24	①	⑥	
	1174	H33	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	23	41	②	①	
	2008	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	20	52	②	①	
	2009	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	15	37	②	⑦	
	2010	H33	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	15	12	19	②	①	
	2011	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	16	34	②	①	
	2012	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	15	6	①	③	
	2013	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	27	25	54	⑤	①	
	2014	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	14	11	①	⑦	
	2015	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	22	43	②	①	
	2016	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	21	28	②	①	
	2017	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	14	14	②	③	
	2107	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	14	13	39	②	①	
	2108	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	29	19	15	⑤	⑥	
	2110	H33	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	35	27	63	⑤	①	
	2111	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	16	63	②	①	
	2167	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	20	29	②	⑨	
	2218	H33	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	16	33	②	⑦	
	656	C34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	13	②	④	
	750	C34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	27	18	②	⑦	
	924	C34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	39	34	26	②	⑥	
	925	C34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	28	⑤	①	
	926	C34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	22	12	①	④	
	927	C34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	18	26	②	⑦	
	1005	C34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	24	27	②	⑨	
	3332	C34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	46	32	17	②	⑤	
	657	D34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	47	31	18	②	⑨	
	658	D34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	30	48	②	⑨	
	659	D34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	10	①	④	
	660	D34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	26	42	②	⑥	
	661	D34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	18	②	⑤	
	662	D34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	20	38	②	①	
	663	D34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	18	30	②	①	
	665	D34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	25	11	②	③	
	752	D34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	22	18	②	⑤	
	753	D34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	16	48	②	⑨	
	891	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	19	41	①	⑦	
	916	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	17	12	②	③	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	928	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	19	41	①	①	
	929	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	27	20	18	②	⑤	
	930	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	31	22	70	②	①	
	931	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	14	38	①	①	
	932	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	17	56	②	①	
	933	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	24	30	②	⑥	
	934	D34	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	18	28	①	①	
	935	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	33	19	25	②	⑦	
	936	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	28	21	39	②	⑦	
	937	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	18	26	①	⑦	
	938	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	15	15	30	①	①	
	939	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	12	12	37	①	①	
	940	D34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	12	11	10	①	⑦	
	941	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	28	22	47	①	①	
	942	D34	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	21	18	45	①	①	
	943	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	18	24	②	⑥	
	944	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	19	33	①	①	
	945	D34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	18	48	②	①	
	666	E34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	34	32	13	②	③	
	668	E34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	39	31	16	②	⑤	
	682	E34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	38	33	37	②	⑨	
	762	E34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	40	33	9	②	④	
	899	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	21	35	②	⑦	
	900	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	18	17	19	①	①	
	904	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	16	46	②	⑨	
	905	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	13	40	②	⑦	
	906	E34	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	19	18	48	①	⑦	
	907	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	13	13	12	①	④	
	908	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	12	12	9	①	④	
	909	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	30	25	11	②	④	
	910	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	21	35	①	①	
	911	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	13	①	④	
	912	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	20	28	②	⑦	
	913	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	22	33	①	①	
	914	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	16	⑤	⑤	
	915	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	21	①	⑦	
	946	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	17	36	②	①	
	947	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	18	43	①	①	
	948	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	22	54	①	①	
	949	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	53	②	①	
	950	E34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	32	23	30	②	①	
	1983	E34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	25	8	①	③	
	2101	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	19	15	29	②	⑨	
	2159	E34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	14	30	②	①	
	1218	F34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	19	42	①	①	
	1219	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	14	55	①	①	
	1220	F34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	17	27	①	①	
	1222	F34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	(15)	34	②	①	
	1223	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	22	7	①	③	
	1224	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	19	18	38	①	①	
	1225	F34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	(21)	31	11	②	③	礫
	1226	F34	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	21	19	20	①	⑦	
	1235	F34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	18	16	62	①	①	
	1236	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	48	(23)	23	②	⑥	
	1981	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	18	17	46	①	①	
	1982	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	17	14	39	②	①	
	1984	F34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	9	②	③	
	1985	F34	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	25	64	②	①	
	1992	F34	Ⅴ	10YR3/1	黒褐色土	30	15	52	⑤	⑨	
	1993	F34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	22	15	①	⑥	
	2100	F34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	22	②	⑤	
	2102	F34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	26	23	25	②	⑥	
	2158	F34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	40	30	28	⑤	⑦	
	2160	F34	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	15	23	②	①	
	2161	F34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	22	31	⑤	⑨	
	2162	F34	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	15	23	②	⑨	
	1217	G34	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	(15)	13	①	③	
	871	C35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	19	34	②	⑤	
	872	C35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	32	31	34	②	⑦	
	873	C35	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	20	18	37	②	①	
	920	C35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	29	20	47	⑤	⑨	
	921	C35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	17	17	31	①	①	
	922	C35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	34	26	23	⑤	⑥	

第54表　ピット観察表（Ｂ地点）⑬

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	923	C35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	30	26	41	①	⑦	
	870	D35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	12	52	⑤	⑥	
	881	D35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	13	8	37	②	⑦	
	882	D35	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	33	33	47	①	⑦	
	883	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	17	16	35	①	①	
	884	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	20	52	⑤	①	
	885	D35	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	27	20	40	②	①	
	886	D35	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	22	(18)	44	②	⑦	
	887	D35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	32	①	⑦	
	888	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	27	22	70	②	⑨	
	889	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	40	35	22	⑤	⑤	
	890	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	19	50	②	⑦	
	892	D35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	16	16	27	①	①	
	917	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	15	42	②	①	
	918	D35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	22	63	②	①	
	919	D35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	21	18	29	⑤	⑦	
	893	E35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	18	38	②	①	
	894	E35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	44	30	59	⑤	⑨	
	895	E35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	18	15	11	①	⑦	
	896	E35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	17	18	②	⑦	
	897	E35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	26	17	34	②	⑨	
	898	E35	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	28	25	10	①	③	
	901	E35	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	20	20	48	①	①	
	902	E35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	20	18	①	⑤	
	903	E35	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	36	27	40	②	⑦	
	1227	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	20	47	①	⑦	
	1228	F35	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	18	15	①	⑥	
	1229	F35	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	19	13	①	③	
	1230	F35	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	17	40	②	①	
	1231	F35	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	18	14	①	③	
	1232	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	(17)	22	43	②	①	
	1233	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	19	75	①	①	
	1234	F35	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	51	(12)	18	②	⑥	
	3335	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	28	②	①	
	3336	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	24	21	②	⑥	
	3337	F35	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	26	20	43	②	①	
	868	C36	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	38	28	25	②	⑦	
	867	D36	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	25	24	29	②	①	
	869	D36	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	33	20	53	②	⑥	
	874	D36	Ⅴa	10YR3/3	暗褐色土	31	30	35	⑤	⑩	
	875	D36	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	23	23	67	①	⑦	
	876	D36	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	32	18	70	②	⑦	
	877	D36	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	48	①	⑦	
	878	D36	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	14	11	31	②	⑦	
	879	D36	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	25	19	43	②	⑦	
	880	D36	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	22	20	27	①	⑦	
	3333	D36	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	40	22	②	⑨	
	270	D30	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	40	36	21	②	⑤	

第55表　ピット観察表（Ａ地点）①

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	1101	G37	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	31	25	61	②	⑥	円礫
36	1102	G37	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	45	35	62	②	⑨	333，磨石片
	1107	G37	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	29	22	64	②	⑧	
	1108	G37	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	40	36	69	②	⑨	
	1100	H37	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	29	24	30	②	⑨	
	1114	E38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	17	14	19	②	⑥	
	1115	E38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	30	30	38	②	⑥	
	1112	F38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	17	16	45	②	⑥	
	1116	F38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	31	27	39	②	①	
	1135	F38	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	20	19	12	②	③	
	765	G38	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	23	21	19	②	⑥	
	766	G38	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	22	16	②	⑤	
	767	G38	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	33	26	23	②	⑤	
	769	G38	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	26	22	35	②	⑥	
	770	G38	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	28	57	①	①	
	771	G38	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	32	31	40	②	⑨	
	772	G38	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	22	19	53	②	①	
	1103	G38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	28	24	69	②	⑥	
	1104	G38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	22	20	26	②	①	
	1105	G38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	26	23	31	②	⑥	
	1106	G38	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	22	21	14	②	③	
	1121	G38	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	25	19	19	②	⑤	
	1122	G38	Ⅴa	10YR2/2	黒褐色土	19	17	17	②	⑤	
	1123	G38	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	21	19	40	②	①	
	1124	G38	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	22	20	8	②	③	
	1125	G38	Ⅴa	10YR2/2	黒褐色土	26	25	47	②	①	
	1126	G38	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	29	25	38	②	①	
	1127	G38	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	23	22	39	②	①	
	1128	G38	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	20	23	②	①	
	1129	G38	Ⅴa	10YR2/2	黒褐色土	17	16	9	②	③	
	783	E39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	27	24	57	②	⑥	
	791	E39	Ⅴ	10YR4/1	褐灰色土	30	24	50	②	⑨	
	1110	E39	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	23	22	31	②	⑥	
	1111	E39	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	30	28	67	②	⑨	
	1	F39	Ⅲ	10YR5/6	黄褐色土	40	30	40	②	①	
	2	F39	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	21	25	②	⑤	
	102	F39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	28	27	19	②	⑥	
	773	F39	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	25	64	②	①	
	774	F39	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	15	30	②	⑨	
	775	F39	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	19	52	⑤	⑥	
	776	F39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	26	21	41	②	⑨	
	778	F39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	33	25	55	②	⑥	
	779	F39	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	45	38	43	②	⑨	
	780	F39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	44	34	60	②	⑤	
	781	F39	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	24	23	29	②	⑤	
	782	F39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	25	22	54	②	⑥	
	787	F39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	28	12	43	②	⑨	
	788	F39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	16	32	②	①	
	789	F39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	25	21	29	②	⑥	
	790	F39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	16	46	②	①	
	1136	F39	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	22	14	36	⑤	⑥	
	1137	F39	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	29	25	44	②	⑥	
	1139	F39	Ⅴa	10YR4/1	褐灰色土	20	18	50	②	①	
	1140	F39	Ⅴ	10YR4/1	褐灰色土	24	10	37	②	①	
	12	G39	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	25	50	②	①	
	13	G39	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	28	26	15	②	⑥	
	14	G39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	26	24	10	②	④	
	35	G39	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	16	30	②	①	
	57	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	25	21	12	①	④	
	58	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	25	24	41	③	①	
	59	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	23	22	32	①	⑦	
	60	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	21	16	13	②	⑦	
	61	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	12	3	②	③	
	62	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	28	24	5	②	③	
	90	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	25	22	24	①	⑤	
	95	G39	Ⅴ	10YR3/2	黒褐色土	12	11	7	②	④	
	98	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	10	9	7	②	④	
	99	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	11	9	6	②	③	
	101	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	9	9	7	①	③	
	116	G39	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	13	13	②	④	
	768	G39	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	47	37	61	②	⑨	
	1130	G39	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	20	19	27	②	①	
	1131	G39	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	16	15	12	②	③	
	1132	G39	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	20	22	⑤	⑨	
	1133	G39	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	21	52	②	①	
	1134	G39	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	23	21	49	②	①	
	96	H39	Ⅴ	10YR2/2	黒褐色土	19	18	20	①	⑦	
	785	E40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	39	33	16	②	⑤	
	786	E40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	35	29	56	②	⑥	
	792	E40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	40	26	44	②	⑨	
	3	F40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	30	30	31	①	①	
	4	F40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	30	27	22	②	⑦	
	5	F40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	25	23	20	②	①	
	34	F40	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	16	21	②	⑨	
	103	F40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	22	18	30	①	①	
	104	F40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	32	18	13	②	④	
	105	F40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	41	26	16	②	⑤	
	106	F40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	21	17	16	②	⑨	
	107	F40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	19	12	24	⑤	①	
	15	G40	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	23	22	9	①	③	
	16	G40	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	34	24	20	②	⑥	

第56表　ピット観察表（Ａ地点）②

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	17	G40	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	35	19	30	②	①	
	18	G40	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	23	20	60	②	①	
	32	G40	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	17	15	12	①	③	
	33	G40	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	15	12	②	③	
	64	G40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	19	17	10	①	③	
	94	G40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	12	11	10	①	④	
	68	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	13	28	②	②	
	69	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	13	10	②	④	
	71	H40	Ⅴa	10YR2/1	黒色土	24	17	35	②	②	
	73	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	15	11	6	⑤	③	
	74	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	15	10	8	①	③	
	78	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	34	13	17	⑤	①	土器片
	79	H40	Ⅴ	10YR3/1	黒褐色土	31	16	18	⑤	⑨	
	80	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	19	17	48	⑤	⑦	
	82	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	15	15	①	⑦	
	115	H40	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	15	19	②	①	
	108	E41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	35	29	18	⑤	⑥	
	110	E41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	33	25	50	⑤	⑨	
	6	F41	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	27	24	11	②	③	
	7	F41	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	20	19	8	①	③	
	8	F41	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	26	26	23	①	①	
	9	F41	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	28	27	35	①	①	
	11	F41	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	34	28	25	④	①	
	36	F41	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	6	①	③	
	37	F41	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	25	24	7	②	③	
	113	F41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	22	20	20	②	⑦	
	117	F41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	6	6	15	①	①	
	118	F41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	6	5	17	②	①	
	119	F41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	4	4	10	①	①	
	120	F41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	7	5	13	②	①	
	43	G41	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	27	50	①	①	
	84	G41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	14	20	①	①	
	85	G41	Ⅴ	10YR3/1	黒褐色土	11	10	13	④	⑦	
	86	G41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	23	21	64	①	⑦	
	83	H41	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	15	40	⑤	⑤	
	89	H41	Ⅴ	10YR2/2	黒褐色土	19	14	10	①	④	土器片
	39	E42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	36	36	13	①	⑩	
	40	E42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	24	18	⑤	⑩	
	41	E42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	17	34	①	①	
	56	E42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	19	19	55	①	①	
	38	F42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	23	22	7	①	③	
	42	F42	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	20	14	6	②	③	
	122	F42	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	37	22	14	⑤	④	
	127	F42	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	24	23	21	①	⑥	
	23	H42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	29	27	40	①	⑦	
	24	H42	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	30	27	8	①	③	
	25	H42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	28	23	39	②	①	
	190	H42	Ⅴa	10YR3/2	黒褐色土	38	16	21	②	⑨	
	26	I42	Ⅳ	10YR2/2	黒褐色土	24	24	8	①	③	
	27	I42	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	23	15	④	⑤	
	28	I42	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	33	24	14	②	③	
	123	E43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	29	22	13	②	④	
	125	E43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	15	10	①	④	
	129	F43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	34	30	51	④	⑦	
	130	F43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	16	32	①	①	
	131	F43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	27	17	11	②	⑦	
	181	G43	Ⅴ	10YR1.7/1	黒色土	27	24	12	②	③	
	182	G43	Ⅴa	10YR1.7/1	黒色土	27	21	35	②	⑨	
	184	G43	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	23	12	②	⑨	
	199	G43	Ⅴ	10YR1.7/1	黒色土	22	10	17	⑤	⑤	
	206	G43	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	24	20	28	③	①	
	179	H43	Ⅴa	10YR3/1	黒褐色土	24	24	28	①	⑥	
	180	H43	Ⅴ	10YR3/1	黒褐色土	25	24	16	②	⑤	
	29	I43	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	24	①	①	
	124	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	29	18	15	⑤	⑤	
	132	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	16	14	25	①	⑦	
	133	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	17	20	②	①	
	134	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	17	32	①	①	
	135	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	17	29	①	①	
	136	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	20	30	①	①	

掲載番号	遺構番号	区	層	埋土		法量（cm）			平面	断面	備考
						長径	短径	深さ			
	137	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	18	16	22	①	⑦	
	138	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	20	29	①	⑨	
	139	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	24	20	33	①	⑥	
	140	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	17	16	25	①	①	
	141	F44	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	20	18	30	①	①	
	154	F44	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	14	13	14	①	①	
	156	G44	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	24	23	32	①	①	
	157	G44	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	39	37	62	①	①	
	200	G44	Ⅴ	10YR1.7/1	黒色土	22	19	15	⑤	⑥	
	197	I44	Ⅴ	10YR3/1	黒褐色土	23	23	12	①	⑨	
	150	E45	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	13	12	9	①	③	
	151	E45	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	20	17	33	①	⑦	
	153	E45	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	17	14	6	①	③	
	19	F45	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	31	24	11	②	④	
	20	F45	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	43	42	33	①	⑨	
	21	F45	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	27	26	②	⑨	
	22	F45	Ⅲ	10YR3/2	黒褐色土	24	22	34	①	①	
	44	F45	Ⅳ	10YR2/1	黒色土	12	12	22	①	①	
	45	F45	Ⅳ	10YR2/1	黒色土	25	24	32	②	②	
	46	F45	Ⅳ	10YR2/1	黒色土	18	16	24	②	①	
	47	F45	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	21	16	8	②	③	
	48	F45	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	26	21	17	②	⑤	
	49	F45	Ⅳ	10YR2/1	黒色土	18	16	8	②	③	
	50	F45	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	28	19	②	①	
	51	F45	Ⅳ	10YR3/1	黒褐色土	27	14	12	②	①	
	52	F45	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	26	12	②	③	
	53	F45	Ⅳ	10YR5/1	黒褐色土	16	13	12	②	②	
	54	F45	Ⅳ	10YR2/1	黒色土	16	13	26	②	①	
	152	F45	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	13	10	10	①	④	
	159	G45	Ⅲ	10YR3/1	①黒褐色土	26	26	15	①	⑦	
	166	G45	Ⅲ	10YR4/1	褐灰色土	28	24	8	②	③	
	173	G45	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	21	20	6	①	③	
	175	G45	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	37	51	①	⑧	
	198	G45	Ⅲ	10YR3/1	③黒褐色土	34	25	37	⑤	⑨	
	155	H45	Ⅱc	10YR5/1	褐灰色土	16	15	12	①	③	
	174	H45	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	42	36	19	①	⑤	
	55	F46	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	25	24	21	②	①	
	145	F46	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	27	12	21	②	⑥	
	146	F46	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	21	16	30	②	⑥	
	147	F46	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	18	15	16	②	⑦	
	148	F46	Ⅴ	10YR4/1	灰褐色土	25	23	15	⑤	⑨	
	149	F46	Ⅴ	10YR2/1	黒色土	34	24	12	②	⑨	
	168	G46	Ⅲ	10YR2/1	黒色土	32	23	50	②	⑨	
	169	G46	Ⅲ	10YR4/1	褐灰色土	51	42	10	②	③	
	1025	G46	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	29	17	②	⑨	
	1026	G46	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	27	24	11	②	⑩	
	176	H46	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	103	99	30	①	⑨	
	1029	H46	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	36	12	②	③	
	1034	H46	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	33	32	8	②	③	
	1030	I46	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	20	20	58	②	①	
	1093	I46	Ⅴa	10YR5/2	灰黄褐色土	21	20	19	②	⑥	
	1008	F47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	38	29	46	②	⑨	
	1009	F47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	28	22	9	②	③	
	1065	F47	Ⅴa	10YR5/2	灰黄褐色土	37	35	16	①	⑥	
	1010	G47	Ⅲ	10YR3/3	暗褐色土	44	39	9	②	③	
	1011	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	36	34	11	②	⑦	
	1012	G47	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	21	20	13	②	④	
	1014	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	23	22	15	②	⑧	
	1015	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	32	30	18	②	⑨	
	1016	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	27	27	16	②	⑨	
	1017	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	31	28	12	②	③	
	1018	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	24	21	18	②	⑥	
	1019	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	42	28	14	②	⑨	
	1020	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	30	29	13	②	③	
	1021	G47	Ⅲ	10YR3/1	黒褐色土	29	28	20	②	⑥	
	1092	G47	Ⅴa	10YR5/2	灰黄褐色土	28	27	33	①	⑦	
	1095	G47	Ⅴa	10YR5/2	灰黄褐色土	24	21	26	②	⑥	
	1024	H47	Ⅲ	10YR2/2	黒褐色土	34	30	18	②	⑤	
	1070	H47	Ⅴa	10YR5/2	灰黄褐色土	35	25	34	②	⑨	

第57表　新旧遺構番号対応表

縄文時代前期埋設土器

新遺構	旧遺構
1号	SJ07

縄文時代前期土坑

新遺構	旧遺構
1号	P0262

縄文時代後期～晩期掘立柱建物跡

新遺構	旧遺構
1号	HT25
2号	HT28
3号	HT26
4号	HT27
5号	HT13
6号	HT21
7号	HT23
8号	HT18
9号	HT19
10号	HT12
11号	HT17
12号	HT24
13号	HT14
14号	HT15
15号	HT10
16号	HT11
17号	HT6
18号	HT7
19号	HT8
20号	HT9
21号	HT5

縄文時代後期～晩期貯蔵穴

新遺構	旧遺構
1号	貯蔵穴1

縄文時代後期～晩期石器集積

新遺構	旧遺構
1号	集積2
2号	集積3

縄文時代後期～晩期石器集中部

新遺構	旧遺構
1号	SQ8
2号	集積1
3号	SS4
4号	SS3
5号	SS10
6号	SS8
7号	SS28
8号	SS29
9号	SS27
10号	SS17
11号	SS16
12号	SS18
13号	SS14
14号	SS5
15号	SS1
16号	SS2
17号	SS15
18号	SQ29
19号	SS9
20号	SS12
21号	SS11
22号	SS19
23号	SS7
24号	SS6
25号	SS13

埋納遺構

新遺構	旧遺構
1号	玉髄埋納遺構

縄文時代後期～晩期土坑

新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構
1号	SK106	42号	SK079	83号	P2401	124号	P0337	165号	P1775	206号	P1268	247号	P0719
2号	SK103	43号	P1244・1245	84号	SK110	125号	P0340	166号	P1850	207号	P1271	248号	P0712
3号	SK105	44号	SK076	85号	SK111	126号	P0359	167号	P1815・1816	208号	P1308	249号	P0710
4号	SK133	45号	P1138	86号	P2386	127号	P0365	168号	P1841	209号	P1486	250号	SK058
5号	SK109	46号	SK031	87号	SK125	128号	P0363	169号	P1842	210号	SK081	251号	P0698
6号	SK107	47号	SK008	88号	P2274	129号	P0361	170号	P1834	211号	P1432～1434	252号	SK057
7号	SK108	48号	SK219	89号	P2257	130号	P0362	171号	P1779	212号	P1440～1442	253号	SK056
8号	SK128	49号	P2433・2434	90号	P2256	131号	P0373	172号	P1777	213号	SK094	254号	P0689
9号	SK119	50号	P2429・2431	91号	P2270	132号	P0207	173号	P1782	214号	P0326	255号	P0688
10号	SK137	51号	P1077	92号	SK139	133号	P0263	174号	P1783	215号	P0606	256号	P0681
11号	SK100	52号	P1073	93号	SK120	134号	P0380	175号	P1784	216号	P0722	257号	P1221
12号	SK129	53号	P2260	94号	P1704	135号	P0381	176号	P1789	217号	P0723	258号	P1109
13号	SK097	54号	P2261	95号	SK090	136号	P0404	177号	P1785	218号	SK048	259号	P1113・1117
14号	SK122	55号	SK098	96号	P1750	137号	P0395	178号	P1839	219号	SK046	260号	SK005
15号	SK123	56号	SK104	97号	P1693	138号	P0407	179号	SK093	220号	P0609	261号	P0100
16号	SK220	57号	SK112	98号	P1685	139号	P0287	180号	SK092	221号	SK059	262号	P0777
17号	SK089	58号	P2285	99号	P0558	140号	SK039	181号	P1877	222号	P0614・0615	263号	P0784
18号	SK77	59号	P2363	100号	P0559	141号	P0286	182号	P1891	223号	P0619	264号	SK013
19号	SK084	60号	P2380	101号	P0560	142号	P0260	183号	P1885	224号	P0732	265号	SK011
20号	SK087	61号	P2411	102号	SK35	143号	SK34	184号	P1884	225号	P0734	266号	P0158
21号	SK038	62号	P2382	103号	P0557	144号	P0273	185号	P1860	226号	P0738	267号	P0164
22号	SK069	63号	SK132	104号	P0855	145号	P0278	186号	P1605	227号	P0742	268号	P0167
23号	SK068	64号	SK127	105号	SK041	146号	P0491	187号	P1607	228号	P0743	269号	P0171
24号	SK072	65号	SK134	106号	P0589	147号	P0499	188号	P1565	229号	P0635	270号	P1027
25号	SK193	66号	SK146	107号	P0525	148号	P0419	189号	P1569	230号	P0636	271号	P1094
26号	SK194	67号	SD24	108号	P0524	149号	P0416	190号	P1574	231号	P0637	272号	P0177
27号	SK195	68号	P2267	109号	P0526	150号	P0313	191号	P1582	232号	P0626	273号	P1069
28号	SK050	69号	P2317	110号	P0540	151号	P0314	192号	P1508	233号	P0639	274号	P1031
29号	P0744	70号	SK099	111号	P0539	152号	P0431	193号	P1511	234号	P0984	275号	P1032
30号	SK196	71号	SK102	112号	P0541	153号	P0439	194号	P1513	235号	P1038	276号	P1071
31号	SK043	72号	SK101	113号	P0537	154号	P1947	195号	P1514	236号	P0989	277号	P1072
32号	SK052	73号	SK131	114号	P0487	155号	P1616	196号	P1408	237号	P0746	278号	P1023
33号	SK053	74号	SK145	115号	P0476	156号	P1626	197号	P1400	238号	P0650	279号	P1068
34号	SK045	75号	SK136	116号	P0535	157号	P1634	198号	P1396	239号	P0655	280号	P1013
35号	SK095	76号	SK135	117号	P0533	158号	P1963	199号	P1356・1357	240号	P0673	281号	P1067
36号	SK049	77号	SK141	118号	P0583	159号	P1623	200号	P1355	241号	P0677	282号	SK073
37号	SK083	78号	SK143	119号	P0582	160号	SK085	201号	P1339・1340	242号	P0675	283号	P1066
38号	SK096	79号	SK144	120号	P0509	161号	SK086	202号	SK080	243号	P0664	284号	P1006
39号	SK060	80号	SK118	121号	P0456	162号	P1806	203号	P1318	244号	SK064	285号	P1064
40号	SK082	81号	P2403	122号	P0464	163号	P1800	204号	P1166	245号	P0667		
41号	SK74	82号	P2402	123号	P0453	164号	P1799	205号	P1170	246号	P0720		

縄文時代後期～晩期埋設土器

新遺構	旧遺構
1号	SD24
2号	SJ12
3号	SD23
4号	SD22
5号	SJ11
6号	SJ10
7号	SJ08
8号	SJ09
9号	SJ13
10号	SJ06
11号	SJ01
12号	SJ05
13号	SJ04
14号	SJ02
15号	SJ03

縄文時代後期～晩期落とし穴

新遺構	旧遺構
1号	SO11（SK223）
2号	SO12（SK130）
3号	SO8（SK126）
4号	SO14（SK36）
5号	SO10（SK88）
6号	SO13（SK91）
7号	SO9（SK78）
8号	SO7
9号	SO4（SK61）
10号	SO6（SK70）
11号	SO3（SK67）
12号	SO1-1（SK2）
13号	SO5（SK71）

縄文時代後期～晩期土器集中部

新遺構	旧遺構
1号	SD19
2号	SD9・13・14
3号	SD15
4号	SD12
5号	SD11
6号	SD16
7号	SD17
8号	SD18
9号	SD21
10号	SD20
11号	SD10
12号	SD7
13号	SD6
14号	SD5
15号	SD8

弥生時代土坑

新遺構	旧遺構
1号	SK022
2号	SK020

古道跡

新遺構	旧遺構
1号	古道10
2号	古道8
3号	古道9
3号	古道1
4号	古道2
4号	古道5
5号	古道6
6号	古道3
7号	古道4

縄文時代後期～晩期ピット

新遺構	旧遺構	新遺構	旧遺構
1号	P3434	19号	P0426
2号	P2325	20号	P0429
3号	P2715	21号	P1957
4号	P2332	22号	P1648
5号	P2932	23号	P1646
6号	P2925	24号	P1641
7号	P2600	25号	P1964
8号	P2601	26号	P1664
9号	P2716	27号	P1813
10号	P2712	28号	P1831
11号	P2528	29号	P1972
12号	P3374	30号	P2043
13号	P0574	31号	P1322
14号	P2069	32号	P1445
15号	P0364	33号	P1414
16号	P0275	34号	P3334
17号	P0208	35号	P1001
18号	P0414	36号	P1102

溝状遺構

新遺構	旧遺構
1号	古道7（溝1）

炭化物集中部

新遺構	旧遺構
1号	炭化物集中部1

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（44）
東九州自動車道（志布志ＩＣ～鹿屋串良 ＪＣＴ間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

牧山遺跡3

（縄文時代前期以降編）

第１分冊

発行年月　２０２２年３月
編集・発行　鹿児島県教育委員会
公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター
〒899-4318　鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森２番１号
TEL　0995-70-0574　　FAX　0995-70-0576
印刷所　濱島印刷株式会社
〒899-0052　鹿児島市上之園町17番２号
TEL　099-255-6121　　FAX　099-255-1629



鹿児島県